

平成 27 年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査
(平成 28 年度調査)

(2) 病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する
調査研究事業

報 告 書

病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する調査研究事業
報 告 書
■ 目 次 ■

調査検討組織設置要綱

調査概要

第1章	調査実施概要	1
1.	調査の目的	1
2.	事業実施方法	1
(1)	調査検討組織の設置と開催状況	1
①	構成委員	1
②	開催状況	2
(2)	アンケート調査実施概要	2
①	調査対象	2
②	調査期間	3
③	主な調査項目	3
④	入院患者・退院患者の抽出方法	3
第2章	アンケート調査結果	4
第1節	回収結果	4
1.	回収状況	4
第2節	施設票の結果	5
1.	基本情報	6
①	開設主体	6
②	開設年	8
③	病床数	9
④	一般病棟について	16
⑤	医療保険適用の療養病床について	17
⑥	介護療養型医療施設について	19
⑦	看護職員数（実数）	28
⑧	看護補助加算の有無（医療保険適用の病床を有する医療施設）	28
⑨	実施しているサービス	29
⑩	併設している施設・事業所	30
2.	職員体制	31
(1)	配置職員数（常勤換算数）	31
(2)	夜勤等の体制	38
3.	入院患者について	42
①	入院患者数	42
②	介護療養型医療施設の入院患者数	42
③	医療療養病床を有する医療施設の入院患者数	45

④ 介護療養型医療施設の介護療養病床の病床利用率	46
⑤ 要介護度別人数	48
⑥ 年齢階級別人数	49
⑦ 障害高齢者の日常生活自立度別人数	51
⑧ 認知症高齢者の日常生活自立度別人数	52
⑨ 医療区分・ADL区分別の人数	54
⑩ 療養機能強化型の算定要件に係る状況	57
⑪ 入棟前の居場所と退院先	75
⑫ 口腔衛生管理体制	80
⑬ 加算等の算定人数	81
4. 退院支援および指定訪問看護の実施状況	87
① 退院支援部門の有無	87
② 退院後訪問指導料の算定の有無	88
③ 指定訪問看護の実施状況	89
5. 地域貢献活動の実施状況	97
第3節 患者調査の結果	102
1. 基本情報	102
① 入院病棟	102
② 年齢	104
③ 性別	105
④ 世帯構成	107
⑤ 家族介護者の有無（入院前）	109
⑥ 主な介護者の続柄（入院前）	111
⑦ 主な介護者の状況のうち、介護が難しくなる要因	113
⑧ 副介護者の有無（入院前）	115
⑨ 要介護度	117
⑩ 医療区分	119
⑪ 認知症高齢者の日常生活自立度	122
⑫ ベッド上の可動性	124
⑬ 移乗	126
⑭ 食事	128
⑮ トイレの使用	130
⑯ ADL区分	132
⑰ 傷病	134
2. 検査・処置、加算等の状況	140
① 検査・処置の実施状況	140
② その他の処置等の実施状況	146
③ 療養機能型の算定要件に係る適合の状況について	152
④ ターミナルケアの実施の有無	158

⑤ 算定した加算の状況	161
⑥ 特定診療費の算定	167
3. 入院・入棟前の状況等	171
① 入院（棟）前の状況	171
② 入院（棟）の理由	177
4. 退院の状況・見通し	185
① 退院時期の目標（入院患者）	185
② 退院先等の見込み（入院患者）	187
③ 退院先（退院患者）	190
④ 「入院（棟）前の状況等」と「退院先」	193
⑤ 「退院先」と「患者の状態」	197
⑥ 退院先別の傷病	203
⑦ 退院先別の検査・処置の実施状況	207
⑧ 入院期間と退院先	212
⑨ 「退院は困難」である理由（入院患者）	217
⑩ 退院時に予定されていたケアプラン（退院患者）	219
第4節 自治体調査の結果	222
1. 施設数と定員数	222
2. 転換の状況	224
① 転換に係る情報収集	224
② 転換に係る具体的な相談	225
③ 転換に至らなかった理由	226
④ 転換の状況	227
3. 介護療養型医療施設を利用する方のイメージについて	228
4. サービス・体制の充実に向けた取組の状況	229
第5節 在宅における中重度者向けのサービス状況調査（訪問看護調査）の結果	231
1. 基本情報	233
① 訪問看護の事業開始年	233
② 開設主体	234
③ 【訪問看護ステーション】事業所と同一法人（同系列を含む）が有する医療・ 介護施設・事業所	236
④ 病床数等	237
⑤ 看護職員の配置	242
2. 訪問看護の実施状況	243
① 算定保険種別	243
② 【病院・診療所】訪問看護実施部署	244
③ 訪問看護部門の職員数	246
④ 人事・研修について	251
⑤ 訪問看護に特化した研修について	252

3. 訪問看護の提供実績等	253
① 利用者数	253
② 要介護度別人数	264
③ 訪問回数（平成 28 年 10 月分）	266
④ 加算	271
4. 土日や夜間等の対応体制	281
① 土日祝日・早朝夜間深夜の計画的な訪問	281
② 早朝・夜間・深夜の緊急訪問	288
5. 連携の状況等	290
① 【病院・診療所】他院から訪問看護の依頼（他院から診療情報提供書を受けて 自院の訪問看護指示書を作成）をされた利用者の有無	290
② 【病院・診療所（介護保険の訪問看護の利用者）】自院と同一の開設者・系列 法人の事業所以外の居宅介護支援事業所からの依頼の有無	291
③ 【訪問看護ステーション】訪問看護指示書の交付を受けている病院・診療所	292
④ 【訪問看護ステーション】訪問看護の指示を出す医師の所属	294
⑤ 【訪問看護ステーション】主治医が招集する利用者宅における緊急時カンファ レンスへの参加	295
⑥ 【訪問看護ステーション】利用者に関する情報を提供または共有している医療 機関・介護事業所数および連携した利用者数	297
⑦ 院内・事業所内の訪問看護で対応できない場合・ケース	299
⑧ 【病院・診療所】地域のステーションではなく、自院で訪問看護を実施したほ うがよりよいと考えられる利用者の状態・状況	304
⑨ 【病院・診療所】地域の訪問看護ステーションの支援のためにできること	305
⑩ 【病院・診療所】地域の訪問看護ステーションに担ってほしい役割	306
⑪ 【訪問看護ステーション】病院・診療所からの訪問看護や医療機関併設型の訪 問看護ステーションに期待すること	307
6. 課題等	308
① 【訪問看護ステーション】利用者の新規獲得のために、ここ 1 年で実施してい ること	308
② 【訪問看護ステーション】訪問看護を導入するときの課題	310
③ 【病院・診療所】病院・診療所が行う訪問看護の課題	312
④ 【訪問看護ステーション】介護報酬改定についての意見	314
7. 居宅療養管理指導について	319
① 居宅療養管理指導の届出の状況	319
② 居宅療養管理指導の算定状況	320
③ 居宅療養管理指導の算定しにくさ	321

病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する調査研究事業の調査検討組織 設置要綱

1. 設置目的

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社は病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する調査研究事業の調査を実施するにあたり、調査設計、調査票の作成、調査の実施、集計、分析、検証、報告書の作成等の検討を行うため、以下のとおり、病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する調査研究事業の調査検討組織（以下、「調査検討組織」という。）を設置する。

2. 実施体制

（１）本調査検討組織は、今村知明（奈良県立医科大学 教授）を委員長とし、その他の委員は以下のとおりとする。

（２）委員長が必要があると認めるときは、本調査検討組織において、関係者から意見を聴くことができる。

3. 調査検討組織の運営

（１）調査検討組織の運営は、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社が行う。

（２）前号に定めるもののほか、本調査検討組織の運営に関する事項その他必要な事項については、本調査検討組織が定める。

病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する調査研究事業の調査検討組織 委員等

委員長	今村 知明（奈良県立医科大学 教授）
委員	池端 幸彦（一般社団法人日本慢性期医療協会 副会長）
	清崎 由美子（一般社団法人全国訪問看護事業協会 事務局長）
	小池 創一（自治医科大学地域医療学センター（地域医療政策部門）教授）
	鈴木 理恵（公益社団法人日本看護協会 医療政策部医療制度課 課長）
	土屋 繁之（公益社団法人全日本病院協会 常任理事）
	松本 隆利（一般社団法人日本病院会 理事・ 社会医療法人財団新和会 八千代病院 理事長）
	見元 伊津子（公益社団法人日本精神科病院協会 理事）

（敬称略、50音順）

【オブザーバー】

- 厚生労働省 老健局 老人保健課 介護保険データ分析室長 西嶋 康浩
- 厚生労働省 老健局 老人保健課 課長補佐 井口 豪
- 厚生労働省 老健局 老人保健課 看護専門官 後藤 友美
- 厚生労働省 老健局 老人保健課 療養病床転換係長 佐藤 理
- 厚生労働省 老健局 老人保健課 看護係長 長谷川 洋子
- 厚生労働省 老健局 老人保健課 係員 兼本 千絵

(2) 病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する
調査研究事業

1. 調査の目的

今後、慢性疾患や認知症を有する医療ニーズの高い中重度の要介護高齢者の増加が見込まれる中で、病院・診療所に入院する患者について、在宅医療等を活用し地域でどのように受け止めていくかが課題となっている。

本調査事業においては、慢性期医療を担う病院・診療所で行われる医療や、経管栄養・喀痰吸引を必要とする患者に対しての看護・介護など、病院・診療所における医療提供の状況を把握する。併せて訪問看護ステーション等の提供する中重度者向けのサービスの状況等について調査を行い、これらの患者が住み慣れた地域で生活していくために必要な機能を明確化し、平成30年度に予定されている介護報酬と診療報酬との同時改定に向けた議論に資するデータの収集を行う。

2. 調査客体

①病院・診療所における医療提供の状況

- ・ 介護療養型医療施設 1,400 箇所程度 ※悉皆調査
- ・ 医療保険適用の病床を有する医療機関 2,000 箇所程度 ※無作為抽出
- ・ 自治体（都道府県等） ※悉皆調査

②在宅における中重度者向けのサービス状況

- ・ 訪問看護ステーション等 1,000 箇所程度
 - －①の調査対象の医療機関全数
(実際の訪問看護実施医療機関は 600 箇所程度の見込み)
 - －訪問看護ステーション 600 箇所程度 ※無作為抽出

3. 主な調査項目

①介護療養型医療施設及び医療保険適用病床を有する医療機関の実態調査
(事業所票・入院患者票・退院患者票) 及び自治体毎の療養病床等の状況等調査

- ・ 開設主体、職員体制、慢性期医療を担う病院・診療所で行われる医療（レントゲン、エコー等）及び経管栄養・喀痰吸引等を必要とする患者への看護・介護など医療提供体制及び提供状況、口腔衛生管理体制、在院期間、加算・特定診療費の算定状況
- ・ 入院患者・退院患者等の状況（住まい・世帯状況、要介護度、病態）等
- ・ 介護療養型医療施設の指定事業所数・定員数、圏内の医療・介護サービスの状況等

②訪問看護ステーション等（事業所票）

- ・ 開設主体、職員体制、中重度者に対する医療・介護サービスの提供体制及び提供状況等

第1章 調査実施概要

1. 調査の目的

今後、慢性疾患や認知症を有する医療ニーズの高い中重度の要介護高齢者の増加が見込まれる中で、病院・診療所に入院する患者について、在宅医療等を活用し地域でどのように受け止めていくかが課題となっている。

本調査事業においては、慢性期医療を担う病院・診療所で行われる医療や、経管栄養・喀痰吸引を必要とする患者に対しての看護・介護など、病院・診療所における医療提供の状況を把握する。併せて訪問看護ステーション等の提供する中重度者向けのサービスの状況等について調査を行い、これらの患者が住み慣れた地域で生活していくために必要な機能を明確化し、平成30年度に予定されている介護報酬と診療報酬との同時改定に向けた議論に資するデータの収集を行う。

2. 事業実施方法

(1) 調査検討組織の設置と開催状況

病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する調査研究事業の調査を実施するにあたり、調査設計、調査票の作成、調査の実施、集計、分析、検証、報告書の作成等の検討を行うため、以下のとおり病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する調査研究事業の調査検討組織（以下、「調査検討組織」という。）を設置した。

調査検討組織の運営は、三菱UFJリサーチ&コンサルティングが行った。

① 構成委員

○委員長

今村 知明（奈良県立医科大学 教授）

○委員（五十音順、敬称略）

池端 幸彦（一般社団法人日本慢性期医療協会 副会長）

清崎 由美子（一般社団法人全国訪問看護事業協会 事務局長）

小池 創一（自治医科大学地域医療学センター(地域医療政策部門) 教授）

鈴木 理恵（公益社団法人日本看護協会 医療政策部医療制度課 課長）

土屋 繁之（公益社団法人全日本病院協会 常任理事）

松本 隆利（一般社団法人日本病院会 理事・
社会医療法人財団新和会 八千代病院 理事長）

見元 伊津子（公益社団法人日本精神科病院協会 理事）

○オブザーバー

○ 厚生労働省 老健局 老人保健課 介護保険データ分析室長 西嶋 康浩

○ 厚生労働省 老健局 老人保健課 課長補佐 井口 豪

2 事業実施方法

- 厚生労働省 老健局 老人保健課 看護専門官 後藤 友美
- 厚生労働省 老健局 老人保健課 療養病床転換係長 佐藤 理
- 厚生労働省 老健局 老人保健課 看護係長 長谷川 洋子
- 厚生労働省 老健局 老人保健課 係員 兼本 千絵

② 開催状況

<第1回>

- 日時：平成 28 年 9 月 8 日 18 時 00 分～20 時 00 分
- 場所：三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング 大会議室
- 議題：
 - ・事業概要について
 - ・調査票案について
 - ・その他

<第2回>

- 日時：平成 29 年 2 月 17 日 15 時 00 分～17 時 00 分
- 場所：三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング 中会議室
- 議題：
 - ・報告書案について
 - ・介護給付費分科会提出資料について
 - ・その他

(2) アンケート調査実施概要

① 調査対象

1) 病院・診療所における医療提供の状況

- ・介護療養型医療施設 1,292 箇所 ※悉皆調査、ただし災害被災地域の施設は発出先から除いた
- ・医療保険適用の病床を有する医療機関 2,000 箇所 ※無作為抽出
- ・自治体（都道府県・政令市・中核市） ※悉皆調査

2) 在宅における中重度者向けのサービス状況

- ・訪問看護ステーション等 1,200 箇所程度
 - － 1) の調査対象の医療機関全数
(実際の訪問看護実施医療機関は 600 箇所程度の見込み)
 - － 訪問看護ステーション 600 箇所 ※無作為抽出

② 調査期間

平成28年10月28日～平成28年11月18日

ただし、回収状況を勘案し、12月21日回収分までを有効票として取り扱った。

③ 主な調査項目

1) 介護療養型医療施設及び医療保険適用病床を有する医療機関の実態調査（事業所票・入院患者票・退院患者票）及び自治体毎の療養病床等の状況等調査

- ・ 開設主体、職員体制、慢性期医療を担う病院・診療所で行われる医療（レントゲン、エコー等）及び経管栄養・喀痰吸引等を必要とする患者への看護・介護など医療提供体制及び提供状況、口腔衛生管理体制、在院期間、加算・特定診療費の算定状況
- ・ 入院患者・退院患者等の状況（住まい・世帯状況、要介護度、病態）等
- ・ 介護療養型医療施設の指定事業所数・定員数、圏内の医療・介護サービスの状況等

2) 訪問看護ステーション等（事業所票）

- ・ 開設主体、職員体制、中重度者に対する医療・介護サービスの提供体制及び提供状況等

④ 入院患者・退院患者の抽出方法

対象施設		対象患者	抽出条件
介護療養型医療施設	病院	入院患者	調査対象の病院のうち2分の1の病院（477施設）において、調査日の入院患者のうち10分の1を抽出
	診療所	入院患者	全施設（258施設）を対象に、調査日の入院患者のうち2分の1を抽出
	病院	退院患者	全施設を対象に、3週間（28年10月1日～10月21日）の退院患者全数
	診療所	退院患者	全施設を対象に、3か月（28年7月～9月）の退院患者全数
医療療養病床を有する医療施設	病院	入院患者	調査対象の病院のうち、3分の1の病院（542施設）を対象に、調査日の入院患者のうち10分の1を抽出
	診療所	入院患者	全施設（373施設）を対象に、調査日の入院患者全数
	病院	退院患者	全施設を対象に1週間（28年10月17日～23日）の退院患者全数
	診療所	退院患者	全施設を対象に、3か月（28年7月～9月）の退院患者全数

第2章 アンケート調査結果

第1節 回収結果

1. 回収状況

回収率は、介護療養型医療施設票が 45.3%、医療療養病床票で 32.7%であった。また、訪問看護ステーション票が 65.7%、自治体調査票が 100.0%であった。

入院患者票の回収数は 3,295 件、退院患者票は 2,557 件であった。病院・診療所が行う訪問看護に関する調査票の回収数は 232 件であった。

図表 2-1-1 回収状況

調査票名	母集団 (事業所)	発出数 (件)	回収数 (件)	回収率	有効回収 数 (件)	有効 回収率
介護療養型医療施設票	1,292	1,211	548	45.3%	543	44.8%
医療療養病床票	4,018	2,000	653	32.7%	639	32.0%
入院患者票	-	9,881	3,295	-	3,213	-
退院患者票	-	11,411	2,557	-	2,293	-
病院・診療所が行う 訪問看護に関する調査票	-	3,211	232	-	227	-
訪問看護ステーション票	8,632	600	394	65.7%	382	63.7%
自治体調査票	114	114	114	100.0%	114	100.0%

第2節 施設票の結果

介護療養型医療施設、および医療療養病床を有する病院・診療所を対象とする調査を行った。集計対象数は、下図の通りである。

介護療養型医療施設は、全 530 件を集計対象とした。そのうち病院からの回答は 407 件、診療所は 123 件であった。

また、医療療養病床を有する病院・診療所は、全 577 件を集計対象とした。そのうち病院からの回答は 481 件、診療所は 96 件であった。

図表 2-2-1 集計対象数

調査票	集計対象数
介護療養型医療施設票	530
病院	407
診療所	123
医療療養病床票	577
病院	481
診療所	96

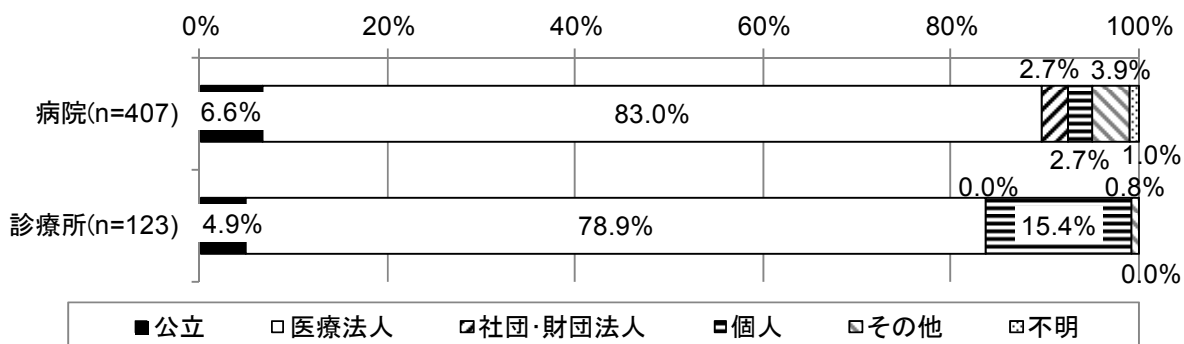
1. 基本情報

① 開設主体

開設主体は、介護療養型医療施設調査の回答病院（以下、介護療養型医療施設の病院）は、「医療法人」が 83.0%、「公立」が 6.6%であった。また、同じく診療所（以下、介護療養型医療施設の診療所）は、「医療法人」が 78.9%、「個人」が 15.4%であった。

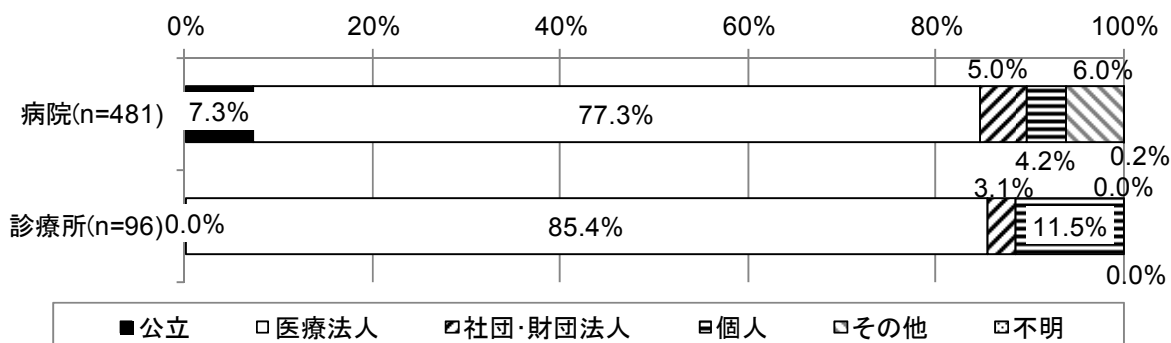
医療療養病床を有する医療施設調査の回答の病院（以下、医療療養病床を有する病院）は、「医療法人」が 77.3%、「公立」が 7.3%であった。また、同じく診療所（以下、医療療養病床を有する診療所）は、「医療法人」が 85.4%、「個人」が 11.5%であった。

図表 2 - 2 - 2 【介護療養】開設主体



注) 【介護療養】は介護療養型医療施設調査の対象の施設の回答を指す

図表 2 - 2 - 3 【医療療養】開設主体



注) 【医療療養】は医療療養病床を有する病院・診療所調査の対象の施設の回答を指す

平成27年介護サービス施設・事業所調査、および平成27年医療施設（動態）調査の結果と比較したところ、大きな差は認められず、代表性が確認された。

参考：平成27年介護サービス施設・事業所調査結果との比較（開設主体の法人種別）
（介護療養型医療施設について）

		合計	公立	医療法人	社団・財団法人	その他
病院	本調査回答の介護療養型医療施設	403	27	338	11	27
		100.0%	6.7%	83.9%	2.7%	6.7%
事業所調査	介護サービス施設・事業所調査	990	58	832	34	66
		100.0%	5.9%	84.0%	3.4%	6.7%
診療所	本調査回答の介護療養型医療施設	123	6	97	0	20
		100.0%	4.9%	78.9%	0.0%	16.3%
事業所調査	介護サービス施設・事業所調査	328	12	265	0	51
		100.0%	3.7%	80.8%	0.0%	15.5%

※厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査結果」における開設種別は以下の通りまとめた。
公立：「都道府県」「市町村」の合計
その他：「日本赤十字社・社会保険関係団体」「社会福祉法人」「その他の法人」「その他」の合計

※本調査回答の介護療養調査における開設種別は以下の通りまとめた。
その他：「個人」「その他」の合計

参考：平成27年医療施設（動態）調査との比較（開設主体の法人種別）
（介護療養型医療施設＋医療療養病床を有する病院・診療所について）

		合計	公立	医療法人	社団・財団法人	個人	その他
病院	本調査回答の介護療養型医療施設＋医療療養病床を有する病院	883	62	710	35	31	45
		100.0%	7.0%	80.4%	4.0%	3.5%	5.1%
医療施設調査	医療施設調査	3,844	331	3,053	95	138	227
		100.0%	8.6%	79.4%	2.5%	3.6%	5.9%
診療所	本調査回答の介護療養型医療施設＋医療療養病床を有する診療所	219	6	179	3	30	1
		100.0%	2.7%	81.7%	1.4%	13.7%	0.5%
医療施設調査	医療施設調査	1,050	39	816	2	184	9
		100.0%	3.7%	77.7%	0.2%	17.5%	0.9%

※厚生労働省「医療施設調査」における開設種別は以下の通りまとめた。

公立：「国」「公的機関」の合計

社団・財団法人：「公益法人」

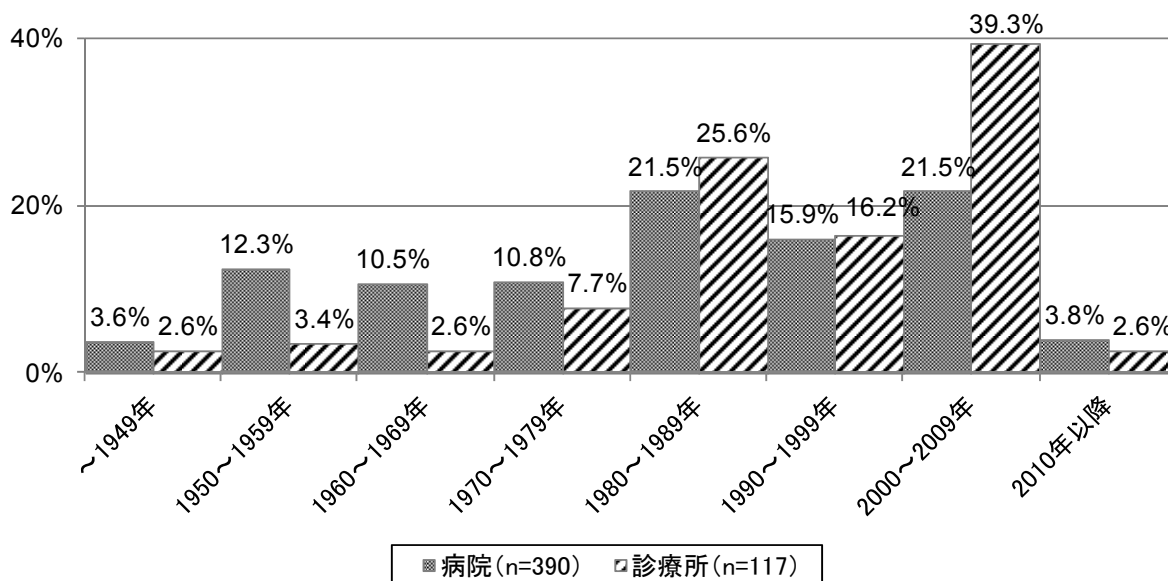
その他：「社会保険関係団体」「私立学校法人」「社会福祉法人」「医療生協」「会社」「その他の法人」

② 開設年

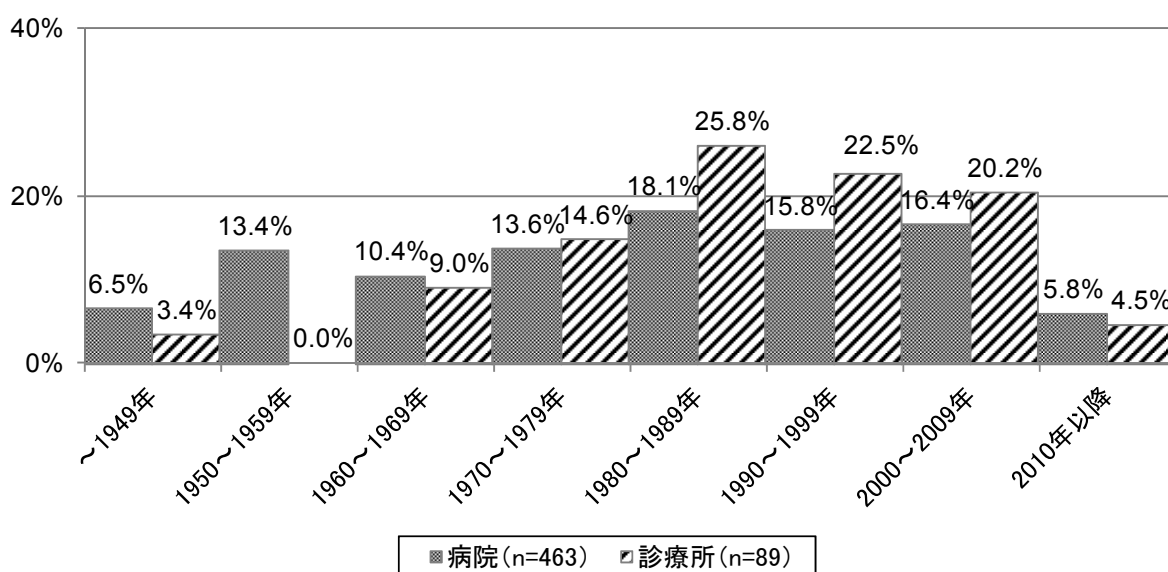
開設年は、介護療養型医療施設の病院で、「1980~1989年」と「2000~2009年」が21.5%、「1990~1999年」が15.9%であった。また、同じく診療所は、「2000~2009年」が39.3%、「1980~1989年」が25.6%であった。

医療療養病床を有する病院は、「1980~1989年」が18.1%、「2000~2009年」が16.4%であった。また、同じく診療所は、「1980~1989年」が25.8%、「1990~1999年」が22.5%であった。

図表 2-2-4 【介護療養】開設年



図表 2-2-5 【医療療養】開設年



③ 病床数

図表 2 - 2 - 6 病床数（単位：床）

<全病床>

	件数	平均	標準偏差	中央値
【介護療養】				
病院	407	166.8	125.8	130.0
診療所	123	17.9	2.6	19.0
【医療療養】				
病院	481	161.4	120.2	129.0
診療所	96	17.9	3.1	19.0

<病床種類別病床数>

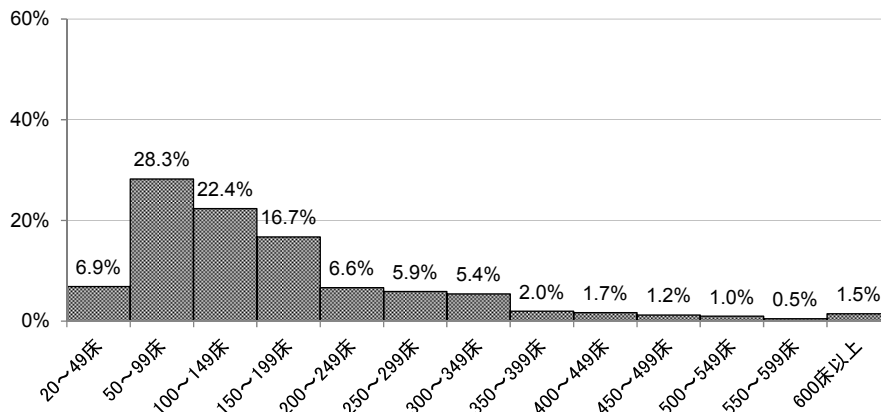
	件数	平均	標準偏差	中央値
【介護療養】				
【病院】				
一般	407	33.5	57.2	0.0
療養病床	407	116.1	100.2	90.0
うち、介護保険適用病床数	407	56.2	48.5	43.0
うち、医療保険適用病床数	407	59.9	70.9	40.0
精神病床(老人性認知症疾患療養病棟を除く)	407	14.0	64.1	0.0
老人性認知症疾患療養病棟	407	1.5	11.0	0.0
上記以外の病床	407	1.7	10.7	0.0
【診療所】				
一般	123	6.7	4.8	7.0
療養病床	123	11.2	4.5	12.0
うち、介護保険適用病床数	123	8.8	4.2	8.0
うち、医療保険適用病床数	123	2.4	3.1	0.0

	件数	平均	標準偏差	中央値
【医療療養】				
【病院】				
一般	481	43.2	59.6	28.0
療養病床	481	95.5	82.2	70.0
うち、介護保険適用病床数	481	20.0	41.9	0.0
うち、医療保険適用病床数	481	71.5	61.9	53.0
精神病床(老人性認知症疾患療養病棟を除く)	481	15.3	64.9	0.0
老人性認知症疾患療養病棟	481	1.8	14.7	0.0
上記以外の病床	481	5.6	19.1	0.0
【診療所】				
一般	96	6.7	5.0	6.0
療養病床	96	11.1	5.0	11.5
うち、介護保険適用病床数	96	2.4	4.1	0.0
うち、医療保険適用病床数	96	8.2	5.6	6.0

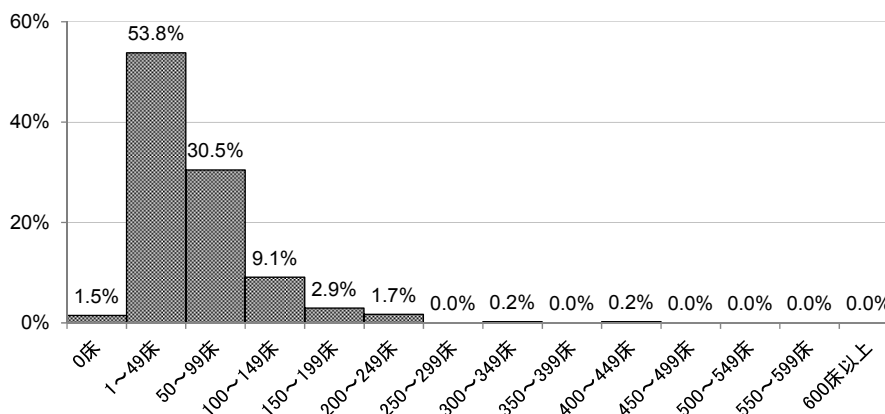
1) 介護療養型医療施設

介護療養型医療施設の合計の病床数は、病院で、「50～99 床」が 28.3%、「100～149 床」が 22.4%であった。また、同じく診療所は、「15～19 床」が 91.1%であった。

図表 2 - 2 - 7 【介護療養（病院）】病床数合計（n=407）

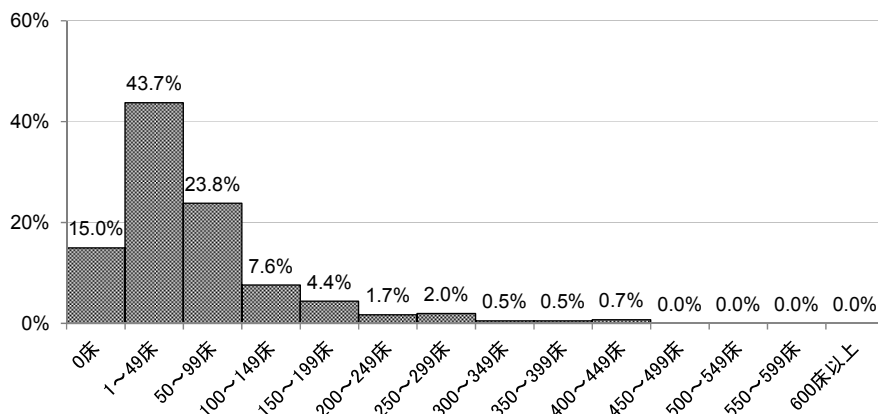


図表 2 - 2 - 8 【介護療養（病院）】介護保険適用の療養病床の病床数（n=407）

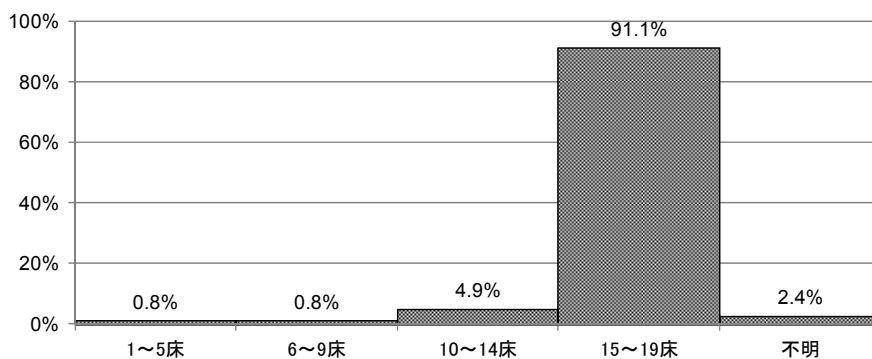


※0床は、老人性認知症疾患療養病棟のみの病院の場合

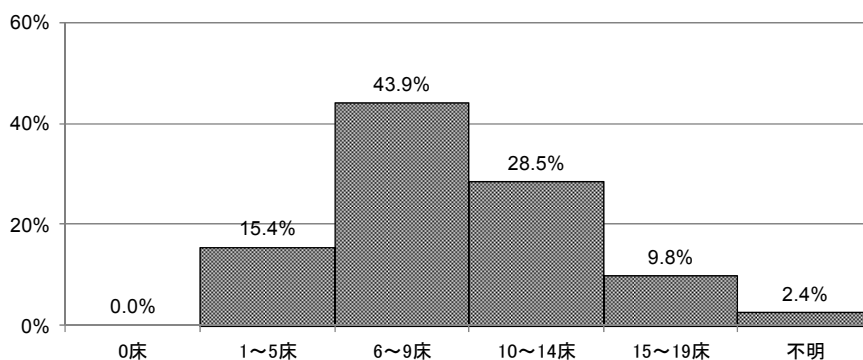
図表 2 - 2 - 9 【介護療養（病院）】医療保険適用の療養病床の病床数（n=407）



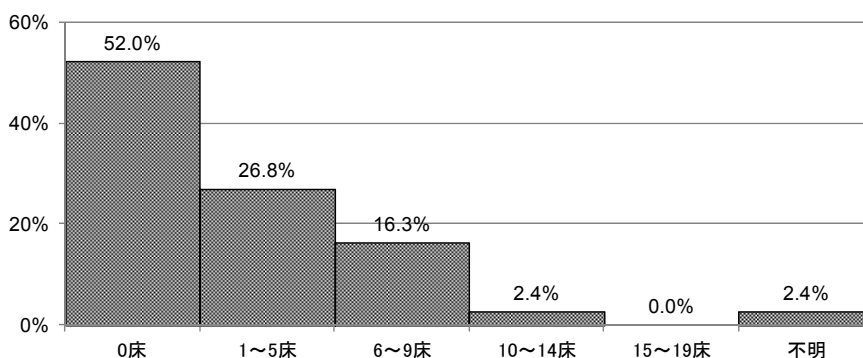
図表 2 - 2 - 10 【介護療養（診療所）】病床数合計（n=123）



図表 2 - 2 - 11 【介護療養（診療所）】介護保険適用の療養病床の病床数（n=123）



図表 2 - 2 - 12 【介護療養（診療所）】医療保険適用の療養病床の病床数（n=123）



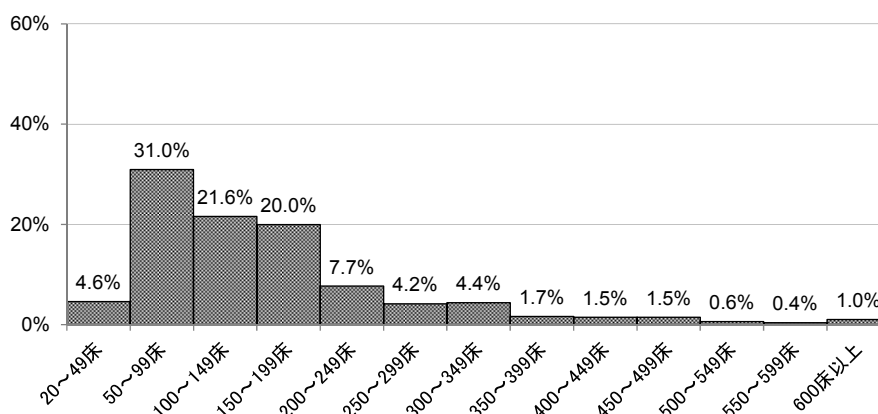
図表 2-2-13 【介護療養】一般病床の有無

	合計	あり	なし	不明
病院	407 100.0%	177 43.5%	230 56.5%	0 0.0%
診療所	123 100.0%	99 80.5%	21 17.1%	3 2.4%

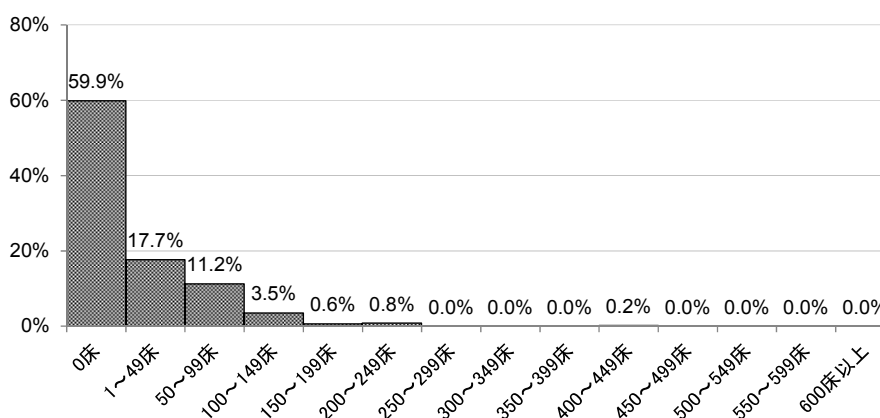
2) 医療療養病床を有する医療施設

医療療養病床を有する病院の合計の病床数は、「50~99床」が31.0%、「100~149床」が21.6%であった。また、同じく診療所は、「15~19床」が91.7%であった。

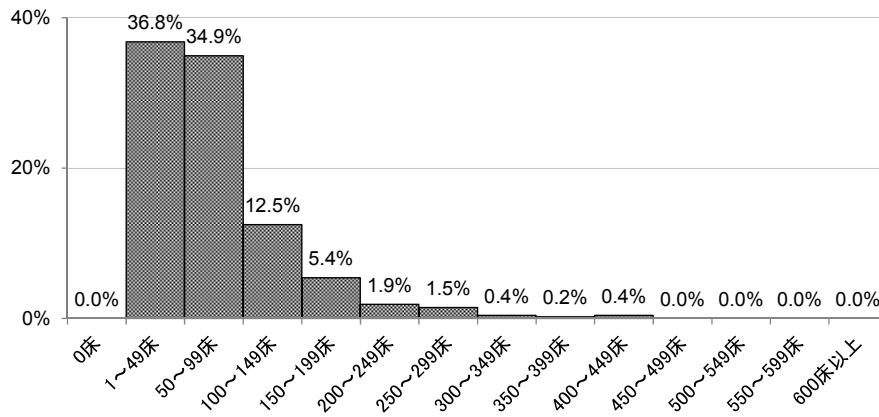
図表 2-2-14 【医療療養（病院）】病床数合計（n=481）



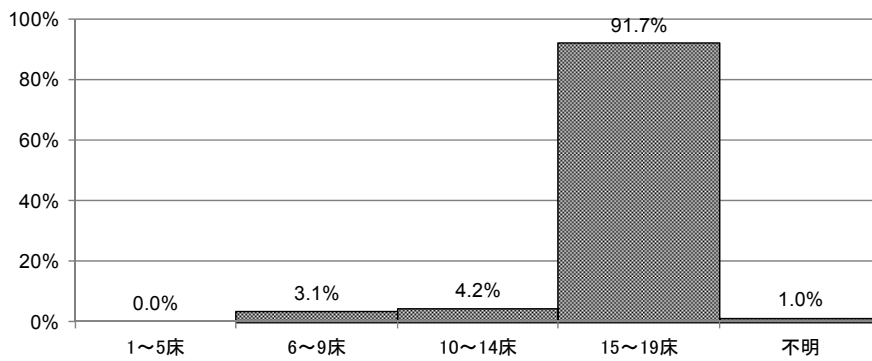
図表 2-2-15 【医療療養（病院）】介護保険適用の療養病床の病床数（n=481）



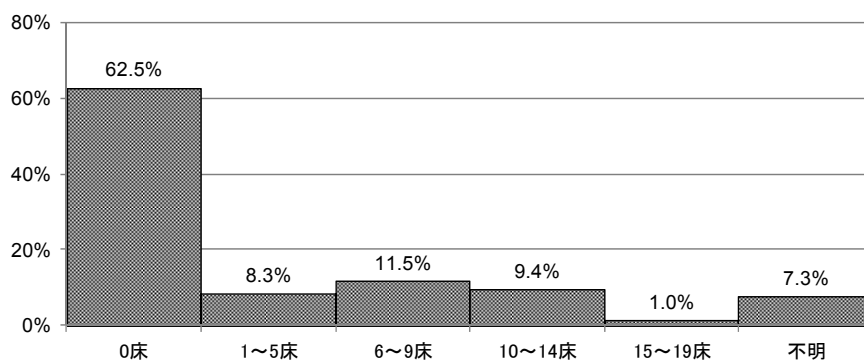
図表 2-2-16 【医療療養（病院）】医療保険適用の療養病床の病床数（n=481）



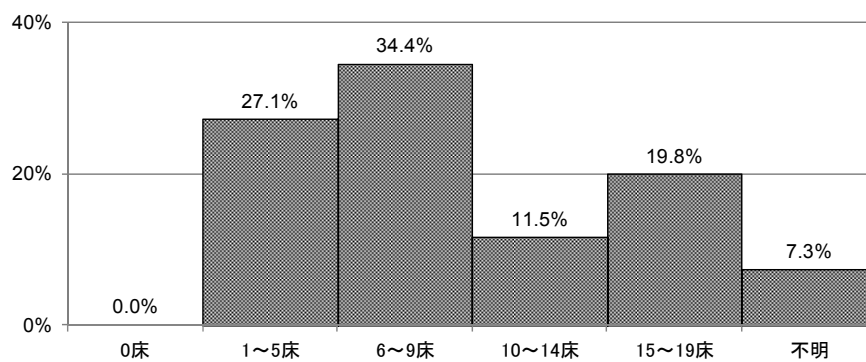
図表 2-2-17 【医療療養（診療所）】病床数合計（n=96）



図表 2-2-18 【医療療養（診療所）】介護保険適用の療養病床の病床数（n=96）



図表 2-2-19 【医療療養（診療所）】医療保険適用の療養病床の病床数（n=96）



図表 2-2-20 【医療療養】一般病床の有無

	合計	あり	なし	不明
病院	481 100.0%	260 54.1%	221 45.9%	0 0.0%
診療所	96 100.0%	81 84.4%	14 14.6%	1 1.0%

なお、介護療養型医療施設調査に回答した介護療養病床の病床階級別施設数について、平成27年介護サービス施設・事業所調査の結果と比較したところ、病院および診療所については大きな差は認められず、代表性が確認された。ただし、老人性認知症疾患療養病棟については、100床以上の病院からの回収が若干少なかった。

参考：平成27年介護サービス施設・事業所調査結果との比較（介護療養病床の病床階級別施設数）（病院について）

	介護サービス施設・事業所調査		本調査	
	施設数	割合	施設数	割合
1～9床	42	4.3%	21	5.2%
10～19	115	11.8%	37	9.1%
20～29	127	13.1%	49	12.0%
30～39	139	14.3%	62	15.2%
40～49	130	13.4%	56	13.8%
50～59	114	11.7%	48	11.8%
60～69	103	10.6%	45	11.1%
70～79	16	1.6%	7	1.7%
80～89	22	2.3%	9	2.2%
90～99	38	3.9%	15	3.7%
100～109	28	2.9%	13	3.2%
110～119	22	2.3%	11	2.7%
120～129	21	2.2%	12	2.9%
130～139	5	0.5%	1	0.2%
140～149	3	0.3%	0	0.0%
150床以上	48	4.9%	21	5.2%
	973	100.0%	407	100.0%

参考：平成27年介護サービス施設・事業所調査結果との比較（介護療養病床の病床階級別施設数）（診療所について）

	介護サービス施設・事業所調査		本調査	
	施設数	割合	施設数	割合
1～9床	189	57.6%	73	60.8%
10～19	139	42.4%	47	39.2%
	328	100.0%	120	100.0%

参考：平成27年介護サービス施設・事業所調査結果との比較（介護療養病床の病床階級別施設数）（老人性認知症疾患療養病棟について）

	介護サービス施設・事業所調査		本調査	
	施設数	割合	施設数	割合
1～49床	1	4.0%	0	0.0%
50～99床	13	52.0%	7	77.8%
100床以上	11	44.0%	2	22.2%
	25	100.0%	9	100.0%

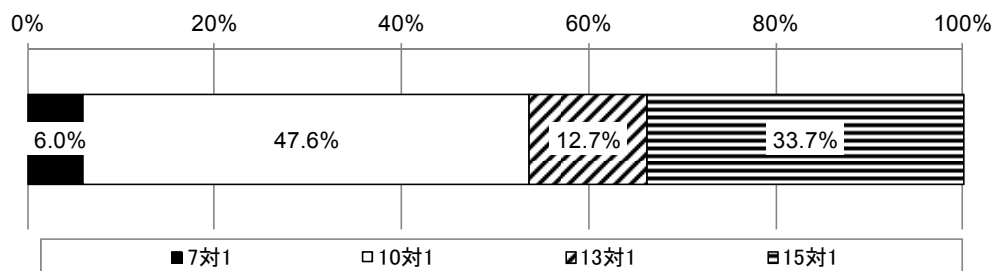
④ 一般病棟について

1) 看護職員配置

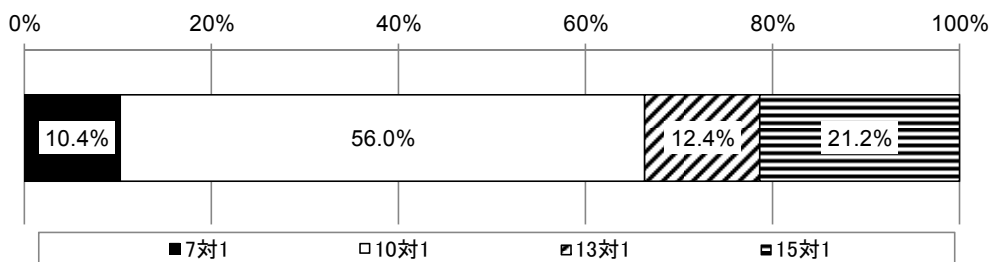
一般病棟を有する場合、一般病棟の看護職員配置は、介護療養型医療施設の病院で、「10対1」が47.6%、「15対1」が33.7%であった。

医療療養病床を有する病院は、「10対1」が56.0%、「15対1」が21.2%であった。

図表 2-2-21 【介護療養】（一般病棟を有する場合）一般病棟の看護職員配置（n=166）



図表 2-2-22 【医療療養】（一般病棟を有する場合）一般病棟の看護職員配置（n=250）



2) 一般病棟の平均在院日数

介護療養型医療施設の病院が有する一般病棟の平均在院日数は、26.1日であった。

図表 2-2-23 一般病棟の平均在院日数

単位：日

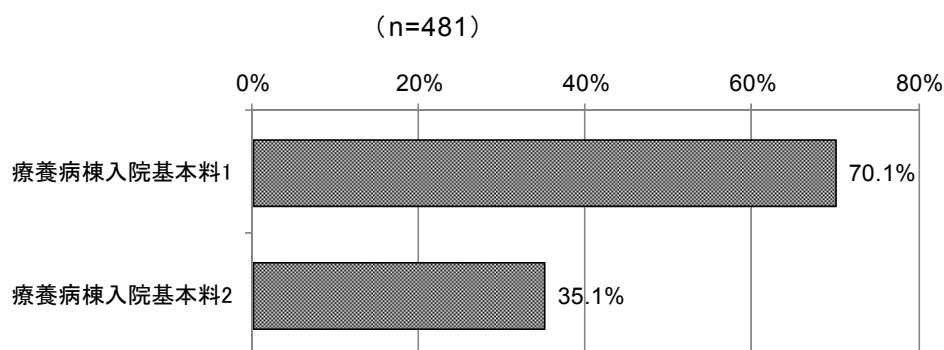
	件数	平均	標準偏差	中央値
【介護療養】				
病院	152	26.1	13.1	20.8
診療所	50	26.3	19.2	22.1
【医療療養】				
病院	235	24.0	14.0	18.7
診療所	34	24.3	17.4	20.4

⑤ 医療保険適用の療養病床について

1) 診療報酬の届出区分

医療療養病床を有する医療施設の調査対象の病院で、医療保険適用の療養病床の診療報酬の届出区分は、「療養病棟入院基本料 1」が 70.1%、「療養病棟入院基本料 2」が 35.1%であった。

図表 2 - 2 -24 【医療療養】医療保険適用の療養病床の診療報酬の届出区分（複数回答）



2) 平均在院日数

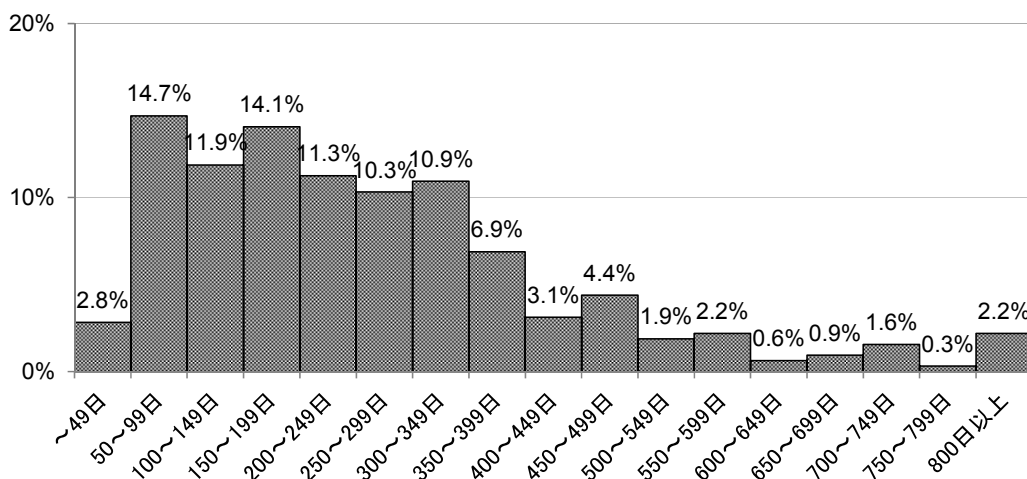
医療療養病床を有する医療施設の調査対象の病院で、医療保険適用の療養病床の平均在院日数は、療養病棟入院基本料 1 で「50～99 日」が 14.7%、療養病棟入院基本料 2（看護配置 25:1 以上、医療区分 2・3 の患者 5 割以上）で「150～199 日」が 18.4%、療養病棟入院基本料 2（その他）で「100～149 日」が 19.1%であった。

図表 2 - 2 -25 【医療療養】療養病床の平均在院日数

単位：日

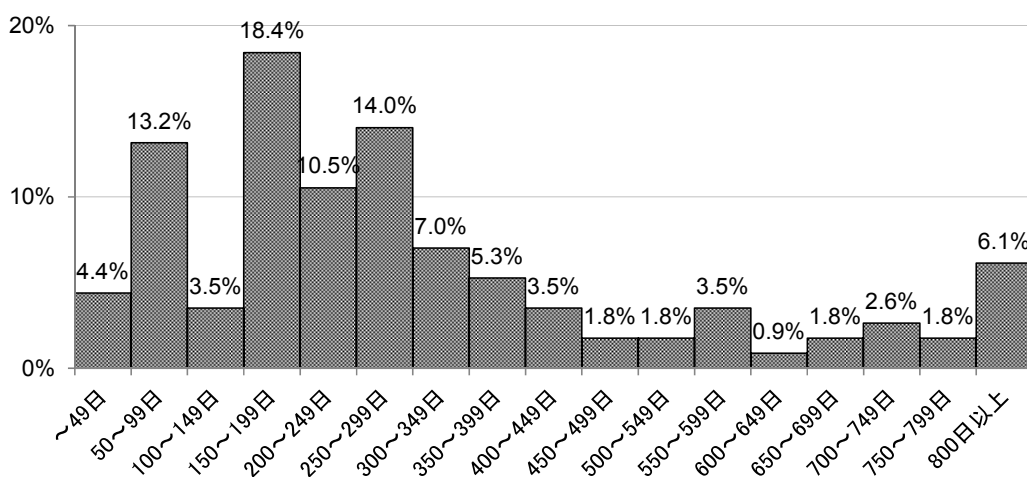
	件数	平均値	標準偏差	中央値
療養病棟入院基本料 1	320	270.0	207.3	224.7
療養病棟入院基本料 2(看護配置 25:1 以上、医療区分 2・3 の患者 5 割以上)	114	333.7	310.0	249.1
療養病棟入院基本料 2(その他)	47	251.6	255.9	161.2

図表 2-2-26 【医療療養】療養病棟入院基本料 1 の平均在院日数 (n=320)

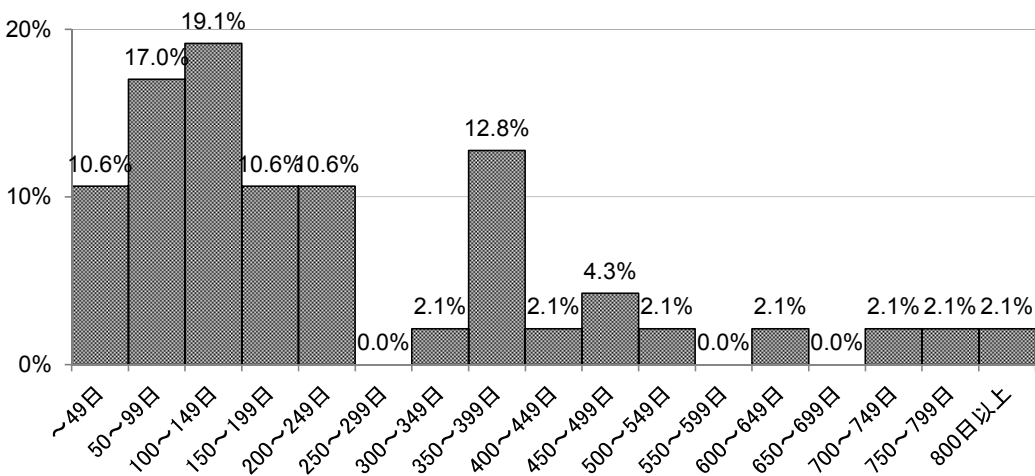


図表 2-2-27 【医療療養】療養病棟入院基本料 2

(看護配置 25:1 以上、医療区分 2・3 の患者 5 割以上)の平均在院日数 (n=114)



図表 2-2-28 【医療療養】療養病棟入院基本料 2(その他)の平均在院日数 (n=47)



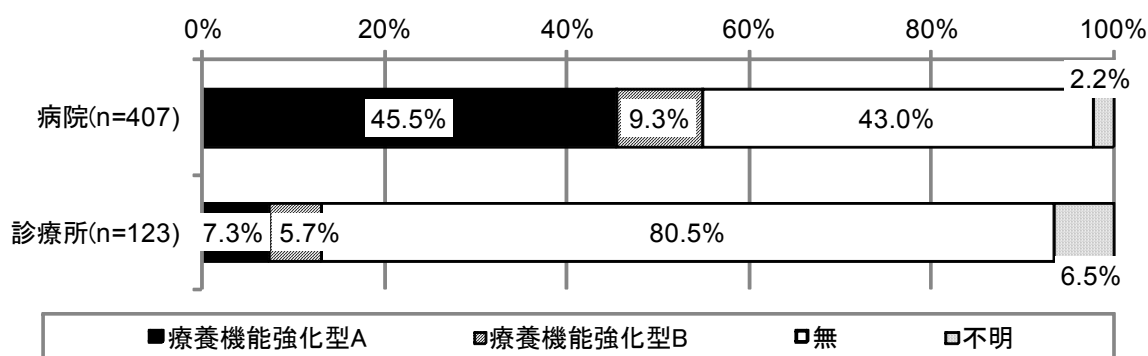
⑥ 介護療養型医療施設について

1) 療養機能強化型の届出の状況

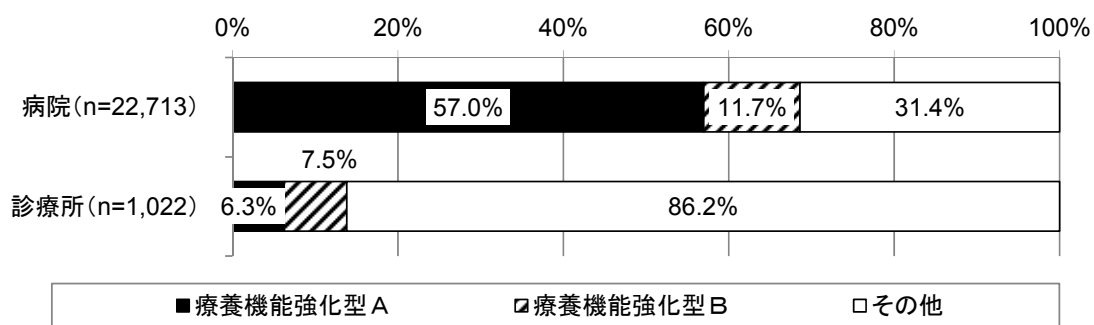
介護療養病床の療養機能強化型の届出の状況は、病院で「療養機能強化型 A」が 45.5%、「療養機能強化型 B」が 9.3%であった。また同じく診療所では、「療養機能強化型 A」が 7.3%、「療養機能強化型 B」が 5.7%であった。

また、介護療養病床数の療養機能強化型の届出の状況別の割合をみると、病院の介護療養病床の 57.0%が「療養機能強化型 A」、11.7%が「療養機能強化型 B」であった。また同じく診療所では、6.3%が「療養機能強化型 A」、7.5%が「療養機能強化型 B」であった。

図表 2 - 2 - 29 【介護療養】療養機能強化型の届出の状況（施設数ベース）



図表 2 - 2 - 30 【介護療養】介護療養病床数の療養機能強化型の届出の状況別の割合（病床数ベース）

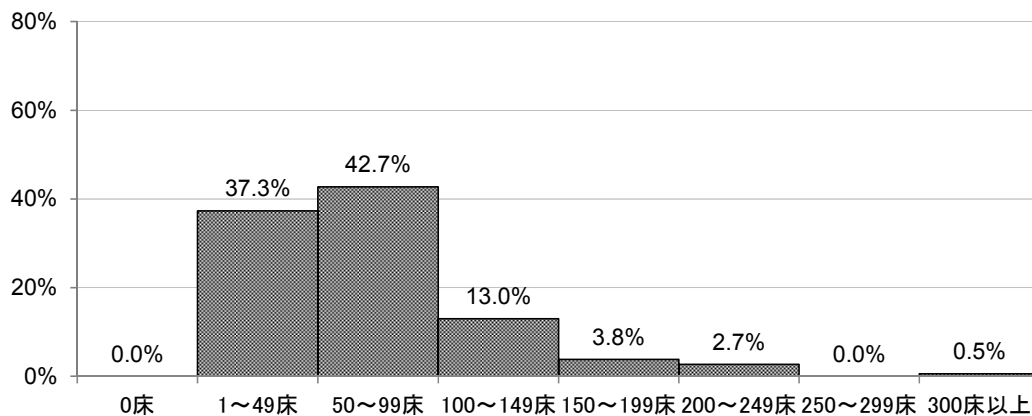


図表 2 - 2 - 31 【介護療養】介護保険適用の療養病床の病床数（療養機能強化型の届出の状況別）

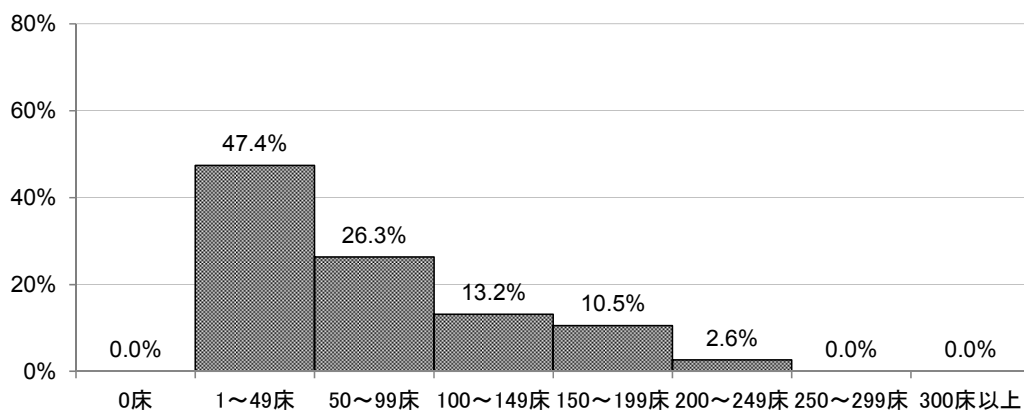
単位：床

	件数	平均	標準偏差	中央値
【病院】				
療養機能強化型 A	185	69.9	48.1	58.0
療養機能強化型 B	38	69.7	54.3	50.0
療養機能強化型以外	175	40.7	42.6	32.0
【診療所】				
療養機能強化型 A	9	7.1	2.6	6.0
療養機能強化型 B	7	11.0	2.9	12.0
療養機能強化型以外	99	8.9	4.4	8.0

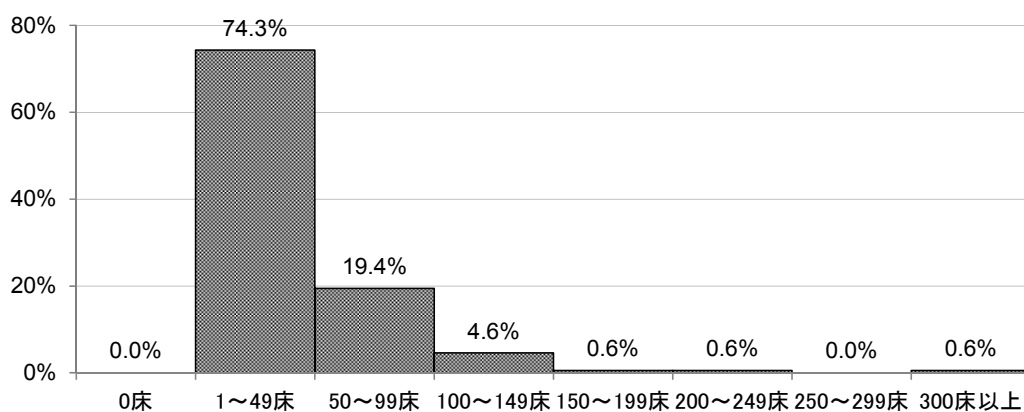
図表 2-2-32 【介護療養（病院）】介護療養病床の病床数（療養機能強化型 A）（n=185）



図表 2-2-33 【介護療養（病院）】介護療養病床の病床数（療養機能強化型 B）（n=38）



図表 2-2-34 【介護療養（病院）】介護療養病床の病床数（療養機能強化型以外）（n=175）



2) 平均在院日数

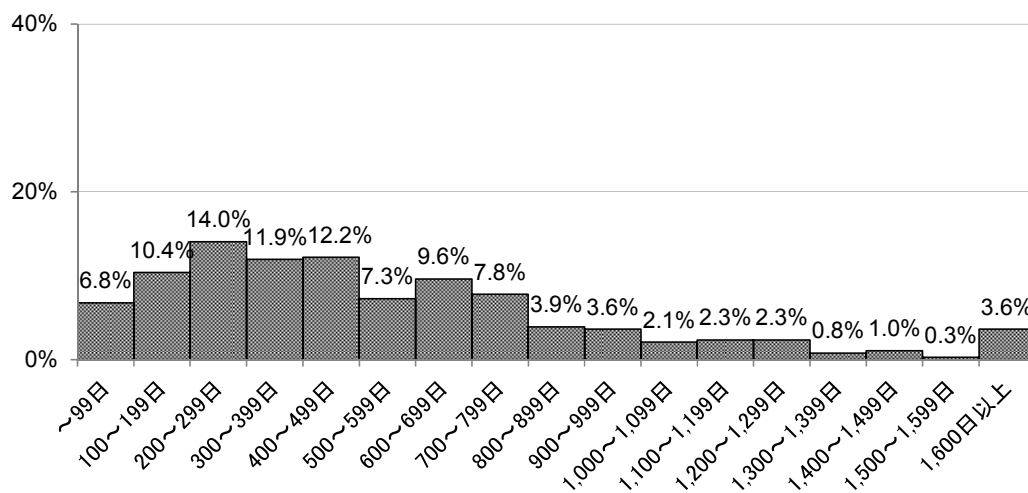
介護療養型医療施設の介護保険適用の療養病床の平均在院日数は、「200～299日」が14.0%、「400～499日」が12.2%であった。また、同じく診療所は、「～99日」が35.4%、「300～399日」が10.1%であった。

図表 2 - 2 -35 【介護療養】 介護保険適用の療養病床の平均在院日数

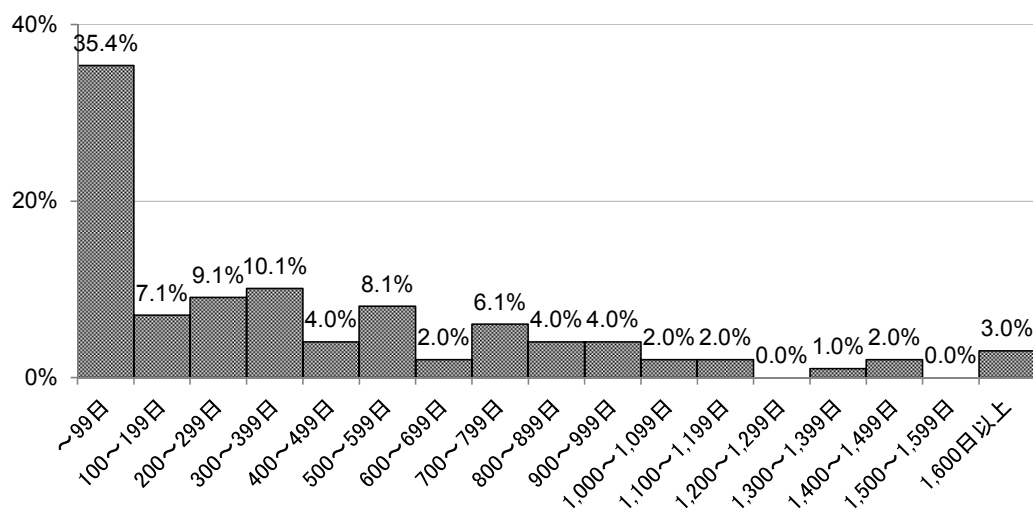
単位：日

	件数	平均	標準偏差	中央値
病院	385	568.7	483.2	460.0
診療所	99	425.2	512.1	266.2
老人性認知症疾患療養病棟	9	699.4	487.3	552.0

図表 2 - 2 -36 【介護療養（病院）】 介護保険適用の療養病床の平均在院日数（n=385）



図表 2 - 2 -37 【介護療養（診療所）】 介護保険適用の療養病床の平均在院日数（n=99）



1 基本情報

療養機能強化型の届出の状況別の病院の平均在院日数の平均をみると、「療養機能強化型 A」が 604.0 日、「療養機能強化型 B」が 494.1 日、「療養機能強化型以外」が 546.8 日であった。

図表 2 - 2 - 38 【介護療養】 介護保険適用の療養病床の平均在院日数
(療養機能強化型の届出の状況別)

単位：日

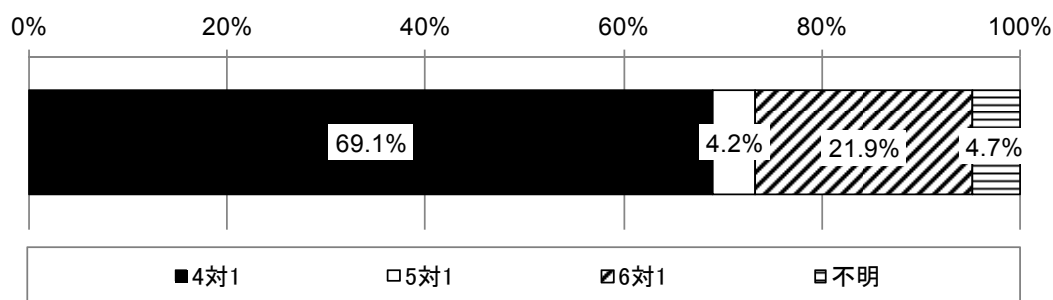
	件数	平均	標準偏差	中央値
【病院】				
療養機能強化型 A	181	604.0	409.7	524.8
療養機能強化型 B	36	494.1	340.6	441.7
療養機能強化型以外	166	546.8	574.9	377.1
【診療所】				
療養機能強化型 A	7	451.5	342.4	401.0
療養機能強化型 B	6	458.3	409.3	290.0
療養機能強化型以外	82	428.2	541.5	258.1

3) 介護職員の配置

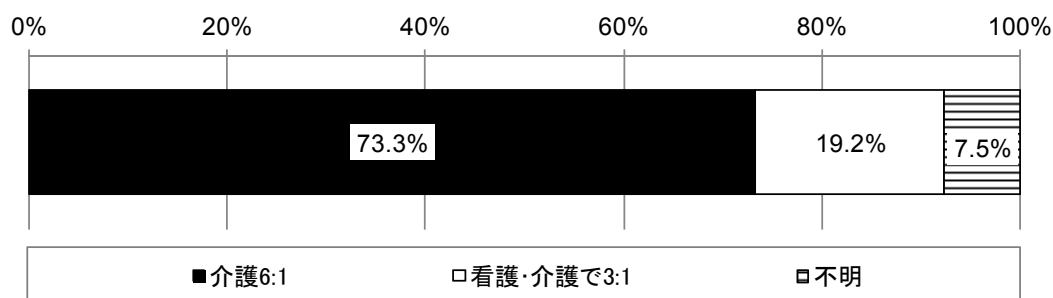
介護職員の配置は、介護療養型医療施設の病院で、「4 対 1」が 69.1%、「6 対 1」が 21.9%、「5 対 1」が 4.2%であった。

同じく診療所では、「介護 6 : 1」が 73.3%、「看護・介護で 3:1」が 19.2%であった。

図表 2 - 2 - 39 【介護療養（病院）】 介護職員の配置 (n=401)



図表 2 - 2 - 40 【介護療養（診療所）】 介護職員の配置 (n=120)



療養機能強化型の届出の状況別の介護職員の配置をみると、病院では「4対1」が、病院（療養機能強化型A）で76.2%、病院（療養機能強化型B）で68.4%、病院（療養機能強化型以外）で61.7%であった。

図表 2-2-41 【介護療養（病院）】介護職員の配置（療養機能強化型の届出の状況別）

	合計	4対1	5対1	6対1	不明
病院（療養機能強化型A）	185	141	7	29	8
	100.0%	76.2%	3.8%	15.7%	4.3%
病院（療養機能強化型B）	38	26	1	10	1
	100.0%	68.4%	2.6%	26.3%	2.6%
病院（療養機能強化型以外）	175	108	9	49	9
	100.0%	61.7%	5.1%	28.0%	5.1%

図表 2-2-42 【介護療養（診療所）】介護職員の配置（療養機能強化型の届出の状況別）

	合計	介護 6:1	看護・介護 で 3:1	不明
診療所（療養機能強化型A）	9	8	1	0
	100.0%	88.9%	11.1%	0.0%
診療所（療養機能強化型B）	7	5	2	0
	100.0%	71.4%	28.6%	0.0%
診療所（療養機能強化型以外）	99	71	20	8
	100.0%	71.7%	20.2%	8.1%

4) 病室数

介護保険適用の病室数について、回答施設全体で、1部屋あたりの定員別にみたところ、病院では、4人室が55.7%であった。診療所では、個室が32.6%であった。

図表 2-2-43 【介護療養】 1部屋あたりの定員別 病室数

単位：室

	4人室	3人室	2人室	個室	ユニット 型個室	合計
病院 (n=399)	4,506	778	1,316	1,490	1	8,091
	55.7%	9.6%	16.3%	18.4%	0.0%	100.0%
診療所 (n=122)	141	56	141	164	1	503
	28.0%	11.1%	28.0%	32.6%	0.2%	100.0%

図表 2-2-44 【介護療養（老人性認知症疾患療養病棟）】 1部屋あたりの定員別 病室数

単位：室

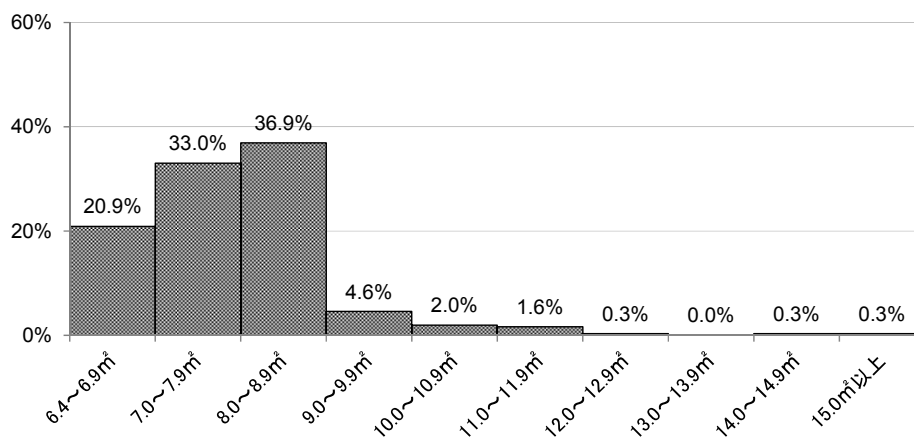
	4人室	3人室	2人室	個室	ユニット 型個室	合計
病院 (n=9)	108	11	53	52	0	224
	48.2%	4.9%	23.7%	23.2%	0.0%	100.0%

5) 定員1人あたり病室床面積

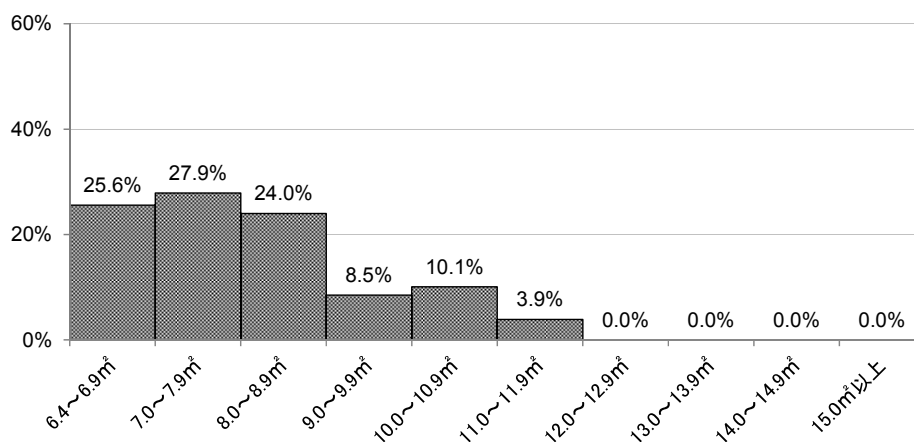
定員1人あたり病室床面積は、病院の4人室では、「8.0～8.9 m²」が36.9%、3人室では「7.0～7.9 m²」が27.9%、2人室では「8.0～8.9 m²」が27.7%であった。

なお、ユニット型個室は、回答数がn=1で13.2 m²であった。

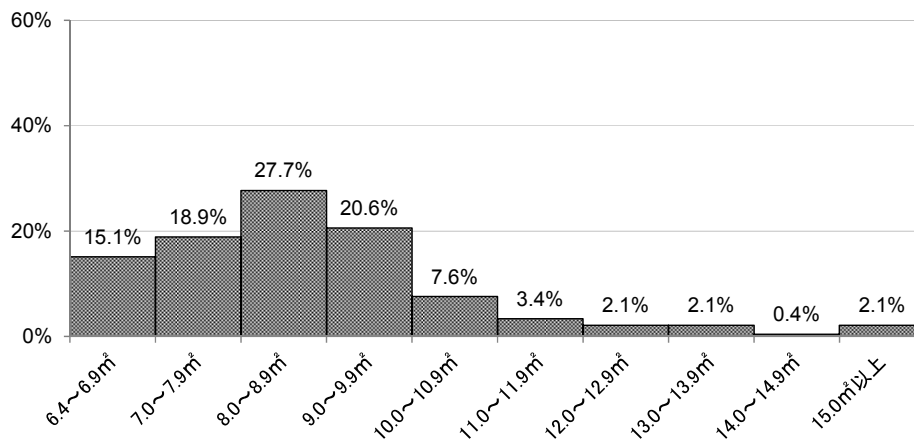
図表 2-2-45 【介護療養（病院）】定員1人あたり病室面積（4人室）（n=306）



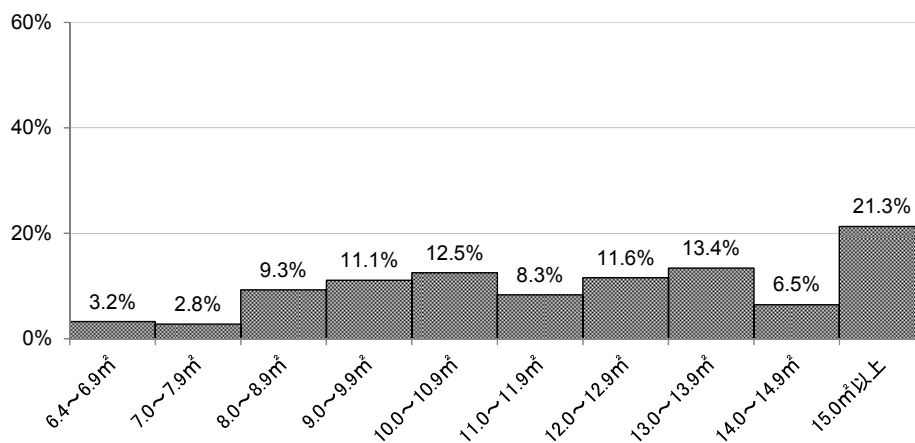
図表 2-2-46 【介護療養（病院）】定員1人あたり病室面積（3人室）（n=129）



図表 2-2-47 【介護療養（病院）】定員1人あたり病室面積（2人室）（n=238）

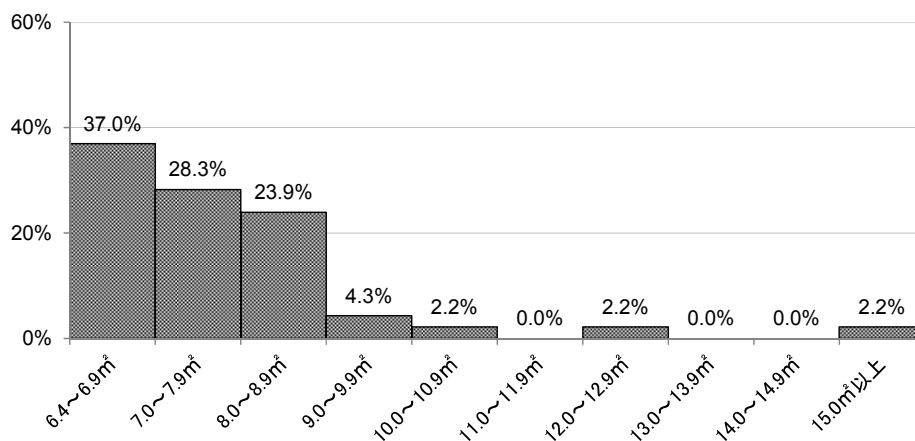


図表 2 - 2 - 48 【介護療養（病院）】定員 1 人あたり病室面積（個室）（n=216）

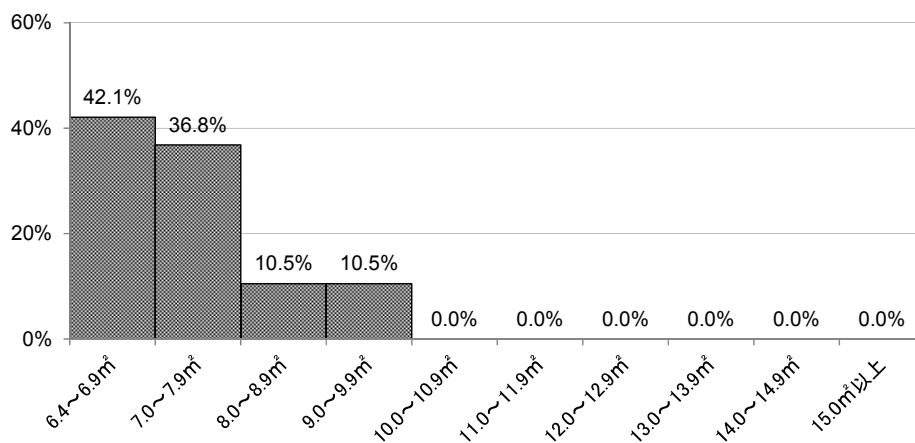


定員 1 人あたり病室床面積は、診療所の 4 人室では、「6.4～6.9 m²」が 37.0%、3 人室では「6.4～6.9 m²」が 42.1%、2 人室では「8.0～8.9 m²」が 30.0%、個室では「9.0～9.9 m²」が 20.0%であった。

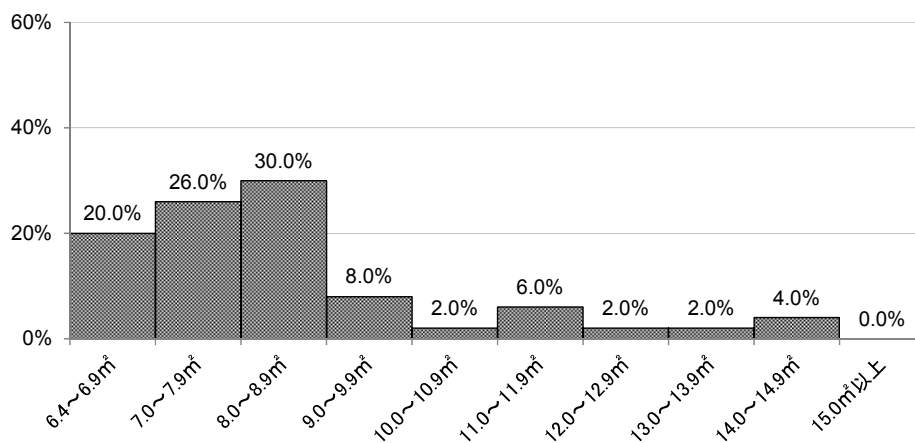
図表 2 - 2 - 49 【介護療養（診療所）】定員 1 人あたり病室面積（4 人室）（n=46）



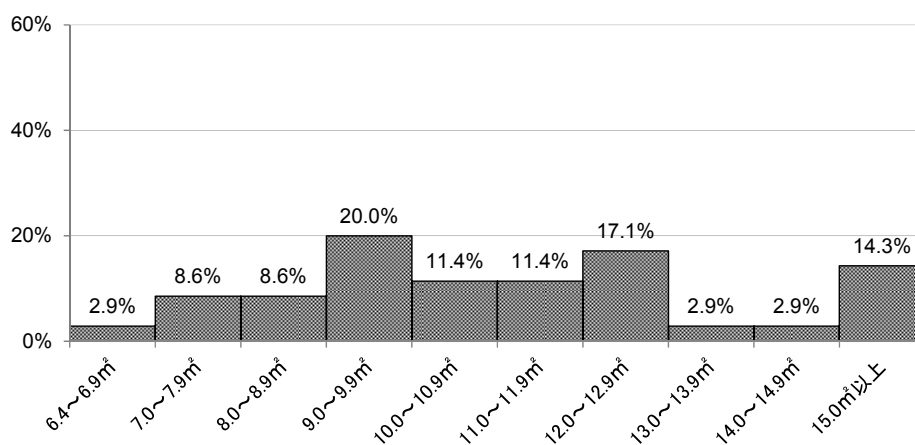
図表 2 - 2 - 50 【介護療養（診療所）】定員 1 人あたり病室面積（3 人室）（n=19）



図表 2 - 2 - 51 【介護療養（診療所）】定員1人あたり病室面積（2人室）（n=50）



図表 2 - 2 - 52 【介護療養（診療所）】定員1人あたり病室面積（個室）（n=35）



老人性認知症疾患療養病棟の1人あたり病室面積は、下図の通りであった。

図表 2 - 2 - 53 【介護療養（病院）】定員1人あたり病室面積（老人性認知症疾患療養病棟）

	4人室(n=8)	3人室(n=2)	2人室(n=6)	個室(n=7)
6.4~6.9m²	37.5%	50.0%	16.7%	
7.0~7.9m²	12.5%		50.0%	
8.0~8.9m²	37.5%			
9.0~9.9m²	12.5%	50.0%	33.3%	28.6%
10.0~10.9m²				14.3%
11.0~11.9m²				
12.0~12.9m²				28.6%
13.0~13.9m²				
14.0~14.9m²				
15.0m²以上				28.6%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑦ 看護職員数（実数）

介護療養型医療施設の看護職員数（実数）の平均値は、常勤で、病院が 55.0 人、診療所が 8.9 人、非常勤で、病院が 13.8 人、診療所が 2.8 人であった。

医療療養病床を有する病院では、常勤で、病院が 65.5 人、診療所が 8.3 人、非常勤で、病院が 15.1 人、診療所が 3.1 人であった。

図表 2 - 2 - 54 看護職員数（実数）

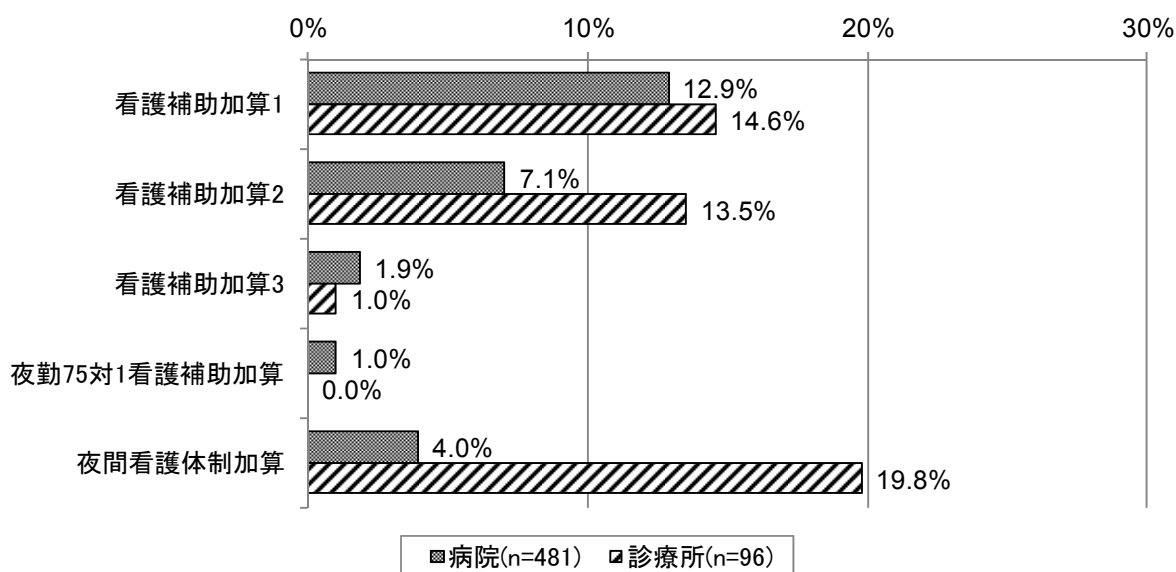
単位：人

			件数	平均	標準偏差	中央値	最大値	最小値
介護療養	常勤	病院	125	55.0	47.5	39.0	279	5
		診療所	42	8.9	4.1	8.0	20	2
	非常勤	病院	123	13.8	18.9	8.0	104	0
		診療所	36	2.8	2.1	2.0	8	0
医療療養	常勤	病院	429	65.5	54.5	48.0	294	2
		診療所	87	8.3	6.0	7.0	32	1
	非常勤	病院	421	15.1	33.1	9.0	617	0
		診療所	80	3.1	3.2	2.0	19	0

⑧ 看護補助加算の有無（医療保険適用の病床を有する医療施設）

医療保険適用の病床を有する病院の看護補助加算の状況は、「看護補助加算 1」が 12.9%、「看護補助加算 2」が 7.1%であった。また、同じく診療所では、「夜間看護体制加算」が 19.8%、「看護補助加算 1」が 14.6%であった。

図表 2 - 2 - 55 【医療療養】看護補助加算の有無（複数回答）

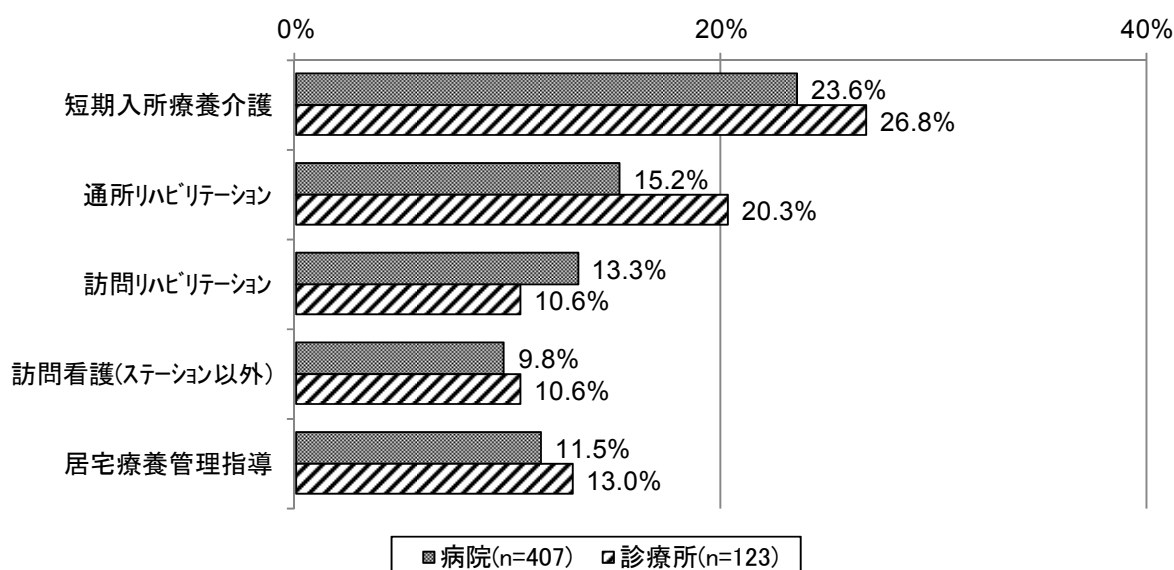


⑨ 実施しているサービス

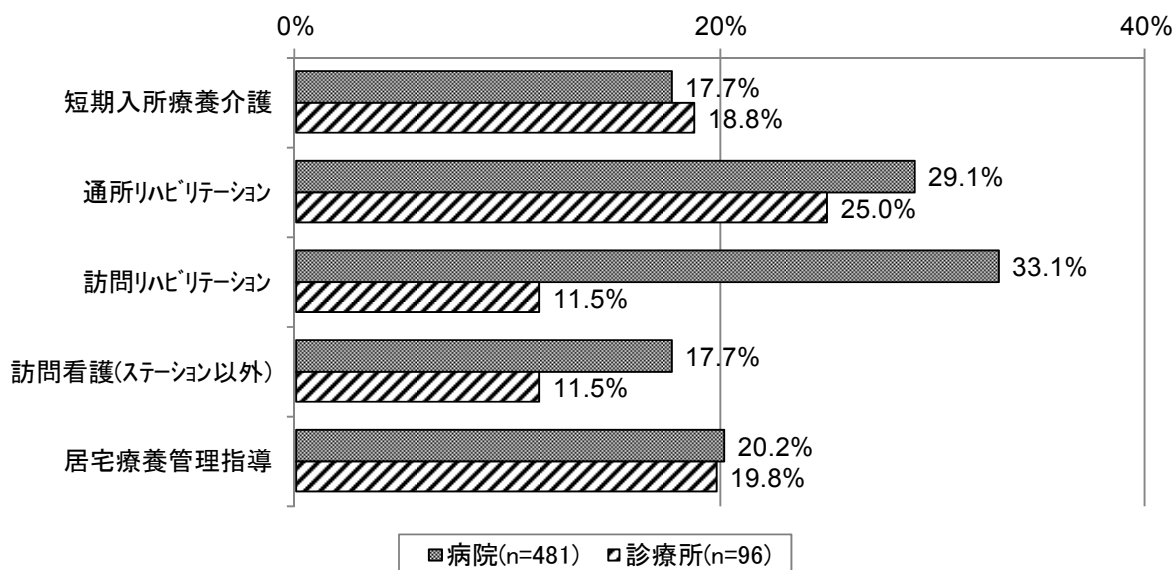
実施しているサービスは、介護療養型医療施設の病院で、「短期入所療養介護」が23.6%、「通所リハビリテーション」が15.2%であった。また、同じく診療所では、「短期入所療養介護」が26.8%、「通所リハビリテーション」が20.3%であった。

医療療養病床を有する病院は、「訪問リハビリテーション」が33.1%で、「通所リハビリテーション」が29.1%であった。また、同じく診療所では、「通所リハビリテーション」が25.0%で、「居宅療養管理指導」が19.8%であった。

図表 2-2-56 【介護療養】実施しているサービス（複数回答）（n=481）



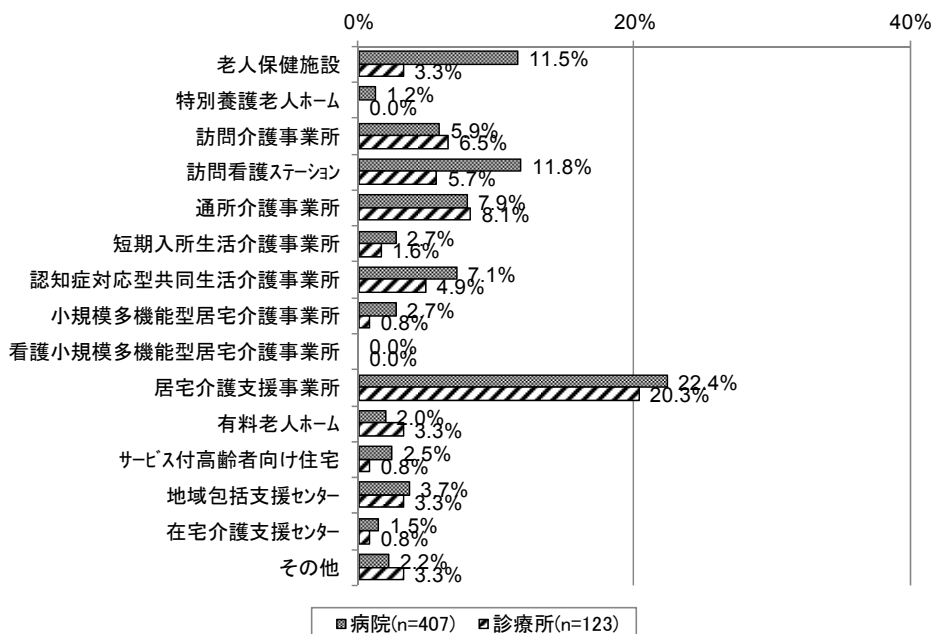
図表 2-2-57 【医療療養】実施しているサービス（複数回答）（n=96）



⑩ 併設している施設・事業所

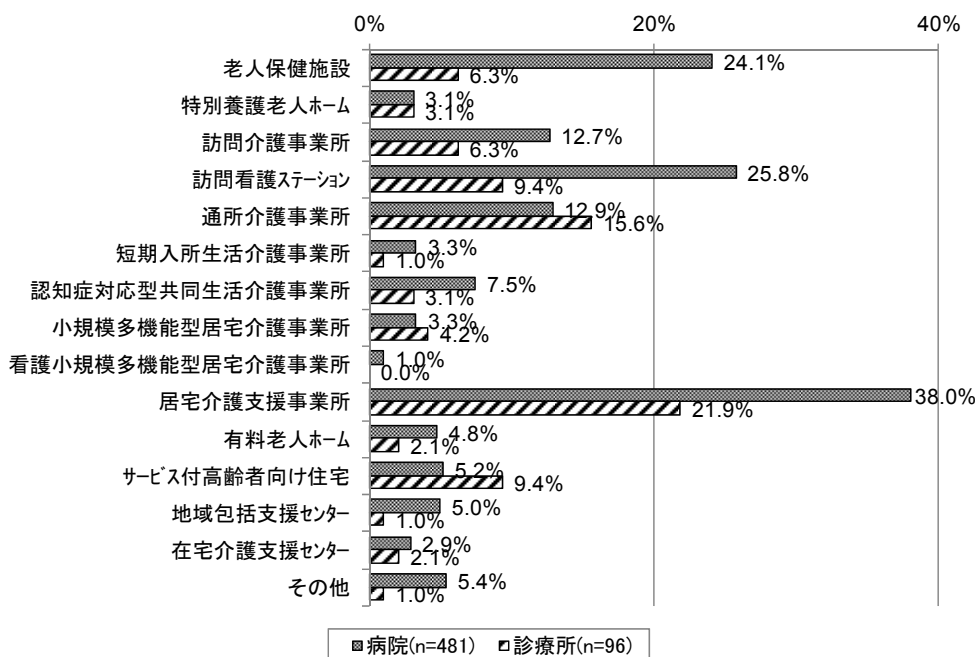
併設している施設・事業所は、介護療養型医療施設で、病院が「居宅介護支援事業所」が22.4%、「訪問看護ステーション」が11.8%であった。また、同じく診療所では、「居宅介護支援事業所」が20.3%、「通所介護事業所」が8.1%であった。

図表 2-2-58 【介護療養】併設している施設・事業所（複数回答）



医療療養病床を有する病院では、「居宅介護支援事業所」が38.0%、「訪問看護ステーション」が25.8%であった。また、同じく診療所では、「居宅介護支援事務所」が21.9%、「通所介護事業所」が15.6%であった。

図表 2-2-59 【医療療養】併設している施設・事業所（複数回答）



2. 職員体制

(1) 配置職員数（常勤換算数）

職員（常勤換算数）の合計は、病院は平均 43.1 人、診療所は平均 9.8 人、老人性認知症疾患療養病棟は平均 38.5 人であった。

そのうち、看護師については、病院は平均 8.6 人、診療所は平均 2.0 人、老人性認知症疾患療養病棟は平均 10.1 人であった。また、介護職員は、病院は平均 17.2 人、診療所は平均 2.9 人、老人性認知症疾患療養病棟は平均 16.2 人であった。

図表 2 - 2 - 60 【介護療養】職員体制（常勤換算数）（平均）

単位：人

	介護療養型医療施設（病院）(n=387)	介護療養型医療施設（診療所）(n=119)	老人性認知症疾患療養病棟(n=9)
医師	2.9	0.9	1.5
歯科医師	0.1	0.0	0.0
薬剤師	1.2	0.0	0.2
看護師	8.6	2.0	10.1
准看護師	6.7	2.8	6.8
介護職員	17.2	2.9	16.2
うち介護福祉士	8.9	1.1	8.4
歯科衛生士	0.2	0.0	0.1
理学療法士	1.9	0.4	0.1
作業療法士	1.0	0.0	1.3
言語聴覚士	0.5	0.0	0.2
栄養士	1.3	0.5	0.6
うち管理栄養士	1.1	0.3	0.8
精神保健福祉士	0.1	0.0	1.1
放射線技師	0.7	0.1	0.1
介護病床専従の事務職	0.7	0.2	0.2
合計	43.1	9.8	38.5

図表 2-2-61 【介護療養（病院）】職員体制（常勤換算数）（平均）（療養機能強化型の届出の状況別）

単位：人

	病院（療養機能強化型 A）（n=179）	病院（療養機能強化型 B）（n=38）	病院（療養機能強化型以外）（n=168）
医師	3.0	3.4	2.7
歯科医師	0.1	0.0	0.1
薬剤師	1.4	1.4	1.0
看護師	10.3	10.4	6.5
准看護師	7.5	8.1	5.6
介護職員	20.6	21.0	12.7
うち介護福祉士	11.6	10.1	5.8
歯科衛生士	0.2	0.2	0.1
理学療法士	2.1	2.4	1.4
作業療法士	1.3	1.6	0.7
言語聴覚士	0.7	0.7	0.3
栄養士	1.5	1.4	1.0
うち管理栄養士	1.2	1.2	0.9
精神保健福祉士	0.0	0.1	0.1
放射線技師	0.7	0.6	0.6
介護病床専従の事務職	0.9	1.0	0.5
合計	50.5	52.4	33.2

図表 2-2-62 【介護療養（診療所）】職員体制（常勤換算数）（平均）（療養機能強化型の届出の状況別）

単位：人

	診療所（療養機能強化型 A）（n=9）	診療所（療養機能強化型 B）（n=7）	診療所（療養機能強化型以外）（n=98）
医師	0.9	0.8	0.9
歯科医師	0.0	0.0	0.0
薬剤師	0.1	0.0	0.0
看護師	2.0	1.5	2.0
准看護師	2.0	3.2	2.9
介護職員	2.8	3.5	2.9
うち介護福祉士	1.7	1.1	1.0
歯科衛生士	0.0	0.1	0.0
理学療法士	0.3	0.2	0.4
作業療法士	0.0	0.0	0.0
言語聴覚士	0.0	0.0	0.0
栄養士	0.7	0.2	0.5
うち管理栄養士	0.7	0.1	0.3
精神保健福祉士	0.0	0.0	0.0
放射線技師	0.0	0.0	0.1
介護病床専従の事務職	0.4	0.1	0.2
合計	9.2	9.7	9.9

図表 2 - 2 -63 【医療療養】職員体制（常勤換算数）（平均）

単位：人

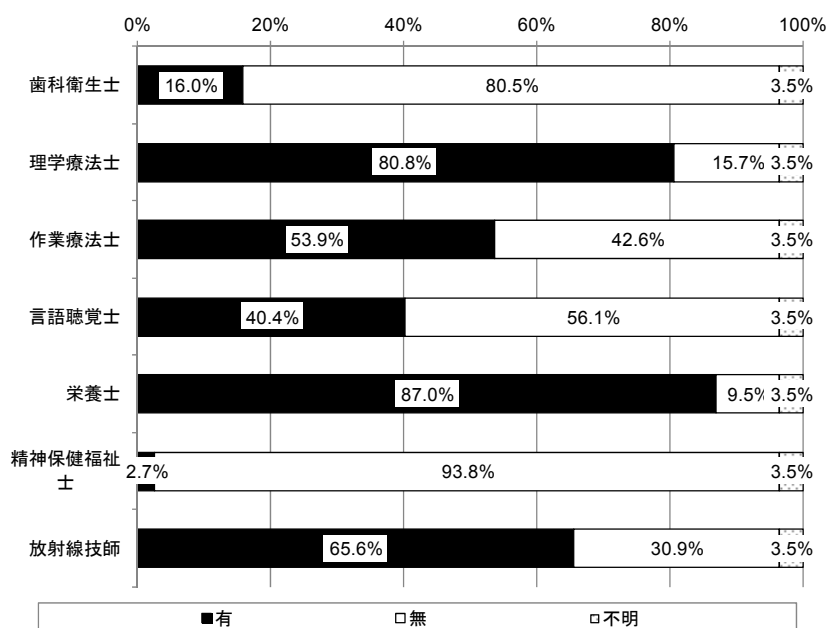
	療養病棟入院基本 料 1 (n=309)	療養病棟入院基本 料 2 (n=148)	有床診療所の療養 病床 (n=84)
医師	3.8	3.4	1.1
歯科医師	0.1	0.1	0.0
薬剤師	1.6	1.1	0.1
看護師	14.6	9.8	2.2
准看護師	8.3	7.3	3.1
介護補助者	18.1	14.6	2.7
歯科衛生士	0.2	0.2	0.1
理学療法士	3.1	2.0	0.3
作業療法士	1.6	0.9	0.1
言語聴覚士	0.8	0.3	0.0
栄養士	1.3	1.1	0.6
うち、管理栄養士	1.1	0.9	0.4
精神保健福祉士	0.1	0.0	0.0
放射線技師	1.0	1.0	0.1
療養病床専従の事務職	1.1	0.9	0.1
合計	56.9	43.6	10.9

2 職員体制

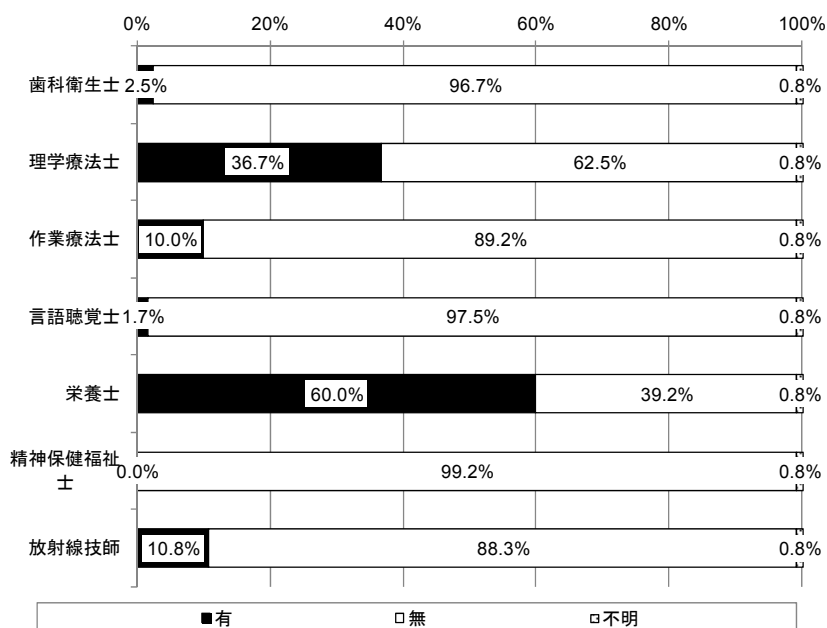
介護療養型医療施設について、職員配置の有無の「有」をみると、病院では「歯科衛生士」は16.0%、「理学療法士」は80.8%、「作業療法士」は53.9%、「言語聴覚士」は40.4%、「栄養士」は87.0%、「精神保健福祉士」は2.7%、「放射線技師」は65.6%であった。

診療所では「歯科衛生士」は2.5%、「理学療法士」は36.7%、「作業療法士」は10.0%、「言語聴覚士」は1.7%、「栄養士」は60.0%、「放射線技師」は10.8%であった。「精神保健福祉士」はいなかった。

図表 2 - 2 - 64 【介護療養（病院）】職員配置の有無（n=401）



図表 2 - 2 - 65 【介護療養（診療所）】職員配置の有無（n=120）



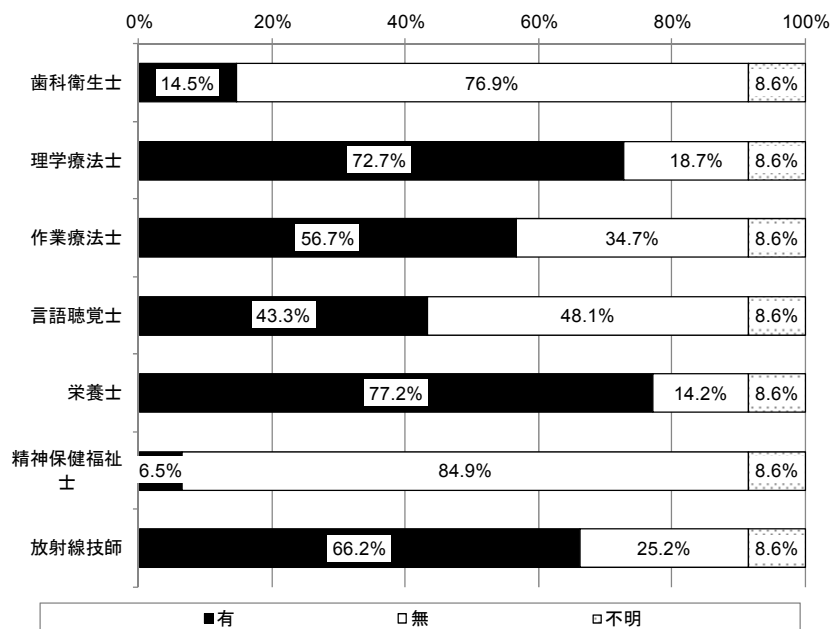
図表 2-2-66 【介護療養】職員配置の「有」の割合（療養機能強化型の届出の状況別）

	歯科衛生士	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	栄養士	精神保健福祉士	放射線技師
【病院】							
療養機能強化型 A (n=185)	17.8%	84.9%	65.4%	49.7%	88.6%	1.6%	72.4%
療養機能強化型 B (n=38)	23.7%	92.1%	63.2%	57.9%	94.7%	10.5%	71.1%
療養機能強化型以外 (n=175)	12.6%	74.3%	40.0%	27.4%	84.0%	2.3%	57.1%
【診療所】							
療養機能強化型 A (n=9)	0.0%	55.6%	11.1%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%
療養機能強化型 B (n=7)	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	14.3%
療養機能強化型以外 (n=99)	2.0%	37.4%	11.1%	2.0%	61.6%	0.0%	12.1%

2 職員体制

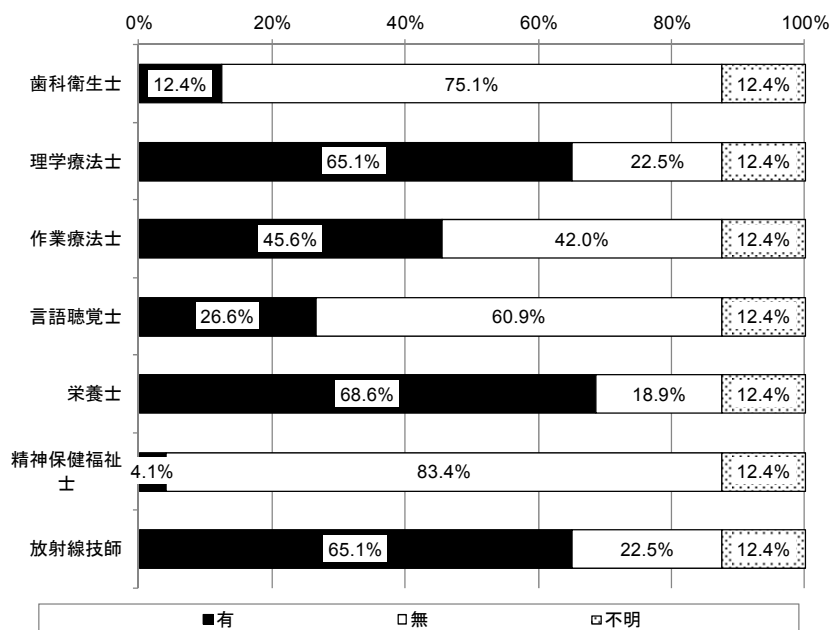
医療療養病床を有する医療施設について、職員配置の有無の「有」をみると、療養病棟入院基本料1では「栄養士」は77.2%、「理学療法士」は72.7%、「放射線技師」は66.2%であった。

図表 2-2-67 【医療療養】職員配置の有無（療養病棟入院基本料1）（n=337）



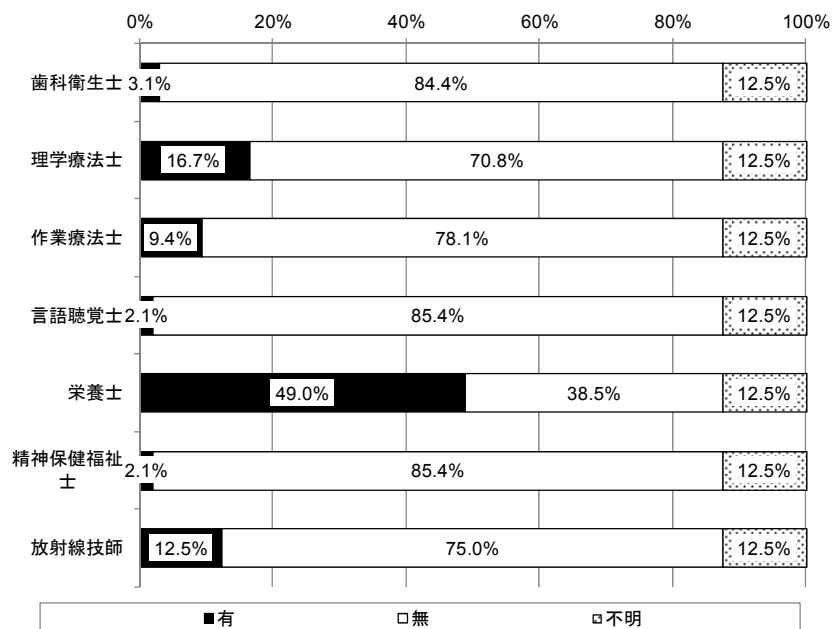
医療療養病床を有する医療施設について、職員配置の有無の「有」をみると、療養病棟入院基本料2では「栄養士」は68.6%、「理学療法士」と「放射線技師」は65.1%であった。

図表 2-2-68 【医療療養】職員配置の有無（療養病棟入院基本料2）（n=169）



また、有床診療所の療養病床については、「栄養士」が49.0%、理学療法士が16.7%であった。

図表 2 - 2 - 69 【医療療養】職員配置の有無（有床診療所の療養病床）（n=96）



(2) 夜勤等の体制

介護療養病床の病院では、夜勤は、看護師が平均 0.9 人、准看護師が 0.8 人、介護職員が 2.0 人であった。介護職員のうち、認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けた者はほとんどいなかった。

図表 2-2-70 【介護療養】夜勤等の体制（平均）

単位：人

	介護療養 病床：病院 (n=340)	介護療養 病床：診療 所(n=107)	認知症疾 患療養病 棟 (n=9)
夜勤			
看護師	0.9	0.3	2.4
准看護師	0.8	0.6	0.9
介護職員	2.0	0.2	3.0
(うち) 認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けた者	0.0	0.0	0.0
宿直	0.1	0.3	0.3
オンコール対応	0.1	0.3	0.0

図表 2-2-71 【医療療養】夜勤等の体制（平均）

単位：人

	療養病棟入院基 本料 1 (n=328)	療養病棟入院基 本料 2 (n=151)	診療所 (n=89)
夜勤			
看護師	1.5	1.1	0.3
准看護師	0.9	0.8	0.6
看護補助者	2.0	1.7	0.3
宿直	0.2	0.1	0.4
オンコール対応	0.1	0.1	0.1

図表 2-2-72 【介護療養】夜勤等の有無

夜勤看護師	合計	あり	なし	不明
介護療養病床：病院	401 100.0%	231 57.6%	109 27.2%	61 15.2%
介護療養病床：診療所	120 100.0%	29 24.2%	78 65.0%	13 10.8%
認知症疾患療養病棟	9 100.0%	9 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

夜勤准看護師	合計	あり	なし	不明
介護療養病床：病院	401 100.0%	191 47.6%	149 37.2%	61 15.2%
介護療養病床：診療所	120 100.0%	62 51.7%	45 37.5%	13 10.8%
認知症疾患療養病棟	9 100.0%	5 55.6%	4 44.4%	0 0.0%

夜勤介護職員	合計	あり	なし	不明
介護療養病床：病院	401 100.0%	330 82.3%	10 2.5%	61 15.2%
介護療養病床：診療所	120 100.0%	22 18.3%	85 70.8%	13 10.8%
認知症疾患療養病棟	9 100.0%	8 88.9%	1 11.1%	0 0.0%

夜勤：認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けた者（再掲）	合計	あり	なし	不明
介護療養病床：病院	401 100.0%	3 0.7%	337 84.0%	61 15.2%
介護療養病床：診療所	120 100.0%	0 0.0%	107 89.2%	13 10.8%
認知症疾患療養病棟	9 100.0%	0 0.0%	9 100.0%	0 0.0%

宿直看護職員	合計	あり	なし	不明
病院	401 100.0%	24 6.0%	316 78.8%	61 15.2%
診療所	120 100.0%	26 21.7%	81 67.5%	13 10.8%
認知症疾患療養病棟	9 100.0%	3 33.3%	6 66.7%	0 0.0%

2 職員体制

オンコール看護職員	合計	あり	なし	不明
病院	401 100.0%	14 3.5%	326 81.3%	61 15.2%
診療所	120 100.0%	17 14.2%	90 75.0%	13 10.8%
認知症疾患療養病棟	9 100.0%	0 0.0%	9 100.0%	0 0.0%

図表 2-2-73 【介護療養】夜勤等の体制（配置が有る場合のみ（0の場合を除く））

単位：人

【夜勤看護師】	件数	平均	標準偏差	中央値
介護療養病床：病院	231	1.3	0.6	1.0
介護療養病床：診療所	29	1.0	0.2	1.0
認知症疾患療養病棟	9	2.4	2.9	1.0
【夜勤准看護師】	件数	平均	標準偏差	中央値
介護療養病床：病院	191	1.3	0.8	1.0
介護療養病床：診療所	62	1.0	0.1	1.0
認知症疾患療養病棟	5	1.6	1.3	1.0
【夜勤介護職員】	件数	平均	標準偏差	中央値
介護療養病床：病院	330	2.1	1.7	2.0
介護療養病床：診療所	22	1.0	0.2	1.0
認知症疾患療養病棟	8	3.4	4.1	1.5
【夜勤認定特定行為業務従事者 認定証の交付を受けた者】	件数	平均	標準偏差	中央値
介護療養病床：病院	3	2.0	-	2.0
介護療養病床：診療所	0	-	-	-
認知症疾患療養病棟	0	-	-	-
【宿直看護職員】	件数	平均	標準偏差	中央値
介護療養病床：病院	24	1.2	0.5	1.0
介護療養病床：診療所	26	1.2	1.2	1.0
認知症疾患療養病棟	3	1.0	-	1.0
【オンコール看護職員】	件数	平均	標準偏差	中央値
介護療養病床：病院	14	1.2	0.8	1.0
介護療養病床：診療所	17	1.6	2.7	1.0
認知症疾患療養病棟	0	-	-	-

図表 2-2-74 【医療療養】夜勤等の体制（配置が有る場合のみ（0の場合を除く））

単位：人

【夜勤看護師】	件数	平均	標準偏差	中央値
療養病棟入院基本料 1	261	1.9	1.4	1.0
療養病棟入院基本料 2	106	1.5	0.9	1.0
診療所	22	1.1	0.3	1.0
【夜勤准看護師】	件数	平均	標準偏差	中央値
療養病棟入院基本料 1	175	1.6	1.0	1.0
療養病棟入院基本料 2	80	1.4	0.9	1.0
診療所	46	1.1	0.6	1.0
【夜勤看護補助者】	件数	平均	標準偏差	中央値
療養病棟入院基本料 1	291	2.2	2.0	2.0
療養病棟入院基本料 2	134	1.9	1.5	2.0
診療所	23	1.0	-	1.0
【宿直看護職員】	件数	平均	標準偏差	中央値
療養病棟入院基本料 1	37	1.5	0.9	1.0
療養病棟入院基本料 2	8	1.6	1.4	1.0
診療所	29	1.1	0.3	1.0
【オンコール看護職員】	件数	平均	標準偏差	中央値
療養病棟入院基本料 1	14	1.4	0.8	1.0
療養病棟入院基本料 2	9	1.0	-	1.0
診療所	9	1.3	0.5	1.0

3. 入院患者について

① 入院患者数

平成 28 年 10 月 5 日 24 時時点に該当の療養病床に入院している患者数の平均は、介護療養型医療施設の病院の介護療養病床では 52.1 人、診療所の介護療養病床では 7.4 人、医療療養病床を有する医療施設では、病院の医療療養病床では 58.9 人、診療所の医療療養病床では 6.7 人であった。

図表 2 - 2 - 75 入院患者数

単位：人

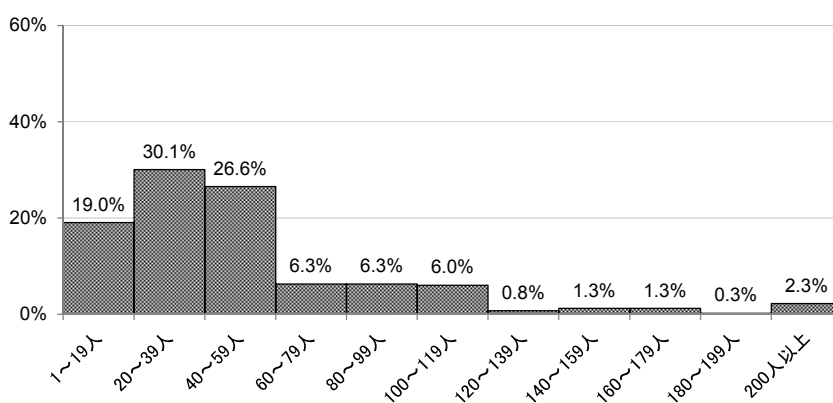
	件数	平均	標準偏差	中央値
介護療養型医療施設	512	42.2	44.6	31.0
病院	399	52.1	46.0	40.0
診療所	113	7.4	4.3	6.0
医療療養病床	611	49.8	49.1	39.0
病院	505	58.9	49.4	45.0
診療所	106	6.7	5.5	5.0

注) 医療療養病床の病院の入院患者数は病棟種類別に集計した人数である。(療養病棟入院基本料 1 と 2 を有する場合には、別に計上している。)

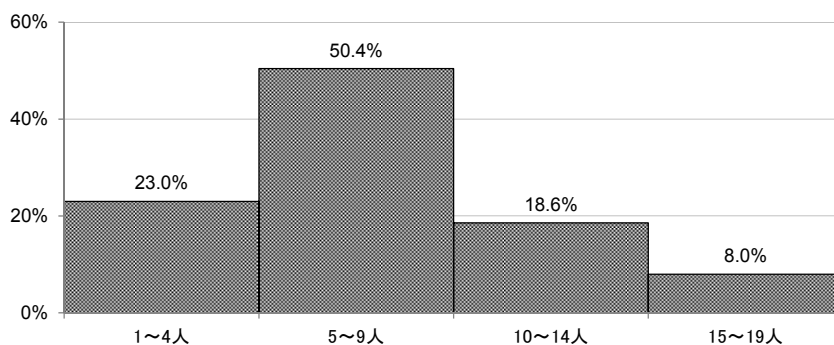
② 介護療養型医療施設の入院患者数

介護療養型医療施設の入院患者数は、病院では「20～39 人」が 30.1%、診療所では「5～9 人」が 50.4%であった。

図表 2 - 2 - 76 【介護療養（病院）】入院患者数 (n=399)

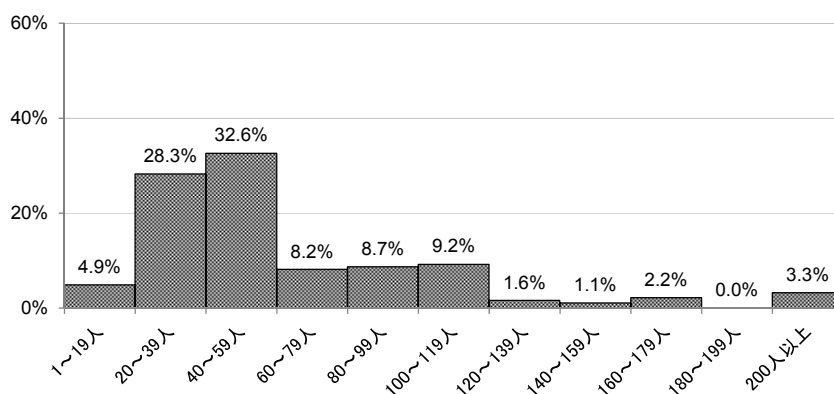


図表 2 - 2 - 77 【介護療養（診療所）】入院患者数（n=113）

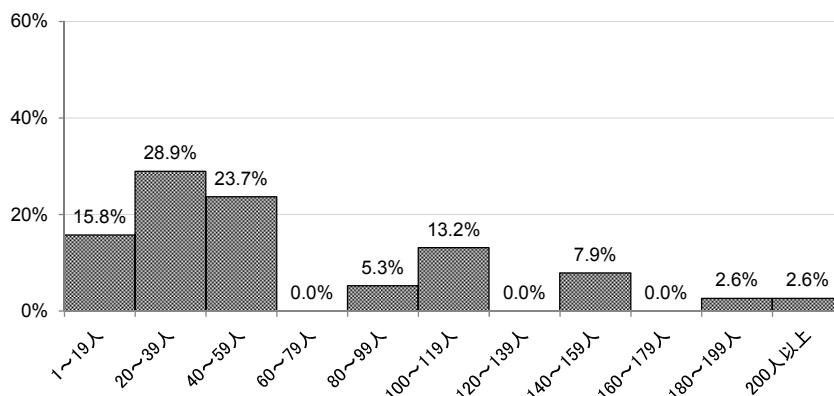


療養機能強化型の届出の状況別の病院の入院患者数をみると、「療養機能強化型 A」は「40～59 人」が 32.6%、「療養機能強化型 B」は「20～39 人」が 28.9%、「療養機能強化型以外」は「1～19 人」が 35.1%であった。

図表 2 - 2 - 78 【介護療養（病院）】入院患者数（療養機能強化型 A）（n=184）

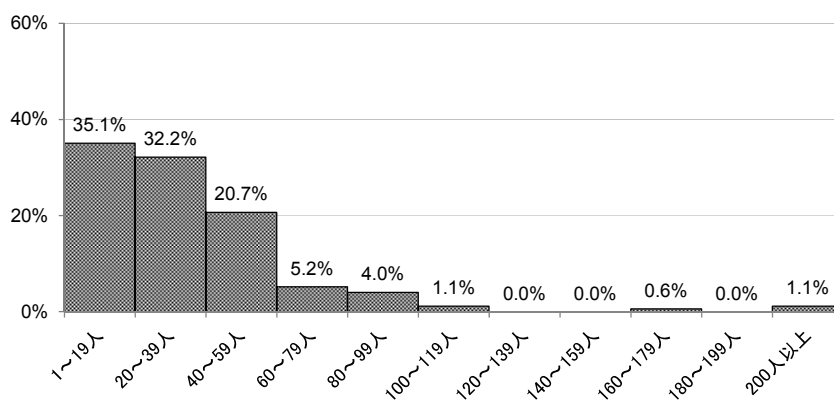


図表 2 - 2 - 79 【介護療養（病院）】入院患者数（療養機能強化型 B）（n=38）



3 入院患者について

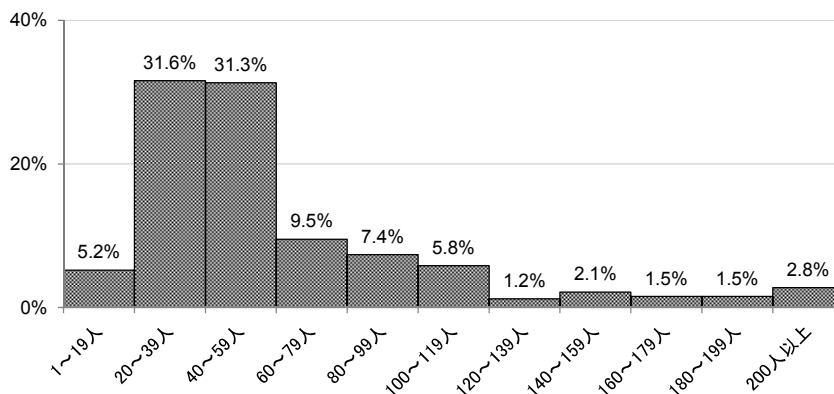
図表 2 - 2 - 80 【介護療養（病院）】入院患者数（療養機能強化型以外）（n=174）



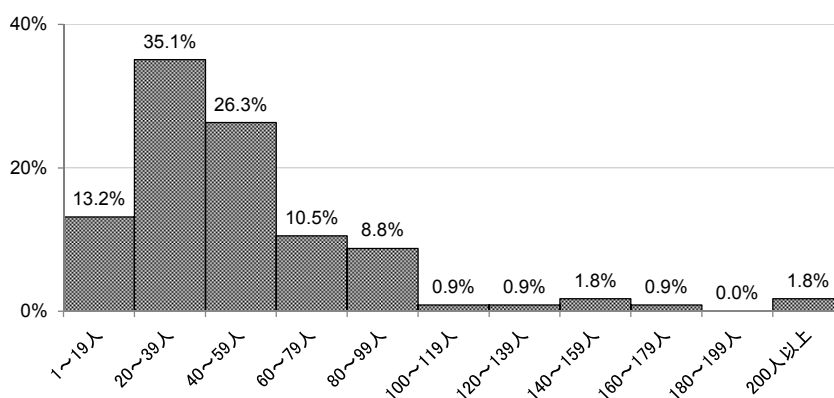
③ 医療療養病床を有する医療施設の入院患者数

医療療養病床を有する病院の入院患者数は、療養病棟入院基本料 1 の病棟で「20～39人」が31.6%、療養病棟入院基本料 2（看護配置 25:1 以上、医療区分 2・3 の患者 5割以上）の病棟で「20～39人」が35.1%、療養病棟入院基本料 2（その他）の病棟で「20～39人」が34.0%、有床診療所療養病床入院基本料で「1～4人」が47.7%であった。

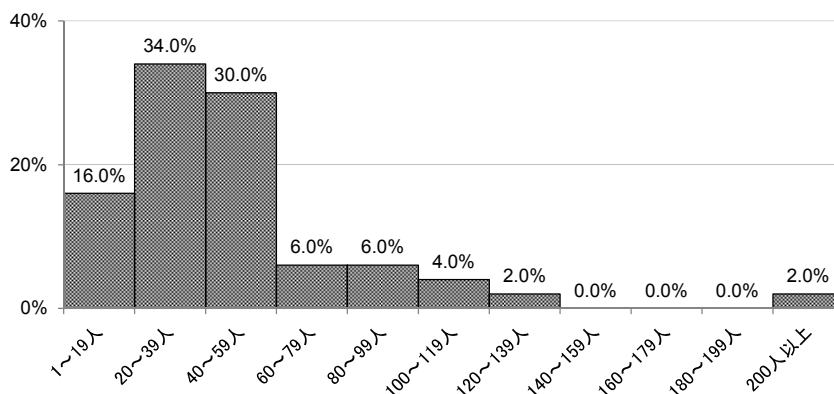
図表 2-2-81 【医療療養】入院患者数（療養病棟入院基本料 1）（n=326）



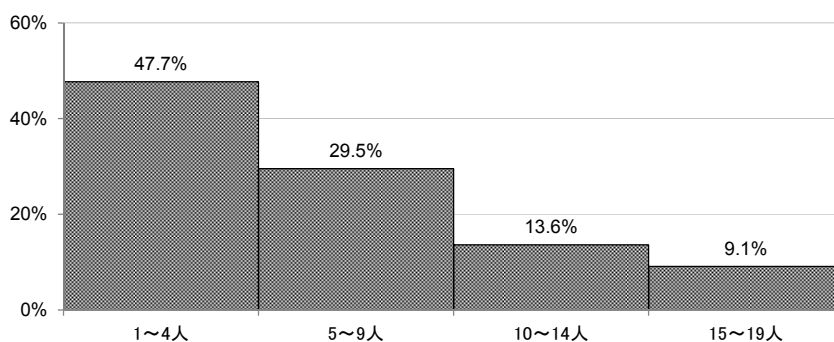
図表 2-2-82 【医療療養】入院患者数（療養病棟入院基本料 2(看護配置 25:1 以上、医療区分 2・3 の患者 5割以上)）（n=114）



図表 2-2-83 【医療療養】入院患者数（療養病棟入院基本料 2(その他)の入院患者数）（n=50）



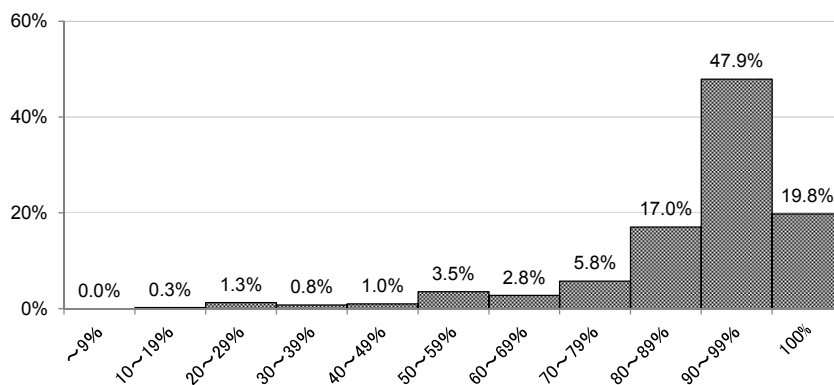
図表 2 - 2 - 84 【医療療養】入院患者数（有床診療所療養病床入院基本料）（n=88）



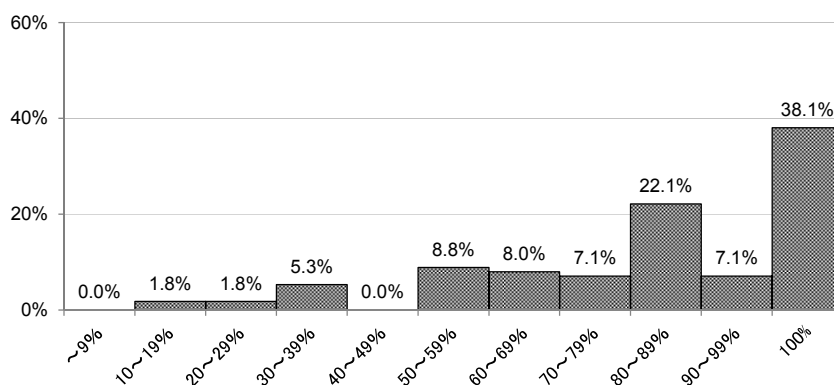
④ 介護療養型医療施設の介護療養病床の病床利用率

介護療養病床の病床利用率をみると、病院では「90～99%」が47.9%であった。また、同じく診療所では、「100%」が38.1%であった。

図表 2 - 2 - 85 【介護療養（病院）】介護療養病床の病床利用率（n=399）



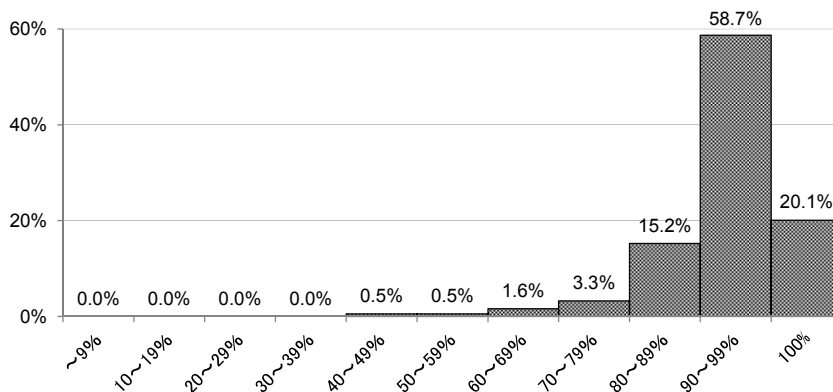
図表 2 - 2 - 86 【介護療養（診療所）】介護療養病床の病床利用率（n=113）



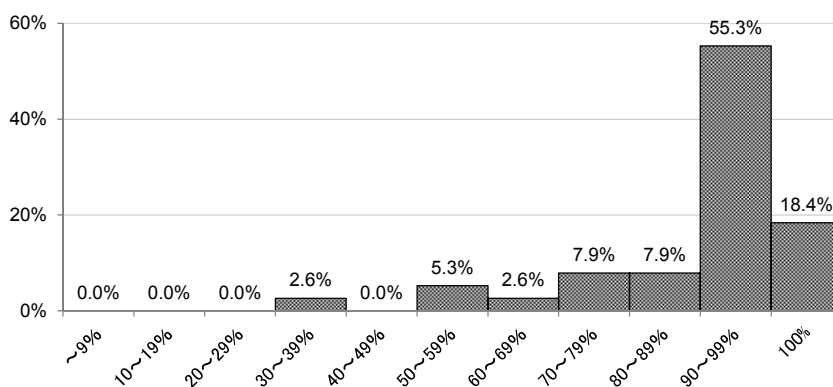
療養機能強化型の届出の状況別の介護療養病床の病床利用率をみると、病院では、療養機能強化型 A で「90～99%」が 58.7%、療養機能強化型 B で「90～99%」が 55.3%、療養機能強化型以外で、「90～99%」が 35.1%であった。

また、同じく診療所では、療養機能強化型 A で「100%」が 37.5%、療養機能強化型 B で「100%」が 50.0%、療養機能強化型以外で「100%」が 37.2%であった。

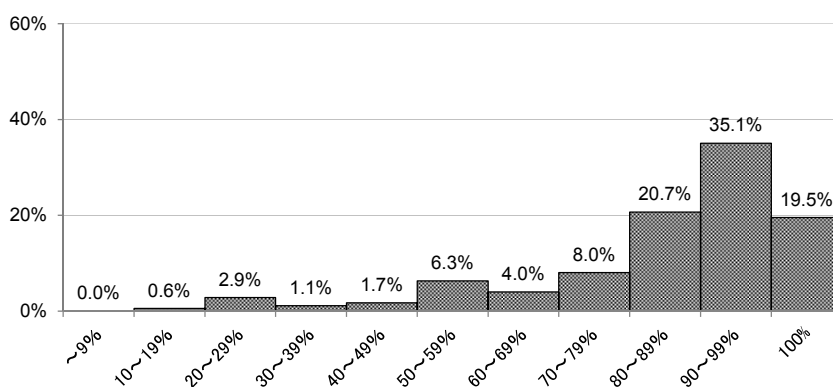
図表 2 - 2 - 87 【介護療養（病院）】介護療養病床の病床利用率（療養機能強化型 A）（n=184）



図表 2 - 2 - 88 【介護療養（病院）】介護療養病床の病床利用率（療養機能強化型 B）（n=38）



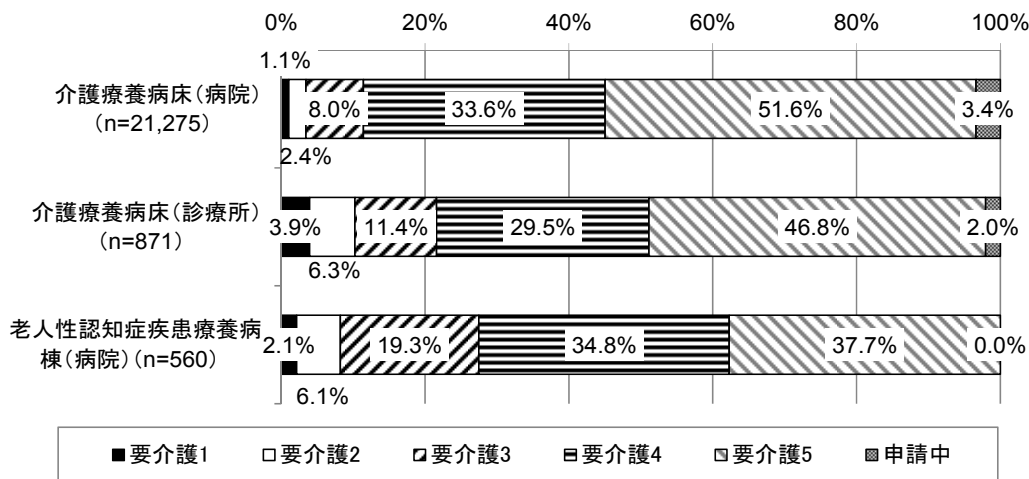
図表 2 - 2 - 89 【介護療養（病院）】介護療養病床の病床利用率（療養機能強化型以外）（n=174）



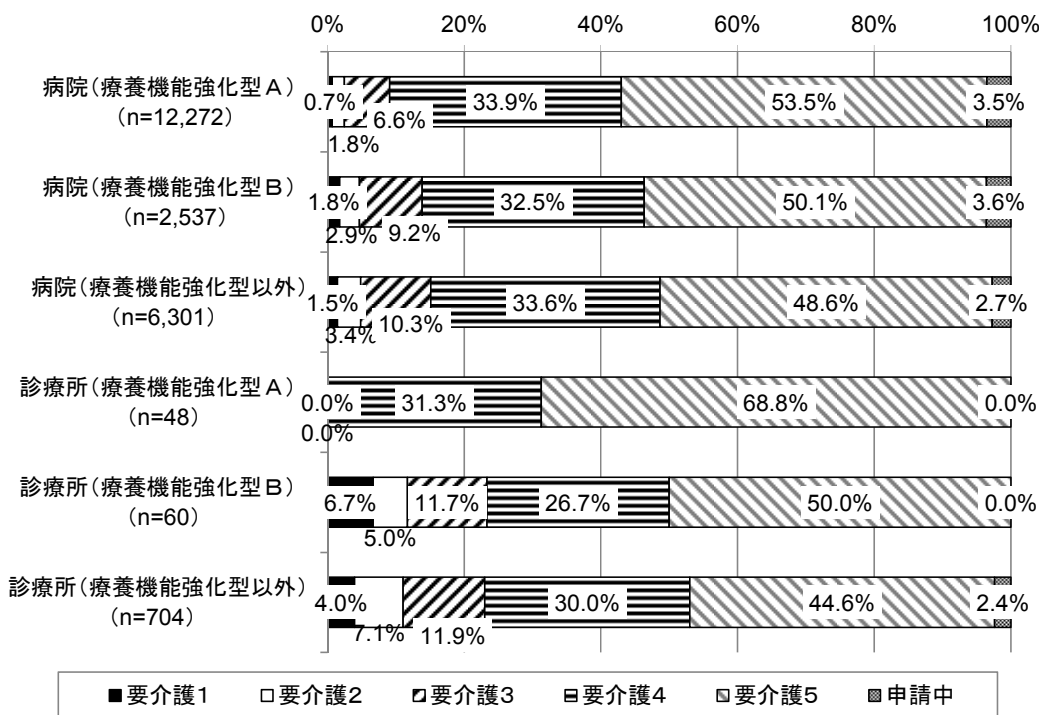
⑤ 要介護度別人数

介護療養型医療施設の入院患者数(実人数)の要介護度別の内訳は、「要介護4以上」の割合をみると、病院が85.2%、診療所が76.3%、老人性認知症疾患療養病棟が72.5%であった。療養機能強化型の届出の状況別では、病院(療養機能強化型A)で87.4%、病院(療養機能強化型B)で82.6%、病院(療養機能強化型以外)で82.2%であった。

図表 2 - 2 - 90 【介護療養】要介護度別の内訳

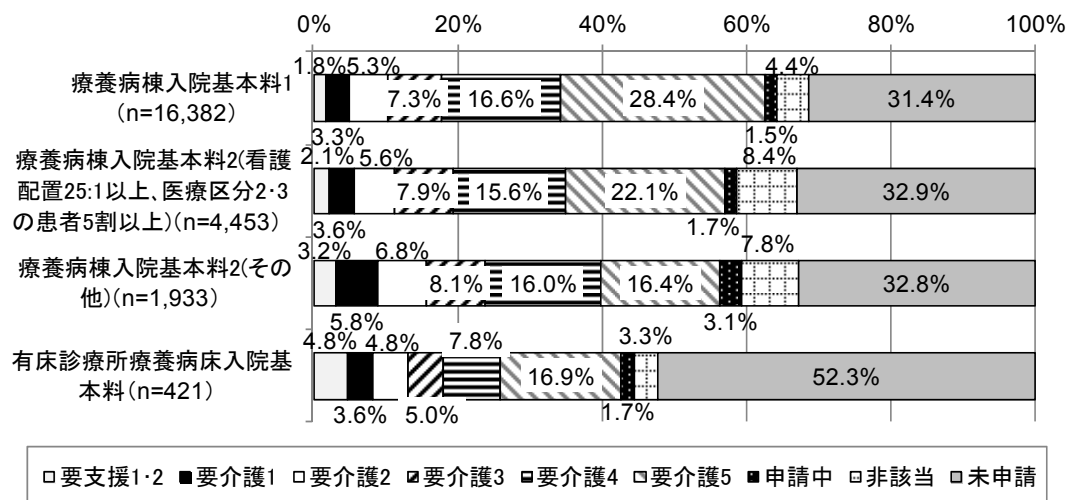


図表 2 - 2 - 91 【介護療養】要介護度別の内訳(療養機能強化型の届出の状況別)



医療療養病床を有する医療施設では、「未申請」の割合がいずれも最も高かった。

図表 2 - 2 - 92 【医療療養】要介護度別の内訳

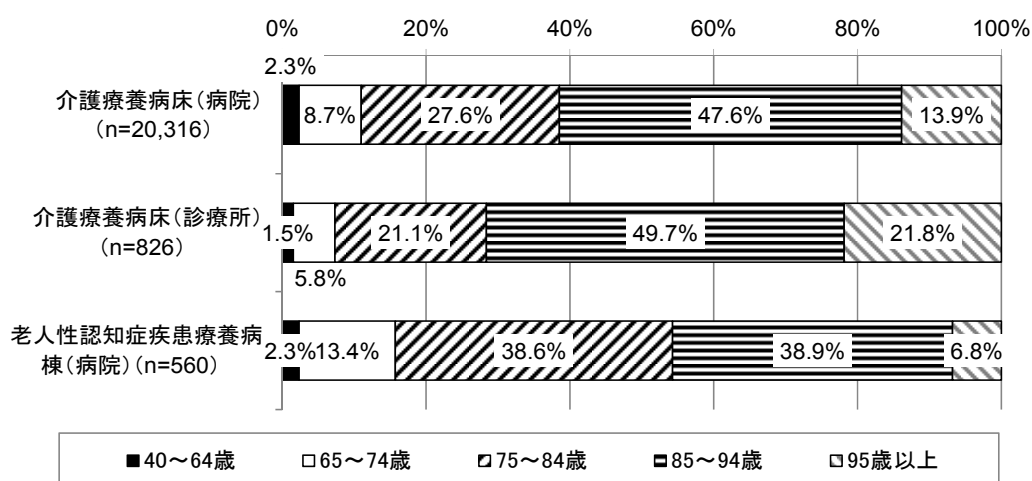


⑥ 年齢階級別人数

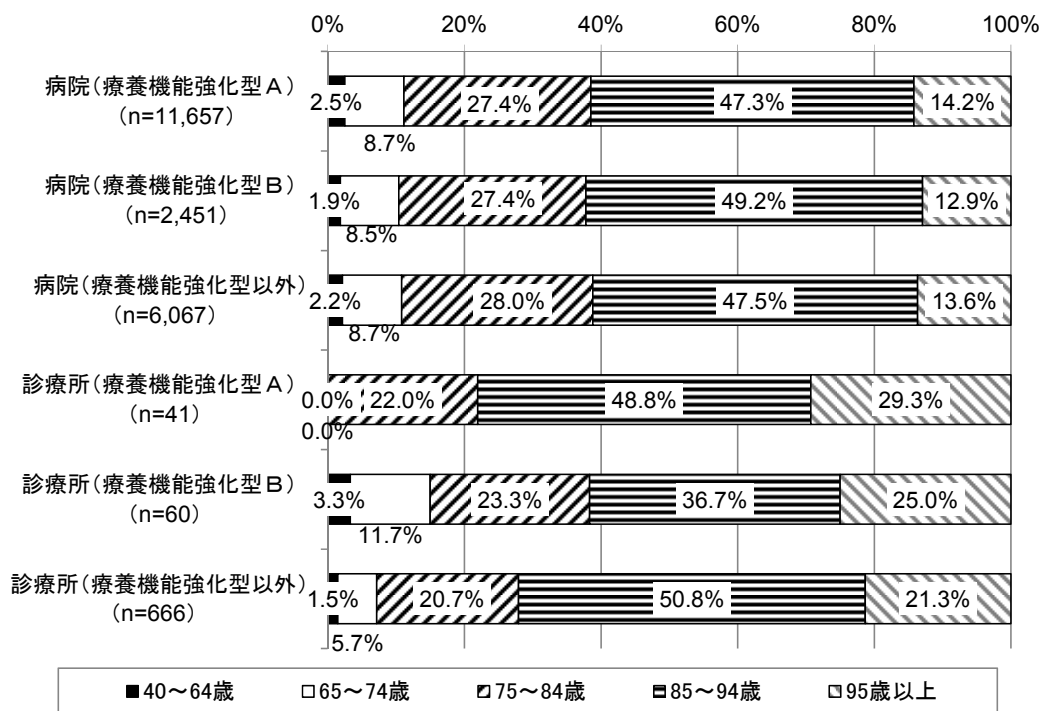
入院患者数（実人数）の年齢階級別の内訳は、「85歳以上」の割合をみると、介護療養病床（病院）で61.5%、介護療養病床（診療所）で71.5%、老人性認知症疾患療養病棟（病院）で45.7%であった。

療養機能強化型の届出の状況別では、病院（療養機能強化型A）で61.5%、病院（療養機能強化型B）で62.1%、病院（療養機能強化型以外）で61.1%であった。

図表 2 - 2 - 93 【介護療養】年齢階級別の内訳

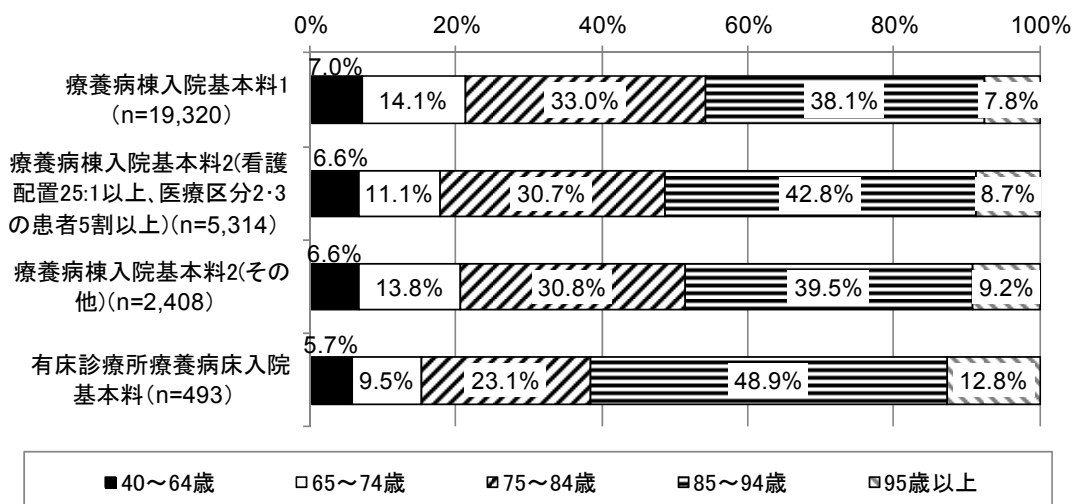


図表 2-2-94 【介護療養】年齢階級別の内訳（療養機能強化型の届出の状況別）



医療療養病床を有する医療施設では、同じく「85歳以上」の割合は、療養病棟入院基本料1で45.9%、療養病棟入院基本料2（看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上）で51.5%、療養病棟入院基本料2（その他）で48.7%、有床診療所療養病床入院基本料で61.7%であった。

図表 2-2-95 【医療療養】年齢階級別の内訳

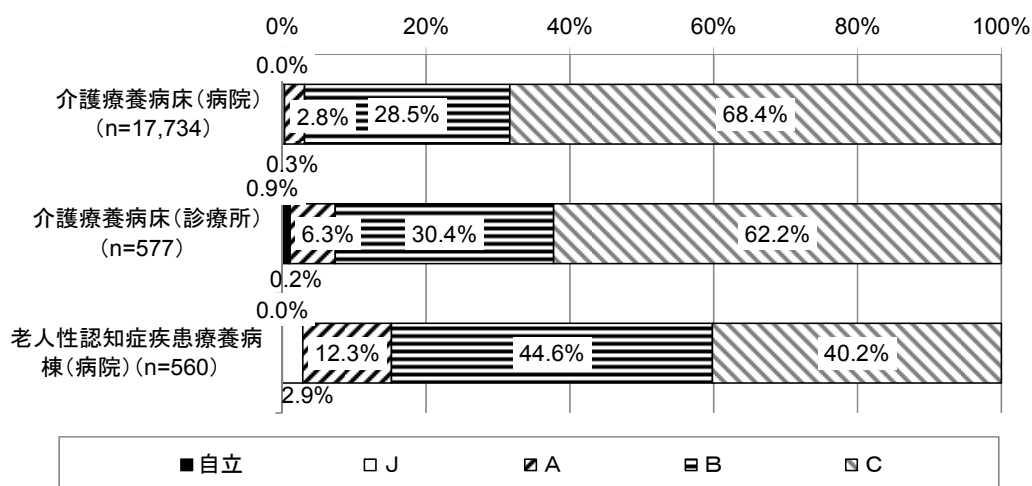


⑦ 障害高齢者の日常生活自立度別人数

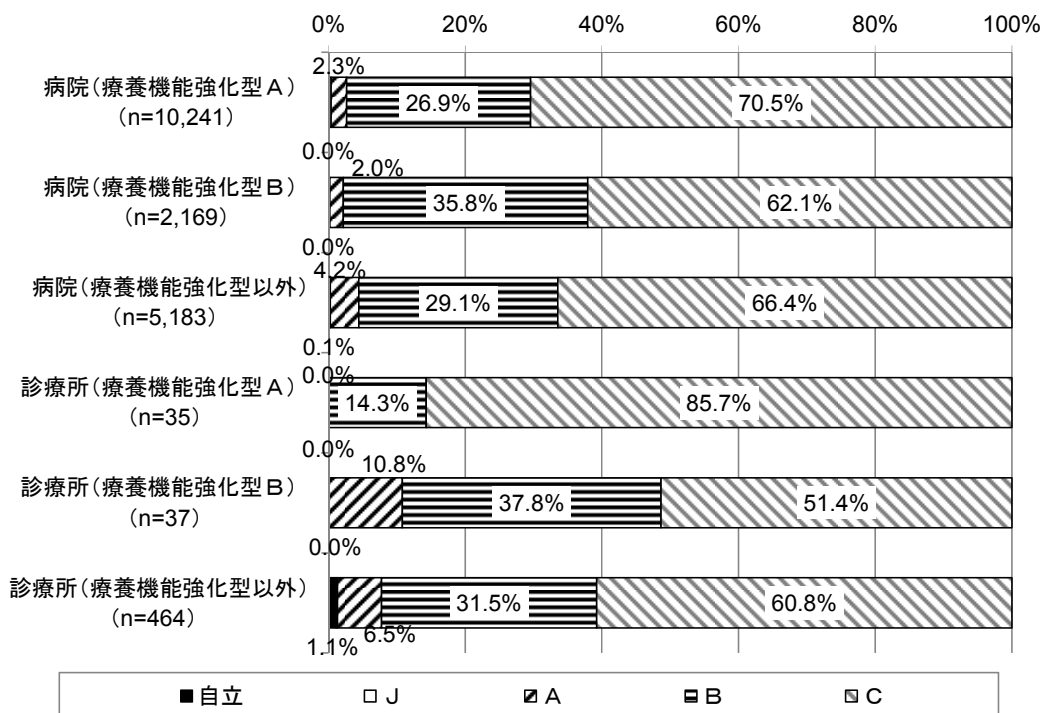
入院患者数（実人数）の障害高齢者の日常生活自立度別の内訳は、「C」の割合をみると、介護療養病床（病院）で68.4%、介護療養病床（診療所）で62.2%、老人性認知症疾患療養病棟（病院）で40.2%であった。

療養機能強化型の届出の状況別では、病院（療養機能強化型A）で70.5%、病院（療養機能強化型B）で62.1%、病院（療養機能強化型以外）で66.4%であった。

図表 2 - 2 - 96 【介護療養】障害高齢者の日常生活自立度別の内訳



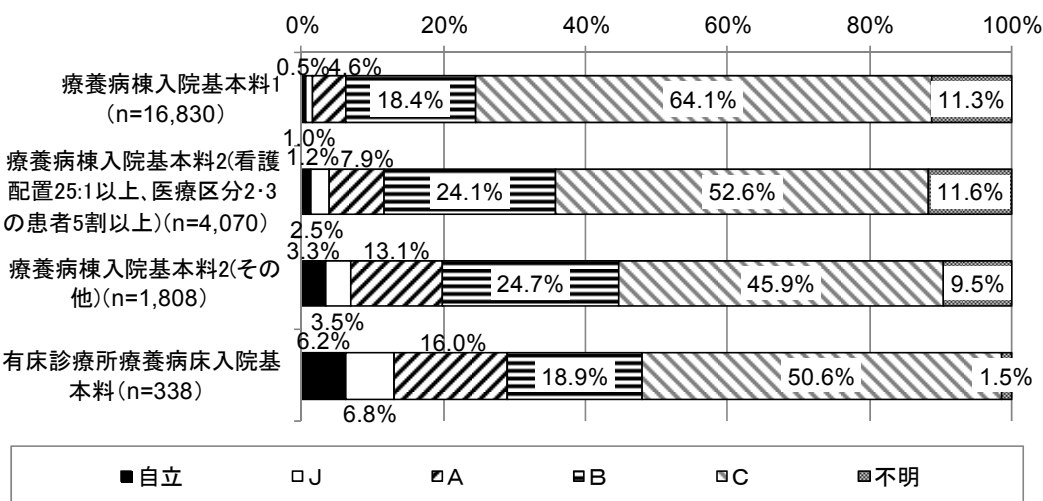
図表 2 - 2 - 97 【介護療養】障害高齢者の日常生活自立度別の内訳（療養機能強化型の届出の状況別）



3 入院患者について

医療療養病床を有する医療施設では、同じく「C」の割合は、療養病棟入院基本料1で64.1%、療養病棟入院基本料2（看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上）で52.6%、療養病棟入院基本料2（その他）で45.9%、有床診療所療養病床入院基本料で50.6%であった。

図表 2 - 2 - 98 【医療療養】 障害高齢者の日常生活自立度別の内訳

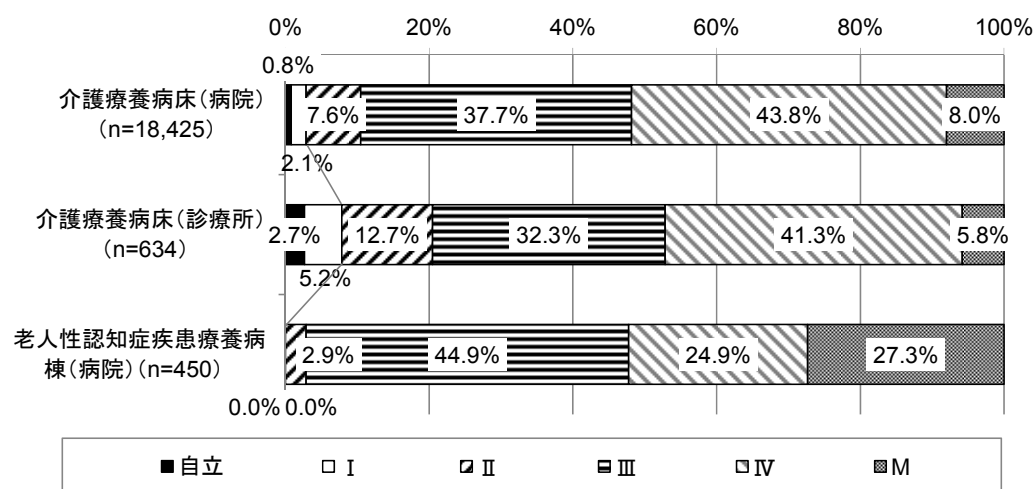


⑧ 認知症高齢者の日常生活自立度別人数

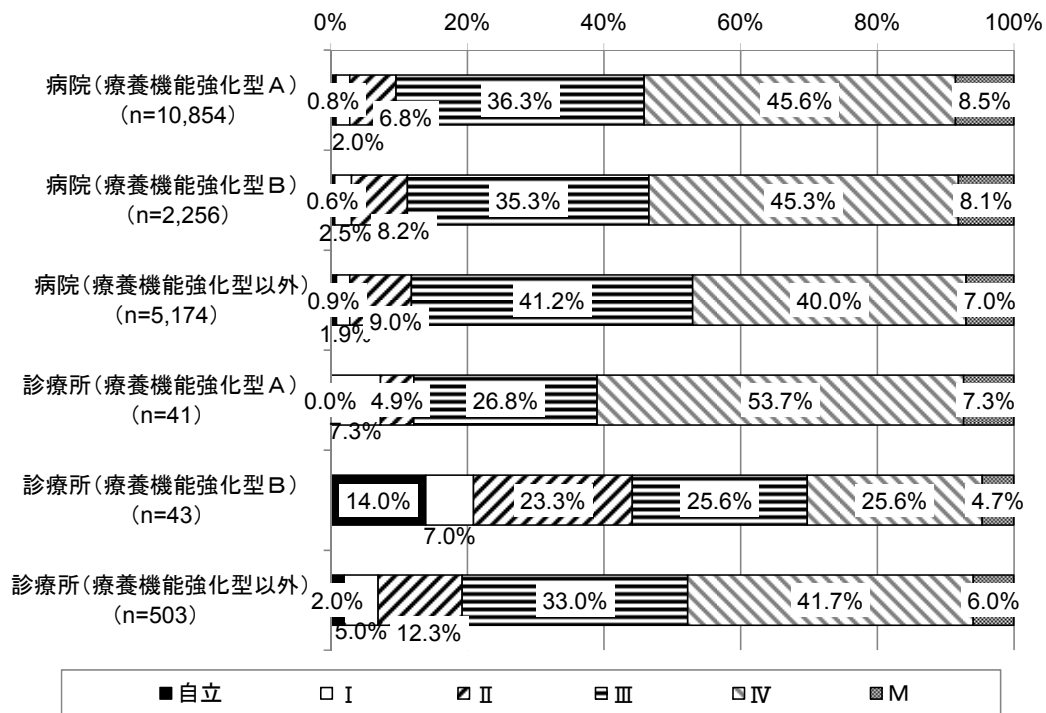
入院患者数（実人数）の認知症高齢者の日常生活自立度別の内訳は、「IV+M」の割合をみると、介護療養病床（病院）で51.8%、介護療養病床（診療所）で47.1%、老人性認知症疾患療養病棟（病院）で52.2%であった。

療養機能強化型の届出の状況別では、病院（療養機能強化型A）で54.1%、病院（療養機能強化型B）で53.4%、病院（療養機能強化型以外）で47.0%であった。

図表 2 - 2 - 99 【介護療養】 認知症高齢者の日常生活自立度別の内訳

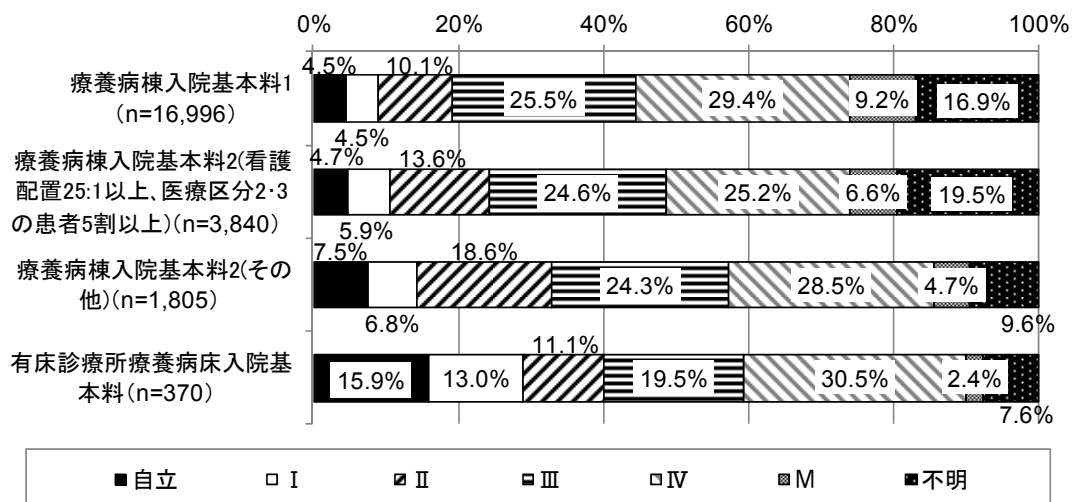


図表 2 - 2 - 100 【介護療養】認知症高齢者の日常生活自立度別の内訳（療養機能強化型の届出の状況別）



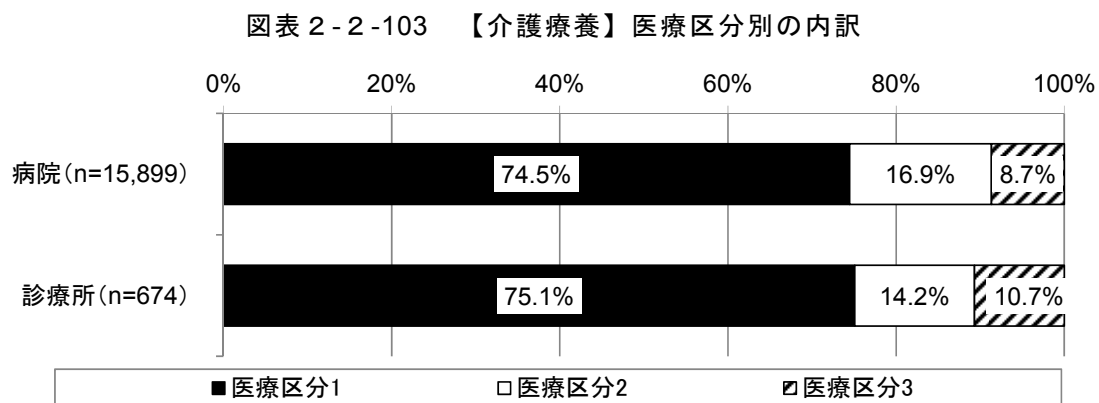
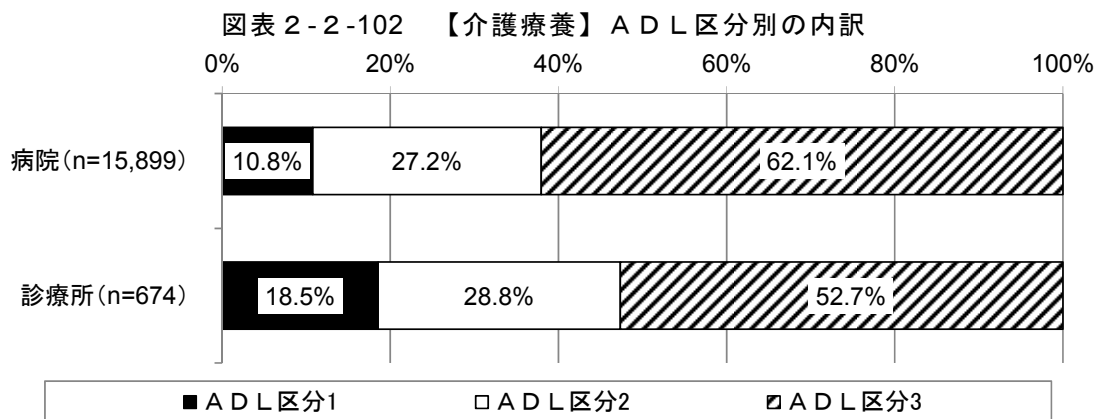
医療療養病床を有する医療施設では、同じく「IV + M」の割合は、療養病棟入院基本料 1 で 38.6%、療養病棟入院基本料 2（看護配置 25:1 以上、医療区分 2・3 の患者 5 割以上）で 31.8%、療養病棟入院基本料 2（その他）で 33.2%、有床診療所療養病床入院基本料で 32.9%であった。

図表 2 - 2 - 101 【医療療養】認知症高齢者の日常生活自立度別の内訳



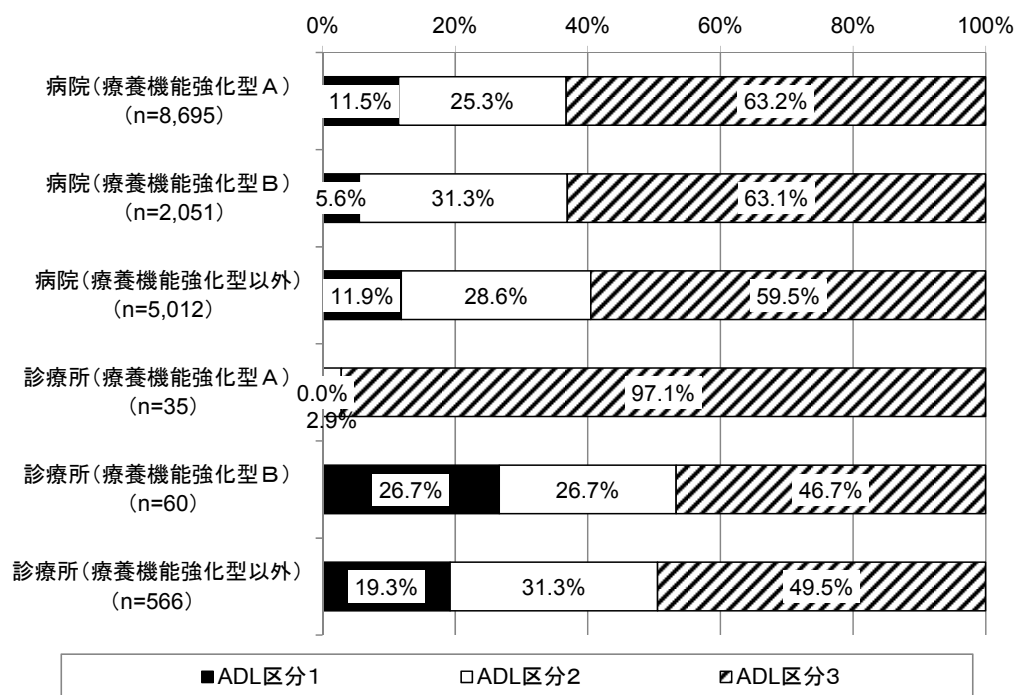
⑨ ADL区分・医療区分別の人数

介護療養型医療施設の入院患者数（実人数）のADL区分別の内訳は、「ADL区分3」をみると、病院で62.1%、診療所で52.7%であった。また、医療区分別の内訳は、「医療区分3」をみると、病院で8.7%、診療所で10.7%であった。

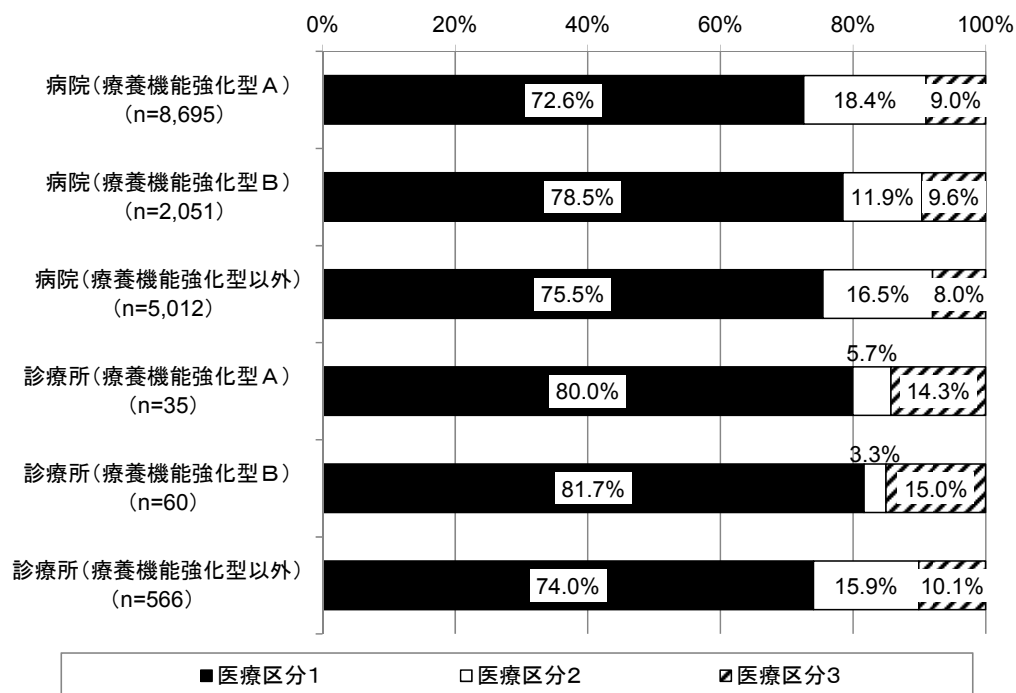


療養機能強化型の届出の状況別に「ADL区分3」の割合をみると、病院（療養機能強化型A）で63.2%、病院（療養機能強化型B）で63.1%、病院（療養機能強化型以外）で59.5%であった。また、「医療区分3」の割合は、病院（療養機能強化型A）で9.0%、病院（療養機能強化型B）で9.6%、病院（療養機能強化型以外）で8.0%であった。

図表 2 - 2 - 104 【介護療養】ADL区分別の内訳（療養機能強化型の届出の状況別）



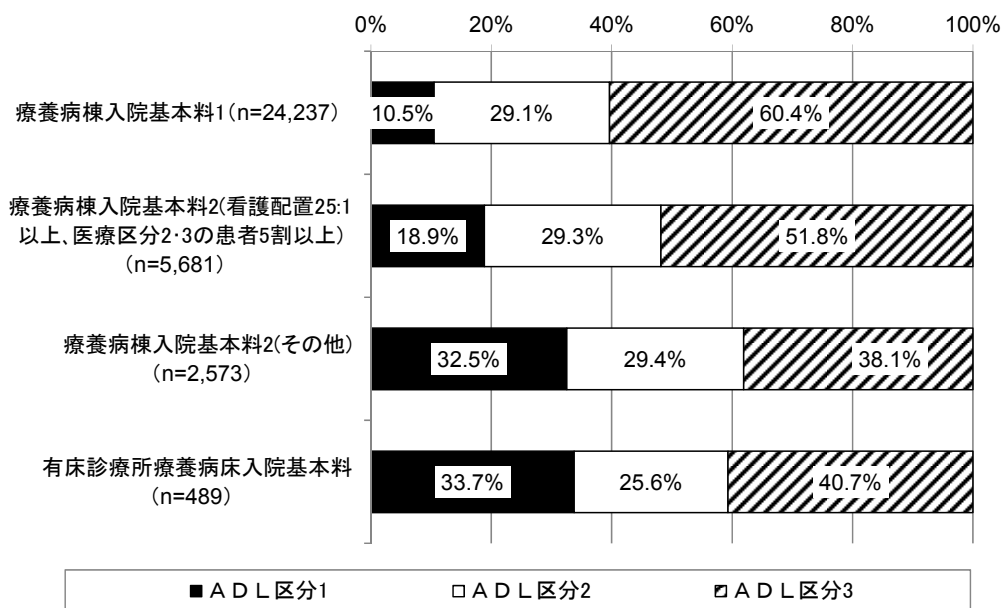
図表 2 - 2 - 105 【介護療養】医療区分別の内訳（療養機能強化型の届出の状況別）



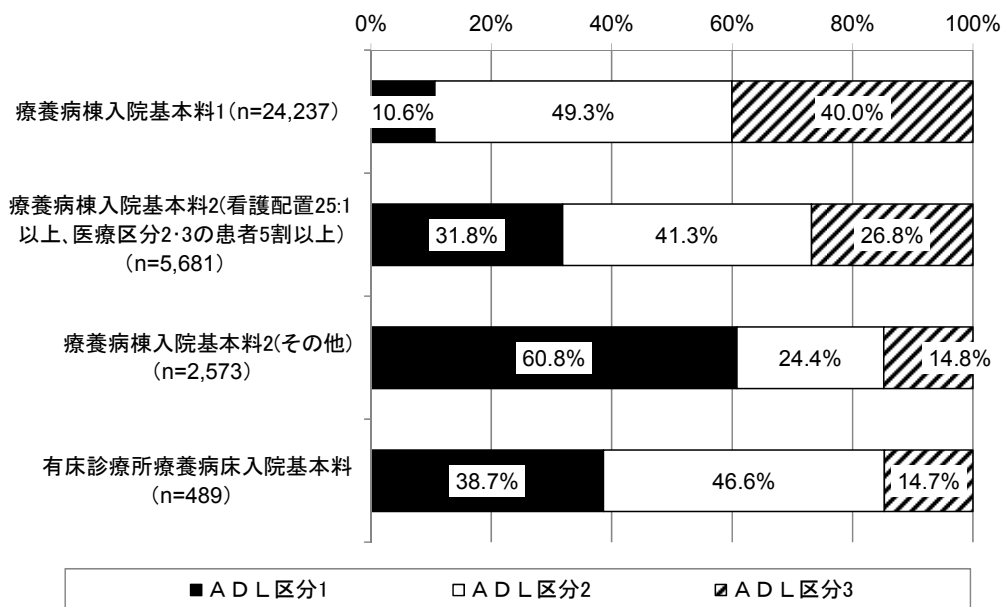
3 入院患者について

医療療養病床を持つ医療施設の入院患者数の ADL 区分別の内訳は、「ADL 区分 3」をみると、療養病棟入院基本料 1 で 60.4%、療養病棟入院基本料 2（看護配置 25:1 以上、医療区分 2・3 の患者 5 割以上）で 51.8%、療養病棟入院基本料 2（その他）で 38.1%、有床診療所療養病床入院基本料で 40.7%であった。また、「医療区分 3」の割合は、療養病棟入院基本料 1 で 40.0%、療養病棟入院基本料 2（看護配置 25:1 以上、医療区分 2・3 の患者 5 割以上）で 26.8%、療養病棟入院基本料 2（その他）で 14.8%、有床診療所療養病床入院基本料で 14.7%であった。

図表 2 - 2 -106 【医療療養】 A D L 区分別の内訳



図表 2 - 2 -107 【医療療養】 医療区分別の内訳



⑩ 療養機能強化型の算定要件に係る状況

【介護療養型医療施設(病院・診療所別)】

療養機能強化型の算定要件に係る状況について、「重篤な身体疾患を有する者」及び「身体合併症を有する認知症高齢者」の①～⑩の項目に1つ以上あてはまった人数の割合の平均値は、病院で60.0%、診療所で54.1%であった。「認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ又はMに該当する者」は、病院で53.3%、診療所で53.5%であった。

「喀痰吸引、経管栄養又はインスリン注射が実施された者」の占める割合は、病院で46.2%、診療所で34.8%であった。「経管栄養が実施された者、または相当する者」は、病院で33.7%、診療所で29.8%であった。

【介護療養型医療施設(療養機能強化型の届出の状況別)】

療養機能強化型の届出の状況別にみると、「重篤な身体疾患を有する者」及び「身体合併症を有する認知症高齢者」の①～⑩の項目に1つ以上あてはまった人数の割合の平均値は、病院(療養機能強化型A)で66.6%、病院(療養機能強化型B)で69.7%で、病院(療養機能強化型以外)で41.9%であった。「認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ又はMに該当する者」は、病院(療養機能強化型A)で59.3%、病院(療養機能強化型B)で55.4%で、病院(療養機能強化型以外)で37.8%であった。

「喀痰吸引、経管栄養又はインスリン注射が実施された者」の占める割合は、病院(療養機能強化型A)で54.6%、病院(療養機能強化型B)で43.9%、病院(療養機能強化型以外)で30.9%であった。「経管栄養が実施された者、または相当する者」は、病院(療養機能強化型A)で38.7%、病院(療養機能強化型B)で28.2%、病院(療養機能強化型以外)で25.3%であった。

【医療療養病床を有する医療施設】

医療療養病床を有する医療施設についてみると、「重篤な身体疾患を有する者」及び「身体合併症を有する認知症高齢者」の①～⑩の項目に1つ以上あてはまった人数の割合の平均値は、療養病棟入院基本料1で47.5%、療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)で31.2%で、療養病棟入院基本料2(その他)で27.9%、有床診療所療養病床入院基本料で29.2%であった。「認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ又はMに該当する者」は、療養病棟入院基本料1で30.5%、療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)で23.9%で、療養病棟入院基本料2(その他)で18.4%、有床診療所療養病床入院基本料で25.8%であった。医療療養病床を有する医療施設について、「重篤な身体疾患を有する者」及び「身体合併症を有する認知症高齢者」の①～⑩の項目に1つ以上あてはまった人数の割合が介護療養型医療施設と比較して低いことは、「認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ又はMに該当する者」の人数が少ないことによるところが大きい。

3 入院患者について

また、「喀痰吸引、経管栄養又はインスリン注射が実施された者」の占める割合は、療養病棟入院基本料 1 で 46.9%、療養病棟入院基本料 2（看護配置 25:1 以上、医療区分 2・3 の患者 5 割以上）で 36.3%で、療養病棟入院基本料 2（その他）で 18.4%、有床診療所療養病床入院基本料で 23.9%であった。「喀痰吸引が実施された者、または相当する者」は、療養病棟入院基本料 1 で 32.6%、療養病棟入院基本料 2（看護配置 25:1 以上、医療区分 2・3 の患者 5 割以上）で 20.8%、有床診療所療養病床入院基本料では 16.3%であった。また、療養病棟入院基本料 2（その他）では、「経管栄養が実施された者、または相当する者」の占める割合が 9.0%であった。

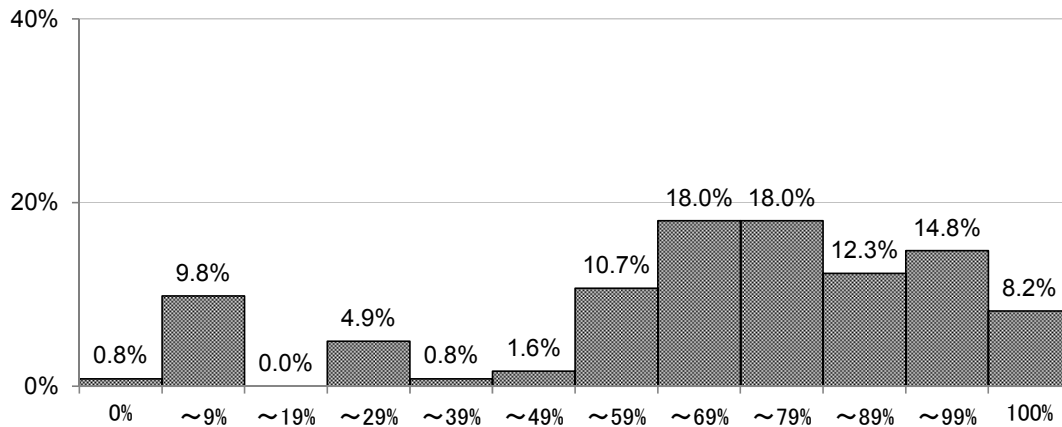
図表 2-2-108 【介護療養】療養機能強化型の算定要件に係る状況（病院・診療所別）

病院_n=407, 診療所_n=123		平均	標準偏差	中央値	最大値	最小値	不明
以下の①～⑩の項目に1つ以上あてはまった人数(実人数)	病院	60.0%	31.6%	67.8%	100.0%	0.0%	190
	診療所	54.1%	36.4%	66.7%	100.0%	0.0%	93
(重篤な身体疾患を有する者)							
①NYHA分類Ⅲ以上の慢性心不全の状態	病院	4.3%	9.6%	0.0%	52.4%	0.0%	145
	診療所	2.3%	7.4%	0.0%	33.3%	0.0%	88
②Hugh-Jones分類Ⅳ以上の呼吸困難の状態又は連続する1週間以上人工呼吸器を必要としている状態	病院	1.9%	10.6%	0.0%	100.0%	0.0%	145
	診療所	1.0%	3.3%	0.0%	14.3%	0.0%	88
③各週2日以上的人工腎臓の実施が必要である者で							
常時低血圧(収縮時血圧が90mmHg以下)	病院	0.0%	0.1%	0.0%	1.8%	0.0%	145
	診療所	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	88
透析アミロイド症で手根管症候群や運動機能障害を呈するもの	病院	0.0%	0.1%	0.0%	0.8%	0.0%	145
	診療所	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	88
出血性消化器病変を有するもの	病院	0.0%	0.1%	0.0%	0.8%	0.0%	145
	診療所	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	88
骨折を伴う二次性副甲状腺機能亢進症のもの	病院	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	145
	診療所	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	88
④Child-Pugh分類C以上の肝機能障害の状態	病院	0.1%	0.4%	0.0%	3.2%	0.0%	145
	診療所	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	88
⑤連続する3日以上、JCS100以上の意識障害が継続している状態	病院	3.1%	7.4%	0.0%	47.7%	0.0%	145
	診療所	1.7%	5.4%	0.0%	27.3%	0.0%	88
⑥単一の凝固因子活性が40%未満の凝固異常の状態	病院	0.0%	0.3%	0.0%	4.5%	0.0%	145
	診療所	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	88
⑦現に経口により食事を摂取している者であって、著しい摂食機能障害を有し、造影撮影又は内視鏡検査により誤嚥が認められる状態	病院	0.7%	4.2%	0.0%	46.9%	0.0%	145
	診療所	1.4%	4.7%	0.0%	22.2%	0.0%	88
(身体合併症を有する認知症高齢者)							
⑧認知症であって、悪性腫瘍等と診断された者	病院	2.7%	4.5%	0.0%	23.1%	0.0%	145
	診療所	4.0%	11.4%	0.0%	55.6%	0.0%	88
⑨認知症であって、別に掲げるいずれかの疾病と診断された者	病院	1.3%	3.7%	0.0%	42.7%	0.0%	145
	診療所	2.4%	5.6%	0.0%	25.0%	0.0%	88
⑩認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、ⅣまたはMIに該当する者	病院	53.3%	31.3%	59.4%	100.0%	0.0%	145
	診療所	53.5%	33.5%	60.8%	100.0%	0.4%	88
喀痰吸引、経管栄養、インスリン注射が実施された者							
喀痰吸引が実施された者、または相当する者	病院	46.2%	29.5%	50.3%	100.0%	0.0%	197
	診療所	34.8%	31.4%	28.3%	100.0%	0.0%	96
経管栄養が実施された者、または相当する者	病院	25.3%	21.5%	22.9%	100.0%	0.0%	142
	診療所	25.4%	25.3%	16.7%	71.4%	0.0%	89
インスリン注射が実施された者(自ら実施する者は除く)	病院	33.7%	23.4%	32.4%	95.4%	0.0%	142
	診療所	29.8%	29.3%	25.0%	100.0%	0.0%	89
インスリン注射が実施された者(自ら実施する者は除く)	病院	2.8%	4.7%	1.7%	59.1%	0.0%	142
	診療所	0.3%	1.4%	0.0%	7.7%	0.0%	89

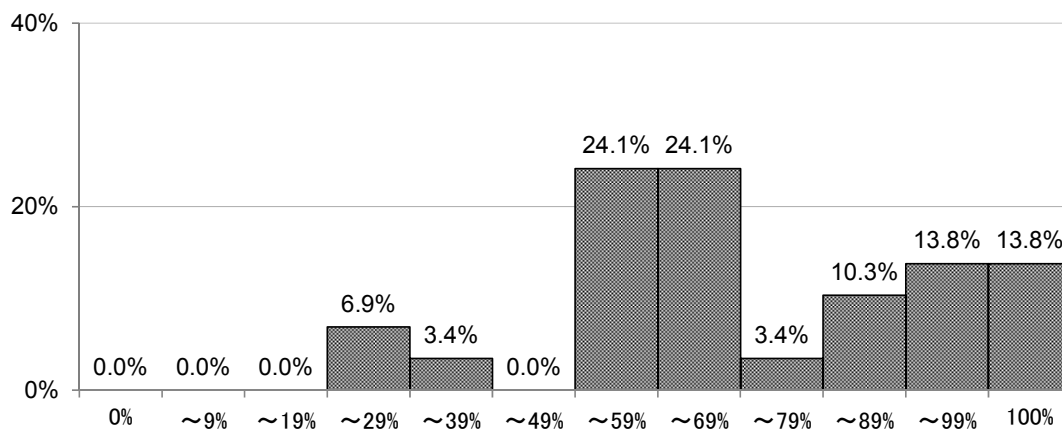
図表 2-2-109 【介護療養（病院）】療養機能強化型の算定要件に係る状況（療養機能強化型の届出の状況別）

機能A_n=185,機能B_n=38,その他_n=175		平均	標準偏差	中央値	最大値	最小値	不明
以下の①～⑩の項目に1つ以上あてはまった人数 (実人数)	療養機能強化型A	66.6%	28.4%	71.7%	100.0%	0.0%	63
	療養機能強化型B	69.7%	21.7%	63.9%	100.0%	25.0%	9
	その他	41.9%	34.4%	39.4%	100.0%	0.0%	115
(重篤な身体疾患を有する者)							
①NYHA分類Ⅲ以上の慢性心不全の状態	療養機能強化型A	5.0%	9.9%	0.0%	48.0%	0.0%	31
	療養機能強化型B	6.2%	11.5%	0.0%	40.0%	0.0%	3
	その他	1.6%	6.8%	0.0%	52.4%	0.0%	109
②Hugh-Jones分類Ⅳ以上の呼吸困難の状態又は連続する1週間以上人工呼吸器を必要としている状態	療養機能強化型A	2.2%	11.6%	0.0%	100.0%	0.0%	31
	療養機能強化型B	3.8%	14.4%	0.0%	81.6%	0.0%	3
	その他	0.2%	0.9%	0.0%	5.2%	0.0%	109
③各週2日以上的人工腎臓の実施が必要である者で							
常時低血圧(収縮時血圧が90mmHg以下)	療養機能強化型A	0.0%	0.1%	0.0%	1.8%	0.0%	31
	療養機能強化型B	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3
	その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	109
透析アミロイド症で手根管症候群や運動機能障害を呈するもの	療養機能強化型A	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	31
	療養機能強化型B	0.0%	0.1%	0.0%	0.8%	0.0%	3
	その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	109
出血性消化器病変を有するもの	療養機能強化型A	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	31
	療養機能強化型B	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3
	その他	0.0%	0.1%	0.0%	0.8%	0.0%	109
骨折を伴う二次性副甲状腺機能亢進症のもの	療養機能強化型A	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	31
	療養機能強化型B	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3
	その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	109
④Child-Pugh分類C以上の肝機能障害の状態	療養機能強化型A	0.1%	0.4%	0.0%	2.8%	0.0%	31
	療養機能強化型B	0.1%	0.4%	0.0%	2.4%	0.0%	3
	その他	0.0%	0.4%	0.0%	3.2%	0.0%	109
⑤連続する3日以上、JCS100以上の意識障害が継続している状態	療養機能強化型A	3.1%	6.5%	0.0%	47.7%	0.0%	31
	療養機能強化型B	1.8%	3.6%	0.0%	13.7%	0.0%	3
	その他	4.0%	10.4%	0.0%	47.0%	0.0%	109
⑥単一の凝固因子活性が40%未満の凝固異常の状態	療養機能強化型A	0.0%	0.4%	0.0%	4.5%	0.0%	31
	療養機能強化型B	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3
	その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	109
⑦現に経口により食事を摂取している者であって、著しい摂食機能障害を有し、造影撮影又は内視鏡検査により誤嚥が認められる状態	療養機能強化型A	1.0%	5.2%	0.0%	46.9%	0.0%	31
	療養機能強化型B	0.8%	2.7%	0.0%	15.0%	0.0%	3
	その他	0.2%	0.7%	0.0%	4.3%	0.0%	109
(身体合併症を有する認知症高齢者)							
⑧認知症であって、悪性腫瘍等と診断された者	療養機能強化型A	2.7%	4.5%	0.0%	23.1%	0.0%	31
	療養機能強化型B	2.9%	4.3%	0.4%	16.7%	0.0%	3
	その他	2.7%	4.8%	0.0%	20.0%	0.0%	109
⑨認知症であって、別に掲げるいずれかの疾病と診断された者	療養機能強化型A	1.3%	4.1%	0.0%	42.7%	0.0%	31
	療養機能強化型B	1.2%	2.5%	0.0%	11.1%	0.0%	3
	その他	1.1%	3.1%	0.0%	20.0%	0.0%	109
⑩認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、ⅣまたはMに該当する者	療養機能強化型A	59.3%	29.0%	65.1%	100.0%	0.0%	31
	療養機能強化型B	55.4%	26.7%	54.9%	100.0%	0.8%	3
	その他	37.8%	33.7%	31.2%	100.0%	0.0%	109
喀痰吸引、経管栄養、インスリン注射が実施された者							
喀痰吸引が実施された者、または相当する者	療養機能強化型A	54.6%	28.2%	62.5%	100.0%	0.4%	68
	療養機能強化型B	43.9%	23.3%	41.2%	90.5%	0.0%	11
	その他	30.9%	28.3%	21.8%	97.6%	0.0%	115
経管栄養が実施された者、または相当する者	療養機能強化型A	28.9%	21.1%	28.1%	100.0%	0.0%	30
	療養機能強化型B	29.3%	18.9%	24.1%	64.3%	0.0%	4
	その他	14.9%	19.6%	3.8%	74.5%	0.0%	106
インスリン注射が実施された者(自ら実施する者は除く)	療養機能強化型A	38.7%	23.2%	40.7%	95.4%	0.0%	30
	療養機能強化型B	28.2%	17.4%	24.9%	63.8%	0.0%	4
	その他	25.3%	23.5%	17.5%	80.0%	0.0%	106
	療養機能強化型A	3.3%	5.6%	2.1%	59.1%	0.0%	30
	療養機能強化型B	2.0%	2.4%	1.4%	8.3%	0.0%	4
	その他	2.0%	2.6%	0.1%	10.5%	0.0%	106

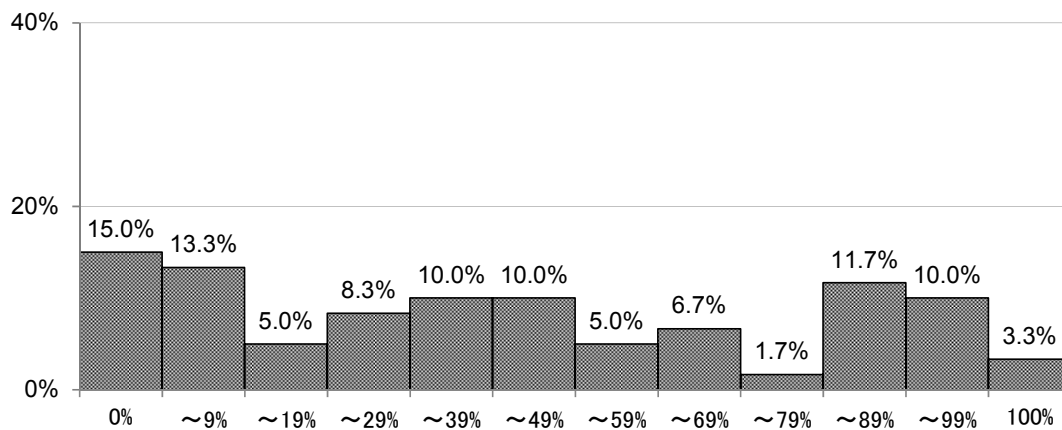
図表 2-2-110 【介護療養（病院）】重篤な身体疾患を有する者の条件（①～⑩）に1つ以上あてはまった人の割合（療養機能強化型A）（n=122）



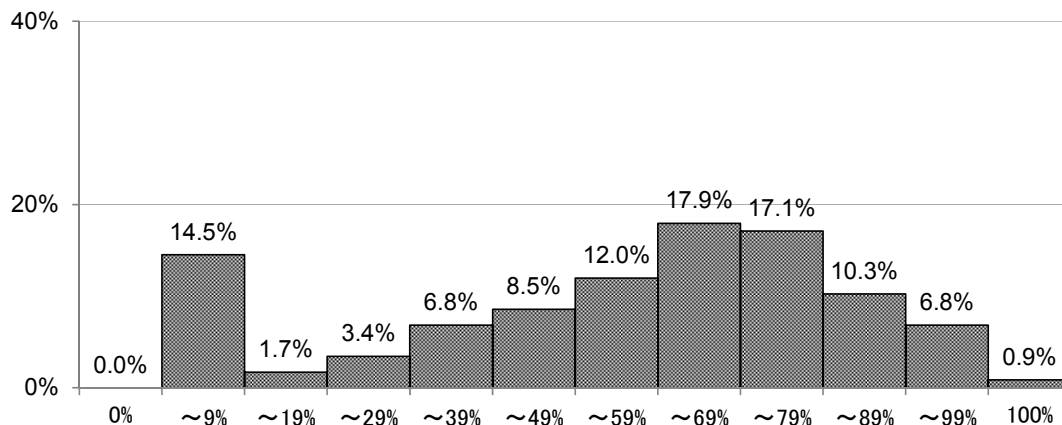
図表 2-2-111 【介護療養（病院）】重篤な身体疾患を有する者の条件（①～⑩）に1つ以上あてはまった人の割合（療養機能強化型B）（n=29）



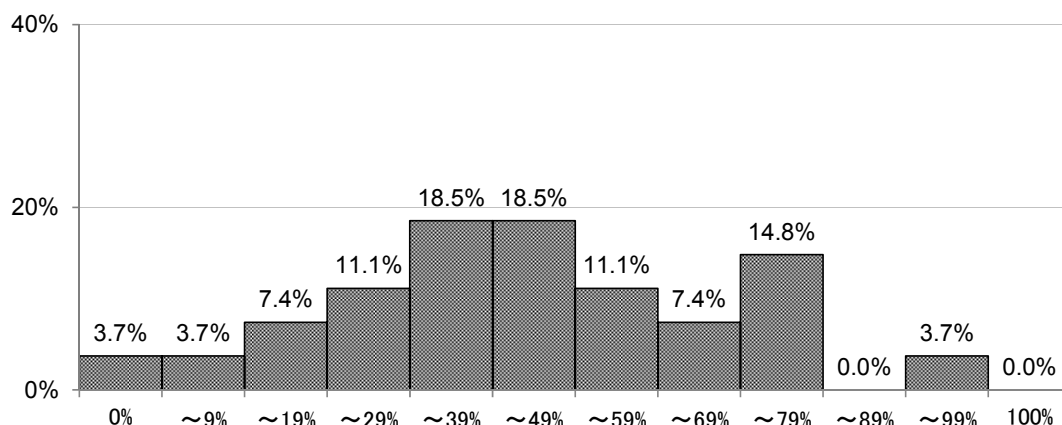
図表 2-2-112 【介護療養（病院）】重篤な身体疾患を有する者の条件（①～⑩）に1つ以上あてはまった人の割合（療養機能強化型以外）（n=60）



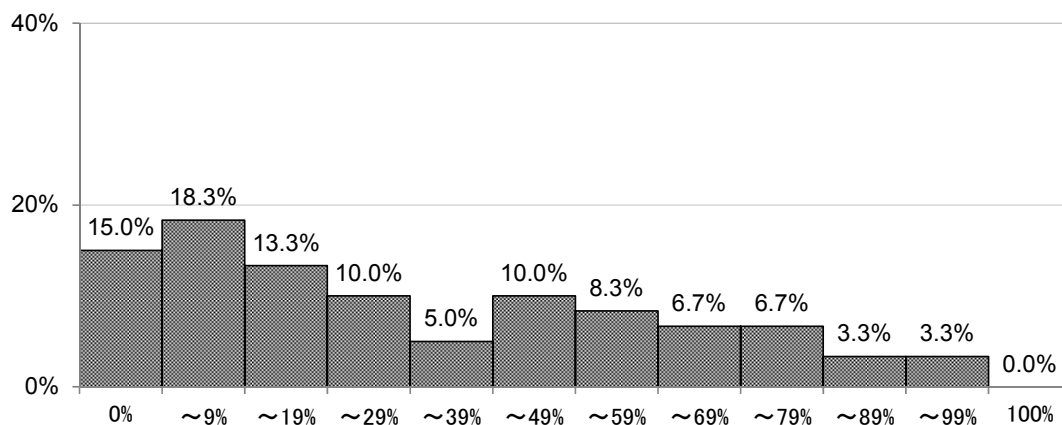
図表 2-2-113 【介護療養（病院）】喀痰吸引、経管栄養、インスリン注射が実施された者の割合（療養機能強化型 A）（n=117）



図表 2-2-114 【介護療養（病院）】喀痰吸引、経管栄養、インスリン注射が実施された者の割合（療養機能強化型 B）（n=27）



図表 2-2-115 【介護療養（病院）】喀痰吸引、経管栄養、インスリン注射が実施された者の割合（療養機能強化型以外）（n=60）



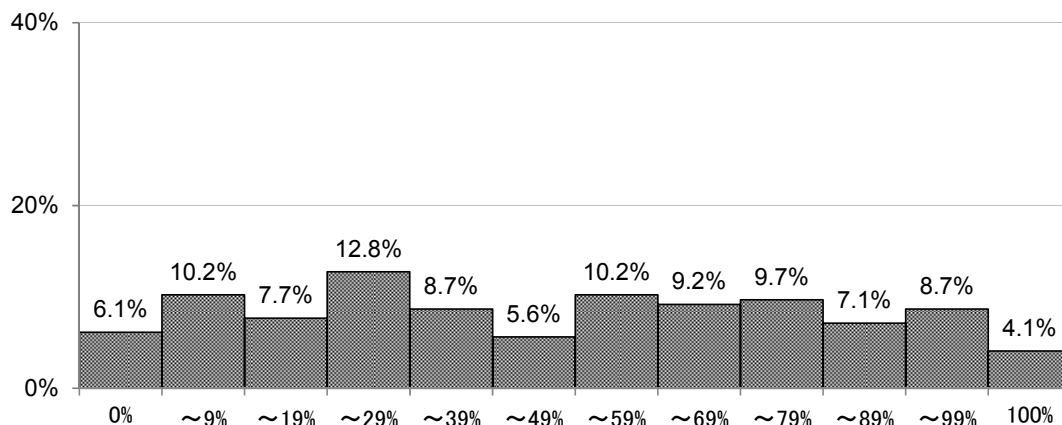
図表 2-2-116 【介護療養（診療所）】療養機能強化型の算定要件に係る状況（療養機能強化型の届出の状況別）

機能A_n=9,機能B_n=7,その他_n=99		平均	標準偏差	中央値	最大値	最小値	不明
以下の①～⑩の項目に1つ以上あてはまった人数 (実人数)	療養機能強化型A	53.1%	24.8%	51.3%	85.7%	22.7%	3
	療養機能強化型B	68.3%	25.2%	70.0%	100.0%	33.3%	2
	その他	52.1%	42.2%	66.7%	100.0%	0.0%	84
(重篤な身体疾患を有する者)							
①NYHA分類Ⅲ以上の慢性心不全の状態	療養機能強化型A	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1
	療養機能強化型B	5.8%	9.2%	0.0%	22.2%	0.0%	0
	その他	2.1%	8.1%	0.0%	33.3%	0.0%	83
②Hugh-Jones分類Ⅳ以上の呼吸困難の状態又は連続する1週間以上人工呼吸器を必要としている状態	療養機能強化型A	1.0%	2.5%	0.0%	7.7%	0.0%	1
	療養機能強化型B	1.6%	3.9%	0.0%	11.1%	0.0%	0
	その他	0.9%	3.5%	0.0%	14.3%	0.0%	83
③各週2日以上的人工腎臓の実施が必要である者で							
常時低血圧(収縮時血圧が90mmHg以下)	療養機能強化型A	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1
	療養機能強化型B	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
	その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	83
透析アミロイド症で手根管症候群や運動機能障害を呈するもの	療養機能強化型A	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1
	療養機能強化型B	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
	その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	83
出血性消化器病変を有するもの	療養機能強化型A	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1
	療養機能強化型B	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
	その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	83
骨折を伴う二次性副甲状腺機能亢進症のもの	療養機能強化型A	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1
	療養機能強化型B	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
	その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	83
④Child-Pugh分類C以上の肝機能障害の状態	療養機能強化型A	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1
	療養機能強化型B	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
	その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	83
⑤連続する3日以上、JCS100以上の意識障害が継続している状態	療養機能強化型A	0.6%	1.5%	0.0%	4.5%	0.0%	1
	療養機能強化型B	5.1%	9.5%	0.0%	27.3%	0.0%	0
	その他	0.9%	3.5%	0.0%	14.3%	0.0%	83
⑥単一の凝固因子活性が40%未満の凝固異常の状態	療養機能強化型A	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1
	療養機能強化型B	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
	その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	83
⑦現に経口により食事を摂取している者であって、著しい摂食機能障害を有し、造影撮影又は内視鏡検査により誤嚥が認められる状態	療養機能強化型A	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1
	療養機能強化型B	4.5%	7.9%	0.0%	22.2%	0.0%	0
	その他	0.9%	3.5%	0.0%	14.3%	0.0%	83
(身体合併症を有する認知症高齢者)							
⑧認知症であって、悪性腫瘍等と診断された者	療養機能強化型A	3.0%	5.7%	0.0%	16.7%	0.0%	1
	療養機能強化型B	2.1%	3.4%	0.0%	9.1%	0.0%	0
	その他	5.6%	15.2%	0.0%	55.6%	0.0%	83
⑨認知症であって、別に掲げるいずれかの疾病と診断された者	療養機能強化型A	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1
	療養機能強化型B	4.8%	5.7%	0.0%	14.3%	0.0%	0
	その他	2.8%	6.6%	0.0%	25.0%	0.0%	83
⑩認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、ⅣまたはMに該当する者	療養機能強化型A	60.3%	27.9%	65.4%	100.0%	18.2%	1
	療養機能強化型B	49.6%	27.2%	42.1%	100.0%	18.2%	0
	その他	53.9%	37.9%	66.7%	100.0%	0.4%	83
喀痰吸引、経管栄養、インスリン注射が実施された者							
喀痰吸引が実施された者、または相当する者	療養機能強化型A	46.9%	28.4%	44.1%	85.7%	13.6%	5
	療養機能強化型B	45.6%	34.5%	33.2%	100.0%	0.4%	1
	その他	26.7%	28.1%	15.4%	66.7%	0.0%	85
経管栄養が実施された者、または相当する者	療養機能強化型A	25.4%	26.7%	14.7%	69.2%	0.0%	1
	療養機能強化型B	24.2%	24.1%	20.0%	71.4%	0.0%	0
	その他	25.9%	25.2%	18.3%	66.7%	0.0%	83
インスリン注射が実施された者(自ら実施する者は除く)	療養機能強化型A	45.0%	33.2%	38.5%	100.0%	0.0%	1
	療養機能強化型B	28.2%	31.7%	20.0%	100.0%	0.0%	0
	その他	23.0%	22.5%	18.3%	66.7%	0.0%	83
インスリン注射が実施された者(自ら実施する者は除く)	療養機能強化型A	1.0%	2.5%	0.0%	7.7%	0.0%	1
	療養機能強化型B	0.0%	0.1%	0.0%	0.2%	0.0%	0
	その他	0.1%	0.4%	0.0%	1.7%	0.0%	83

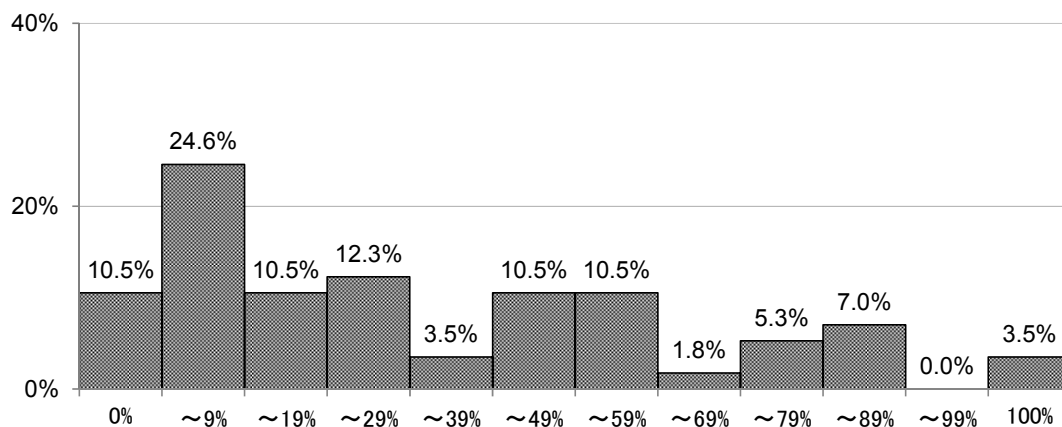
図表 2-2-117 【医療療養】療養機能強化型の算定要件に係る状況（診療報酬の届出区分別）

療養1_n=334,療養2_n=118,療養2その他_n=50,有床_n=103		平均	標準偏差	中央値	最大値	最小値	不明
以下の①～⑩の項目に1つ以上あてはまった人数(実人数)	療養1	47.5%	32.0%	48.6%	100.0%	0.0%	138
	療養2	31.2%	30.4%	23.8%	100.0%	0.0%	61
	療養2 その他	27.9%	31.5%	12.5%	100.0%	0.0%	26
	有床	29.2%	35.1%	9.7%	100.0%	0.0%	54
(重篤な身体疾患を有する者)							
①NYHA分類Ⅲ以上の慢性心不全の状態	療養1	5.7%	10.0%	0.0%	46.6%	0.0%	93
	療養2	3.1%	8.3%	0.0%	62.1%	0.0%	45
	療養2 その他	0.7%	1.9%	0.0%	9.9%	0.0%	21
	有床	1.2%	4.2%	0.0%	25.0%	0.0%	45
②Hugh-Jones分類Ⅳ以上の呼吸困難の状態又は連続する1週間以上人工呼吸器を必要としている状態	療養1	3.9%	8.5%	0.0%	54.2%	0.0%	93
	療養2	1.4%	3.1%	0.0%	13.3%	0.0%	45
	療養2 その他	0.8%	2.9%	0.0%	15.5%	0.0%	21
	有床	1.9%	6.5%	0.0%	26.7%	0.0%	45
③各週2日以上的人工腎臓の実施が必要である者で							
常時低血圧(収縮時血圧が90mmHg以下)	療養1	0.4%	2.6%	0.0%	36.2%	0.0%	93
	療養2	0.3%	1.5%	0.0%	12.5%	0.0%	45
	療養2 その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	21
	有床	0.9%	3.5%	0.0%	22.2%	0.0%	45
透析アミロイド症で手根管症候群や運動機能障害を呈するもの	療養1	0.5%	3.6%	0.0%	50.0%	0.0%	93
	療養2	0.0%	0.1%	0.0%	0.6%	0.0%	45
	療養2 その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	21
	有床	1.2%	5.2%	0.0%	33.3%	0.0%	45
出血性消化器病変を有するもの	療養1	0.1%	0.5%	0.0%	4.2%	0.0%	93
	療養2	0.1%	0.4%	0.0%	2.8%	0.0%	45
	療養2 その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	21
	有床	0.5%	2.5%	0.0%	14.3%	0.0%	45
骨折を伴う二次性副甲状腺機能亢進症のもの	療養1	0.1%	0.7%	0.0%	7.1%	0.0%	93
	療養2	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	45
	療養2 その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	21
	有床	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	45
④Child-Pugh分類C以上の肝機能障害の状態	療養1	0.2%	1.3%	0.0%	15.0%	0.0%	93
	療養2	0.3%	1.2%	0.0%	7.0%	0.0%	45
	療養2 その他	0.0%	0.3%	0.0%	1.4%	0.0%	21
	有床	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	45
⑤連続する3日以上、JCS100以上の意識障害が継続している状態	療養1	7.9%	13.6%	2.1%	89.2%	0.0%	93
	療養2	5.2%	12.6%	0.0%	70.5%	0.0%	45
	療養2 その他	1.9%	4.2%	0.0%	14.3%	0.0%	21
	有床	2.6%	11.7%	0.0%	77.8%	0.0%	45
⑥単一の凝固因子活性が40%未満の凝固異常の状態	療養1	0.4%	3.1%	0.0%	45.0%	0.0%	93
	療養2	0.0%	0.3%	0.0%	2.2%	0.0%	45
	療養2 その他	0.2%	0.9%	0.0%	4.1%	0.0%	21
	有床	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	45
⑦現に経口により食事を摂取している者であって、著しい摂食機能障害を有し、造影撮影又は内視鏡検査により誤嚥が認められる状態	療養1	1.1%	3.9%	0.0%	40.5%	0.0%	93
	療養2	1.1%	7.0%	0.0%	59.6%	0.0%	45
	療養2 その他	0.3%	1.0%	0.0%	4.3%	0.0%	21
	有床	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	45
(身体合併症を有する認知症高齢者)							
⑧認知症であって、悪性腫瘍等と診断された者	療養1	2.7%	4.5%	0.6%	37.5%	0.0%	93
	療養2	1.4%	2.3%	0.0%	9.8%	0.0%	45
	療養2 その他	1.7%	3.3%	0.0%	14.3%	0.0%	21
	有床	2.7%	10.3%	0.0%	55.6%	0.0%	45
⑨認知症であって、別に掲げるいずれかの疾病と診断された者	療養1	5.6%	11.0%	1.8%	100.0%	0.0%	93
	療養2	1.8%	3.5%	0.0%	20.0%	0.0%	45
	療養2 その他	2.1%	4.5%	0.0%	20.6%	0.0%	21
	有床	2.0%	8.0%	0.0%	50.0%	0.0%	45
⑩認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、ⅣまたはMに該当する者	療養1	30.5%	29.5%	21.1%	100.0%	0.0%	93
	療養2	23.9%	27.0%	16.9%	100.0%	0.0%	45
	療養2 その他	18.4%	26.2%	1.5%	100.0%	0.0%	21
	有床	25.8%	33.8%	4.4%	100.0%	0.0%	45
喀痰吸引、経管栄養、インスリン注射が実施された者							
喀痰吸引が実施された者、または相当する者	療養1	46.9%	29.3%	51.4%	100.0%	0.0%	107
	療養2	36.3%	28.6%	34.1%	96.9%	0.0%	54
	療養2 その他	18.4%	24.3%	4.7%	78.7%	0.0%	22
	有床	23.9%	29.9%	12.7%	100.0%	0.0%	49
経管栄養が実施された者、または相当する者	療養1	32.6%	28.5%	29.5%	100.0%	0.0%	100
	療養2	20.8%	21.6%	14.1%	83.0%	0.0%	44
	療養2 その他	8.4%	14.8%	0.0%	68.6%	0.0%	22
	有床	16.3%	27.8%	0.0%	100.0%	0.0%	46
インスリン注射が実施された者(自ら実施する者は除く)	療養1	28.1%	22.9%	25.5%	100.0%	0.0%	100
	療養2	19.1%	19.7%	12.7%	76.2%	0.0%	44
	療養2 その他	9.0%	13.8%	0.9%	49.1%	0.0%	22
	有床	15.0%	26.7%	0.0%	100.0%	0.0%	46
インスリン注射が実施された者(自ら実施する者は除く)	療養1	6.2%	8.4%	4.1%	68.3%	0.0%	100
	療養2	3.7%	4.5%	1.6%	20.0%	0.0%	44
	療養2 その他	1.6%	2.0%	0.1%	6.8%	0.0%	22
	有床	3.1%	5.0%	0.0%	20.0%	0.0%	46

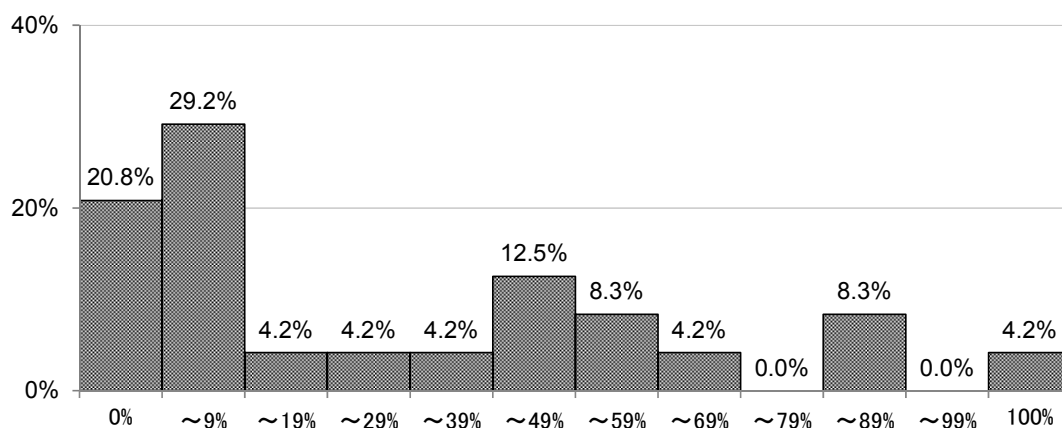
図表 2-2-118 【医療療養】重篤な身体疾患を有する者の条件(①~⑩)に1つ以上あてはまった人の割合(療養病棟入院基本料1)(n=196)



図表 2-2-119 【医療療養】重篤な身体疾患を有する者の条件(①~⑩)に1つ以上あてはまった人の割合(療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上))(n=57)

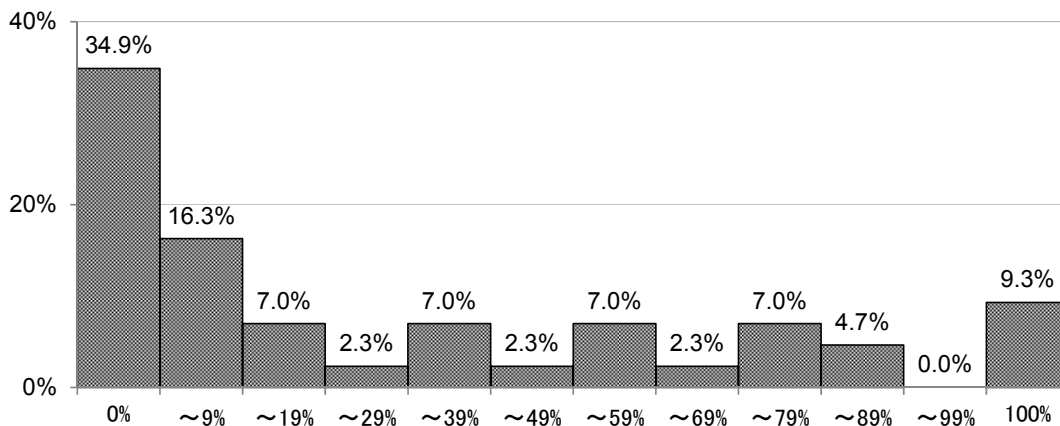


図表 2-2-120 【医療療養】重篤な身体疾患を有する者の条件(①~⑩)に1つ以上あてはまった人の割合(療養病棟入院基本料2(その他))(n=24)

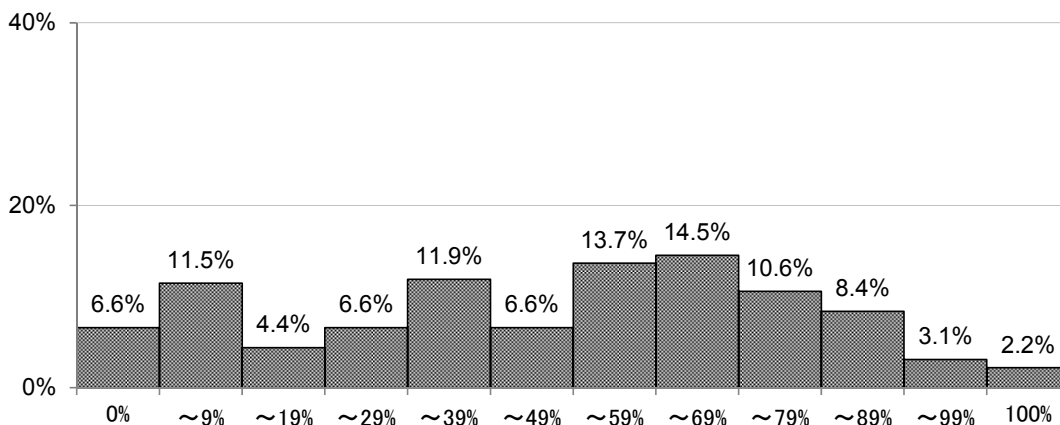


3 入院患者について

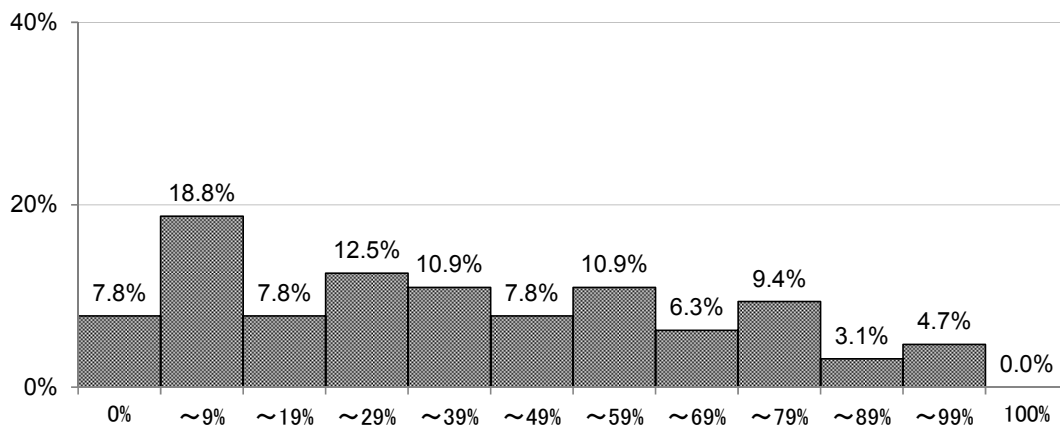
図表 2-2-121 【医療療養】重篤な身体疾患を有する者の条件（①～⑩）に1つ以上あてはまった人の割合（有床診療所療養病床入院基本料）（n=43）



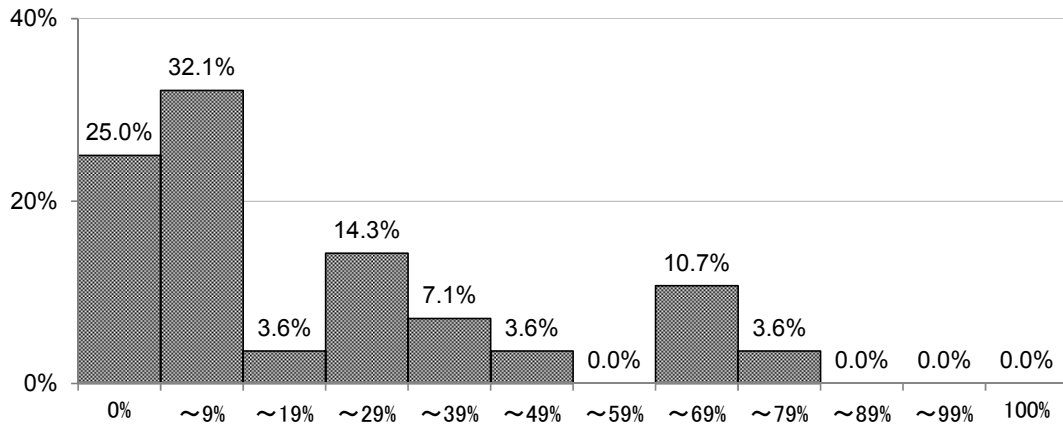
図表 2-2-122 【医療療養】喀痰吸引、経管栄養、インスリン注射が実施された者の割合（療養病棟入院基本料 1）（n=227）



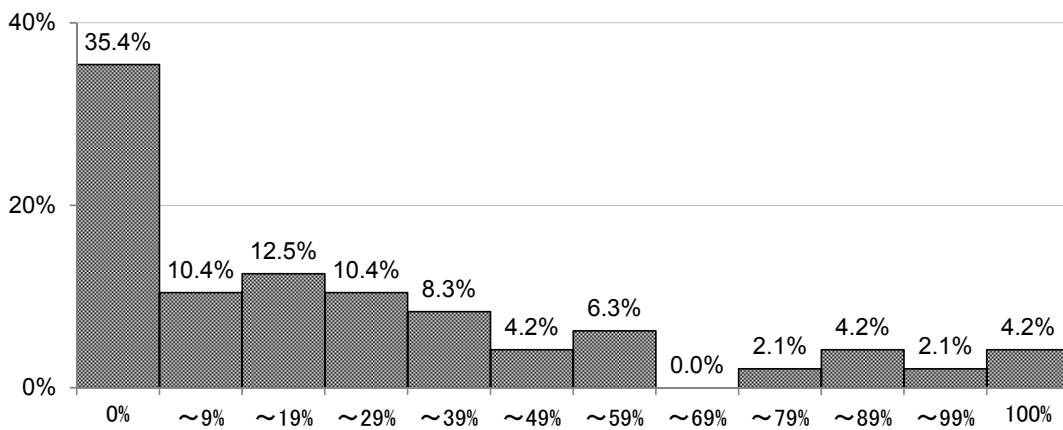
図表 2-2-123 【医療療養】喀痰吸引、経管栄養、インスリン注射が実施された者の割合（療養病棟入院基本料 2(看護配置 25:1 以上、医療区分 2・3 の患者 5 割以上)）（n=64）



図表 2-2-124 【医療療養】喀痰吸引、経管栄養、インスリン注射が実施された者の割合（療養病棟入院基本料 2(その他)）(n=28)



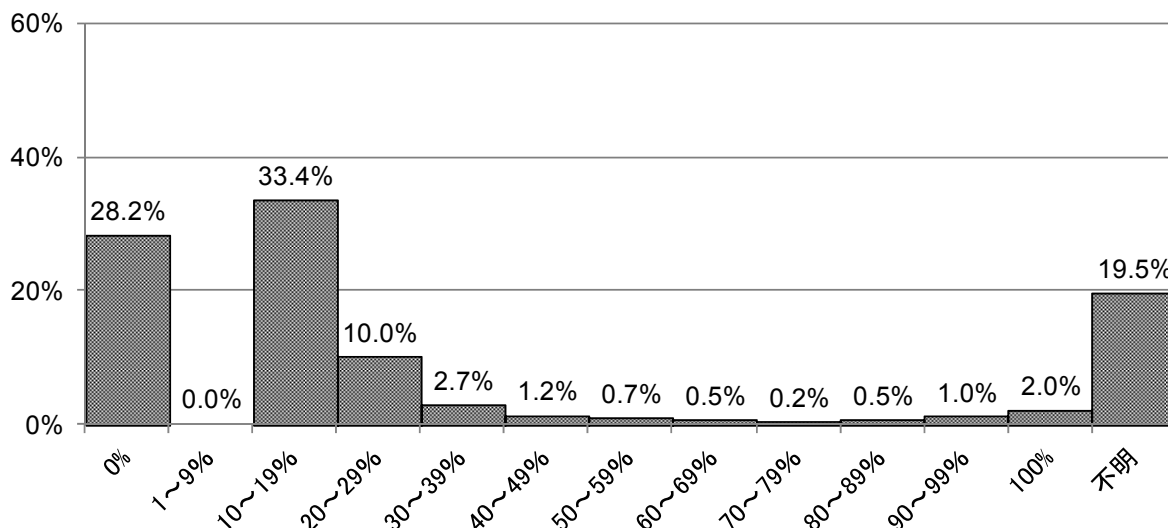
図表 2-2-125 【医療療養】喀痰吸引、経管栄養、インスリン注射が実施された者の割合（有床診療所療養病床入院基本料）(n=48)



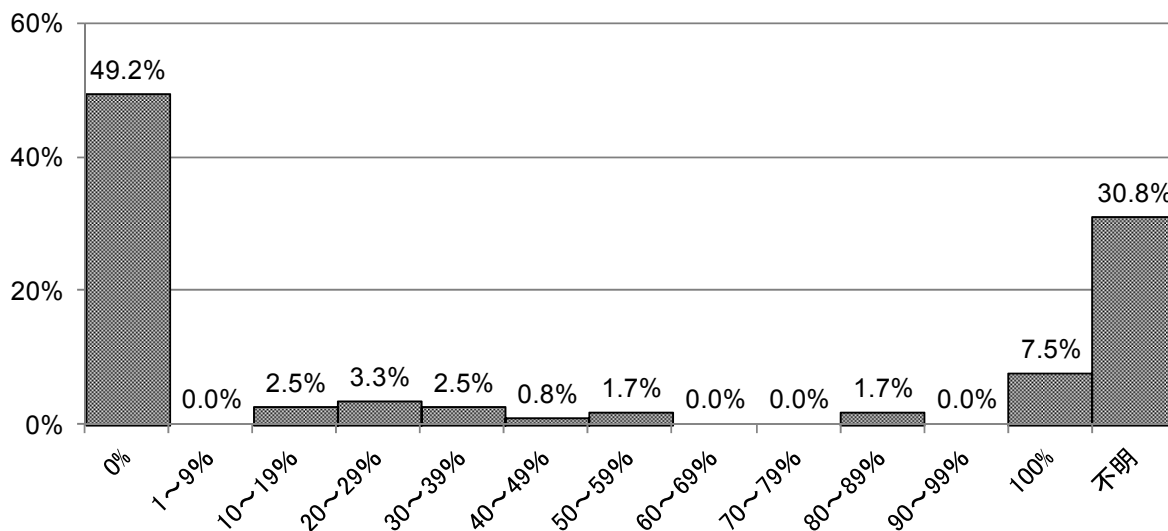
3 入院患者について

介護療養型医療施設のターミナルケアの適合条件に関連する状況について、「①～③の条件全てに適合する入院患者の割合（実人数ベース）」は、病院で「10～19%」が33.4%、診療所で「0%」が49.2%であった。

表 2-2-126 【介護療養（病院）】①～③の条件全てに適合する入院患者の割合
（実人数ベース）（n=401）



図表 2-2-127 【介護療養（診療所）】①～③の条件全てに適合する入院患者の割合
（実人数ベース）（n=120）

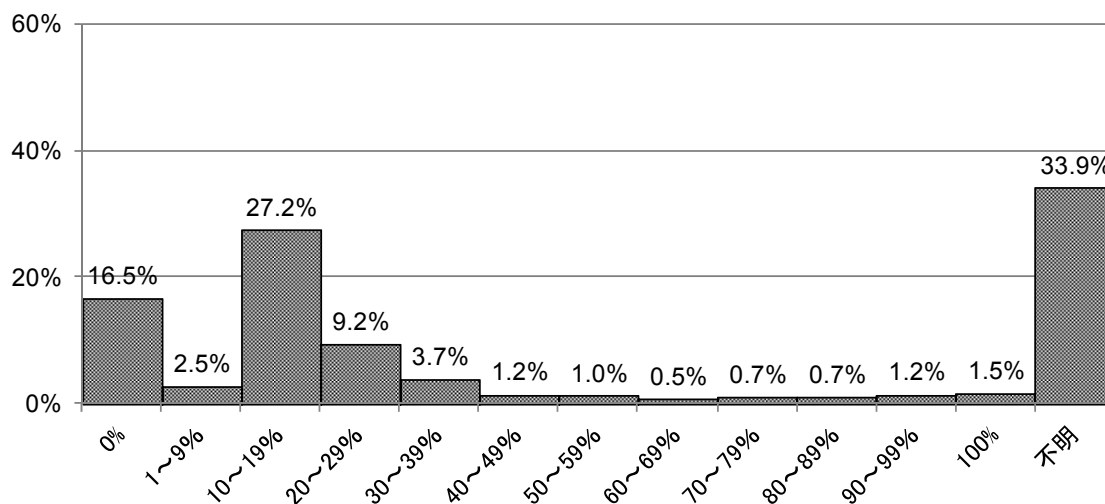


【ターミナルケアの適合条件】

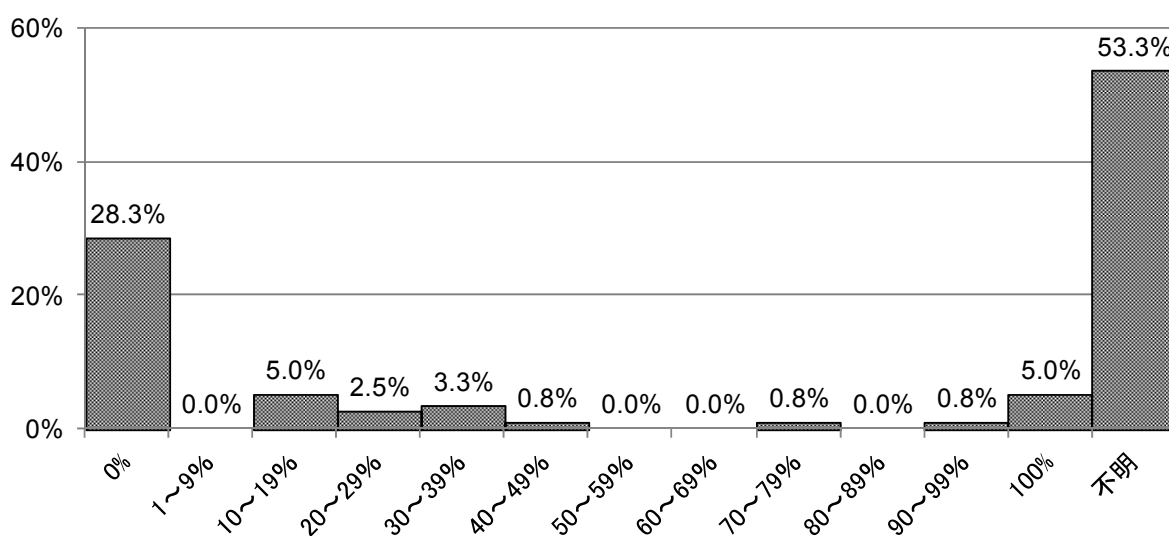
- ①医師が一般に認められている医学的知見に基づき回復の見込みがないと診断した者である。
- ②入院患者等又はその家族等の同意を得て、入院患者等のターミナルケアに係る計画が作成されている。
- ③医師、看護師、介護職員等が共同して、入院患者等の状態又は家族の求め等に応じ随時、本人又はその家族への説明を行い、同意を得てターミナルケアが行われている。

また、同じく、延べ入院日数ベースでは、病院で「10～19%」が27.2%、診療所で「0%」が28.3%であった。

図表 2-2-128 【介護療養（病院）】①～③の条件全てに適合する入院患者の割合
（延べ入院日数ベース）（n=401）



図表 2-2-129 【介護療養（診療所）】①～③の条件全てに適合する入院患者の割合
（延べ入院日数ベース）（n=120）



図表 2-2-130 【介護療養】①～③の条件全てに適合する入院患者の割合
(療養機能強化型の届出の状況別) (実人数ベース)

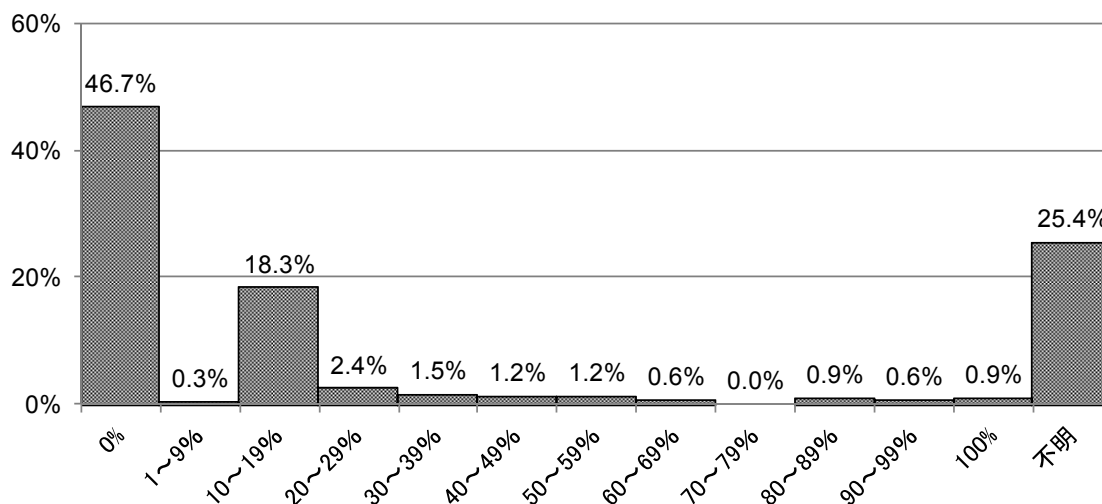
	病院			診療所		
	療養機能強化型A(n=162)	療養機能強化型B(n=35)	療養機能強化型以外(n=124)	療養機能強化型A(n=6)	療養機能強化型B(n=6)	療養機能強化型以外(n=68)
0%	5.6%	8.6%	80.6%	33.3%	33.3%	76.5%
1～9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10～19%	57.4%	71.4%	12.9%	0.0%	33.3%	1.5%
20～29%	20.4%	14.3%	1.6%	33.3%	16.7%	1.5%
30～39%	4.9%	2.9%	1.6%	0.0%	16.7%	2.9%
40～49%	3.1%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
50～59%	1.2%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%
60～69%	0.6%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%
70～79%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
80～89%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%
90～99%	1.9%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%
100%	3.1%	0.0%	1.6%	16.7%	0.0%	11.8%

図表 2-2-131 【介護療養】①～③の条件全てに適合する入院患者の割合
(療養機能強化型の届出の状況別) (延べ人数ベース)

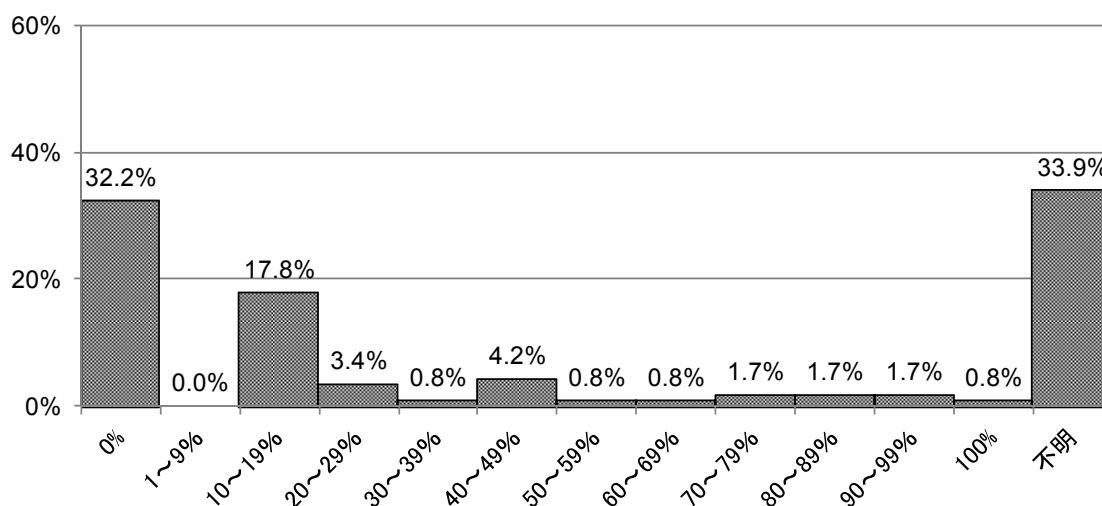
	病院			診療所		
	療養機能強化型A(n=151)	療養機能強化型B(n=31)	療養機能強化型以外(n=72)	療養機能強化型A(n=5)	療養機能強化型B(n=7)	療養機能強化型(n=37)
0%	3.3%	0.0%	70.8%	0.0%	28.6%	67.6%
1～9%	2.6%	6.5%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
10～19%	49.7%	77.4%	13.9%	0.0%	42.9%	8.1%
20～29%	22.5%	6.5%	1.4%	20.0%	0.0%	5.4%
30～39%	8.6%	0.0%	2.8%	20.0%	28.6%	2.7%
40～49%	2.0%	6.5%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%
50～59%	2.0%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
60～69%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
70～79%	1.3%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	2.7%
80～89%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
90～99%	2.6%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	2.7%
100%	2.0%	0.0%	2.8%	40.0%	0.0%	10.8%

医療療養病床を有する医療施設のターミナルケアの適合条件に関連する状況について、「①～③の条件全てに適合する入院患者の割合（実人数ベース）」は、いずれも「0%」が最も多かった。

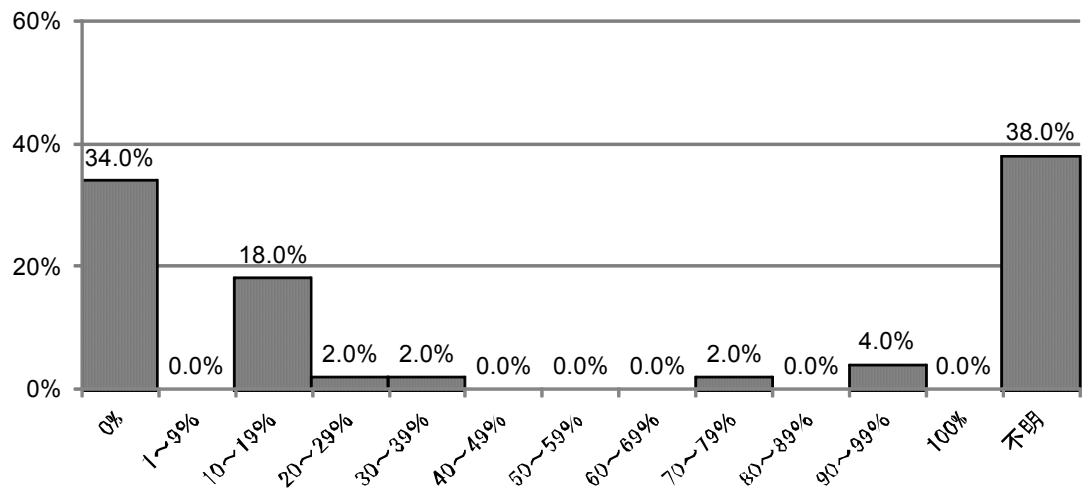
図表 2-2-132 【医療療養】①～③の条件全てに適合する入院患者の割合
(療養病棟入院基本料 1) (実人数ベース) (n=334)



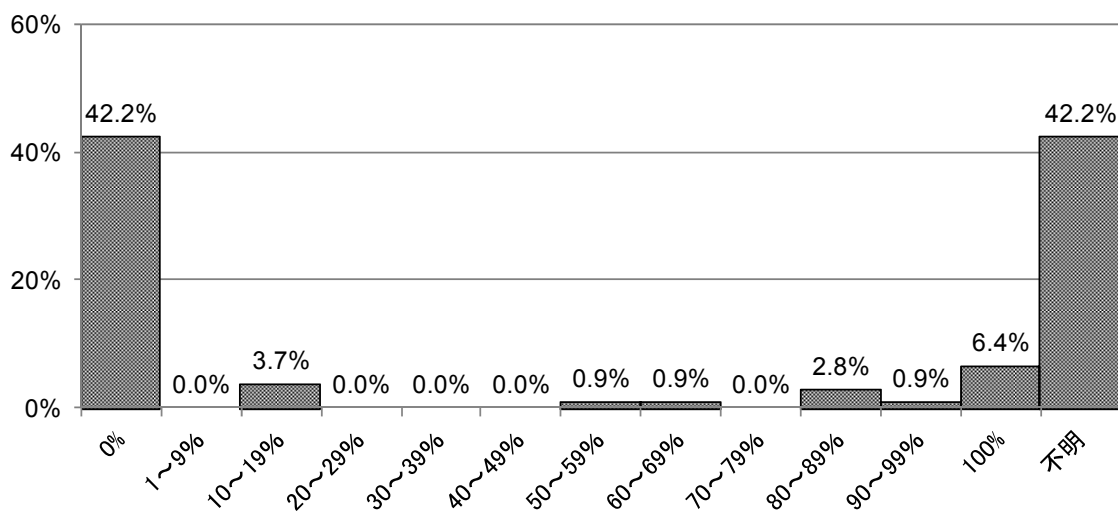
図表 2-2-133 【医療療養】①～③の条件全てに適合する入院患者の割合(療養病棟入院基本料 2(看護配置 25:1 以上、医療区分 2・3 の患者 5 割以上)) (実人数ベース) (n=118)



図表 2-2-134 【医療療養】①～③の条件全てに適合する入院患者の割合(療養病棟入院基本料 2(その他)) (実人数ベース) (n=50)

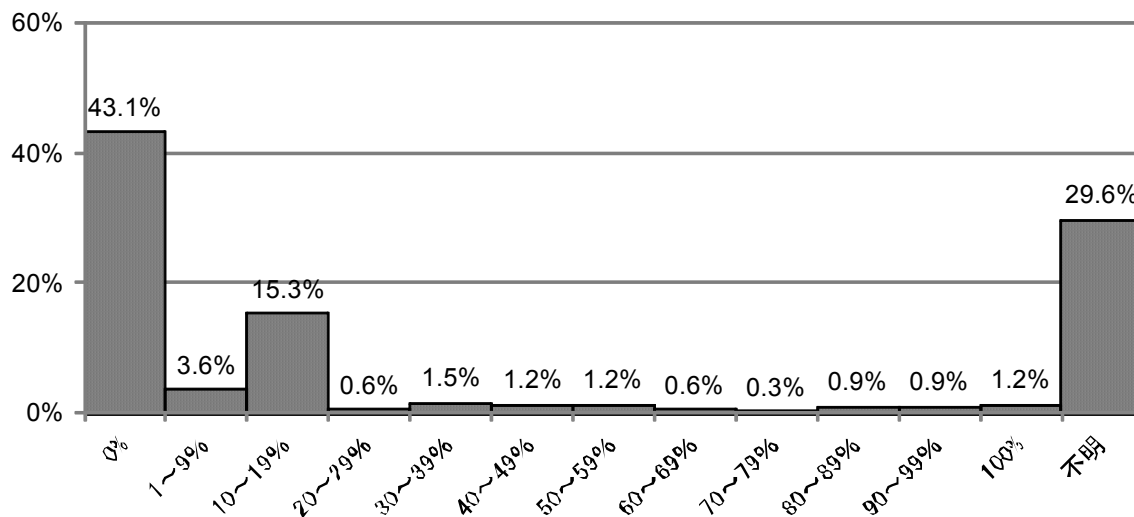


図表 2-2-135 【医療療養】①～③の条件全てに適合する入院患者の割合(有床診療所療養病床入院基本料) (実人数ベース) (n=109)

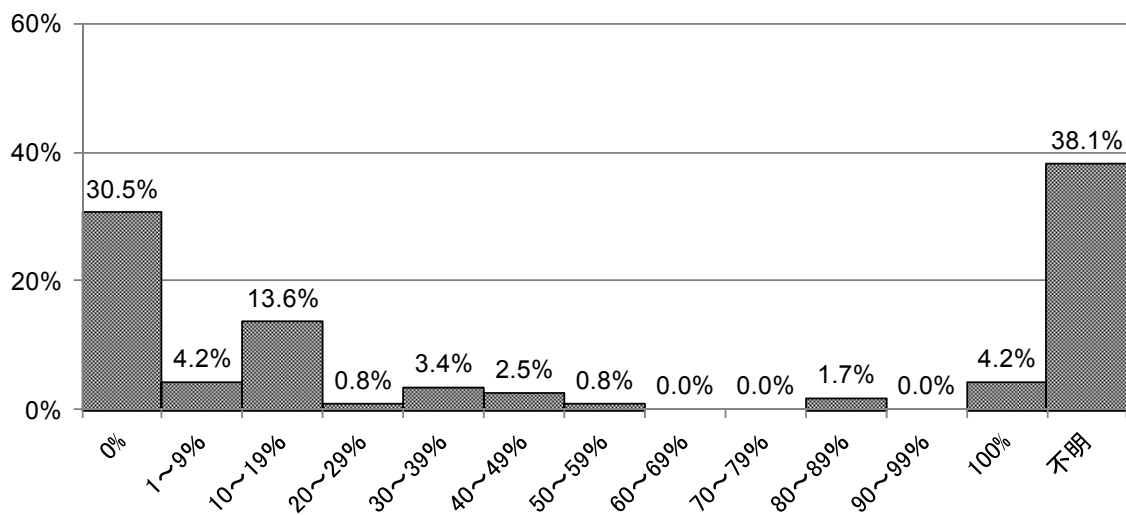


また、同じく、延べ入院日数ベースについても、いずれも「0%」が最も多かった。

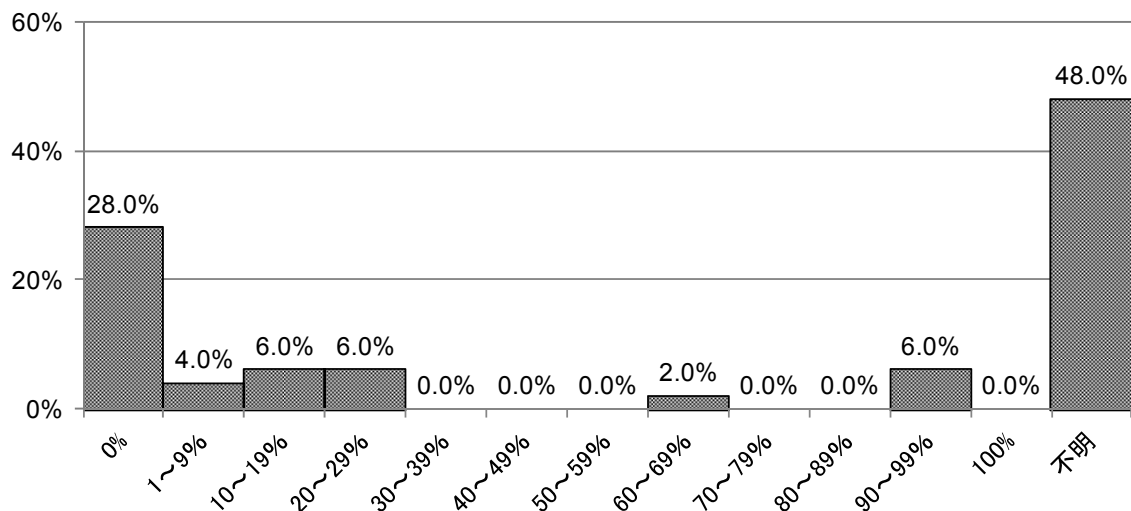
図表 2-2-136 【医療療養】①～③の条件全てに適合する入院患者の割合(療養病棟入院基本料 1) (延べ入院日数ベース) (n=334)



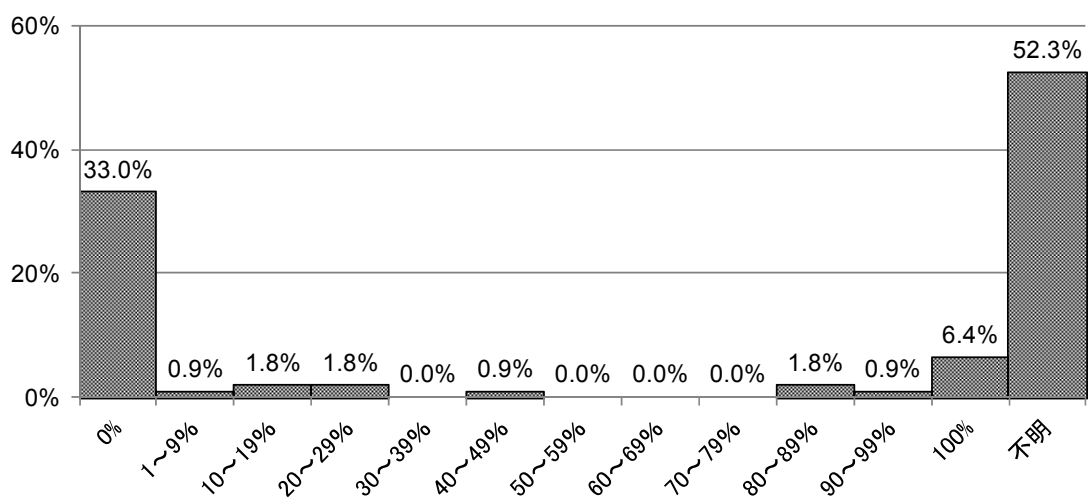
図表 2-2-137 【医療療養】①～③の条件全てに適合する入院患者の割合(療養病棟入院基本料 2(看護配置 25:1 以上、医療区分 2・3 の患者 5 割以上)) (延べ入院日数ベース) (n=118)



図表 2-2-138 【医療療養】①～③の条件全てに適合する入院患者の割合(療養病棟入院基本料 2(その他)) (延べ入院日数ベース) (n=50)



図表 2-2-139 【医療療養】①～③の条件全てに適合する入院患者の割合(有床診療所療養病床入院基本料) (延べ入院日数ベース) (n=109)



⑪ 入棟前の居場所と退院先

介護療養型医療施設の新規入棟者の入棟前の居場所別内訳は、病院で「貴院の他の病棟」が48.5%、診療所で「貴院の他の病棟」が31.4%、老人性認知症疾患療養病棟(病院)で、「他の病院」が49.2%であった。

退院者の退院先別内訳は、病院で「貴院の他の病棟」が22.9%、診療所で「本人の家」が34.4%、老人性認知症疾患療養病棟(病院)で、「他の病院」が23.7%であった。

図表 2-2-140 【介護療養】新規入棟者の入棟前の居場所別人数

	合計	本人の家	貴院の他の病棟	他の病院	他の診療所	老人保健施設	特別養護老人ホーム
介護療養病床(病院)	9,255	773	4,486	3,082	72	281	117
	100.0%	8.4%	48.5%	33.3%	0.8%	3.0%	1.3%
介護療養病床(診療所)	421	129	132	101	3	9	7
	100.0%	30.6%	31.4%	24.0%	0.7%	2.1%	1.7%
老人性認知症疾患療養病棟(病院)	128	8	50	63	0	5	0
	100.0%	6.3%	39.1%	49.2%	0.0%	3.9%	0.0%

有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	養護老人ホーム	軽費老人ホーム・ケアハウス	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	その他
27	36	12	3	56	310
0.3%	0.4%	0.1%	0.0%	0.6%	3.3%
3	1	0	1	3	32
0.7%	0.2%	0.0%	0.2%	0.7%	7.6%
0	0	0	0	2	0
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%

図表 2-2-141 【介護療養】退院者の退院先別人数

	合計	本人の家	貴院の他の病棟	他の病院	他の診療所	老人保健施設	特別養護老人ホーム
介護療養病床(病院)	9,305	810	2,134	901	17	513	537
	100.0%	8.7%	22.9%	9.7%	0.2%	5.5%	5.8%
介護療養病床(診療所)	369	127	41	33	2	11	20
	100.0%	34.4%	11.1%	8.9%	0.5%	3.0%	5.4%
老人性認知症疾患療養病棟(病院)	135	5	14	32	0	5	9
	100.0%	3.7%	10.4%	23.7%	0.0%	3.7%	6.7%

有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	養護老人ホーム	軽費老人ホーム・ケアハウス	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	死亡	その他
73	78	13	11	54	3,829	335
0.8%	0.8%	0.1%	0.1%	0.6%	41.1%	3.6%
3	0	0	1	6	100	25
0.8%	0.0%	0.0%	0.3%	1.6%	27.1%	6.8%
0	0	0	1	3	66	0
0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	2.2%	48.9%	0.0%

※網掛けは、選択が多い上位2項目

3 入院患者について

療養機能強化型の届出の状況別に、介護療養型医療施設の新規入棟者の入棟前の居場所別内訳をみると、「貴院の他の病棟」について、病院（療養機能強化型A）が41.5%、病院（療養機能強化型B）が47.5%、病院（療養機能強化型以外）が61.4%であった。

図表 2-2-142 【介護療養】新規入棟者の入棟前の居場所別人数（療養機能強化型の届出の状況別）

	合計	本人の家	貴院の他の病棟	他の病院	他の診療所	老人保健施設	特別養護老人ホーム
病院（療養機能強化型A）	5,362	414	2,226	2,101	59	174	83
	100.0%	7.7%	41.5%	39.2%	1.1%	3.2%	1.5%
病院（療養機能強化型B）	947	58	450	364	1	41	16
	100.0%	6.1%	47.5%	38.4%	0.1%	4.3%	1.7%
病院（療養機能強化型以外）	2,940	301	1,804	617	12	66	18
	100.0%	10.2%	61.4%	21.0%	0.4%	2.2%	0.6%
診療所（療養機能強化型A）	13	1	7	2	2	0	0
	100.0%	7.7%	53.8%	15.4%	15.4%	0.0%	0.0%
診療所（療養機能強化型B）	29	10	4	7	0	1	3
	100.0%	34.5%	13.8%	24.1%	0.0%	3.4%	10.3%
診療所（療養機能強化型以外）	374	118	116	92	1	8	4
	100.0%	31.6%	31.0%	24.6%	0.3%	2.1%	1.1%

有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	養護老人ホーム	軽費老人ホーム・ケアハウス	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	その他
19	30	10	2	22	222
0.4%	0.6%	0.2%	0.0%	0.4%	4.1%
2	3	1	1	7	3
0.2%	0.3%	0.1%	0.1%	0.7%	0.3%
6	3	1	0	27	85
0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.9%	2.9%
0	0	0	0	1	0
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%
1	0	0	0	0	3
3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.3%
2	1	0	1	2	29
0.5%	0.3%	0.0%	0.3%	0.5%	7.8%

※網掛けは、選択が多い上位2項目

療養機能強化型の届出の状況別に、介護療養型医療施設の退院者の退院先別内訳をみると、「貴院の他の病棟」について、病院（療養機能強化型A）が16.2%、病院（療養機能強化型B）が25.7%、病院（療養機能強化型以外）が34.2%であった。

図表 2-2-143 【介護療養】退院者の退院先別人数（療養機能強化型の届出の状況別）

	合計	本人の家	貴院の他の病棟	他の病院	他の診療所	老人保健施設	特別養護老人ホーム
病院(療養機能強化型A)	5,345	427	865	583	8	233	292
	100.0%	8.0%	16.2%	10.9%	0.1%	4.4%	5.5%
病院(療養機能強化型B)	1,003	60	258	87	0	39	54
	100.0%	6.0%	25.7%	8.7%	0.0%	3.9%	5.4%
病院(療養機能強化型以外)	2,951	323	1,008	231	9	241	191
	100.0%	10.9%	34.2%	7.8%	0.3%	8.2%	6.5%
診療所(療養機能強化型A)	7	0	1	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
診療所(療養機能強化型B)	31	11	0	6	0	0	4
	100.0%	35.5%	0.0%	19.4%	0.0%	0.0%	12.9%
診療所(療養機能強化型以外)	327	116	39	27	2	11	15
	100.0%	35.5%	11.9%	8.3%	0.6%	3.4%	4.6%

有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	養護老人ホーム	軽費老人ホーム・ケアハウス	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	死亡	その他
37	53	10	9	29	2,561	238
0.7%	1.0%	0.2%	0.2%	0.5%	47.9%	4.5%
5	8	0	0	4	477	11
0.5%	0.8%	0.0%	0.0%	0.4%	47.6%	1.1%
31	17	3	2	21	788	86
1.1%	0.6%	0.1%	0.1%	0.7%	26.7%	2.9%
0	0	0	0	1	5	0
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	71.4%	0.0%
0	0	0	0	0	10	0
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	32.3%	0.0%
3	0	0	1	5	84	24
0.9%	0.0%	0.0%	0.3%	1.5%	25.7%	7.3%

※網掛けは、選択が多い上位2項目

3 入院患者について

医療療養病床を有する医療施設について、新規入棟者の入棟前の居場所別人数の内訳は、療養病棟基本料1で「貴院の他の病棟」が40.9%、療養病棟基本料2（看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上）で「貴院の他の病棟」が44.1%、療養病棟基本料2(その他)で「貴院の他の病棟」が37.8%、有料診療所療養病床入院基本料で「本人の家」が60.1%であった。

図表 2-2-144 【医療療養】新規入棟者の入棟前の居場所別人数

	合計	本人の家	貴院の他の病棟	他の病院	他の診療所	老人保健施設	特別養護老人ホーム
療養病棟入院基本料1	17,689	2,399	7,234	5,738	172	416	561
	100.0%	13.6%	40.9%	32.4%	1.0%	2.4%	3.2%
療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	4,851	871	2,137	1,293	48	112	106
	100.0%	18.0%	44.1%	26.7%	1.0%	2.3%	2.2%
療養病棟入院基本料2(その他)	2,641	624	998	640	39	91	47
	100.0%	23.6%	37.8%	24.2%	1.5%	3.4%	1.8%
有床診療所療養病床入院基本料	950	571	106	177	7	10	22
	100.0%	60.1%	11.2%	18.6%	0.7%	1.1%	2.3%

有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	養護老人ホーム	軽費老人ホーム・ケアハウス	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	その他
103	91	23	47	128	777
0.6%	0.5%	0.1%	0.3%	0.7%	4.4%
25	21	18	3	21	196
0.5%	0.4%	0.4%	0.1%	0.4%	4.0%
26	9	7	1	22	137
1.0%	0.3%	0.3%	0.0%	0.8%	5.2%
10	15	2	3	7	20
1.1%	1.6%	0.2%	0.3%	0.7%	2.1%

※網掛けは、選択が多い上位2項目

医療療養病床を有する医療施設について、退院者の退院先別人数の内訳は、療養病棟基本料1で「本人の家」が19.7%、療養病棟基本料2（看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上）では29.6%、療養病棟基本料2(その他)では34.6%、「有料診療所療養病床入院基本料」では51.7%であった。

図表2-2-145 【医療療養】退院者の退院先別人数

	合計	本人の家	貴院の他の病棟	他の病院	他の診療所	老人保健施設	特別養護老人ホーム
療養病棟入院基本料1	17,296	3,406	1,417	1,656	46	923	863
	100.0%	19.7%	8.2%	9.6%	0.3%	5.3%	5.0%
療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	4,899	1,452	304	487	10	286	248
	100.0%	29.6%	6.2%	9.9%	0.2%	5.8%	5.1%
療養病棟入院基本料2(その他)	2,563	888	179	244	20	212	100
	100.0%	34.6%	7.0%	9.5%	0.8%	8.3%	3.9%
有床診療所療養病床入院基本料	849	439	74	85	0	21	25
	100.0%	51.7%	8.7%	10.0%	0.0%	2.5%	2.9%

有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	養護老人ホーム	軽費老人ホーム・ケアハウス	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	死亡	その他
317	184	33	50	109	7,412	880
1.8%	1.1%	0.2%	0.3%	0.6%	42.9%	5.1%
69	46	19	16	42	1,723	197
1.4%	0.9%	0.4%	0.3%	0.9%	35.2%	4.0%
54	25	9	4	22	644	162
2.1%	1.0%	0.4%	0.2%	0.9%	25.1%	6.3%
13	19	5	1	7	141	19
1.5%	2.2%	0.6%	0.1%	0.8%	16.6%	2.2%

⑫ 口腔衛生管理体制

介護療養型医療施設における口腔衛生管理体制は、病院で、「協力歯科医療機関による訪問歯科診療」が 46.9%、診療所では 30.8%、老人性認知症疾患療養病棟(病院)では、44.4%であった。

図表 2 - 2 - 146 【介護療養】口腔衛生管理体制

	合計	協力歯科医療機関の届出	協力歯科医療機関による訪問歯科診療	歯科医師による定期的な歯科健康診査	歯科衛生士による定期的な歯科衛生に関するアセスメント	歯科衛生士による口腔衛生管理の実施	介護職員に対する口腔ケアに関する研修の機会	カンファレンスへの歯科医師、歯科衛生士の参加	介護職員に対する口腔ケアに係る助言や指導
介護療養病床(病院)	401	76	188	44	60	86	130	43	137
	100.0%	19.0%	46.9%	11.0%	15.0%	21.4%	32.4%	10.7%	34.2%
介護療養病床(診療所)	120	13	37	4	5	6	30	5	13
	100.0%	10.8%	30.8%	3.3%	4.2%	5.0%	25.0%	4.2%	10.8%
老人性認知症疾患療養病棟(病院)	9	3	4	1	2	3	2	0	3
	100.0%	33.3%	44.4%	11.1%	22.2%	33.3%	22.2%	0.0%	33.3%

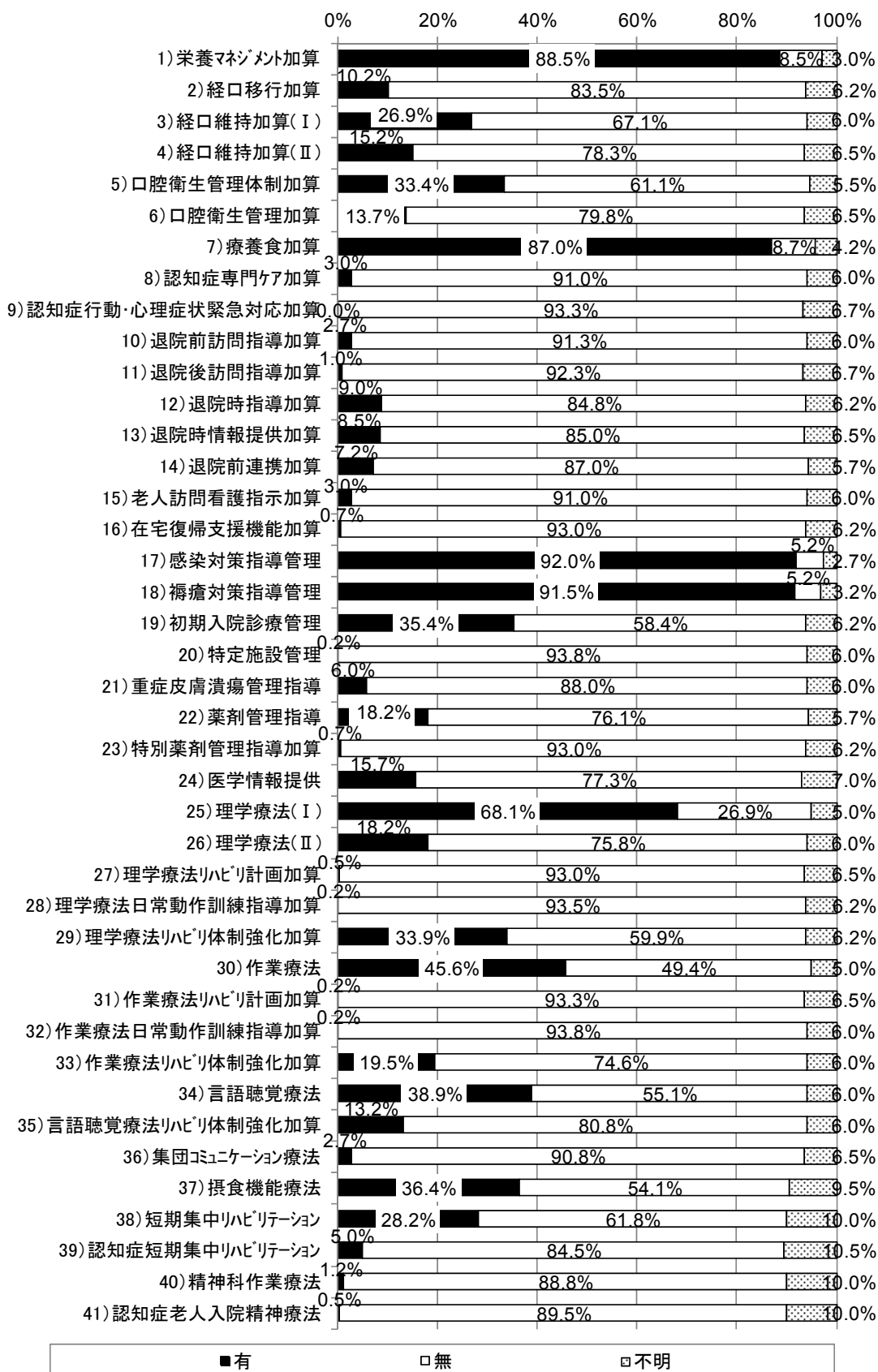
その他	不明
11	114
2.7%	28.4%
8	51
6.7%	42.5%
1	2
11.1%	22.2%

⑬ 加算等の算定人数

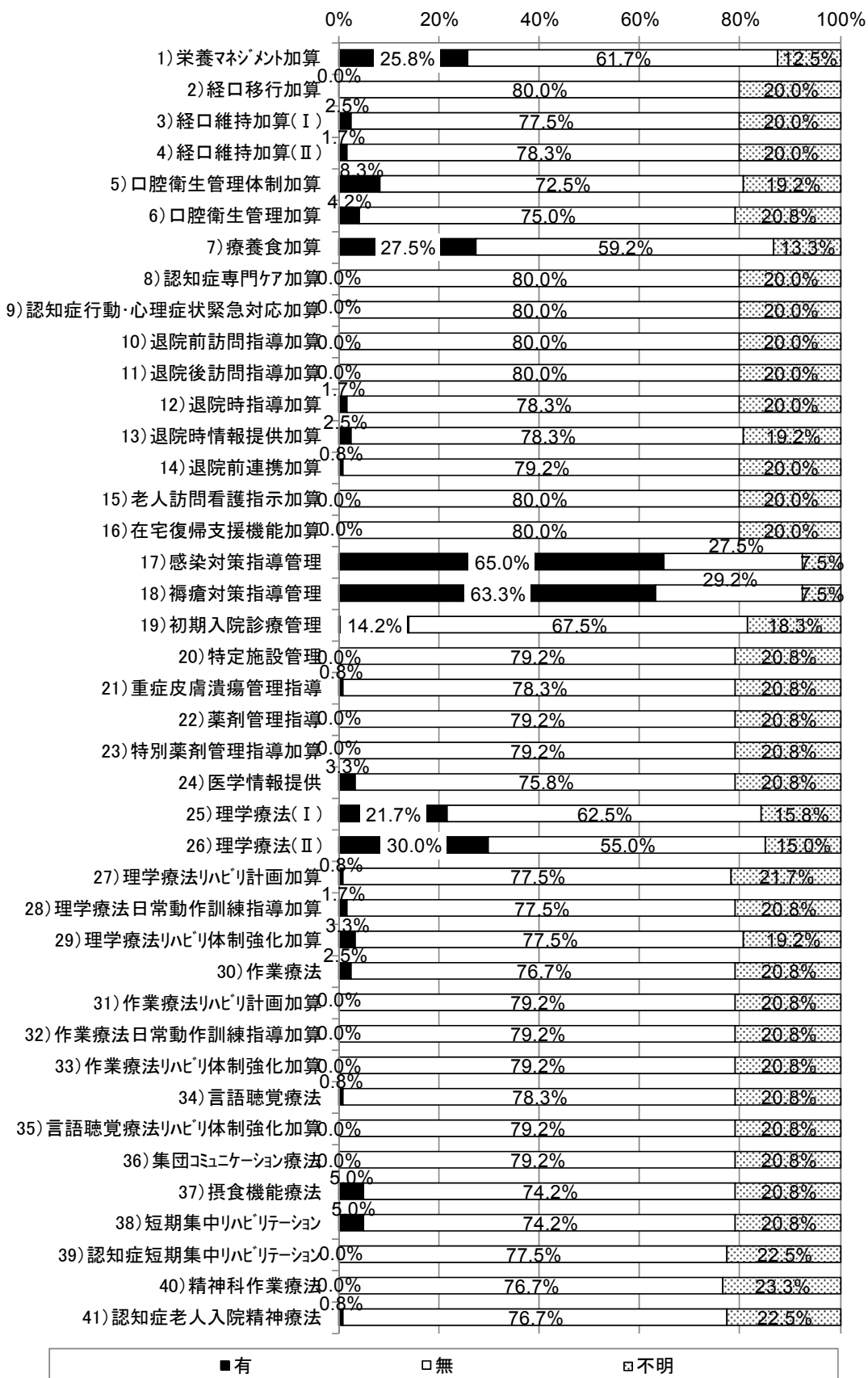
介護療養型医療施設における加算等の算定の状況は、病院では「17)感染対策指導管理」が 92.0%、「18)褥瘡対策指導管理」が 91.5%、「1)栄養マネジメント加算」が 88.5%であった。また診療所では、「17)感染対策指導管理」が 65.0%、「18)褥瘡対策指導管理」が 63.3%、「26)理学療法(Ⅱ)」が 30.0%であった。

介護療養（老人性認知症疾患療養病棟）では、「1)栄養マネジメント加算」が 100%、「7)療養食加算」、「15)感染対策指導管理」が 88.9%であった。

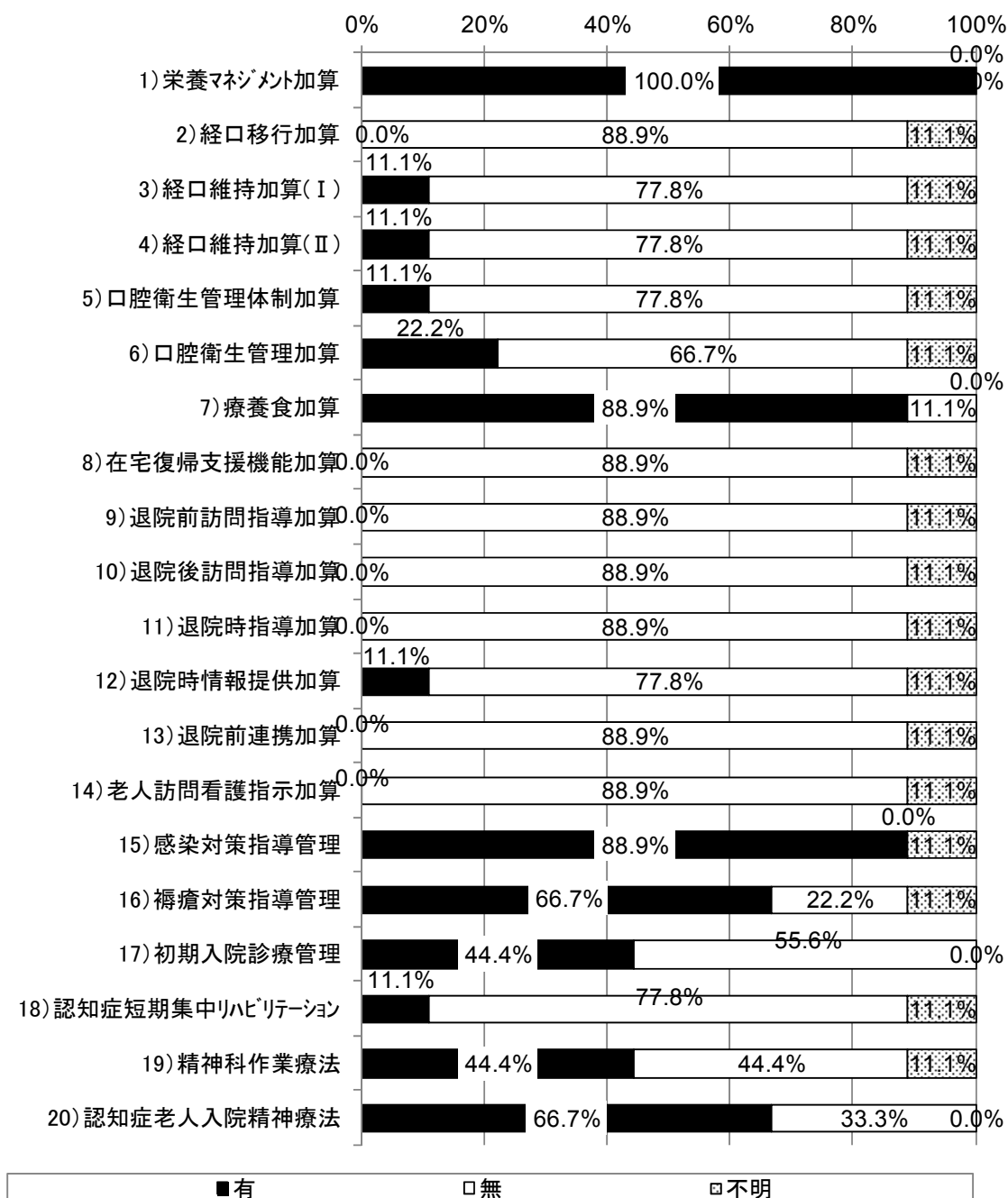
図表 2-2-147 【介護療養（病院）】加算等の算定の有無（n=401）



図表 2-2-148 【介護療養（診療所）】加算等の算定の有無（n=120）



図表 2-2-149 【介護療養（老人性認知症疾患療養病棟）】加算等の算定の有無（n=9）



図表 2-2-150 【介護療養（病院）】加算等の算定の「有」の割合

	療養機能強化型A (n=185)	療養機能強化型B (n=38)	療養機能強化型以外 (n=175)
1) 栄養マネジメント加算	93.0%	94.7%	82.3%
2) 経口移行加算	17.8%	7.9%	2.9%
3) 経口維持加算(Ⅰ)	41.1%	26.3%	12.6%
4) 経口維持加算(Ⅱ)	25.4%	15.8%	4.6%
5) 口腔衛生管理体制加算	44.3%	42.1%	20.6%
6) 口腔衛生管理加算	17.8%	10.5%	10.3%
7) 療養食加算	90.8%	94.7%	81.1%
8) 認知症専門ケア加算	2.7%	5.3%	2.3%
9) 認知症行動・心理症状緊急対応加算	0.0%	0.0%	0.0%
10) 退院前訪問指導加算	2.2%	2.6%	3.4%
11) 退院後訪問指導加算	1.1%	2.6%	0.6%
12) 退院時指導加算	8.1%	18.4%	8.0%
13) 退院時情報提供加算	8.1%	15.8%	7.4%
14) 退院前連携加算	7.6%	7.9%	6.9%
15) 老人訪問看護指示加算	3.8%	5.3%	1.7%
16) 在宅復帰支援機能加算	1.6%	0.0%	0.0%
17) 感染対策指導管理	95.1%	92.1%	88.6%
18) 褥瘡対策指導管理	95.1%	92.1%	87.4%
19) 初期入院診療管理	44.9%	44.7%	24.0%
20) 特定施設管理	0.0%	0.0%	0.6%
21) 重症皮膚潰瘍管理指導	8.6%	10.5%	2.3%
22) 薬剤管理指導	21.6%	21.1%	13.7%
23) 特別薬剤管理指導加算	1.1%	0.0%	0.6%
24) 医学情報提供	17.3%	18.4%	13.7%
25) 理学療法(Ⅰ)	76.8%	78.9%	56.6%
26) 理学療法(Ⅱ)	14.6%	15.8%	22.3%
27) 理学療法リハビリ計画加算	0.0%	0.0%	1.1%
28) 理学療法日常動作訓練指導加算	0.0%	0.0%	0.6%
29) 理学療法リハビリ体制強化加算	43.2%	44.7%	21.7%
30) 作業療法	59.5%	63.2%	28.0%
31) 作業療法リハビリ計画加算	0.5%	0.0%	0.0%
32) 作業療法日常動作訓練指導加算	0.0%	0.0%	0.6%
33) 作業療法リハビリ体制強化加算	27.6%	31.6%	8.6%
34) 言語聴覚療法	50.8%	55.3%	22.9%
35) 言語聴覚療法リハビリ体制強化加算	19.5%	26.3%	4.0%
36) 集団コミュニケーション療法	3.8%	0.0%	2.3%
37) 摂食機能療法	46.5%	47.4%	24.0%
38) 短期集中リハビリテーション	33.5%	34.2%	21.7%
39) 認知症短期集中リハビリテーション	8.6%	7.9%	0.6%
40) 精神科作業療法	0.5%	2.6%	1.7%
41) 認知症老人入院精神療法	1.1%	0.0%	0.0%

※網掛けは、「療養機能強化型A」と「療養機能強化型以外」の加算割合の差が大きいもの10項目

図表 2-2-151 【介護療養（診療所）】加算等の算定の「有」の割合

	療養機能強化型A (n=9)	療養機能強化型B (n=7)	療養機能強化型以外 (n=99)
1) 栄養マネジメント加算	44.4%	28.6%	25.3%
2) 経口移行加算	0.0%	0.0%	0.0%
3) 経口維持加算(Ⅰ)	0.0%	0.0%	3.0%
4) 経口維持加算(Ⅱ)	0.0%	0.0%	2.0%
5) 口腔衛生管理体制加算	0.0%	28.6%	8.1%
6) 口腔衛生管理加算	0.0%	28.6%	3.0%
7) 療養食加算	11.1%	14.3%	30.3%
8) 認知症専門ケア加算	0.0%	0.0%	0.0%
9) 認知症行動・心理症状緊急対応加算	0.0%	0.0%	0.0%
10) 退院前訪問指導加算	0.0%	0.0%	0.0%
11) 退院後訪問指導加算	0.0%	0.0%	0.0%
12) 退院時指導加算	0.0%	0.0%	2.0%
13) 退院時情報提供加算	0.0%	0.0%	3.0%
14) 退院前連携加算	0.0%	0.0%	1.0%
15) 老人訪問看護指示加算	0.0%	0.0%	0.0%
16) 在宅復帰支援機能加算	0.0%	0.0%	0.0%
17) 感染対策指導管理	88.9%	100.0%	60.6%
18) 褥瘡対策指導管理	88.9%	100.0%	58.6%
19) 初期入院診療管理	22.2%	0.0%	15.2%
20) 特定施設管理	0.0%	0.0%	0.0%
21) 重症皮膚潰瘍管理指導	0.0%	0.0%	1.0%
22) 薬剤管理指導	0.0%	0.0%	0.0%
23) 特別薬剤管理指導加算	0.0%	0.0%	0.0%
24) 医学情報提供	0.0%	0.0%	4.0%
25) 理学療法(Ⅰ)	33.3%	14.3%	21.2%
26) 理学療法(Ⅱ)	22.2%	28.6%	31.3%
27) 理学療法リハビリ計画加算	11.1%	0.0%	0.0%
28) 理学療法日常動作訓練指導加算	0.0%	0.0%	2.0%
29) 理学療法リハビリ体制強化加算	0.0%	0.0%	3.0%
30) 作業療法	0.0%	0.0%	3.0%
31) 作業療法リハビリ計画加算	0.0%	0.0%	0.0%
32) 作業療法日常動作訓練指導加算	0.0%	0.0%	0.0%
33) 作業療法リハビリ体制強化加算	0.0%	0.0%	0.0%
34) 言語聴覚療法	0.0%	0.0%	1.0%
35) 言語聴覚療法リハビリ体制強化加算	0.0%	0.0%	0.0%
36) 集団コミュニケーション療法	0.0%	0.0%	0.0%
37) 摂食機能療法	11.1%	14.3%	4.0%
38) 短期集中リハビリテーション	11.1%	0.0%	4.0%
39) 認知症短期集中リハビリテーション	0.0%	0.0%	0.0%
40) 精神科作業療法	0.0%	0.0%	0.0%
41) 認知症老人入院精神療法	0.0%	0.0%	1.0%

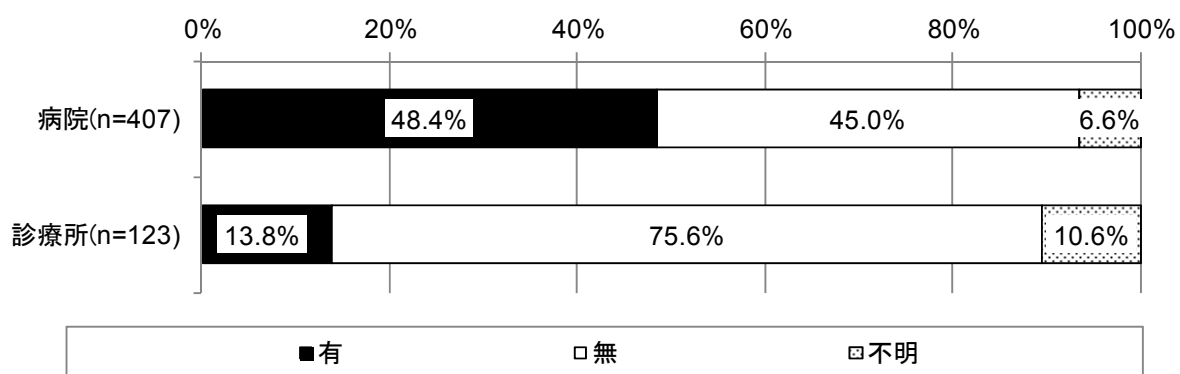
4. 退院支援および指定訪問看護の実施状況

① 退院支援部門の有無

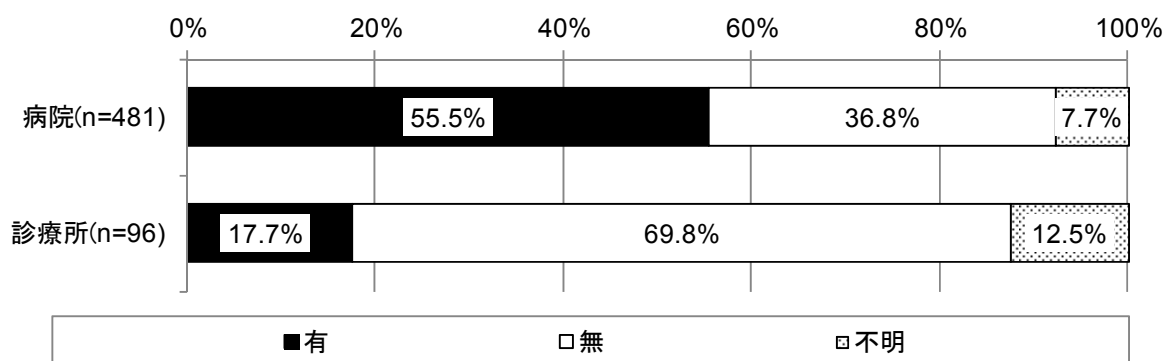
介護療養型医療施設における退院支援部門の有無は、「有」についてみると、病院が48.4%、診療所が13.8%であった。

また、医療療養病床を有する医療施設では、同じく「有」についてみると、病院が55.5%、診療所が17.7%であった。

図表 2 - 2 - 152 【介護療養】退院支援部門の有無



図表 2 - 2 - 153 【医療療養】退院支援部門の有無

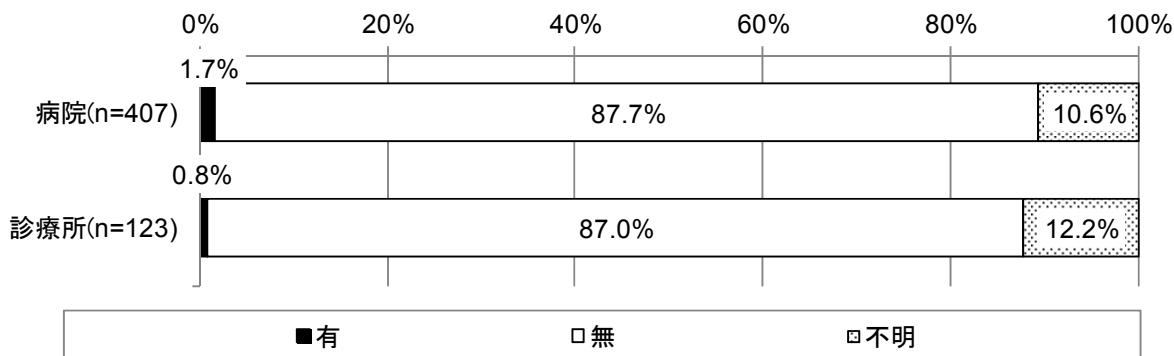


② 退院後訪問指導料の算定の有無

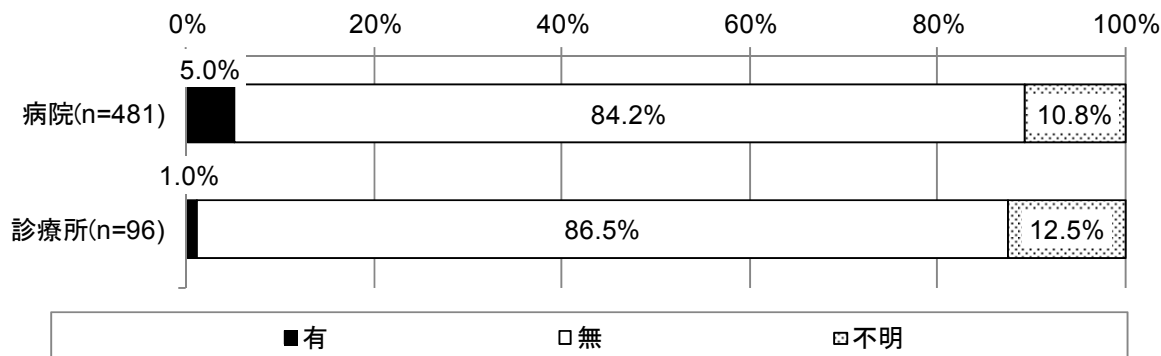
介護療養型医療施設における退院後訪問指導料の算定の有無は、「有」についてみると、病院が 1.7%、診療所が 0.8%であった。

また、医療療養病床を有する医療施設では、同じく「有」についてみると、病院が 5.0%、診療所が 1.0%であった。

図表 2 - 2 -154 【介護療養】退院後訪問指導料の算定の有無



図表 2 - 2 -155 【医療療養】退院後訪問指導料の算定の有無

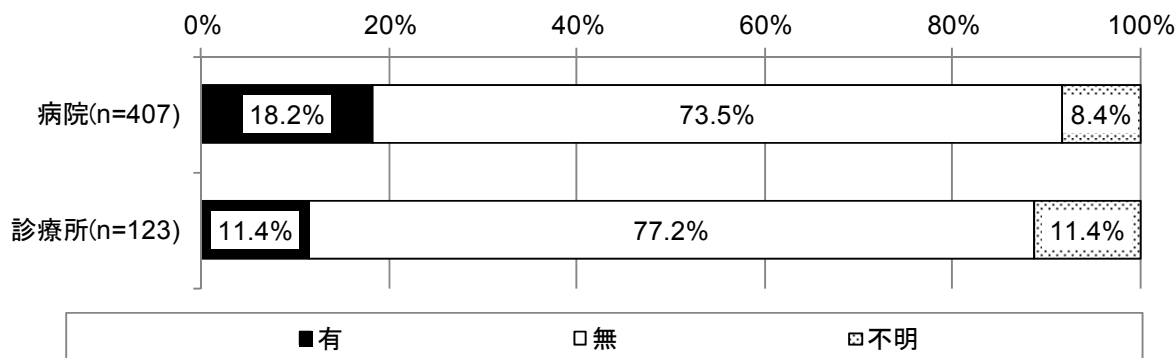


③ 指定訪問看護の実施状況

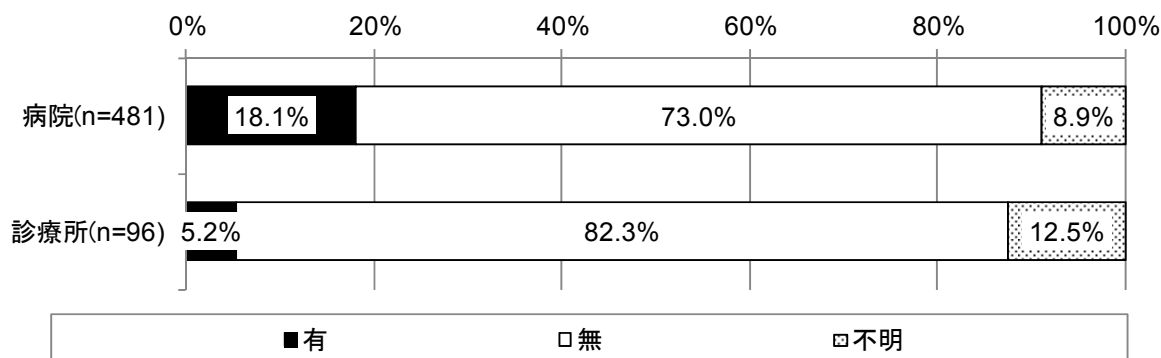
介護療養型医療施設における指定訪問看護の実施の有無は、「有」についてみると、病院が18.2%、診療所が11.4%であった。

また、医療療養病床を有する医療施設では、同じく「有」についてみると、病院が18.1%、診療所が5.2%であった。

図表 2 - 2 - 156 【介護療養】 指定訪問看護の実施の有無



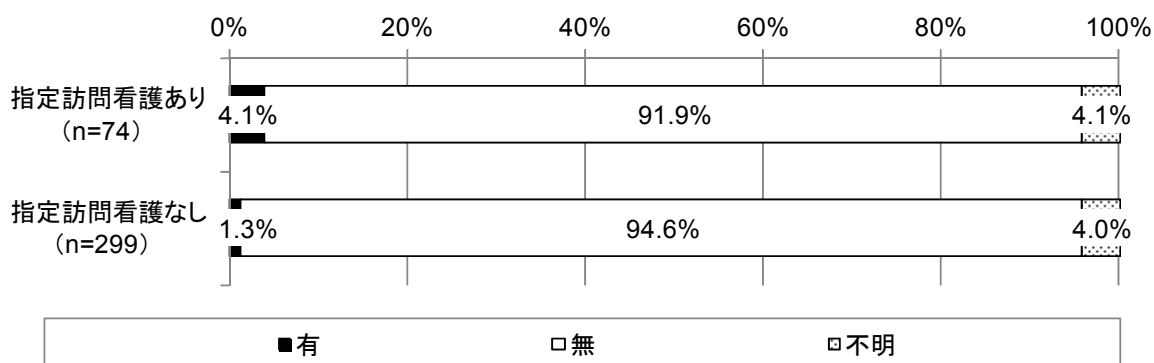
図表 2 - 2 - 157 【医療療養】 指定訪問看護の実施の有無



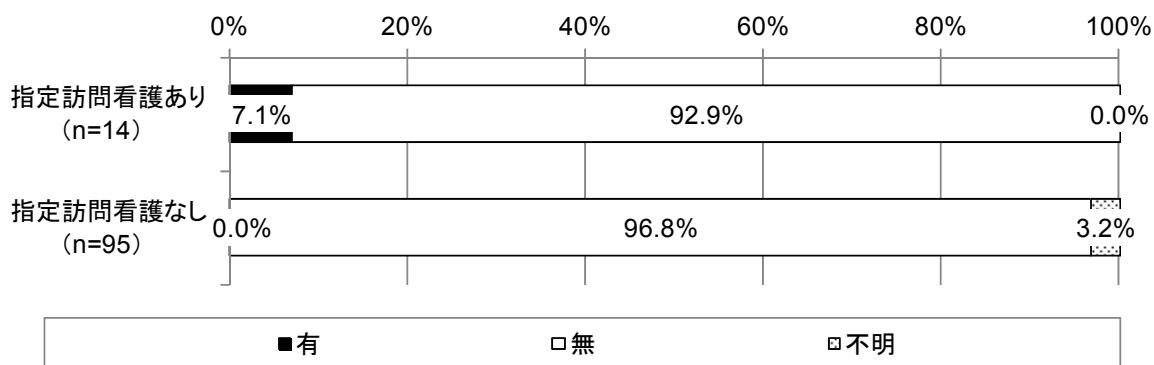
4 退院支援および指定訪問看護の実施状況

介護療養型医療施設において、指定訪問看護の実施の有無別の、退院後訪問指導料の算定の有無は、「有」についてみると、病院では、「指定訪問看護あり」で4.1%、「指定訪問看護なし」で1.3%であった。また診療所では、「指定訪問看護あり」で7.1%、「指定訪問看護なし」で0.0%であった。

図表 2-2-158 【介護療養（病院）】指定訪問看護の実施の有無別の退院後訪問指導料の算定の有無

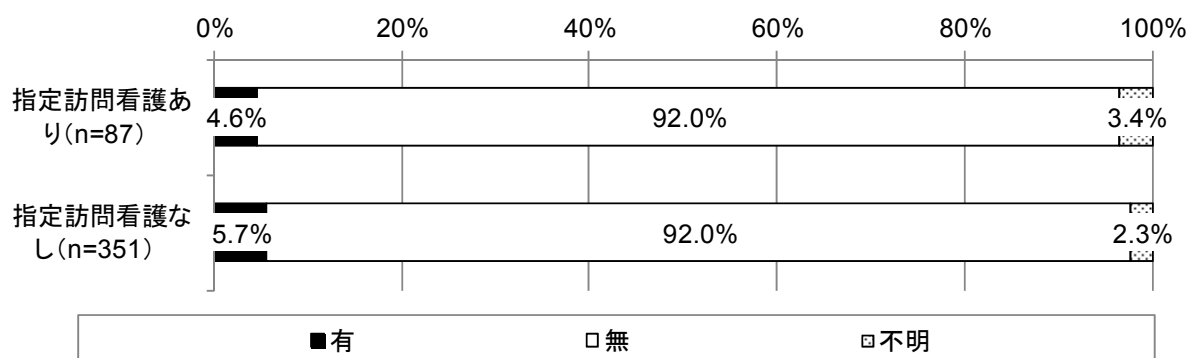


図表 2-2-159 【介護療養（診療所）】指定訪問看護の実施の有無別の退院後訪問指導料の算定の有無

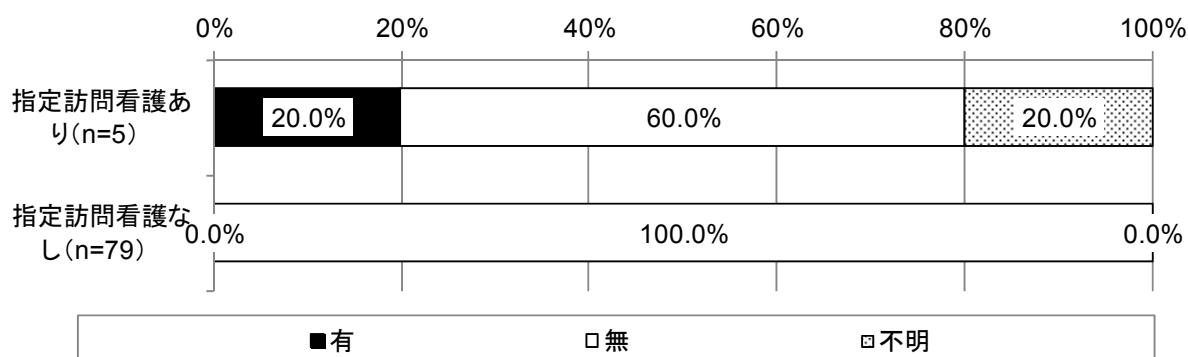


医療療養病床を有する医療施設において、指定訪問看護の実施の有無別の、退院後訪問指導料の算定の有無は、「有」についてみると、病院では、「指定訪問看護あり」で4.6%、「指定訪問看護なし」で5.7%であった。また診療所では、「指定訪問看護あり」で20.0%、「指定訪問看護なし」で0.0%であった。

図表 2-2-160 【医療療養（病院）】指定訪問看護の実施の有無別の退院後訪問指導料の算定の有無



図表 2-2-161 【医療療養（診療所）】指定訪問看護の実施の有無別の退院後訪問指導料の算定の有無

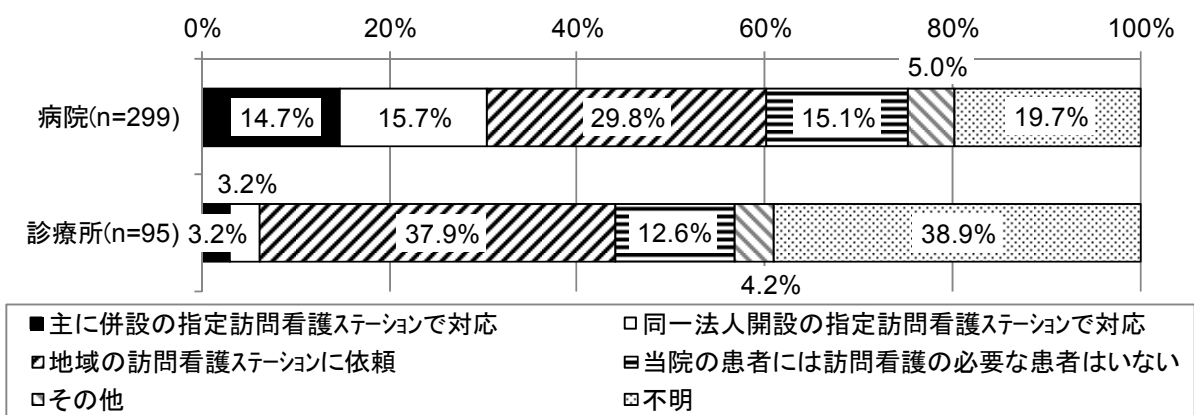


介護療養型医療施設における訪問看護が必要な利用者への対応は、「地域の訪問看護ステーションに依頼」が病院で 29.8%、診療所で 37.9%であった。

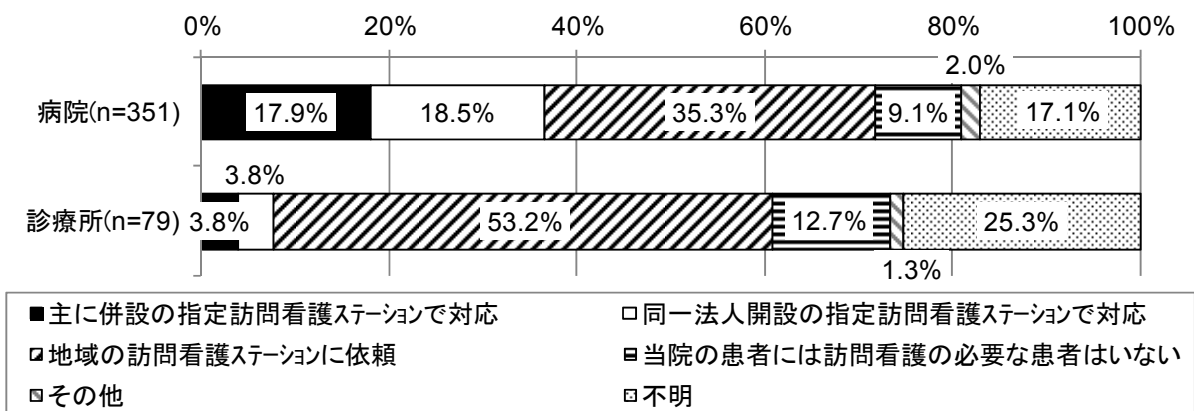
医療療養病床を有する医療施設の訪問看護が必要な利用者への対応は、「地域の訪問看護ステーションに依頼」が病院で 35.3%、「診療所」で 53.2%であった。

その他の具体的な内容は、介護療養型医療施設については、訪問診療を行う、在宅で療養できる人がいない、最後まで看取るためなどであった。医療療養病床を有する医療施設については、訪問診療、付属の診療所で対応している、ケアマネジャーと調整などであった。

図表 2 - 2 - 162 【介護療養】訪問看護が必要な利用者への対応



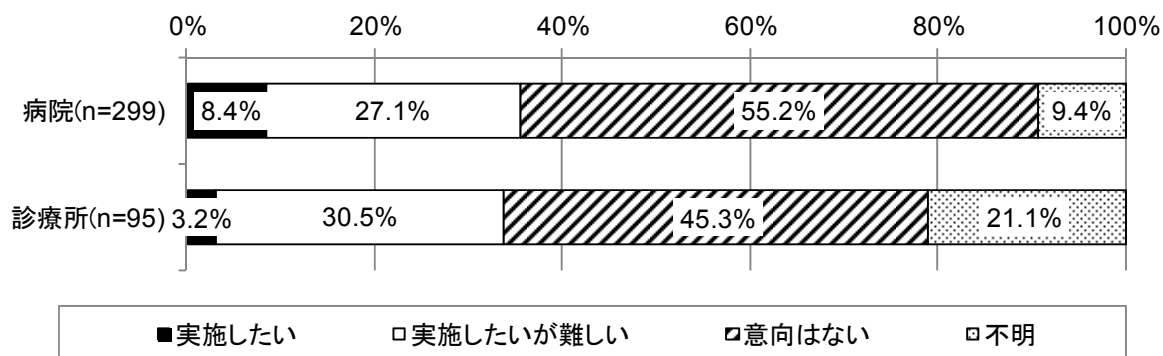
図表 2 - 2 - 163 【医療療養】訪問看護が必要な利用者への対応



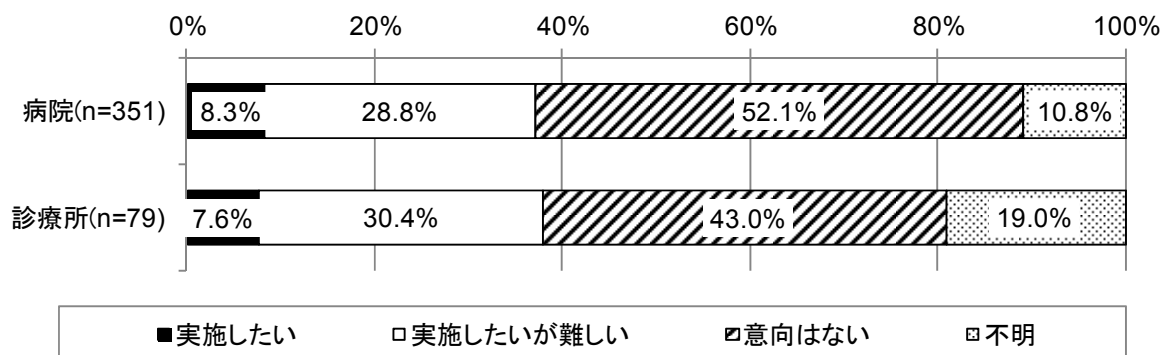
介護療養型医療施設において今後の訪問看護の実施意向は、「実施したい」は、病院が8.4%、診療所が3.2%であった。

また、医療療養病床を有する医療施設では、「実施したい」は、病院が8.3%、診療所が7.6%であった。

図表 2 - 2 - 164 【介護療養】 今後の訪問看護の実施意向



図表 2 - 2 - 165 【医療療養】 今後の訪問看護の実施意向



4 退院支援および指定訪問看護の実施状況

介護療養型医療施設の、訪問看護について「実施したい」と回答した理由は「退院支援を促進するためには、必要なサービスであるから」が病院で 68.0%、診療所で 66.7%であった。

医療療養病床を有する医療施設についてみると「退院支援を促進するためには、必要なサービスであるから」が病院で 65.5%、診療所で 50.0%であった。また、診療所では「訪問看護を必要とする患者が増えることが予想されるから」との回答も 50.0%であった。

図表 2-2-166 【介護療養】訪問看護を実施したいと回答した理由

	訪問看護を必要とする患者が増えてきているから	訪問看護を必要とする患者が増えることが予想されるから	退院支援を促進するためには、必要なサービスであるから	当院の看護職員の活躍の場として、望ましいと考えるから
病院 (n=25)	11 44.0%	12 48.0%	17 68.0%	5 20.0%
診療所 (n=3)	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%

病院の機能を拡充するために必要と考えるから	訪問看護部門の実施は、病院の経営への貢献が期待されるから	その他	不明
12 48.0%	6 24.0%	0 0.0%	0 0.0%
1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 2-2-167 【医療療養】訪問看護を実施したいと回答した理由

	訪問看護を必要とする患者が増えてきているから	訪問看護を必要とする患者が増えることが予想されるから	退院支援を促進するためには、必要なサービスであるから	当院の看護職員の活躍の場として、望ましいと考えるから
病院 (n=29)	9 31.0%	16 55.2%	19 65.5%	6 20.7%
診療所 (n=6)	2 33.3%	3 50.0%	3 50.0%	1 16.7%

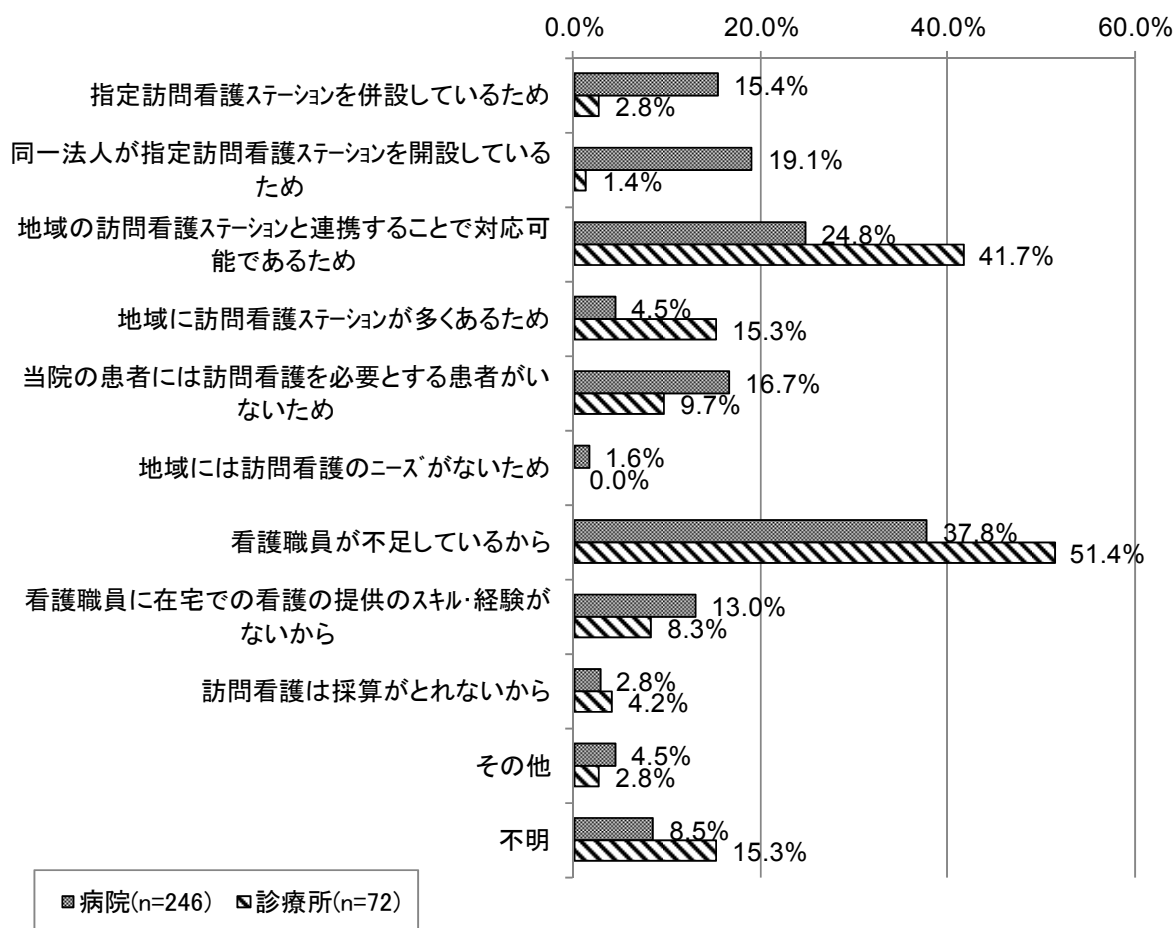
病院の機能を拡充するために必要と考えるから	訪問看護部門の実施は、病院の経営への貢献が期待されるから	その他	不明
13 44.8%	5 17.2%	0 0.0%	2 6.9%
2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

介護療養型医療施設の、訪問看護を「実施したいが難しい」・「意向はない」を選択した理由は、「看護職員が不足しているから」が病院で 37.8%、診療所で 51.4%であった。

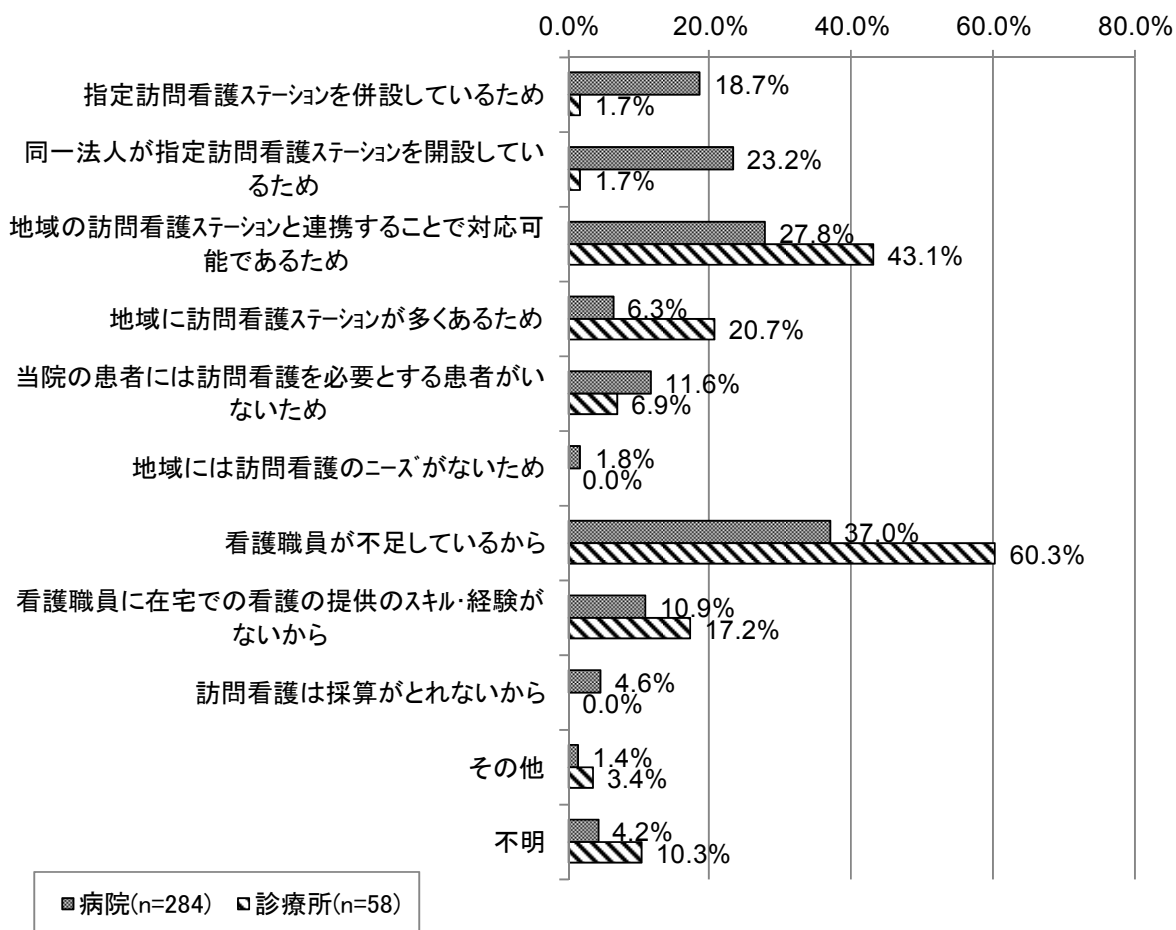
医療療養病床を有する医療施設についてみると、「看護職員が不足しているから」が病院で 37.0%、診療所で 60.3%であった。

その他の具体的な内容は、介護療養型医療施設では、在宅へ退院される方がいない、院内での看取りが主であるためなどであった。また、医療療養病床を有する医療施設では、外来が多く手が回らない、往診で対応する、資金がないなどであった。

図表 2-2-168 【介護療養】訪問看護を「実施したいが難しい」・「意向はない」を選択した理由



図表 2-2-169 【医療療養】訪問看護を「実施したいが難しい」・「意向はない」を選択した理由

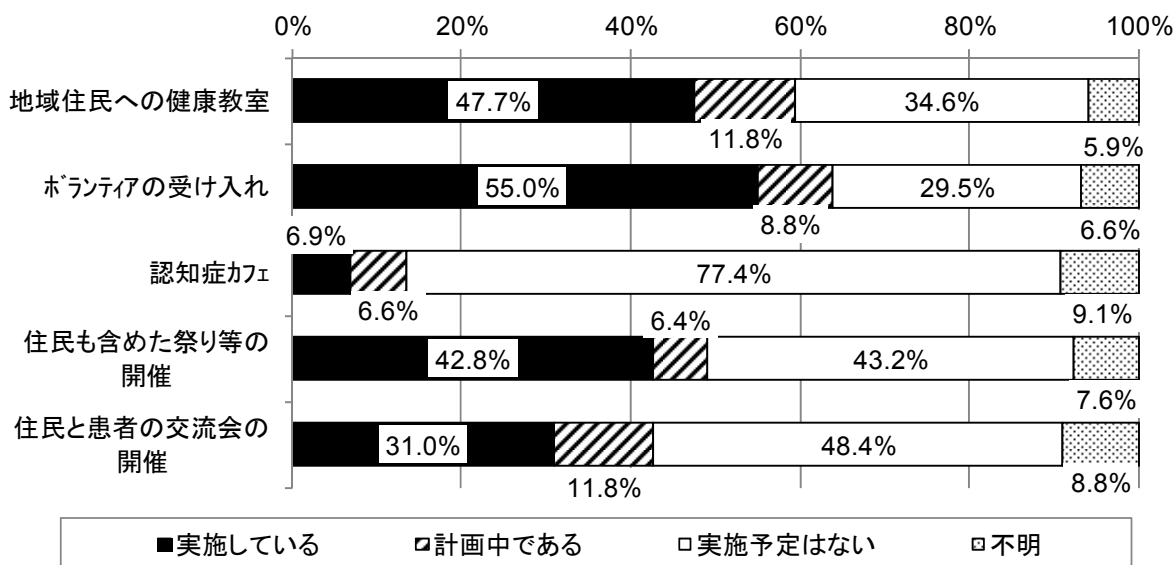


5. 地域貢献活動の実施状況

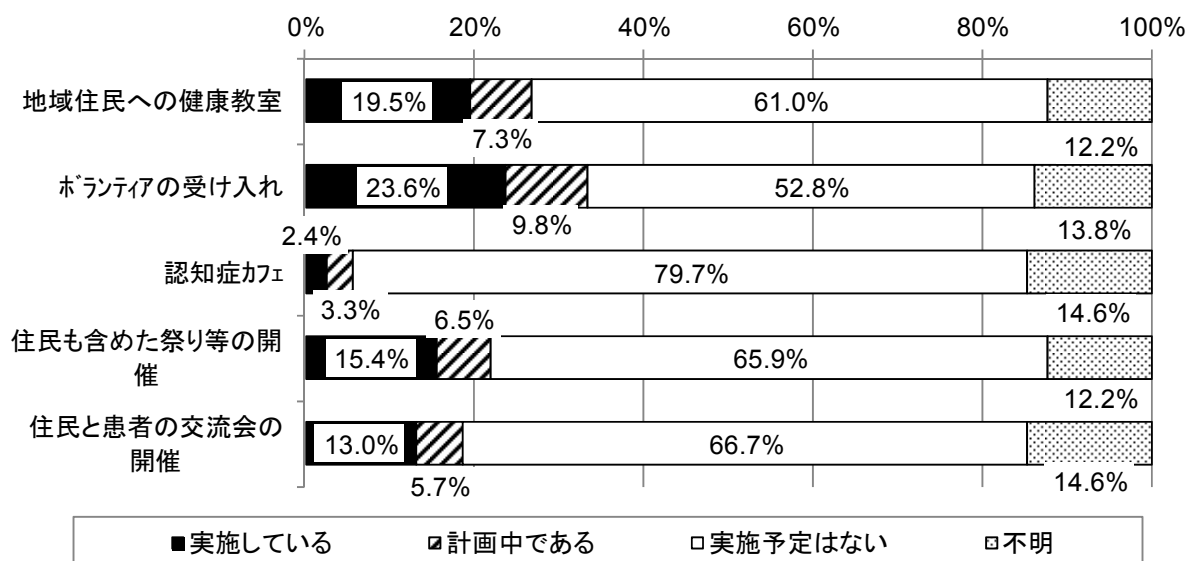
介護療養型医療施設の、地域貢献活動の実施状況は、「実施している」についてみると、「ボランティアの受け入れ」が病院で55.0%、診療所で23.6%、「地域住民への健康教室」が病院で47.7%、診療所で19.5%であった。

最も少ないのは、「認知症カフェ」で、「実施している」の割合は、病院が6.9%、診療所が2.4%であった。

図表 2 - 2 -170 【介護療養（病院）】地域貢献活動の実施状況（n=407）

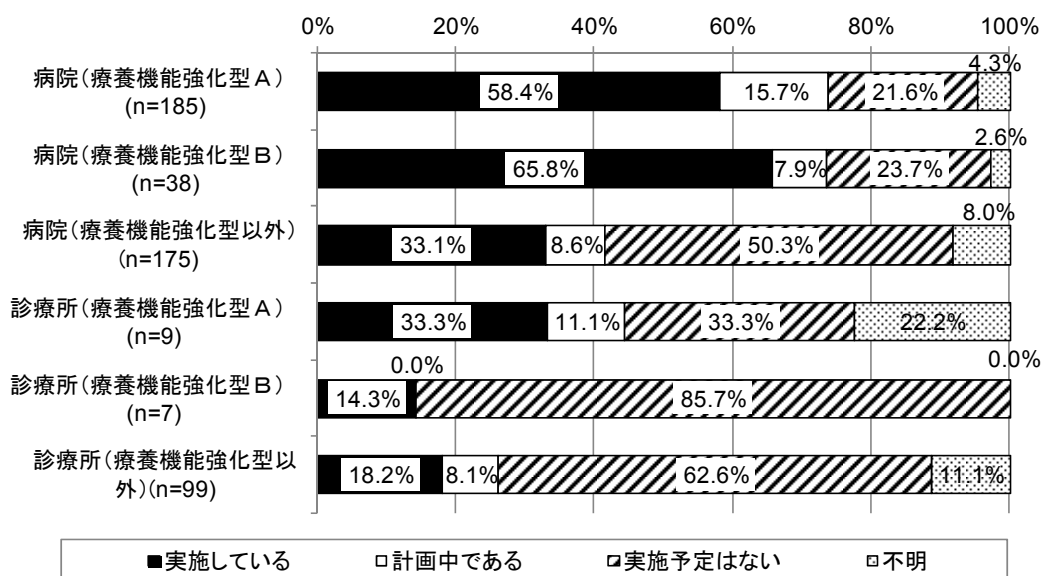


図表 2 - 2 -171 【介護療養（診療所）】地域貢献活動の実施状況（n=123）

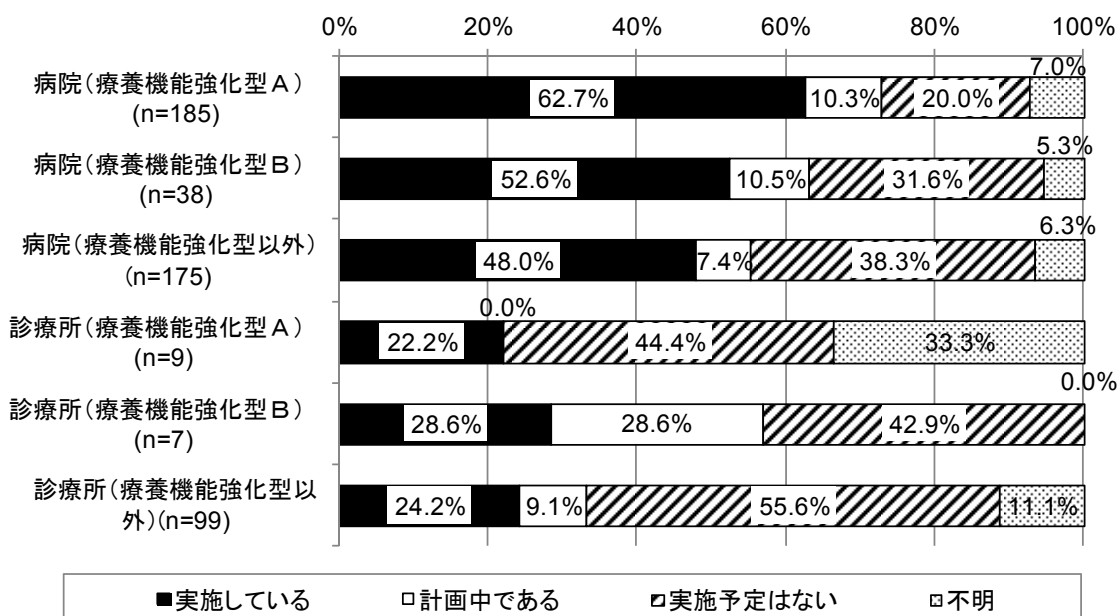


地域貢献活動の実施状況について、介護療養型医療施設の療養機能強化型の届出の状況別にみると、「地域住民への健康教室」を「実施している」割合は、病院（療養機能強化型A）が58.4%、病院（療養機能強化型B）が65.8%、病院（療養機能強化型以外）が33.1%であった。また、「ボランティアの受け入れ」を「実施している」割合は、病院（療養機能強化型A）が62.7%、病院（療養機能強化型B）が52.6%、病院（療養機能強化型以外）が48.0%であった。

図表 2-2-172 【介護療養】地域住民への健康教室の実施状況
(療養機能強化型の届出の状況別)

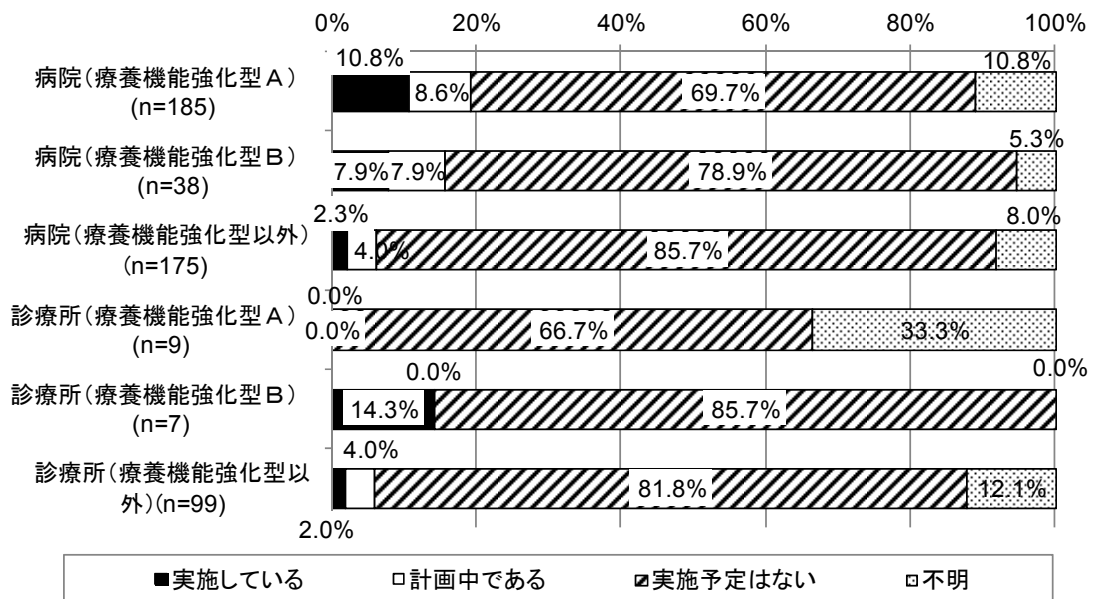


図表 2-2-173 【介護療養】ボランティアの受け入れの実施状況
(療養機能強化型の届出の状況別)

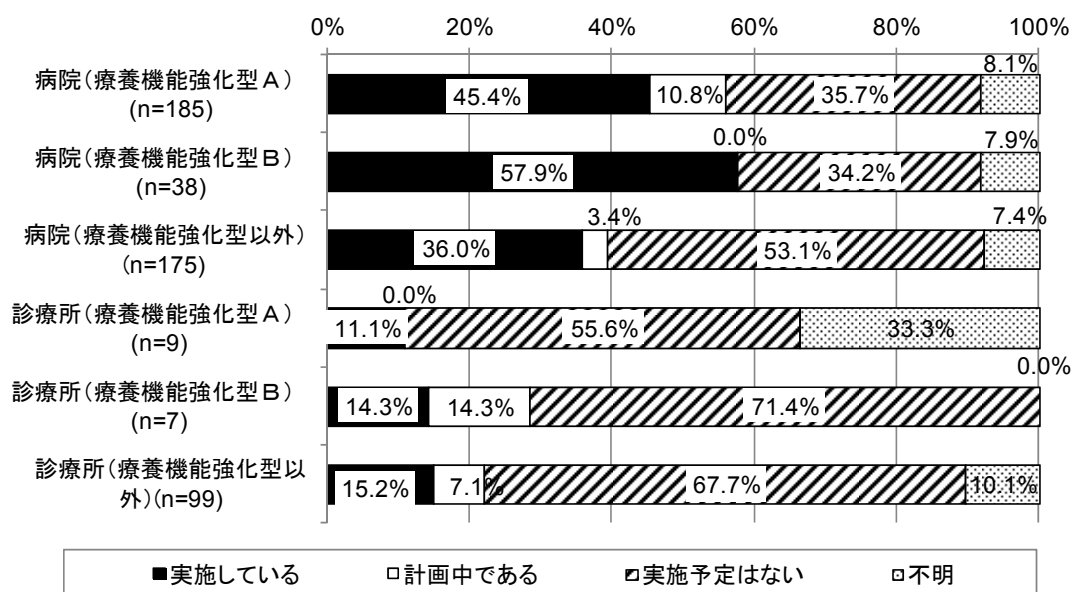


「認知症カフェ」を「実施している」割合は、病院（療養機能強化型A）が10.8%、病院（療養機能強化型B）が7.9%、病院（療養機能強化型以外）が2.3%であった。また、「住民等も含めた祭り等の開催」を「実施している」割合は、病院（療養機能強化型A）が45.4%、病院（療養機能強化型B）が57.9%、病院（療養機能強化型以外）が36.0%であった。

図表 2 - 2 - 174 【介護療養】認知症カフェの実施状況（機能強化型の届出の状況別）

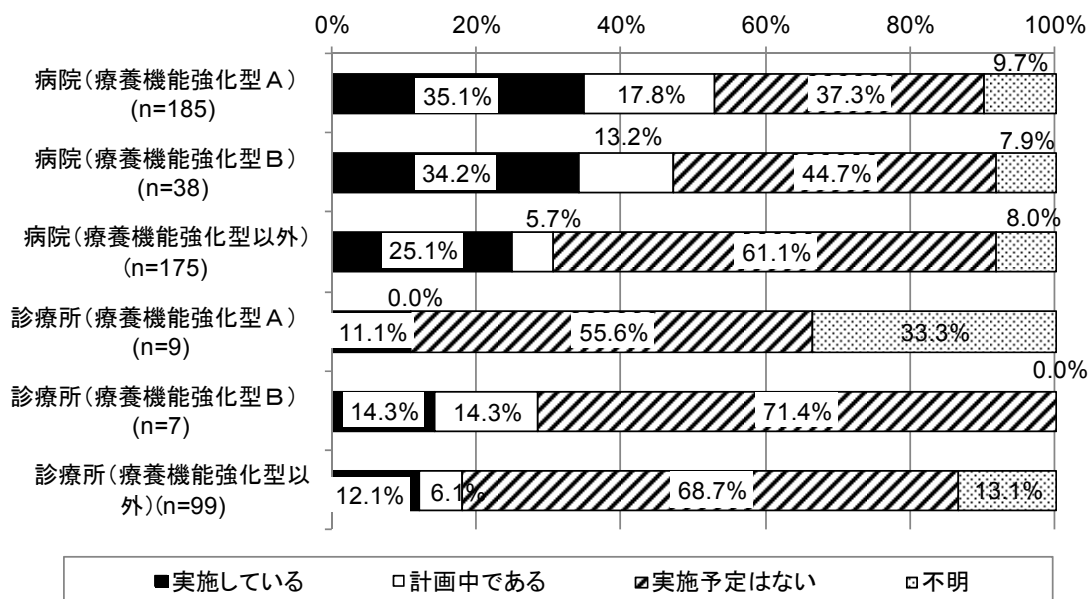


図表 2 - 2 - 175 【介護療養】住民等も含めた祭り等の開催の実施状況（機能強化型の届出の状況別）



「地域と患者の交流会」を「実施している」割合は、病院（療養機能強化型A）が35.1%、病院（療養機能強化型B）が34.2%、病院（療養機能強化型以外）が25.1%であった。

図表 2 - 2 - 176 【介護療養】地域と患者の交流会の開催の実施状況（機能強化型の届出の状況別）



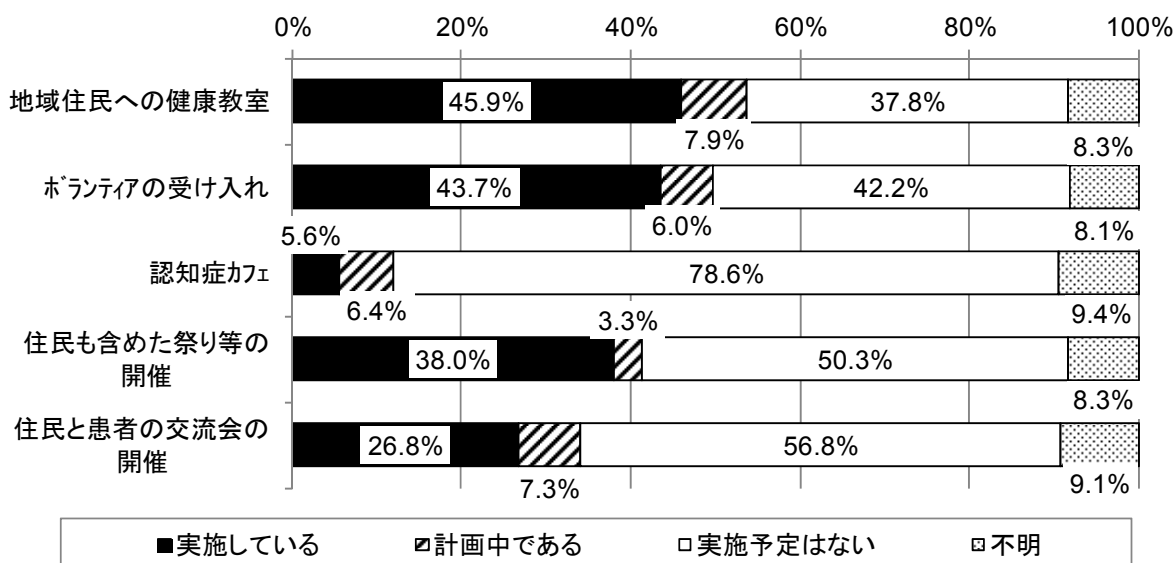
なお、その他の具体的な内容は、地域住民から依頼があれば講演会などを実施、地域住民に対する会議等のための場所の提供、地域の中学生の体験・見学の受け入れなどであった。

医療療養病床を有する医療施設の、地域貢献活動の実施状況は、「実施している」についてみると、「地域住民への健康教室」が病院で45.9%、診療所で11.5%、「ボランティアの受け入れ」が病院で43.7%、診療所で16.7%であった。

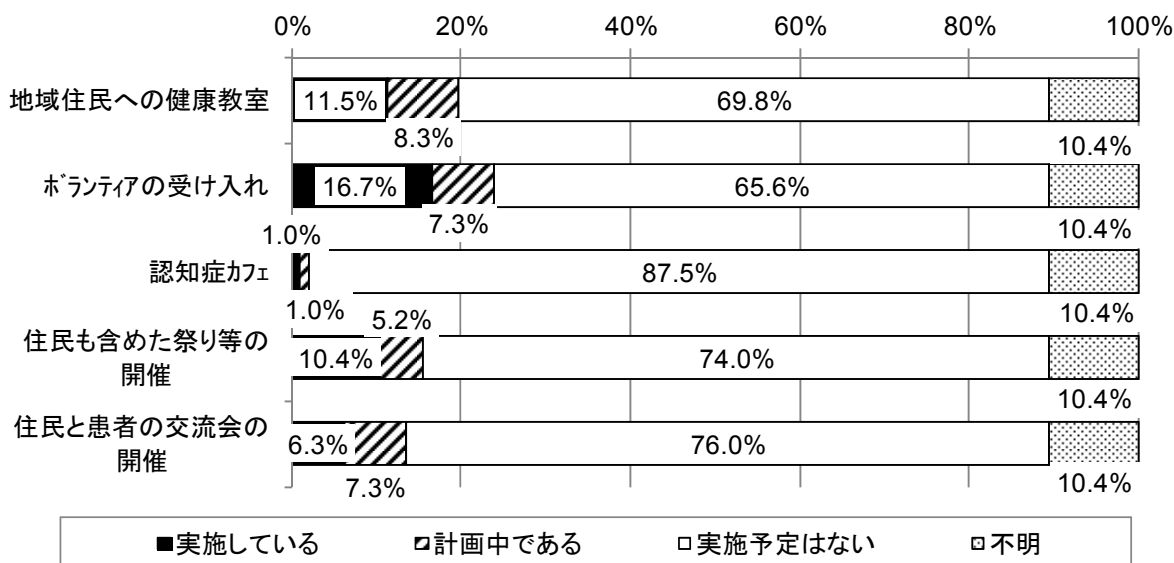
最も少ないのは、「認知症カフェ」で、「実施している」の割合は、病院が5.6%、診療所が1.0%であった。

なお、その他の具体的な内容は、地域住民向けの講座の開催、学生の体験受け入れなどであった。

図表 2-2-177 【医療療養（病院）】地域貢献活動の実施状況（n=481）



図表 2-2-178 【医療療養（診療所）】地域貢献活動の実施状況（n=96）



第3節 患者調査の結果

介護療養型医療施設、および医療療養病床を有する病院・診療所を対象とする入院患者および退院患者に関する調査を行った。集計対象数は、下図の通りである。

入院患者票は、3,213 件を集計対象とした。また、退院患者票は、2,293 件を集計対象とした。

図表 2-3-1 集計対象数

調査票	集計対象数
入院患者票	3,213
退院患者票	2,293

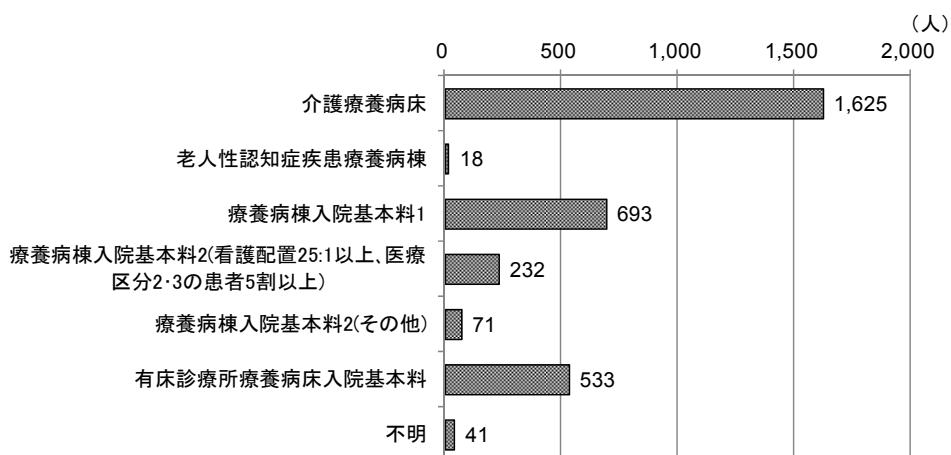
1. 基本情報

① 入院病棟

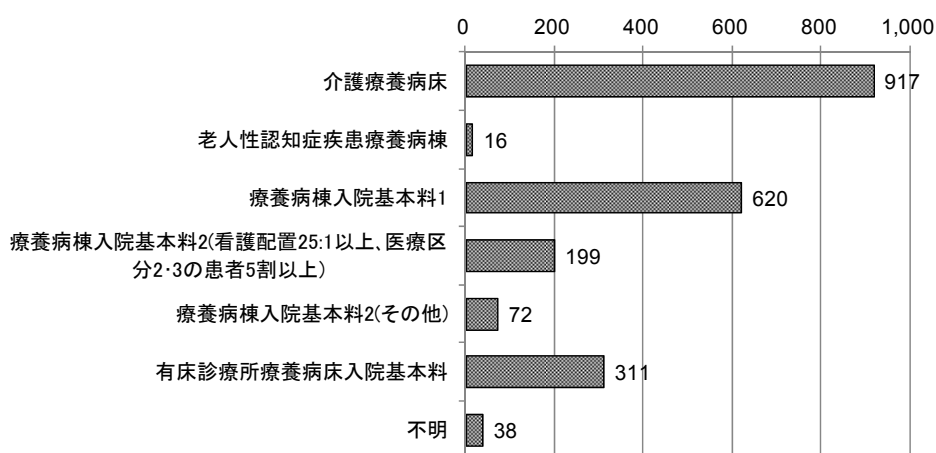
入院患者の入院している病棟は、「介護療養病床」が 1,625 人、「療養病棟入院基本料 1」が 693 人、「有床診療所療養病床入院基本料」が 533 人であった。

退院患者の入院していた病棟は、「介護療養病床」が 917 人、「療養病棟入院基本料 1」が 620 人、「有床診療所療養病床入院基本料」が 311 人であった。

図表 2-3-2 【入院患者】入院している病棟



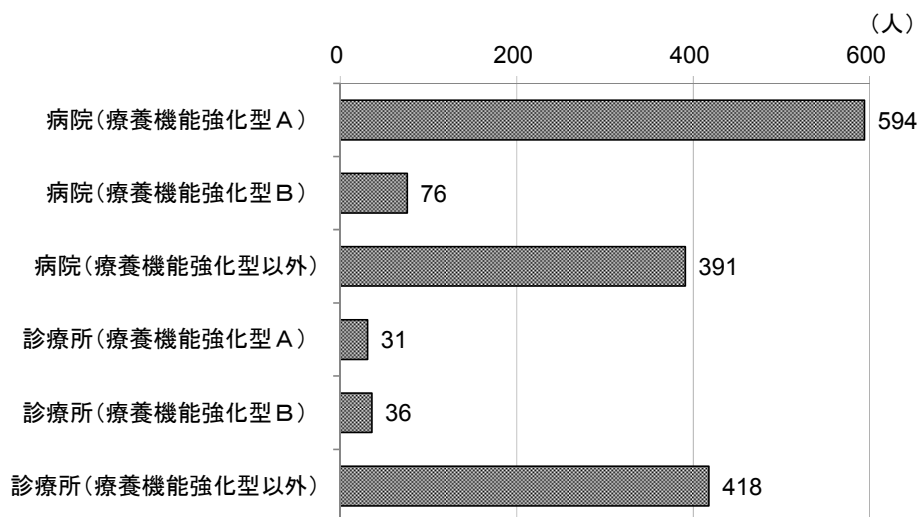
図表 2-3-3 【退院患者】入院していた病棟



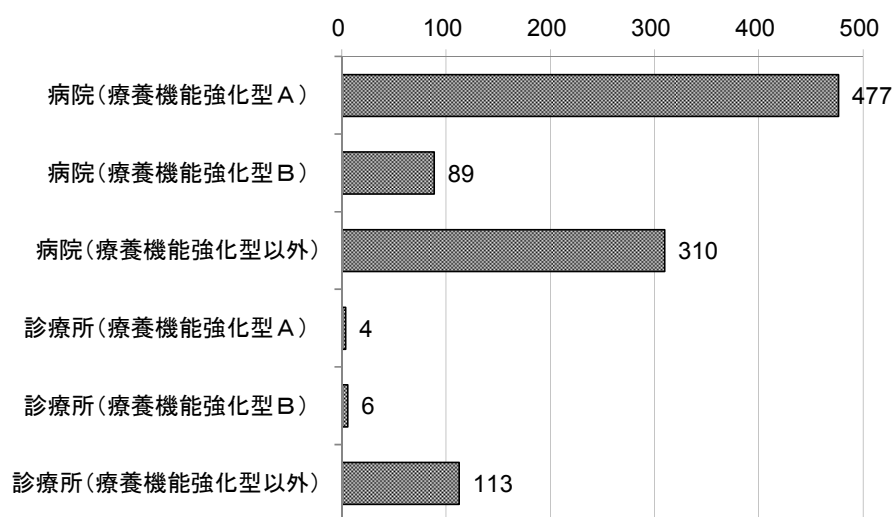
介護療養型医療施設について、療養機能強化型の届出の状況別にみると、入院患者の入院している病棟は、「病院（療養機能強化型A）」が594人、「病院（療養機能強化型以外）」が391人、「診療所（療養機能強化型以外）」が418人であった。

退院患者は、「病院（療養機能強化型A）」が477人、「病院（療養機能強化型以外）」が310人、「診療所（療養機能強化型以外）」が113人であった。

図表 2-3-4 【入院患者（介護療養）】入院している病棟



図表 2-3-5 【退院患者（介護療養）】入院していた病棟 (n=999)



② 年齢

1) 入院患者

入院患者の年齢は、介護療養型医療施設の病院で平均が 85.7 歳であった。

また、退院患者の年齢は、介護療養型医療施設の病院で平均が 86.2 歳であった。

図表 2-3-6 【入院患者】入院している病棟

単位：歳

	件数	平均	標準 偏差	中央 値	最大 値	最小 値
【介護療養】						
病院	1,066	85.7	8.9	87.0	105.0	42.0
療養機能強化型 A	593	85.7	9.2	88.0	105.0	46.0
療養機能強化型 B	76	83.9	8.1	85.0	97.0	59.0
療養機能強化型以外	391	86.2	8.7	87.0	105.0	42.0
診療所	546	87.9	8.6	89.0	108.0	51.0
療養機能強化型 A	31	88.8	7.1	88.0	103.0	72.0
療養機能強化型 B	36	85.5	10.0	88.0	100.0	54.0
療養機能強化型以外	417	88.3	8.4	89.0	108.0	52.0
老人性認知症疾患療養病棟	18	83.1	8.4	83.5	103.0	67.0
【医療療養】						
病院	992	82.2	10.6	84.0	106.0	32.0
医療療養_療養病棟入院基本料1	689	82.0	10.6	84.0	106.0	32.0
医療療養_療養病棟入院基本料2(看護配置 25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	232	82.9	10.6	85.0	103.0	41.0
医療療養_療養病棟入院基本料2(その他)	71	81.8	10.5	83.0	99.0	46.0
有床診療所療養病床入院基本料	533	84.9	9.9	87.0	104.0	39.0

図表 2-3-7 【退院患者】入院していた病棟

	件数	平均	標準 偏差	中央 値	最大 値	最小 値
【介護療養】						
病院	898	86.2	9.0	87.0	108.0	49.0
療養機能強化型 A	476	86.7	9.0	88.0	108.0	50.0
療養機能強化型 B	89	87.0	8.2	88.0	103.0	69.0
療養機能強化型以外	307	85.4	9.3	87.0	108.0	49.0
診療所	134	88.1	7.0	88.5	104.0	67.0
療養機能強化型 A	4	89.3	7.1	88.0	98.0	83.0
療養機能強化型 B	6	80.8	12.0	80.5	98.0	67.0
療養機能強化型以外	113	88.6	6.7	89.0	104.0	70.0
老人性認知症疾患療養病棟	16	84.2	6.9	85.0	93.0	65.0
【医療療養】						
病院	891	82.1	10.8	84.0	104.0	32.0
医療療養_療養病棟入院基本料1	620	82.4	10.5	84.0	104.0	32.0
医療療養_療養病棟入院基本料2(看護配置 25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	199	81.2	12.1	85.0	101.0	33.0
医療療養_療養病棟入院基本料2(その他)	72	82.4	9.7	84.5	97.0	55.0
有床診療所療養病床入院基本料	308	82.1	10.7	84.0	102.0	34.0

③ 性別

入院患者の性別は、介護療養型医療施設の病院では「男」が25.8%、「女」が73.4%であった。

図表 2-3-8 【入院患者】性別

	合計	男	女	不明
介護療養(病院)	1,068	276	784	8
	100.0%	25.8%	73.4%	0.7%
介護療養(診療所)	547	84	460	3
	100.0%	15.4%	84.1%	0.5%
老人性認知症患者療養病棟	18	6	12	0
	100.0%	33.3%	66.7%	0.0%
医療療養(病院)	996	367	620	9
	100.0%	36.8%	62.2%	0.9%
医療療養(診療所)	533	149	381	3
	100.0%	28.0%	71.5%	0.6%

図表 2-3-9 【入院患者(介護療養)】性別(療養機能強化型の届出の状況別)

	合計	男	女	不明
病院(療養機能強化型A)	594	157	433	4
	100.0%	26.4%	72.9%	0.7%
病院(療養機能強化型B)	76	25	51	0
	100.0%	32.9%	67.1%	0.0%
病院(療養機能型以外)	391	92	296	3
	100.0%	23.5%	75.7%	0.8%
診療所(療養機能強化型A)	31	5	26	0
	100.0%	16.1%	83.9%	0.0%
診療所(療養機能強化型B)	36	7	29	0
	100.0%	19.4%	80.6%	0.0%
診療所(療養機能型以外)	418	61	354	3
	100.0%	14.6%	84.7%	0.7%

図表 2-3-10 【入院患者(医療療養)】性別

	合計	男	女	不明
療養病棟入院基本料1	693	255	430	8
	100.0%	36.8%	62.0%	1.2%
療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、 医療区分2・3の患者5割以上)	232	81	150	1
	100.0%	34.9%	64.7%	0.4%
療養病棟入院基本料2(その他)	71	31	40	0
	100.0%	43.7%	56.3%	0.0%
有床診療所療養病床入院基本料	533	149	381	3
	100.0%	28.0%	71.5%	0.6%

※網掛けは、最も多い項目(不明を除く)

1 基本情報

退院患者の性別は、介護療養型医療施設の病院では「男」が 36.4%、「女」が 62.6%であった。

図表 2-3-11 【退院患者】性別

	合計	男	女	不明
介護療養(病院)	903	329	565	9
	100.0%	36.4%	62.6%	1.0%
介護療養(診療所)	134	37	97	0
	100.0%	27.6%	72.4%	0.0%
老人性認知症疾患療養病棟	16	9	7	0
	100.0%	56.3%	43.8%	0.0%
医療療養(病院)	891	387	497	7
	100.0%	43.4%	55.8%	0.8%
医療療養(診療所)	311	119	191	1
	100.0%	38.3%	61.4%	0.3%

図表 2-3-12 【退院患者(介護療養)】性別(療養機能強化型の届出の状況別)

	合計	男	女	不明
病院(療養機能強化型A)	477	180	294	3
	100.0%	37.7%	61.6%	0.6%
病院(療養機能強化型B)	89	38	51	0
	100.0%	42.7%	57.3%	0.0%
病院(療養機能型以外)	310	99	205	6
	100.0%	31.9%	66.1%	1.9%
診療所(療養機能強化型A)	4	1	3	0
	100.0%	25.0%	75.0%	0.0%
診療所(療養機能強化型B)	6	1	5	0
	100.0%	16.7%	83.3%	0.0%
診療所(療養機能型以外)	113	32	81	0
	100.0%	28.3%	71.7%	0.0%

図表 2-3-13 【退院患者(医療療養)】性別

	合計	男	女	不明
療養病棟入院基本料1	620	280	333	7
	100.0%	45.2%	53.7%	1.1%
療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	199	78	121	0
	100.0%	39.2%	60.8%	0.0%
療養病棟入院基本料2(その他)	72	29	43	0
	100.0%	40.3%	59.7%	0.0%
有床診療所療養病床入院基本料	311	119	191	1
	100.0%	38.3%	61.4%	0.3%

※網掛けは、最も多い項目(不明を除く)

④ 世帯構成

入院患者の世帯構成は、介護療養型医療施設の病院では「その他」が44.4%、「独居」が27.2%であった。

図表 2-3-14 【入院患者】世帯構成

	合計	独居	夫婦のみ世帯	夫婦のみ世帯以外で、高齢者のみの世帯	その他	不明
介護療養(病院)	1,068	291	175	67	474	61
	100.0%	27.2%	16.4%	6.3%	44.4%	5.7%
介護療養(診療所)	547	173	60	51	235	28
	100.0%	31.6%	11.0%	9.3%	43.0%	5.1%
老人性認知症疾患療養病棟	18	8	4	0	4	2
	100.0%	44.4%	22.2%	0.0%	22.2%	11.1%
医療療養(病院)	996	270	182	37	446	61
	100.0%	27.1%	18.3%	3.7%	44.8%	6.1%
医療療養(診療所)	533	168	78	29	227	31
	100.0%	31.5%	14.6%	5.4%	42.6%	5.8%

図表 2-3-15 【入院患者(介護療養)】世帯構成(療養機能強化型の届出の状況別)

	合計	独居	夫婦のみ世帯	夫婦のみ世帯以外で、高齢者のみの世帯	その他	不明
病院(療養機能強化型A)	594	145	99	36	281	33
	100.0%	24.4%	16.7%	6.1%	47.3%	5.6%
病院(療養機能強化型B)	76	15	12	0	46	3
	100.0%	19.7%	15.8%	0.0%	60.5%	3.9%
病院(療養機能型以外)	391	128	63	30	145	25
	100.0%	32.7%	16.1%	7.7%	37.1%	6.4%
診療所(療養機能強化型A)	31	9	1	1	16	4
	100.0%	29.0%	3.2%	3.2%	51.6%	12.9%
診療所(療養機能強化型B)	36	15	4	2	15	0
	100.0%	41.7%	11.1%	5.6%	41.7%	0.0%
診療所(療養機能型以外)	418	127	47	41	180	23
	100.0%	30.4%	11.2%	9.8%	43.1%	5.5%

図表 2-3-16 【入院患者(医療療養)】世帯構成

	合計	独居	夫婦のみ世帯	夫婦のみ世帯以外で、高齢者のみの世帯	その他	不明
療養病棟入院基本料1	693	183	125	22	313	50
	100.0%	26.4%	18.0%	3.2%	45.2%	7.2%
療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	232	63	47	14	102	6
	100.0%	27.2%	20.3%	6.0%	44.0%	2.6%
療養病棟入院基本料2(その他)	71	24	10	1	31	5
	100.0%	33.8%	14.1%	1.4%	43.7%	7.0%
有床診療所療養病床入院基本料	533	168	78	29	227	31
	100.0%	31.5%	14.6%	5.4%	42.6%	5.8%

※網掛けは、最も多い項目(不明を除く)

1 基本情報

退院患者の世帯構成は、介護療養型医療施設の病院では「その他」が43.9%、「独居」が27.6%であった。

図表 2-3-17 【退院患者】世帯構成

	合計	独居	夫婦のみ世帯	夫婦のみ世帯以外で高齢者のみの世帯	その他	不明
介護療養(病院)	903	249	154	48	396	56
	100.0%	27.6%	17.1%	5.3%	43.9%	6.2%
介護療養(診療所)	134	42	13	18	57	4
	100.0%	31.3%	9.7%	13.4%	42.5%	3.0%
老人性認知症疾患療養病棟	16	9	0	0	6	1
	100.0%	56.3%	0.0%	0.0%	37.5%	6.3%
医療療養(病院)	891	237	189	32	380	53
	100.0%	26.6%	21.2%	3.6%	42.6%	5.9%
医療療養(診療所)	311	93	58	14	133	13
	100.0%	29.9%	18.6%	4.5%	42.8%	4.2%

図表 2-3-18 【退院患者(介護療養)】世帯構成(療養機能強化型の届出の状況別)

	合計	独居	夫婦のみ世帯	夫婦のみ世帯以外で高齢者のみの世帯	その他	不明
病院(療養機能強化型A)	477	130	82	33	197	35
	100.0%	27.3%	17.2%	6.9%	41.3%	7.3%
病院(療養機能強化型B)	89	18	22	3	40	6
	100.0%	20.2%	24.7%	3.4%	44.9%	6.7%
病院(療養機能型以外)	310	94	46	10	145	15
	100.0%	30.3%	14.8%	3.2%	46.8%	4.8%
診療所(療養機能強化型A)	4	0	1	0	3	0
	100.0%	0.0%	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%
診療所(療養機能強化型B)	6	2	1	0	3	0
	100.0%	33.3%	16.7%	0.0%	50.0%	0.0%
診療所(療養機能型以外)	113	39	10	14	47	3
	100.0%	34.5%	8.8%	12.4%	41.6%	2.7%

図表 2-3-19 【退院患者(医療療養)】世帯構成

	合計	独居	夫婦のみ世帯	夫婦のみ世帯以外で高齢者のみの世帯	その他	不明
療養病棟入院基本料1	620	154	138	26	271	31
	100.0%	24.8%	22.3%	4.2%	43.7%	5.0%
療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	199	59	38	5	81	16
	100.0%	29.6%	19.1%	2.5%	40.7%	8.0%
療養病棟入院基本料2(その他)	72	24	13	1	28	6
	100.0%	33.3%	18.1%	1.4%	38.9%	8.3%
有床診療所療養病床入院基本料	311	93	58	14	133	13
	100.0%	29.9%	18.6%	4.5%	42.8%	4.2%

※網掛けは、最も多い項目(不明を除く)

⑤ 家族介護者の有無（入院前）

入院患者の家族介護者の有無は、介護療養型医療施設の病院では「有」が62.4%、「無」が35.6%であった。

図表 2-3-20 【入院患者】家族介護者の有無

	合計	有	無	不明
介護療養(病院)	1,068	666	380	22
	100.0%	62.4%	35.6%	2.1%
介護療養(診療所)	547	376	159	12
	100.0%	68.7%	29.1%	2.2%
老人性認知症疾患療養病棟	18	10	8	0
	100.0%	55.6%	44.4%	0.0%
医療療養(病院)	996	656	308	32
	100.0%	65.9%	30.9%	3.2%
医療療養(診療所)	533	337	171	25
	100.0%	63.2%	32.1%	4.7%

図表 2-3-21 【入院患者（介護療養）】家族介護者の有無
（療養機能強化型の届出の状況別）

	合計	有	無	不明
病院(療養機能強化型A)	594	360	216	18
	100.0%	60.6%	36.4%	3.0%
病院(療養機能強化型B)	76	39	37	0
	100.0%	51.3%	48.7%	0.0%
病院(療養機能型以外)	391	262	125	4
	100.0%	67.0%	32.0%	1.0%
診療所(療養機能強化型A)	31	19	10	2
	100.0%	61.3%	32.3%	6.5%
診療所(療養機能強化型B)	36	24	12	0
	100.0%	66.7%	33.3%	0.0%
診療所(療養機能型以外)	418	300	108	10
	100.0%	71.8%	25.8%	2.4%

図表 2-3-22 【入院患者（医療療養）】家族介護者の有無

	合計	有	無	不明
療養病棟入院基本料1	693	462	205	26
	100.0%	66.7%	29.6%	3.8%
療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、 医療区分2・3の患者5割以上)	232	144	83	5
	100.0%	62.1%	35.8%	2.2%
療養病棟入院基本料2(その他)	71	50	20	1
	100.0%	70.4%	28.2%	1.4%
有床診療所療養病床入院基本料	533	337	171	25
	100.0%	63.2%	32.1%	4.7%

※網掛けは、最も多い項目（不明を除く）

1 基本情報

退院患者の家族介護者の有無は、介護療養型医療施設の病院では「有」が70.1%、「無」が27.7%であった。

図表 2-3-23 【退院患者】家族介護者の有無

	合計	有	無	不明
介護療養(病院)	903	633	250	20
	100.0%	70.1%	27.7%	2.2%
介護療養(診療所)	134	101	32	1
	100.0%	75.4%	23.9%	0.7%
老人性認知症疾患療養病棟	16	8	7	1
	100.0%	50.0%	43.8%	6.3%
医療療養(病院)	891	581	267	43
	100.0%	65.2%	30.0%	4.8%
医療療養(診療所)	311	216	74	21
	100.0%	69.5%	23.8%	6.8%

図表 2-3-24 【退院患者(介護療養)】家族介護者の有無(療養機能強化型の届出の状況別)

	合計	有	無	不明
病院(療養機能強化型A)	477	320	143	14
	100.0%	67.1%	30.0%	2.9%
病院(療養機能強化型B)	89	75	13	1
	100.0%	84.3%	14.6%	1.1%
病院(療養機能型以外)	310	216	89	5
	100.0%	69.7%	28.7%	1.6%
診療所(療養機能強化型A)	4	4	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
診療所(療養機能強化型B)	6	5	1	0
	100.0%	83.3%	16.7%	0.0%
診療所(療養機能型以外)	113	85	27	1
	100.0%	75.2%	23.9%	0.9%

図表 2-3-25 【退院患者(医療療養)】家族介護者の有無

	合計	有	無	不明
療養病棟入院基本料1	620	410	182	28
	100.0%	66.1%	29.4%	4.5%
療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	199	123	66	10
	100.0%	61.8%	33.2%	5.0%
療養病棟入院基本料2(その他)	72	48	19	5
	100.0%	66.7%	26.4%	6.9%
有床診療所療養病床入院基本料	311	216	74	21
	100.0%	69.5%	23.8%	6.8%

※網掛けは、最も多い項目(不明を除く)

⑥ 主な介護者の続柄（入院前）

入院患者の主な介護者の続柄は、介護療養型医療施設の病院では「子ども・子どもの配偶者」が64.9%、「配偶者」が27.3%であった。

図表 2-3-26 【入院患者】主な介護者の続柄

	合計	配偶者	子ども・子どもの配偶者	孫・孫の配偶者	兄弟姉妹	その他	不明
介護療養(病院)	666	182	432	9	19	13	11
	100.0%	27.3%	64.9%	1.4%	2.9%	2.0%	1.7%
介護療養(診療所)	376	73	280	2	10	7	4
	100.0%	19.4%	74.5%	0.5%	2.7%	1.9%	1.1%
老人性認知症患者療養病棟	10	6	4	0	0	0	0
	100.0%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医療療養(病院)	656	224	373	8	23	19	9
	100.0%	34.1%	56.9%	1.2%	3.5%	2.9%	1.4%
医療療養(診療所)	337	84	216	5	18	12	2
	100.0%	24.9%	64.1%	1.5%	5.3%	3.6%	0.6%

図表 2-3-27 【入院患者（介護療養）】主な介護者の続柄（療養機能強化型の届出の状況別）

	合計	配偶者	子ども・子どもの配偶者	孫・孫の配偶者	兄弟姉妹	その他	不明
病院(療養機能強化型A)	360	106	232	4	7	5	6
	100.0%	29.4%	64.4%	1.1%	1.9%	1.4%	1.7%
病院(療養機能強化型B)	39	15	23	0	0	1	0
	100.0%	38.5%	59.0%	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%
病院(療養機能型以外)	262	60	173	5	12	7	5
	100.0%	22.9%	66.0%	1.9%	4.6%	2.7%	1.9%
診療所(療養機能強化型A)	19	2	17	0	0	0	0
	100.0%	10.5%	89.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
診療所(療養機能強化型B)	24	5	14	0	3	2	0
	100.0%	20.8%	58.3%	0.0%	12.5%	8.3%	0.0%
診療所(療養機能型以外)	300	60	224	2	7	5	2
	100.0%	20.0%	74.7%	0.7%	2.3%	1.7%	0.7%

図表 2-3-28 【入院患者（医療療養）】主な介護者の続柄

	合計	配偶者	子ども・子どもの配偶者	孫・孫の配偶者	兄弟姉妹	その他	不明
療養病棟入院基本料1	462	173	253	5	15	9	7
	100.0%	37.4%	54.8%	1.1%	3.2%	1.9%	1.5%
療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	144	41	87	3	4	7	2
	100.0%	28.5%	60.4%	2.1%	2.8%	4.9%	1.4%
療養病棟入院基本料2(その他)	50	10	33	0	4	3	0
	100.0%	20.0%	66.0%	0.0%	8.0%	6.0%	0.0%
有床診療所療養病床入院基本料	337	84	216	5	18	12	2
	100.0%	24.9%	64.1%	1.5%	5.3%	3.6%	0.6%

※網掛けは、最も多い項目（不明を除く）

1 基本情報

退院患者の主な介護者の続柄は、介護療養型医療施設の病院では「子ども・子どもの配偶者」が63.8%、「配偶者」が30.3%であった。

図表 2-3-29 【退院患者】主な介護者の続柄

	合計	配偶者	子ども・子どもの配偶者	孫・孫の配偶者	兄弟姉妹	その他	不明
介護療養(病院)	633	192	404	7	17	9	4
	100.0%	30.3%	63.8%	1.1%	2.7%	1.4%	0.6%
介護療養(診療所)	101	16	79	1	4	1	0
	100.0%	15.8%	78.2%	1.0%	4.0%	1.0%	0.0%
老人性認知症疾患療養病棟	8	2	5	0	0	1	0
	100.0%	25.0%	62.5%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%
医療療養(病院)	581	199	335	3	25	15	4
	100.0%	34.3%	57.7%	0.5%	4.3%	2.6%	0.7%
医療療養(診療所)	216	68	134	2	5	5	2
	100.0%	31.5%	62.0%	0.9%	2.3%	2.3%	0.9%

図表 2-3-30 【退院患者(介護療養)】主な介護者の続柄(療養機能強化型の届出の状況)

	合計	配偶者	子ども・子どもの配偶者	孫・孫の配偶者	兄弟姉妹	その他	不明
病院(療養機能強化型A)	320	102	201	0	9	5	3
	100.0%	31.9%	62.8%	0.0%	2.8%	1.6%	0.9%
病院(療養機能強化型B)	75	22	49	0	3	1	0
	100.0%	29.3%	65.3%	0.0%	4.0%	1.3%	0.0%
病院(療養機能型以外)	216	59	142	7	4	3	1
	100.0%	27.3%	65.7%	3.2%	1.9%	1.4%	0.5%
診療所(療養機能強化型A)	4	1	3	0	0	0	0
	100.0%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
診療所(療養機能強化型B)	5	2	2	1	0	0	0
	100.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
診療所(療養機能型以外)	85	11	69	0	4	1	0
	100.0%	12.9%	81.2%	0.0%	4.7%	1.2%	0.0%

図表 2-3-31 【退院患者(医療療養)】主な介護者の続柄

	合計	配偶者	子ども・子どもの配偶者	孫・孫の配偶者	兄弟姉妹	その他	不明
療養病棟入院基本料1	410	143	231	3	20	10	3
	100.0%	34.9%	56.3%	0.7%	4.9%	2.4%	0.7%
療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	123	41	76	0	3	3	0
	100.0%	33.3%	61.8%	0.0%	2.4%	2.4%	0.0%
療養病棟入院基本料2(その他)	48	15	28	0	2	2	1
	100.0%	31.3%	58.3%	0.0%	4.2%	4.2%	2.1%
有床診療所療養病床入院基本料	216	68	134	2	5	5	2
	100.0%	31.5%	62.0%	0.9%	2.3%	2.3%	0.9%

※網掛けは、最も多い項目(不明を除く)

⑦ 主な介護者の状況のうち、介護が難しくなる要因

入院患者の主な介護者の状況のうち、介護が難しくなる要因は、介護療養型医療施設の病院では「仕事」が46.4%、「高齢」が41.6%であった。なお、その他の具体的な内容は、複数の介護者、遠方に住んでいるため、介護疲れなどであった。

図表 2-3-32 【入院患者】主な介護者の状況のうち、介護が難しくなる要因（複数回答）

	合計	高齢	病気	育児中	仕事	その他	不明
介護療養(病院)	666	277	96	7	309	50	56
	100.0%	41.6%	14.4%	1.1%	46.4%	7.5%	8.4%
介護療養(診療所)	376	142	76	8	158	20	31
	100.0%	37.8%	20.2%	2.1%	42.0%	5.3%	8.2%
老人性認知症患者療養病棟	10	4	3	0	2	1	2
	100.0%	40.0%	30.0%	0.0%	20.0%	10.0%	20.0%
医療療養(病院)	656	288	92	8	268	42	71
	100.0%	43.9%	14.0%	1.2%	40.9%	6.4%	10.8%
医療療養(診療所)	337	133	54	2	154	11	41
	100.0%	39.5%	16.0%	0.6%	45.7%	3.3%	12.2%

図表 2-3-33 【入院患者(介護療養)】主な介護者の状況のうち、介護が難しくなる要因(療養機能強化型の届出の状況別)(複数回答)

	合計	高齢	病気	育児中	仕事	その他	不明
病院(療養機能強化型A)	360	148	43	1	168	31	28
	100.0%	41.1%	11.9%	0.3%	46.7%	8.6%	7.8%
病院(療養機能強化型B)	39	16	5	2	17	5	1
	100.0%	41.0%	12.8%	5.1%	43.6%	12.8%	2.6%
病院(療養機能型以外)	262	110	46	4	121	14	27
	100.0%	42.0%	17.6%	1.5%	46.2%	5.3%	10.3%
診療所(療養機能強化型A)	19	5	5	0	6	0	4
	100.0%	26.3%	26.3%	0.0%	31.6%	0.0%	21.1%
診療所(療養機能強化型B)	24	8	1	0	9	3	3
	100.0%	33.3%	4.2%	0.0%	37.5%	12.5%	12.5%
診療所(療養機能型以外)	300	121	59	6	130	16	21
	100.0%	40.3%	19.7%	2.0%	43.3%	5.3%	7.0%

図表 2-3-34 【入院患者(医療療養)】主な介護者の状況のうち、介護が難しくなる要因(複数回答)

	合計	高齢	病気	育児中	仕事	その他	不明
療養病棟入院基本料1	462	214	74	5	188	28	43
	100.0%	46.3%	16.0%	1.1%	40.7%	6.1%	9.3%
療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	144	61	16	3	57	11	15
	100.0%	42.4%	11.1%	2.1%	39.6%	7.6%	10.4%
療養病棟入院基本料2(その他)	50	13	2	0	23	3	13
	100.0%	26.0%	4.0%	0.0%	46.0%	6.0%	26.0%
有床診療所療養病床入院基本料	337	133	54	2	154	11	41
	100.0%	39.5%	16.0%	0.6%	45.7%	3.3%	12.2%

※網掛けは、最も多い項目(不明を除く)

1 基本情報

退院患者の主な介護者の状況のうち、介護が難しくなる要因は、介護療養型医療施設の病院では「仕事」が40.8%、「高齢」が38.2%であった。なお、その他の具体的な内容は、遠方に住んでいるため、介護疲れなどであった。

図表 2-3-35 【退院患者】主な介護者の状況のうち、介護が難しくなる要因（複数回答）

	合計	高齢	病気	育児中	仕事	その他	不明
介護療養(病院)	633	242	120	6	258	64	53
	100.0%	38.2%	19.0%	0.9%	40.8%	10.1%	8.4%
介護療養(診療所)	101	31	9	4	55	5	11
	100.0%	30.7%	8.9%	4.0%	54.5%	5.0%	10.9%
老人性認知症疾患療養病棟	8	2	1	1	3	2	0
	100.0%	25.0%	12.5%	12.5%	37.5%	25.0%	0.0%
医療療養(病院)	581	207	90	6	200	55	121
	100.0%	35.6%	15.5%	1.0%	34.4%	9.5%	20.8%
医療療養(診療所)	216	58	30	0	101	7	40
	100.0%	26.9%	13.9%	0.0%	46.8%	3.2%	18.5%

図表 2-3-36 【退院患者(介護療養)】主な介護者の状況のうち、介護が難しくなる要因(療養機能強化型の届出の状況別)(複数回答)

	合計	高齢	病気	育児中	仕事	その他	不明
病院(療養機能強化型A)	320	130	65	1	110	28	35
	100.0%	40.6%	20.3%	0.3%	34.4%	8.8%	10.9%
病院(療養機能強化型B)	75	30	14	0	30	7	5
	100.0%	40.0%	18.7%	0.0%	40.0%	9.3%	6.7%
病院(療養機能型以外)	216	75	38	4	108	25	8
	100.0%	34.7%	17.6%	1.9%	50.0%	11.6%	3.7%
診療所(療養機能強化型A)	4	2	0	0	2	0	1
	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	25.0%
診療所(療養機能強化型B)	5	1	0	1	3	1	0
	100.0%	20.0%	0.0%	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%
診療所(療養機能型以外)	85	24	9	3	45	4	10
	100.0%	28.2%	10.6%	3.5%	52.9%	4.7%	11.8%

図表 2-3-37 【退院患者(医療療養)】主な介護者の状況のうち、介護が難しくなる要因(複数回答)

	合計	高齢	病気	育児中	仕事	その他	不明
療養病棟入院基本料1	410	146	55	5	132	40	86
	100.0%	35.6%	13.4%	1.2%	32.2%	9.8%	21.0%
療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	123	45	30	0	50	12	21
	100.0%	36.6%	24.4%	0.0%	40.7%	9.8%	17.1%
療養病棟入院基本料2(その他)	48	16	5	1	18	3	14
	100.0%	33.3%	10.4%	2.1%	37.5%	6.3%	29.2%
有床診療所療養病床入院基本料	216	58	30	0	101	7	40
	100.0%	26.9%	13.9%	0.0%	46.8%	3.2%	18.5%

※網掛けは、最も多い項目(不明を除く)

⑧ 副介護者の有無（入院前）

入院患者の副介護者の有無は、介護療養型医療施設の病院では、「無」が67.0%であった。

図表 2 - 3 - 38 【入院患者】副介護者の有無

	合計	有	無	不明
介護療養(病院)	666	173	446	47
	100.0%	26.0%	67.0%	7.1%
介護療養(診療所)	376	109	238	29
	100.0%	29.0%	63.3%	7.7%
老人性認知症疾患療養病棟	10	4	5	1
	100.0%	40.0%	50.0%	10.0%
医療療養(病院)	656	215	367	74
	100.0%	32.8%	55.9%	11.3%
医療療養(診療所)	337	79	202	56
	100.0%	23.4%	59.9%	16.6%

図表 2 - 3 - 39 【入院患者（介護療養）】副介護者の有無（療養機能強化型の届出の状況別）

	合計	有	無	不明
病院(療養機能強化型A)	360	95	229	36
	100.0%	26.4%	63.6%	10.0%
病院(療養機能強化型B)	39	10	28	1
	100.0%	25.6%	71.8%	2.6%
病院(療養機能型以外)	262	67	185	10
	100.0%	25.6%	70.6%	3.8%
診療所(療養機能強化型A)	19	3	12	4
	100.0%	15.8%	63.2%	21.1%
診療所(療養機能強化型B)	24	11	13	0
	100.0%	45.8%	54.2%	0.0%
診療所(療養機能型以外)	300	88	193	19
	100.0%	29.3%	64.3%	6.3%

図表 2 - 3 - 40 【入院患者（医療療養）】副介護者の有無

	合計	有	無	不明
療養病棟入院基本料1	462	156	253	53
	100.0%	33.8%	54.8%	11.5%
療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、 医療区分2・3の患者5割以上)	144	43	91	10
	100.0%	29.9%	63.2%	6.9%
療養病棟入院基本料2(その他)	50	16	23	11
	100.0%	32.0%	46.0%	22.0%
有床診療所療養病床入院基本料	337	79	202	56
	100.0%	23.4%	59.9%	16.6%

※網掛けは、最も多い項目（不明を除く）

1 基本情報

退院患者の副介護者の有無は、介護療養型医療施設の病院では、「無」が56.2%であった。

図表 2-3-41 【退院患者】副介護者の有無

	合計	有	無	不明
介護療養(病院)	633	249	356	28
	100.0%	39.3%	56.2%	4.4%
介護療養(診療所)	101	25	68	8
	100.0%	24.8%	67.3%	7.9%
老人性認知症疾患療養病棟	8	3	5	0
	100.0%	37.5%	62.5%	0.0%
医療療養(病院)	581	235	272	74
	100.0%	40.4%	46.8%	12.7%
医療療養(診療所)	216	73	111	32
	100.0%	33.8%	51.4%	14.8%

図表 2-3-42 【退院患者(介護療養)】副介護者の有無(療養機能強化型の届出の状況別)

	合計	有	無	不明
病院(療養機能強化型A)	320	125	174	21
	100.0%	39.1%	54.4%	6.6%
病院(療養機能強化型B)	75	33	42	0
	100.0%	44.0%	56.0%	0.0%
病院(療養機能型以外)	216	81	128	7
	100.0%	37.5%	59.3%	3.2%
診療所(療養機能強化型A)	4	3	1	0
	100.0%	75.0%	25.0%	0.0%
診療所(療養機能強化型B)	5	0	5	0
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
診療所(療養機能型以外)	85	22	57	6
	100.0%	25.9%	67.1%	7.1%

図表 2-3-43 【退院患者(医療療養)】副介護者の有無

	合計	有	無	不明
療養病棟入院基本料1	410	166	192	52
	100.0%	40.5%	46.8%	12.7%
療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	123	42	64	17
	100.0%	34.1%	52.0%	13.8%
療養病棟入院基本料2(その他)	48	27	16	5
	100.0%	56.3%	33.3%	10.4%
有床診療所療養病床入院基本料	216	73	111	32
	100.0%	33.8%	51.4%	14.8%

※網掛けは、最も多い項目(不明を除く)

⑨ 要介護度

入院患者の要介護度は、「要介護4以上」をみると、介護療養型医療施設の病院では87.2%であった。

図表 2-3-44 【入院患者】要介護度

	合計	要支援1・2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	未申請	非該当	不明	要介護4以上
介護療養(病院)	1,068	0	23	19	89	358	573	0	1	1	4	931
	100.0%	0.0%	2.2%	1.8%	8.3%	33.5%	53.7%	0.0%	0.1%	0.1%	0.4%	87.2%
介護療養(診療所)	547	5	18	23	57	157	275	1	5	1	5	432
	100.0%	0.9%	3.3%	4.2%	10.4%	28.7%	50.3%	0.2%	0.9%	0.2%	0.9%	79.0%
老人性認知症疾患療養病棟	18	0	0	0	4	7	7	0	0	0	0	14
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	38.9%	38.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	77.8%
医療療養(病院)	996	18	35	54	72	164	278	14	258	33	70	442
	100.0%	1.8%	3.5%	5.4%	7.2%	16.5%	27.9%	1.4%	25.9%	3.3%	7.0%	44.4%
医療療養(診療所)	533	18	29	30	43	47	94	8	167	13	84	141
	100.0%	3.4%	5.4%	5.6%	8.1%	8.8%	17.6%	1.5%	31.3%	2.4%	15.8%	26.5%

図表 2-3-45 【入院患者(介護療養)】要介護度(療養機能強化型の届出の状況別)

	合計	要支援1・2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	未申請	非該当	不明	要介護4以上
病院(療養機能強化型A)	594	0	7	8	43	202	330	0	1	1	2	532
	100.0%	0.0%	1.2%	1.3%	7.2%	34.0%	55.6%	0.0%	0.2%	0.2%	0.3%	89.6%
病院(療養機能強化型B)	76	0	3	1	5	25	42	0	0	0	0	67
	100.0%	0.0%	3.9%	1.3%	6.6%	32.9%	55.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	88.2%
病院(療養機能型以外)	391	0	13	10	40	127	199	0	0	0	2	326
	100.0%	0.0%	3.3%	2.6%	10.2%	32.5%	50.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	83.4%
診療所(療養機能強化型A)	31	0	0	0	0	10	21	0	0	0	0	31
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	32.3%	67.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
診療所(療養機能強化型B)	36	0	2	1	4	13	15	0	0	0	1	28
	100.0%	0.0%	5.6%	2.8%	11.1%	36.1%	41.7%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	77.8%
診療所(療養機能型以外)	418	3	14	16	47	123	214	0	1	0	0	337
	100.0%	0.7%	3.3%	3.8%	11.2%	29.4%	51.2%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	80.6%

図表 2-3-46 【入院患者(医療療養)】要介護度

	合計	要支援1・2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	未申請	非該当	不明	要介護4以上
療養病棟入院基本料1	693	12	22	34	48	119	211	11	163	22	51	330
	100.0%	1.7%	3.2%	4.9%	6.9%	17.2%	30.4%	1.6%	23.5%	3.2%	7.4%	47.6%
療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	232	4	9	9	19	38	51	2	78	9	13	89
	100.0%	1.7%	3.9%	3.9%	8.2%	16.4%	22.0%	0.9%	33.6%	3.9%	5.6%	38.4%
療養病棟入院基本料2(その他)	71	2	4	11	5	7	16	1	17	2	6	23
	100.0%	2.8%	5.6%	15.5%	7.0%	9.9%	22.5%	1.4%	23.9%	2.8%	8.5%	32.4%
有床診療所療養病床入院基本料	533	18	29	30	43	47	94	8	167	13	84	141
	100.0%	3.4%	5.4%	5.6%	8.1%	8.8%	17.6%	1.5%	31.3%	2.4%	15.8%	26.5%

1 基本情報

退院患者の要介護度は、「要介護4以上」をみると、介護療養型医療施設の病院では81.0%であった。

図表 2-3-47 【退院患者】要介護度

	合計	要支援1・2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	未申請	非該当	不明	要介護4以上
介護療養(病院)	903	3	13	50	92	275	456	8	2	0	4	731
	100.0%	0.3%	1.4%	5.5%	10.2%	30.5%	50.5%	0.9%	0.2%	0.0%	0.4%	81.0%
介護療養(診療所)	134	1	14	13	15	41	48	0	0	0	2	89
	100.0%	0.7%	10.4%	9.7%	11.2%	30.6%	35.8%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	66.4%
老人性認知症疾患療養病棟	16	0	0	1	2	6	7	0	0	0	0	13
	100.0%	0.0%	0.0%	6.3%	12.5%	37.5%	43.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	81.3%
医療療養(病院)	891	37	69	75	82	143	212	26	139	42	66	355
	100.0%	4.2%	7.7%	8.4%	9.2%	16.0%	23.8%	2.9%	15.6%	4.7%	7.4%	39.8%
医療療養(診療所)	311	18	18	25	25	29	33	9	73	12	69	62
	100.0%	5.8%	5.8%	8.0%	8.0%	9.3%	10.6%	2.9%	23.5%	3.9%	22.2%	19.9%

図表 2-3-48 【退院患者(介護療養)】要介護度(療養機能強化型の届出の状況別)

	合計	要支援1・2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	未申請	非該当	不明	要介護4以上
病院(療養機能強化型A)	477	0	3	18	50	142	256	6	0	0	2	398
	100.0%	0.0%	0.6%	3.8%	10.5%	29.8%	53.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.4%	83.4%
病院(療養機能強化型B)	89	0	2	5	10	26	46	0	0	0	0	72
	100.0%	0.0%	2.2%	5.6%	11.2%	29.2%	51.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.9%
病院(療養機能型以外)	310	3	8	27	28	97	143	2	1	0	1	240
	100.0%	1.0%	2.6%	8.7%	9.0%	31.3%	46.1%	0.6%	0.3%	0.0%	0.3%	77.4%
診療所(療養機能強化型A)	4	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	4
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
診療所(療養機能強化型B)	6	0	1	0	1	2	2	0	0	0	0	4
	100.0%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%
診療所(療養機能型以外)	113	1	13	11	13	34	39	0	0	0	2	73
	100.0%	0.9%	11.5%	9.7%	11.5%	30.1%	34.5%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	64.6%

図表 2-3-49 【退院患者(医療療養)】要介護度

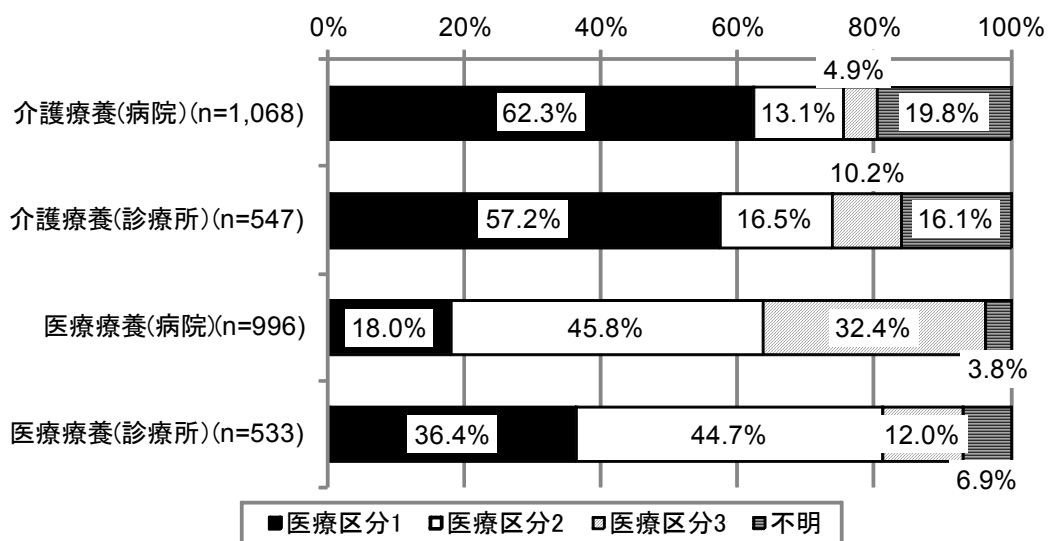
	合計	要支援1・2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	未申請	非該当	不明	要介護4以上
療養病棟入院基本料1	620	25	47	58	56	94	160	21	96	21	42	254
	100.0%	4.0%	7.6%	9.4%	9.0%	15.2%	25.8%	3.4%	15.5%	3.4%	6.8%	41.0%
療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	199	6	17	11	20	41	36	4	28	18	18	77
	100.0%	3.0%	8.5%	5.5%	10.1%	20.6%	18.1%	2.0%	14.1%	9.0%	9.0%	38.7%
療養病棟入院基本料2(その他)	72	6	5	6	6	8	16	1	15	3	6	24
	100.0%	8.3%	6.9%	8.3%	8.3%	11.1%	22.2%	1.4%	20.8%	4.2%	8.3%	33.3%
有床診療所療養病床入院基本料	311	18	18	25	25	29	33	9	73	12	69	62
	100.0%	5.8%	5.8%	8.0%	8.0%	9.3%	10.6%	2.9%	23.5%	3.9%	22.2%	19.9%

⑩ 医療区分

入院患者の医療区分は、「医療区分 3」をみると、介護療養型医療施設の病院では4.9%、医療療養病床を有する病院では、32.4%であった。

図表 2-3-50 【入院患者】医療区分

	合計	医療区分1	医療区分2	医療区分3	不明
介護療養(病院)	1,068	665	140	52	211
	100.0%	62.3%	13.1%	4.9%	19.8%
介護療養(診療所)	547	313	90	56	88
	100.0%	57.2%	16.5%	10.2%	16.1%
老人性認知症疾患療養病棟	18	10	1	2	5
	100.0%	55.6%	5.6%	11.1%	27.8%
医療療養(病院)	996	179	456	323	38
	100.0%	18.0%	45.8%	32.4%	3.8%
医療療養(診療所)	533	194	238	64	37
	100.0%	36.4%	44.7%	12.0%	6.9%



図表 2 - 3 - 51 【入院患者（介護療養）】医療区分（療養機能強化型の届出の状況別）

	合計	医療区分1	医療区分2	医療区分3	不明
病院（療養機能強化型A）	594	382	73	25	114
	100.0%	64.3%	12.3%	4.2%	19.2%
病院（療養機能強化型B）	76	47	10	5	14
	100.0%	61.8%	13.2%	6.6%	18.4%
病院（療養機能型以外）	391	233	57	22	79
	100.0%	59.6%	14.6%	5.6%	20.2%
診療所（療養機能強化型A）	31	15	8	0	8
	100.0%	48.4%	25.8%	0.0%	25.8%
診療所（療養機能強化型B）	36	34	1	0	1
	100.0%	94.4%	2.8%	0.0%	2.8%
診療所（療養機能型以外）	418	227	67	50	74
	100.0%	54.3%	16.0%	12.0%	17.7%

図表 2 - 3 - 52 【入院患者（医療療養）】医療区分

	合計	医療区分1	医療区分2	医療区分3	不明
療養病棟入院基本料1	693	67	331	272	23
	100.0%	9.7%	47.8%	39.2%	3.3%
療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	232	69	105	46	12
	100.0%	29.7%	45.3%	19.8%	5.2%
療養病棟入院基本料2(その他)	71	43	20	5	3
	100.0%	60.6%	28.2%	7.0%	4.2%
有床診療所療養病床入院基本料	533	194	238	64	37
	100.0%	36.4%	44.7%	12.0%	6.9%

退院患者の医療区分は、「医療区分 3」をみると、介護療養型医療施設の病院では20.7%、医療療養病床を有する病院では41.4%であった。

図表 2-3-53 【退院患者】医療区分

	合計	医療区分1	医療区分2	医療区分3	不明
介護療養(病院)	903	427	145	187	144
	100.0%	47.3%	16.1%	20.7%	15.9%
介護療養(診療所)	134	93	17	13	11
	100.0%	69.4%	12.7%	9.7%	8.2%
老人性認知症疾患療養病棟	16	3	2	3	8
	100.0%	18.8%	12.5%	18.8%	50.0%
医療療養(病院)	891	210	281	369	31
	100.0%	23.6%	31.5%	41.4%	3.5%
医療療養(診療所)	311	91	143	52	25
	100.0%	29.3%	46.0%	16.7%	8.0%

図表 2-3-54 【退院患者(介護療養)】医療区分(療養機能強化型の届出の状況別)

	合計	医療区分1	医療区分2	医療区分3	不明
病院(療養機能強化型A)	477	215	79	105	78
	100.0%	45.1%	16.6%	22.0%	16.4%
病院(療養機能強化型B)	89	44	10	22	13
	100.0%	49.4%	11.2%	24.7%	14.6%
病院(療養機能型以外)	310	154	52	53	51
	100.0%	49.7%	16.8%	17.1%	16.5%
診療所(療養機能強化型A)	4	2	0	2	0
	100.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
診療所(療養機能強化型B)	6	5	0	1	0
	100.0%	83.3%	0.0%	16.7%	0.0%
診療所(療養機能型以外)	113	76	17	10	10
	100.0%	67.3%	15.0%	8.8%	8.8%

図表 2-3-55 【退院患者(医療療養)】医療区分

	合計	医療区分1	医療区分2	医療区分3	不明
療養病棟入院基本料1	620	105	219	282	14
	100.0%	16.9%	35.3%	45.5%	2.3%
療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	199	72	47	70	10
	100.0%	36.2%	23.6%	35.2%	5.0%
療養病棟入院基本料2(その他)	72	33	15	17	7
	100.0%	45.8%	20.8%	23.6%	9.7%
有床診療所療養病床入院基本料	311	91	143	52	25
	100.0%	29.3%	46.0%	16.7%	8.0%

⑪ 認知症高齢者の日常生活自立度

入院患者の認知症高齢者の日常生活自立度は、「IV+M」をみると、介護療養型医療施設の病院では53.3%、医療療養型病床を有する病院では39.0%であった。

図表 2-3-56 【入院患者】認知症高齢者の日常生活自立度

	合計	自立	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	不明	無記入による不明分	IV+M
介護療養(病院)	1,068	12	20	39	41	192	170	458	111	14	11	569
	100.0%	1.1%	1.9%	3.7%	3.8%	18.0%	15.9%	42.9%	10.4%	1.3%	1.0%	53.3%
介護療養(診療所)	547	11	30	21	40	77	63	224	43	10	28	267
	100.0%	2.0%	5.5%	3.8%	7.3%	14.1%	11.5%	41.0%	7.9%	1.8%	5.1%	48.8%
老人性認知症疾患療養病棟	18	0	0	0	0	8	3	5	2	0	0	7
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	44.4%	16.7%	27.8%	11.1%	0.0%	0.0%	38.9%
医療療養(病院)	996	46	51	51	54	137	77	316	72	147	45	388
	100.0%	4.6%	5.1%	5.1%	5.4%	13.8%	7.7%	31.7%	7.2%	14.8%	4.5%	39.0%
医療療養(診療所)	533	86	46	26	32	67	33	141	18	49	35	159
	100.0%	16.1%	8.6%	4.9%	6.0%	12.6%	6.2%	26.5%	3.4%	9.2%	6.6%	29.8%

図表 2-3-57 【入院患者(介護療養)】認知症高齢者の日常生活自立度(療養機能強化型の届出の状況別)

	合計	自立	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	不明	無記入による不明分	IV+M
病院(療養機能強化型A)	594	6	8	13	12	101	99	280	67	4	4	347
	100.0%	1.0%	1.3%	2.2%	2.0%	17.0%	16.7%	47.1%	11.3%	0.7%	0.7%	58.4%
病院(療養機能強化型B)	76	1	0	4	6	6	12	31	10	5	1	41
	100.0%	1.3%	0.0%	5.3%	7.9%	7.9%	15.8%	40.8%	13.2%	6.6%	1.3%	53.9%
病院(療養機能型以外)	391	4	12	22	23	82	59	146	33	5	5	179
	100.0%	1.0%	3.1%	5.6%	5.9%	21.0%	15.1%	37.3%	8.4%	1.3%	1.3%	45.8%
診療所(療養機能強化型A)	31	0	2	1	0	4	2	19	3	0	0	22
	100.0%	0.0%	6.5%	3.2%	0.0%	12.9%	6.5%	61.3%	9.7%	0.0%	0.0%	71.0%
診療所(療養機能強化型B)	36	0	2	1	6	5	9	7	4	0	2	11
	100.0%	0.0%	5.6%	2.8%	16.7%	13.9%	25.0%	19.4%	11.1%	0.0%	5.6%	30.6%
診療所(療養機能型以外)	418	5	20	17	30	58	44	179	33	10	22	212
	100.0%	1.2%	4.8%	4.1%	7.2%	13.9%	10.5%	42.8%	7.9%	2.4%	5.3%	50.7%

図表 2-3-58 【入院患者(医療療養)】認知症自立度の日常生活自立度

	合計	自立	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	不明	無記入による不明分	IV+M
療養病棟入院基本料1	693	21	37	25	36	84	52	254	57	100	27	311
	100.0%	3.0%	5.3%	3.6%	5.2%	12.1%	7.5%	36.7%	8.2%	14.4%	3.9%	44.9%
療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	232	16	9	15	13	44	21	42	12	43	17	54
	100.0%	6.9%	3.9%	6.5%	5.6%	19.0%	9.1%	18.1%	5.2%	18.5%	7.3%	23.3%
療養病棟入院基本料2(その他)	71	9	5	11	5	9	4	20	3	4	1	23
	100.0%	12.7%	7.0%	15.5%	7.0%	12.7%	5.6%	28.2%	4.2%	5.6%	1.4%	32.4%
有床診療所療養病床入院基本料	533	86	46	26	32	67	33	141	18	49	35	159
	100.0%	16.1%	8.6%	4.9%	6.0%	12.6%	6.2%	26.5%	3.4%	9.2%	6.6%	29.8%

退院患者の認知症高齢者の日常生活自立度は、「IV+M」をみると、介護療養型医療施設の病院では50.8%、医療療養病床を有する病院では29.4%であった。

図表 2-3-59 【退院患者】認知症高齢者の日常生活自立度

	合計	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	不明	無記入による不明分	IV+M
介護療養(病院)	903	21	26	45	49	150	124	355	104	16	13	459
	100.0%	2.3%	2.9%	5.0%	5.4%	16.6%	13.7%	39.3%	11.5%	1.8%	1.4%	50.8%
介護療養(診療所)	134	3	9	8	10	28	16	43	9	2	6	52
	100.0%	2.2%	6.7%	6.0%	7.5%	20.9%	11.9%	32.1%	6.7%	1.5%	4.5%	38.8%
老人性認知症疾患療養病棟	16	0	0	0	0	0	1	9	6	0	0	15
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	56.3%	37.5%	0.0%	0.0%	93.8%
医療療養(病院)	891	124	58	48	51	115	70	200	62	97	66	262
	100.0%	13.9%	6.5%	5.4%	5.7%	12.9%	7.9%	22.4%	7.0%	10.9%	7.4%	29.4%
医療療養(診療所)	311	67	38	26	29	27	15	40	9	32	28	49
	100.0%	21.5%	12.2%	8.4%	9.3%	8.7%	4.8%	12.9%	2.9%	10.3%	9.0%	15.8%

図表 2-3-60 【退院患者(介護療養)】認知症高齢者の日常生活自立度(療養機能強化型の届出の状況別)

	合計	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	不明	無記入による不明分	IV+M
病院(療養機能強化型A)	477	10	5	20	20	71	72	208	61	6	4	269
	100.0%	2.1%	1.0%	4.2%	4.2%	14.9%	15.1%	43.6%	12.8%	1.3%	0.8%	56.4%
病院(療養機能強化型B)	89	1	2	5	4	14	9	37	12	5	0	49
	100.0%	1.1%	2.2%	5.6%	4.5%	15.7%	10.1%	41.6%	13.5%	5.6%	0.0%	55.1%
病院(療養機能型以外)	310	9	18	20	23	59	41	98	28	5	9	126
	100.0%	2.9%	5.8%	6.5%	7.4%	19.0%	13.2%	31.6%	9.0%	1.6%	2.9%	40.6%
診療所(療養機能強化型A)	4	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
診療所(療養機能強化型B)	6	0	1	0	1	1	0	2	1	0	0	3
	100.0%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	50.0%
診療所(療養機能型以外)	113	3	7	6	6	25	13	37	8	2	6	45
	100.0%	2.7%	6.2%	5.3%	5.3%	22.1%	11.5%	32.7%	7.1%	1.8%	5.3%	39.8%

図表 2-3-61 【退院患者(医療療養)】認知症自立度の日常生活自立度

	合計	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	不明	無記入による不明分	IV+M
療養病棟入院基本料1	620	77	39	28	39	84	53	158	40	61	41	198
	100.0%	12.4%	6.3%	4.5%	6.3%	13.5%	8.5%	25.5%	6.5%	9.8%	6.6%	31.9%
療養病棟入院基本料2(看護配置25.1以上、医療区分2-3の患者5割以上)	199	32	10	14	9	26	10	33	16	30	19	49
	100.0%	16.1%	5.0%	7.0%	4.5%	13.1%	5.0%	16.6%	8.0%	15.1%	9.5%	24.6%
療養病棟入院基本料2(その他)	72	15	9	6	3	5	7	9	6	6	6	15
	100.0%	20.8%	12.5%	8.3%	4.2%	6.9%	9.7%	12.5%	8.3%	8.3%	8.3%	20.8%
有床診療所療養病床入院基本料	311	67	38	26	29	27	15	40	9	32	28	49
	100.0%	21.5%	12.2%	8.4%	9.3%	8.7%	4.8%	12.9%	2.9%	10.3%	9.0%	15.8%

⑫ ベッド上の可動性

入院患者のベッド上の可動性は、「最大の援助＋全面依存」をみると、介護療養型医療施設の病院では75.5%であった。

図表 2-3-62 【入院患者】ベッド上の可動性

	合計	自立	準備のみ	観察	部分的な援助	広範な援助	最大の援助	全面依存	不明	最大の援助＋全面依存
介護療養(病院)	1,068	47	13	21	85	81	108	698	15	806
	100.0%	4.4%	1.2%	2.0%	8.0%	7.6%	10.1%	65.4%	1.4%	75.5%
介護療養(診療所)	547	36	12	24	55	37	56	316	11	372
	100.0%	6.6%	2.2%	4.4%	10.1%	6.8%	10.2%	57.8%	2.0%	68.0%
老人性認知症患者療養病棟	18	1	1	1	3	1	1	10	0	11
	100.0%	5.6%	5.6%	5.6%	16.7%	5.6%	5.6%	55.6%	0.0%	61.1%
医療療養(病院)	996	73	22	29	73	58	83	653	5	736
	100.0%	7.3%	2.2%	2.9%	7.3%	5.8%	8.3%	65.6%	0.5%	73.9%
医療療養(診療所)	533	105	24	27	54	35	44	241	3	285
	100.0%	19.7%	4.5%	5.1%	10.1%	6.6%	8.3%	45.2%	0.6%	53.5%

図表 2-3-63 【入院患者(介護療養)】ベッド上の可動性(療養機能強化型の届出の状況別)

	合計	自立	準備のみ	観察	部分的な援助	広範な援助	最大の援助	全面依存	不明	最大の援助＋全面依存
病院(療養機能強化型A)	594	19	6	7	39	42	55	418	8	473
	100.0%	3.2%	1.0%	1.2%	6.6%	7.1%	9.3%	70.4%	1.3%	79.6%
病院(療養機能強化型B)	76	5	0	2	8	6	9	46	0	55
	100.0%	6.6%	0.0%	2.6%	10.5%	7.9%	11.8%	60.5%	0.0%	72.4%
病院(療養機能型以外)	391	23	7	12	37	31	42	232	7	274
	100.0%	5.9%	1.8%	3.1%	9.5%	7.9%	10.7%	59.3%	1.8%	70.1%
診療所(療養機能強化型A)	31	0	0	0	1	0	2	27	1	29
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%	6.5%	87.1%	3.2%	93.5%
診療所(療養機能強化型B)	36	3	4	2	7	5	4	10	1	14
	100.0%	8.3%	11.1%	5.6%	19.4%	13.9%	11.1%	27.8%	2.8%	38.9%
診療所(療養機能型以外)	418	23	3	18	41	31	45	249	8	294
	100.0%	5.5%	0.7%	4.3%	9.8%	7.4%	10.8%	59.6%	1.9%	70.3%

図表 2-3-64 【入院患者(医療療養)】ベッド上の可動性

	合計	自立	準備のみ	観察	部分的な援助	広範な援助	最大の援助	全面依存	不明	最大の援助＋全面依存
療養病棟入院基本料1	693	37	13	17	49	38	58	477	4	535
	100.0%	5.3%	1.9%	2.5%	7.1%	5.5%	8.4%	68.8%	0.6%	77.2%
療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2-3の患者5割以上)	232	24	8	8	18	13	20	140	1	160
	100.0%	10.3%	3.4%	3.4%	7.8%	5.6%	8.6%	60.3%	0.4%	69.0%
療養病棟入院基本料2(その他)	71	12	1	4	6	7	5	36	0	41
	100.0%	16.9%	1.4%	5.6%	8.5%	9.9%	7.0%	50.7%	0.0%	57.7%
有床診療所療養病床入院基本料	533	105	24	27	54	35	44	241	3	285
	100.0%	19.7%	4.5%	5.1%	10.1%	6.6%	8.3%	45.2%	0.6%	53.5%

退院患者のベッド上の可動性は、「最大の援助＋全面依存」をみると、介護療養型医療施設の病院では75.9%であった。

図表 2-3-65 【退院患者】ベッド上の可動性

	合計	自立	準備のみ	観察	部分的な援助	広範な援助	最大の援助	全面依存	不明	最大の援助＋全面依存
介護療養(病院)	903	46	23	30	67	42	73	612	10	685
	100.0%	5.1%	2.5%	3.3%	7.4%	4.7%	8.1%	67.8%	1.1%	75.9%
介護療養(診療所)	134	20	5	5	12	11	7	71	3	78
	100.0%	14.9%	3.7%	3.7%	9.0%	8.2%	5.2%	53.0%	2.2%	58.2%
老人性認知症疾患療養病棟	16	3	0	2	0	0	1	10	0	11
	100.0%	18.8%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	6.3%	62.5%	0.0%	68.8%
医療療養(病院)	891	153	29	36	76	43	70	473	11	543
	100.0%	17.2%	3.3%	4.0%	8.5%	4.8%	7.9%	53.1%	1.2%	60.9%
医療療養(診療所)	311	97	14	31	34	17	14	99	5	113
	100.0%	31.2%	4.5%	10.0%	10.9%	5.5%	4.5%	31.8%	1.6%	36.3%

図表 2-3-66 【退院患者(介護療養)】ベッド上の可動性(療養機能強化型の届出の状況別)

	合計	自立	準備のみ	観察	部分的な援助	広範な援助	最大の援助	全面依存	不明	最大の援助＋全面依存
病院(療養機能強化型A)	477	14	6	14	32	22	28	354	7	382
	100.0%	2.9%	1.3%	2.9%	6.7%	4.6%	5.9%	74.2%	1.5%	80.1%
病院(療養機能強化型B)	89	4	0	0	10	1	6	67	1	73
	100.0%	4.5%	0.0%	0.0%	11.2%	1.1%	6.7%	75.3%	1.1%	82.0%
病院(療養機能型以外)	310	28	15	13	23	18	39	172	2	211
	100.0%	9.0%	4.8%	4.2%	7.4%	5.8%	12.6%	55.5%	0.6%	68.1%
診療所(療養機能強化型A)	4	0	0	0	0	0	0	4	0	4
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
診療所(療養機能強化型B)	6	0	1	0	1	0	0	4	0	4
	100.0%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	66.7%
診療所(療養機能型以外)	113	20	4	4	10	10	7	55	3	62
	100.0%	17.7%	3.5%	3.5%	8.8%	8.8%	6.2%	48.7%	2.7%	54.9%

図表 2-3-67 【退院患者(医療療養)】ベッド上の可動性

	合計	自立	準備のみ	観察	部分的な援助	広範な援助	最大の援助	全面依存	不明	最大の援助＋全面依存
療養病棟入院基本料1	620	95	15	24	59	33	45	341	8	386
	100.0%	15.3%	2.4%	3.9%	9.5%	5.3%	7.3%	55.0%	1.3%	62.3%
療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	199	42	8	11	9	5	18	104	2	122
	100.0%	21.1%	4.0%	5.5%	4.5%	2.5%	9.0%	52.3%	1.0%	61.3%
療養病棟入院基本料2(その他)	72	16	6	1	8	5	7	28	1	35
	100.0%	22.2%	8.3%	1.4%	11.1%	6.9%	9.7%	38.9%	1.4%	48.6%
有床診療所療養病床入院基本料	311	97	14	31	34	17	14	99	5	113
	100.0%	31.2%	4.5%	10.0%	10.9%	5.5%	4.5%	31.8%	1.6%	36.3%

⑬ 移乗

入院患者の移乗は、「最大の援助＋全面依存」をみると、介護療養型医療施設の病院では80.3%であった。

図表 2-3-68 【入院患者】移乗

	合計	自立	準備のみ	観察	部分的な援助	広範な援助	最大の援助	全面依存	不明	最大の援助＋全面依存
介護療養(病院)	1,068	21	12	26	82	58	87	771	11	858
	100.0%	2.0%	1.1%	2.4%	7.7%	5.4%	8.1%	72.2%	1.0%	80.3%
介護療養(診療所)	547	22	17	23	45	30	59	343	8	402
	100.0%	4.0%	3.1%	4.2%	8.2%	5.5%	10.8%	62.7%	1.5%	73.5%
老人性認知症患者療養病棟	18	3	0	0	3	0	2	10	0	12
	100.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	11.1%	55.6%	0.0%	66.7%
医療療養(病院)	996	47	22	25	67	53	60	717	5	777
	100.0%	4.7%	2.2%	2.5%	6.7%	5.3%	6.0%	72.0%	0.5%	78.0%
医療療養(診療所)	533	79	21	29	56	37	36	273	2	309
	100.0%	14.8%	3.9%	5.4%	10.5%	6.9%	6.8%	51.2%	0.4%	58.0%

図表 2-3-69 【入院患者(介護療養)】移乗(療養機能強化型の届出の状況別)

	合計	自立	準備のみ	観察	部分的な援助	広範な援助	最大の援助	全面依存	不明	最大の援助＋全面依存
病院(療養機能強化型A)	594	10	4	7	39	29	45	454	6	499
	100.0%	1.7%	0.7%	1.2%	6.6%	4.9%	7.6%	76.4%	1.0%	84.0%
病院(療養機能強化型B)	76	2	1	2	7	7	8	49	0	57
	100.0%	2.6%	1.3%	2.6%	9.2%	9.2%	10.5%	64.5%	0.0%	75.0%
病院(療養機能型以外)	391	9	7	17	35	20	34	264	5	298
	100.0%	2.3%	1.8%	4.3%	9.0%	5.1%	8.7%	67.5%	1.3%	76.2%
診療所(療養機能強化型A)	31	0	0	0	1	0	0	30	0	30
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%	96.8%	0.0%	96.8%
診療所(療養機能強化型B)	36	2	5	1	4	2	7	15	0	22
	100.0%	5.6%	13.9%	2.8%	11.1%	5.6%	19.4%	41.7%	0.0%	61.1%
診療所(療養機能型以外)	418	14	5	18	34	25	47	268	7	315
	100.0%	3.3%	1.2%	4.3%	8.1%	6.0%	11.2%	64.1%	1.7%	75.4%

図表 2-3-70 【入院患者(医療療養)】移乗

	合計	自立	準備のみ	観察	部分的な援助	広範な援助	最大の援助	全面依存	不明	最大の援助＋全面依存
療養病棟入院基本料1	693	22	16	12	45	34	41	519	4	560
	100.0%	3.2%	2.3%	1.7%	6.5%	4.9%	5.9%	74.9%	0.6%	80.8%
療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2-3の患者5割以上)	232	17	4	10	15	13	16	156	1	172
	100.0%	7.3%	1.7%	4.3%	6.5%	5.6%	6.9%	67.2%	0.4%	74.1%
療養病棟入院基本料2(その他)	71	8	2	3	7	6	3	42	0	45
	100.0%	11.3%	2.8%	4.2%	9.9%	8.5%	4.2%	59.2%	0.0%	63.4%
有床診療所療養病床入院基本料	533	79	21	29	56	37	36	273	2	309
	100.0%	14.8%	3.9%	5.4%	10.5%	6.9%	6.8%	51.2%	0.4%	58.0%

退院患者の移乗は、「最大の援助＋全面依存」をみると、介護療養型医療施設の病院では80.2%であった。

図表 2-3-71 【退院患者】移乗

	合計	自立	準備のみ	観察	部分的な援助	広範な援助	最大の援助	全面依存	不明	最大の援助＋全面依存
介護療養(病院)	903	32	19	25	67	31	56	668	5	724
	100.0%	3.5%	2.1%	2.8%	7.4%	3.4%	6.2%	74.0%	0.6%	80.2%
介護療養(診療所)	134	13	5	7	12	4	7	83	3	90
	100.0%	9.7%	3.7%	5.2%	9.0%	3.0%	5.2%	61.9%	2.2%	67.2%
老人性認知症疾患療養病棟	16	1	0	2	0	2	2	9	0	11
	100.0%	6.3%	0.0%	12.5%	0.0%	12.5%	12.5%	56.3%	0.0%	68.8%
医療療養(病院)	891	106	33	51	79	42	52	519	9	571
	100.0%	11.9%	3.7%	5.7%	8.9%	4.7%	5.8%	58.2%	1.0%	64.1%
医療療養(診療所)	311	73	16	39	45	14	16	105	3	121
	100.0%	23.5%	5.1%	12.5%	14.5%	4.5%	5.1%	33.8%	1.0%	38.9%

図表 2-3-72 【退院患者(介護療養)】移乗(療養機能強化型の届出の状況別)

	合計	自立	準備のみ	観察	部分的な援助	広範な援助	最大の援助	全面依存	不明	最大の援助＋全面依存
病院(療養機能強化型A)	477	11	5	11	29	14	24	381	2	405
	100.0%	2.3%	1.0%	2.3%	6.1%	2.9%	5.0%	79.9%	0.4%	84.9%
病院(療養機能強化型B)	89	3	0	0	8	1	7	68	2	75
	100.0%	3.4%	0.0%	0.0%	9.0%	1.1%	7.9%	76.4%	2.2%	84.3%
病院(療養機能型以外)	310	18	13	11	28	15	25	199	1	224
	100.0%	5.8%	4.2%	3.5%	9.0%	4.8%	8.1%	64.2%	0.3%	72.3%
診療所(療養機能強化型A)	4	0	0	0	0	0	0	4	0	4
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
診療所(療養機能強化型B)	6	0	1	0	0	0	0	5	0	5
	100.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	83.3%	0.0%	83.3%
診療所(療養機能型以外)	113	13	3	7	11	3	7	66	3	73
	100.0%	11.5%	2.7%	6.2%	9.7%	2.7%	6.2%	58.4%	2.7%	64.6%

図表 2-3-73 【退院患者(医療療養)】移乗

	合計	自立	準備のみ	観察	部分的な援助	広範な援助	最大の援助	全面依存	不明	最大の援助＋全面依存
療養病棟入院基本料1	620	60	19	38	54	29	37	376	7	413
	100.0%	9.7%	3.1%	6.1%	8.7%	4.7%	6.0%	60.6%	1.1%	66.6%
療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2-3の患者5割以上)	199	34	6	8	18	9	11	111	2	122
	100.0%	17.1%	3.0%	4.0%	9.0%	4.5%	5.5%	55.8%	1.0%	61.3%
療養病棟入院基本料2(その他)	72	12	8	5	7	4	4	32	0	36
	100.0%	16.7%	11.1%	6.9%	9.7%	5.6%	5.6%	44.4%	0.0%	50.0%
有床診療所療養病床入院基本料	311	73	16	39	45	14	16	105	3	121
	100.0%	23.5%	5.1%	12.5%	14.5%	4.5%	5.1%	33.8%	1.0%	38.9%

⑭ 食事

入院患者の食事は、「最大の援助＋全面依存」をみると、介護療養型医療施設の病院では 65.9%であった。

図表 2-3-74 【入院患者】食事

	合計	自立	準備のみ	観察	部分的な援助	広範な援助	最大の援助	全面依存	不明	最大の援助＋全面依存
介護療養(病院)	1,068	30	97	71	107	42	60	644	17	704
	100.0%	2.8%	9.1%	6.6%	10.0%	3.9%	5.6%	60.3%	1.6%	65.9%
介護療養(診療所)	547	30	48	55	64	24	49	268	9	317
	100.0%	5.5%	8.8%	10.1%	11.7%	4.4%	9.0%	49.0%	1.6%	58.0%
老人性認知症患者療養病棟	18	2	1	5	3	1	2	4	0	6
	100.0%	11.1%	5.6%	27.8%	16.7%	5.6%	11.1%	22.2%	0.0%	33.3%
医療療養(病院)	996	44	123	44	65	37	39	631	13	670
	100.0%	4.4%	12.3%	4.4%	6.5%	3.7%	3.9%	63.4%	1.3%	67.3%
医療療養(診療所)	533	100	77	48	42	29	31	203	3	234
	100.0%	18.8%	14.4%	9.0%	7.9%	5.4%	5.8%	38.1%	0.6%	43.9%

図表 2-3-75 【入院患者(介護療養)】食事(療養機能強化型の届出の状況別)

	合計	自立	準備のみ	観察	部分的な援助	広範な援助	最大の援助	全面依存	不明	最大の援助＋全面依存
病院(療養機能強化型A)	594	16	38	30	51	22	30	398	9	428
	100.0%	2.7%	6.4%	5.1%	8.6%	3.7%	5.1%	67.0%	1.5%	72.1%
病院(療養機能強化型B)	76	3	7	4	11	2	7	42	0	49
	100.0%	3.9%	9.2%	5.3%	14.5%	2.6%	9.2%	55.3%	0.0%	64.5%
病院(療養機能型以外)	391	10	52	36	43	18	23	201	8	224
	100.0%	2.6%	13.3%	9.2%	11.0%	4.6%	5.9%	51.4%	2.0%	57.3%
診療所(療養機能強化型A)	31	1	0	0	2	0	1	27	0	28
	100.0%	3.2%	0.0%	0.0%	6.5%	0.0%	3.2%	87.1%	0.0%	90.3%
診療所(療養機能強化型B)	36	2	10	5	8	0	2	9	0	11
	100.0%	5.6%	27.8%	13.9%	22.2%	0.0%	5.6%	25.0%	0.0%	30.6%
診療所(療養機能型以外)	418	19	27	45	47	23	43	206	8	249
	100.0%	4.5%	6.5%	10.8%	11.2%	5.5%	10.3%	49.3%	1.9%	59.6%

図表 2-3-76 【入院患者(医療療養)】食事

	合計	自立	準備のみ	観察	部分的な援助	広範な援助	最大の援助	全面依存	不明	最大の援助＋全面依存
療養病棟入院基本料1	693	20	81	27	44	21	22	467	11	489
	100.0%	2.9%	11.7%	3.9%	6.3%	3.0%	3.2%	67.4%	1.6%	70.6%
療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2-3の患者5割以上)	232	17	31	12	15	12	12	131	2	143
	100.0%	7.3%	13.4%	5.2%	6.5%	5.2%	5.2%	56.5%	0.9%	61.6%
療養病棟入院基本料2(その他)	71	7	11	5	6	4	5	33	0	38
	100.0%	9.9%	15.5%	7.0%	8.5%	5.6%	7.0%	46.5%	0.0%	53.5%
有床診療所療養病床入院基本料	533	100	77	48	42	29	31	203	3	234
	100.0%	18.8%	14.4%	9.0%	7.9%	5.4%	5.8%	38.1%	0.6%	43.9%

退院患者の食事は、「最大の援助＋全面依存」をみると、介護療養型医療施設の病院では70.0%であった。

図表 2-3-77 【退院患者】食事

	合計	自立	準備のみ	観察	部分的な援助	広範な援助	最大の援助	全面依存	不明	最大の援助＋全面依存
介護療養(病院)	903	37	84	41	64	34	43	589	11	632
	100.0%	4.1%	9.3%	4.5%	7.1%	3.8%	4.8%	65.2%	1.2%	70.0%
介護療養(診療所)	134	13	19	7	14	4	8	67	2	75
	100.0%	9.7%	14.2%	5.2%	10.4%	3.0%	6.0%	50.0%	1.5%	56.0%
老人性認知症疾患療養病棟	16	0	2	2	3	1	0	8	0	8
	100.0%	0.0%	12.5%	12.5%	18.8%	6.3%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%
医療療養(病院)	891	91	142	48	62	31	35	464	18	499
	100.0%	10.2%	15.9%	5.4%	7.0%	3.5%	3.9%	52.1%	2.0%	56.0%
医療療養(診療所)	311	96	29	48	22	12	11	87	6	98
	100.0%	30.9%	9.3%	15.4%	7.1%	3.9%	3.5%	28.0%	1.9%	31.5%

図表 2-3-78 【退院患者(介護療養)】食事(療養機能強化型の届出の状況別)

	合計	自立	準備のみ	観察	部分的な援助	広範な援助	最大の援助	全面依存	不明	最大の援助＋全面依存
病院(療養機能強化型A)	477	16	31	22	29	13	18	339	9	357
	100.0%	3.4%	6.5%	4.6%	6.1%	2.7%	3.8%	71.1%	1.9%	74.8%
病院(療養機能強化型B)	89	5	5	1	9	3	5	60	1	65
	100.0%	5.6%	5.6%	1.1%	10.1%	3.4%	5.6%	67.4%	1.1%	73.0%
病院(療養機能型以外)	310	16	46	14	24	17	19	173	1	192
	100.0%	5.2%	14.8%	4.5%	7.7%	5.5%	6.1%	55.8%	0.3%	61.9%
診療所(療養機能強化型A)	4	0	0	0	0	0	0	4	0	4
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
診療所(療養機能強化型B)	6	0	1	1	0	0	0	4	0	4
	100.0%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	66.7%
診療所(療養機能型以外)	113	12	18	6	12	4	7	52	2	59
	100.0%	10.6%	15.9%	5.3%	10.6%	3.5%	6.2%	46.0%	1.8%	52.2%

図表 2-3-79 【退院患者(医療療養)】食事

	合計	自立	準備のみ	観察	部分的な援助	広範な援助	最大の援助	全面依存	不明	最大の援助＋全面依存
療養病棟入院基本料1	620	51	89	37	48	18	25	339	13	364
	100.0%	8.2%	14.4%	6.0%	7.7%	2.9%	4.0%	54.7%	2.1%	58.7%
療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	199	32	30	8	9	10	6	100	4	106
	100.0%	16.1%	15.1%	4.0%	4.5%	5.0%	3.0%	50.3%	2.0%	53.3%
療養病棟入院基本料2(その他)	72	8	23	3	5	3	4	25	1	29
	100.0%	11.1%	31.9%	4.2%	6.9%	4.2%	5.6%	34.7%	1.4%	40.3%
有床診療所療養病床入院基本料	311	96	29	48	22	12	11	87	6	98
	100.0%	30.9%	9.3%	15.4%	7.1%	3.9%	3.5%	28.0%	1.9%	31.5%

⑮ トイレの使用

入院患者のトイレの使用は、「最大の援助＋全面依存」をみると、介護療養型医療施設の病院では 86.8%であった。

図表 2-3-80 【入院患者】トイレの使用

	合計	自立	準備のみ	観察	部分的な援助	広範な援助	最大の援助	全面依存	不明	最大の援助＋全面依存
介護療養(病院)	1,068	15	7	13	50	40	63	864	16	927
	100.0%	1.4%	0.7%	1.2%	4.7%	3.7%	5.9%	80.9%	1.5%	86.8%
介護療養(診療所)	547	15	14	9	44	30	40	383	12	423
	100.0%	2.7%	2.6%	1.6%	8.0%	5.5%	7.3%	70.0%	2.2%	77.3%
老人性認知症患者療養病棟	18	0	0	1	3	1	2	11	0	13
	100.0%	0.0%	0.0%	5.6%	16.7%	5.6%	11.1%	61.1%	0.0%	72.2%
医療療養(病院)	996	39	21	21	55	27	39	789	5	828
	100.0%	3.9%	2.1%	2.1%	5.5%	2.7%	3.9%	79.2%	0.5%	83.1%
医療療養(診療所)	533	70	32	13	53	22	26	313	4	339
	100.0%	13.1%	6.0%	2.4%	9.9%	4.1%	4.9%	58.7%	0.8%	63.6%

図表 2-3-81 【入院患者(介護療養)】トイレの使用(療養機能強化型の届出の状況別)

	合計	自立	準備のみ	観察	部分的な援助	広範な援助	最大の援助	全面依存	不明	最大の援助＋全面依存
病院(療養機能強化型A)	594	7	1	6	21	19	32	499	9	531
	100.0%	1.2%	0.2%	1.0%	3.5%	3.2%	5.4%	84.0%	1.5%	89.4%
病院(療養機能強化型B)	76	0	0	4	2	5	7	57	1	64
	100.0%	0.0%	0.0%	5.3%	2.6%	6.6%	9.2%	75.0%	1.3%	84.2%
病院(療養機能型以外)	391	8	6	3	26	16	24	302	6	326
	100.0%	2.0%	1.5%	0.8%	6.6%	4.1%	6.1%	77.2%	1.5%	83.4%
診療所(療養機能強化型A)	31	0	0	0	1	0	0	30	0	30
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%	96.8%	0.0%	96.8%
診療所(療養機能強化型B)	36	1	4	0	2	5	5	15	4	20
	100.0%	2.8%	11.1%	0.0%	5.6%	13.9%	13.9%	41.7%	11.1%	55.6%
診療所(療養機能型以外)	418	9	4	7	36	22	32	301	7	333
	100.0%	2.2%	1.0%	1.7%	8.6%	5.3%	7.7%	72.0%	1.7%	79.7%

図表 2-3-82 【入院患者(医療療養)】トイレの使用

	合計	自立	準備のみ	観察	部分的な援助	広範な援助	最大の援助	全面依存	不明	最大の援助＋全面依存
療養病棟入院基本料1	693	19	12	10	33	17	28	569	5	597
	100.0%	2.7%	1.7%	1.4%	4.8%	2.5%	4.0%	82.1%	0.7%	86.1%
療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2-3の患者5割以上)	232	14	4	9	17	5	10	173	0	183
	100.0%	6.0%	1.7%	3.9%	7.3%	2.2%	4.3%	74.6%	0.0%	78.9%
療養病棟入院基本料2(その他)	71	6	5	2	5	5	1	47	0	48
	100.0%	8.5%	7.0%	2.8%	7.0%	7.0%	1.4%	66.2%	0.0%	67.6%
有床診療所療養病床入院基本料	533	70	32	13	53	22	26	313	4	339
	100.0%	13.1%	6.0%	2.4%	9.9%	4.1%	4.9%	58.7%	0.8%	63.6%

退院患者のトイレの使用は、「最大の援助＋全面依存」をみると、介護療養型医療施設の病院では84.5%であった。

図表 2-3-83 【退院患者】トイレの使用

	合計	自立	準備のみ	観察	部分的な援助	広範な援助	最大の援助	全面依存	不明	最大の援助＋全面依存
介護療養(病院)	903	29	10	15	52	23	50	713	11	763
	100.0%	3.2%	1.1%	1.7%	5.8%	2.5%	5.5%	79.0%	1.2%	84.5%
介護療養(診療所)	134	8	4	13	10	4	6	86	3	92
	100.0%	6.0%	3.0%	9.7%	7.5%	3.0%	4.5%	64.2%	2.2%	68.7%
老人性認知症疾患療養病棟	16	1	0	1	1	1	1	11	0	12
	100.0%	6.3%	0.0%	6.3%	6.3%	6.3%	6.3%	68.8%	0.0%	75.0%
医療療養(病院)	891	102	27	31	70	34	41	571	15	612
	100.0%	11.4%	3.0%	3.5%	7.9%	3.8%	4.6%	64.1%	1.7%	68.7%
医療療養(診療所)	311	85	14	26	35	16	12	120	3	132
	100.0%	27.3%	4.5%	8.4%	11.3%	5.1%	3.9%	38.6%	1.0%	42.4%

図表 2-3-84 【退院患者(介護療養)】トイレの使用(療養機能強化型の届出の状況別)

	合計	自立	準備のみ	観察	部分的な援助	広範な援助	最大の援助	全面依存	不明	最大の援助＋全面依存
病院(療養機能強化型A)	477	9	2	5	27	15	19	394	6	413
	100.0%	1.9%	0.4%	1.0%	5.7%	3.1%	4.0%	82.6%	1.3%	86.6%
病院(療養機能強化型B)	89	3	0	0	5	1	6	71	3	77
	100.0%	3.4%	0.0%	0.0%	5.6%	1.1%	6.7%	79.8%	3.4%	86.5%
病院(療養機能型以外)	310	17	8	10	17	5	24	227	2	251
	100.0%	5.5%	2.6%	3.2%	5.5%	1.6%	7.7%	73.2%	0.6%	81.0%
診療所(療養機能強化型A)	4	0	0	0	0	0	0	4	0	4
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
診療所(療養機能強化型B)	6	0	1	0	1	0	0	4	0	4
	100.0%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	66.7%
診療所(療養機能型以外)	113	8	3	12	9	4	5	69	3	74
	100.0%	7.1%	2.7%	10.6%	8.0%	3.5%	4.4%	61.1%	2.7%	65.5%

図表 2-3-85 【退院患者(医療療養)】トイレの使用

	合計	自立	準備のみ	観察	部分的な援助	広範な援助	最大の援助	全面依存	不明	最大の援助＋全面依存
療養病棟入院基本料1	620	57	17	23	50	23	26	412	12	438
	100.0%	9.2%	2.7%	3.7%	8.1%	3.7%	4.2%	66.5%	1.9%	70.6%
療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	199	31	5	5	12	9	12	123	2	135
	100.0%	15.6%	2.5%	2.5%	6.0%	4.5%	6.0%	61.8%	1.0%	67.8%
療養病棟入院基本料2(その他)	72	14	5	3	8	2	3	36	1	39
	100.0%	19.4%	6.9%	4.2%	11.1%	2.8%	4.2%	50.0%	1.4%	54.2%
有床診療所療養病床入院基本料	311	85	14	26	35	16	12	120	3	132
	100.0%	27.3%	4.5%	8.4%	11.3%	5.1%	3.9%	38.6%	1.0%	42.4%

⑩ ADL区分

入院患者のADL区分は介護療養型医療施設の病院では「ADL区分3」が59.9%、医療療養病床を有する病院では63.5%であった。

図表 2-3-86 【入院患者】ADL区分

	合計	ADL区分1	ADL区分2	ADL区分3	不明
介護療養(病院)	1,068	76	327	640	25
	100.0%	7.1%	30.6%	59.9%	2.3%
介護療養(診療所)	547	70	177	278	22
	100.0%	12.8%	32.4%	50.8%	4.0%
老人性認知症患者療養病棟	18	3	9	6	0
	100.0%	16.7%	50.0%	33.3%	0.0%
医療療養(病院)	996	121	221	632	22
	100.0%	12.1%	22.2%	63.5%	2.2%
医療療養(診療所)	533	162	151	214	6
	100.0%	30.4%	28.3%	40.2%	1.1%

図表 2-3-87 【入院患者(介護療養)】ADL区分(療養機能強化型の届出の状況別)

	合計	ADL区分1	ADL区分2	ADL区分3	不明
病院(療養機能強化型A)	594	27	165	389	13
	100.0%	4.5%	27.8%	65.5%	2.2%
病院(療養機能強化型B)	76	6	27	42	1
	100.0%	7.9%	35.5%	55.3%	1.3%
病院(療養機能強化型以外)	391	43	131	206	11
	100.0%	11.0%	33.5%	52.7%	2.8%
診療所(療養機能強化型A)	31	0	4	26	1
	100.0%	0.0%	12.9%	83.9%	3.2%
診療所(療養機能強化型B)	36	7	17	7	5
	100.0%	19.4%	47.2%	19.4%	13.9%
診療所(療養機能強化型以外)	418	46	138	219	15
	100.0%	11.0%	33.0%	52.4%	3.6%

図表 2-3-88 【入院患者(医療療養)】ADL区分

	合計	ADL区分1	ADL区分2	ADL区分3	不明
療養病棟入院基本料1	693	68	146	461	18
	100.0%	9.8%	21.1%	66.5%	2.6%
療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	232	37	55	136	4
	100.0%	15.9%	23.7%	58.6%	1.7%
療養病棟入院基本料2(その他)	71	16	20	35	0
	100.0%	22.5%	28.2%	49.3%	0.0%
有床診療所療養病床入院基本料	533	162	151	214	6
	100.0%	30.4%	28.3%	40.2%	1.1%

退院患者のADL区分は介護療養型医療施設の病院では「ADL区分3」が64.1%、医療療養病床を有する病院では50.7%であった。

図表 2-3-89 【退院患者】ADL区分

	合計	ADL区分1	ADL区分2	ADL区分3	不明
介護療養(病院)	903	99	200	579	25
	100.0%	11.0%	22.1%	64.1%	2.8%
介護療養(診療所)	134	32	29	68	5
	100.0%	23.9%	21.6%	50.7%	3.7%
老人性認知症疾患療養病棟	16	3	5	8	0
	100.0%	18.8%	31.3%	50.0%	0.0%
医療療養(病院)	891	222	194	452	23
	100.0%	24.9%	21.8%	50.7%	2.6%
医療療養(診療所)	311	143	68	92	8
	100.0%	46.0%	21.9%	29.6%	2.6%

図表 2-3-90 【退院患者(介護療養)】ADL区分(療養機能強化型の届出の状況別)

	合計	ADL区分1	ADL区分2	ADL区分3	不明
病院(療養機能強化型A)	477	39	88	332	18
	100.0%	8.2%	18.4%	69.6%	3.8%
病院(療養機能強化型B)	89	6	18	61	4
	100.0%	6.7%	20.2%	68.5%	4.5%
病院(療養機能強化型以外)	310	50	89	168	3
	100.0%	16.1%	28.7%	54.2%	1.0%
診療所(療養機能強化型A)	4	0	0	4	0
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
診療所(療養機能強化型B)	6	1	1	4	0
	100.0%	16.7%	16.7%	66.7%	0.0%
診療所(療養機能強化型以外)	113	30	25	53	5
	100.0%	26.5%	22.1%	46.9%	4.4%

図表 2-3-91 【退院患者(医療療養)】ADL区分

	合計	ADL区分1	ADL区分2	ADL区分3	不明
療養病棟入院基本料1	620	137	136	331	16
	100.0%	22.1%	21.9%	53.4%	2.6%
療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	199	58	41	96	4
	100.0%	29.1%	20.6%	48.2%	2.0%
療養病棟入院基本料2(その他)	72	27	17	25	3
	100.0%	37.5%	23.6%	34.7%	4.2%
有床診療所療養病床入院基本料	311	143	68	92	8
	100.0%	46.0%	21.9%	29.6%	2.6%

⑰ 傷病

入院患者の傷病は、介護療養型医療施設の病院では「脳卒中」が 57.3%、「認知症」が 50.9%、「高血圧」が 31.5%であった。

また、医療療養病床を有する医療施設では、病院は「脳卒中」が 45.3%、「高血圧」が 33.1%、「心臓病」と「呼吸器の病気」が 32.7%であった。

なお、その他の具体的な内容は、褥瘡、廃用症候群、甲状腺機能低下症、てんかん、せん妄などであった。

図表 2-3-92 【入院患者】傷病（複数回答）

	合計	高血圧	脳卒中	心臓病	糖尿病	高脂血症	呼吸器の病気	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格系の病気	外傷	がん
介護療養(病院)	1,068	336	612	315	165	54	171	121	106	143	88	78
	100.0%	31.5%	57.3%	29.5%	15.4%	5.1%	16.0%	11.3%	9.9%	13.4%	8.2%	7.3%
介護療養(診療所)	547	251	221	144	73	45	64	47	39	112	49	21
	100.0%	45.9%	40.4%	26.3%	13.3%	8.2%	11.7%	8.6%	7.1%	20.5%	9.0%	3.8%
老人性認知症疾患療養病棟	18	5	3	5	4	1	2	1	1	0	1	0
	100.0%	27.8%	16.7%	27.8%	22.2%	5.6%	11.1%	5.6%	5.6%	0.0%	5.6%	0.0%
医療療養(病院)	996	330	451	326	193	56	326	163	146	132	93	93
	100.0%	33.1%	45.3%	32.7%	19.4%	5.6%	32.7%	16.4%	14.7%	13.3%	9.3%	9.3%
医療療養(診療所)	533	239	180	140	96	45	95	105	139	117	50	36
	100.0%	44.8%	33.8%	26.3%	18.0%	8.4%	17.8%	19.7%	26.1%	22.0%	9.4%	6.8%

血液・免疫の病気	うつ病・精神疾患	認知症	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	歯科疾患	その他の難病	その他	ない	不明
26	69	544	31	39	16	3	6	109	4	6
2.4%	6.5%	50.9%	2.9%	3.7%	1.5%	0.3%	0.6%	10.2%	0.4%	0.6%
12	64	289	32	28	8	4	3	47	0	3
2.2%	11.7%	52.8%	5.9%	5.1%	1.5%	0.7%	0.5%	8.6%	0.0%	0.5%
0	5	17	0	0	0	0	1	0	0	0
0.0%	27.8%	94.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
18	100	307	84	38	5	3	35	126	1	7
1.8%	10.0%	30.8%	8.4%	3.8%	0.5%	0.3%	3.5%	12.7%	0.1%	0.7%
7	70	189	22	37	10	1	5	53	1	8
1.3%	13.1%	35.5%	4.1%	6.9%	1.9%	0.2%	0.9%	9.9%	0.2%	1.5%

※網掛けは、選択が多い上位3項目（不明を除く）

介護療養型医療施設の入院患者について、療養機能強化型の届出の状況別の傷病をみると、病院（療養機能強化型A）では「脳卒中」が60.9%、「認知症」が56.1%、病院（療養機能強化型B）では「脳卒中」が60.5%、「認知症」が47.4%、病院（療養機能強化型以外）では「脳卒中」が50.9%、「認知症」が44.0%であった。

図表 2-3-93 【入院患者（介護療養）】傷病（療養機能強化型の届出の状況別）（複数回答）

	合計	高血圧	脳卒中	心臓病	糖尿病	高脂血症	呼吸器の病気	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格系の病気	外傷	がん
病院(療養機能強化型A)	594	185	362	170	89	32	86	59	50	68	57	46
	100.0%	31.1%	60.9%	28.6%	15.0%	5.4%	14.5%	9.9%	8.4%	11.4%	9.6%	7.7%
病院(療養機能強化型B)	76	27	46	24	11	3	21	8	8	13	5	7
	100.0%	35.5%	60.5%	31.6%	14.5%	3.9%	27.6%	10.5%	10.5%	17.1%	6.6%	9.2%
病院(療養機能強化型以外)	391	120	199	118	64	18	64	52	46	60	26	25
	100.0%	30.7%	50.9%	30.2%	16.4%	4.6%	16.4%	13.3%	11.8%	15.3%	6.6%	6.4%
診療所(療養機能強化型A)	31	18	14	4	4	4	4	0	1	3	1	0
	100.0%	58.1%	45.2%	12.9%	12.9%	12.9%	12.9%	0.0%	3.2%	9.7%	3.2%	0.0%
診療所(療養機能強化型B)	36	22	15	15	3	8	1	2	1	2	0	1
	100.0%	61.1%	41.7%	41.7%	8.3%	22.2%	2.8%	5.6%	2.8%	5.6%	0.0%	2.8%
診療所(療養機能強化型以外)	418	188	178	115	57	29	53	41	33	90	44	15
	100.0%	45.0%	42.6%	27.5%	13.6%	6.9%	12.7%	9.8%	7.9%	21.5%	10.5%	3.6%

血液・免疫の病気	うつ病・精神疾患	認知症	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	歯科疾患	その他の難病	その他	ない	不明
12	31	333	13	20	5	2	4	72	0	2
2.0%	5.2%	56.1%	2.2%	3.4%	0.8%	0.3%	0.7%	12.1%	0.0%	0.3%
2	6	36	5	1	3	0	0	6	0	1
2.6%	7.9%	47.4%	6.6%	1.3%	3.9%	0.0%	0.0%	7.9%	0.0%	1.3%
12	32	172	12	18	8	1	2	30	4	3
3.1%	8.2%	44.0%	3.1%	4.6%	2.0%	0.3%	0.5%	7.7%	1.0%	0.8%
0	5	18	1	0	0	0	1	2	0	0
0.0%	16.1%	58.1%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	6.5%	0.0%	0.0%
0	7	19	2	0	0	0	0	2	0	0
0.0%	19.4%	52.8%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%
11	45	227	26	22	5	4	2	35	0	2
2.6%	10.8%	54.3%	6.2%	5.3%	1.2%	1.0%	0.5%	8.4%	0.0%	0.5%

※網掛けは、選択が多い上位3項目（不明を除く）

1 基本情報

医療療養病床を有する医療施設の入院患者について、傷病をみると、療養病棟入院基本料1では「脳卒中」が46.0%、「心臓病」が33.3%、療養病棟入院基本料2（看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上）では「脳卒中」が43.5%、「高血圧」が34.9%、療養病棟入院基本料2（その他）では「高血圧」が50.7%、「脳卒中」が43.7%、有床診療所療養病床入院基本料では「高血圧」が44.8%、「認知症」が35.5%であった。

図表 2-3-94 【入院患者（医療療養）】傷病（複数回答）

	合計	高血圧	脳卒中	心臓病	糖尿病	高脂血症	呼吸器の病気	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格系の病気	外傷	がん
医療療養 療養病棟入院基本料1	693	213	319	231	139	37	257	108	105	86	56	68
	100.0%	30.7%	46.0%	33.3%	20.1%	5.3%	37.1%	15.6%	15.2%	12.4%	8.1%	9.8%
医療療養 療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	232	81	101	71	42	8	53	39	31	31	25	20
	100.0%	34.9%	43.5%	30.6%	18.1%	3.4%	22.8%	16.8%	13.4%	13.4%	10.8%	8.6%
医療療養 療養病棟入院基本料2(その他)	71	36	31	24	12	11	16	16	10	15	12	5
	100.0%	50.7%	43.7%	33.8%	16.9%	15.5%	22.5%	22.5%	14.1%	21.1%	16.9%	7.0%
医療療養 有床診療所療養病床入院基本料	533	239	180	140	96	45	95	105	139	117	50	36
	100.0%	44.8%	33.8%	26.3%	18.0%	8.4%	17.8%	19.7%	26.1%	22.0%	9.4%	6.8%

血液・免疫の病気	うつ病・精神疾患	認知症	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	歯科疾患	その他の難病	その他	ない	不明
12	74	215	67	24	3	2	25	96	0	3
1.7%	10.7%	31.0%	9.7%	3.5%	0.4%	0.3%	3.6%	13.9%	0.0%	0.4%
4	21	67	16	11	1	1	6	25	1	4
1.7%	9.1%	28.9%	6.9%	4.7%	0.4%	0.4%	2.6%	10.8%	0.4%	1.7%
2	5	25	1	3	1	0	4	5	0	0
2.8%	7.0%	35.2%	1.4%	4.2%	1.4%	0.0%	5.6%	7.0%	0.0%	0.0%
7	70	189	22	37	10	1	5	53	1	8
1.3%	13.1%	35.5%	4.1%	6.9%	1.9%	0.2%	0.9%	9.9%	0.2%	1.5%

※網掛けは、選択が多い上位3項目（不明を除く）

退院患者の傷病は、介護療養型医療施設の病院では、「脳卒中」が48.3%、「認知症」が46.1%であった。

また、医療療養病床を有する医療施設の病院では、「脳卒中」が34.0%、「認知症」が32.7%であった。

なお、その他の具体的な内容は、褥瘡、てんかん、廃用症候群などであった。

図表 2 - 3 - 95 【退院患者】傷病（複数回答）

	合計	高血圧	脳卒中	心臓病	糖尿病	高脂血症	呼吸器の病気	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格系の病気	外傷	がん
介護療養（病院）	903	261	436	287	153	47	197	129	113	126	83	115
	100.0%	28.9%	48.3%	31.8%	16.9%	5.2%	21.8%	14.3%	12.5%	14.0%	9.2%	12.7%
介護療養（診療所）	134	50	59	41	18	13	22	17	17	37	7	9
	100.0%	37.3%	44.0%	30.6%	13.4%	9.7%	16.4%	12.7%	12.7%	27.6%	5.2%	6.7%
老人性認知症疾患療養病棟	16	4	6	3	2	0	5	3	1	1	1	1
	100.0%	25.0%	37.5%	18.8%	12.5%	0.0%	31.3%	18.8%	6.3%	6.3%	6.3%	6.3%
医療療養（病院）	891	279	303	288	172	61	315	164	161	150	94	145
	100.0%	31.3%	34.0%	32.3%	19.3%	6.8%	35.4%	18.4%	18.1%	16.8%	10.5%	16.3%
医療療養（診療所）	311	155	86	95	73	49	83	79	81	62	65	32
	100.0%	49.8%	27.7%	30.5%	23.5%	15.8%	26.7%	25.4%	26.0%	19.9%	20.9%	10.3%

血液・免疫の病気	うつ病・精神疾患	認知症	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	歯科疾患	その他の難病	その他	ない	不明
20	55	416	27	25	9	2	11	99	0	8
2.2%	6.1%	46.1%	3.0%	2.8%	1.0%	0.2%	1.2%	11.0%	0.0%	0.9%
5	20	77	4	4	1	0	0	13	0	0
3.7%	14.9%	57.5%	3.0%	3.0%	0.7%	0.0%	0.0%	9.7%	0.0%	0.0%
0	2	16	0	1	0	0	0	1	0	0
0.0%	12.5%	100.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%
40	75	291	46	50	11	1	26	94	1	4
4.5%	8.4%	32.7%	5.2%	5.6%	1.2%	0.1%	2.9%	10.5%	0.1%	0.4%
7	35	89	16	27	7	0	4	28	0	2
2.3%	11.3%	28.6%	5.1%	8.7%	2.3%	0.0%	1.3%	9.0%	0.0%	0.6%

※網掛けは、選択が多い上位3項目（不明を除く）

1 基本情報

介護療養型医療施設の退院患者について、療養機能強化型の届出の状況別の傷病をみると、病院（療養機能強化型A）では「脳卒中」が49.7%、「認知症」が46.8%、病院（療養機能強化型B）では「認知症」が47.2%、「脳卒中」が40.4%、病院（療養機能強化型以外）では「脳卒中」が47.7%、「認知症」が43.9%であった。

図表 2-3-96 【退院患者（介護療養）】傷病（療養機能強化型の届出の状況別）（複数回答）

	合計	高血圧	脳卒中	心臓病	糖尿病	高脂血症	呼吸器の病気	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格系の病気	外傷	がん
病院（療養機能強化型A）	477	132	237	161	80	28	83	72	67	52	39	68
	100.0%	27.7%	49.7%	33.8%	16.8%	5.9%	17.4%	15.1%	14.0%	10.9%	8.2%	14.3%
病院（療養機能強化型B）	89	17	36	21	12	1	20	9	14	14	11	12
	100.0%	19.1%	40.4%	23.6%	13.5%	1.1%	22.5%	10.1%	15.7%	15.7%	12.4%	13.5%
病院（療養機能強化型以外）	310	101	148	97	53	17	91	43	32	54	27	32
	100.0%	32.6%	47.7%	31.3%	17.1%	5.5%	29.4%	13.9%	10.3%	17.4%	8.7%	10.3%
診療所（療養機能強化型A）	4	2	3	4	1	0	0	0	0	0	0	0
	100.0%	50.0%	75.0%	100.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
診療所（療養機能強化型B）	6	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	100.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%
診療所（療養機能強化型以外）	113	41	53	36	16	13	21	17	17	35	7	7
	100.0%	36.3%	46.9%	31.9%	14.2%	11.5%	18.6%	15.0%	15.0%	31.0%	6.2%	6.2%

血液・免疫の病気	うつ病・精神疾患	認知症	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	歯科疾患	その他の難病	その他	ない	不明
10	29	223	10	10	5	1	8	62	0	3
2.1%	6.1%	46.8%	2.1%	2.1%	1.0%	0.2%	1.7%	13.0%	0.0%	0.6%
3	5	42	2	0	1	1	0	12	0	0
3.4%	5.6%	47.2%	2.2%	0.0%	1.1%	1.1%	0.0%	13.5%	0.0%	0.0%
7	18	136	15	15	3	0	3	23	0	5
2.3%	5.8%	43.9%	4.8%	4.8%	1.0%	0.0%	1.0%	7.4%	0.0%	1.6%
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0
0.0%	0.0%	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4	20	66	4	4	1	0	0	11	0	0
3.5%	17.7%	58.4%	3.5%	3.5%	0.9%	0.0%	0.0%	9.7%	0.0%	0.0%

※網掛けは、選択が多い上位3項目（不明を除く）

医療療養病床を有する医療施設の退院患者について、傷病をみると、療養病棟入院基本料1では「呼吸器の病気」が40.0%、「脳卒中」が34.5%、療養病棟入院基本料2（看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上）では「心臓病」が32.2%、「脳卒中」と「認知症」が31.7%、療養病棟入院基本料2（その他）では「高血圧」と「脳卒中」が36.1%、有床診療所療養病床入院基本料では「高血圧」が49.8%、「心臓病」が30.5%であった。

図表2-3-97 【退院患者（医療療養）】傷病（複数回答）

	合計	高血圧	脳卒中	心臓病	糖尿病	高脂血症	呼吸器の病気	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格系の病気	外傷	がん
医療療養 療養病棟入院基本料1	620	193	214	205	122	48	248	127	117	103	50	111
	100.0%	31.1%	34.5%	33.1%	19.7%	7.7%	40.0%	20.5%	18.9%	16.6%	8.1%	17.9%
医療療養 療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	199	60	63	64	32	8	54	27	30	35	31	28
	100.0%	30.2%	31.7%	32.2%	16.1%	4.0%	27.1%	13.6%	15.1%	17.6%	15.6%	14.1%
医療療養 療養病棟入院基本料2(その他)	72	26	26	19	18	5	13	10	14	12	13	6
	100.0%	36.1%	36.1%	26.4%	25.0%	6.9%	18.1%	13.9%	19.4%	16.7%	18.1%	8.3%
医療療養 有床診療所療養病床入院基本料	311	155	86	95	73	49	83	79	81	62	65	32
	100.0%	49.8%	27.7%	30.5%	23.5%	15.8%	26.7%	25.4%	26.0%	19.9%	20.9%	10.3%

血液・免疫の病気	うつ病・精神疾患	認知症	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	歯科疾患	その他の難病	その他	ない	不明
29	50	207	37	39	9	1	22	69	1	2
4.7%	8.1%	33.4%	6.0%	6.3%	1.5%	0.2%	3.5%	11.1%	0.2%	0.3%
10	15	63	8	6	0	0	4	19	0	2
5.0%	7.5%	31.7%	4.0%	3.0%	0.0%	0.0%	2.0%	9.5%	0.0%	1.0%
1	10	21	1	5	2	0	0	6	0	0
1.4%	13.9%	29.2%	1.4%	6.9%	2.8%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%
7	35	89	16	27	7	0	4	28	0	2
2.3%	11.3%	28.6%	5.1%	8.7%	2.3%	0.0%	1.3%	9.0%	0.0%	0.6%

※網掛けは、選択が多い上位3項目（不明を除く）

2. 検査・処置、加算等の状況

① 検査・処置の実施状況

入院患者の検査・処置の実施状況は、介護療養型医療施設の病院では、「血液・生化学検査」が36.9%、「単純エックス線撮影」が14.6%であった。

また、医療療養病床を有する医療施設の病院では、「血液・生化学検査」が58.3%、「単純エックス線撮影」が26.1%であった。

図表 2-3-98 【入院患者】検査・処置の実施状況（複数回答）

	合計	尿検査	糞便検査	血液・生化学検査	培養検査	呼吸機能検査	心電図検査	超音波検査	脳波検査	上部・下部消化管内視鏡検査	気管支鏡検査	喉頭鏡検査
介護療養(病院)	1,068	139	6	394	42	5	76	4	0	3	0	0
	100.0%	13.0%	0.6%	36.9%	3.9%	0.5%	7.1%	0.4%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%
介護療養(診療所)	547	103	2	256	6	0	85	5	0	3	0	0
	100.0%	18.8%	0.4%	46.8%	1.1%	0.0%	15.5%	0.9%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%
老人性認知症疾患療養病棟	18	5	0	13	1	0	4	1	0	0	0	0
	100.0%	27.8%	0.0%	72.2%	5.6%	0.0%	22.2%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医療療養(病院)	996	233	21	581	83	8	68	10	0	8	0	0
	100.0%	23.4%	2.1%	58.3%	8.3%	0.8%	6.8%	1.0%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%
医療療養(診療所)	533	146	13	318	25	2	139	15	0	8	0	0
	100.0%	27.4%	2.4%	59.7%	4.7%	0.4%	26.1%	2.8%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%

単純エックス線撮影	透視	CT	MRI	ドレナージ	脳室穿刺	胸腔・腹腔穿刺	腰椎穿刺	骨髄穿刺	透析	不明	
156	4	48	2	2	0	0	0	0	1	0	578
14.6%	0.4%	4.5%	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	54.1%
59	3	8	1	0	0	0	0	0	0	0	265
10.8%	0.5%	1.5%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	48.4%
4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
22.2%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%
260	7	113	5	2	0	0	0	0	0	41	301
26.1%	0.7%	11.3%	0.5%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.1%	30.2%
146	0	41	4	0	0	0	0	0	0	92	179
27.4%	0.0%	7.7%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	17.3%	33.6%

※網掛けは、選択が多い上位3項目（不明を除く）

介護療養型医療施設の入院患者について、療養機能強化型の届出の状況別の検査・処置の実施状況をみると、病院（療養機能強化型A）では「血液・生化学検査」が34.5%、「単純エックス線撮影」が17.3%、病院（療養機能強化型B）では「血液・生化学検査」が39.5%、「単純エックス線撮影」が17.1%、病院（療養機能強化型以外）では「血液・生化学検査」が38.9%、「単純エックス線撮影」が10.2%であった。

図表 2-3-99 【入院患者（介護療養）】検査・処置の実施状況（療養機能強化型の届出の状況別）（複数回答）

	合計	尿検査	糞便検査	血液・生化学検査	培養検査	呼吸機能検査	心電図検査	超音波検査	脳波検査	上部・下部消化管内視鏡検査	気管支鏡検査	喉頭鏡検査
病院(療養機能強化型A)	594	92	6	205	32	0	46	3	0	1	0	0
	100.0%	15.5%	1.0%	34.5%	5.4%	0.0%	7.7%	0.5%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%
病院(療養機能強化型B)	76	9	0	30	0	5	15	0	0	1	0	0
	100.0%	11.8%	0.0%	39.5%	0.0%	6.6%	19.7%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%
病院(療養機能強化型以外)	391	35	0	152	10	0	15	1	0	1	0	0
	100.0%	9.0%	0.0%	38.9%	2.6%	0.0%	3.8%	0.3%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%
診療所(療養機能強化型A)	31	3	0	18	0	0	3	0	0	0	0	0
	100.0%	9.7%	0.0%	58.1%	0.0%	0.0%	9.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
診療所(療養機能強化型B)	36	3	0	4	0	0	3	0	0	0	0	0
	100.0%	8.3%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
診療所(療養機能強化型以外)	418	62	2	195	3	0	58	5	0	3	0	0
	100.0%	14.8%	0.5%	46.7%	0.7%	0.0%	13.9%	1.2%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%

単純エックス線撮影	透視	CT	MRI	ドレナージ	脳室穿刺	胸腔・腹腔穿刺	腰椎穿刺	骨髄穿刺	透析	不明
103	2	24	2	1	0	0	0	0	0	333
17.3%	0.3%	4.0%	0.3%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	56.1%
13	0	5	0	1	0	0	0	0	0	27
17.1%	0.0%	6.6%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	35.5%
40	2	19	0	0	0	0	0	0	1	218
10.2%	0.5%	4.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	55.8%
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
16.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	41.9%
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	88.9%
34	3	7	0	0	0	0	0	0	0	211
8.1%	0.7%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.5%

※網掛けは、選択が多い上位3項目（不明を除く）

2 検査・処置、加算等の状況

医療療養病床を有する医療施設の入院患者について、検査・処置の実施状況をみると、療養病棟入院基本料1では「血液・生化学検査」が59.2%、「単純エックス線撮影」が26.1%、療養病棟入院基本料2（看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上）では「血液・生化学検査」が56.9%、「単純エックス線撮影」が25.0%、療養病棟入院基本料2（その他）では「血液・生化学検査」が54.9%、「単純エックス線撮影」が29.6%、有床診療所療養病床入院基本料では「血液・生化学検査」が59.7%、「単純エックス線撮影」が27.4%であった。

図表 2-3-100 【入院患者（医療療養）】検査・処置の実施状況（複数回答）

	合計	尿検査	糞便検査	血液・生化学検査	培養検査	呼吸機能検査	心電図検査	超音波検査	脳波検査	上部・下部消化管内視鏡検査	気管支鏡検査	喉頭鏡検査
医療療養 療養病棟入院基本料1	693	158	12	410	63	7	48	5	0	4	0	0
	100.0%	22.8%	1.7%	59.2%	9.1%	1.0%	6.9%	0.7%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%
医療療養 療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	232	56	9	132	20	1	10	3	0	3	0	0
	100.0%	24.1%	3.9%	56.9%	8.6%	0.4%	4.3%	1.3%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%
医療療養 療養病棟入院基本料2(その他)	71	19	0	39	0	0	10	2	0	1	0	0
	100.0%	26.8%	0.0%	54.9%	0.0%	0.0%	14.1%	2.8%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%
医療療養 有床診療所療養病床入院基本料	533	146	13	318	25	2	139	15	0	8	0	0
	100.0%	27.4%	2.4%	59.7%	4.7%	0.4%	26.1%	2.8%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%

単純エックス線撮影	透視	CT	MRI	ドレナージ	脳室穿刺	胸腔・腹腔穿刺	腰椎穿刺	骨髄穿刺	透析	不明
181	5	87	2	1	0	0	0	0	33	205
26.1%	0.7%	12.6%	0.3%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	29.6%
58	2	24	3	1	0	0	0	0	8	72
25.0%	0.9%	10.3%	1.3%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	31.0%
21	0	2	0	0	0	0	0	0	0	24
29.6%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.8%
146	0	41	4	0	0	0	0	0	92	179
27.4%	0.0%	7.7%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	17.3%	33.6%

※網掛けは、選択が多い上位3項目（不明を除く）

退院患者の検査・処置の実施状況は、介護療養型医療施設の病院では、「血液・生化学検査」が45.1%、「単純エックス線撮影」が25.0%であった。

また、医療療養病床を有する医療施設の病院では、「血液・生化学検査」が63.7%、「単純エックス線撮影」が36.9%であった。

図表 2-3-101 【退院患者】検査・処置の実施状況（複数回答）

	合計	尿検査	糞便検査	血液・生化学検査	培養検査	呼吸機能検査	心電図検査	超音波検査	脳波検査	上部・下部消化管内視鏡検査	気管支鏡検査	喉頭鏡検査
介護療養(病院)	903	158	10	407	65	4	83	13	0	6	0	0
	100.0%	17.5%	1.1%	45.1%	7.2%	0.4%	9.2%	1.4%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%
介護療養(診療所)	134	19	0	48	3	0	18	3	0	2	0	0
	100.0%	14.2%	0.0%	35.8%	2.2%	0.0%	13.4%	2.2%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%
老人性認知症疾患療養病棟	16	1	1	11	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0%	6.3%	6.3%	68.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医療療養(病院)	891	233	30	568	93	11	159	18	0	9	1	0
	100.0%	26.2%	3.4%	63.7%	10.4%	1.2%	17.8%	2.0%	0.0%	1.0%	0.1%	0.0%
医療療養(診療所)	311	57	7	141	11	0	83	10	0	3	0	0
	100.0%	18.3%	2.3%	45.3%	3.5%	0.0%	26.7%	3.2%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%

単純エックス線撮影	透視	CT	MRI	ドレナージ	脳室穿刺	胸腔・腹腔穿刺	腰椎穿刺	骨髄穿刺	透析	不明
226	5	86	4	5	0	2	0	1	0	411
25.0%	0.6%	9.5%	0.4%	0.6%	0.0%	0.2%	0.0%	0.1%	0.0%	45.5%
18	0	3	0	0	0	0	0	0	0	80
13.4%	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	59.7%
3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4
18.8%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
329	1	183	10	4	0	1	0	1	33	225
36.9%	0.1%	20.5%	1.1%	0.4%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	3.7%	25.3%
85	0	38	0	0	0	1	0	0	40	149
27.3%	0.0%	12.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	12.9%	47.9%

※網掛けは、選択が多い上位3項目（不明を除く）

2 検査・処置、加算等の状況

介護療養型医療施設の退院患者について、療養機能強化型の届出の状況別の検査・処置の実施状況をみると、病院（療養機能強化型A）では「血液・生化学検査」が44.2%、「単純エックス線撮影」が23.5%、病院（療養機能強化型B）では「血液・生化学検査」が55.1%、「単純エックス線撮影」が34.8%、病院（療養機能強化型以外）では「血液・生化学検査」が45.2%、「単純エックス線撮影」が24.5%であった。

図表 2-3-102 【退院患者（介護療養）】検査・処置の実施状況（療養機能強化型の届出の状況別）（複数回答）

	合計	尿検査	糞便検査	血液・生化学検査	培養検査	呼吸機能検査	心電図検査	超音波検査	脳波検査	上部・下部消化管内視鏡検査	気管支鏡検査	喉頭鏡検査
病院(療養機能強化型A)	477	85	7	211	44	2	38	5	0	2	0	0
	100.0%	17.8%	1.5%	44.2%	9.2%	0.4%	8.0%	1.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%
病院(療養機能強化型B)	89	22	0	49	8	0	13	2	0	0	0	0
	100.0%	24.7%	0.0%	55.1%	9.0%	0.0%	14.6%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
病院(療養機能強化型以外)	310	49	3	140	13	2	32	6	0	4	0	0
	100.0%	15.8%	1.0%	45.2%	4.2%	0.6%	10.3%	1.9%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%
診療所(療養機能強化型A)	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
診療所(療養機能強化型B)	6	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
診療所(療養機能強化型以外)	113	16	0	39	3	0	18	3	0	2	0	0
	100.0%	14.2%	0.0%	34.5%	2.7%	0.0%	15.9%	2.7%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%

単純エックス線撮影	透視	CT	MRI	ドレーン	脳室穿刺	胸腔・腹腔穿刺	腰椎穿刺	骨髄穿刺	透析	不明
112	1	37	3	5	0	2	0	0	0	218
23.5%	0.2%	7.8%	0.6%	1.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	45.7%
31	0	6	0	0	0	0	0	0	0	30
34.8%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.7%
76	4	40	1	0	0	0	0	1	0	145
24.5%	1.3%	12.9%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	46.8%
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	83.3%
16	0	3	0	0	0	0	0	0	0	68
14.2%	0.0%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.2%

※網掛けは、選択が多い上位3項目（不明を除く）

医療療養病床を有する医療施設の退院患者について、検査・処置の実施状況をみると、療養病棟入院基本料1では「血液・生化学検査」が65.2%、「単純エックス線撮影」が36.6%、療養病棟入院基本料2（看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上）では「血液・生化学検査」が58.3%、「単純エックス線撮影」が38.2%、療養病棟入院基本料2（その他）では「血液・生化学検査」が66.7%、「単純エックス線撮影」が36.1%、有床診療所療養病床入院基本料では「血液・生化学検査」が45.3%、「単純エックス線撮影」が27.3%であった。

図表 2-3-103 【退院患者（医療療養）】検査・処置の実施状況（複数回答）

	合計	尿検査	糞便検査	血液・生化学検査	培養検査	呼吸機能検査	心電図検査	超音波検査	脳波検査	上部・下部消化管内視鏡検査	気管支鏡検査	喉頭鏡検査
医療療養_療養病棟入院基本料1	620	167	24	404	72	5	123	13	0	4	1	0
	100.0%	26.9%	3.9%	65.2%	11.6%	0.8%	19.8%	2.1%	0.0%	0.6%	0.2%	0.0%
医療療養_療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	199	47	6	116	17	6	24	4	0	4	0	0
	100.0%	23.6%	3.0%	58.3%	8.5%	3.0%	12.1%	2.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%
医療療養_療養病棟入院基本料2(その他)	72	19	0	48	4	0	12	1	0	1	0	0
	100.0%	26.4%	0.0%	66.7%	5.6%	0.0%	16.7%	1.4%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%
医療療養_有床診療所療養病床入院基本料	311	57	7	141	11	0	83	10	0	3	0	0
	100.0%	18.3%	2.3%	45.3%	3.5%	0.0%	26.7%	3.2%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%

単純エックス線撮影	透視	CT	MRI	ドレーン	脳室穿刺	胸腔・腹腔穿刺	腰椎穿刺	骨髄穿刺	透析	不明
227	1	149	8	4	0	1	0	1	27	151
36.6%	0.2%	24.0%	1.3%	0.6%	0.0%	0.2%	0.0%	0.2%	4.4%	24.4%
76	0	25	1	0	0	0	0	0	5	60
38.2%	0.0%	12.6%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	30.2%
26	0	9	1	0	0	0	0	0	1	14
36.1%	0.0%	12.5%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	19.4%
85	0	38	0	0	0	1	0	0	40	149
27.3%	0.0%	12.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	12.9%	47.9%

※網掛けは、選択が多い上位3項目（不明を除く）

② その他の処置等の実施状況

入院患者のその他の処置等の実施状況は、介護療養型医療施設の病院では、「喀痰吸引」が30.1%、「摘便」が24.4%であった。また、医療療養病床を有する医療施設の病院では、「喀痰吸引」が41.4%、「酸素療法」が24.1%であった。

図表 2-3-104 【入院患者】その他の処置等の実施状況（複数回答）

	合計	胃ろう・腸ろうによる栄養管理	経鼻経管栄養	中心静脈栄養	カテーテルの管理	ストーマの管理	喀痰吸引	ネブライザー	酸素療法
介護療養(病院)	1,068	229	260	12	127	10	322	16	39
	100.0%	21.4%	24.3%	1.1%	11.9%	0.9%	30.1%	1.5%	3.7%
介護療養(診療所)	547	101	73	1	97	5	110	6	25
	100.0%	18.5%	13.3%	0.2%	17.7%	0.9%	20.1%	1.1%	4.6%
老人性認知症疾患療養病棟	18	0	0	1	2	0	1	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	5.6%	11.1%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%
医療療養(病院)	996	190	191	150	189	17	412	60	240
	100.0%	19.1%	19.2%	15.1%	19.0%	1.7%	41.4%	6.0%	24.1%
医療療養(診療所)	533	57	75	11	83	3	114	9	61
	100.0%	10.7%	14.1%	2.1%	15.6%	0.6%	21.4%	1.7%	11.4%

気管切開のケア	人工呼吸器の管理	静脈内注射	皮内、皮下及び筋肉内注射	簡易血糖測定	インスリン注射	疼痛管理(麻薬なし)	疼痛管理(麻薬使用)
8	0	94	16	55	30	21	3
0.7%	0.0%	8.8%	1.5%	5.1%	2.8%	2.0%	0.3%
3	0	59	10	22	8	28	0
0.5%	0.0%	10.8%	1.8%	4.0%	1.5%	5.1%	0.0%
0	0	4	0	2	0	0	0
0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
99	20	137	14	72	66	16	14
9.9%	2.0%	13.8%	1.4%	7.2%	6.6%	1.6%	1.4%
8	2	100	20	30	21	26	3
1.5%	0.4%	18.8%	3.8%	5.6%	3.9%	4.9%	0.6%

創傷処置	褥瘡処置	浣腸	摘便	導尿	膀胱洗浄	持続モニター測定	不明
83	48	218	261	4	23	43	267
7.8%	4.5%	20.4%	24.4%	0.4%	2.2%	4.0%	25.0%
43	53	51	157	14	44	8	160
7.9%	9.7%	9.3%	28.7%	2.6%	8.0%	1.5%	29.3%
1	2	12	6	0	0	0	4
5.6%	11.1%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%
61	94	165	198	6	29	112	142
6.1%	9.4%	16.6%	19.9%	0.6%	2.9%	11.2%	14.3%
37	52	75	92	8	25	18	171
6.9%	9.8%	14.1%	17.3%	1.5%	4.7%	3.4%	32.1%

※網掛けは、選択が多い上位3項目（不明を除く）

介護療養型医療施設の入院患者について、療養機能強化型の届出の状況別のその他の処置等の実施状況をみると、病院（療養機能強化型A）では「喀痰吸引」が35.2%、「経鼻経管栄養」が30.0%、病院（療養機能強化型B）では「喀痰吸引」が21.1%、「褥瘡処置」が18.4%、病院（療養機能強化型以外）では「喀痰吸引」が24.8%、「排便」が24.3%であった。

図表 2-3-105 【入院患者（介護療養）】その他の処置等の実施状況（療養機能強化型の届出の状況別）（複数回答）

	合計	胃ろう・腸ろうによる栄養管理	経鼻経管栄養	中心静脈栄養	カテーテルの管理	ストーマの管理	喀痰吸引	ネブライザー	酸素療法
病院(療養機能強化型A)	594	137	178	11	67	6	209	9	27
	100.0%	23.1%	30.0%	1.9%	11.3%	1.0%	35.2%	1.5%	4.5%
病院(療養機能強化型B)	76	13	10	0	6	1	16	0	0
	100.0%	17.1%	13.2%	0.0%	7.9%	1.3%	21.1%	0.0%	0.0%
病院(療養機能強化型以外)	391	78	72	1	53	3	97	7	12
	100.0%	19.9%	18.4%	0.3%	13.6%	0.8%	24.8%	1.8%	3.1%
診療所(療養機能強化型A)	31	11	13	0	13	0	14	0	4
	100.0%	35.5%	41.9%	0.0%	41.9%	0.0%	45.2%	0.0%	12.9%
診療所(療養機能強化型B)	36	3	4	0	2	0	4	0	0
	100.0%	8.3%	11.1%	0.0%	5.6%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%
診療所(療養機能強化型以外)	418	81	49	1	77	4	89	6	20
	100.0%	19.4%	11.7%	0.2%	18.4%	1.0%	21.3%	1.4%	4.8%

気管切開のケア	人工呼吸器の管理	静脈内注射	皮内、皮下及び筋肉内注射	簡易血糖測定	インスリン注射	疼痛管理(麻薬なし)	疼痛管理(麻薬使用)
3	0	55	14	34	22	9	3
0.5%	0.0%	9.3%	2.4%	5.7%	3.7%	1.5%	0.5%
0	0	5	0	3	1	2	0
0.0%	0.0%	6.6%	0.0%	3.9%	1.3%	2.6%	0.0%
5	0	34	2	18	7	9	0
1.3%	0.0%	8.7%	0.5%	4.6%	1.8%	2.3%	0.0%
0	0	6	0	1	0	0	0
0.0%	0.0%	19.4%	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%
0	0	1	0	0	1	6	0
0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	2.8%	16.7%	0.0%
3	0	48	8	18	7	17	0
0.7%	0.0%	11.5%	1.9%	4.3%	1.7%	4.1%	0.0%

創傷処置	褥瘡処置	浣腸	排便	導尿	膀胱洗浄	持続モニター測定	不明
49	16	126	154	1	9	35	121
8.2%	2.7%	21.2%	25.9%	0.2%	1.5%	5.9%	20.4%
3	14	10	9	2	1	0	29
3.9%	18.4%	13.2%	11.8%	2.6%	1.3%	0.0%	38.2%
30	16	79	95	1	13	8	117
7.7%	4.1%	20.2%	24.3%	0.3%	3.3%	2.0%	29.9%
2	7	5	12	0	6	2	0
6.5%	22.6%	16.1%	38.7%	0.0%	19.4%	6.5%	0.0%
2	1	3	7	0	1	0	15
5.6%	2.8%	8.3%	19.4%	0.0%	2.8%	0.0%	41.7%
39	36	43	120	6	30	6	126
9.3%	8.6%	10.3%	28.7%	1.4%	7.2%	1.4%	30.1%

※網掛けは、選択が多い上位3項目（不明を除く）

2 検査・処置、加算等の状況

医療療養病床を有する医療施設の入院患者について、その他の処置等の実施状況をみると、療養病棟入院基本料1では「喀痰吸引」が45.2%、「酸素療法」が26.8%、「胃ろう・腸ろうによる栄養管理」が21.6%、療養病棟入院基本料2（看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上）では「喀痰吸引」が35.8%、「経鼻経管栄養」が22.4%、療養病棟入院基本料2（その他）では「排便」が29.6%、「喀痰吸引」が22.5%、有床診療所療養病床入院基本料では「喀痰吸引」が21.4%、「静脈内注射」が18.8%であった。

図表2-3-106 【入院患者（医療療養）】その他の処置等の実施状況（複数回答）

	合計	胃ろう・腸ろうによる栄養管理	経鼻経管栄養	中心静脈栄養	カテーテルの管理	ストーマの管理	喀痰吸引	ネブライザー	酸素療法
医療療養_療養病棟入院基本料1	693	150	130	122	131	12	313	40	186
	100.0%	21.6%	18.8%	17.6%	18.9%	1.7%	45.2%	5.8%	26.8%
医療療養_療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	232	31	52	28	50	5	83	18	48
	100.0%	13.4%	22.4%	12.1%	21.6%	2.2%	35.8%	7.8%	20.7%
医療療養_療養病棟入院基本料2(その他)	71	9	9	0	8	0	16	2	6
	100.0%	12.7%	12.7%	0.0%	11.3%	0.0%	22.5%	2.8%	8.5%
医療療養_有床診療所療養病床入院基本料	533	57	75	11	83	3	114	9	61
	100.0%	10.7%	14.1%	2.1%	15.6%	0.6%	21.4%	1.7%	11.4%

気管切開のケア	人工呼吸器の管理	静脈内注射	皮内、皮下及び筋肉内注射	簡易血糖測定	インスリン注射	疼痛管理(麻薬なし)	疼痛管理(麻薬使用)
82	17	95	10	64	49	11	9
11.8%	2.5%	13.7%	1.4%	9.2%	7.1%	1.6%	1.3%
14	2	38	3	8	15	5	4
6.0%	0.9%	16.4%	1.3%	3.4%	6.5%	2.2%	1.7%
3	1	4	1	0	2	0	1
4.2%	1.4%	5.6%	1.4%	0.0%	2.8%	0.0%	1.4%
8	2	100	20	30	21	26	3
1.5%	0.4%	18.8%	3.8%	5.6%	3.9%	4.9%	0.6%

創傷処置	褥瘡処置	浣腸	排便	導尿	膀胱洗浄	持続モニター測定	不明
34	73	125	127	2	17	88	78
4.9%	10.5%	18.0%	18.3%	0.3%	2.5%	12.7%	11.3%
24	17	35	50	4	10	19	36
10.3%	7.3%	15.1%	21.6%	1.7%	4.3%	8.2%	15.5%
3	4	5	21	0	2	5	28
4.2%	5.6%	7.0%	29.6%	0.0%	2.8%	7.0%	39.4%
37	52	75	92	8	25	18	171
6.9%	9.8%	14.1%	17.3%	1.5%	4.7%	3.4%	32.1%

※網掛けは、選択が多い上位3項目（不明を除く）

退院患者のその他の処置等の実施状況は、介護療養型医療施設の病院では、「喀痰吸引」が49.3%、「酸素療法」が36.3%であった。また、医療療養病床を有する医療施設の病院では、「酸素療法」が41.0%、「喀痰吸引」が37.7%であった。

図表 2-3-107 【退院患者】 その他の処置等の実施状況（複数回答）

	合計	胃ろう・腸ろうによる栄養管理	経鼻経管栄養	中心静脈栄養	カテーテルの管理	ストーマの管理	喀痰吸引	ネブライザー	酸素療法
介護療養(病院)	903	158	132	53	193	10	445	32	328
	100.0%	17.5%	14.6%	5.9%	21.4%	1.1%	49.3%	3.5%	36.3%
介護療養(診療所)	134	12	7	2	10	0	20	3	16
	100.0%	9.0%	5.2%	1.5%	7.5%	0.0%	14.9%	2.2%	11.9%
老人性認知症疾患療養病棟	16	0	1	0	2	0	7	0	4
	100.0%	0.0%	6.3%	0.0%	12.5%	0.0%	43.8%	0.0%	25.0%
医療療養(病院)	891	73	85	136	154	11	336	47	365
	100.0%	8.2%	9.5%	15.3%	17.3%	1.2%	37.7%	5.3%	41.0%
医療療養(診療所)	311	14	11	8	28	1	45	18	41
	100.0%	4.5%	3.5%	2.6%	9.0%	0.3%	14.5%	5.8%	13.2%

気管切開のケア	人工呼吸器の管理	静脈内注射	皮内、皮下及び筋肉内注射	簡易血糖測定	インスリン注射	疼痛管理(麻薬なし)	疼痛管理(麻薬使用)
12	0	296	27	44	26	22	8
1.3%	0.0%	32.8%	3.0%	4.9%	2.9%	2.4%	0.9%
0	1	27	3	2	1	6	0
0.0%	0.7%	20.1%	2.2%	1.5%	0.7%	4.5%	0.0%
0	0	8	0	0	0	0	0
0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
25	7	268	27	77	43	32	42
2.8%	0.8%	30.1%	3.0%	8.6%	4.8%	3.6%	4.7%
1	2	95	9	9	9	11	1
0.3%	0.6%	30.5%	2.9%	2.9%	2.9%	3.5%	0.3%

創傷処置	褥瘡処置	浣腸	排便	導尿	膀胱洗浄	持続モニター測定	不明
63	100	115	148	25	17	290	160
7.0%	11.1%	12.7%	16.4%	2.8%	1.9%	32.1%	17.7%
6	9	9	23	6	9	8	67
4.5%	6.7%	6.7%	17.2%	4.5%	6.7%	6.0%	50.0%
1	1	5	3	0	0	2	4
6.3%	6.3%	31.3%	18.8%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%
75	110	74	104	17	15	272	181
8.4%	12.3%	8.3%	11.7%	1.9%	1.7%	30.5%	20.3%
21	24	15	28	1	12	22	154
6.8%	7.7%	4.8%	9.0%	0.3%	3.9%	7.1%	49.5%

※網掛けは、選択が多い上位3項目（不明を除く）

2 検査・処置、加算等の状況

介護療養型医療施設の退院患者について、療養機能強化型の届出の状況別のその他の処置等の実施状況をみると、病院（療養機能強化型A）では「喀痰吸引」が54.9%、「酸素療法」が41.7%、病院（療養機能強化型B）では「喀痰吸引」が52.8%、「酸素療法」が39.3%、病院（療養機能強化型以外）では「喀痰吸引」が39.4%、「静脈内栄養」が28.1%であった。

図表 2-3-108 【退院患者（介護療養）】その他の処置等の実施状況（療養機能強化型の届出の状況別）（複数回答）

	合計	胃ろう・腸ろうによる栄養管理	経鼻経管栄養	中心静脈栄養	カテーテルの管理	stomach の管理	喀痰吸引	ネブライザー	酸素療法
病院(療養機能強化型A)	477	89	77	32	99	8	262	20	199
	100.0%	18.7%	16.1%	6.7%	20.8%	1.7%	54.9%	4.2%	41.7%
病院(療養機能強化型B)	89	11	10	4	27	0	47	2	35
	100.0%	12.4%	11.2%	4.5%	30.3%	0.0%	52.8%	2.2%	39.3%
病院(療養機能強化型以外)	310	53	39	16	57	1	122	9	85
	100.0%	17.1%	12.6%	5.2%	18.4%	0.3%	39.4%	2.9%	27.4%
診療所(療養機能強化型A)	4	1	0	0	0	0	0	0	0
	100.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
診療所(療養機能強化型B)	6	3	0	0	1	0	2	0	0
	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
診療所(療養機能強化型以外)	113	8	6	2	9	0	17	3	15
	100.0%	7.1%	5.3%	1.8%	8.0%	0.0%	15.0%	2.7%	13.3%

気管切開のケア	人工呼吸器の管理	静脈内注射	皮下、皮下及び筋肉内注射	簡易血糖測定	インスリン注射	疼痛管理(麻薬なし)	疼痛管理(麻薬使用)
7	0	172	14	22	16	13	6
1.5%	0.0%	36.1%	2.9%	4.6%	3.4%	2.7%	1.3%
0	0	26	3	3	0	5	1
0.0%	0.0%	29.2%	3.4%	3.4%	0.0%	5.6%	1.1%
5	0	87	9	17	9	4	1
1.6%	0.0%	28.1%	2.9%	5.5%	2.9%	1.3%	0.3%
0	0	0	0	0	0	0	0
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0	0	0	0	0	0	0	0
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0	0	23	3	2	1	6	0
0.0%	0.0%	20.4%	2.7%	1.8%	0.9%	5.3%	0.0%

創傷処置	褥瘡処置	洗腸	排便	導尿	膀胱洗浄	持続モニター測定	不明
32	48	48	79	13	8	175	65
6.7%	10.1%	10.1%	16.6%	2.7%	1.7%	36.7%	13.6%
8	11	16	18	1	2	31	9
9.0%	12.4%	18.0%	20.2%	1.1%	2.2%	34.8%	10.1%
21	40	45	47	10	6	73	82
6.8%	12.9%	14.5%	15.2%	3.2%	1.9%	23.5%	26.5%
0	0	0	1	0	0	0	3
0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%
0	0	0	2	0	0	0	2
0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
6	7	8	17	3	6	8	60
5.3%	6.2%	7.1%	15.0%	2.7%	5.3%	7.1%	53.1%

※網掛けは、選択が多い上位3項目（不明を除く）

医療療養病床を有する医療施設の退院患者について、その他の処置等の実施状況を見ると、療養病棟入院基本料1では「酸素療法」が45.8%、「喀痰吸引」が40.8%、療養病棟入院基本料2（看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上）では「酸素療法」が31.2%、「喀痰吸引」が30.7%、療養病棟入院基本料2（その他）では「静脈内注射」が31.9%、「喀痰吸引」が30.6%、有床診療所療養病床入院基本料では「静脈内注射」が30.5%、「喀痰吸引」が14.5%であった。

図表2-3-109 【退院患者（医療療養）】 その他の処置等の実施状況（複数回答）

	合計	胃ろう・腸ろうによる栄養管理	経鼻経管栄養	中心静脈栄養	カテーテルの管理	ストーマの管理	喀痰吸引	ネブライザー	酸素療法
医療療養_療養病棟入院基本料1	620	53	57	107	122	8	253	35	284
	100.0%	8.5%	9.2%	17.3%	19.7%	1.3%	40.8%	5.6%	45.8%
医療療養_療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	199	14	22	24	24	3	61	9	62
	100.0%	7.0%	11.1%	12.1%	12.1%	1.5%	30.7%	4.5%	31.2%
医療療養_療養病棟入院基本料2(その他)	72	6	6	5	8	0	22	3	19
	100.0%	8.3%	8.3%	6.9%	11.1%	0.0%	30.6%	4.2%	26.4%
医療療養_有床診療所療養病床入院基本料	311	14	11	8	28	1	45	18	41
	100.0%	4.5%	3.5%	2.6%	9.0%	0.3%	14.5%	5.8%	13.2%

気管切開のケア	人工呼吸器の管理	静脈内注射	皮内、皮下及び筋肉内注射	簡易血糖測定	インスリン注射	疼痛管理(麻薬なし)	疼痛管理(麻薬使用)
19	4	200	20	54	30	19	35
3.1%	0.6%	32.3%	3.2%	8.7%	4.8%	3.1%	5.6%
5	3	45	4	16	8	12	6
2.5%	1.5%	22.6%	2.0%	8.0%	4.0%	6.0%	3.0%
1	0	23	3	7	5	1	1
1.4%	0.0%	31.9%	4.2%	9.7%	6.9%	1.4%	1.4%
1	2	95	9	9	9	11	1
0.3%	0.6%	30.5%	2.9%	2.9%	2.9%	3.5%	0.3%

創傷処置	褥瘡処置	浣腸	排便	導尿	膀胱洗浄	持続モニター測定	不明
47	84	52	67	12	11	212	106
7.6%	13.5%	8.4%	10.8%	1.9%	1.8%	34.2%	17.1%
17	19	21	27	2	4	47	53
8.5%	9.5%	10.6%	13.6%	1.0%	2.0%	23.6%	26.6%
11	7	1	10	3	0	13	22
15.3%	9.7%	1.4%	13.9%	4.2%	0.0%	18.1%	30.6%
21	24	15	28	1	12	22	154
6.8%	7.7%	4.8%	9.0%	0.3%	3.9%	7.1%	49.5%

※網掛けは、選択が多い上位3項目（不明を除く）

③ 療養機能型の算定要件に係る適合の状況について

入院患者の療養機能強化型の算定要件の適合の状況は、「認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、ⅣまたはMに該当する者」の項目が最も多かった。

なお、「いずれにも該当しない」との回答は、介護療養型医療施設の病院では 22.8%、医療療養病床を有する医療施設の病院では 27.3%であった。

図表 2-3-110 【入院患者】療養機能強化型の算定要件に係る適合の状況（複数回答）

	合計	NYHA分類Ⅲ以上の慢性心不全の状態	Hugh-Jones分類Ⅳ以上の呼吸困難、連続1週間以上人工呼吸器が必要	常時低血圧	透析アロイド症で手根管症候群や運動機能障害を呈するもの	出血性消化器病変を有するもの	骨折を伴う二次性副甲状腺機能亢進症のもの	Child-Pugh分類C以上の肝機能障害の状態	連続する3日以上、JCS100以上の意識障害が継続している状態
介護療養（病院）	1,068	31	7	0	0	0	0	1	24
	100.0%	2.9%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	2.2%
介護療養（診療所）	547	9	1	0	0	0	0	0	5
	100.0%	1.6%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%
老人性認知症疾患療養病棟	18	1	0	0	0	0	0	0	0
	100.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医療療養（病院）	996	50	21	5	3	1	0	1	29
	100.0%	5.0%	2.1%	0.5%	0.3%	0.1%	0.0%	0.1%	2.9%
医療療養（診療所）	533	10	3	6	4	1	3	1	14
	100.0%	1.9%	0.6%	1.1%	0.8%	0.2%	0.6%	0.2%	2.6%

単一の凝固因子活性が40%未満の凝固異常の状態	造影撮影又は内視鏡検査により誤嚥が認められる状態	認知症であって、悪性腫瘍等と診断された者	認知症であって、以下のいずれかの疾病と診断された者	認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、ⅣまたはMに該当する者	いずれにも該当しない	不明
0	4	35	11	627	244	154
0.0%	0.4%	3.3%	1.0%	58.7%	22.8%	14.4%
0	2	4	18	180	174	186
0.0%	0.4%	0.7%	3.3%	32.9%	31.8%	34.0%
0	0	0	1	11	6	0
0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	61.1%	33.3%	0.0%
0	4	26	43	275	272	353
0.0%	0.4%	2.6%	4.3%	27.6%	27.3%	35.4%
0	1	6	6	70	141	290
0.0%	0.2%	1.1%	1.1%	13.1%	26.5%	54.4%

※網掛けは、選択が多い上位3項目（不明を除く）

介護療養型医療施設について、療養機能強化型の届出の状況別に入院患者の療養機能強化型の算定要件の適合の状況を見ると、「認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、ⅣまたはMに該当する者」の項目が最も多かった。

なお、「いずれにも該当しない」との回答は、病院（療養機能強化型A）では16.8%、病院（療養機能強化型B）では5.3%、病院（療養機能強化型以外）では34.8%であった。

図表 2-3-111 【入院患者（介護療養）】療養機能強化型の算定要件に係る適合の状況（療養機能強化型の届出の状況別）（複数回答）

	合計	NYHA分類Ⅲ以上の慢性心不全の状態	Hugh-Jones分類Ⅳ以上の呼吸困難、連続1週間以上人工呼吸器が必要	常時低血圧	透析アミロト症で手根管症候群や運動機能障害を呈するもの	出血性消化器病変を有するもの	骨折を伴う二次性副甲状腺機能亢進症のもの	Child-Pugh分類C以上の肝機能障害の状態	連続する3日以上、JCS100以上の意識障害が継続している状態
病院（療養機能強化型A）	594	25	7	0	0	0	0	1	14
	100.0%	4.2%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	2.4%
病院（療養機能強化型B）	76	2	0	0	0	0	0	0	0
	100.0%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
病院（療養機能強化型以外）	391	4	0	0	0	0	0	0	9
	100.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%
診療所（療養機能強化型A）	31	0	0	0	0	0	0	0	1
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%
診療所（療養機能強化型B）	36	6	0	0	0	0	0	0	0
	100.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
診療所（療養機能強化型以外）	418	3	1	0	0	0	0	0	4
	100.0%	0.7%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%

単一の凝固因子活性が40%未満の凝固異常の状態	造影撮影又は内視鏡検査により誤嚥が認められる状態	認知症であって、悪性腫瘍等と診断された者	認知症であって、以下のいずれかの疾病と診断された者	認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、ⅣまたはMに該当する者	いずれにも該当しない	不明
0	3	18	7	392	100	75
0.0%	0.5%	3.0%	1.2%	66.0%	16.8%	12.6%
0	0	5	0	51	4	18
0.0%	0.0%	6.6%	0.0%	67.1%	5.3%	23.7%
0	1	12	4	182	136	60
0.0%	0.3%	3.1%	1.0%	46.5%	34.8%	15.3%
0	0	0	0	19	4	7
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	61.3%	12.9%	22.6%
0	1	1	4	20	14	1
0.0%	2.8%	2.8%	11.1%	55.6%	38.9%	2.8%
0	1	2	12	131	131	152
0.0%	0.2%	0.5%	2.9%	31.3%	31.3%	36.4%

※網掛けは、選択が多い上位3項目（不明を除く）

医療療養病床を有する医療施設について、入院患者の療養機能強化型の算定要件の適合の状況をみると、「認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、ⅣまたはMに該当する者」の項目が最も多かった。

なお、「いずれにも該当しない」との回答は、療養病棟入院基本料1では24.1%、療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)では32.8%、療養病棟入院基本料2(その他)では40.8%、有床診療所療養病床入院基本料では26.5%であった。

図表 2-3-112 【入院患者（医療療養）】療養機能強化型の算定要件に係る適合の状況
(複数回答)

	合計	NYHA分類Ⅲ以上の慢性心不全の状態	Hugh-Jones分類Ⅳ以上の呼吸困難、連続1週間以上人工呼吸器が必要	常時低血圧	透析アミロトド症で手根管症候群や運動機能障害を呈するもの	出血性消化器病変を有するもの	骨折を伴う二次性副甲状腺機能亢進症のもの	Child-Pugh分類C以上の肝機能障害の状態	連続する3日以上、JCS100以上の意識障害が継続している状態
医療療養_療養病棟入院基本料1	693	49	16	2	2	0	0	1	22
	100.0%	7.1%	2.3%	0.3%	0.3%	0.0%	0.0%	0.1%	3.2%
医療療養_療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	232	1	5	3	1	1	0	0	7
	100.0%	0.4%	2.2%	1.3%	0.4%	0.4%	0.0%	0.0%	3.0%
医療療養_療養病棟入院基本料2(その他)	71	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医療療養_有床診療所療養病床入院基本料	533	10	3	6	4	1	3	1	14
	100.0%	1.9%	0.6%	1.1%	0.8%	0.2%	0.6%	0.2%	2.6%

単一の凝固因子活性が40%未満の凝固異常の状態	造影撮影又は内視鏡検査により誤嚥が認められる状態	認知症であって、悪性腫瘍等と診断された者	認知症であって、以下のいずれかの疾病と診断された者	認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、ⅣまたはMに該当する者	いずれにも該当しない	不明
0	4	24	38	235	167	216
0.0%	0.6%	3.5%	5.5%	33.9%	24.1%	31.2%
0	0	2	4	34	76	102
0.0%	0.0%	0.9%	1.7%	14.7%	32.8%	44.0%
0	0	0	1	6	29	35
0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	8.5%	40.8%	49.3%
0	1	6	6	70	141	290
0.0%	0.2%	1.1%	1.1%	13.1%	26.5%	54.4%

注) 「認知症であって以下のいずれかの疾病と診断された者」について該当する疾病:

パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、パーキンソン病)、多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症、シャイトレガー症候群)、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、広範脊柱管狭窄症、後縦靭帯骨化症、悪性関節リウマチ

※網掛けは、選択が多い上位3項目(不明を除く)

退院患者の療養機能強化型の算定要件の適合の状況は、「認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、ⅣまたはMに該当する者」の項目が最も多かった。

なお、「いずれにも該当しない」との回答は、介護療養型医療施設の病院では25.5%、医療療養病床を有する医療施設の病院では32.1%であった。

図表 2-3-113 【退院患者】療養機能強化型の算定要件に係る適合の状況（複数回答）

	合計	NYHA分類Ⅲ以上の慢性心不全の状態	Hugh-Jones分類Ⅳ以上の呼吸困難、連続1週間以上人工呼吸器が必要	常時低血圧	透析アミロド症で手根管症候群や運動機能障害を呈するもの	出血性消化器病変を有するもの	骨折を伴う二次性副甲状腺機能亢進症のもの	Child-Pugh分類C以上の肝機能障害の状態	連続する3日以上、JCS100以上の意識障害が継続している状態
介護療養（病院）	903	51	17	0	0	0	0	2	44
	100.0%	5.6%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	4.9%
介護療養（診療所）	134	2	0	0	0	0	0	0	2
	100.0%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%
老人性認知症疾患療養病棟	16	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医療療養（病院）	891	52	17	3	2	1	1	3	48
	100.0%	5.8%	1.9%	0.3%	0.2%	0.1%	0.1%	0.3%	5.4%
医療療養（診療所）	311	3	2	1	1	1	0	0	15
	100.0%	1.0%	0.6%	0.3%	0.3%	0.3%	0.0%	0.0%	4.8%

単一の凝固因子活性が40%未満の凝固異常の状態	造影撮影又は内視鏡検査により誤嚥が認められる状態	認知症であって、悪性腫瘍等と診断された者	認知症であって、以下のいずれかの疾病と診断された者	認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、ⅣまたはMに該当する者	いずれにも該当しない	不明
0	13	56	27	464	230	117
0.0%	1.4%	6.2%	3.0%	51.4%	25.5%	13.0%
0	0	1	1	28	56	48
0.0%	0.0%	0.7%	0.7%	20.9%	41.8%	35.8%
0	0	1	0	8	6	2
0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	50.0%	37.5%	12.5%
0	3	36	22	174	286	334
0.0%	0.3%	4.0%	2.5%	19.5%	32.1%	37.5%
0	0	3	5	36	101	162
0.0%	0.0%	1.0%	1.6%	11.6%	32.5%	52.1%

注) 「認知症であって以下のいずれかの疾病と診断された者」について該当する疾病：

パーキンソン病関連疾患（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、パーキンソン病）、多系統萎縮症（線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症、シャイ・ドレーカー症候群）、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、広範脊柱管狭窄症、後縦靭帯骨化症、悪性関節リウマチ

※網掛けは、選択が多い上位3項目（不明を除く）

介護療養型医療施設について、療養機能強化型の届出の状況別の退院患者の療養機能強化型の算定要件の適合の状況をみると、「認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、ⅣまたはMに該当する者」の項目が最も多かった。

なお、「いずれにも該当しない」との回答は、病院（療養機能強化型A）では17.8%、病院（療養機能強化型B）では15.7%、病院（療養機能強化型以外）では39.0%であった。

図表 2-3-114 【退院患者（介護療養）】療養機能強化型の算定要件に係る適合の状況（療養機能強化型の届出の状況別）（複数回答）

	合計	NYHA分類Ⅲ以上の慢性心不全の状態	Hugh-Jones分類Ⅳ以上の呼吸困難、連続1週間以上人工呼吸器が必要	常時低血圧	透析アロイド症で手根管症候群や運動機能障害を呈するもの	出血性消化器病変を有するもの	骨折を伴う二次性副甲状腺機能亢進症のもの	Child-Pugh分類C以上の肝機能障害の状態	連続する3日以上、JCS100以上の意識障害が継続している状態
病院(療養機能強化型A)	477	37	13	0	0	0	0	2	37
	100.0%	7.8%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	7.8%
病院(療養機能強化型B)	89	9	1	0	0	0	0	0	1
	100.0%	10.1%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%
病院(療養機能強化型以外)	310	5	2	0	0	0	0	0	6
	100.0%	1.6%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%
診療所(療養機能強化型A)	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
診療所(療養機能強化型B)	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
診療所(療養機能強化型以外)	113	2	0	0	0	0	0	0	2
	100.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%

単一の凝固因子活性が40%未満の凝固異常の状態	造影撮影又は内視鏡検査により誤嚥が認められる状態	認知症であって、悪性腫瘍等と診断された者	認知症であって、以下のいずれかの疾病と診断された者	認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、ⅣまたはMに該当する者	いずれにも該当しない	不明
0	11	32	12	279	85	54
0.0%	2.3%	6.7%	2.5%	58.5%	17.8%	11.3%
0	1	5	6	55	14	7
0.0%	1.1%	5.6%	6.7%	61.8%	15.7%	7.9%
0	1	17	9	113	121	56
0.0%	0.3%	5.5%	2.9%	36.5%	39.0%	18.1%
0	0	0	0	2	2	0
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
0	0	1	0	1	4	0
0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	66.7%	0.0%
0	0	0	1	23	42	47
0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	20.4%	37.2%	41.6%

注) 「認知症であって以下のいずれかの疾病と診断された者」について該当する疾病：

パーキンソン病関連疾患（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、パーキンソン病）、多系統萎縮症（線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症、シャイトレーカー症候群）、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、広範脊柱管狭窄症、後縦靭帯骨化症、悪性関節リウマチ

※網掛けは、選択が多い上位3項目（不明を除く）

医療療養病床を有する医療施設について、退院患者の療養機能強化型の算定要件の適合の状況をみると、「認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、ⅣまたはMに該当する者」の項目が最も多かった。

なお、「いずれにも該当しない」との回答は、療養病棟入院基本料1では31.6%、療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)では32.2%、療養病棟入院基本料2(その他)では36.1%、有床診療所療養病床入院基本料では32.5%であった。

図表2-3-115 【退院患者(医療療養)】療養機能強化型の算定要件に係る適合の状況(複数回答)

	合計	NYHA分類Ⅲ以上の慢性心不全の状態	Hugh-Jones分類Ⅳ以上の呼吸困難、連続1週間以上人工呼吸器が必要	常時低血圧	透析アミドド症で手根管症候群や運動機能障害を呈するもの	出血性消化器病変を有するもの	骨折を伴う二次性副甲状腺機能亢進症のもの	Child-Pugh分類C以上の肝機能障害の状態	連続する3日以上、JCS100以上の意識障害が継続している状態
医療療養_療養病棟入院基本料1	620	42	15	0	2	1	1	2	39
	100.0%	6.8%	2.4%	0.0%	0.3%	0.2%	0.2%	0.3%	6.3%
医療療養_療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	199	10	2	3	0	0	0	1	7
	100.0%	5.0%	1.0%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	3.5%
医療療養_療養病棟入院基本料2(その他)	72	0	0	0	0	0	0	0	2
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%
医療療養_有床診療所療養病床入院基本料	311	3	2	1	1	1	0	0	15
	100.0%	1.0%	0.6%	0.3%	0.3%	0.3%	0.0%	0.0%	4.8%

単一の凝固因子活性が40%未満の凝固異常の状態	造影撮影又は内視鏡検査により誤嚥が認められる状態	認知症であって、悪性腫瘍等と診断された者	認知症であって、以下のいずれかの疾病と診断された者	認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、ⅣまたはMに該当する者	いずれにも該当しない	不明
0	1	25	18	133	196	219
0.0%	0.2%	4.0%	2.9%	21.5%	31.6%	35.3%
0	2	9	4	29	64	83
0.0%	1.0%	4.5%	2.0%	14.6%	32.2%	41.7%
0	0	2	0	12	26	32
0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	16.7%	36.1%	44.4%
0	0	3	5	36	101	162
0.0%	0.0%	1.0%	1.6%	11.6%	32.5%	52.1%

注)「認知症であって以下のいずれかの疾病と診断された者」について該当する疾病:

パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、パーキンソン病)、多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症、シャイトレガー症候群)、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、広範脊柱管狭窄症、後縦靭帯骨化症、悪性関節リウマチ

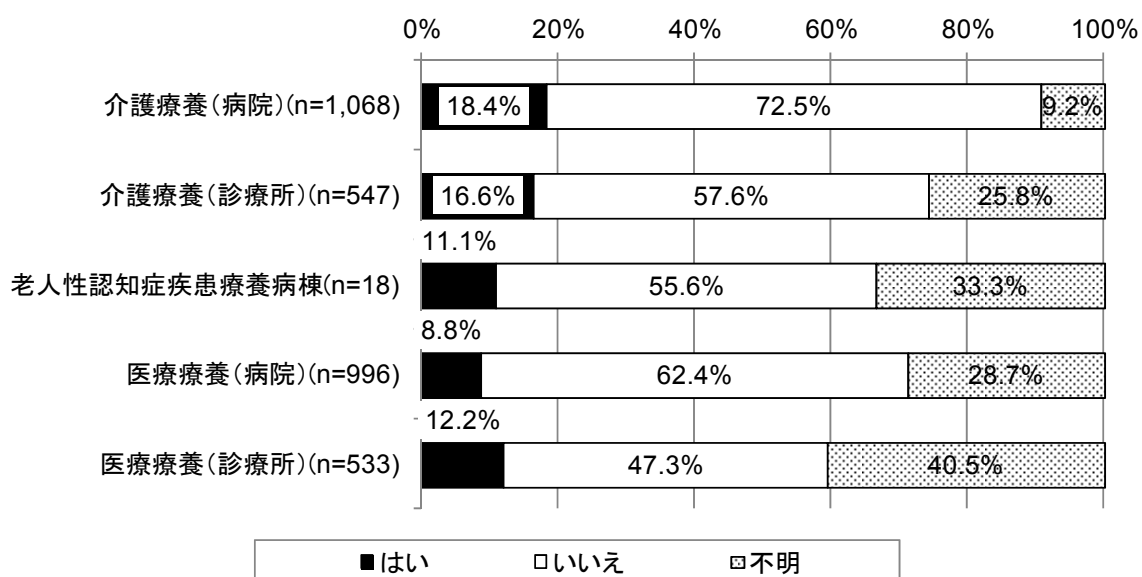
※網掛けは、選択が多い上位3項目(不明を除く)

④ ターミナルケアの実施の有無

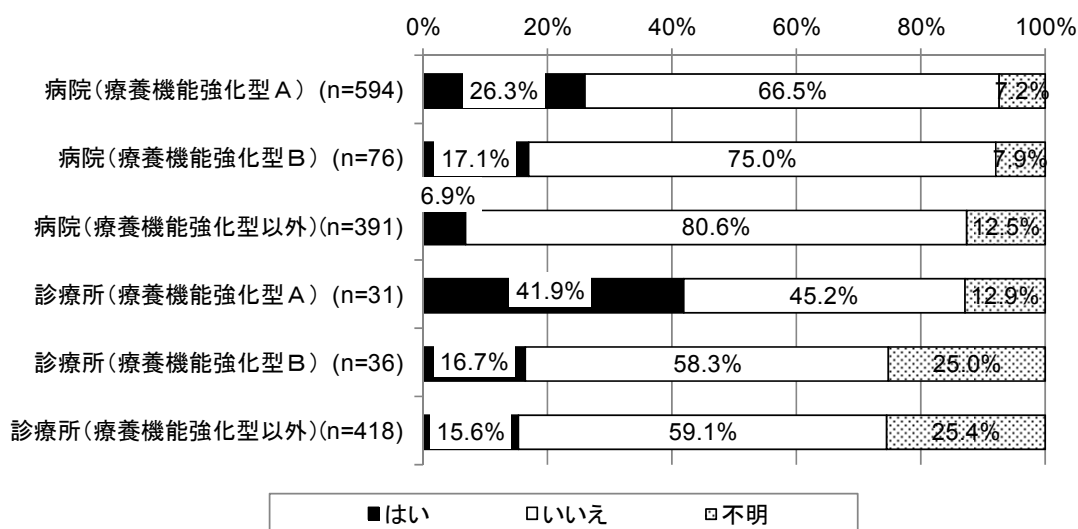
入院患者のターミナルケアの実施の有無は、「はい（有）」は、介護療養型医療施設の病院は 18.4%、診療所は 16.6%であった。また、同じく医療療養病床を有する医療施設の病院では 8.8%、診療所では 12.2%であった。

また、介護療養型医療施設の退院患者について、療養機能強化型の届出の状況別のターミナルケアの実施の有無をみると、「はい（有）」は、病院（療養機能強化型 A）は 26.3%、病院（療養機能強化型 B）は 17.1%、病院（療養機能強化型以外）は 6.9%であった。

図表 2-3-116 【入院患者】ターミナルケアの実施の有無

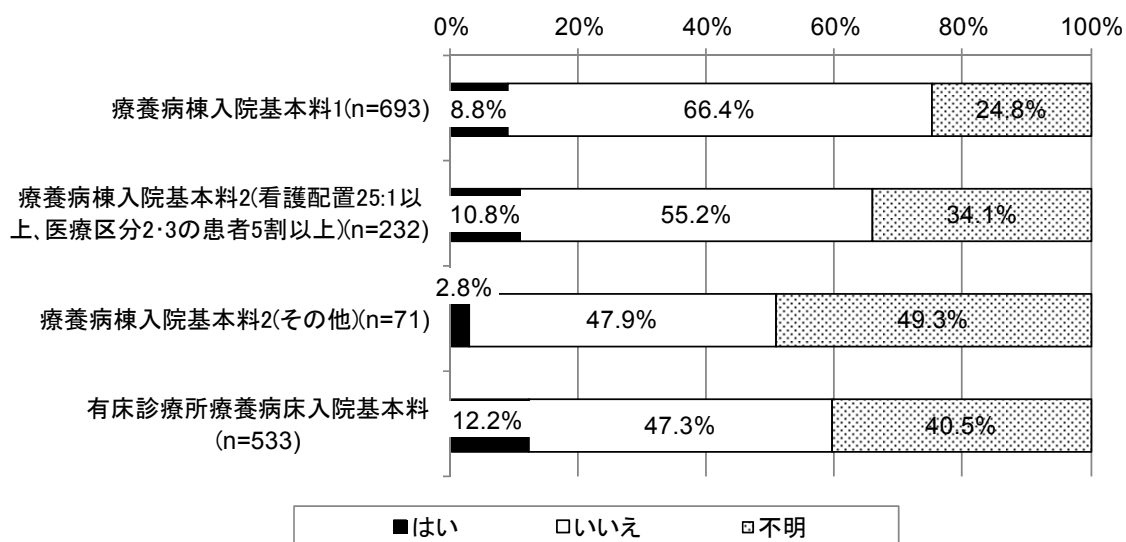


図表 2-3-117 【入院患者（介護療養）】ターミナルケアの実施の有無（療養機能強化型の届出の状況別）



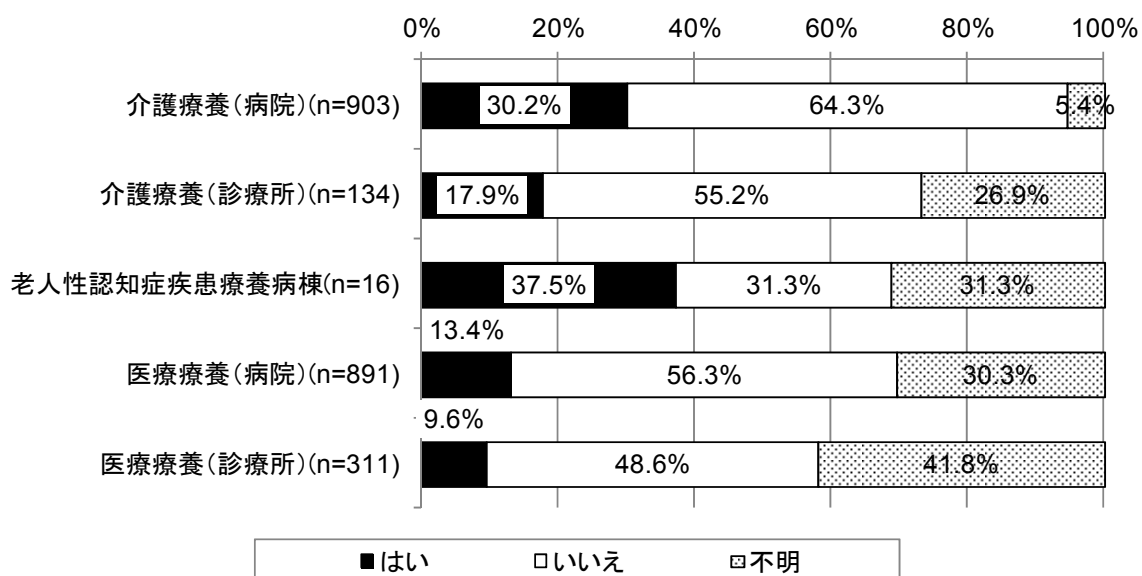
医療療養病床を有する医療施設の入院患者について、ターミナルケアの実施の有無をみると、「はい(有)」は、療養病棟入院基本料1は8.8%、療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)は10.8%、療養病棟入院基本料2(その他)は2.8%、有床診療所療養病床入院基本料は12.2%であった。

図表 2-3-118 【入院患者(医療療養)】ターミナルケアの実施の有無



退院患者のターミナルケアの実施の有無は、「はい(有)」は、介護療養型医療施設の病院は30.2%、診療所は17.9%であった。また、同じく医療療養病床を有する医療施設の病院では13.4%、診療所では9.6%であった。

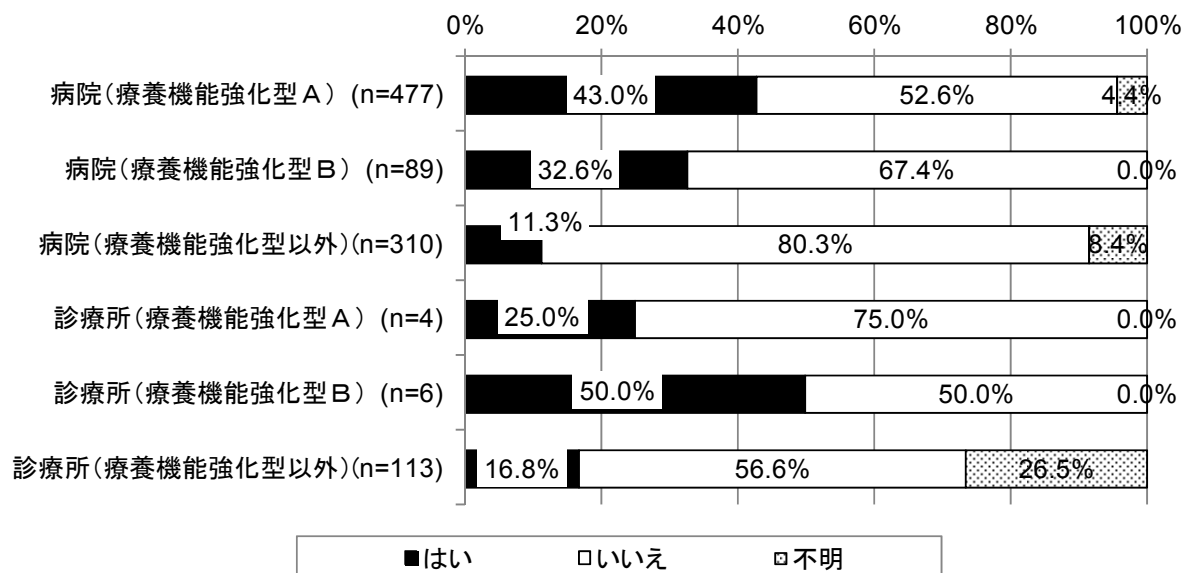
図表 2-3-119 【退院患者】ターミナルケアの実施の有無



2 検査・処置、加算等の状況

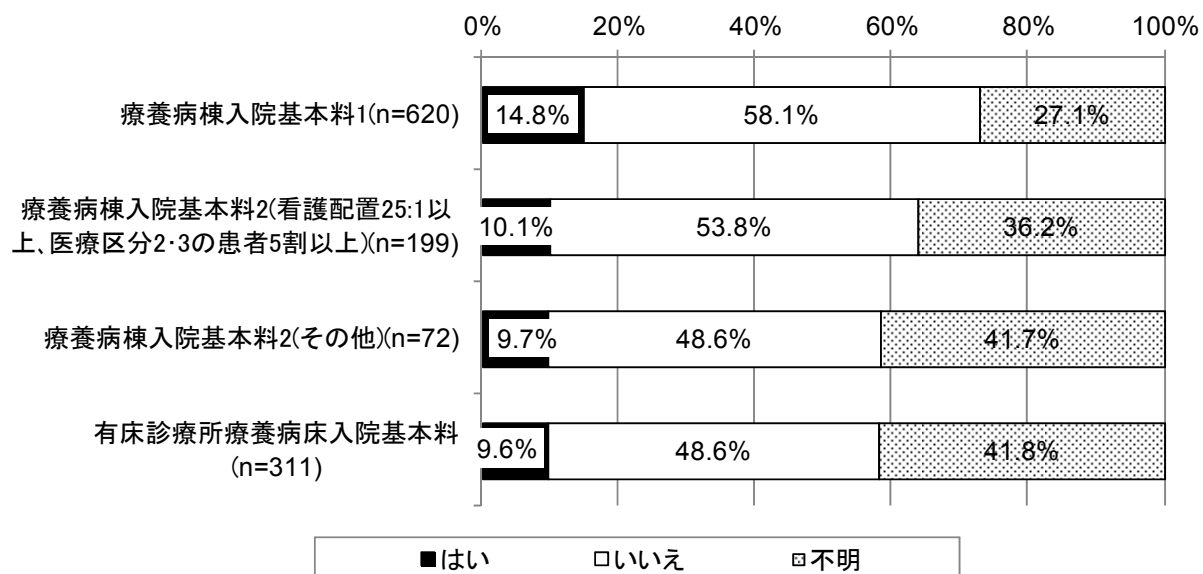
介護療養型医療施設の退院患者について、療養機能強化型の届出の状況別のターミナルケアの実施の有無をみると、「はい(有)」は、病院(療養機能強化型A)は43.0%、病院(療養機能強化型B)は32.6%、病院(療養機能強化型以外)は11.3%であった。

図表 2-3-120 【退院患者(介護療養)】ターミナルケアの実施の有無(療養機能強化型の届出の状況別)



医療療養病床を有する医療施設の入院患者について、ターミナルケアの実施の有無をみると、「はい(有)」は、療養病棟入院基本料1は14.8%、療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)は10.1%、療養病棟入院基本料2(その他)は9.7%、有床診療所療養病床入院基本料は9.6%であった。

図表 2-3-121 【退院患者(医療療養)】ターミナルケアの実施の有無



⑤ 算定した加算の状況

介護療養型医療施設の入院患者について、算定した加算の状況をみると、病院では「口腔衛生管理加算」は11.3%、「認知症専門ケア加算」は1.2%、「経口移行加算」は0.8%であった。

また、療養機能強化型の届出の状況別に、算定した加算の状況をみると、「口腔衛生管理加算」については、病院（療養機能強化型A）は14.2%、病院（療養機能強化型B）は1.4%、病院（療養機能強化型以外）は9.0%であった。

図表 2-3-122 【入院患者（介護療養）】算定した加算の状況（複数回答）

	合計	経口移行 加算	口腔衛生 管理加算	認知症専 門ケア加算	認知症行 動・心理症 状緊急対 応加算	不明
介護療養(病院)	1,062	8	120	13	0	933
	100.0%	0.8%	11.3%	1.2%	0.0%	87.9%
介護療養(診療所)	542	0	26	0	0	516
	100.0%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	95.2%
老人性認知症疾患療養病棟	18	0	0	0	0	18
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

図表 2-3-123 【入院患者（介護療養）】算定した加算の状況（療養機能強化型の届出の状況別）（複数回答）

	合計	経口移行 加算	口腔衛生 管理加算	認知症専 門ケア加算	認知症行 動・心理症 状緊急対 応加算	不明
病院(療養機能強化型A)	592	7	84	9	0	504
	100.0%	1.2%	14.2%	1.5%	0.0%	85.1%
病院(療養機能強化型B)	73	1	1	0	0	71
	100.0%	1.4%	1.4%	0.0%	0.0%	97.3%
病院(療養機能型以外)	390	0	35	2	0	353
	100.0%	0.0%	9.0%	0.5%	0.0%	90.5%
診療所(療養機能強化型A)	30	0	0	0	0	30
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
診療所(療養機能強化型B)	36	0	9	0	0	27
	100.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	75.0%
診療所(療養機能型以外)	415	0	17	0	0	398
	100.0%	0.0%	4.1%	0.0%	0.0%	95.9%

2 検査・処置、加算等の状況

介護療養型医療施設の退院患者について、算定した加算の状況をみると、病院では「口腔衛生管理加算」は 11.9%、「認知症専門ケア加算」は 1.1%、「経口移行加算」は 1.4%であった。

また、療養機能強化型の届出の状況別に、算定した加算の状況をみると、「口腔衛生管理加算」については、病院（療養機能強化型A）は 16.1%、病院（療養機能強化型B）は 4.5%、病院（療養機能強化型以外）は 8.1%であった。

図表 2-3-124 【退院患者（介護療養）】算定した加算の状況（複数回答）

	合計	経口移行加算	口腔衛生管理加算	認知症専門ケア加算	認知症行動・心理症状緊急対応加算	不明
介護療養（病院）	898	13	107	10	0	775
	100.0%	1.4%	11.9%	1.1%	0.0%	86.3%
介護療養（診療所）	130	0	3	0	0	127
	100.0%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	97.7%
老人性認知症疾患療養病棟	15	0	1	0	0	14
	100.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	93.3%

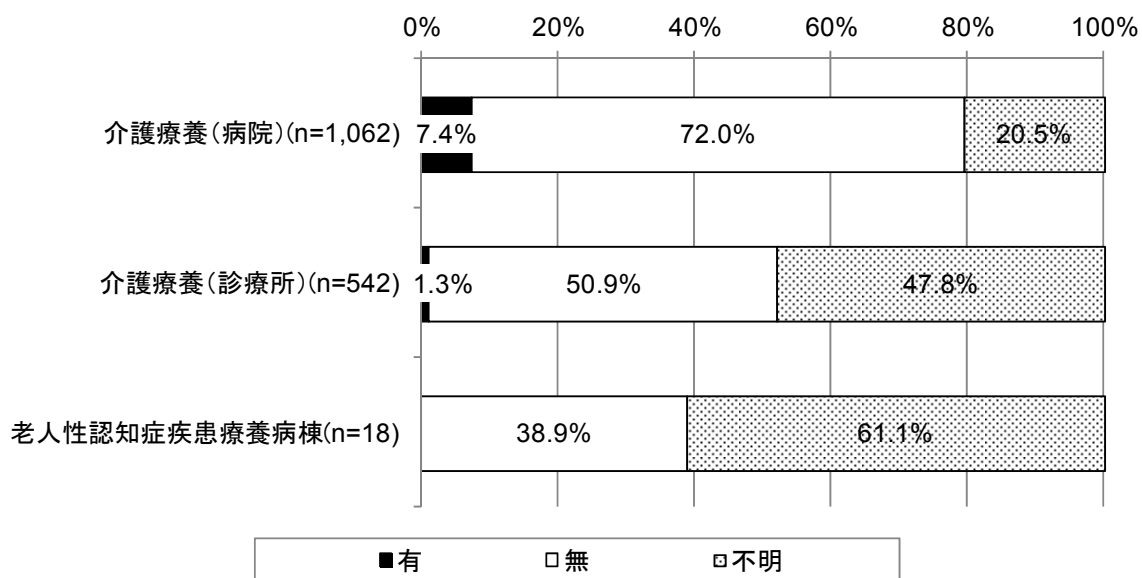
図表 2-3-125 【退院患者（介護療養）】算定した加算の状況（療養機能強化型の届出の状況別）（複数回答）

	合計	経口移行加算	口腔衛生管理加算	認知症専門ケア加算	認知症行動・心理症状緊急対応加算	不明
病院（療養機能強化型A）	473	11	76	8	0	384
	100.0%	2.3%	16.1%	1.7%	0.0%	81.2%
病院（療養機能強化型B）	88	1	4	0	0	83
	100.0%	1.1%	4.5%	0.0%	0.0%	94.3%
病院（療養機能型以外）	310	0	25	1	0	284
	100.0%	0.0%	8.1%	0.3%	0.0%	91.6%
診療所（療養機能強化型A）	4	0	0	0	0	4
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
診療所（療養機能強化型B）	6	0	0	0	0	6
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
診療所（療養機能型以外）	110	0	3	0	0	107
	100.0%	0.0%	2.7%	0.0%	0.0%	97.3%

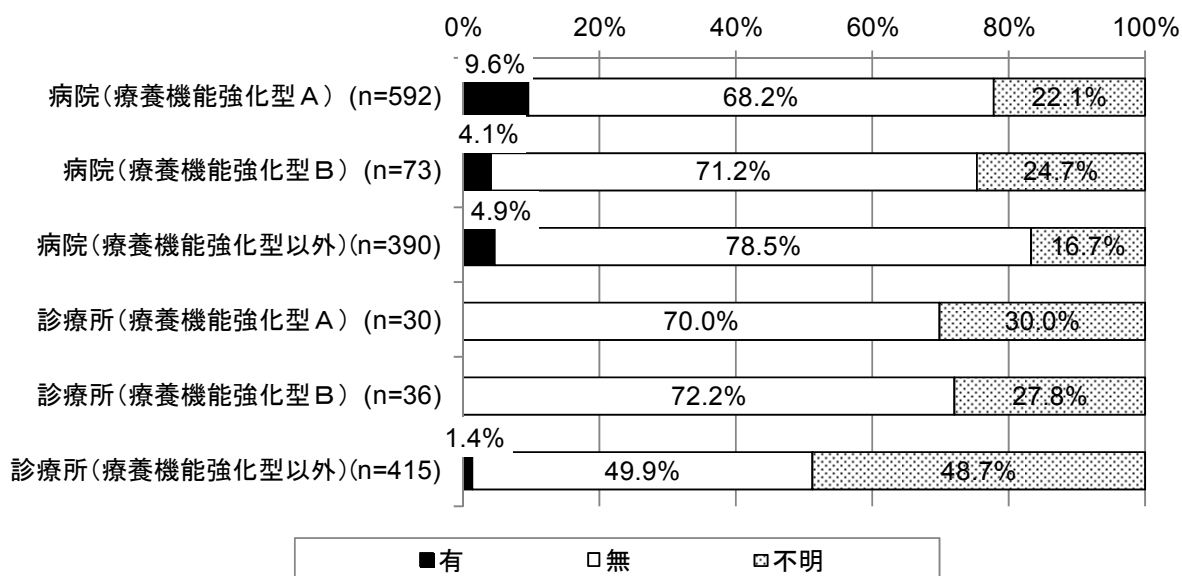
介護療養型医療施設の入院患者の経口維持加算の算定経験をみると、「有」は、病院は7.4%、診療所は1.3%であった。

また、療養機能強化型の届出の状況別に、経口維持加算の算定経験をみると、「有」は、病院（療養機能強化型A）は9.6%、病院（療養機能強化型B）は4.1%、病院（療養機能強化型以外）は4.9%であった。

図表 2-3-126 【入院患者（介護療養）】経口維持加算の算定経験



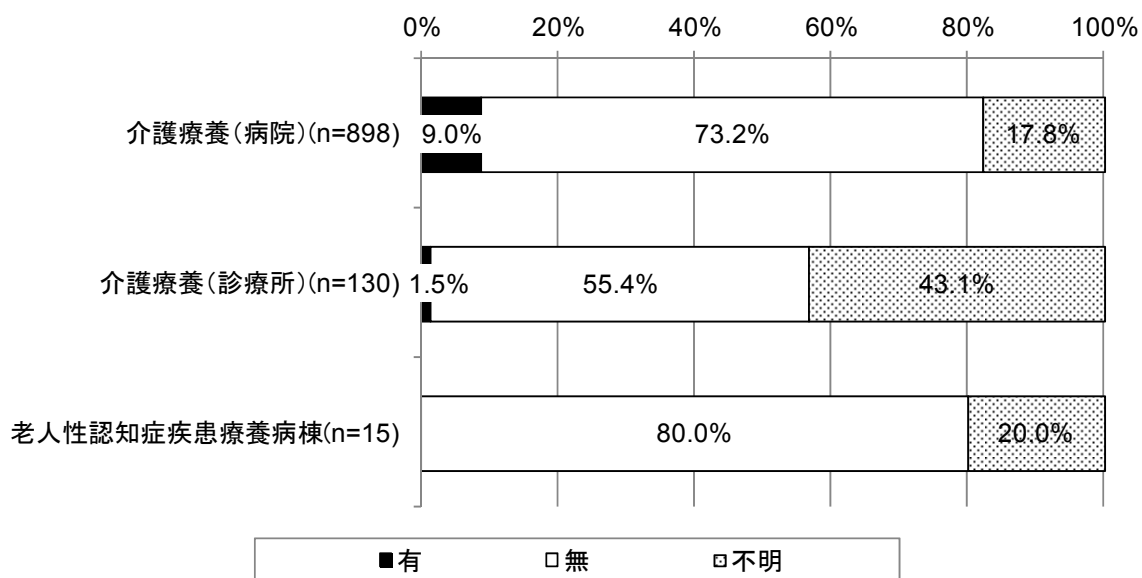
図表 2-3-127 【入院患者（介護療養）】経口維持加算の算定経験（療養機能強化型の届出の状況別）



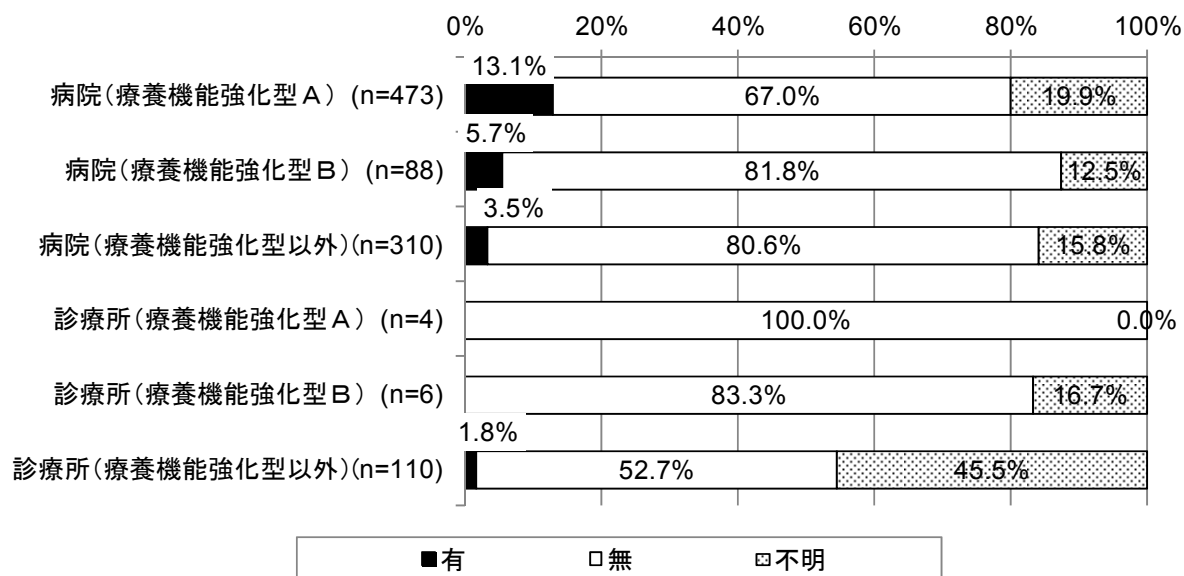
介護療養型医療施設の退院患者の経口維持加算の算定経験をみると、「有」は、病院は9.0%、診療所は1.5%であった。

また、療養機能強化型の届出の状況別に、経口維持加算の算定経験をみると、「有」は、病院（療養機能強化型A）は13.1%、病院（療養機能強化型B）は5.7%、病院（療養機能強化型以外）は3.5%であった。

図表 2-3-128 【退院患者（介護療養）】経口維持加算の算定経験



図表 2-3-129 【退院患者（介護療養）】経口維持加算の算定経験（療養機能強化型の届出の状況別）



経口維持加算の算定期間は、病院の入院患者は「12か月以上」が15.2%、病院の退院患者は「12か月以上」が18.5%だった。

図表 2-3-130 【入院患者】経口維持加算の算定期間

	合計	1か月未満	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月
病院	79	4	6	2	3	5	5	4
	100.0%	5.1%	7.6%	2.5%	3.8%	6.3%	6.3%	5.1%
診療所	7	0	0	0	0	0	1	1
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%

7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	12か月以上	不明
0	2	3	0	0	12	33
0.0%	2.5%	3.8%	0.0%	0.0%	15.2%	41.8%
0	0	0	0	0	0	5
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	71.4%

図表 2-3-131 【退院患者】経口維持加算の算定期間

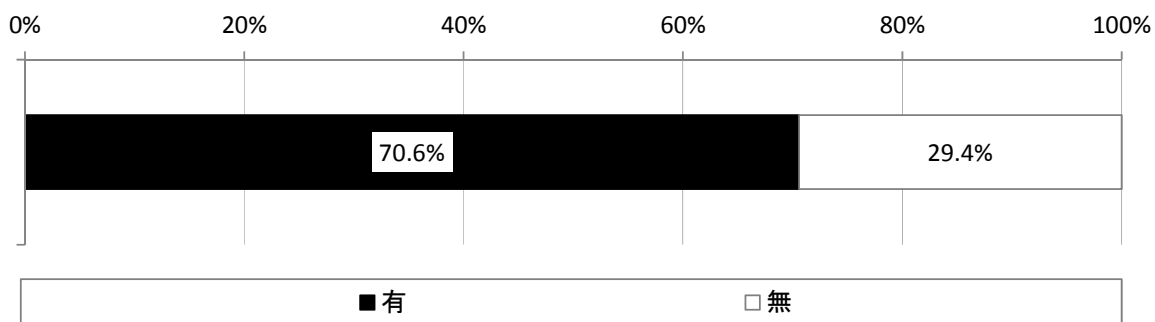
	合計	1か月未満	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月
病院	81	8	13	5	7	7	6	3
	100.0%	9.9%	16.0%	6.2%	8.6%	8.6%	7.4%	3.7%

7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	12か月以上	不明
3	1	2	1	3	15	7
3.7%	1.2%	2.5%	1.2%	3.7%	18.5%	8.6%

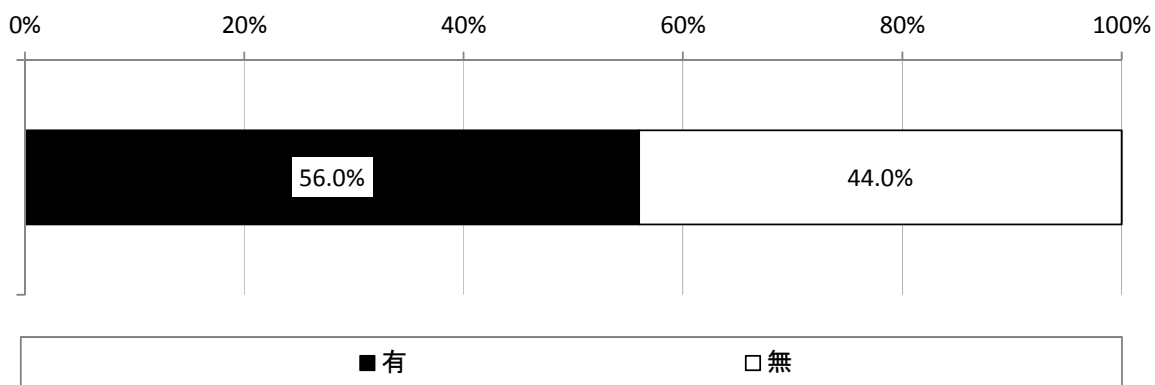
2 検査・処置、加算等の状況

算定期間が7か月以上の場合、7か月以降に、医師又は歯科医師による摂食機能障害及び誤嚥の確認がされたかどうかは、入院患者で「有」が70.6%、退院患者で「有」が56.0%であった。

図表 2 - 3 - 132 【入院患者（病院）】（経口維持加算の算定が7か月以上の場合）算定7か月以降の医師又は歯科医師による摂食機能障害及び誤嚥の確認の有無（n=17）



図表 2 - 3 - 133 【退院患者（病院）】（経口維持加算の算定が7か月以上の場合）算定7か月以降の医師又は歯科医師による摂食機能障害及び誤嚥の確認の有無（n=25）



⑥ 特定診療費の算定

介護療養型医療施設の入院患者について、算定した特定診療費をみると、全体では「理学療法（Ⅰ・Ⅱ）」が44.2%、「作業療法」が13.8%であった。なお、病院では「理学療法（Ⅰ・Ⅱ）」が51.6%、「作業療法」が20.4%、診療所では「理学療法（Ⅰ・Ⅱ）」が31.4%、「作業療法」が1.5%であった。

また、老人性認知症疾患療養病棟について、「精神科作業療法」が44.4%、「認知症老人入院精神療法」が22.2%であった。

図表 2-3-134 【入院患者（介護療養）】算定した特定診療費（複数回答）

	合計	重症皮膚潰瘍管理指導	薬剤管理指導	理学療法（Ⅰ・Ⅱ）	作業療法	言語聴覚療法	集団コミュニケーション療法	摂食機能療法	短期集中リハビリテーション
介護療養(病院)	1,062	4	23	548	217	131	2	48	24
	100.0%	0.4%	2.2%	51.6%	20.4%	12.3%	0.2%	4.5%	2.3%
介護療養(診療所)	542	1	0	170	8	3	0	6	2
	100.0%	0.2%	0.0%	31.4%	1.5%	0.6%	0.0%	1.1%	0.4%
老人性認知症疾患療養病棟	18	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

認知症短期集中リハビリテーション実施加算	精神科作業療法	認知症老人入院精神療法	不明
1	3	0	408
0.1%	0.3%	0.0%	38.4%
0	0	5	365
0.0%	0.0%	0.9%	67.3%
0	8	4	6
0.0%	44.4%	22.2%	33.3%

※網掛けは、選択が多い上位2項目（不明を除く）

2 検査・処置、加算等の状況

介護療養型医療施設の入院患者について、療養機能強化型の届出の状況別の算定した特定診療費をみると、病院（療養機能強化型A）では「理学療法（I・II）」が53.4%、「作業療法」が29.2%、病院（療養機能強化型B）では「理学療法（I・II）」が71.2%、「作業療法」が17.8%、病院（療養機能強化型以外）では「理学療法（I・II）」が45.6%、「作業療法」が7.9%であった。

図表 2-3-135 【入院患者（介護療養）】算定した特定診療費（療養機能強化型の届出の状況別）（複数回答）

	合計	重症皮膚潰瘍管理指導	薬剤管理指導	理学療法（I・II）	作業療法	言語聴覚療法	集団コミュニケーション療法	摂食機能療法	短期集中リハビリテーション
病院（療養機能強化型A）	592	3	10	316	173	102	1	26	17
	100.0%	0.5%	1.7%	53.4%	29.2%	17.2%	0.2%	4.4%	2.9%
病院（療養機能強化型B）	73	0	3	52	13	8	0	4	2
	100.0%	0.0%	4.1%	71.2%	17.8%	11.0%	0.0%	5.5%	2.7%
病院（療養機能強化型以外）	390	1	10	178	31	21	1	18	5
	100.0%	0.3%	2.6%	45.6%	7.9%	5.4%	0.3%	4.6%	1.3%
診療所（療養機能強化型A）	30	0	0	14	0	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	46.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
診療所（療養機能強化型B）	36	0	0	11	0	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	30.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
診療所（療養機能強化型以外）	415	1	0	135	8	3	0	6	1
	100.0%	0.2%	0.0%	32.5%	1.9%	0.7%	0.0%	1.4%	0.2%

認知症短期集中リハビリテーション実施加算	精神科作業療法	認知症老人入院精神療法	不明
1	0	0	216
0.2%	0.0%	0.0%	36.5%
0	0	0	10
0.0%	0.0%	0.0%	13.7%
0	3	0	177
0.0%	0.8%	0.0%	45.4%
0	0	0	16
0.0%	0.0%	0.0%	53.3%
0	0	0	25
0.0%	0.0%	0.0%	69.4%
0	0	5	273
0.0%	0.0%	1.2%	65.8%

※網掛けは、選択が多い上位2項目（不明を除く）

介護療養型医療施設の退院患者について、算定した特定診療費をみると、病院では「理学療法（Ⅰ・Ⅱ）」が36.5%、「作業療法」が13.1%、診療所では「理学療法（Ⅰ・Ⅱ）」が22.3%、「作業療法」が2.3%であった。

また、老人性認知症疾患療養病棟について、「精神科作業療法」が46.7%、「薬剤管理指導」が13.3%であった

図表 2-3-136 【退院患者（介護療養）】算定した特定診療費（複数回答）

	合計	重症皮膚潰瘍管理指導	薬剤管理指導	理学療法（Ⅰ・Ⅱ）	作業療法	言語聴覚療法	集団コミュニケーション療法	摂食機能療法	短期集中リハビリテーション
介護療養（病院）	898	11	61	328	118	87	1	44	55
	100.0%	1.2%	6.8%	36.5%	13.1%	9.7%	0.1%	4.9%	6.1%
介護療養（診療所）	130	0	0	29	3	0	0	0	3
	100.0%	0.0%	0.0%	22.3%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%
老人性認知症疾患療養病棟	15	0	2	0	0	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

認知症短期集中リハビリテーション実施加算	精神科作業療法	認知症老人入院精神療法	不明
7	3	0	429
0.8%	0.3%	0.0%	47.8%
0	0	0	99
0.0%	0.0%	0.0%	76.2%
0	7	1	5
0.0%	46.7%	6.7%	33.3%

※網掛けは、選択が多い上位2項目（不明を除く）

2 検査・処置、加算等の状況

介護療養型医療施設の退院患者について、療養機能強化型の届出の状況別の算定した特定診療費をみると、病院（療養機能強化型A）では「理学療法（I・II）」が35.5%、「作業療法」が17.8%、病院（療養機能強化型B）では「理学療法（I・II）」が38.6%、「作業療法」と「言語聴覚療法」が9.1%、病院（療養機能強化型以外）では「理学療法（I・II）」が38.1%、「薬剤管理指導」が9.7%であった。

図表 2-3-137 【退院患者（介護療養）】算定した特定診療費（療養機能強化型の届出の状況別）（複数回答）

	合計	重症皮膚潰瘍管理指導	薬剤管理指導	理学療法（I・II）	作業療法	言語聴覚療法	集団コミュニケーション療法	摂食機能療法	短期集中リハビリテーション
病院（療養機能強化型A）	473	7	27	168	84	61	1	31	25
	100.0%	1.5%	5.7%	35.5%	17.8%	12.9%	0.2%	6.6%	5.3%
病院（療養機能強化型B）	88	1	4	34	8	8	0	2	6
	100.0%	1.1%	4.5%	38.6%	9.1%	9.1%	0.0%	2.3%	6.8%
病院（療養機能強化型以外）	310	3	30	118	23	15	0	9	21
	100.0%	1.0%	9.7%	38.1%	7.4%	4.8%	0.0%	2.9%	6.8%
診療所（療養機能強化型A）	4	0	0	1	0	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
診療所（療養機能強化型B）	6	0	0	3	0	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
診療所（療養機能強化型以外）	110	0	0	24	3	0	0	0	2
	100.0%	0.0%	0.0%	21.8%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%

認知症短期集中リハビリテーション実施加算	精神科作業療法	認知症老人入院精神療法	不明
6	0	0	231
1.3%	0.0%	0.0%	48.8%
1	0	0	45
1.1%	0.0%	0.0%	51.1%
0	0	0	143
0.0%	0.0%	0.0%	46.1%
0	0	0	3
0.0%	0.0%	0.0%	75.0%
0	0	0	3
0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
0	0	0	84
0.0%	0.0%	0.0%	76.4%

※網掛けは、選択が多い上位2項目（不明を除く）

3. 入院・入棟前の状況等

① 入院（棟）前の状況

入院患者の入院（棟）前の状況は、介護療養型医療施設の病院は「他の病院」が 44.3%、「他の病棟」が 34.6%、診療所は「他の病院」が 35.5%、「本人の家」が 25.4%であった。

また、医療療養病床を有する医療施設では、病院は「他の病院」が 48.5%、「他の病棟」が 26.9%、診療所は「本人の家」が 41.8%、「他の病院」が 40.2%であった。

図表 2-3-138 【入院患者】入院（棟）前の状況

	合計	本人の家	他の病院	他の病棟	他の診療所	老人保健施設	特別養護老人ホーム	有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅
介護療養（病院）	1,068	87	473	370	3	38	21	7	4
	100.0%	8.1%	44.3%	34.6%	0.3%	3.6%	2.0%	0.7%	0.4%
介護療養（診療所）	547	139	194	125	5	23	11	5	2
	100.0%	25.4%	35.5%	22.9%	0.9%	4.2%	2.0%	0.9%	0.4%
老人性認知症疾患療養病棟	18	0	8	4	0	2	1	1	0
	100.0%	0.0%	44.4%	22.2%	0.0%	11.1%	5.6%	5.6%	0.0%
医療療養（病院）	996	120	483	268	4	24	28	8	8
	100.0%	12.0%	48.5%	26.9%	0.4%	2.4%	2.8%	0.8%	0.8%
医療療養（診療所）	533	223	214	33	2	11	9	11	4
	100.0%	41.8%	40.2%	6.2%	0.4%	2.1%	1.7%	2.1%	0.8%

養護老人ホーム	軽費老人ホーム・ケアハウス	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	その他	不明
1	5	18	15	26
0.1%	0.5%	1.7%	1.4%	2.4%
0	3	15	3	22
0.0%	0.5%	2.7%	0.5%	4.0%
1	0	0	0	1
5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%
2	2	11	1	37
0.2%	0.2%	1.1%	0.1%	3.7%
2	4	4	2	14
0.4%	0.8%	0.8%	0.4%	2.6%

※網掛けは、選択が多い上位2項目（不明を除く）

3 入院・入棟前の状況等

介護療養型医療施設の入院患者の入院（棟）前の状況について、療養機能強化型の届出の状況別にみると、病院（療養機能強化型A）では「他の病院」が52.4%、「他の病棟」が27.4%、病院（療養機能強化型B）は「他の病院」が56.6%、「他の病棟」が25.0%、病院（療養機能強化型以外）は「他の病棟」が47.1%、「他の病院」が30.2%であった。

図表 2-3-139 【入院患者（介護療養）】入院（棟）前の状況（療養機能強化型の届出の状況別）

	合計	本人の家	他の病院	他の病棟	他の診療所	老人保健施設	特別養護老人ホーム	有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅
病院(療養機能強化型A)	594	40	311	163	1	24	6	0	3
	100.0%	6.7%	52.4%	27.4%	0.2%	4.0%	1.0%	0.0%	0.5%
病院(療養機能強化型B)	76	5	43	19	0	2	2	2	1
	100.0%	6.6%	56.6%	25.0%	0.0%	2.6%	2.6%	2.6%	1.3%
病院(療養機能強化型以外)	391	41	118	184	2	12	13	4	0
	100.0%	10.5%	30.2%	47.1%	0.5%	3.1%	3.3%	1.0%	0.0%
診療所(療養機能強化型A)	31	2	10	12	3	0	0	0	0
	100.0%	6.5%	32.3%	38.7%	9.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
診療所(療養機能強化型B)	36	10	16	7	0	1	1	0	0
	100.0%	27.8%	44.4%	19.4%	0.0%	2.8%	2.8%	0.0%	0.0%
診療所(療養機能強化型以外)	418	113	146	89	2	21	10	4	1
	100.0%	27.0%	34.9%	21.3%	0.5%	5.0%	2.4%	1.0%	0.2%

養護老人ホーム	軽費老人ホーム・ケアハウス	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	その他	不明
1	2	9	13	21
0.2%	0.3%	1.5%	2.2%	3.5%
0	0	1	0	1
0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	1.3%
0	3	8	2	4
0.0%	0.8%	2.0%	0.5%	1.0%
0	1	3	0	0
0.0%	3.2%	9.7%	0.0%	0.0%
0	0	0	0	1
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%
0	2	10	3	17
0.0%	0.5%	2.4%	0.7%	4.1%

※網掛けは、選択が多い上位2項目（不明を除く）

医療療養病床を有する医療施設の入院患者の入院（棟）前の状況をみると、療養病棟入院基本料1は「他の病院」が53.1%、「他の病棟」が22.8%、療養病棟入院基本料2（看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上）は「他の病院」が39.2%、「他の病棟」が36.2%、療養病棟入院基本料2（その他）は「他の病棟」が36.6%、「他の病院」が33.8%、有床診療所療養病床入院基本料では「本人の家」が41.8%、「他の病院」が40.2%であった。

図表2-3-140 【入院患者（医療療養）】入院（棟）前の状況

	合計	本人の家	他の病院	他の病棟	他の診療所	老人保健施設	特別養護老人ホーム	有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅
医療療養_療養病棟入院基本料1	693	79	368	158	3	21	17	5	5
	100.0%	11.4%	53.1%	22.8%	0.4%	3.0%	2.5%	0.7%	0.7%
医療療養_療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	232	29	91	84	0	2	11	3	3
	100.0%	12.5%	39.2%	36.2%	0.0%	0.9%	4.7%	1.3%	1.3%
医療療養_療養病棟入院基本料2(その他)	71	12	24	26	1	1	0	0	0
	100.0%	16.9%	33.8%	36.6%	1.4%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%
医療療養_有床診療所療養病床入院基本料	533	223	214	33	2	11	9	11	4
	100.0%	41.8%	40.2%	6.2%	0.4%	2.1%	1.7%	2.1%	0.8%

養護老人ホーム	軽費老人ホーム・ケアハウス	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	その他	不明
1	0	6	1	29
0.1%	0.0%	0.9%	0.1%	4.2%
0	2	2	0	5
0.0%	0.9%	0.9%	0.0%	2.2%
1	0	3	0	3
1.4%	0.0%	4.2%	0.0%	4.2%
2	4	4	2	14
0.4%	0.8%	0.8%	0.4%	2.6%

※網掛けは、選択が多い上位2項目（不明を除く）

3 入院・入棟前の状況等

退院患者の入院（棟）前の状況は、介護療養型医療施設の病院は「他の病棟」が 39.4%、「他の病院」が 37.5%、診療所は「本人の家」が 30.6%、「他の病院」が 29.9%であった。

また、医療療養病床を有する医療施設では、病院は「他の病院」が 35.2%、「他の病棟」が 25.1%、診療所は「本人の家」が 57.2%、「他の病院」が 23.2%であった。

図表 2-3-141 【退院患者】入院（棟）前の状況

	合計	本人の家	他の病院	他の病棟	他の診療所	老人保健施設	特別養護老人ホーム	有料老人ホーム
介護療養(病院)	903	118	339	356	2	41	10	5
	100.0%	13.1%	37.5%	39.4%	0.2%	4.5%	1.1%	0.6%
介護療養(診療所)	134	41	40	34	0	2	1	2
	100.0%	30.6%	29.9%	25.4%	0.0%	1.5%	0.7%	1.5%
老人性認知症疾患療養病棟	16	2	10	3	0	1	0	0
	100.0%	12.5%	62.5%	18.8%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%
医療療養(病院)	891	205	314	224	8	37	26	15
	100.0%	23.0%	35.2%	25.1%	0.9%	4.2%	2.9%	1.7%
医療療養(診療所)	311	178	72	18	1	3	10	6
	100.0%	57.2%	23.2%	5.8%	0.3%	1.0%	3.2%	1.9%

サービス付き高齢者向け住宅	養護老人ホーム	軽費老人ホーム・ケアハウス	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	その他	不明
6	0	1	10	2	13
0.7%	0.0%	0.1%	1.1%	0.2%	1.4%
1	0	2	2	2	7
0.7%	0.0%	1.5%	1.5%	1.5%	5.2%
0	0	0	0	0	0
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5	5	1	13	5	33
0.6%	0.6%	0.1%	1.5%	0.6%	3.7%
5	2	1	2	1	12
1.6%	0.6%	0.3%	0.6%	0.3%	3.9%

※網掛けは、選択が多い上位2項目（不明を除く）

介護療養型医療施設の退院患者の入院（棟）前の状況について、療養機能強化型の届出の状況別にみると、病院（療養機能強化型A）では「他の病院」が45.7%、「他の病棟」が34.2%、病院（療養機能強化型B）は「他の病院」が51.7%、「他の病棟」が27.0%、病院（療養機能強化型以外）は「他の病棟」が51.6%、「他の病院」が20.6%であった。

図表 2-3-142 【退院患者（介護療養）】入院（棟）前の状況（療養機能強化型の届出の状況別）

	合計	本人の家	他の病院	他の病棟	他の診療所	老人保健施設	特別養護老人ホーム	有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅
病院(療養機能強化型A)	477	42	218	163	1	27	3	3	5
	100.0%	8.8%	45.7%	34.2%	0.2%	5.7%	0.6%	0.6%	1.0%
病院(療養機能強化型B)	89	11	46	24	0	4	0	0	1
	100.0%	12.4%	51.7%	27.0%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	1.1%
病院(療養機能強化型以外)	310	61	64	160	1	9	6	2	0
	100.0%	19.7%	20.6%	51.6%	0.3%	2.9%	1.9%	0.6%	0.0%
診療所(療養機能強化型A)	4	0	0	3	0	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
診療所(療養機能強化型B)	6	2	3	0	0	0	0	0	0
	100.0%	33.3%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
診療所(療養機能強化型以外)	113	34	34	28	0	2	1	2	1
	100.0%	30.1%	30.1%	24.8%	0.0%	1.8%	0.9%	1.8%	0.9%

養護老人ホーム	軽費老人ホーム・ケアハウス	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	その他	不明
0	0	6	2	7
0.0%	0.0%	1.3%	0.4%	1.5%
0	1	0	0	2
0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	2.2%
0	0	4	0	3
0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	1.0%
0	0	1	0	0
0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
0	0	0	1	0
0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%
0	2	1	1	7
0.0%	1.8%	0.9%	0.9%	6.2%

※網掛けは、選択が多い上位2項目（不明を除く）

3 入院・入棟前の状況等

医療療養病床を有する医療施設の退院患者の入院（棟）前の状況をみると、療養病棟入院基本料1は「他の病院」が35.6%、「他の病棟」が27.4%、療養病棟入院基本料2（看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上）は「他の病院」が34.2%、「本人の家」が27.1%、療養病棟入院基本料2（その他）は「他の病院」が34.7%、「本人の家」と「他の病棟」が23.6%、有床診療所療養病床入院基本料では「本人の家」が57.2%、「他の病院」が23.2%であった。

図表2-3-143 【退院患者（医療療養）】入院（棟）前の状況

	合計	本人の家	他の病院	他の病棟	他の診療所	老人保健施設	特別養護老人ホーム	有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅
医療療養_療養病棟入院基本料1	620	134	221	170	6	26	14	14	5
	100.0%	21.6%	35.6%	27.4%	1.0%	4.2%	2.3%	2.3%	0.8%
医療療養_療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	199	54	68	37	1	9	11	1	0
	100.0%	27.1%	34.2%	18.6%	0.5%	4.5%	5.5%	0.5%	0.0%
医療療養_療養病棟入院基本料2(その他)	72	17	25	17	1	2	1	0	0
	100.0%	23.6%	34.7%	23.6%	1.4%	2.8%	1.4%	0.0%	0.0%
医療療養_有床診療所療養病床入院基本料	311	178	72	18	1	3	10	6	5
	100.0%	57.2%	23.2%	5.8%	0.3%	1.0%	3.2%	1.9%	1.6%

養護老人ホーム	軽費老人ホーム・ケアハウス	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	その他	不明
2	1	8	1	18
0.3%	0.2%	1.3%	0.2%	2.9%
3	0	3	3	9
1.5%	0.0%	1.5%	1.5%	4.5%
0	0	2	1	6
0.0%	0.0%	2.8%	1.4%	8.3%
2	1	2	1	12
0.6%	0.3%	0.6%	0.3%	3.9%

※網掛けは、選択が多い上位2項目（不明を除く）

② 入院（棟）の理由

入院患者の入院（棟）の理由は、介護療養型医療施設の病院では、「疾病の急性期状態が安定したため」が57.3%、「上記以外の理由で、本人または家族が強く希望するため」が28.7%であった。

また、医療療養病床を有する医療施設の病院については、「疾病の急性期状態が安定したため」が62.8%、「リハビリテーションが必要なため」が19.4%であった。

なお、介護療養型医療施設の療養機能強化型の届出の状況別では、病院（療養機能強化型A）は「疾病の急性期状態が安定したため」が56.7%、「リハビリテーションが必要なため」が25.1%であった。

図表 2-3-144 【入院患者】入院（棟）の理由（複数回答）

	合計	疾病の急性期状態が安定したため	リハビリテーションが必要なため	病院内看取りを本人または家族が希望しているため	他医療機関への入院が適切だが、空きがなかったため	他介護施設への入所が適切だが、空きがなかったため	在宅療養が可能と考えるが、必要な在宅医療を確保できないため	在宅療養が可能と考えるが、必要な介護を確保できないため	左記以外の理由で、本人または家族が強く希望するため	不明
介護療養（病院）	1,068	612	241	81	31	126	41	159	307	32
	100.0%	57.3%	22.6%	7.6%	2.9%	11.8%	3.8%	14.9%	28.7%	3.0%
介護療養（診療所）	547	248	88	32	9	65	22	115	204	26
	100.0%	45.3%	16.1%	5.9%	1.6%	11.9%	4.0%	21.0%	37.3%	4.8%
老人性認知症疾患療養病棟	18	9	0	0	0	4	0	0	5	1
	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	27.8%	5.6%
医療療養（病院）	996	625	193	78	44	68	37	100	147	55
	100.0%	62.8%	19.4%	7.8%	4.4%	6.8%	3.7%	10.0%	14.8%	5.5%
医療療養（診療所）	533	187	93	42	28	38	48	111	208	32
	100.0%	35.1%	17.4%	7.9%	5.3%	7.1%	9.0%	20.8%	39.0%	6.0%

図表 2-3-145 【入院患者（介護療養）】入院（棟）の理由（療養機能強化型の届出の状況別）（複数回答）

	合計	疾病の急性期状態が安定したため	リハビリテーションが必要なため	病院内看取りを本人または家族が希望しているため	他医療機関への入院が適切だが、空きがなかったため	他介護施設への入所が適切だが、空きがなかったため	在宅療養が可能と考えるが、必要な在宅医療を確保できないため	在宅療養が可能と考えるが、必要な介護を確保できないため	左記以外の理由で、本人または家族が強く希望するため	不明
病院（療養機能強化型A）	594	337	149	52	15	58	20	78	143	26
	100.0%	56.7%	25.1%	8.8%	2.5%	9.8%	3.4%	13.1%	24.1%	4.4%
病院（療養機能強化型B）	76	46	11	4	2	9	2	26	14	3
	100.0%	60.5%	14.5%	5.3%	2.6%	11.8%	2.6%	34.2%	18.4%	3.9%
病院（療養機能型以外）	391	224	77	25	14	56	19	55	149	3
	100.0%	57.3%	19.7%	6.4%	3.6%	14.3%	4.9%	14.1%	38.1%	0.8%
診療所（療養機能強化型A）	31	16	9	5	0	2	2	5	11	0
	100.0%	51.6%	29.0%	16.1%	0.0%	6.5%	6.5%	16.1%	35.5%	0.0%
診療所（療養機能強化型B）	36	22	8	0	0	5	5	9	23	0
	100.0%	61.1%	22.2%	0.0%	0.0%	13.9%	13.9%	25.0%	63.9%	0.0%
診療所（療養機能型以外）	418	192	54	21	9	54	14	91	144	21
	100.0%	45.9%	12.9%	5.0%	2.2%	12.9%	3.3%	21.8%	34.4%	5.0%

※網掛けは、選択が多い上位2項目（不明を除く）

3 入院・入棟前の状況等

医療療養病床を有する医療施設の入院患者について、入院（棟）の理由をみると、療養病棟入院基本料1では「疾病の急性期状態が安定したため」が64.1%、「リハビリテーションが必要なため」が15.6%、療養病棟入院基本料2（看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上）では「疾病の急性期状態が安定したため」が62.1%、「リハビリテーションが必要なため」が24.6%、療養病棟入院基本料2（その他）では「疾病の急性期状態が安定したため」が52.1%、「リハビリテーションが必要なため」が39.4%、有床診療所療養病床入院基本料では「上記以外の理由で、本人または家族が強く希望するため」が39.0%、「疾病の急性期状態が安定したため」が35.1%であった。

図表2-3-146 【入院患者（医療療養）】入院（棟）の理由（複数回答）

	合計	疾病の急性期状態が安定したため	リハビリテーションが必要なため	病院内看取りを本人または家族が希望しているため	他医療機関への入院が適切だが、空きがなかったため	他介護施設への入所が適切だが、空きがなかったため	在宅療養が可能と考えるが、必要な在宅医療を確保できないため	在宅療養が可能と考えるが、必要な介護を確保できないため	左記以外の理由で、本人または家族が強く希望するため	不明
療養病棟入院基本料1	693	444	108	56	32	47	27	71	93	43
	100.0%	64.1%	15.6%	8.1%	4.6%	6.8%	3.9%	10.2%	13.4%	6.2%
療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	232	144	57	18	10	10	7	18	40	9
	100.0%	62.1%	24.6%	7.8%	4.3%	4.3%	3.0%	7.8%	17.2%	3.9%
療養病棟入院基本料2(その他)	71	37	28	4	2	11	3	11	14	3
	100.0%	52.1%	39.4%	5.6%	2.8%	15.5%	4.2%	15.5%	19.7%	4.2%
有床診療所療養病床入院基本料	533	187	93	42	28	38	48	111	208	32
	100.0%	35.1%	17.4%	7.9%	5.3%	7.1%	9.0%	20.8%	39.0%	6.0%

※網掛けは、選択が多い上位2項目（不明を除く）

退院患者の入院（棟）の理由は、介護療養型医療施設の病院は「疾病の急性期状態が安定したため」が54.2%、「上記以外の理由で、本人または家族が強く希望するため」が20.8%であった。

また、医療療養病床を有する医療施設の病院については、「疾病の急性期状態が安定したため」が48.4%、「リハビリテーションが必要なため」が24.2%であった。

なお、介護療養型医療施設の療養機能強化型の届出の状況別では、病院（療養機能強化型A）は「疾病の急性期状態が安定したため」が56.6%、「病院内看取りを本人または家族が希望しているため」が19.9%であった。

図表 2-3-147 【退院患者】入院（棟）の理由（複数回答）

	合計	疾病の急性期状態が安定したため	リハビリテーションが必要なため	病院内看取りを本人または家族が希望しているため	他医療機関への入院が適切だが、空きがなかったため	他介護施設への入院が適切だが、空きがなかったため	在宅療養が可能と考えるが、必要な在宅医療を確保できないため	在宅療養が可能と考えるが、必要な介護を確保できないため	左記以外の理由で、本人または家族が強く希望するため	不明
介護療養（病院）	903	489	178	141	19	123	37	133	188	24
	100.0%	54.2%	19.7%	15.6%	2.1%	13.6%	4.1%	14.7%	20.8%	2.7%
介護療養（診療所）	134	55	14	15	1	17	7	19	38	11
	100.0%	41.0%	10.4%	11.2%	0.7%	12.7%	5.2%	14.2%	28.4%	8.2%
老人性認知症疾患療養病棟	16	14	0	0	0	3	0	1	0	0
	100.0%	87.5%	0.0%	0.0%	0.0%	18.8%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%
医療療養（病院）	891	431	216	127	31	49	41	79	142	75
	100.0%	48.4%	24.2%	14.3%	3.5%	5.5%	4.6%	8.9%	15.9%	8.4%
医療療養（診療所）	311	74	71	24	39	6	27	30	98	17
	100.0%	23.8%	22.8%	7.7%	12.5%	1.9%	8.7%	9.6%	31.5%	5.5%

図表 2-3-148 【退院患者（介護療養）】入院（棟）の理由（療養機能強化型の届出の状況別）（複数回答）

	合計	疾病の急性期状態が安定したため	リハビリテーションが必要なため	病院内看取りを本人または家族が希望しているため	他医療機関への入院が適切だが、空きがなかったため	他介護施設への入院が適切だが、空きがなかったため	在宅療養が可能と考えるが、必要な在宅医療を確保できないため	在宅療養が可能と考えるが、必要な介護を確保できないため	左記以外の理由で、本人または家族が強く希望するため	不明
病院（療養機能強化型A）	477	270	86	95	7	62	20	51	79	5
	100.0%	56.6%	18.0%	19.9%	1.5%	13.0%	4.2%	10.7%	16.6%	1.0%
病院（療養機能強化型B）	89	45	19	12	1	6	5	25	25	2
	100.0%	50.6%	21.3%	13.5%	1.1%	6.7%	5.6%	28.1%	28.1%	2.2%
病院（療養機能型以外）	310	156	60	33	11	50	10	55	83	14
	100.0%	50.3%	19.4%	10.6%	3.5%	16.1%	3.2%	17.7%	26.8%	4.5%
診療所（療養機能強化型A）	4	1	0	3	0	0	0	1	1	0
	100.0%	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%
診療所（療養機能強化型B）	6	2	2	2	0	1	0	0	1	0
	100.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%
診療所（療養機能型以外）	113	50	11	7	1	16	7	17	31	11
	100.0%	44.2%	9.7%	6.2%	0.9%	14.2%	6.2%	15.0%	27.4%	9.7%

※網掛けは、選択が多い上位2項目（不明を除く）

3 入院・入棟前の状況等

医療療養病床を有する医療施設の退院患者について、入院（棟）の理由をみると、療養病棟入院基本料1では「疾病の急性期状態が安定したため」が47.3%、「リハビリテーションが必要なため」が22.6%、療養病棟入院基本料2（看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上）では「疾病の急性期状態が安定したため」が53.8%、「リハビリテーションが必要なため」が26.1%、療養病棟入院基本料2（その他）では「疾病の急性期状態が安定したため」が43.1%、「リハビリテーションが必要なため」が33.3%、有床診療所療養病床入院基本料では「疾病の急性期状態が安定したため」が23.8%、「左記以外の理由で、本人または家族が強く希望するため」が31.5%であった。

図表 2-3-149 【退院患者（医療療養）】入院（棟）の理由（複数回答）

	合計	疾病の急性期状態が安定したため	リハビリテーションが必要なため	病院内看取りを本人または家族が希望しているため	他医療機関への入院が適切だが、空きがなかったため	他介護施設への入所が適切だが、空きがなかったため	在宅療養が可能と考えるが、必要な在宅医療を確保できないため	在宅療養が可能と考えるが、必要な介護を確保できないため	左記以外の理由で、本人または家族が強く希望するため	不明
療養病棟入院基本料1	620	293	140	97	19	36	26	48	104	46
	100.0%	47.3%	22.6%	15.6%	3.1%	5.8%	4.2%	7.7%	16.8%	7.4%
療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	199	107	52	23	6	11	13	23	28	19
	100.0%	53.8%	26.1%	11.6%	3.0%	5.5%	6.5%	11.6%	14.1%	9.5%
療養病棟入院基本料2(その他)	72	31	24	7	6	2	2	8	10	10
	100.0%	43.1%	33.3%	9.7%	8.3%	2.8%	2.8%	11.1%	13.9%	13.9%
有床診療所療養病床入院基本料	311	74	71	24	39	6	27	30	98	17
	100.0%	23.8%	22.8%	7.7%	12.5%	1.9%	8.7%	9.6%	31.5%	5.5%

※網掛けは、選択が多い上位2項目（不明を除く）

入院患者の入院（棟）の理由（最もあてはまるもの）は、介護療養型医療施設の病院では「疾病の急性期状態が安定したため」が39.6%、「左記以外の理由で、本人または家族が強く希望するため」が21.1%であった。また、介護療養型医療施設の療養機能強化型の届出の状況別では、病院（療養機能強化型A）は「疾病の急性期状態が安定したため」が41.2%、「左記以外の理由で、本人または家族が強く希望するため」が17.5%、病院（療養機能強化型B）は「疾病の急性期状態が安定したため」が36.8%、「在宅療養が可能と考えるが、必要な介護を確保できないため」が23.7%であった。

図表 2-3-150 【入院患者】入院（棟）の理由（最もあてはまるもの）

	合計	疾病の急性期状態が安定したため	リハビリテーションが必要なため	病院内看取りを本人または家族が希望しているため	他医療機関への入院が適切だが、空きがなかったため	他介護施設への入院が適切だが、空きがなかったため	在宅療養が可能と考えるが、必要な在宅医療を確保できないため	在宅療養が可能と考えるが、必要な介護を確保できないため	左記以外の理由で、本人または家族が強く希望するため	不明
介護療養（病院）	1,068	423	80	61	13	74	10	95	225	87
	100.0%	39.6%	7.5%	5.7%	1.2%	6.9%	0.9%	8.9%	21.1%	8.1%
介護療養（診療所）	547	134	40	22	6	43	8	62	142	90
	100.0%	24.5%	7.3%	4.0%	1.1%	7.9%	1.5%	11.3%	26.0%	16.5%
老人性認知症患者療養病棟	18	8	0	0	0	4	0	0	5	1
	100.0%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	27.8%	5.6%
医療療養（病院）	996	472	102	62	24	42	14	52	109	119
	100.0%	47.4%	10.2%	6.2%	2.4%	4.2%	1.4%	5.2%	10.9%	11.9%
医療療養（診療所）	533	115	46	36	16	22	21	59	140	78
	100.0%	21.6%	8.6%	6.8%	3.0%	4.1%	3.9%	11.1%	26.3%	14.6%

図表 2-3-151 【入院患者（介護療養）】入院（棟）の理由（療養機能強化型の届出の状況別）（最もあてはまるもの）

	合計	疾病の急性期状態が安定したため	リハビリテーションが必要なため	病院内看取りを本人または家族が希望しているため	他医療機関への入院が適切だが、空きがなかったため	他介護施設への入院が適切だが、空きがなかったため	在宅療養が可能と考えるが、必要な在宅医療を確保できないため	在宅療養が可能と考えるが、必要な介護を確保できないため	左記以外の理由で、本人または家族が強く希望するため	不明
病院（療養機能強化型A）	594	245	55	46	5	34	4	46	104	55
	100.0%	41.2%	9.3%	7.7%	0.8%	5.7%	0.7%	7.7%	17.5%	9.3%
病院（療養機能強化型B）	76	28	0	3	0	7	1	18	10	9
	100.0%	36.8%	0.0%	3.9%	0.0%	9.2%	1.3%	23.7%	13.2%	11.8%
病院（療養機能型以外）	391	148	24	12	8	30	5	31	110	23
	100.0%	37.9%	6.1%	3.1%	2.0%	7.7%	1.3%	7.9%	28.1%	5.9%
診療所（療養機能強化型A）	31	5	7	3	0	2	1	1	7	5
	100.0%	16.1%	22.6%	9.7%	0.0%	6.5%	3.2%	3.2%	22.6%	16.1%
診療所（療養機能強化型B）	36	7	0	0	0	2	0	2	21	4
	100.0%	19.4%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	5.6%	58.3%	11.1%
診療所（療養機能型以外）	418	113	18	16	6	36	6	57	96	70
	100.0%	27.0%	4.3%	3.8%	1.4%	8.6%	1.4%	13.6%	23.0%	16.7%

※網掛けは、選択が多い上位2項目（不明を除く）

3 入院・入棟前の状況等

医療療養病床を有する医療施設の入院患者について、入院（棟）の理由（最もあてはまるもの）をみると、療養病棟入院基本料 1 では「疾病の急性期状態が安定したため」が 50.1%、「左記以外の理由で、本人または家族が強く希望するため」が 10.1%、療養病棟入院基本料 2（看護配置 25:1 以上、医療区分 2・3 の患者 5 割以上）では「疾病の急性期状態が安定したため」が 47.8%、「左記以外の理由で、本人または家族が強く希望するため」が 12.9%、療養病棟入院基本料 2（その他）では「リハビリテーションが必要なため」が 21.1%、「疾病の急性期状態が安定したため」が 19.7%、有床診療所療養病床入院基本料では「疾病の急性期状態が安定したため」が 21.6%「左記以外の理由で、本人または家族が強く希望するため」が 26.3%であった。

図表 2-3-152 【入院患者（医療療養）】入院（棟）の理由（最もあてはまるもの）

	合計	疾病の急性期状態が安定したため	リハビリテーションが必要なため	病院内看取りを本人または家族が希望しているため	他医療機関への入院が適切だが、空きがなかったため	他介護施設への入所が適切だが、空きがなかったため	在宅療養が可能と考えるが、必要な在宅医療を確保できないため	在宅療養が可能と考えるが、必要な介護を確保できないため	左記以外の理由で、本人または家族が強く希望するため	不明
療養病棟入院基本料1	693	347	58	44	20	28	7	39	70	80
	100.0%	50.1%	8.4%	6.3%	2.9%	4.0%	1.0%	5.6%	10.1%	11.5%
療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	232	111	29	15	4	7	5	10	30	21
	100.0%	47.8%	12.5%	6.5%	1.7%	3.0%	2.2%	4.3%	12.9%	9.1%
療養病棟入院基本料2(その他)	71	14	15	3	0	7	2	3	9	18
	100.0%	19.7%	21.1%	4.2%	0.0%	9.9%	2.8%	4.2%	12.7%	25.4%
有床診療所療養病床入院基本料	533	115	46	36	16	22	21	59	140	78
	100.0%	21.6%	8.6%	6.8%	3.0%	4.1%	3.9%	11.1%	26.3%	14.6%

※網掛けは、選択が多い上位 2 項目（不明を除く）

退院患者の入院（棟）の理由（最もあてはまるもの）は、介護療養型医療施設の病院では、「疾病の急性期状態が安定したため」が 37.0%、「左記以外の理由で、本人または家族が強く希望するため」が 13.7%であった。医療療養病床を有する医療施設の病院では、「疾病の急性期状態が安定したため」が 34.7%、「リハビリテーションが必要なため」が 14.1%であった。

また、介護療養型医療施設の療養機能強化型の届出の状況別では、病院（療養機能強化型A）は「疾病の急性期状態が安定したため」が 41.3%、「病院内看取りを本人または家族が希望しているため」が 17.6%であった。

図表 2-3-153 【退院患者】入院（棟）の理由（最もあてはまるもの）

	合計	疾病の急性期状態が安定したため	リハビリテーションが必要なため	病院内看取りを本人または家族が希望しているため	他医療機関への入院が適切だが、空きがなかったため	他介護施設への入所が適切だが、空きがなかったため	在宅療養が可能と考えるが、必要な在宅医療を確保できないため	在宅療養が可能と考えるが、必要な介護を確保できないため	左記以外の理由で、本人または家族が強く希望するため	不明
介護療養(病院)	903	334	75	118	12	69	12	68	124	91
	100.0%	37.0%	8.3%	13.1%	1.3%	7.6%	1.3%	7.5%	13.7%	10.1%
介護療養(診療所)	134	39	2	14	1	9	6	12	26	25
	100.0%	29.1%	1.5%	10.4%	0.7%	6.7%	4.5%	9.0%	19.4%	18.7%
老人性認知症疾患療養病棟	16	13	0	0	0	2	0	0	0	1
	100.0%	81.3%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%
医療療養(病院)	891	309	126	104	23	32	22	38	114	123
	100.0%	34.7%	14.1%	11.7%	2.6%	3.6%	2.5%	4.3%	12.8%	13.8%
医療療養(診療所)	311	59	57	24	27	5	22	18	59	40
	100.0%	19.0%	18.3%	7.7%	8.7%	1.6%	7.1%	5.8%	19.0%	12.9%

図表 2-3-154 【退院患者（介護療養）】入院（棟）の理由（療養機能強化型の届出の状況別）（最もあてはまるもの）

	合計	疾病の急性期状態が安定したため	リハビリテーションが必要なため	病院内看取りを本人または家族が希望しているため	他医療機関への入院が適切だが、空きがなかったため	他介護施設への入所が適切だが、空きがなかったため	在宅療養が可能と考えるが、必要な在宅医療を確保できないため	在宅療養が可能と考えるが、必要な介護を確保できないため	左記以外の理由で、本人または家族が強く希望するため	不明
病院(療養機能強化型A)	477	197	42	84	6	34	6	23	54	31
	100.0%	41.3%	8.8%	17.6%	1.3%	7.1%	1.3%	4.8%	11.3%	6.5%
病院(療養機能強化型B)	89	27	1	7	0	4	2	17	13	18
	100.0%	30.3%	1.1%	7.9%	0.0%	4.5%	2.2%	19.1%	14.6%	20.2%
病院(療養機能型以外)	310	101	26	26	6	28	3	27	56	37
	100.0%	32.6%	8.4%	8.4%	1.9%	9.0%	1.0%	8.7%	18.1%	11.9%
診療所(療養機能強化型A)	4	0	0	3	0	0	0	0	0	1
	100.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
診療所(療養機能強化型B)	6	2	0	2	0	1	0	0	1	0
	100.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%
診療所(療養機能型以外)	113	35	2	6	1	8	6	11	20	24
	100.0%	31.0%	1.8%	5.3%	0.9%	7.1%	5.3%	9.7%	17.7%	21.2%

※網掛けは、選択が多い上位2項目（不明を除く）

3 入院・入棟前の状況等

医療療養病床を有する医療施設の退院患者について、入院（棟）の理由（最もあてはまるもの）をみると、療養病棟入院基本料 1 では「疾病の急性期状態が安定したため」が 35.3%、「左記以外の理由で、本人または家族が強く希望するため」が 14.2%、療養病棟入院基本料 2（看護配置 25:1 以上、医療区分 2・3 の患者 5 割以上）では「疾病の急性期状態が安定したため」が 33.7%、「リハビリテーションが必要なため」が 18.1%、療養病棟入院基本料 2（その他）では「疾病の急性期状態が安定したため」が 31.9%、「リハビリテーションが必要なため」が 18.1%、有床診療所療養病床入院基本料では「疾病の急性期状態が安定したため」と「左記以外の理由で、本人または家族が強く希望するため」が 19.0%であった。

図表 2-3-155 【退院患者（医療療養）】入院（棟）の理由（最もあてはまるもの）

	合計	疾病の急性期状態が安定したため	リハビリテーションが必要なため	病院内看取りを本人または家族が希望しているため	他医療機関への入院が適切だが、空きがなかったため	他介護施設への入所が適切だが、空きがなかったため	在宅療養が可能と考えるが、必要な在宅医療を確保できないため	在宅療養が可能と考えるが、必要な介護を確保できないため	左記以外の理由で、本人または家族が強く希望するため	不明
療養病棟入院基本料1	620	219	77	82	14	25	14	25	88	76
	100.0%	35.3%	12.4%	13.2%	2.3%	4.0%	2.3%	4.0%	14.2%	12.3%
療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	199	67	36	15	4	6	6	6	23	36
	100.0%	33.7%	18.1%	7.5%	2.0%	3.0%	3.0%	3.0%	11.6%	18.1%
療養病棟入院基本料2(その他)	72	23	13	7	5	1	2	7	3	11
	100.0%	31.9%	18.1%	9.7%	6.9%	1.4%	2.8%	9.7%	4.2%	15.3%
有床診療所療養病床入院基本料	311	59	57	24	27	5	22	18	59	40
	100.0%	19.0%	18.3%	7.7%	8.7%	1.6%	7.1%	5.8%	19.0%	12.9%

※網掛けは、選択が多い上位 2 項目（不明を除く）

4. 退院の状況・見通し

① 退院時期の目標（入院患者）

入院患者の退院時期の目標をみると、介護療養型医療施設の病院では、「退院は困難」が85.5%であった。医療療養病床を有する医療施設では、病院は「退院は困難」は75.6%、「1か月以内」は5.9%、診療所は「退院は困難」は76.4%、「1か月以内」は10.1%であった。

また、介護療養型医療施設について、療養機能強化型の届出の状況別にみると、病院については、「退院は困難」は、病院（療養機能強化型A）は86.0%、病院（療養機能強化型B）は85.5%、病院（療養機能強化型以外）は84.7%であった。

図表 2-3-156 【入院患者】退院時期の目標

	合計	1か月以内	3か月以内	6か月以内	1年以内	退院は困難	不明
介護療養(病院)	1,068	16	16	33	61	913	29
	100.0%	1.5%	1.5%	3.1%	5.7%	85.5%	2.7%
介護療養(診療所)	547	17	6	9	27	468	20
	100.0%	3.1%	1.1%	1.6%	4.9%	85.6%	3.7%
老人性認知症患者療養病棟	18	0	0	0	4	13	1
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	72.2%	5.6%
医療療養(病院)	996	59	55	40	49	753	40
	100.0%	5.9%	5.5%	4.0%	4.9%	75.6%	4.0%
医療療養(診療所)	533	54	30	10	18	407	14
	100.0%	10.1%	5.6%	1.9%	3.4%	76.4%	2.6%

図表 2-3-157 【入院患者（介護療養）】退院時期の目標（療養機能強化型の届出の状況別）

	合計	1か月以内	3か月以内	6か月以内	1年以内	退院は困難	不明
病院(療養機能強化型A)	594	4	8	14	34	511	23
	100.0%	0.7%	1.3%	2.4%	5.7%	86.0%	3.9%
病院(療養機能強化型B)	76	2	2	1	5	65	1
	100.0%	2.6%	2.6%	1.3%	6.6%	85.5%	1.3%
病院(療養機能型以外)	391	10	6	18	21	331	5
	100.0%	2.6%	1.5%	4.6%	5.4%	84.7%	1.3%
診療所(療養機能強化型A)	31	0	0	0	0	31	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
診療所(療養機能強化型B)	36	6	1	0	0	29	0
	100.0%	16.7%	2.8%	0.0%	0.0%	80.6%	0.0%
診療所(療養機能型以外)	418	7	4	7	26	356	18
	100.0%	1.7%	1.0%	1.7%	6.2%	85.2%	4.3%

※網掛けは、選択が多い上位2項目（不明を除く）

4 退院の状況・見通し

医療療養病床を有する医療施設の入院患者について、退院時期の目標をみると、療養病棟入院基本料1では「退院は困難」が77.3%、「3か月以内」が4.9%、療養病棟入院基本料2（看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上）では「退院は困難」が75.0%、「3か月以内」が7.8%、療養病棟入院基本料2（その他）では「退院は困難」は60.6%、「1か月以内」が22.5%、有床診療所療養病床入院基本料では「退院は困難」が76.4%、「1か月以内」が10.1%であった。

図表 2-3-158 【入院患者（医療療養）】退院時期の目標（複数回答）

	合計	1か月以内	3か月以内	6か月以内	1年以内	退院は困難	不明
療養病棟入院基本料1	693	27	34	30	32	536	34
	100.0%	3.9%	4.9%	4.3%	4.6%	77.3%	4.9%
療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	232	16	18	6	12	174	6
	100.0%	6.9%	7.8%	2.6%	5.2%	75.0%	2.6%
療養病棟入院基本料2(その他)	71	16	3	4	5	43	0
	100.0%	22.5%	4.2%	5.6%	7.0%	60.6%	0.0%
有床診療所療養病床入院基本料	533	54	30	10	18	407	14
	100.0%	10.1%	5.6%	1.9%	3.4%	76.4%	2.6%

※網掛けは、選択が多い上位2項目（不明を除く）

② 退院先等の見込み（入院患者）

入院患者の退院先等の見込みは介護療養型医療施設の病院では「特別養護老人ホーム」が46.0%、「老人保健施設」が23.0%、診療所は「特別養護老人ホーム」が39.0%、「本人の家」が20.3%であった。

医療療養病床を有する医療施設は、病院は「本人の家」が31.5%、「特別養護老人ホーム」が21.7%、診療所は「本人の家」が44.6%、「特別養護老人ホーム」が16.1%であった。

図表 2-3-159 【入院患者】退院先等の見込み

	合計	本人の家	他の病院	他の診療所	老人保健施設	特別養護老人ホーム	有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	養護老人ホーム
介護療養(病院)	126	9	14	0	29	58	3	0	0
	100.0%	7.1%	11.1%	0.0%	23.0%	46.0%	2.4%	0.0%	0.0%
介護療養(診療所)	59	12	2	0	11	23	1	4	0
	100.0%	20.3%	3.4%	0.0%	18.6%	39.0%	1.7%	6.8%	0.0%
老人性認知症疾患療養病棟	4	0	0	0	1	3	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医療療養(病院)	203	64	32	0	31	44	16	0	1
	100.0%	31.5%	15.8%	0.0%	15.3%	21.7%	7.9%	0.0%	0.5%
医療療養(診療所)	112	50	7	0	8	18	4	9	3
	100.0%	44.6%	6.3%	0.0%	7.1%	16.1%	3.6%	8.0%	2.7%

軽費老人ホーム・ケアハウス	認知症対応型共同生活介護	その他	不明
0	3	3	7
0.0%	2.4%	2.4%	5.6%
0	2	1	3
0.0%	3.4%	1.7%	5.1%
0	0	0	0
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2	7	2	4
1.0%	3.4%	1.0%	2.0%
0	3	2	8
0.0%	2.7%	1.8%	7.1%

※網掛けは、選択が多い上位2項目（不明を除く）

4 退院の状況・見通し

介護療養型医療施設について、療養機能強化型の届出の状況別に退院先等の見込みをみると、病院（療養機能強化型A）では「特別養護老人ホーム」が55.0%、「老人保健施設」が23.3%、病院（療養機能強化型B）では「特別養護老人ホーム」が50.0%、病院（療養機能強化型以外）では「特別養護老人ホーム」が36.4%であった。

図表 2-3-160 【入院患者（介護療養）】退院先等の見込み（療養機能強化型の届出の状況別）

	合計	本人の家	他の病院	他の診療所	老人保健施設	特別養護老人ホーム	有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	養護老人ホーム
病院(療養機能強化型A)	60	2	4	0	14	33	0	0	0
	100.0%	3.3%	6.7%	0.0%	23.3%	55.0%	0.0%	0.0%	0.0%
病院(療養機能強化型B)	10	0	2	0	2	5	0	0	0
	100.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
病院(療養機能強化型以外)	55	7	8	0	13	20	2	0	0
	100.0%	12.7%	14.5%	0.0%	23.6%	36.4%	3.6%	0.0%	0.0%
診療所(療養機能強化型A)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
診療所(療養機能強化型B)	7	0	0	0	0	2	0	4	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	57.1%	0.0%
診療所(療養機能強化型以外)	44	6	2	0	11	21	1	0	0
	100.0%	13.6%	4.5%	0.0%	25.0%	47.7%	2.3%	0.0%	0.0%

軽費老人ホーム・ケアハウス	認知症対応型共同生活介護	その他	不明
0	0	3	4
0.0%	0.0%	5.0%	6.7%
0	0	0	1
0.0%	0.0%	0.0%	10.0%
0	3	0	2
0.0%	5.5%	0.0%	3.6%
0	0	0	0
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0	0	1	0
0.0%	0.0%	14.3%	0.0%
0	2	0	1
0.0%	4.5%	0.0%	2.3%

※網掛けは、選択が多い上位2項目（不明を除く）

医療療養病床を有する医療施設について、退院先等の見込みをみると、療養病棟入院基本料1では「本人の家」が33.3%、療養病棟入院基本料2（看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上）では「本人の家」が28.8%、療養病棟入院基本料2（その他）では「老人保健施設」が35.7%、有床診療所療養病床入院基本料では「本人の家」が44.6%であった。

図表2-3-161 【入院患者（医療療養）】退院先等の見込み

	合計	本人の家	他の病院	他の診療所	老人保健施設	特別養護老人ホーム	有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	養護老人ホーム
医療療養 療養病棟入院基本料1	123	41	22	0	15	26	10	0	1
	100.0%	33.3%	17.9%	0.0%	12.2%	21.1%	8.1%	0.0%	0.8%
医療療養 療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	52	15	10	0	6	11	3	0	0
	100.0%	28.8%	19.2%	0.0%	11.5%	21.2%	5.8%	0.0%	0.0%
医療療養 療養病棟入院基本料2(その他)	28	8	0	0	10	7	3	0	0
	100.0%	28.6%	0.0%	0.0%	35.7%	25.0%	10.7%	0.0%	0.0%
医療療養 有床診療所療養病床入院基本料	112	50	7	0	8	18	4	9	3
	100.0%	44.6%	6.3%	0.0%	7.1%	16.1%	3.6%	8.0%	2.7%

軽費老人ホーム・ケアハウス	認知症対応型共同生活介護	その他	不明
0	3	2	3
0.0%	2.4%	1.6%	2.4%
2	4	0	1
3.8%	7.7%	0.0%	1.9%
0	0	0	0
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0	3	2	8
0.0%	2.7%	1.8%	7.1%

※網掛けは、選択が多い上位2項目（不明を除く）

③ 退院先（退院患者）

退院患者の退院先は、介護療養型医療施設の病院では「死亡による退院」が46.8%、「他の病院・病棟」が26.0%、診療所は「死亡による退院」が38.1%、「他の病院・病棟」が27.6%であった。

医療療養病床を有する医療施設は、病院は「死亡による退院」が44.0%、「本人の家」が22.4%、診療所は「本人の家」が47.3%、「死亡による退院」が23.8%であった。

図表 2-3-162 【退院患者】退院先

	合計	本人の家	他の病院・病棟	他の診療所	老人保健施設	特別養護老人ホーム	有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅
介護療養(病院)	903	72	235	1	63	64	15	4
	100.0%	8.0%	26.0%	0.1%	7.0%	7.1%	1.7%	0.4%
介護療養(診療所)	134	19	37	0	4	10	1	0
	100.0%	14.2%	27.6%	0.0%	3.0%	7.5%	0.7%	0.0%
老人性認知症疾患療養病棟	16	0	3	0	0	2	0	0
	100.0%	0.0%	18.8%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%
医療療養(病院)	891	200	123	1	52	39	20	9
	100.0%	22.4%	13.8%	0.1%	5.8%	4.4%	2.2%	1.0%
医療療養(診療所)	311	147	41	0	8	13	10	7
	100.0%	47.3%	13.2%	0.0%	2.6%	4.2%	3.2%	2.3%

養護老人ホーム	軽費老人ホーム・ケアハウス	認知症対応型共同生活介護	死亡による退院	その他	不明
2	1	4	423	6	13
0.2%	0.1%	0.4%	46.8%	0.7%	1.4%
0	1	2	51	2	7
0.0%	0.7%	1.5%	38.1%	1.5%	5.2%
0	0	0	11	0	0
0.0%	0.0%	0.0%	68.8%	0.0%	0.0%
7	3	8	392	5	32
0.8%	0.3%	0.9%	44.0%	0.6%	3.6%
2	1	0	74	3	5
0.6%	0.3%	0.0%	23.8%	1.0%	1.6%

※網掛けは、選択が多い上位2項目（不明を除く）

介護療養型医療施設について、療養機能強化型の届出の状況別に退院先をみると、いずれも「死亡による退院」と「他の病院・病棟」が多かった。

図表 2-3-163 【退院患者（介護療養）】退院先（療養機能強化型の届出の状況別）

	合計	本人の家	他の病院・病棟	他の診療所	老人保健施設	特別養護老人ホーム	有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	養護老人ホーム
病院(療養機能強化型A)	477	23	101	0	26	38	5	1	2
	100.0%	4.8%	21.2%	0.0%	5.5%	8.0%	1.0%	0.2%	0.4%
病院(療養機能強化型B)	89	7	22	0	2	4	2	0	0
	100.0%	7.9%	24.7%	0.0%	2.2%	4.5%	2.2%	0.0%	0.0%
病院(療養機能強化型以外)	310	40	106	1	33	19	7	3	0
	100.0%	12.9%	34.2%	0.3%	10.6%	6.1%	2.3%	1.0%	0.0%
診療所(療養機能強化型A)	4	0	1	0	0	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
診療所(療養機能強化型B)	6	1	3	0	0	0	0	0	0
	100.0%	16.7%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
診療所(療養機能強化型以外)	113	17	31	0	3	10	1	0	0
	100.0%	15.0%	27.4%	0.0%	2.7%	8.8%	0.9%	0.0%	0.0%

	軽費老人ホーム・ケアハウス	認知症対応型共同生活介護	死亡による退院	その他	不明
	1	1	271	4	4
	0.2%	0.2%	56.8%	0.8%	0.8%
	0	1	50	0	1
	0.0%	1.1%	56.2%	0.0%	1.1%
	0	2	89	2	8
	0.0%	0.6%	28.7%	0.6%	2.6%
	0	0	3	0	0
	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%
	0	0	2	0	0
	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
	1	2	40	2	6
	0.9%	1.8%	35.4%	1.8%	5.3%

※網掛けは、選択が多い上位2項目（不明を除く）

4 退院の状況・見通し

医療療養病床を有する医療施設についてみると、いずれも「死亡による退院」と「本人の家」が多かった。なお、病院では「本人の家」よりも「死亡による退院」が、診療所では「死亡による退院」よりも「本人の家」の方が多かった。

図表 2-3-164 【退院患者（医療療養）】退院先

	合計	本人の家	他の病院・病棟	他の診療所	老人保健施設	特別養護老人ホーム	有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	養護老人ホーム
医療療養_療養病棟入院基本料1	620	126	81	1	33	29	15	8	3
	100.0%	20.3%	13.1%	0.2%	5.3%	4.7%	2.4%	1.3%	0.5%
医療療養_療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	199	50	27	0	16	8	3	1	4
	100.0%	25.1%	13.6%	0.0%	8.0%	4.0%	1.5%	0.5%	2.0%
医療療養_療養病棟入院基本料2(その他)	72	24	15	0	3	2	2	0	0
	100.0%	33.3%	20.8%	0.0%	4.2%	2.8%	2.8%	0.0%	0.0%
医療療養_有床診療所療養病床入院基本料	311	147	41	0	8	13	10	7	2
	100.0%	47.3%	13.2%	0.0%	2.6%	4.2%	3.2%	2.3%	0.6%

	軽費老人ホーム・ケアハウス	認知症対応型共同生活介護	死亡による退院	その他	不明
	3	3	299	2	17
	0.5%	0.5%	48.2%	0.3%	2.7%
	0	3	74	2	11
	0.0%	1.5%	37.2%	1.0%	5.5%
	0	2	19	1	4
	0.0%	2.8%	26.4%	1.4%	5.6%
	1	0	74	3	5
	0.3%	0.0%	23.8%	1.0%	1.6%

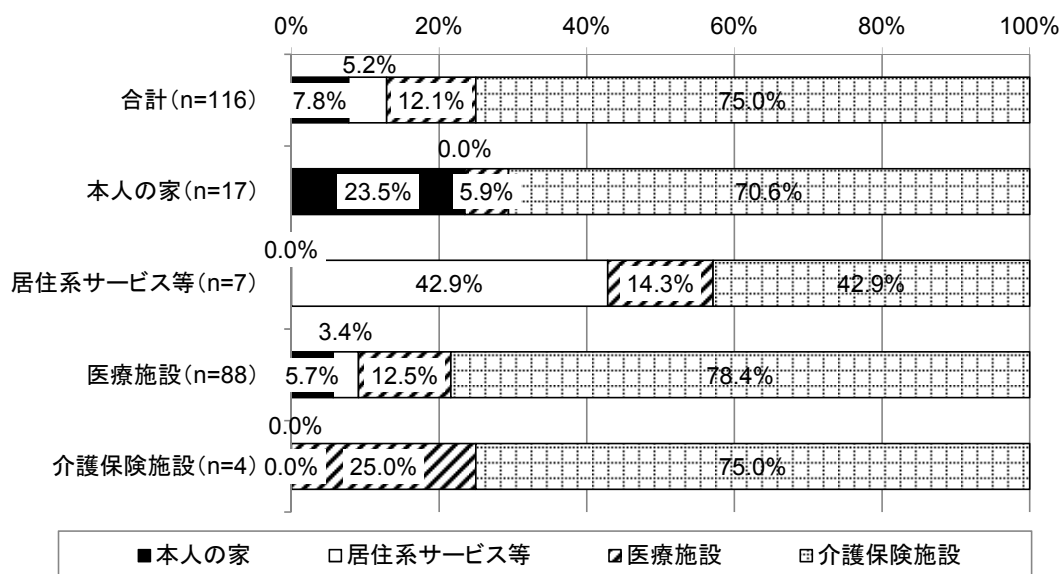
※網掛けは、選択が多い上位2項目（不明を除く）

④ 「入院（棟）前の状況等」と「退院先」

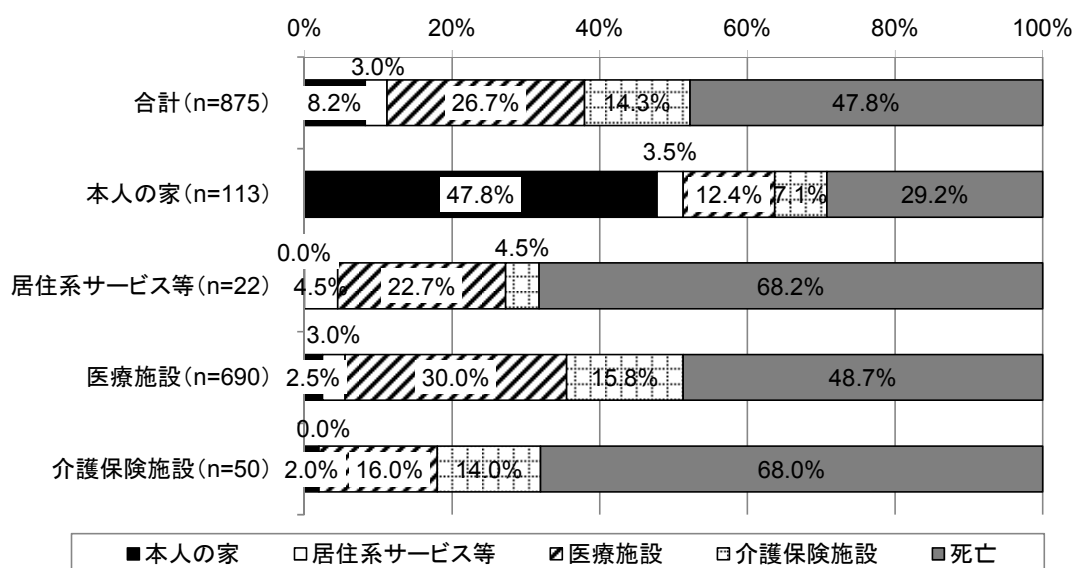
介護療養型医療施設（病院）の入院（棟）前の状況等と退院先の関係を見ると、入院患者の退院先等の見込みについては、入院（棟）前の状況等が「本人の家」では、退院先等の見込みは「介護保険施設」が70.6%、「本人の家」が23.5%であった。

また、実際の退院患者の退院先をみると、入院（棟）前の状況等が「本人の家」では、退院先は「本人の家」が47.8%、「医療施設」が12.4%であった。

図表 2-3-165 【入院患者（介護療養_病院）】入院（棟）前の状況別の退院先等の見込み



図表 2-3-166 【退院患者（介護療養_病院）】入院（棟）前の状況別の退院先

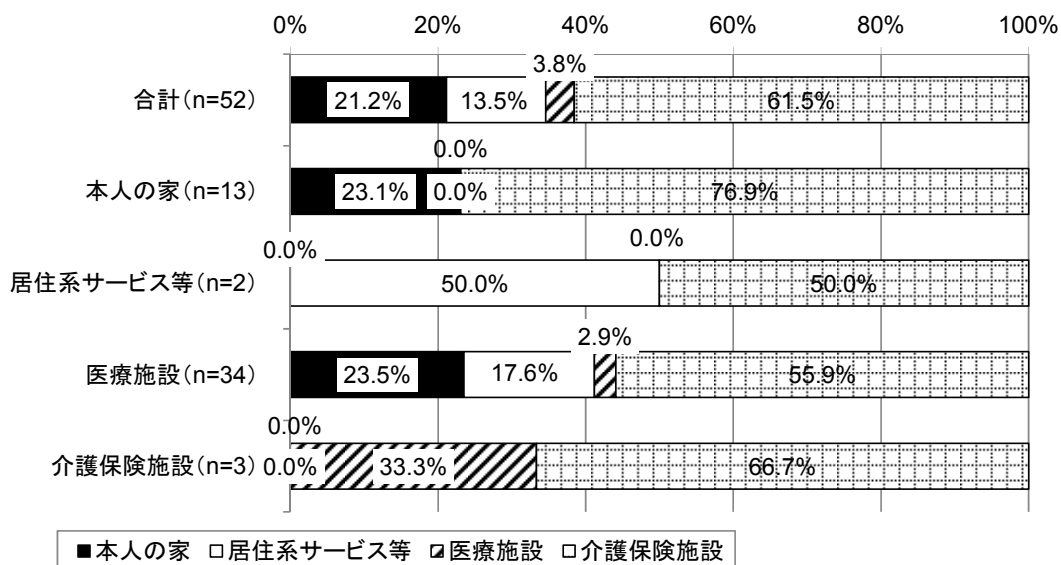


※有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅・養護老人ホーム・軽費老人ホーム・認知症対応型共同生活介護（グループホーム）を「居住系サービス等」、他の病院・他の病棟・他の診療所を「医療施設」、老人保健施設・特別養護老人ホームを「介護保険施設」として集計。

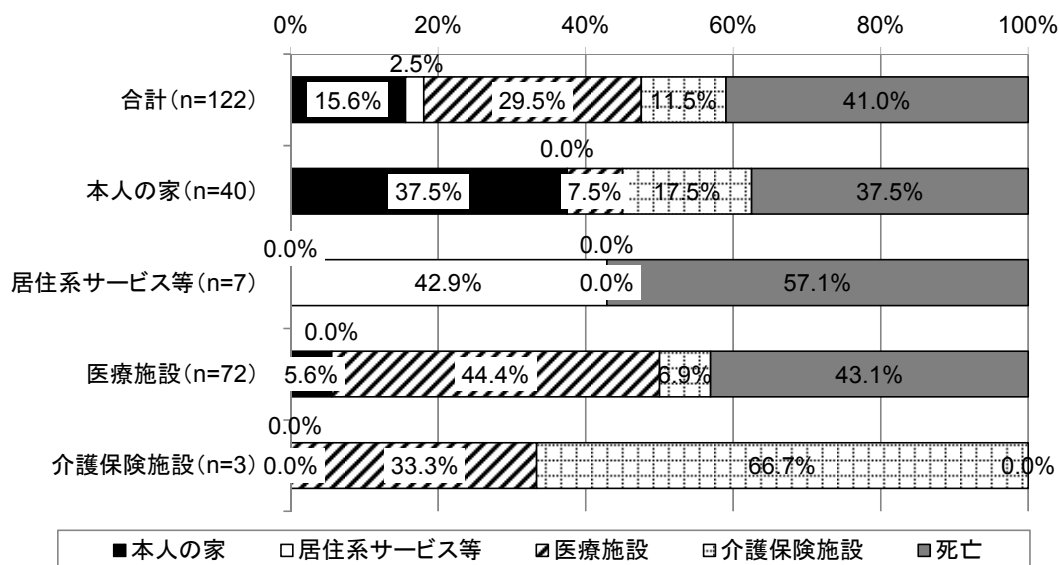
介護療養型医療施設（診療所）の入院（棟）前の状況等と退院先の関係を見ると、入院患者の退院先等の見込みについては、入院（棟）前の状況等が「本人の家」では、退院先等の見込みは「介護保険施設」が76.9%、「本人の家」が23.1%であった。

また、実際の退院患者の退院先をみると、入院（棟）前の状況等が「本人の家」では、退院先は「本人の家」が37.5%、「介護保険施設」が17.5%であった。

図表 2-3-167 【入院患者（介護療養_診療所）】入院（棟）前の状況別の退院先等の見込み



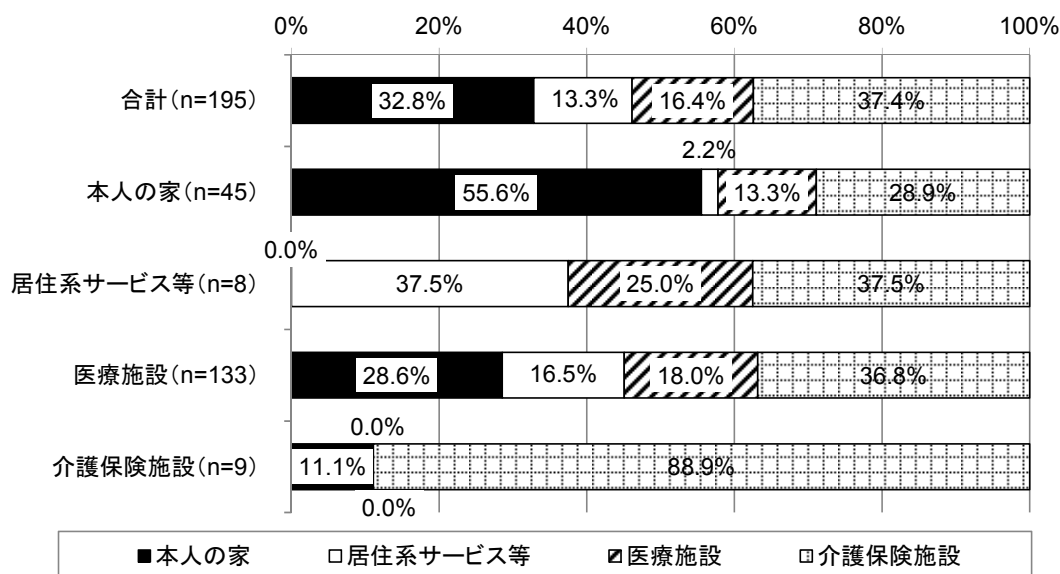
図表 2-3-168 【退院患者（介護療養_診療所）】入院（棟）前の状況別の退院先



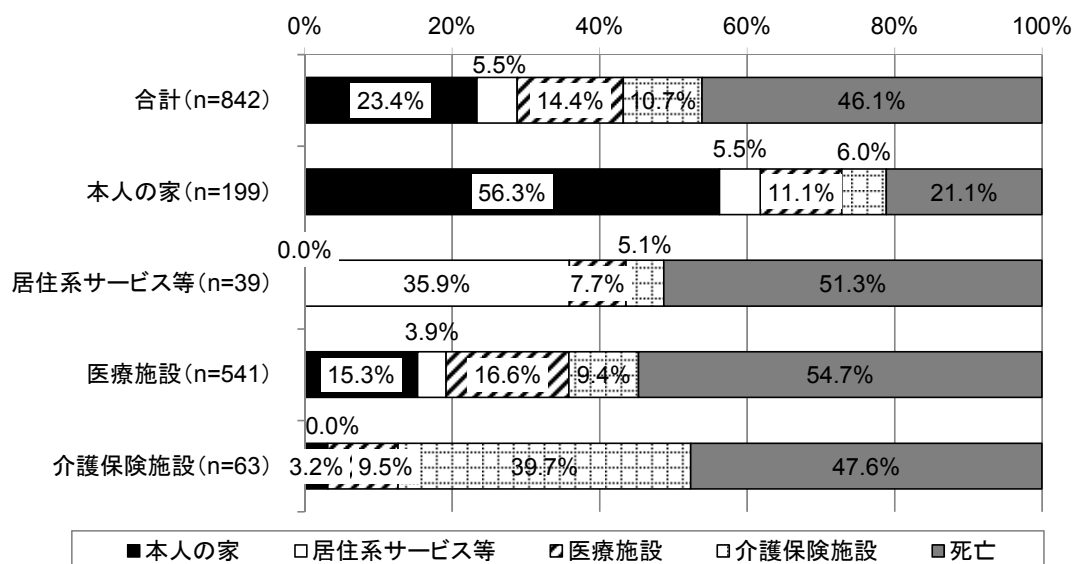
医療療養病床を有する病院の入院（棟）前の状況等と退院先の関係を見ると、入院患者の退院先等の見込みについては、入院（棟）前の状況等が「本人の家」では、退院先等の見込みは「本人の家」が55.6%、「介護保険施設」が28.9%であった。

また、実際の退院患者の退院先をみると、入院（棟）前の状況等が「本人の家」では、退院先は「本人の家」が56.3%、「医療施設」が11.1%であった。

図表 2 - 3 - 169 【入院患者（医療療養_病院）】入院（棟）前の状況別の退院先等の見込み



図表 2 - 3 - 170 【退院患者（医療療養_病院）】入院（棟）前の状況別の退院先

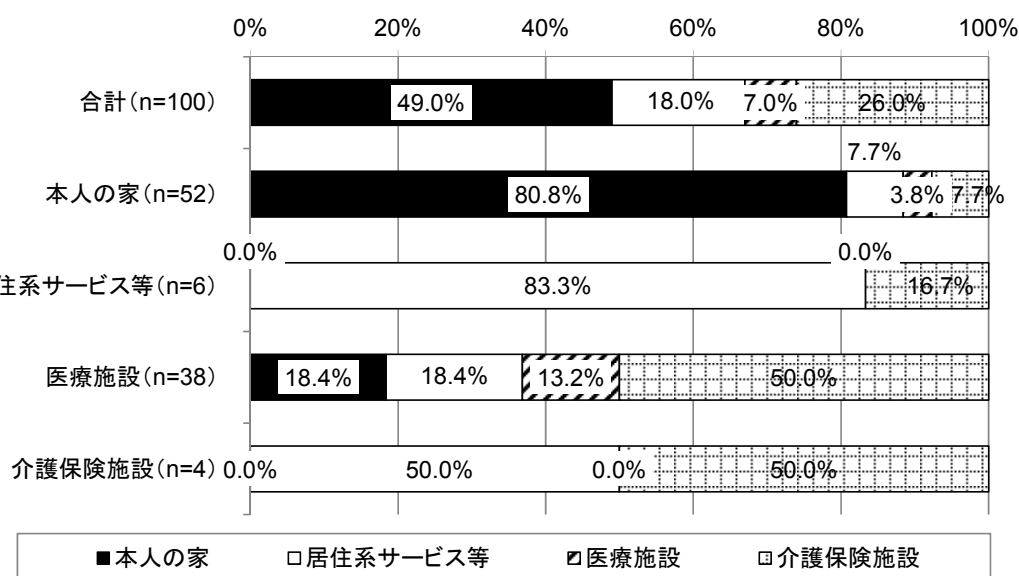


4 退院の状況・見通し

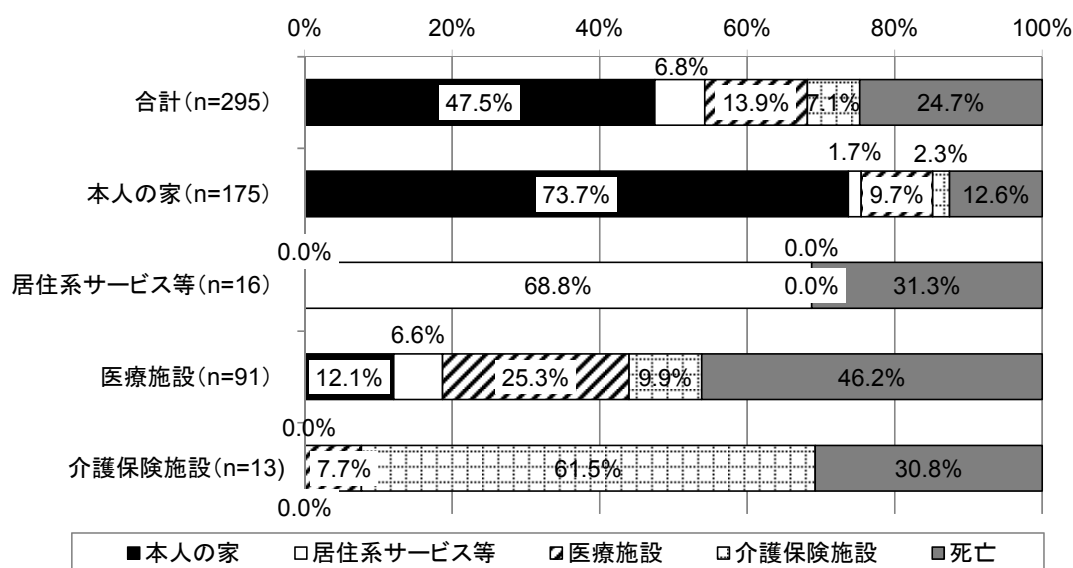
医療療養病床を有する診療所の入院（棟）前の状況等と退院先の関係を見ると、入院患者の退院先等の見込みについては、入院（棟）前の状況等が「本人の家」では、退院先等の見込みは「本人の家」が80.8%、「居住系サービス等」と「介護保険施設」が7.7%であった。

また、実際の退院患者の退院先をみると、入院（棟）前の状況等が「本人の家」では、退院先は「本人の家」が73.7%、「医療施設」が9.7%であった。

図表 2-3-171 【入院患者（医療療養_診療所）】入院（棟）前の状況別の退院先等の見込み



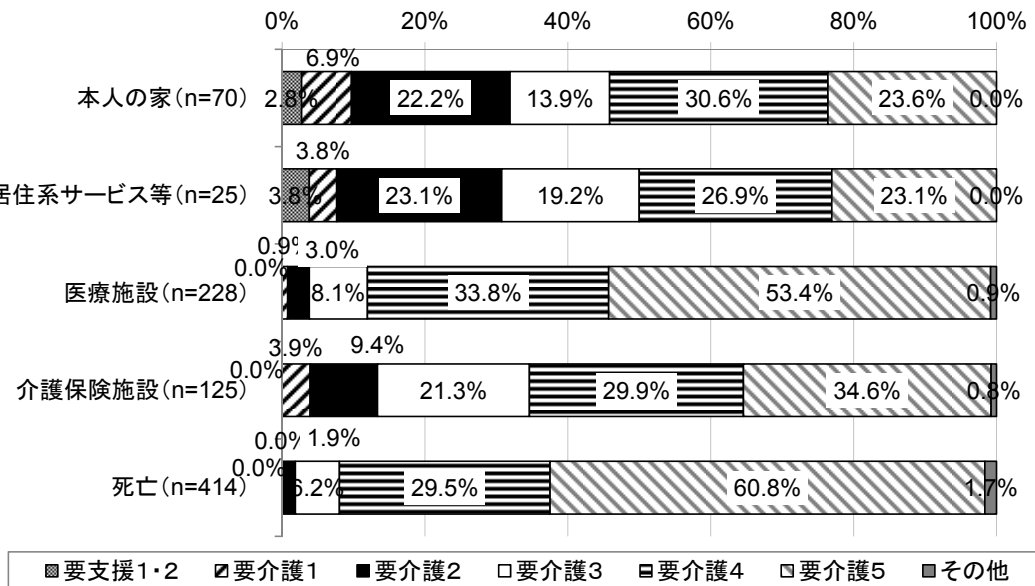
図表 2-3-172 【退院患者（医療療養_診療所）】入院（棟）前の状況別の退院先



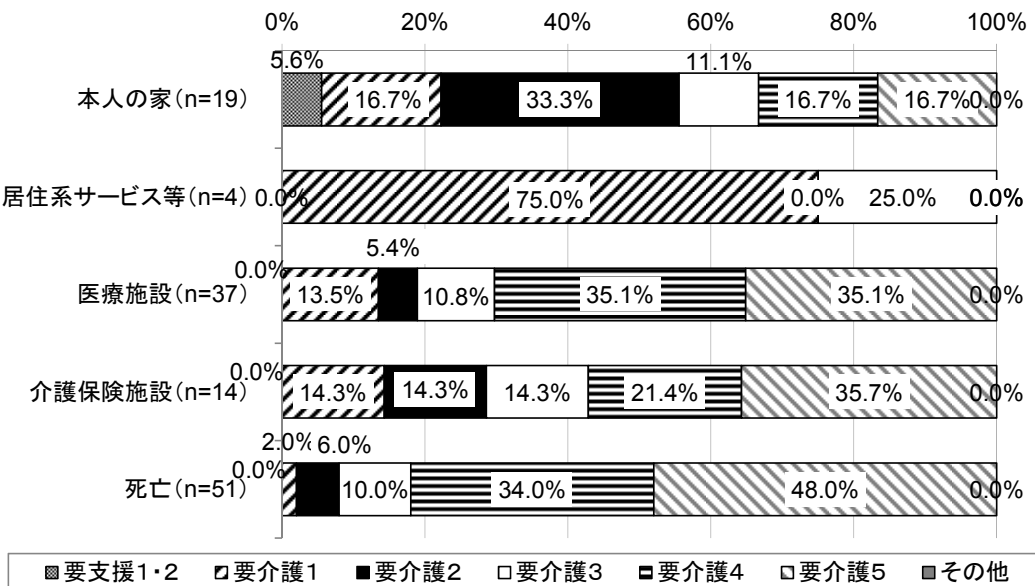
⑤ 「退院先」と「患者の状態」

介護療養型医療施設（病院）の退院患者の退院先別の要介護度は、「退院先」が「本人の家」では、「要介護4以上」が54.2%であった。

図表 2-3-173 【退院患者（介護療養_病院）】退院先別の要介護度



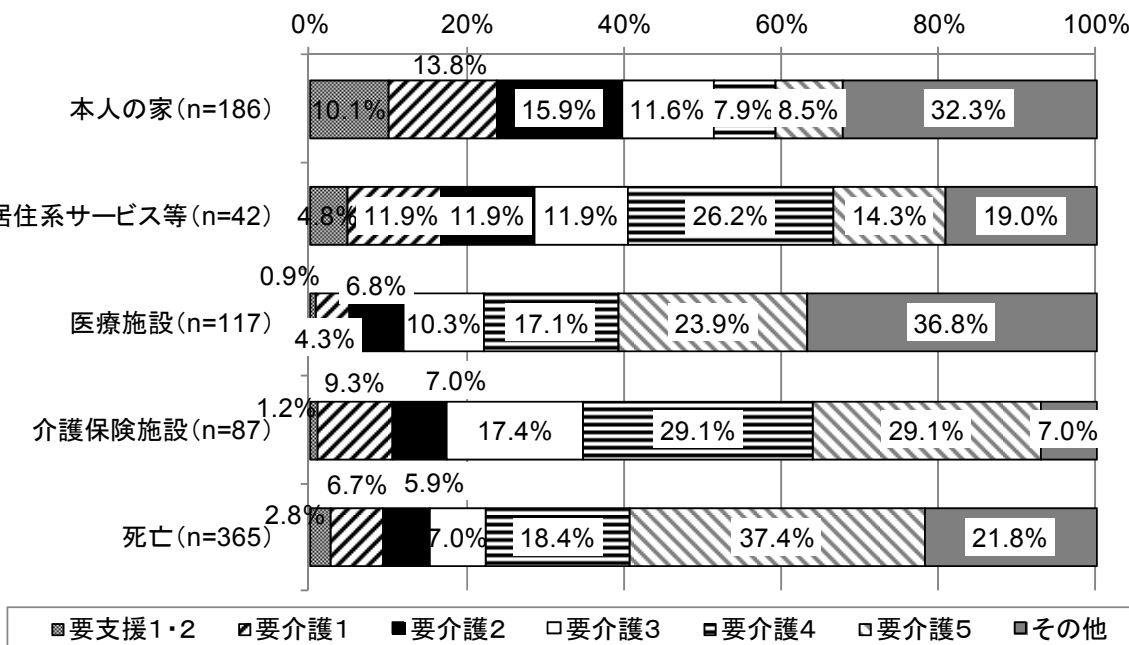
図表 2-3-174 【退院患者（介護療養_診療所）】退院先別の要介護度



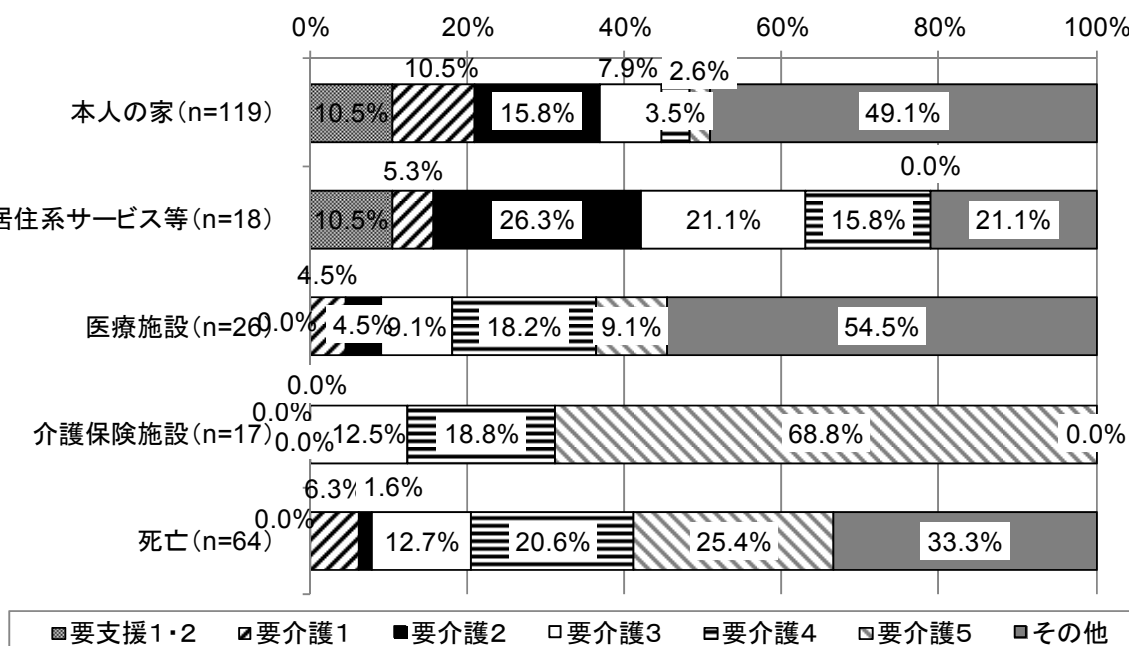
※申請中・未申請・非該当を「その他」として集計。

医療療養病床を有する病院の退院患者の退院先別の要介護度は、「退院先」が「本人の家」では、「要介護4以上」が16.4%であった。また、診療所では「退院先」が「本人の家」では、「要介護4以上」が6.1%であった。

図表 2-3-175 【退院患者（医療療養_病院）】退院先別の要介護度

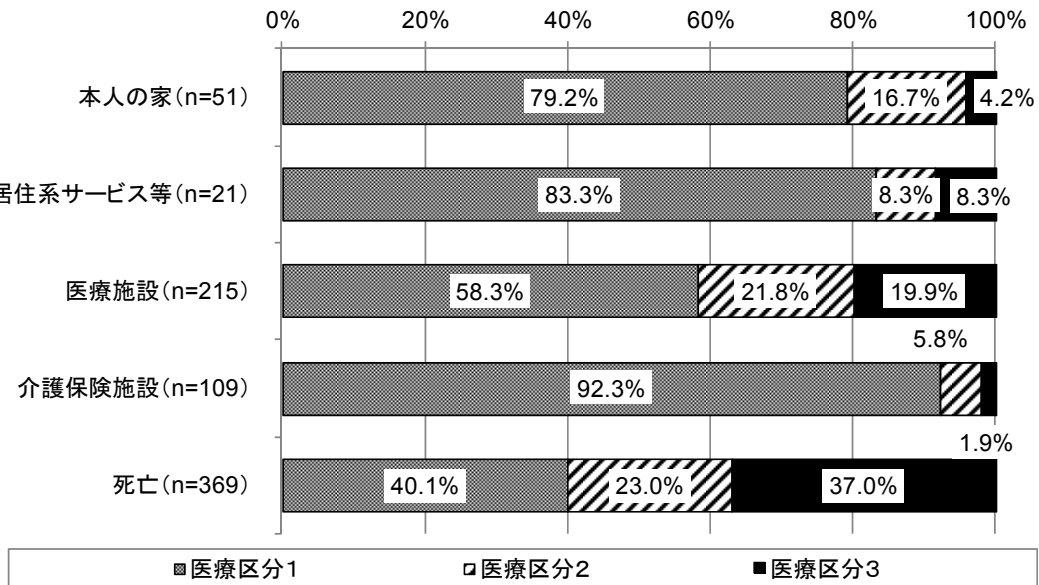


図表 2-3-176 【退院患者（医療療養_診療所）】退院先別の要介護度

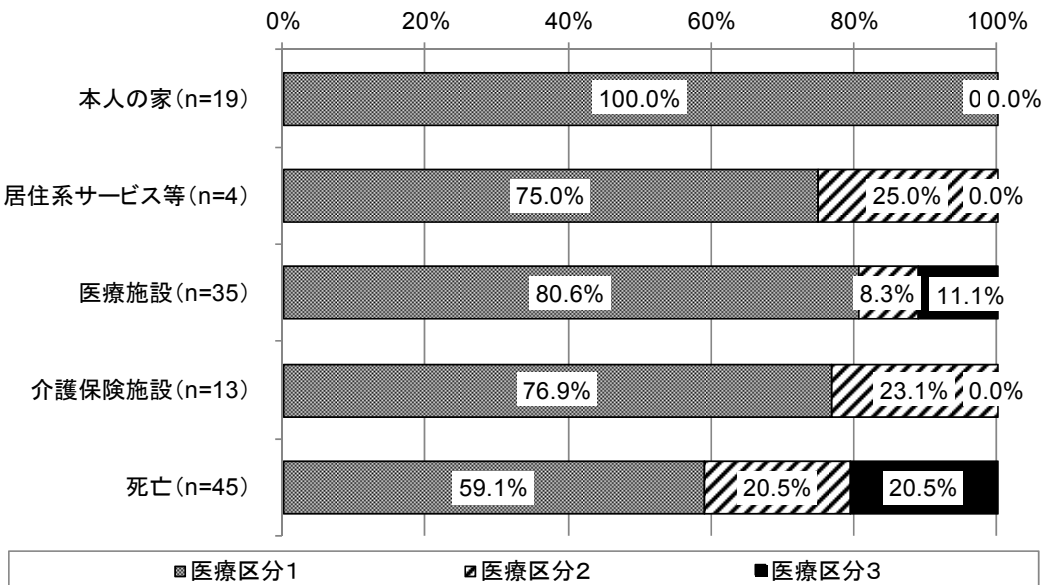


介護療養型医療施設（病院）の退院患者の退院先別の医療区分は、「退院先」が「本人の家」では、「医療区分3」が4.2%であった。

図表 2 - 3 -177 【退院患者（介護療養_病院）】退院先別の医療区分

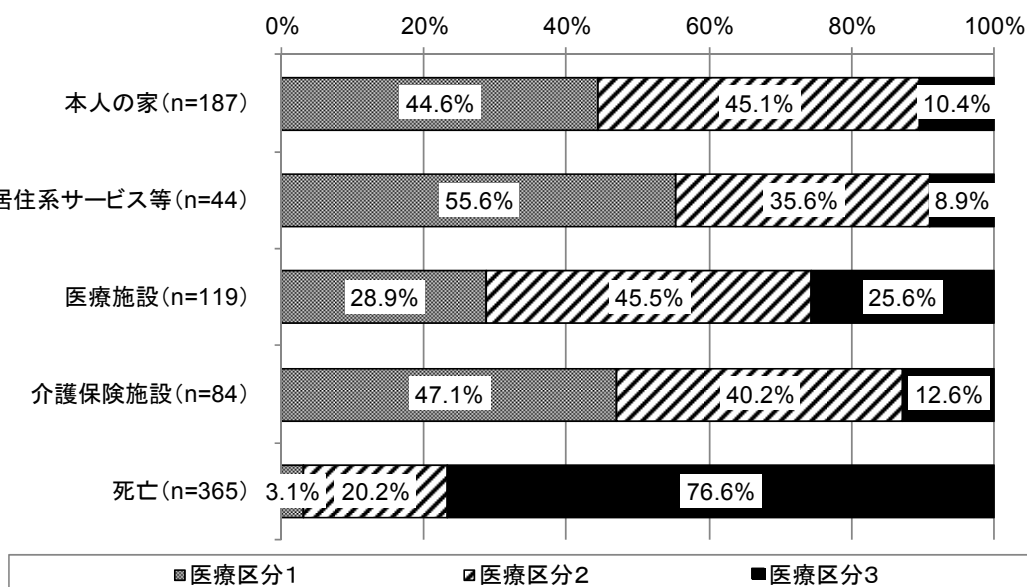


図表 2 - 3 -178 【退院患者（介護療養_診療所）】退院先別の医療区分

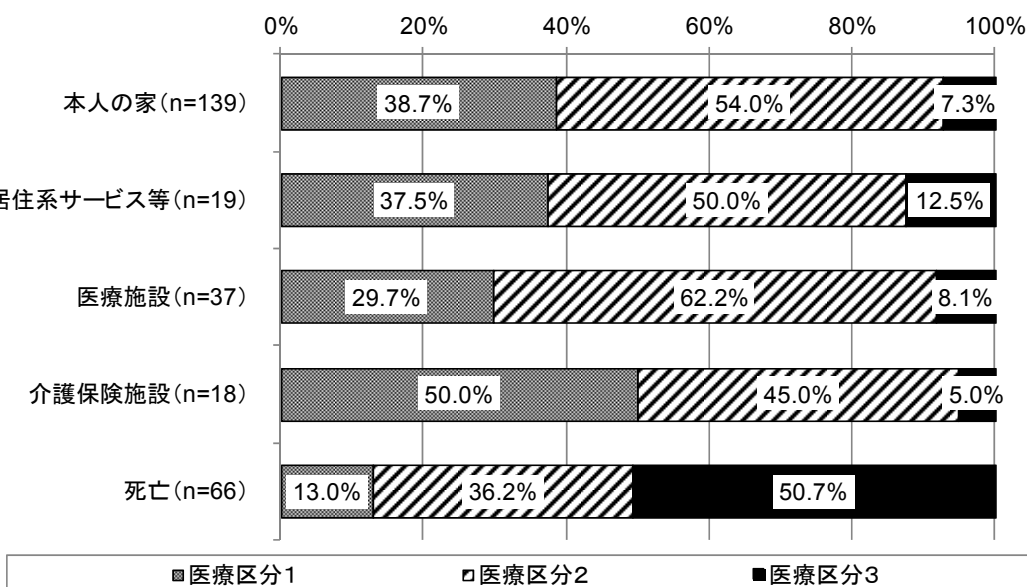


医療療養病床を有する病院の退院患者の退院先別の医療区分は、「退院先」が「本人の家」では、「医療区分3」が10.4%であった。また、診療所では「退院先」が「本人の家」では、「医療区分3」が7.3%であった。

図表 2 - 3 - 179 【退院患者（医療療養_病院）】退院先別の医療区分

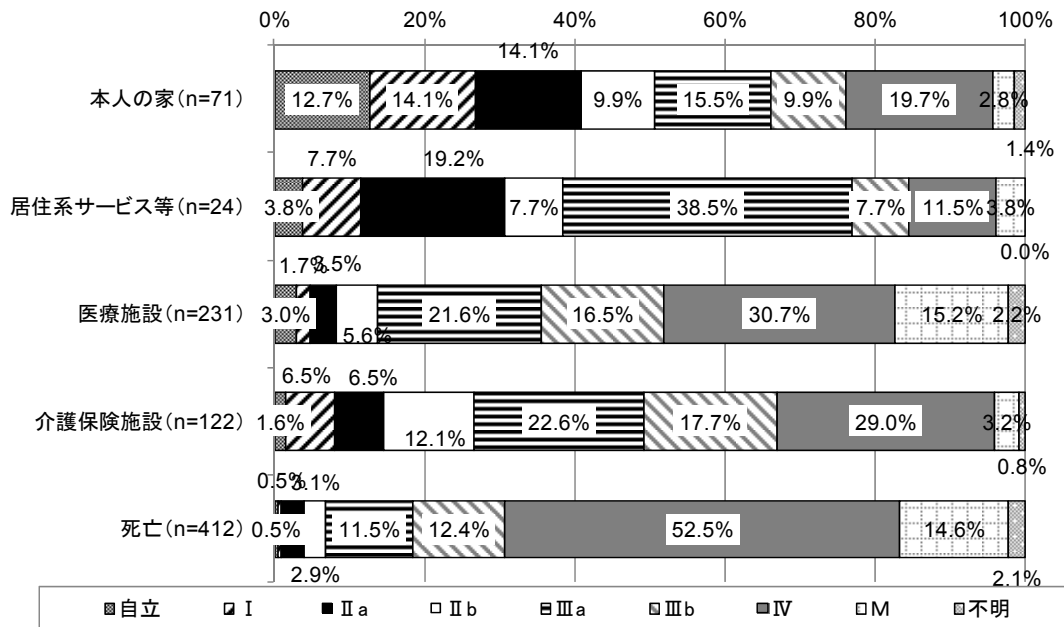


図表 2 - 3 - 180 【退院患者（医療療養_診療所）】退院先別の医療区分

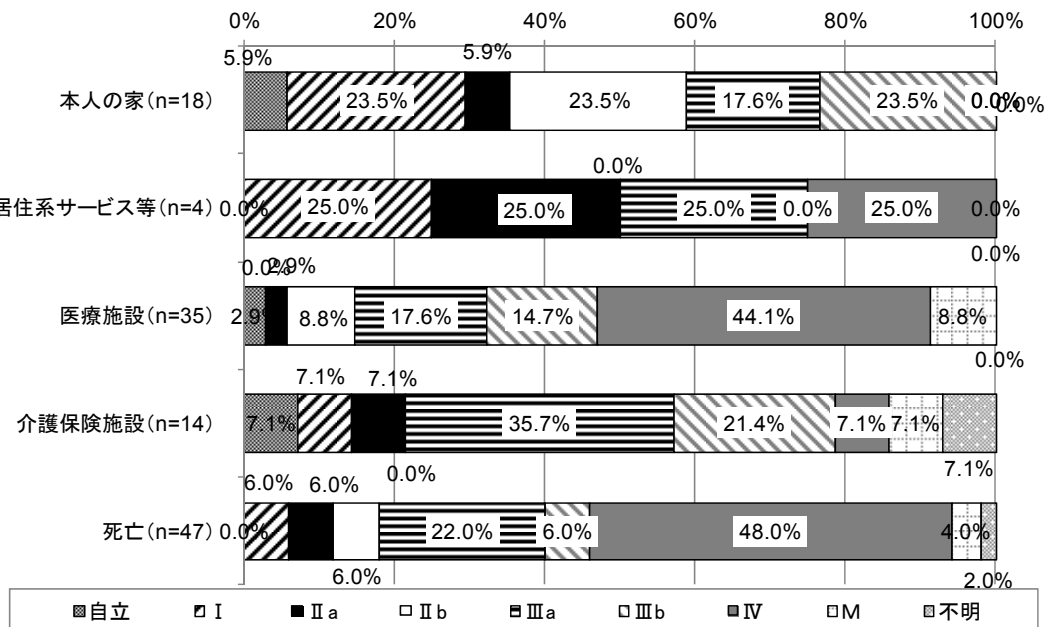


介護療養型医療施設（病院）の退院患者の退院先別の認知症高齢者の日常生活自立度は、「退院先」が「本人の家」では、「IV+M」が22.5%であった。

図表 2-3-181 【退院患者（介護療養_病院）】退院先別の認知症高齢者の日常生活自立度

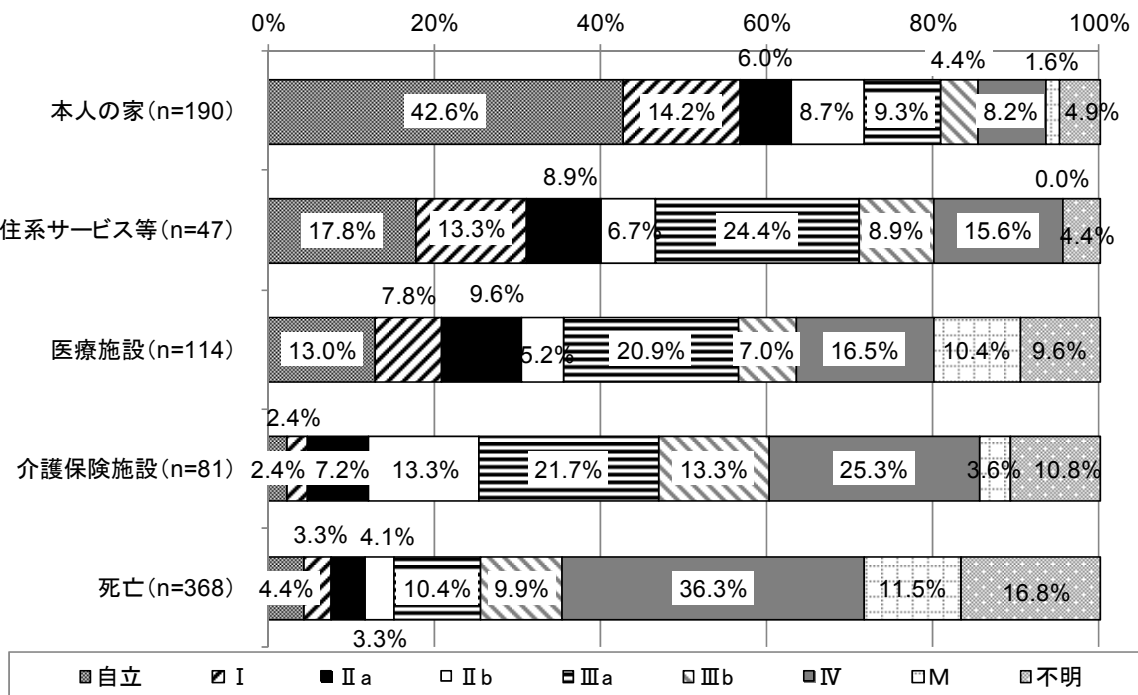


図表 2-3-182 【退院患者（介護療養_診療所）】退院先別の認知症高齢者の日常生活自立度

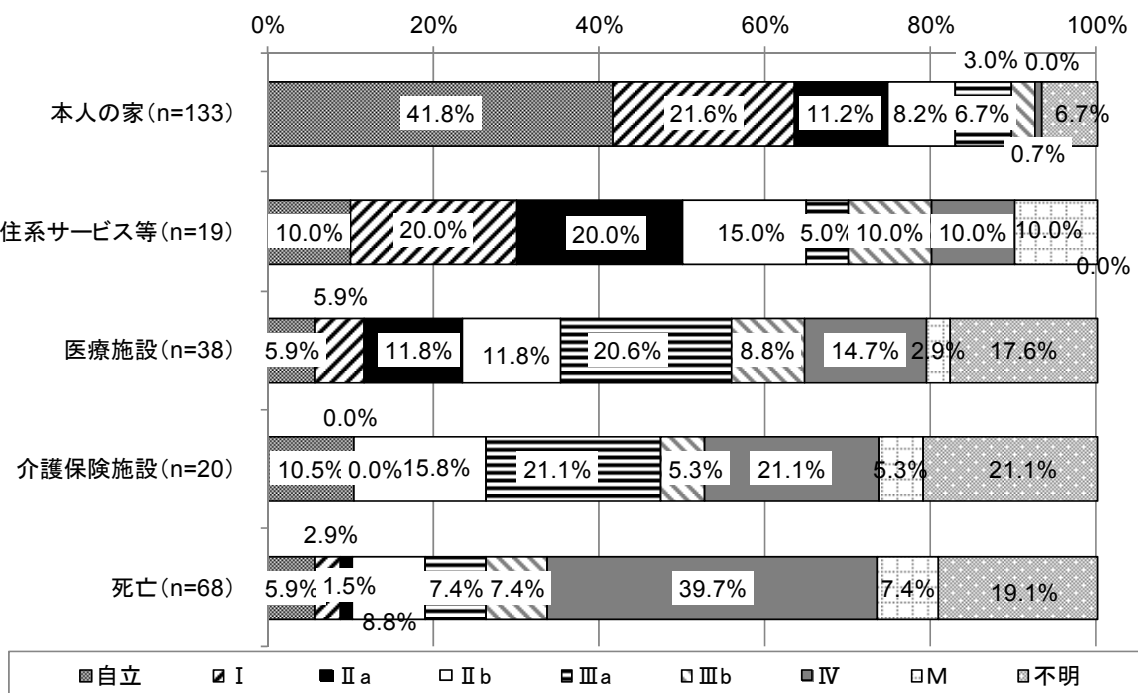


医療療養病床を有する病院の退院患者の退院先別の認知症高齢者の日常生活自立度は、「退院先」が「本人の家」では、「IV+M」が9.8%であった。また、診療所では「退院先」が「本人の家」では、「IV+M」が0.7%であった。

図表 2-3-183 【退院患者（医療療養_病院）】退院先別の認知症高齢者の日常生活自立度



図表 2-3-184 【退院患者（医療療養_診療所）】退院先別の認知症高齢者の日常生活自立度



⑥ 退院先別の傷病

介護療養型医療施設（病院）の退院患者の退院先別の傷病は、「退院先」が「本人の家」では「脳卒中」が44.4%、「高血圧」が34.7%であった。また、医療施設では、「脳卒中」が53.0%、「認知症」が43.2%、介護保険施設では「脳卒中」が56.7%、「認知症」が45.7%であった。

図表 2-3-185 【退院患者（介護療養_病院）】退院先別の傷病

	合計	高血圧	脳卒中	心臓病	糖尿病	高脂血症	呼吸器の病気	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気
本人の家	72	25	32	22	17	9	7	6	11
	100.0%	34.7%	44.4%	30.6%	23.6%	12.5%	9.7%	8.3%	15.3%
居住系サービス等	26	7	9	8	3	0	5	1	2
	100.0%	26.9%	34.6%	30.8%	11.5%	0.0%	19.2%	3.8%	7.7%
医療施設	236	58	125	71	40	8	64	40	30
	100.0%	24.6%	53.0%	30.1%	16.9%	3.4%	27.1%	16.9%	12.7%
介護保険施設	127	46	72	33	20	13	13	18	10
	100.0%	36.2%	56.7%	26.0%	15.7%	10.2%	10.2%	14.2%	7.9%
死亡	423	115	191	150	70	15	105	62	60
	100.0%	27.2%	45.2%	35.5%	16.5%	3.5%	24.8%	14.7%	14.2%

筋骨格系の病気	外傷	がん	血液・免疫の病気	うつ病・精神疾患	認知症	パーキンソン病	目の病気
18	8	10	2	2	21	3	4
25.0%	11.1%	13.9%	2.8%	2.8%	29.2%	4.2%	5.6%
4	6	3	0	6	7	1	1
15.4%	23.1%	11.5%	0.0%	23.1%	26.9%	3.8%	3.8%
32	23	24	4	20	102	6	4
13.6%	9.7%	10.2%	1.7%	8.5%	43.2%	2.5%	1.7%
30	17	7	3	8	58	5	4
23.6%	13.4%	5.5%	2.4%	6.3%	45.7%	3.9%	3.1%
40	29	70	9	15	214	12	12
9.5%	6.9%	16.5%	2.1%	3.5%	50.6%	2.8%	2.8%

耳の病気	歯科疾患	その他の難病	その他	ない	不明
2	0	1	7	0	3
2.8%	0.0%	1.4%	9.7%	0.0%	4.2%
0	0	0	2	0	0
0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%
1	1	2	33	0	0
0.4%	0.4%	0.8%	14.0%	0.0%	0.0%
2	0	3	9	0	0
1.6%	0.0%	2.4%	7.1%	0.0%	0.0%
4	1	5	46	0	5
0.9%	0.2%	1.2%	10.9%	0.0%	1.2%

※網掛けは、選択が多い上位3項目（不明を除く）

4 退院の状況・見通し

介護療養型医療施設（診療所）の退院患者の退院先別の傷病は、「退院先」が「本人の家」では「認知症」が 68.4%、「高血圧」が 36.8%であった。また、医療施設では、「認知症」が 70.3%、「脳卒中」が 56.8%、介護保険施設では「高血圧」が 57.1%、「認知症」が 50.0%であった。

図表 2 - 3 - 186 【退院患者（介護療養_診療所）】退院先別の傷病

	合計	高血圧	脳卒中	心臓病	糖尿病	高脂血症	呼吸器の病気	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気
本人の家	19	7	4	6	2	3	3	4	2
	100.0%	36.8%	21.1%	31.6%	10.5%	15.8%	15.8%	21.1%	10.5%
居住系サービス等	4	2	1	1	0	1	0	1	0
	100.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%
医療施設	37	14	21	12	1	5	7	3	4
	100.0%	37.8%	56.8%	32.4%	2.7%	13.5%	18.9%	8.1%	10.8%
介護保険施設	14	8	6	2	6	0	2	3	4
	100.0%	57.1%	42.9%	14.3%	42.9%	0.0%	14.3%	21.4%	28.6%
死亡	51	16	24	18	5	2	7	6	5
	100.0%	31.4%	47.1%	35.3%	9.8%	3.9%	13.7%	11.8%	9.8%

筋骨格系の病気	外傷	がん	血液・免疫の病気	うつ病・精神疾患	認知症	パーキンソン病	目の病気
8	3	0	1	3	13	0	0
42.1%	15.8%	0.0%	5.3%	15.8%	68.4%	0.0%	0.0%
0	1	0	1	2	2	0	0
0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
9	2	1	2	5	26	1	2
24.3%	5.4%	2.7%	5.4%	13.5%	70.3%	2.7%	5.4%
2	1	1	1	5	7	0	2
14.3%	7.1%	7.1%	7.1%	35.7%	50.0%	0.0%	14.3%
15	0	6	0	4	21	1	0
29.4%	0.0%	11.8%	0.0%	7.8%	41.2%	2.0%	0.0%

耳の病気	歯科疾患	その他の難病	その他	ない	不明
0	0	0	1	0	0
0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%
0	0	0	1	0	0
0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
1	0	0	4	0	0
2.7%	0.0%	0.0%	10.8%	0.0%	0.0%
0	0	0	4	0	0
0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%
0	0	0	3	0	0
0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%

※網掛けは、選択が多い上位 3 項目（不明を除く）

医療療養病床を有する病院の退院患者の退院先別の傷病は、「退院先」が「本人の家」では「高血圧」が34.5%、「心臓病」が32.5%であった。また、医療施設では、「脳卒中」が43.5%、「心臓病」が29.8%、介護保険施設では「高血圧」が48.4%、「脳卒中」が41.8%であった。

図表 2-3-187 【退院患者（医療療養_病院）】退院先別の傷病

	合計	高血圧	脳卒中	心臓病	糖尿病	高脂血症	呼吸器の病気	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気
本人の家	200	69	33	65	46	19	41	36	36
	100.0%	34.5%	16.5%	32.5%	23.0%	9.5%	20.5%	18.0%	18.0%
居住系サービス等	47	15	12	14	11	3	7	5	7
	100.0%	31.9%	25.5%	29.8%	23.4%	6.4%	14.9%	10.6%	14.9%
医療施設	124	36	54	37	31	8	35	33	28
	100.0%	29.0%	43.5%	29.8%	25.0%	6.5%	28.2%	26.6%	22.6%
介護保険施設	91	44	38	31	18	5	23	14	13
	100.0%	48.4%	41.8%	34.1%	19.8%	5.5%	25.3%	15.4%	14.3%
死亡	392	103	157	131	57	24	199	70	68
	100.0%	26.3%	40.1%	33.4%	14.5%	6.1%	50.8%	17.9%	17.3%

筋骨格系の病気	外傷	がん	血液・免疫の病気	うつ病・精神疾患	認知症	パーキンソン病	目の病気
45	37	22	6	15	23	11	14
22.5%	18.5%	11.0%	3.0%	7.5%	11.5%	5.5%	7.0%
14	7	2	0	5	17	1	3
29.8%	14.9%	4.3%	0.0%	10.6%	36.2%	2.1%	6.4%
24	15	16	3	13	34	5	5
19.4%	12.1%	12.9%	2.4%	10.5%	27.4%	4.0%	4.0%
23	8	12	5	12	34	5	7
25.3%	8.8%	13.2%	5.5%	13.2%	37.4%	5.5%	7.7%
38	25	87	26	28	173	23	21
9.7%	6.4%	22.2%	6.6%	7.1%	44.1%	5.9%	5.4%

耳の病気	歯科疾患	その他の難病	その他	ない	不明
6	0	7	20	0	1
3.0%	0.0%	3.5%	10.0%	0.0%	0.5%
1	0	2	4	0	0
2.1%	0.0%	4.3%	8.5%	0.0%	0.0%
2	0	7	18	0	0
1.6%	0.0%	5.6%	14.5%	0.0%	0.0%
0	0	1	10	1	2
0.0%	0.0%	1.1%	11.0%	1.1%	2.2%
1	1	8	40	0	1
0.3%	0.3%	2.0%	10.2%	0.0%	0.3%

※網掛けは、選択が多い上位3項目（不明を除く）

4 退院の状況・見直し

医療療養病床を有する診療所の退院患者の退院先別の傷病は、「退院先」が「本人の家」では「高血圧」が51.7%、「外傷」が29.3%であった。また、医療施設では、「高血圧」が51.2%、「腎臓・前立腺の病気」が43.9%、介護保険施設では「高血圧」と「認知症」が57.1%であった。

図表 2-3-188 【退院患者（医療療養_診療所）】退院先別の傷病

	合計	高血圧	脳卒中	心臓病	糖尿病	高脂血症	呼吸器の病気	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気
本人の家	147	76	25	34	38	30	26	34	34
	100.0%	51.7%	17.0%	23.1%	25.9%	20.4%	17.7%	23.1%	23.1%
居住系サービス等	20	11	3	4	3	4	7	6	4
	100.0%	55.0%	15.0%	20.0%	15.0%	20.0%	35.0%	30.0%	20.0%
医療施設	41	21	14	14	11	4	12	16	18
	100.0%	51.2%	34.1%	34.1%	26.8%	9.8%	29.3%	39.0%	43.9%
介護保険施設	21	12	11	7	5	1	7	6	2
	100.0%	57.1%	52.4%	33.3%	23.8%	4.8%	33.3%	28.6%	9.5%
死亡	74	30	30	33	15	8	29	16	22
	100.0%	40.5%	40.5%	44.6%	20.3%	10.8%	39.2%	21.6%	29.7%

筋骨格系の病気	外傷	がん	血液・免疫の病気	うつ病・精神疾患	認知症	パーキンソン病	目の病気
42	43	7	1	9	13	3	19
28.6%	29.3%	4.8%	0.7%	6.1%	8.8%	2.0%	12.9%
2	3	3	0	8	9	5	2
10.0%	15.0%	15.0%	0.0%	40.0%	45.0%	25.0%	10.0%
5	7	5	2	7	17	2	4
12.2%	17.1%	12.2%	4.9%	17.1%	41.5%	4.9%	9.8%
3	3	0	0	2	12	2	0
14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	9.5%	57.1%	9.5%	0.0%
8	8	16	4	8	36	2	2
10.8%	10.8%	21.6%	5.4%	10.8%	48.6%	2.7%	2.7%

耳の病気	歯科疾患	その他の難病	その他	ない	不明
4	0	1	16	0	2
2.7%	0.0%	0.7%	10.9%	0.0%	1.4%
0	0	1	0	0	0
0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2	0	1	5	0	0
0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%
1	0	0	0	0	0
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0	0	1	7	0	0
0.0%	0.0%	1.4%	9.5%	0.0%	0.0%

※網掛けは、選択が多い上位3項目（不明を除く）

⑦ 退院先別の検査・処置の実施状況

介護療養型医療施設（病院）の退院患者の退院先別の検査・処置の実施状況は、「退院先」が「本人の家」では「血液・生化学検査」が23.6%、「尿検査」が11.1%であった。また、医療施設では、「血液・生化学検査」が56.4%、「単純エックス線撮影」が39.8%、介護保険施設では「血液・生化学検査」が36.2%、「尿検査」が17.3%であった。

図表 2-3-189 【退院患者（介護療養_病院）】退院先別の検査・処置の実施状況（複数回答）

	合計	尿検査	糞便検査	血液・生化学検査	培養検査	呼吸機能検査	心電図検査	超音波検査	脳波検査
本人の家	72	8	0	17	2	0	4	0	0
	100.0%	11.1%	0.0%	23.6%	2.8%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%
居住系サービス等	26	2	0	8	1	0	1	0	0
	100.0%	7.7%	0.0%	30.8%	3.8%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%
医療施設	236	64	3	133	25	1	28	8	0
	100.0%	27.1%	1.3%	56.4%	10.6%	0.4%	11.9%	3.4%	0.0%
介護保険施設	127	22	1	46	6	0	12	2	0
	100.0%	17.3%	0.8%	36.2%	4.7%	0.0%	9.4%	1.6%	0.0%
死亡	423	56	6	194	29	3	37	3	0
	100.0%	13.2%	1.4%	45.9%	6.9%	0.7%	8.7%	0.7%	0.0%

上部・下部消化管内視鏡検査	気管支鏡検査	喉頭鏡検査	単純エックス線撮影	透視	CT	MRI	ドレーナージ
0	0	0	4	1	1	0	0
0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	1.4%	1.4%	0.0%	0.0%
0	0	0	5	0	1	0	0
0.0%	0.0%	0.0%	19.2%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%
6	0	0	94	1	46	2	1
2.5%	0.0%	0.0%	39.8%	0.4%	19.5%	0.8%	0.4%
0	0	0	12	3	6	0	0
0.0%	0.0%	0.0%	9.4%	2.4%	4.7%	0.0%	0.0%
0	0	0	103	0	31	2	4
0.0%	0.0%	0.0%	24.3%	0.0%	7.3%	0.5%	0.9%

脳室穿刺	胸腔・腹腔穿刺	腰椎穿刺	骨髄穿刺	透析	不明
0	0	0	0	0	54
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%
0	0	0	0	0	17
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	65.4%
0	2	0	1	0	67
0.0%	0.8%	0.0%	0.4%	0.0%	28.4%
0	0	0	0	0	73
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	57.5%
0	0	0	0	0	192
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	45.4%

※網掛けは、選択が多い上位3項目（不明を除く）

4 退院の状況・見通し

介護療養型医療施設（診療所）の退院患者の退院先別の検査・処置の実施状況は、「退院先」が「本人の家」では「血液・生化学検査」が21.1%、「尿検査」と「心電図検査」、「単純エックス線撮影」が5.3%であった。また、医療施設では、「血液・生化学検査」が40.5%、「尿検査」と「心電図検査」、「単純エックス線撮影」が18.9%、介護保険施設では「血液・生化学検査」が57.1%、「単純エックス線撮影」が35.7%であった。

図表 2-3-190 【退院患者（介護療養_診療所）】退院先別の検査・処置の実施状況（複数回答）

	合計	尿検査	糞便検査	血液・生化学検査	培養検査	呼吸機能検査	心電図検査	超音波検査	脳波検査
本人の家	19	1	0	4	0	0	1	0	0
	100.0%	5.3%	0.0%	21.1%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%
居住系サービス等	4	0	0	1	0	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医療施設	37	7	0	15	0	0	7	1	0
	100.0%	18.9%	0.0%	40.5%	0.0%	0.0%	18.9%	2.7%	0.0%
介護保険施設	14	1	0	8	0	0	1	0	0
	100.0%	7.1%	0.0%	57.1%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%
死亡	51	4	0	14	2	0	3	1	0
	100.0%	7.8%	0.0%	27.5%	3.9%	0.0%	5.9%	2.0%	0.0%

上部・下部消化管内視鏡検査	気管支鏡検査	喉頭鏡検査	単純X線撮影	透視	CT	MRI	ドレーナージ
0	0	0	1	0	0	0	0
0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0	0	0	0	0	0	0	0
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1	0	0	7	0	1	0	0
2.7%	0.0%	0.0%	18.9%	0.0%	2.7%	0.0%	0.0%
0	0	0	5	0	0	0	0
0.0%	0.0%	0.0%	35.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1	0	0	5	0	1	0	0
2.0%	0.0%	0.0%	9.8%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%

脳室穿刺	胸腔・腹腔穿刺	腰椎穿刺	骨髄穿刺	透析	不明
0	0	0	0	0	13
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	68.4%
0	0	0	0	0	3
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%
0	0	0	0	0	21
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	56.8%
0	0	0	0	0	6
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%
0	0	0	0	0	34
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%

※網掛けは、選択が多い上位3項目（不明を除く）

4 退院の状況・見直し

医療療養病床を有する病院の退院患者の退院先別の検査・処置の実施状況は、「退院先」が「本人の家」では「血液・生化学検査」が 61.5%、「単純エックス線撮影」が 38.0%であった。また、医療施設では、「血液・生化学検査」が 60.5%、「単純エックス線撮影」が 37.1%、介護保険施設では「血液・生化学検査」が 68.1%、「単純エックス線撮影」が 28.6%であった。

図表 2-3-191 【退院患者（医療療養_病院）】退院先別の検査・処置の実施状況（複数回答）

	合計	尿検査	糞便検査	血液・生化学検査	培養検査	呼吸機能検査	心電図検査	超音波検査	脳波検査
本人の家	200	62	14	123	7	5	48	6	0
	100.0%	31.0%	7.0%	61.5%	3.5%	2.5%	24.0%	3.0%	0.0%
居住系サービス等	47	17	1	29	4	0	6	2	0
	100.0%	36.2%	2.1%	61.7%	8.5%	0.0%	12.8%	4.3%	0.0%
医療施設	124	33	4	75	12	2	19	2	0
	100.0%	26.6%	3.2%	60.5%	9.7%	1.6%	15.3%	1.6%	0.0%
介護保険施設	91	16	1	62	6	1	15	2	0
	100.0%	17.6%	1.1%	68.1%	6.6%	1.1%	16.5%	2.2%	0.0%
死亡	392	95	9	257	60	3	63	6	0
	100.0%	24.2%	2.3%	65.6%	15.3%	0.8%	16.1%	1.5%	0.0%

上部・下部消化管内視鏡検査	気管支鏡検査	喉頭鏡検査	単純エックス線撮影	透視	CT	MRI	ドレーナージ
5	0	0	76	0	45	4	0
2.5%	0.0%	0.0%	38.0%	0.0%	22.5%	2.0%	0.0%
0	1	0	13	0	7	1	0
0.0%	2.1%	0.0%	27.7%	0.0%	14.9%	2.1%	0.0%
2	0	0	46	1	25	0	2
1.6%	0.0%	0.0%	37.1%	0.8%	20.2%	0.0%	1.6%
1	0	0	26	0	15	4	0
1.1%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	16.5%	4.4%	0.0%
1	0	0	153	0	84	0	2
0.3%	0.0%	0.0%	39.0%	0.0%	21.4%	0.0%	0.5%

脳室穿刺	胸腔・腹腔穿刺	腰椎穿刺	骨髄穿刺	透析	不明
0	0	0	0	11	44
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.5%	22.0%
0	0	0	0	2	13
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	27.7%
0	0	0	0	9	36
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.3%	29.0%
0	0	0	0	0	21
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	23.1%
0	1	0	1	9	102
0.0%	0.3%	0.0%	0.3%	2.3%	26.0%

※網掛けは、選択が多い上位3項目（不明を除く）

医療療養病床を有する診療所の退院患者の退院先別の検査・処置の実施状況は、「退院先」が「本人の家」では「血液・生化学検査」が46.9%、「単純エックス線撮影」が32.7%であった。また、医療施設では、「血液・生化学検査」が43.9%、「単純エックス線撮影」が26.8%、介護保険施設では「血液・生化学検査」が38.1%、「尿検査」が23.8%であった。

図表 2-3-192 【退院患者（医療療養_診療所）】退院先別の検査・処置の実施状況
（複数回答）

	合計	尿検査	糞便検査	血液・生化学検査	培養検査	呼吸機能検査	心電図検査	超音波検査	脳波検査
本人の家	147	20	4	69	2	0	44	6	0
	100.0%	13.6%	2.7%	46.9%	1.4%	0.0%	29.9%	4.1%	0.0%
居住系サービス等	20	8	0	10	0	0	7	1	0
	100.0%	40.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	35.0%	5.0%	0.0%
医療施設	41	5	1	18	2	0	8	3	0
	100.0%	12.2%	2.4%	43.9%	4.9%	0.0%	19.5%	7.3%	0.0%
介護保険施設	21	5	1	8	1	0	2	0	0
	100.0%	23.8%	4.8%	38.1%	4.8%	0.0%	9.5%	0.0%	0.0%
死亡	74	19	1	35	6	0	20	0	0
	100.0%	25.7%	1.4%	47.3%	8.1%	0.0%	27.0%	0.0%	0.0%

上部・下部消化管内視鏡検査	気管支鏡検査	喉頭鏡検査	単純エックス線撮影	透視	CT	MRI	ドレナージ
1	0	0	48	0	17	0	0
0.7%	0.0%	0.0%	32.7%	0.0%	11.6%	0.0%	0.0%
0	0	0	4	0	6	0	0
0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	30.0%	0.0%	0.0%
2	0	0	11	0	2	0	0
4.9%	0.0%	0.0%	26.8%	0.0%	4.9%	0.0%	0.0%
0	0	0	3	0	0	0	0
0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0	0	0	17	0	12	0	0
0.0%	0.0%	0.0%	23.0%	0.0%	16.2%	0.0%	0.0%

脳室穿刺	胸腔・腹腔穿刺	腰椎穿刺	骨髄穿刺	透析	不明
0	0	0	0	21	67
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	45.6%
0	1	0	0	1	9
0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	5.0%	45.0%
0	0	0	0	8	19
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	19.5%	46.3%
0	0	0	0	2	13
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.5%	61.9%
0	0	0	0	7	36
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.5%	48.6%

※網掛けは、選択が多い上位3項目（不明を除く）

⑧ 入院期間と退院先

退院患者の退院先別の入院期間の平均は、「退院先」が「本人の家」では、介護療養型医療施設の病院が 64.1 日、診療所が 97.4 日、医療療養病床を有する医療施設の病院が 53.6 日、診療所が 38.2 日であった。

図表 2-3-193 【退院患者（介護療養_病院）】退院先別の入院期間（基本統計量）

	件数（件）	平均（日）	中央値（日）	標準偏差（日）
介護療養_病院（合計）	871	447.6	145.0	745.0
【退院先】	—	—	—	—
本人の家	71	64.1	12.0	157.8
居住系サービス等	26	434.2	87.5	922.5
医療施設	227	392.4	146.0	628.5
介護保険施設	126	292.3	120.5	435.1
死亡	421	589.3	229.0	876.5

図表 2-3-194 【退院患者（介護療養_診療所）】退院先別の入院期間（基本統計量）

	件数（件）	平均（日）	中央値（日）	標準偏差（日）
介護療養_診療所（合計）	125	385.8	147.0	665.3
【退院先】	—	—	—	—
本人の家	19	97.4	53.0	129.5
居住系サービス等	4	115.0	74.5	113.9
医療施設	37	278.5	147.0	391.3
介護保険施設	14	125.4	101.0	131.5
死亡	51	664.0	306.0	905.8

図表 2-3-195 【退院患者（医療療養_病院）】退院先別の入院期間（基本統計量）

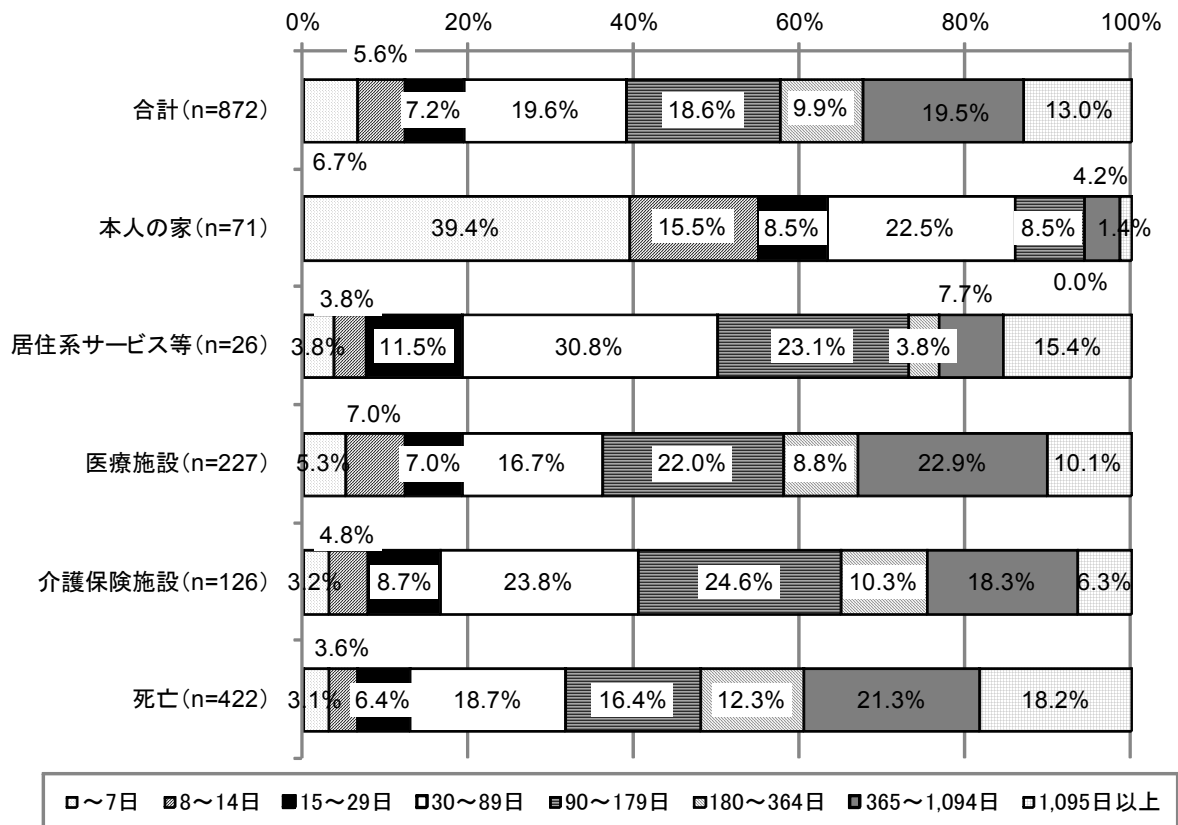
	件数（件）	平均（日）	中央値（日）	標準偏差（日）
医療療養_病院（合計）	837	223.9	68.0	481.2
【退院先】	—	—	—	—
本人の家	197	53.6	30.0	75.0
居住系サービス等	45	182.6	87.0	263.5
医療施設	118	251.8	82.5	498.4
介護保険施設	89	150.3	58.0	334.9
死亡	388	323.4	96.5	607.0

図表 2-3-196 【退院患者（医療療養_診療所）】退院先別の入院期間（基本統計量）

	件数（件）	平均（日）	中央値（日）	標準偏差（日）
医療療養_診療所（合計）	297	155.0	30.0	479.0
【退院先】	—	—	—	—
本人の家	145	38.2	18.0	71.0
居住系サービス等	19	178.5	26.0	428.1
医療施設	39	80.5	33.0	141.8
介護保険施設	21	81.2	48.0	127.9
死亡	73	441.8	87.0	863.9

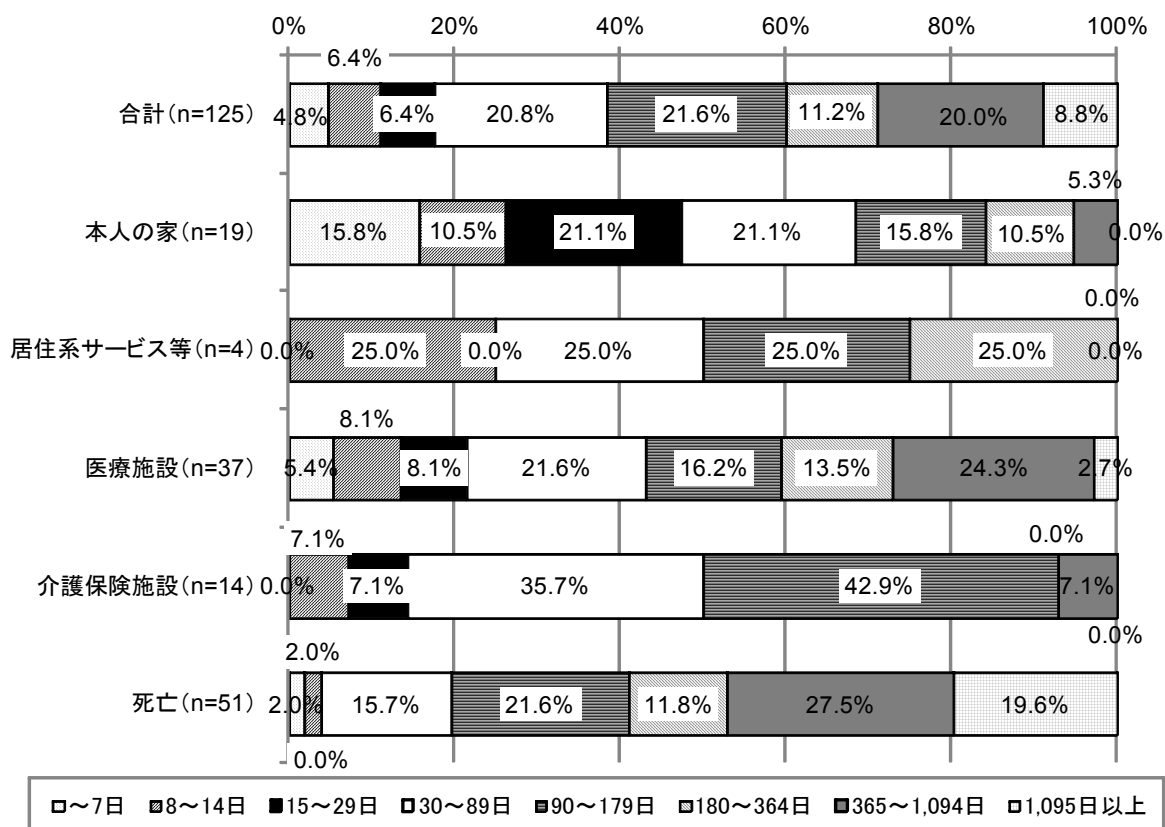
介護療養型医療施設（病院）の退院患者の退院先別の入院期間は、「退院先」が「本人の家」では「～7日」が39.4%、「8～14日」が15.5%であった。また、医療施設では、「365～1,094日」が22.9%、「90～179日」が22.0%、介護保険施設では「90～179日」が24.6%、「30～89日」が23.8%であった。

図表 2 - 3 - 197 【退院患者（介護療養_病院）】退院先別の入院期間



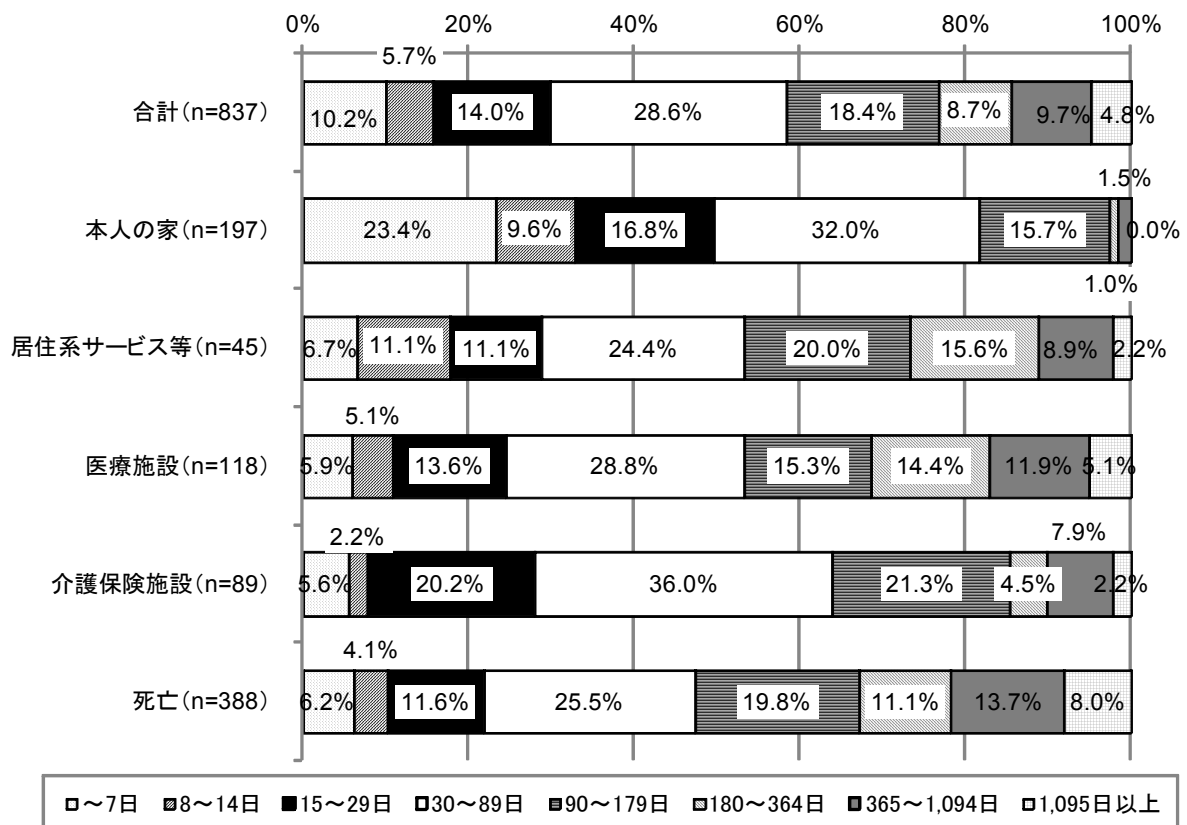
介護療養型医療施設（診療所）の退院患者の退院先別の入院期間は、「退院先」が「本人の家」では「15～29日」と「30～89日」が21.1%であった。また、医療施設では、「365～1,094日」が24.3%、「30～89日」が21.6%、介護保険施設では「90～179日」が42.9%、「30～89日」が35.7%であった。

図表 2 - 3 - 198 【退院患者（介護療養_診療所）】退院先別の入院期間



医療療養病床を有する病院の退院患者の退院先別の入院期間は、「退院先」が「本人の家」では「30～89日」が32.0%、「～7日」が29.4%であった。また、医療施設では、「30～89日」が28.8%、「90～179日」が15.3%、介護保険施設では「30～89日」が36.0%、「90～179日」が21.3%であった。

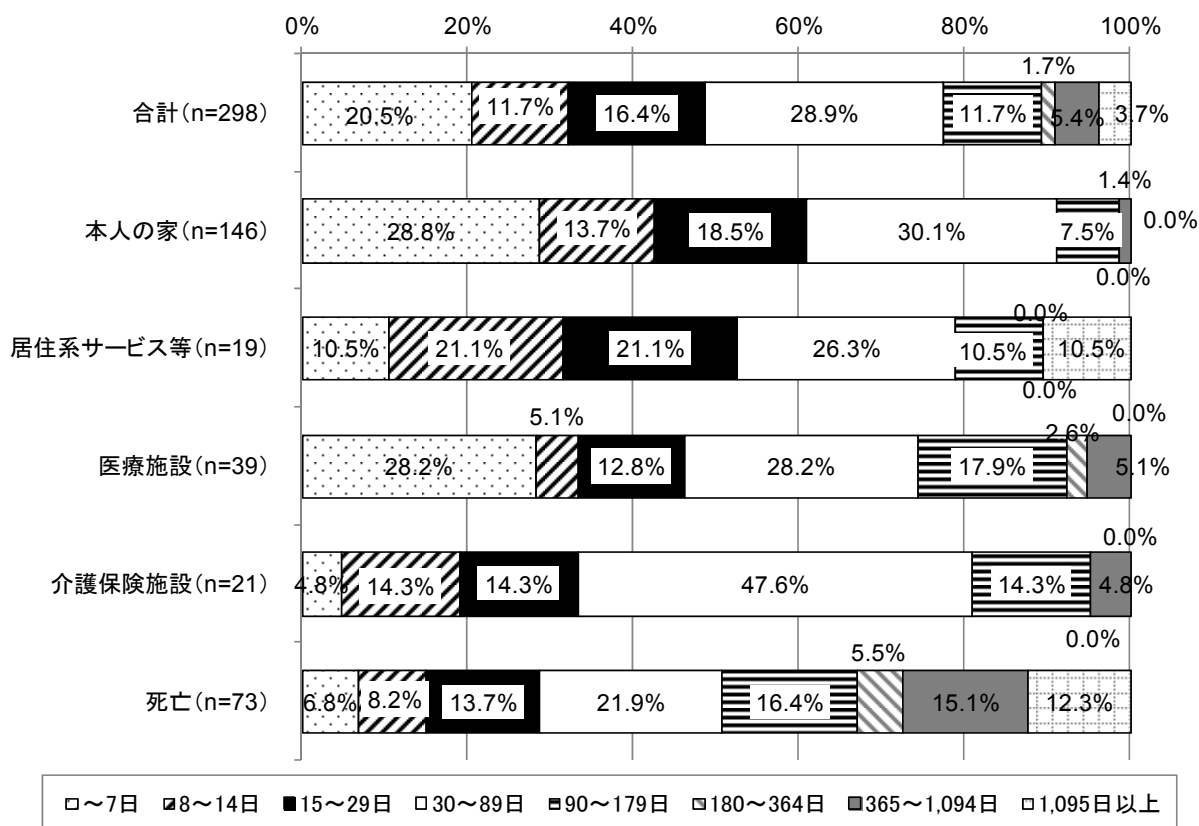
図表 2-3-199 【退院患者（医療療養_病院）】退院先別の入院期間



4 退院の状況・見通し

医療療養病床を有する診療所の退院患者の退院先別の入院期間は、「退院先」が「本人の家」では「30～89日」が30.1%、「～7日」が28.8%であった。また、医療施設では、「～7日」と「30～89日」が28.2%、介護保険施設では「30～89日」が47.6%であった。

図表 2 - 3 - 200 【退院患者（医療療養_診療所）】退院先別の入院期間



⑨ 「退院は困難」である理由（入院患者）

入院患者について、「退院は困難」である理由をみると、介護療養型医療施設の病院では「在宅支援体制が整っていないため」が38.3%、「治療中のため」が22.3%であった。介護療養型医療施設では「在宅支援体制が整っていないため」が「治療中のため」よりも、医療療養病床を有する医療施設では「治療中のため」が「在宅支援体制が整っていないため」よりも多かった。

また、介護療養型医療施設について、療養機能強化型の届出の状況別にみると、病院（療養機能強化型A）は「在宅支援体制が整っていないため」が40.9%、「ターミナルため」が26.8%であった。

図表 2-3-201 【入院患者】「退院は困難」である理由

	合計	治療中のため	在宅支援体制が整っていないため	施設の入所待ちのため	ターミナルのため	その他	不明
介護療養(病院)	913	204	350	49	170	86	54
	100.0%	22.3%	38.3%	5.4%	18.6%	9.4%	5.9%
介護療養(診療所)	468	64	217	22	50	64	51
	100.0%	13.7%	46.4%	4.7%	10.7%	13.7%	10.9%
老人性認知症疾患療養病棟	13	10	0	3	0	0	0
	100.0%	76.9%	0.0%	23.1%	0.0%	0.0%	0.0%
医療療養(病院)	753	303	193	33	81	62	81
	100.0%	40.2%	25.6%	4.4%	10.8%	8.2%	10.8%
医療療養(診療所)	407	169	129	8	39	24	38
	100.0%	41.5%	31.7%	2.0%	9.6%	5.9%	9.3%

図表 2-3-202 【入院患者（介護療養）】「退院は困難」である理由（療養機能強化型の届出の状況別）

	合計	治療中のため	在宅支援体制が整っていないため	施設の入所待ちのため	ターミナルのため	その他	不明
病院(療養機能強化型A)	511	77	209	27	137	35	26
	100.0%	15.1%	40.9%	5.3%	26.8%	6.8%	5.1%
病院(療養機能強化型B)	65	19	25	2	6	3	10
	100.0%	29.2%	38.5%	3.1%	9.2%	4.6%	15.4%
病院(療養機能型以外)	331	106	115	17	27	48	18
	100.0%	32.0%	34.7%	5.1%	8.2%	14.5%	5.4%
診療所(療養機能強化型A)	31	4	9	0	11	3	4
	100.0%	12.9%	29.0%	0.0%	35.5%	9.7%	12.9%
診療所(療養機能強化型B)	29	10	5	1	7	6	0
	100.0%	34.5%	17.2%	3.4%	24.1%	20.7%	0.0%
診療所(療養機能型以外)	356	41	184	18	24	46	43
	100.0%	11.5%	51.7%	5.1%	6.7%	12.9%	12.1%

※網掛けは、選択が多い上位2項目（不明を除く）

4 退院の状況・見通し

医療療養病床を有する医療施設について、「退院は困難」である理由をみると、療養病棟入院基本料 2（その他）では「在宅支援体制が整っていないため」が 48.8%と最も多かった。

図表 2 - 3 -203 【入院患者（医療療養）】「退院は困難」である理由

	合計	治療中のため	在宅支援体制が整っていないため	施設の入所待ちのため	ターミナルのため	その他	不明
療養病棟入院基本料1	536	236	122	24	60	42	52
	100.0%	44.0%	22.8%	4.5%	11.2%	7.8%	9.7%
療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	174	64	50	7	18	16	19
	100.0%	36.8%	28.7%	4.0%	10.3%	9.2%	10.9%
療養病棟入院基本料2(その他)	43	3	21	2	3	4	10
	100.0%	7.0%	48.8%	4.7%	7.0%	9.3%	23.3%
有床診療所療養病床入院基本料	407	169	129	8	39	24	38
	100.0%	41.5%	31.7%	2.0%	9.6%	5.9%	9.3%

※網掛けは、選択が多い上位 2 項目（不明を除く）

⑩ 退院時に予定されていたケアプラン（退院患者）

退院先が「本人の家」のケースについて、退院患者の退院時に予定されていたケアプランは、介護療養型医療施設の病院では「通所介護」が36.1%、「訪問看護」と「短期入所療養介護」が34.7%であった。

図表 2-3-204 【退院患者】退院時に予定されていたケアプラン（退院先が「本人の家」のみ）

	合計	住宅改修	福祉用具貸与	訪問介護	訪問看護	訪問リハ	通所介護	通所リハ	短期入所生活介護
介護療養（病院）	72	6	16	17	25	8	26	13	10
	100.0%	8.3%	22.2%	23.6%	34.7%	11.1%	36.1%	18.1%	13.9%
介護療養（診療所）	19	2	4	3	1	0	2	6	2
	100.0%	10.5%	21.1%	15.8%	5.3%	0.0%	10.5%	31.6%	10.5%
老人性認知症疾患療養病棟	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医療療養（病院）	200	11	39	33	36	9	28	31	12
	100.0%	5.5%	19.5%	16.5%	18.0%	4.5%	14.0%	15.5%	6.0%
医療療養（診療所）	147	1	8	10	18	5	15	13	4
	100.0%	0.7%	5.4%	6.8%	12.2%	3.4%	10.2%	8.8%	2.7%

短期入所療養介護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	その他	なし	把握していない	不明
25	0	0	3	8	1	2
34.7%	0.0%	0.0%	4.2%	11.1%	1.4%	2.8%
2	0	0	1	4	0	1
10.5%	0.0%	0.0%	5.3%	21.1%	0.0%	5.3%
0	0	0	0	0	0	0
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4	3	0	8	73	10	13
2.0%	1.5%	0.0%	4.0%	36.5%	5.0%	6.5%
4	0	0	22	67	15	10
2.7%	0.0%	0.0%	15.0%	45.6%	10.2%	6.8%

※網掛けは、選択が多い上位2項目（その他・なし・把握していない・不明を除く）

4 退院の状況・見通し

退院先が「本人の家」のケースについて、介護療養型医療施設の退院患者の退院時に予定されていたケアプランは、療養機能強化型の届出の状況別にみると、病院（療養機能強化型A）では「訪問看護」が39.1%、「訪問介護」が30.4%であった。また、病院（療養機能強化型B）では「福祉用具貸与」と「短期入所療養介護」が85.7%、病院（療養機能強化型以外）では「通所介護」が50.0%、「短期入所療養介護」が37.5%であった。

図表 2-3-205 【退院患者（介護療養）】退院時に予定されていたケアプラン（退院先が「本人の家」のみ）（療養機能強化型の届出の状況別）

	合計	住宅改修	福祉用具貸与	訪問介護	訪問看護	訪問リハ	通所介護	通所リハ	短期入所生活介護
病院(療養機能強化型A)	23	4	5	7	9	5	5	4	1
	100.0%	17.4%	21.7%	30.4%	39.1%	21.7%	21.7%	17.4%	4.3%
病院(療養機能強化型B)	7	1	6	5	4	1	0	0	0
	100.0%	14.3%	85.7%	71.4%	57.1%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
病院(療養機能強化型以外)	40	1	5	5	11	1	20	8	9
	100.0%	2.5%	12.5%	12.5%	27.5%	2.5%	50.0%	20.0%	22.5%
診療所(療養機能強化型A)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
診療所(療養機能強化型B)	1	0	0	1	0	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
診療所(療養機能強化型以外)	17	2	4	1	1	0	2	6	1
	100.0%	11.8%	23.5%	5.9%	5.9%	0.0%	11.8%	35.3%	5.9%

短期入所療養介護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	その他	なし	把握していない	不明
3	0	0	1	3	1	0
13.0%	0.0%	0.0%	4.3%	13.0%	4.3%	0.0%
6	0	0	0	0	0	0
85.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
15	0	0	2	5	0	2
37.5%	0.0%	0.0%	5.0%	12.5%	0.0%	5.0%
0	0	0	0	0	0	0
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0	0	0	0	0	0	0
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2	0	0	1	4	0	1
11.8%	0.0%	0.0%	5.9%	23.5%	0.0%	5.9%

※網掛けは、選択が多い上位2項目（その他・なし・把握していない・不明を除く）

退院先が「本人の家」のケースについて、医療療養病床を有する医療施設の退院患者の退院時に予定されていたケアプランは、療養病棟入院基本料1では「福祉用具貸与」が23.0%、「訪問看護」が22.2%、療養病棟入院基本料2（看護配置2.5:1以上、医療区分2・3の患者5割以上）では「福祉用具貸与」が20.0%、「訪問介護」と「訪問看護」、「通所リハ」が14.0%、療養病棟入院基本料2（その他）では「訪問介護」が20.8%、「通所リハ」が16.7%、有床診療所療養病床入院基本料では「訪問看護」が12.2%であった。

図表2-3-206 【退院患者（医療療養）】退院時に予定されていたケアプラン（退院先が「本人の家」のみ）

	合計	住宅改修	福祉用具貸与	訪問介護	訪問看護	訪問リハ	通所介護	通所リハ	短期入所生活介護
医療療養 療養病棟入院基本料1	126	8	29	21	28	8	20	20	7
	100.0%	6.3%	23.0%	16.7%	22.2%	6.3%	15.9%	15.9%	5.6%
医療療養 療養病棟入院基本料2(看護配置2.5:1以上、医療区分2・3の患者5割以上)	50	3	10	7	7	1	5	7	4
	100.0%	6.0%	20.0%	14.0%	14.0%	2.0%	10.0%	14.0%	8.0%
医療療養 療養病棟入院基本料2(その他)	24	0	0	5	1	0	3	4	1
	100.0%	0.0%	0.0%	20.8%	4.2%	0.0%	12.5%	16.7%	4.2%
医療療養 有床診療所療養病床入院基本料	147	1	8	10	18	5	15	13	4
	100.0%	0.7%	5.4%	6.8%	12.2%	3.4%	10.2%	8.8%	2.7%

短期入所療養介護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	その他	なし	把握していない	不明
3	1	0	3	44	5	6
2.4%	0.8%	0.0%	2.4%	34.9%	4.0%	4.8%
1	1	0	3	22	4	3
2.0%	2.0%	0.0%	6.0%	44.0%	8.0%	6.0%
0	1	0	2	7	1	4
0.0%	4.2%	0.0%	8.3%	29.2%	4.2%	16.7%
4	0	0	22	67	15	10
2.7%	0.0%	0.0%	15.0%	45.6%	10.2%	6.8%

※網掛けは、選択が多い上位2項目（その他・なし・把握していない・不明を除く）

第4節 自治体調査の結果

全国の都道府県、および政令指定都市、中核市を対象とする調査を行った。集計対象数は、下図の通りである。

全ての都道府県、および政令指定都市、中核市から回答を得た。

図表 2-4-1 集計対象数

調査票	集計対象数
都道府県	47
政令指定都市	20
中核市	47

1. 施設数と定員数

平成 28 年 10 月 5 日現在の介護保険施設数と定員数について、都道府県からの回答の合計（全国計）は、以下の図表の通りである。

なお、平成 29 年度末にかけて、介護老人福祉施設（地域密着型含む）の定員数は+51,898 人（+8.9%）、介護老人保健施設の定員数は+15,143 人（+4.1%）であった。

図表 2-4-2 施設数と定員数

		①H28.10.5現在		②H29年度末時点		②-①	
		都道府県	政令市・中核市	都道府県	政令市・中核市	都道府県	政令市・中核市
施設数 (施設)	介護老人福祉施設	7,660	2,136	-	-	-	-
	地域密着型介護老人福祉施設	1,986	587	-	-	-	-
	介護老人保健施設	4,226	1,308	-	-	-	-
	うち、認知症専門棟を持つ老健	998	313	-	-	-	-
	介護療養型医療施設			-	-	-	-
	介護療養病床	1,326	427	-	-	-	-
	老人性認知症疾患療養病棟	26	9	-	-	-	-
定員数 (人)	介護老人福祉施設	532,093	164,600	633,570	193,523	51,898	14,081
	地域密着型介護老人福祉施設	49,579	14,842				
	介護老人保健施設	370,471	121,256	385,614	125,551	15,143	4,295
	うち、認知症専門棟を持つ老健	42,819	13,394	-	-	-	-
	介護療養型医療施設			-	-	-	-
	介護療養病床	57,591	21,426	-	-	-	-
	老人性認知症疾患療養病棟	2,041	669	-	-	-	-

※ 都道府県の数字には、政令市・中核市の数字が含まれている。

※ 「H29 年度末時点の定員数」が不明の自治体については、H28.10.5 時点の定員数として計算している。

図表 2-4-3 都道府県別・介護療養型医療施設の施設数・定員数（平成28年10月5日現在）

	介護療養病床		老人性認知症疾患療養病棟	
	施設数	定員数	施設数	定員数
北海道	68	3,656	0	0
青森県	14	621	3	224
秋田県	7	413	0	0
岩手県	15	378	0	0
宮城県	10	222	0	0
山形県	7	220	1	48
福島県	17	509	0	0
茨城県	23	795	0	0
栃木県	8	516	0	0
群馬県	12	527	0	0
埼玉県	18	1,294	3	360
千葉県	20	1,219	0	0
神奈川県	32	1,743	1	111
東京都	61	4,814	3	378
山梨県	7	219	0	0
新潟県	22	1,559	0	0
長野県	35	1,093	2	170
富山県	35	1,831	0	0
石川県	21	928	0	0
福井県	19	512	0	0
静岡県	24	1,916	1	52
三重県	16	769	0	0
愛知県	38	2,075	0	0
岐阜県	20	556	0	0
大阪府	36	2,133	1	50
京都府	28	2,863	3	173
滋賀県	5	357	0	0
奈良県	7	681	0	0
和歌山県	17	568	0	0
兵庫県	41	2,049	1	50
岡山県	22	623	1	60
広島県	62	2,541	2	101
山口県	30	1,816	0	0
鳥取県	7	224	1	60
島根県	15	393	0	0
香川県	26	705	0	0
徳島県	42	1,115	0	0
高知県	44	1,936	0	0
愛媛県	29	837	0	0
福岡県	81	3,738	1	60
佐賀県	22	863	0	0
長崎県	52	847	0	0
熊本県	73	2,189	0	0
大分県	45	575	0	0
宮崎県	33	817	1	50
鹿児島県	47	961	1	94
沖縄県	13	375	0	0
合計	1,326	57,591	26	2,041

2. 転換の状況

① 転換に係る情報収集

転換に係る情報収集の件数は、介護療養型医療施設では、静岡県が最も多く 25 件、医療療養病床を有する医療施設では岡山県が最も多く 109 件だった。

図表 2-4-4 転換に係る情報収集

	介護療養	医療療養		介護療養	医療療養		介護療養	医療療養
北海道	2	2	札幌市	1	0	函館市	0	0
青森県	1	0	仙台市	0	0	旭川市	0	0
秋田県	0	0	さいたま市	3	0	青森市	0	0
岩手県	2	2	千葉市	1	0	秋田市	0	0
宮城県	1	0	横浜市	0	0	盛岡市	4	0
山形県	1	0	川崎市	0	0	いわき市	2	0
福島県	0	1	相模原市	0	0	郡山市	0	0
茨城県	0	0	新潟市	0	0	宇都宮市	0	0
栃木県	1	0	静岡市	0	0	高崎市	0	0
群馬県	1	0	浜松市	8	21	前橋市	0	0
埼玉県	0	2	名古屋市	0	0	越谷市	0	0
千葉県	0	0	京都市	0	0	横須賀市	0	0
神奈川県	0	0	大阪市	2	7	八王子市	1	0
東京都	8	0	堺市	0	0	川越市	0	0
山梨県	1	0	神戸市	0	0	柏市	0	0
新潟県	0	0	岡山市	1	0	船橋市	0	0
長野県	0	0	広島市	0	0	長野市	0	0
富山県	0	0	北九州市	2	0	富山市	1	0
石川県	0	0	福岡市	0	0	金沢市	0	0
福井県	0	0	熊本市	24	0	豊橋市	0	0
静岡県	25	92				岡崎市	1	0
三重県	2	0				豊田市	0	0
愛知県	0	0				岐阜市	0	0
岐阜県	0	0				尼崎市	0	0
大阪府	0	1				豊中市	0	0
京都府	0	0				西宮市	3	0
滋賀県	0	0				大津市	0	0
奈良県	7	0				奈良市	0	0
和歌山県	0	0				和歌山市	0	0
兵庫県	4	3				姫路市	0	0
岡山県	22	109				高槻市	0	0
広島県	1	0				枚方市	0	0
山口県	0	0				東大阪市	0	0
鳥取県	2	0				倉敷市	0	0
島根県	2	0				福山市	1	0
香川県	7	2				呉市	1	0
徳島県	0	0				下関市	3	0
高知県	0	0				高松市	0	0
愛媛県	2	4				高知市	0	0
福岡県	1	0				松山市	0	0
佐賀県	0	0				久留米市	0	0
長崎県	1	2				長崎市	2	0
熊本県	2	2				佐世保市	0	0
大分県	0	0				大分市	0	0
宮崎県	2	1				宮崎市	0	0
鹿児島県	0	1				鹿児島市	0	0
沖縄県	13	43				那覇市	0	0

② 転換に係る具体的な相談

転換に係る具体的な相談の件数は、介護療養型医療施設では、山口県が最も多く10件、医療療養病床を有する医療施設では名古屋市が最も多く5件だった。

図表2-4-5 転換に係る具体的な相談

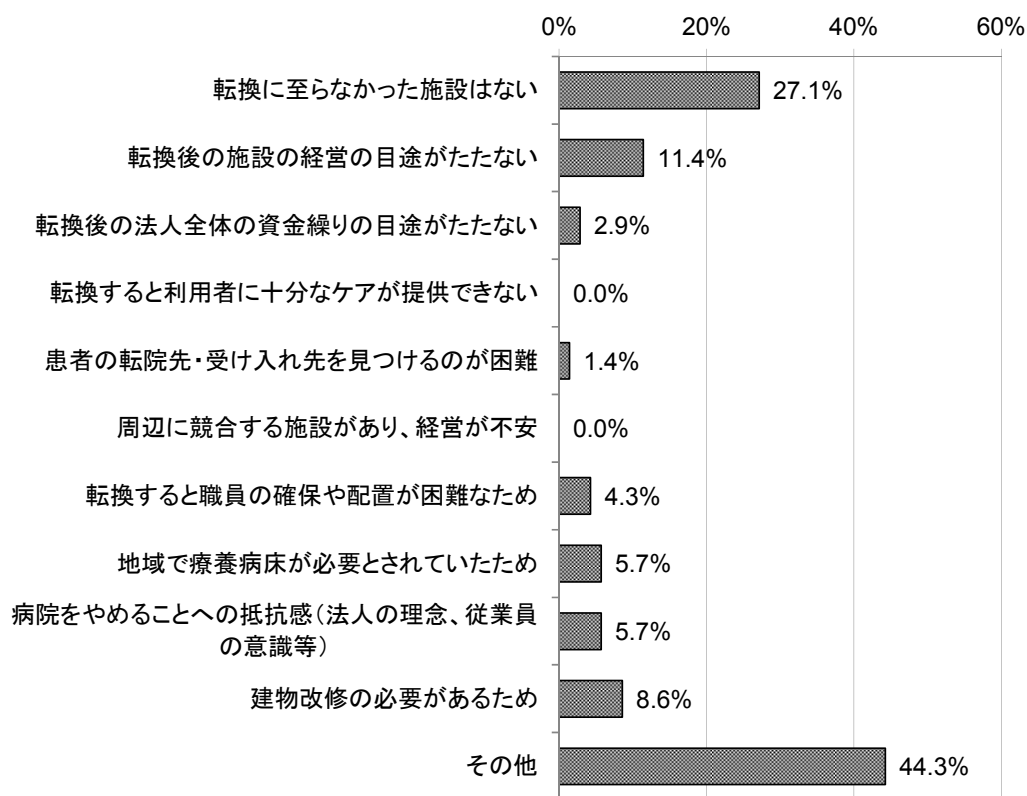
	介護療養	医療療養		介護療養	医療療養		介護療養	医療療養
北海道	2	2	札幌市	0	0	函館市	0	0
青森県	0	0	仙台市	2	0	旭川市	0	0
秋田県	0	0	さいたま市	0	0	青森市	0	0
岩手県	0	2	千葉市	1	0	秋田市	0	0
宮城県	2	0	横浜市	0	0	盛岡市	1	1
山形県	0	0	川崎市	1	0	いわき市	0	1
福島県	0	0	相模原市	0	0	郡山市	0	0
茨城県	1	0	新潟市	0	0	宇都宮市	1	0
栃木県	0	0	静岡市	0	0	高崎市	0	0
群馬県	2	1	浜松市	1	0	前橋市	0	0
埼玉県	0	2	名古屋市	1	5	越谷市	0	0
千葉県	3	0	京都市	0	0	横須賀市	0	0
神奈川県	0	0	大阪市	0	0	八王子市	1	0
東京都	1	0	堺市	2	2	川越市	0	0
山梨県	0	0	神戸市	0	0	柏市	0	1
新潟県	1	2	岡山市	1	0	船橋市	0	0
長野県	0	0	広島市	0	2	長野市	0	0
富山県	3	1	北九州市	2	1	富山市	1	0
石川県	2	0	福岡市	3	0	金沢市	0	0
福井県	0	0	熊本市	3	0	豊橋市	0	0
静岡県	3	3				岡崎市	1	0
三重県	4	0				豊田市	0	0
愛知県	1	0				岐阜市	0	0
岐阜県	0	2				尼崎市	0	0
大阪府	0	1				豊中市	0	0
京都府	2	0				西宮市	0	0
滋賀県	0	0				大津市	0	0
奈良県	1	0				奈良市	0	0
和歌山県	1	0				和歌山市	0	0
兵庫県	0	0				姫路市	0	0
岡山県	1	1				高槻市	0	0
広島県	6	3				枚方市	0	0
山口県	10	0				東大阪市	1	0
鳥取県	1	0				倉敷市	3	0
島根県	1	2				福山市	0	0
香川県	5	1				呉市	1	0
徳島県	1	0				下関市	1	0
高知県	0	0				高松市	1	1
愛媛県	0	0				高知市	0	1
福岡県	5	0				松山市	1	1
佐賀県	4	2				久留米市	1	0
長崎県	0	1				長崎市	2	0
熊本県	1	2				佐世保市	2	0
大分県	0	0				大分市	0	0
宮崎県	0	0				宮崎市	1	0
鹿児島県	1	4				鹿児島市	1	1
沖縄県	1	0				那覇市	0	0

③ 転換に至らなかった理由

転換に至らなかった理由は、「転換後の施設の経営の目途がたたない」が 11.4%、「建物改修の必要があるため」が 8.6%であった。

なお、「その他」としては、「検討中」との回答が多くみられた。

図表 2-4-6 結果として転換に至らなかった理由 (n=70)



④ 転換の状況

転換した施設数は、介護療養型医療施設が 146 施設、医療保険適用の療養病床が 31 施設であった。なお、介護療養型医療施設では、117 施設（80.1%）が医療保険適用の療養病床であった。

図表 2-4-7 転換した施設数と転換後の施設の種類の種類

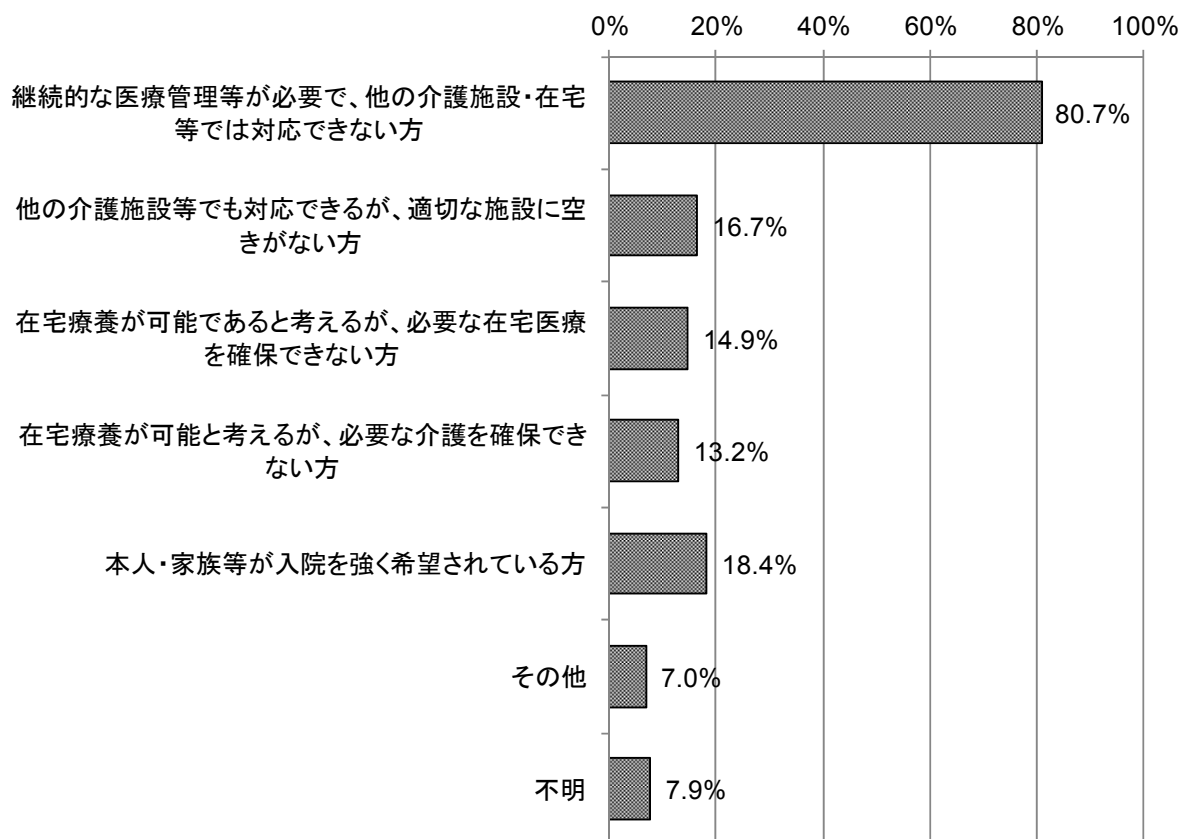
介護療養型医療施設	転換した施設の数	146	
	一般病床	17	11.6%
	医療保険適用の療養病床	117	80.1%
	介護老人保健施設	9	6.2%
	介護老人福祉施設	1	0.7%
	有料老人ホーム	1	0.7%
	その他の介護施設・事業所	1	0.7%
医療保険適用の療養病床	転換した施設の数	31	
	一般病床	6	19.4%
	介護老人保健施設	7	22.6%
	介護老人福祉施設	0	0.0%
	有料老人ホーム	0	0.0%
	その他の介護施設・事業所	0	0.0%
	不明	18	58.1%

※平成 27 年 10 月～平成 28 年 9 月の 1 年間に転換した施設

3. 介護療養型医療施設を利用する方のイメージについて

介護療養型医療施設を利用する方のイメージとしては、「継続的な医療管理等が必要で、他の介護施設・在宅等では対応できない方」との回答が 80.7%であった。

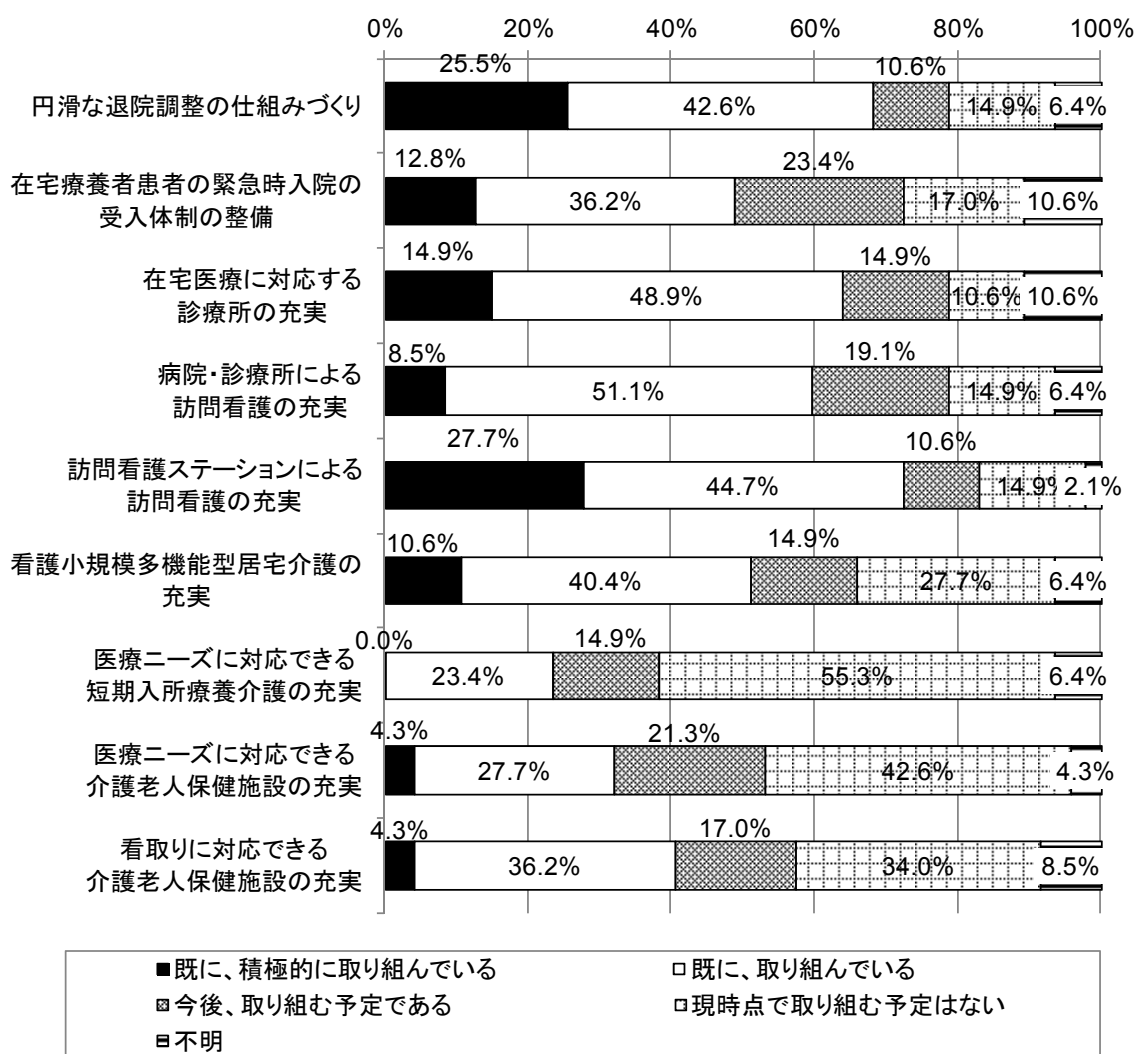
図表 2-4-8 介護療養型医療施設を利用する方のイメージについて（複数回答）（n=114）



4. サービス・体制の充実に向けた取組の状況

都道府県におけるサービス・体制の充実に向けた取組の状況は、「既に、積極的に取り組んでいる」についてみると、「訪問看護ステーションによる訪問看護の充実」が27.7%であった。また、「現時点で取り組む予定はない」についてみると、「医療ニーズに対応できる短期入所療養介護の充実」が55.3%、「医療ニーズに対応できる介護老人保健施設の充実」が42.6%であった。

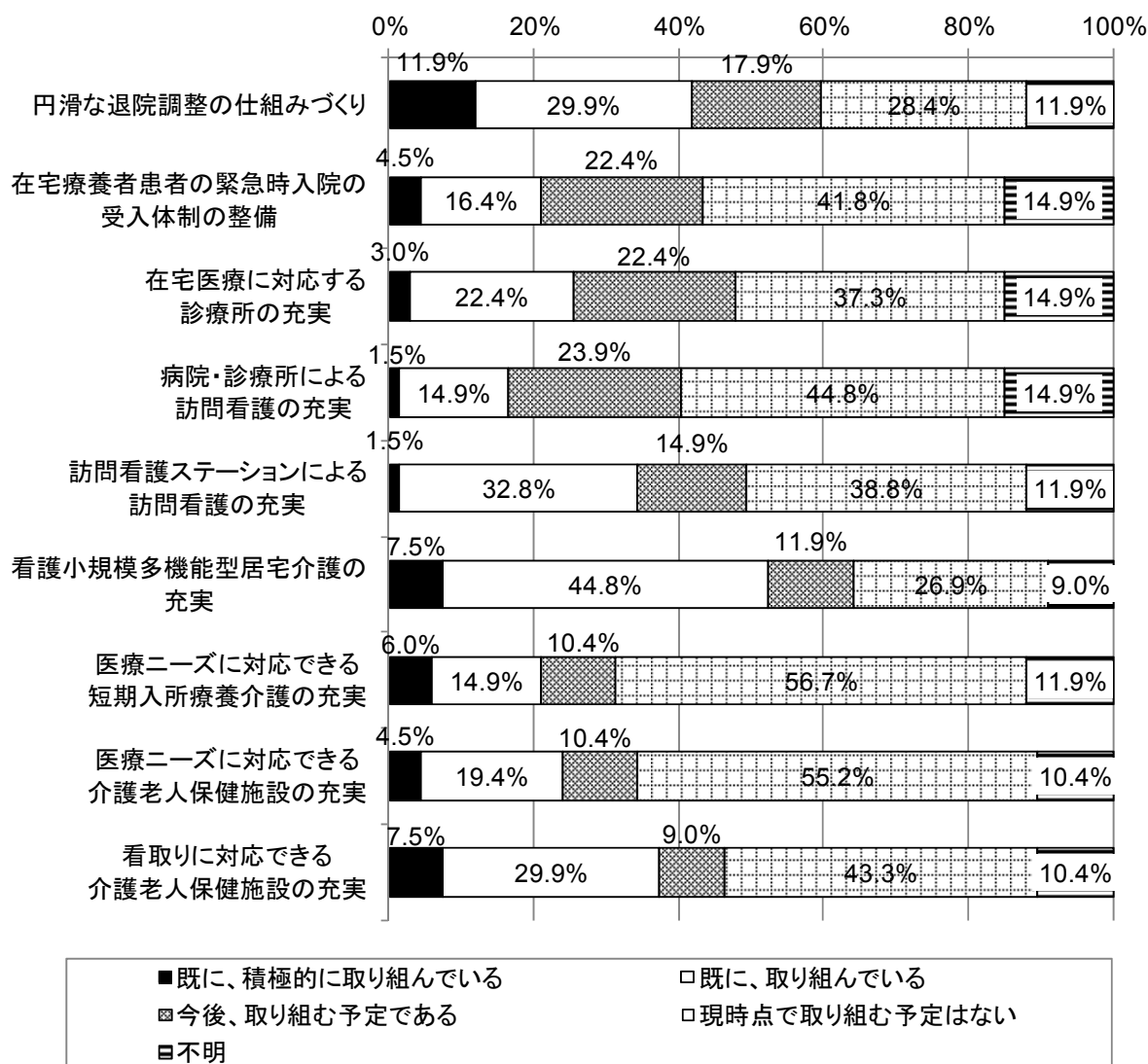
図表 2-4-9 サービス・体制の充実に向けた取組の状況（都道府県）（n=47）



4 サービス・体制の充実にに向けた取組の状況

政令指定都市・中核市における、サービス・体制の充実にに向けた取組の状況は、「既に、積極的に取り組んでいる」についてみると、「円滑な退院調整の仕組みづくり」が11.9%であった。また、「現時点で取り組む予定はない」についてみると、「医療ニーズに対応できる短期入所療養介護の充実」が56.7%、「医療ニーズに対応できる介護老人保健施設の充実」が55.2%であった。

図表 2-4-10 サービス・体制の充実にに向けた取組の状況（政令指定都市・中核市）（n=67）



第5節 在宅における中重度者向けのサービス状況調査（訪問看護調査）の結果

在宅における中重度者向けのサービス状況調査として訪問看護に関する調査を行った。

調査票は調査対象の施設・事業所別に、2種類を作成した。病院・診療所が行う訪問看護についてたずねる「病院・診療所が行う『訪問看護票』」と、訪問看護ステーションに対してたずねる「訪問看護ステーション票」の2種類である。なお、訪問看護ステーションには、病院や診療所が訪問看護事業とは別に開設した訪問看護ステーションも含まれる。

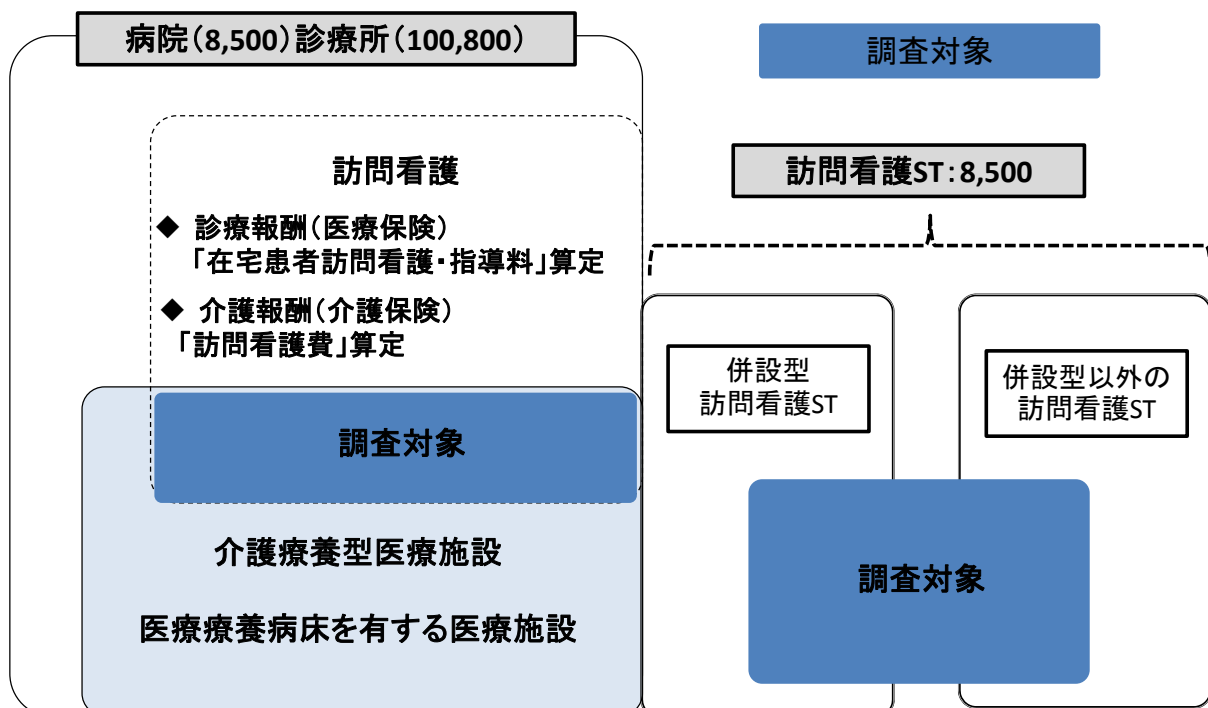
それぞれの調査票について集計対象数は次頁の通りである。

病院・診療所が行う訪問看護票は、本事業の病院・診療所調査で対象とした病院・診療所全数に病院・診療所調査票とあわせて送付した。その結果、病院からは有効票を153件、診療所からは有効票を39件回収することができ、合計192件を集計対象とした。

また、訪問看護ステーション票の集計対象数は382件である。

なお、このような調査手法としたため、療養病床を有していない病院・診療所や無床診療所の行っている訪問看護は調査対象には含まれない。

図表2-5-1 調査対象のイメージ



※調査対象外：

【病院・診療所で行う訪問看護】介護保険適用病床と医療保険の療養病床のいずれも有さない病院・有床診療所、および無床診療所

【訪問看護ステーション】介護保険による訪問看護を実施していない訪問看護ステーション

図表 2-5-2 集計対象数

調査票	集計対象数
病院・診療所が行う訪問看護票	192
病院からの回収	153
介護療養調査の対象病院からの回収	72
医療療養調査の対象病院からの回収	81
診療所からの回収	39
介護療養調査の対象診療所からの回収	23
医療療養調査の対象診療所からの回収	16
訪問看護ステーション票	382

1. 基本情報

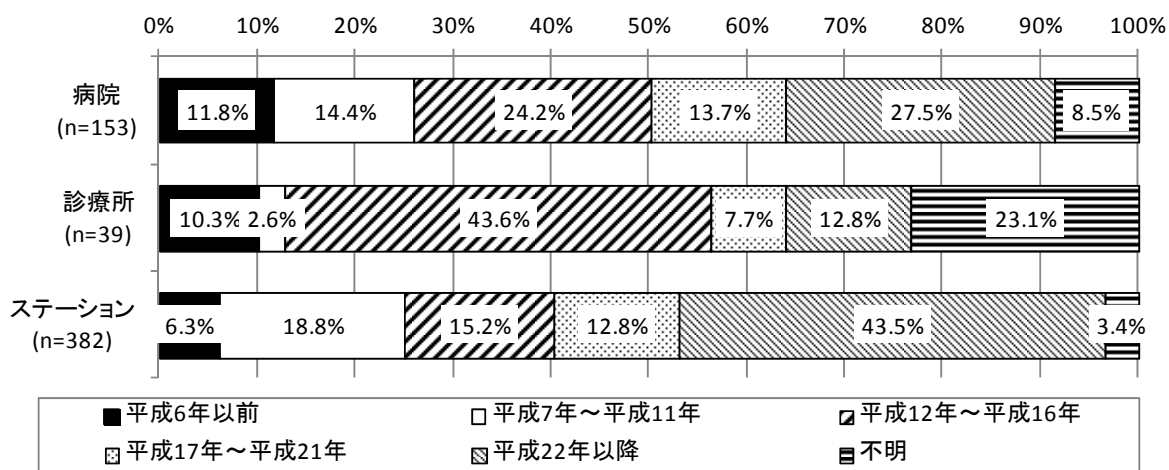
① 訪問看護の事業開始年

病院が訪問看護を開始した年は、「平成22年以降」が27.5%であり、「平成12年～16年」が24.2%であった。

診療所が訪問看護を開始した年は、「平成12年～16年」が43.6%であり、「平成22年以降」が12.8%であった。

訪問看護ステーションの事業開始年は、「平成22年以降」が43.5%であり、「平成7年～平成11年」が18.8%であった。

図表 2-5-3 病院・診療所・ステーション別 訪問看護の開始年



※図中では訪問看護ステーションを「ステーション」と表記。以下同様。

② 開設主体

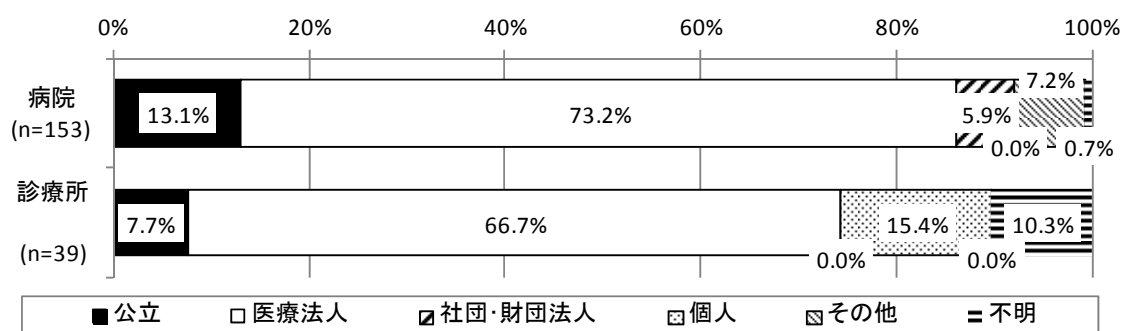
訪問看護を実施している病院の開設主体は、「医療法人」が73.2%、「公立」が13.1%であった。

訪問看護を実施している診療所の開設主体は、「医療法人」が66.7%、「個人」が15.4%であった。

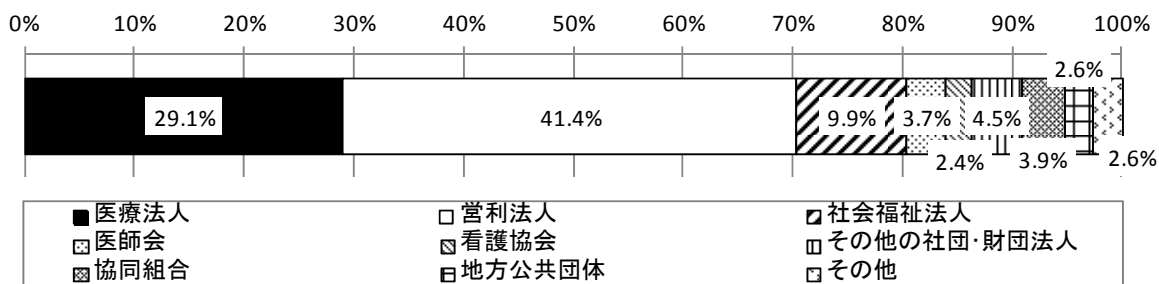
訪問看護ステーションの開設主体は、「営利法人（会社）」が41.4%、「医療法人」は29.1%、「社会福祉法人」が9.9%であった。

訪問看護ステーションの開設主体について、平成27年介護サービス施設・事業所調査の結果と比較したところ、特に差は認められず、代表性が確認された。

図表 2-5-4 病院・診療所別 開設主体



図表 2-5-5 【訪問看護ステーション】開設主体(n=382)



参考：平成27年介護サービス施設・事業所調査結果との比較（開設主体の法人種別）

	合計	医療法人	営利法人	社会福祉法人	医師会	看護協会	その他の社団・財団法人	協同組合	地方公共団体	その他
本調査回答事業所全体	382	111	158	38	14	9	17	15	10	10
	100.0%	29.1%	41.4%	9.9%	3.7%	2.4%	4.5%	3.9%	2.6%	2.6%
介護サービス施設・事業所調査	7,897	2,389	3,464	571	273	136	336	190	182	356
	100.0%	30.3%	43.9%	7.2%	3.5%	1.7%	4.3%	2.4%	2.3%	4.5%

※厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査結果」における開設種別を以下の通りまとめた。

社会福祉法人：「社会福祉協議会」「社会福祉法人（社会福祉協議会以外）」の合計

その他の社団・財団法人：「公益社団・財団法人（医師会・看護協会以外）」「一般社団・財団法人（医師会・看護協会以外）」の合計

協同組合：「農業協同組合及び連合会」「消費生活協同組合及び連合会」の合計

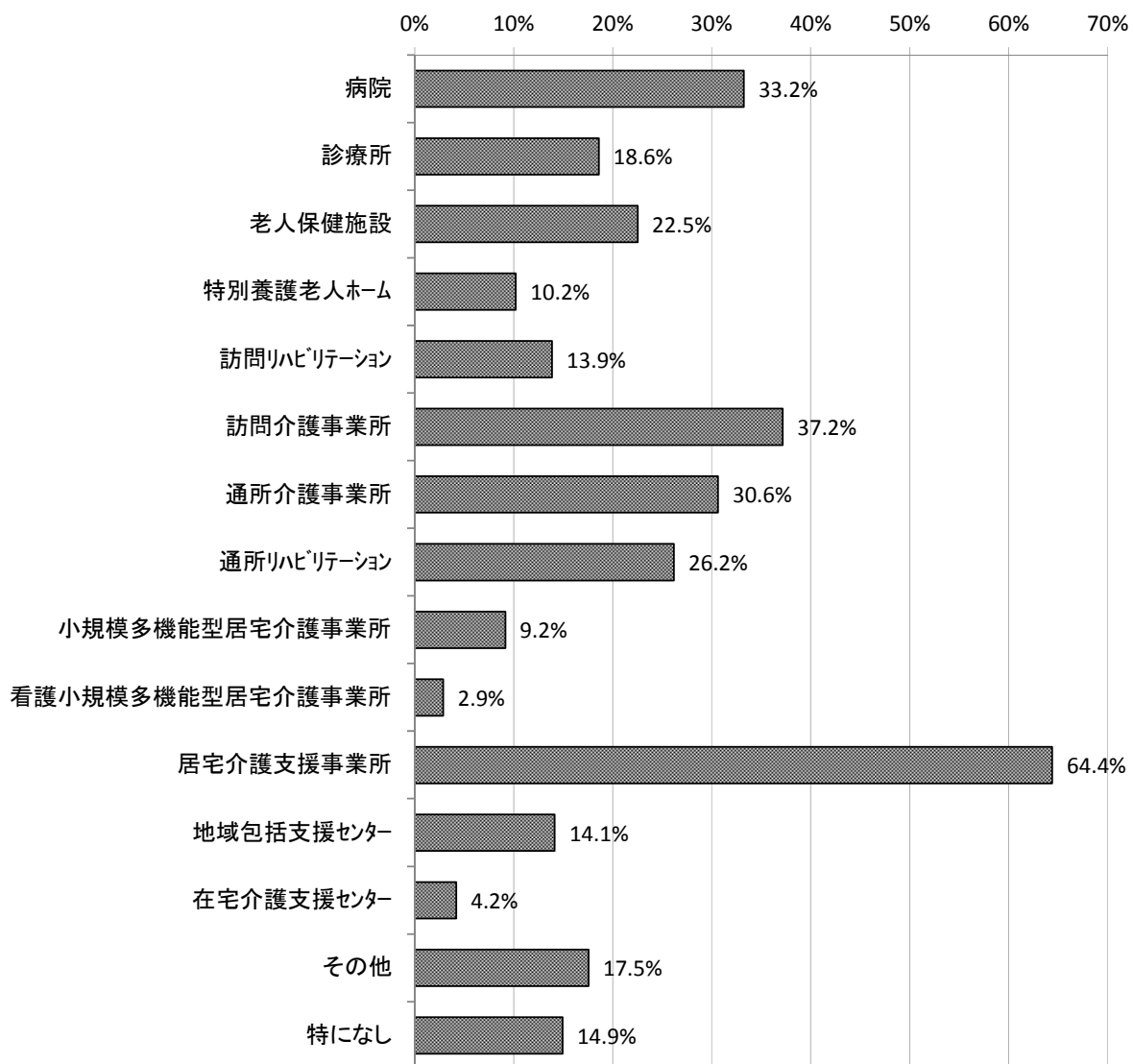
地方公共団体：「市町村」「広域連合・一部事務組合」の合計

その他：「独立行政法人」「日本赤十字社」「特定非営利法人」「その他法人」の合計

③ 【訪問看護ステーション】事業所と同一法人（同系列を含む）が有する医療・介護施設・事業所

「事業所と同一法人（同系列を含む）が有する医療・介護施設・事業所」は、「居宅介護支援事業所」が 64.4%、「訪問介護事業所」は 37.2%、「病院」は 33.2%であった。

図表 2-5-6 事業所と同一法人（同系列を含む）が有する医療・介護施設・事業所（複数回答）(n=382)



④ 病床数等

1) 訪問看護を実施している病院の病床数

訪問看護を実施している病院において、病床数（全病床）は平均 178.1 床であった。「一般病床」は平均 49.0 床、「療養病床」は平均 82.6 床、「精神病床」は平均 41.7 床、その他の病床は平均 4.7 床であった。「療養病床」のうち、医療保険適用の療養病床は平均 54.8 床、介護保険適用の療養病床の平均値は 29.6 床であった。

また、「一般病床」がある病院は 60.8%、「療養病床」がある病院は 98.0%、「精神病床」がある病院は 17.0%、その他の病床がある病院が 13.7%であった。「療養病床」のうち、医療保険適用の療養病床がある病院は 88.9%、介護保険適用の療養病床がある病院は 54.9%であった。

図表 2-5-7 【病院】病床種類別病床数

	回答件数 (件)	平均値 (床)	標準偏差	中央値 (床)
合計（全病床）	152	178.1	128.8	139.0
一般病床	152	49.0	57.0	40.0
療養病床	152	82.6	79.1	56.0
（うち）医療保険適用の療養病床	146	54.8	53.7	46.0
（うち）介護保険適用の療養病床	146	29.6	44.6	18.0
精神病床	152	41.7	117.3	0.0
上記以外の病床	152	4.7	17.4	0.0

※病床種類別の病床数が0床の場合を含めて計算している

図表 2-5-8 【病院】病床種類別の病床の有無

	合計	有	無	不明
全病床	159 100.0%	158 99.4%	0 0.0%	1 0.6%
一般病床	153 100.0%	93 60.8%	59 38.6%	1 0.7%
療養病床	153 100.0%	150 98.0%	2 1.3%	1 0.7%
（再掲）医療保険 適用の療養病床	153 100.0%	136 88.9%	10 6.5%	7 4.6%
（再掲）介護保険適 用の療養病床	153 100.0%	84 54.9%	62 40.5%	7 4.6%
精神病床	153 100.0%	26 17.0%	126 82.4%	1 0.7%
上記以外の病床	153 100.0%	21 13.7%	131 85.6%	1 0.7%

2) 訪問看護を実施している診療所

訪問看護を実施している診療所において、病床数（全病床）は平均 17.9 床であった。「一般病床」は平均 9.0 床、「療養病床」は平均 9.0 床であった。「療養病床」のうち、医療保険適用の療養病床は平均 3.9 床、介護保険適用の療養病床の平均値は 5.1 床であった。

また、「一般病床」がある診療所は 84.6%、「療養病床」がある診療所は 87.2%であった。「療養病床」のうち、医療保険適用の療養病床がある診療所は 48.7%、介護保険適用の療養病床がある病院は 61.5%であった。

図表 2-5-9 【診療所】病床種類別の病床数

	回答件数 (件)	平均値 (床)	標準偏差	中央値 (床)
合計（全病床）	34	17.9	3.1	19.0
一般病床	34	9.0	4.8	10.5
療養病床	34	9.0	4.7	8.0
（うち）医療保険適用の療養病床	34	3.9	5.1	2.0
（うち）介護保険適用の療養病床	34	5.1	4.1	6.0

図表 2-5-10 【診療所】病床種類別の病床の有無

	合計	有	無	不明
全病床	39 100.0%	34 87.2%	0 0.0%	5 12.8%
一般病床	39 100.0%	33 84.6%	1 2.6%	5 12.8%
療養病床	39 100.0%	34 87.2%	0 0.0%	6 12.8%
（再掲）医療保険 適用の療養病床	39 100.0%	19 48.7%	15 38.5%	5 12.8%
（再掲）介護保険 適用の療養病床	39 100.0%	24 61.5%	10 25.6%	5 12.8%

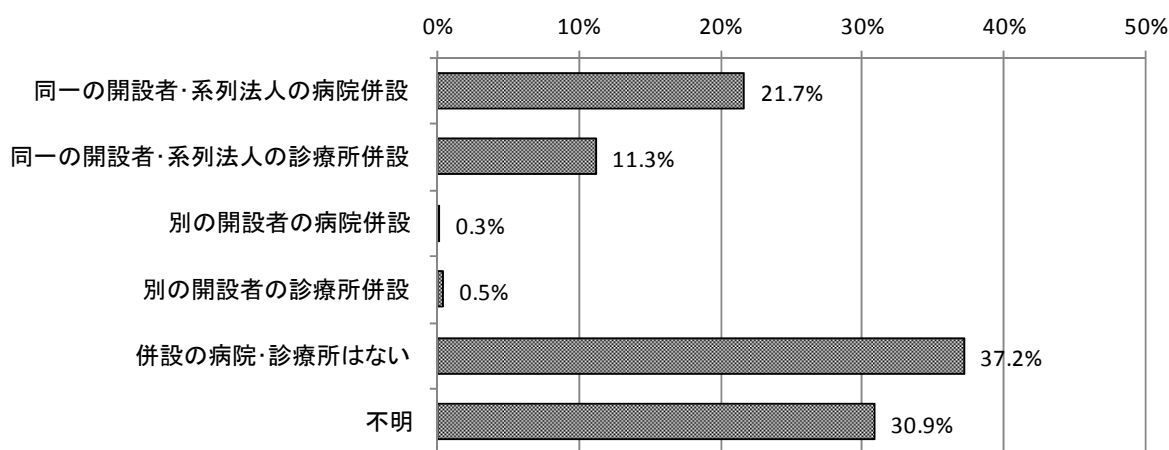
注) なお、本調査の設計上、無床診療所は調査対象に含まれていない。

3) 【訪問看護ステーション】併設医療機関の種類と病床数

i) 併設医療機関の種類

併設医療機関（併設：同一敷地内にある又は道路を隔てて隣接する場合）の種類は、「同一の開設者・系列法人の病院併設」は 21.7%で、「同一の開設者・系列法人の診療所併設」は 11.3%であった。「併設の病院・診療所はない」「不明」をあわせて、併設病院・診療所がないとみこまれるステーションは 68.1%であった。

図表 2 - 5 - 11 併設医療機関の種類（複数回答）(n=382)



注) 併設：同一敷地内にある又は道路を隔てて隣接する場合

なお、同一開設者・系列法人の病院または診療所を併設している訪問看護ステーションは 119 か所（31.2%）であった。うち、病院は 83 か所（21.7%）、有床診療所は 7 か所（1.8%）であった。無床診療所は 36 か所（9.4%）みられた。病院と診療所の両方を併設しているステーションは 7 か所であった。

ii) 併設医療機関が病院の場合

訪問看護ステーションに併設している病院の病床数（全病床）は平均 216.3 床であった。「一般病床」は平均 131.8 床、「療養病床」は平均 44.0 床、「精神病床」は平均 43.6 床、結核病床・感染症病床は平均 0.2 床であった。「療養病床」のうち、医療保険適用の療養病床は平均 36.5 床、介護保険適用の療養病床の平均値は 7.5 床であった。

また、「一般病床」がある病院は 78.9%、「療養病床」がある病院は 50.0%、「精神病床」がある病院は 17.1%、結核病床・感染症病床がある病院が 1.3%であった。「療養病床」のうち、医療保険適用の療養病床がある病院は 48.7%、介護保険適用の療養病床がある病院は 11.8%であった。

図表 2-5-12 【訪問看護ステーション】併設病院の病床種類別の病床数

	回答件数 (件)	平均値 (床)	標準偏差	中央値 (床)
合計（全病床）	75	216.3	155.4	175.0
一般病床	71	131.8	156.8	92.0
療養病床	71	44.0	53.0	32.0
（うち）医療保険適用の療養病床	71	36.5	46.6	21.0
（うち）介護保険適用の療養病床	71	7.5	21.3	0.0
精神病床	71	43.6	111.5	0.0
結核病床・感染症病床	71	0.2	1.7	0.0

※病床種類別の病床数が 0 床の場合を含めて計算している。

図表 2-5-13 【訪問看護ステーション】併設病院の病床種類別の病床の有無

	合計	有	無	不明
全病床	76 100.0%	75 98.7%	0 0.0%	1 1.3%
一般病床	76 100.0%	60 78.9%	11 14.5%	5 6.6%
療養病床	76 100.0%	38 50.0%	33 43.4%	5 6.6%
（再掲）医療保険 適用の療養病床	76 100.0%	37 48.7%	34 44.7%	5 6.6%
（再掲）介護保険 適用の療養病床	76 100.0%	9 11.8%	62 81.6%	5 6.6%
精神病床	76 100.0%	13 17.1%	58 76.3%	5 6.6%
結核病床・ 感染症病床	76 100.0%	1 1.3%	70 92.1%	5 6.6%

iii) 併設医療機関が有床診療所の場合

訪問看護ステーションに併設している有床診療所の病床数（全病床）は平均 16.6 床であった。「一般病床」は平均 12.6 床、「療養病床」は平均 4.0 床であった。「療養病床」のうち、医療保険適用の療養病床は平均 1.6 床、介護保険適用の療養病床の平均値は 2.4 床であった。

また、「一般病床」がある有床診療所は 85.7%、「療養病床」がある有床診療所は 42.6%であった。「療養病床」のうち、医療保険適用の療養病床がある有床診療所は 42.9%、介護保険適用の療養病床がある有床診療所は 28.6%であった。

図表 2-5-14 【訪問看護ステーション】併設の有床診療所の病床種類別病床数

	回答件数 (件)	平均値 (床)	標準偏差	中央値 (床)
合計（全病床）	7	16.6	5.2	19
一般病床	7	12.6	8.0	16
療養病床	7	4.0	6.0	0.0
（うち）医療保険適用の療養病床	7	1.6	2.4	0
（うち）介護保険適用の療養病床	7	2.4	4.4	0

図表 2-5-15 【訪問看護ステーション】併設の有床診療所の病床種類別病床の有無

	合計	有	無
全病床	7 100.0%	7 100.0%	0 0.0%
一般病床	7 100.0%	6 85.7%	1 14.3%
療養病床	7 100.0%	3 42.6%	4 57.1%
（再掲）医療保険 適用の療養病床	7 100.0%	3 42.9%	4 57.1%
（再掲）介護保険 適用の療養病床	7 100.0%	2 28.6%	5 71.4%

⑤ 看護職員の配置

訪問看護を実施している病院における一般病棟の看護職員配置は、「10 対 1」が 41.5%、「15 対 1」は 18.7%であった。

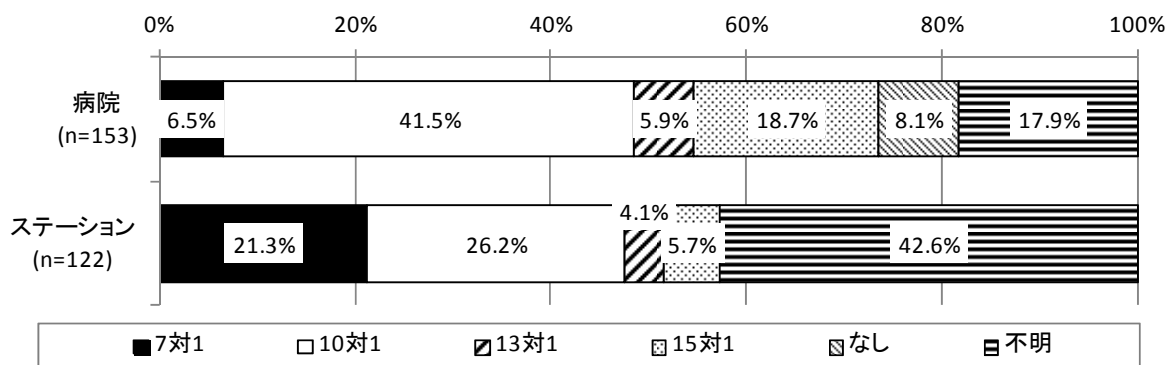
訪問看護ステーションに併設病院がある場合、併設病院（母体病院）における一般病棟の看護職員配置は、「10 対 1」が 26.2%、「7 対 1」は 21.3%であった。

また、訪問看護を実施している病院全体の看護職員数（実人数）について、「常勤」は平均 75.0 人、「非常勤」は平均 13.9 人であった。

訪問看護を実施している診療所全体の看護職員数（実人数）について、「常勤」は平均 9.6 人、「非常勤」は平均 2.9 人であった。

訪問看護ステーションに併設医療機関がある場合、併設医療機関の全体の看護職員数（実人数）について、「常勤」は平均 82.1 人、「非常勤」は平均 14.4 人であった。

図表 2-5-16 病院・ステーション別 一般病棟の看護職員配置



図表 2-5-17 病院・診療所・ステーション別 全体の看護職員数（実人数）

		回答件数 (件)	平均値 (人)	標準偏差	中央値 (人)
病院	常勤	93	75.0	55.2	60.0
	非常勤	93	13.9	14.1	9.0
診療所	常勤	20	9.6	5.4	7.5
	非常勤	20	2.9	2.5	2.0
ステーション	常勤	94	82.1	95.0	55.0
	非常勤	94	14.4	14.3	9.0

2. 訪問看護の実施状況

① 算定保険種別

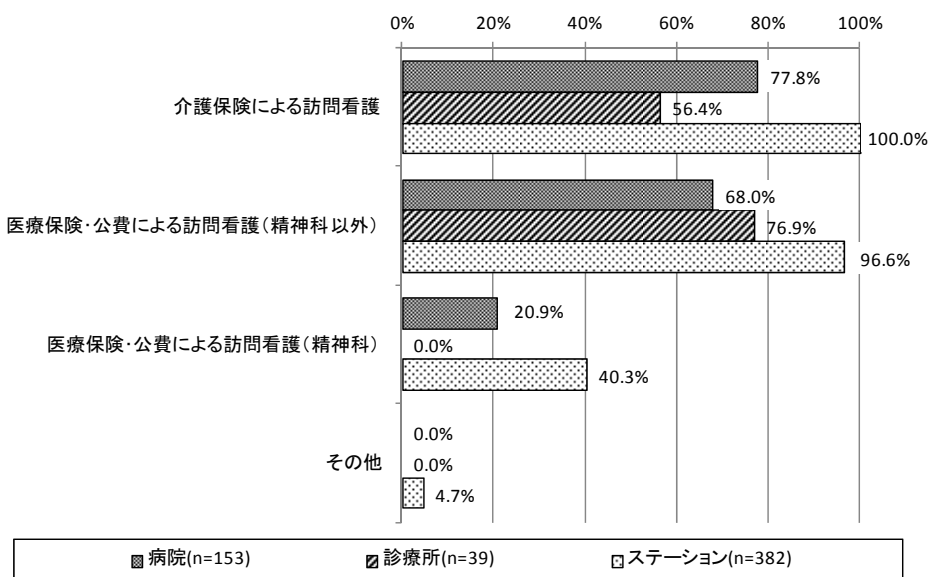
病院が実施している訪問看護の保険種別は、「介護保険による訪問看護」（以下、介護保険の訪問看護とする）が77.8%、「医療保険・公費による訪問看護（精神科以外）」（以下、医療保険の訪問看護とする）が68.0%で、「医療保険・公費による訪問看護（精神科）」（以下、精神科の訪問看護とする）は20.9%であった。

診療所が実施している訪問看護の保険種別は、「介護保険の訪問看護」が56.4%、「医療保険の訪問看護」が76.9%で、「精神科の訪問看護」は0.0%で、診療所で精神科の訪問看護を実施しているところはなかった。

訪問看護ステーションが実施している訪問看護の保険種別は、「介護保険の訪問看護」は100.0%、「医療保険の訪問看護」は96.6%で、「精神科の訪問看護」は40.3%であった。（なお、訪問看護ステーションについては、平成28年5月分について介護報酬の請求を行った実績のある事業所から抽出している。）

その他の具体的な内容は、「自費」「労災」「学校との契約による訪問」「施設との契約による訪問」「市の療養生活支援事業」であった。

図表 2-5-18 算定保険種別（複数回答）



② 【病院・診療所】訪問看護実施部署

介護保険の訪問看護について、病院が実施している訪問看護の実施部署は、「訪問看護を専門に担当する部門で実施」が 64.7%、「外来の看護職員が訪問」は 33.6%で、「病棟配置の看護職員が訪問」は 6.7%であった。

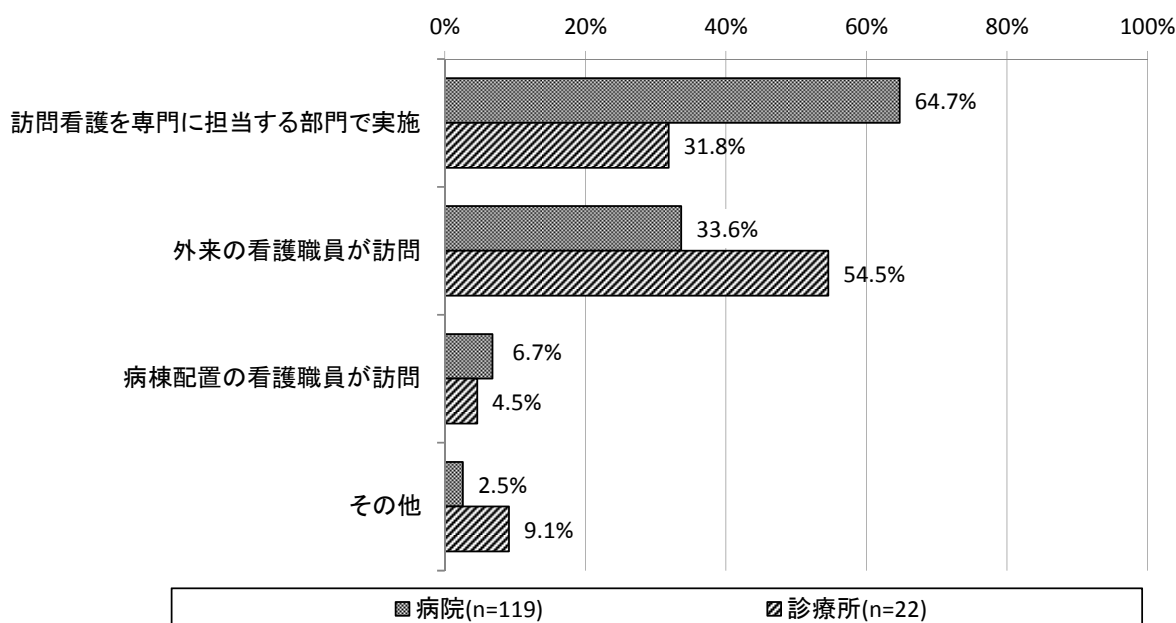
また、診療所が実施している訪問看護における実施部署は、「訪問看護を専門に担当する部門で実施」が 31.8%、「外来の看護職員が訪問」は 54.5%で、「病棟配置の看護職員が訪問」は 4.5%であった。

医療保険の訪問看護について、病院が実施している訪問看護の実施部署は「訪問看護を専門に担当する部門で実施」が 67.3%、「外来の看護職員が訪問」は 29.8%で、「病棟配置の看護職員が訪問」は 8.7%であった。

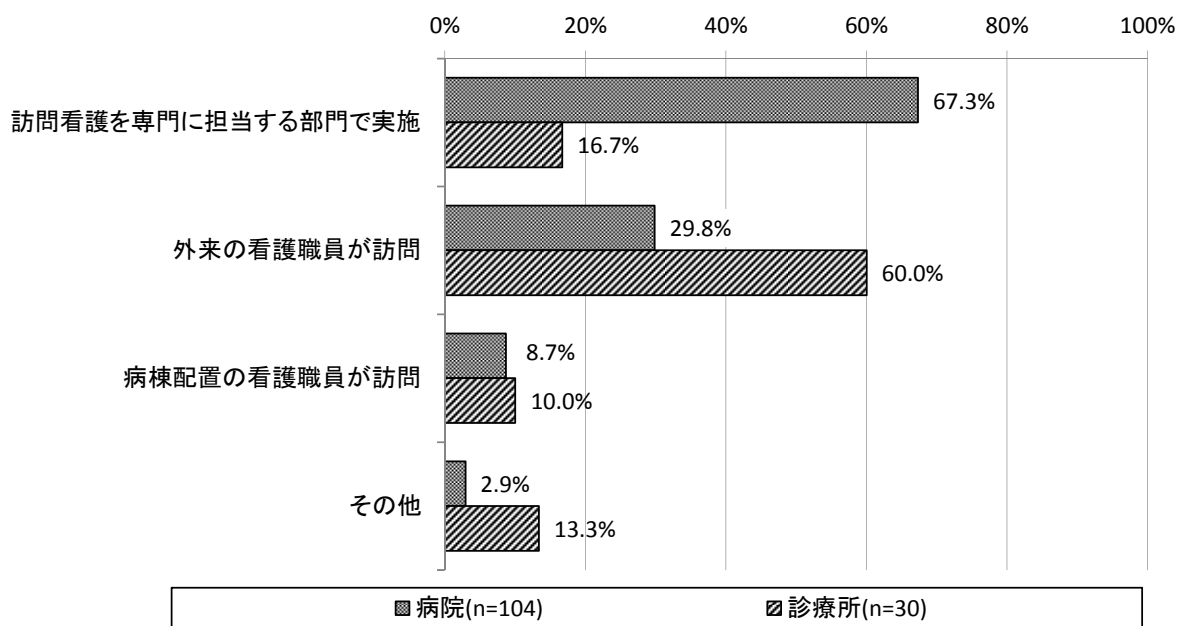
また、診療所が実施している訪問看護における実施部署は、「訪問看護を専門に担当する部門で実施」が 16.7%、「外来の看護職員が訪問」は 60.0%で、「病棟配置の看護職員が訪問」は 10.0%であった。

精神科の訪問看護の実施について、「訪問看護を専門に担当する部門で実施」が 50.0%、「外来の看護職員が訪問」は 28.1%で、「病棟配置の看護職員が訪問」は 12.5%であった。
(※精神科の訪問看護については、診療所で実施しているところはなく、病院のみの実施であった。)

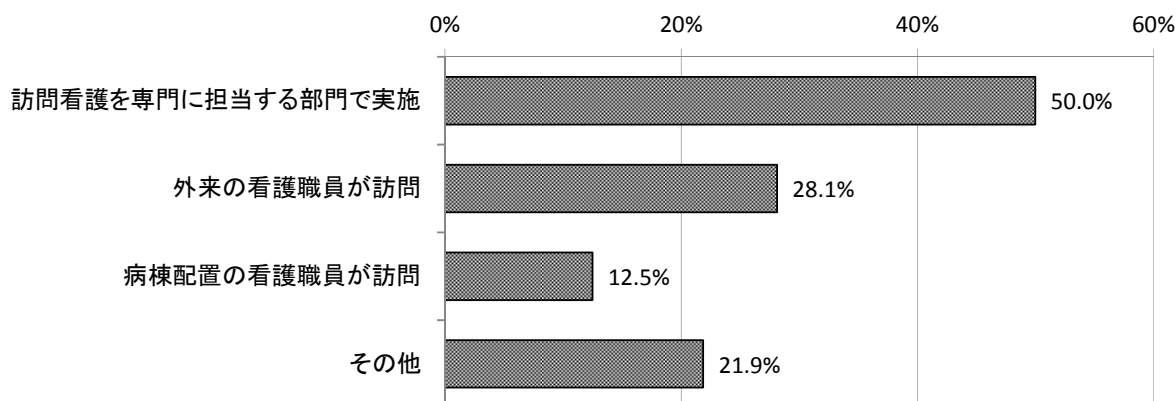
図表 2-5-19 病院・診療所別 介護保険の訪問看護の実施部署（複数回答）



図表 2-5-20 病院・診療所別 医療保険（精神科以外）の訪問看護の実施部署（複数回答）



図表 2-5-21 【病院】精神科の訪問看護の実施部署（複数回答）(n=32)



③ 訪問看護部門の職員数

病院では、訪問看護を専門に担当する部門で訪問看護を実施している場合、保健師・助産師・看護師の常勤専従者は平均 2.5 人、常勤兼務者は平均 0.4 人、非常勤は平均 0.7 人であった。また、准看護師の常勤専従者は平均 0.1 人、常勤兼務者は平均 0.0 人、非常勤は平均 0.1 人であった。職員の小計は平均 4.1 人であった。

診療所では、訪問看護を専門に担当する部門で訪問看護を実施している場合、保健師・助産師・看護師の常勤専従者は平均 0.6 人、常勤兼務者は平均 1.0 人、非常勤は平均 0.8 人であった。また、准看護師の常勤専従者は平均 0.1 人、常勤兼務者は平均 1.0 人、非常勤は平均 0.1 人であった。職員の小計は平均 3.9 人であった。

訪問看護ステーションの職員体制は、保健師・助産師・看護師の常勤専従者（実人数）は平均 3.2 人、常勤兼務者（実人数）は平均 0.6 人、「非常勤」は平均 2.1 人であった。また、准看護師の常勤専従者は平均 0.2 人、常勤兼務者は平均 0.1 人、非常勤は平均 0.2 人であった。職員の小計は平均 9.3 人であった。

訪問看護ステーションにおける、職員の常勤換算数については、保健師・助産師・看護師が平均 4.6 人、准看護師が平均 0.3 人であった。また、看護職員の常勤換算数については、「3 人～5 人未満」が 36.6%、「5 人～7.5 人未満」が 25.4%であった。

図表 2-5-22 【病院】訪問看護部門の職員数（実人数）

		回答件数 (件)	平均 (人)	標準偏差	中央値 (人)
保健師・助産師・看護師	常勤専従者	82	2.5	1.9	2.0
	常勤兼務者	82	0.4	0.7	0.0
	非常勤	82	0.7	0.9	0.0
准看護師	常勤専従者	82	0.1	0.4	0.0
	常勤兼務者	82	0.0	0.3	0.0
	非常勤	82	0.1	0.4	0.0
看護補助者（介護職員）	常勤専従者	82	0.0	-	-
	常勤兼務者	82	0.0	0.3	0.0
	非常勤	82	0.0	-	-
作業療法士	常勤専従者	82	0.1	0.4	0.0
	常勤兼務者	82	0.1	0.4	0.0
	非常勤	82	0.0	-	-
精神保健福祉士	常勤専従者	82	0.0	0.3	0.0
	常勤兼務者	82	0.0	-	-
	非常勤	82	0.0	-	-
小計		82	4.1	2.5	3.0

図表 2-5-23 【診療所】訪問看護部門の職員数（実人数）

		回答件数 (件)	平均 (人)	標準偏差	中央値 (人)
保健師・助産師・看護師	常勤専従者	8	0.6	1.1	0.0
	常勤兼務者	8	1.0	1.4	0.5
	非常勤	8	0.8	0.9	0.5
准看護師	常勤専従者	8	0.1	0.4	0.0
	常勤兼務者	8	1.0	1.8	0.0
	非常勤	8	0.1	0.4	0.0
看護補助者（介護職員）	常勤専従者	8	0.0	-	-
	常勤兼務者	8	0.0	-	-
	非常勤	8	0.0	-	-
作業療法士	常勤専従者	8	0.0	-	-
	常勤兼務者	8	0.3	0.7	0.0
	非常勤	8	0.0	-	-
精神保健福祉士	常勤専従者	8	0.0	-	-
	常勤兼務者	8	0.0	-	-
	非常勤	8	0.0	-	-
小計		8	3.9	2.7	4.0

図表 2-5-24 【訪問看護ステーション】訪問看護ステーションの職員数（実人数）

		回答件数 (件)	平均 (人)	標準偏差	中央値 (人)
保健師・助産師・看護師	常勤専従者	338	3.2	2.1	3.0
	常勤兼務者	338	0.6	0.7	1.0
	非常勤	338	2.1	2.2	2.0
准看護師	常勤専従者	338	0.2	0.6	0.0
	常勤兼務者	338	0.1	0.4	0.0
	非常勤	338	0.2	0.5	0.0
理学療法士	常勤専従者	338	0.8	1.7	0.0
	常勤兼務者	338	0.3	0.9	0.0
	非常勤	338	0.6	1.7	0.0
作業療法士	常勤専従者	338	0.2	0.6	0.0
	常勤兼務者	338	0.1	0.4	0.0
	非常勤	338	0.2	0.8	0.0
言語聴覚士	常勤専従者	338	0.0	0.2	0.0
	常勤兼務者	338	0.0	0.2	0.0
	非常勤	338	0.1	0.3	0.0
その他の職員	常勤専従者	338	0.3	0.5	0.0
	常勤兼務者	338	0.1	0.3	0.0
	非常勤	338	0.3	0.5	0.0
小計		338	9.3	5.5	8.0

図表 2-5-25 【訪問看護ステーション】(同一の開設者・系列法人の病院併設ステーション)

訪問看護ステーションの職員数(実人数)

		回答件数 (件)	平均 (人)	標準偏差	中央値 (人)
保健師・助産師・看護師	常勤専従者	80	4.1	1.9	4.0
	常勤兼務者	80	0.6	0.8	0.0
	非常勤	80	1.5	1.8	1.0
准看護師	常勤専従者	80	0.1	0.4	0.0
	常勤兼務者	80	0.0	0.2	0.0
	非常勤	80	0.0	0.2	0.0
理学療法士	常勤専従者	80	0.8	1.9	0.0
	常勤兼務者	80	0.7	1.7	0.0
	非常勤	80	0.4	1.0	0.0
作業療法士	常勤専従者	80	0.2	0.6	0.0
	常勤兼務者	80	0.2	0.5	0.0
	非常勤	80	0.2	0.7	0.0
言語聴覚士	常勤専従者	80	0.0	0.2	0.0
	常勤兼務者	80	0.1	0.3	0.0
	非常勤	80	0.1	0.2	0.0
その他の職員	常勤専従者	80	0.3	0.6	0.0
	常勤兼務者	80	0.1	0.3	0.0
	非常勤	80	0.2	0.5	0.0
小計		80	9.6	4.8	8.5

図表 2-5-26 【訪問看護ステーション】(同一の開設者・系列法人の診療所併設ステーション)

訪問看護ステーションの職員数(実人数)

		回答件数 (件)	平均 (人)	標準偏差	中央値 (人)
保健師・助産師・看護師	常勤専従者	39	3.3	1.4	3.0
	常勤兼務者	39	0.6	0.6	1.0
	非常勤	39	2.4	2.4	2.0
准看護師	常勤専従者	39	0.3	0.7	0.0
	常勤兼務者	39	0.1	0.2	0.0
	非常勤	39	0.1	0.3	0.0
理学療法士	常勤専従者	39	0.3	0.7	0.0
	常勤兼務者	39	0.3	0.8	0.0
	非常勤	39	0.4	0.8	0.0
作業療法士	常勤専従者	39	0.2	0.5	0.0
	常勤兼務者	39	0.3	0.7	0.0
	非常勤	39	0.1	0.5	0.0
言語聴覚士	常勤専従者	39	0.0	-	0.0
	常勤兼務者	39	0.0	0.2	0.0
	非常勤	39	0.1	0.2	0.0
その他の職員	常勤専従者	39	0.3	0.6	0.0
	常勤兼務者	39	0.1	0.4	0.0
	非常勤	39	0.3	0.6	0.0
小計		39	9.1	4.3	9.0

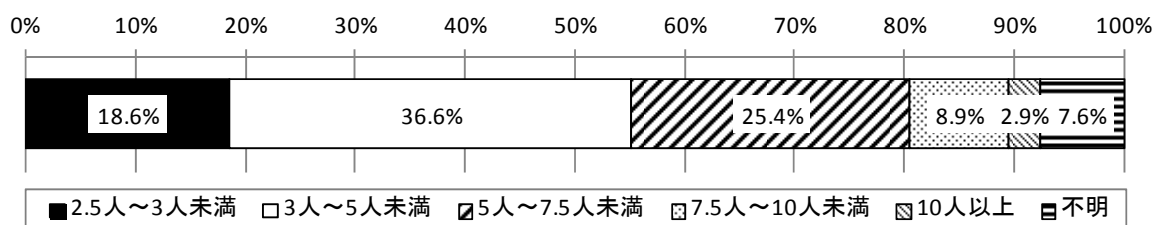
図表 2-5-27 【訪問看護ステーション】（併設の病院・診療所はないステーション）訪問看護
ステーションの職員数（実人数）

		回答件数 (件)	平均 (人)	標準偏差	中央値 (人)
保健師・助産師・看護師	常勤専従者	224	2.9	2.1	2.0
	常勤兼務者	224	0.6	0.7	1.0
	非常勤	224	2.3	2.3	2.0
准看護師	常勤専従者	224	0.2	0.6	0.0
	常勤兼務者	224	0.1	0.4	0.0
	非常勤	224	0.2	0.6	0.0
理学療法士	常勤専従者	224	0.9	1.8	0.0
	常勤兼務者	224	0.1	0.4	0.0
	非常勤	224	0.7	2.0	0.0
作業療法士	常勤専従者	224	0.3	0.7	0.0
	常勤兼務者	224	0.0	0.3	0.0
	非常勤	224	0.2	0.8	0.0
言語聴覚士	常勤専従者	224	0.0	0.2	0.0
	常勤兼務者	224	0.0	0.2	0.0
	非常勤	224	0.1	0.3	0.0
その他の職員	常勤専従者	224	0.3	0.5	0.0
	常勤兼務者	224	0.1	0.3	0.0
	非常勤	224	0.3	0.6	0.0
小計		224	9.3	5.9	8.0

図表 2-5-28 【訪問看護ステーション】訪問看護ステーションの職員数（常勤換算数）

	回答件数 (件)	平均 (人)	標準偏差	中央値 (人)
保健師・助産師・看護師	353	4.6	2.3	4.0
准看護師	353	0.3	0.7	0.0
理学療法士	353	1.1	2.6	0.0
作業療法士	353	0.4	1.4	0.0
言語聴覚士	353	0.1	0.5	0.0
その他の職員	353	0.4	0.8	0.0
小計	353	6.8	5.6	5.6

図表 2-5-29 【訪問看護ステーション】看護職員の常勤換算数(n=382)



④ 人事・研修について

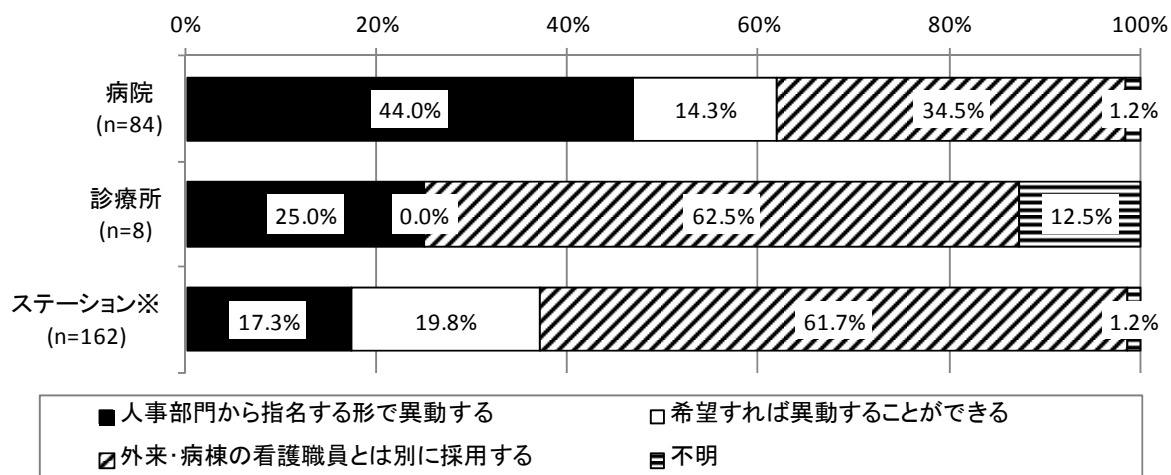
1) 看護職員の人事

病院で、訪問看護を専門に担当する部門で訪問看護を実施している場合、訪問看護を専門に担当する部門の看護職員の人事について、「病院・診療所の中でのローテーションの一環として、人事部門から指名する形で異動する」が44.0%、「訪問看護を主に担当する職員として、外来・病棟の看護職員とは別に採用する」は34.5%、「外来・病棟の看護職員のうち、希望すれば異動することができる」は14.3%であった。

診療所において、訪問看護を専門に担当する部門で訪問看護を実施している場合、訪問看護を専門に担当する部門の看護職員の人事について、「病院・診療所の中でのローテーションの一環として、人事部門から指名する形で異動する」が25.0%、「訪問看護を主に担当する職員として、外来・病棟の看護職員とは別に採用する」は62.5%であった。

訪問看護ステーションにおいては、同一法人に「病院」・「診療所」を有している場合、訪問看護ステーションに従事する看護職員の人事は、「訪問看護ステーションに勤務する職員として、外来・病棟の看護職員とは別に採用する」が61.7%、「外来・病棟の看護職員のうち、希望すれば訪問看護ステーションに異動することができる」は19.8%、「病院・診療所の中でのローテーションの一環として、人事部門から指名する形で異動する」は17.3%であった。

図表 2-5-30 病院・診療所・ステーション※別 看護職員の人事



※同一法人に病院・診療所を有しているステーション

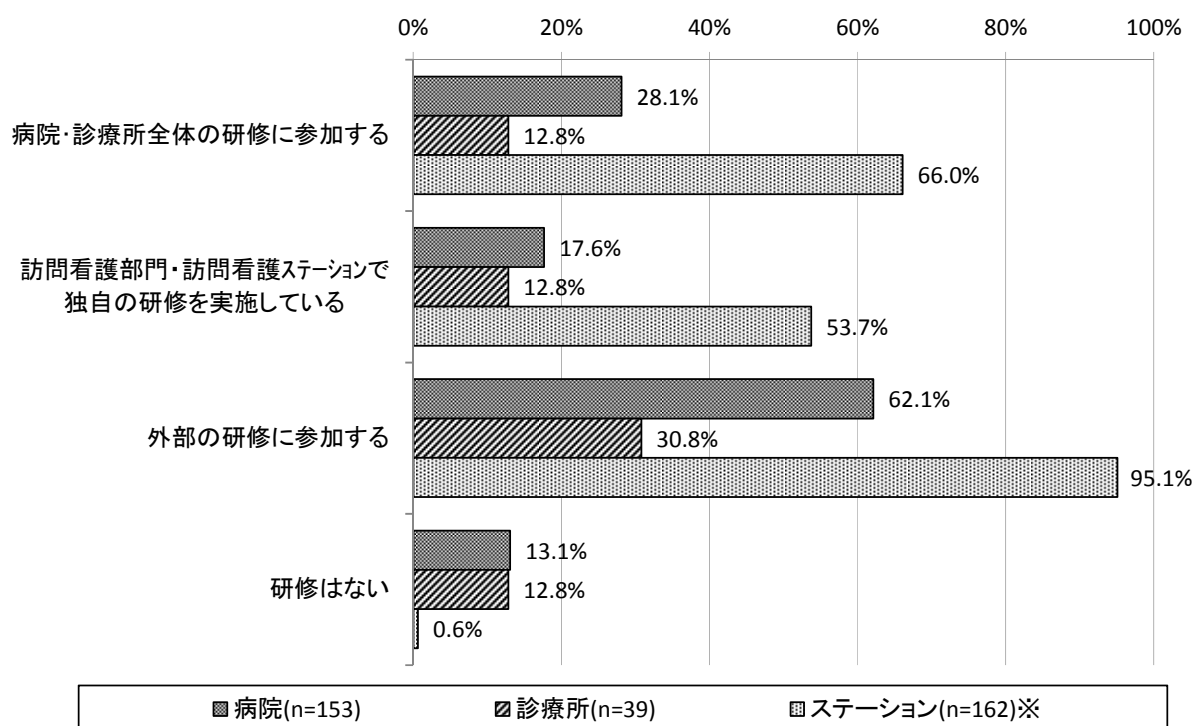
⑤ 訪問看護に特化した研修について

訪問看護を実施している病院における、訪問看護に特化した研修について、「外部の研修に参加する」が 62.1%、「病院・全体の研修で実施している」は 28.1%であった。

訪問看護を実施している診療所における、訪問看護に特化した研修について、「外部の研修に参加する」が 30.8%であった。

訪問看護ステーションが、同一法人に「病院」・「診療所」を有している場合、「外部の研修に参加する」が 95.1%、「病院・診療所全体の研修に参加する」は 66.0%であった。

図表 2-5-31 病院・診療所・ステーション※別 訪問看護に特化した研修（複数回答）



※同一法人に病院・診療所を有しているステーション

3. 訪問看護の提供実績等

① 利用者数

介護保険の訪問看護の平成28年10月の利用者数は病院で平均21.9人、診療所で平均5.9人、訪問看護ステーションで平均57.5人であった。

利用者のうち、亡くなった数については、病院が平均0.3人、訪問看護ステーションでは平均0.6人、診療所ではいなかった。亡くなった利用者のうち、ターミナルケア加算の算定者数は、病院が平均0.1人、訪問看護ステーションでは平均0.2人であった。ターミナルケア加算の算定者数のうち、利用開始から1か月以内の利用者数は病院が平均0.1人、訪問看護ステーションでは平均0.0人であった。

利用者のうち、自院に入院経験のある利用者数について、病院では平均11.1人、診療所では平均2.7人であった。

訪問看護ステーションにおいて、特別管理加算の算定者数は平均9.7人であった。

利用者のうち、10月の利用開始者については、「病院」が平均1.7人、「診療所」では平均0.3人、「訪問看護ステーション」では平均3.3人であった。10月の利用開始者のうち、退院直後の利用開始者数は、「病院」が平均0.7人、「診療所」が平均0.1人、「訪問看護ステーション」では平均0.8人であった。

1) 介護保険の訪問看護

図表2-5-32 介護保険の訪問看護の平成28年10月の利用者数（実人数）

	回答件数 (件)	合計値 (人)	平均値 (人)	標準偏差	中央値 (人)
病院	119	2,611	21.9	24.4	14.0
診療所	22	129	5.9	7.0	3.0
ステーション	324	18,642	57.5	63.7	44.5

図表2-5-33 訪問看護ステーションの併設医療機関別 介護保険の訪問看護の平成28年10月の利用者数（実人数）

	回答件数 (件)	合計値 (人)	平均値 (人)	標準偏差	中央値 (人)
同一の開設者・系列法人の病院併設	69	4,244	61.5	53.9	45.0
同一の開設者・系列法人の診療所併設	38	2,327	61.2	30.2	57.5
併設の病院・診療所はない	219	12,339	56.3	70.2	39.0

図表 2-5-34 介護保険の訪問看護の死亡者数等（実人数）

		回答 件数 (件)	合計値 (人)	平均値 (人)	標準 偏差	中央値 (人)
病院	亡くなった利用者数	100	26	0.3	0.6	0.0
	うち、ターミナルケア加算算定者数	100	8	0.1	0.3	0.0
	うち、利用開始から 1か月以内の利用者数	100	6	0.1	0.3	0.0
診療所	亡くなった利用者数	15	0	0.0	-	-
	うち、ターミナルケア加算算定者数	15	0	0.0	-	-
	うち、利用開始から 1か月以内の利用者数	15	0	0.0	-	-
ステー ション	亡くなった利用者数	290	177	0.6	0.9	0.0
	うち、ターミナルケア加算算定者数	290	60	0.2	0.5	0.0
	うち、利用開始から 1か月以内の利用者数	290	12	0.0	0.2	0.0

図表 2-5-35 訪問看護ステーションの併設医療機関別 介護保険の訪問看護の死亡者数等
(実人数)

		回答 件数 (件)	合計値 (人)	平均値 (人)	標準 偏差	中央値 (人)
同一の開設 者・系列法人 の病院併設	亡くなった利用者数	66	49	0.7	1.1	0.0
	うち、ターミナルケア加算算定者数	66	17	0.3	0.6	0.0
	うち、利用開始から 1か月以内の利用者数	66	5	0.1	0.3	0.0
同一の開設 者・系列法人 の診療所併 設	亡くなった利用者数	32	18	0.6	0.8	0.0
	うち、ターミナルケア加算算定者数	32	4	0.1	0.3	0.0
	うち、利用開始から 1か月以内の利用者数	32	0	0.0	-	-
併設の病院・ 診療所はな い	亡くなった利用者数	194	114	0.6	0.9	0.0
	うち、ターミナルケア加算算定者数	194	41	0.2	0.5	0.0
	うち、利用開始から 1か月以内の利用者数	194	7	0.0	0.2	0.0

図表 2-5-36 【病院・診療所】介護保険の訪問看護の入院経験のある利用者数（実人数）

	回答件数 (件)	合計値 (人)	平均値 (人)	標準偏差	中央値 (人)
病院	106	1,180	11.1	14.3	5.0
診療所	18	49	2.7	3.7	1.0

図表 2-5-37 【ステーション】介護保険の訪問看護の特別管理加算の算定者数（実人数）

回答件数 (件)	合計値 (人)	平均値 (人)	標準偏差	中央値 (人)
283	2,741	9.7	8.7	8.0

図表 2-5-38 【ステーション】訪問看護ステーションの併設医療機関別 介護保険の訪問看護の特別管理加算の算定者数（実人数）

	回答件数 (件)	合計値 (人)	平均値 (人)	標準偏差	中央値 (人)
同一の開設者・系列法人の病院併設	63	733	11.6	8.1	12.0
同一の開設者・系列法人の診療所併設	31	363	11.7	9.8	9.0
併設の病院・診療所はない	192	1,703	8.9	8.6	7.0

図表 2-5-39 介護保険の訪問看護の10月の利用開始者数等（実人数）

		回答件数 (件)	合計値 (人)	平均値 (人)	標準偏差	中央値 (人)
病院	10月の利用開始者数	103	170	1.7	3.7	1.0
	うち、退院直後の利用開始者数	103	70	0.7	1.1	0.0
診療所	10月の利用開始者数	17	5	0.3	0.7	0.0
	うち、退院直後の利用開始者数	17	1	0.1	0.2	0.0
ステーション	10月の利用開始者数	286	935	3.3	5.3	2.0
	うち、退院直後の利用開始者数	286	238	0.8	1.4	0.0

図表 2-5-40 訪問看護ステーションの併設医療機関別 介護保険の訪問看護の10月の利用
開始者数等（実人数）

		回答 件数 (件)	合計値 (人)	平均 値 (人)	標準偏 差	中央値 (人)
同一の開設者・ 系列法人の病 院併設	10月の利用開始者数	67	265	4.0	8.4	2.0
	うち、退院直後の 利用開始者数	67	73	1.1	1.4	1.0
同一の開設者・ 系列法人の診 療所併設	10月の利用開始者数	30	140	4.7	12.2	2.0
	うち、退院直後の 利用開始者数	30	16	0.5	0.8	0.0
併設の病院・診 療所はない	10月の利用開始者数	193	614	3.2	4.0	2.0
	うち、退院直後の 利用開始者数	193	153	0.8	1.4	0.0

2) 医療保険の訪問看護

医療保険の訪問看護の平成28年10月の利用者数は病院で平均7.5人、診療所で平均6.5人、訪問看護ステーションで平均16.0人であった。

利用者のうち、亡くなった数については、病院が平均0.5人、診療所では0.2人、訪問看護ステーションでは平均0.7人であった。亡くなった利用者のうち、訪問看護ターミナルケア療養費算定者数は、病院が平均0.1人、診療所では平均0.0人、訪問看護ステーションでは平均0.4人であった。訪問看護ターミナルケア療養費算定者数のうち、利用開始から1か月以内の利用者数は病院が平均0.1人、診療所が平均0.0人、訪問看護ステーションでは平均0.2人であった。

利用者のうち、自院に入院経験のある利用者数について、病院では平均3.0人、診療所では平均1.9人であった。

訪問看護ステーションにおいて、特別管理加算の算定者数は平均6.0人であった。

利用者のうち、10月の利用開始者については、「病院」が平均1.0人、「診療所」では平均0.6人、「訪問看護ステーション」では平均1.5人であった。10月の利用開始者のうち、退院直後の利用開始者数は、「病院」が平均0.5人、「診療所」が平均0.1人、「訪問看護ステーション」では平均0.6人であった。

図表2-5-41 医療保険の訪問看護の平成28年10月の利用者数（実人数）

	回答件数 (件)	合計値 (人)	平均値 (人)	標準偏差	中央値 (人)
病院	103	773	7.5	9.7	3.0
診療所	30	194	6.5	10.1	2.0
ステーション	360	5,758	16.0	17.5	11.0

図表2-5-42 訪問看護ステーションの併設医療機関別 医療保険の訪問看護の平成28年10月の利用者数（実人数）

	回答件数 (件)	合計値 (人)	平均値 (人)	標準偏差	中央値 (人)
同一の開設者・系列法人の病院併設	76	1,349	17.8	17.7	14.0
同一の開設者・系列法人の診療所併設	41	584	14.2	10.4	11.0
併設の病院・診療所はない	245	3,885	15.9	18.4	10.0

図表 2-5-43 医療保険の訪問看護の死亡者数等（実人数）

		回答 件数 (件)	合計値 (人)	平均値 (人)	標準 偏差	中央値 (人)
病院	亡くなった利用者数	86	41	0.5	0.7	0.0
	うち、訪問看護ターミナルケア療養費算定者数	86	11	0.1	0.4	0.0
	うち、利用開始から1か月以内の利用者数	86	7	0.1	0.3	0.0
診療所	亡くなった利用者数	21	5	0.2	0.4	0.0
	うち、訪問看護ターミナルケア療養費算定者数	21	1	0.0	0.2	0.0
	うち、利用開始から1か月以内の利用者数	21	1	0.0	0.2	0.0
ステーション	亡くなった利用者数	319	214	0.7	1.1	0.0
	うち、訪問看護ターミナルケア療養費算定者数	319	130	0.4	0.8	0.0
	うち、利用開始から1か月以内の利用者数	319	56	0.2	0.5	0.0

図表 2-5-44 訪問看護ステーションの併設医療機関別 医療保険の訪問看護の死亡者数等（実人数）

		回答 件数 (件)	合計値 (人)	平均値 (人)	標準 偏差	中央値 (人)
同一の開設者・系列法人の病院併設	亡くなった利用者数	69	53	0.8	1.2	0.0
	うち、訪問看護ターミナルケア療養費算定者数	69	24	0.3	0.9	0.0
	うち、利用開始から1か月以内の利用者数	69	9	0.1	0.5	0.0
同一の開設者・系列法人の診療所併設	亡くなった利用者数	36	20	0.6	0.7	0.0
	うち、訪問看護ターミナルケア療養費算定者数	36	11	0.3	0.6	0.0
	うち、利用開始から1か月以内の利用者数	36	8	0.2	0.5	0.0
併設の病院・診療所はない	亡くなった利用者数	216	143	0.7	1.1	0.0
	うち、訪問看護ターミナルケア療養費算定者数	216	95	0.4	0.9	0.0
	うち、利用開始から1か月以内の利用者数	216	39	0.2	0.5	0.0

図表 2-5-45 【病院・診療所】医療保険の訪問看護の入院経験のある利用者数（実人数）

	回答件数 (件)	合計値 (人)	平均値 (人)	標準偏差	中央値 (人)
病院	91	276	3.0	4.5	1.0
診療所	24	45	1.9	3.1	1.0

図表 2-5-46 【ステーション】医療保険の訪問看護の特別管理加算の算定者数（実人数）

回答件数 (件)	合計値 (人)	平均値 (人)	標準偏差	中央値 (人)
315	1,899	6.0	6.8	4.0

図表 2-5-47 【ステーション】訪問看護ステーションの併設医療機関別 医療保険の訪問看護の特別管理加算の算定者数（実人数）

	回答件数 (件)	合計値 (人)	平均値 (人)	標準偏差	中央値 (人)
同一の開設者・系列法人の病院併設	69	391	5.7	5.9	4.0
同一の開設者・系列法人の診療所併設	36	210	5.8	5.7	3.5
併設の病院・診療所はない	213	1,329	6.2	7.3	4.0

図表 2-5-48 医療保険の訪問看護の10月の利用開始者数等（実人数）

		回答件数 (件)	合計値 (人)	平均値 (人)	標準偏差	中央値 (人)
病院	10月の利用開始者数	86	90	1.0	1.9	0.0
	うち、退院直後の利用開始者数	86	40	0.5	0.9	0.0
診療所	10月の利用開始者数	25	16	0.6	0.7	1.0
	うち、退院直後の利用開始者数	25	2	0.1	0.3	0.0
ステーション	10月の利用開始者数	326	495	1.5	2.0	1.0
	うち、退院直後の利用開始者数	326	181	0.6	1.0	0.0

図表 2-5-49 訪問看護ステーションの併設医療機関別 医療保険の訪問看護の10月の利用
開始者数等（実人数）

		回答 件数 (件)	合計値 (人)	平均 値 (人)	標準偏 差	中央値 (人)
同一の開設者・ 系列法人の 病院併設	10月の利用開始者数	70	127	1.8	2.2	1.0
	うち、退院直後の 利用開始者数	70	49	0.7	1.0	0.0
同一の開設者・ 系列法人の 診療所併設	10月の利用開始者数	36	69	1.9	2.4	1.0
	うち、退院直後の 利用開始者数	36	20	0.6	0.8	0.0
併設の病院・診 療所はない	10月の利用開始者数	224	320	1.4	2.0	1.0
	うち、退院直後の 利用開始者数	224	118	0.5	1.0	0.0

3) 精神科の訪問看護

精神科の訪問看護の平成28年10月の利用者数は病院で平均37.1人、訪問看護ステーションで平均17.1人であった。

利用者のうち、亡くなった人数は、回答病院の合計で2人、訪問看護ステーションの合計で1人と、ほとんどいなかった。

利用者のうち、自院に入院経験のある利用者数について、病院では平均25.3人であった。

利用者のうち、10月の利用開始者については、「病院」が平均1.3人、「訪問看護ステーション」では平均0.5人であった。10月の利用開始者のうち、退院直後の利用開始者数は、「病院」が平均0.6人「訪問看護ステーション」では平均0.2人であった。

（※精神科の訪問看護については、診療所で実施しているところはなかった。）

図表2-5-50 精神科の訪問看護の平成28年10月の利用者数（実人数）

	回答件数 (件)	合計値 (人)	平均値 (人)	標準偏差	中央値 (人)
病院	31	1,150	37.1	65.0	12.0
ステーション	151	2,578	17.1	42.1	3.0

図表2-5-51 訪問看護ステーションの併設医療機関別 精神科の訪問看護の平成28年10月の利用者数（実人数）

	回答件数 (件)	合計値 (人)	平均値 (人)	標準偏差	中央値 (人)
同一の開設者・系列法人の病院併設	34	1,074	31.6	65.8	6.0
同一の開設者・系列法人の診療所併設	13	89	6.8	11.5	3.0
併設の病院・診療所はない	105	1,458	13.9	32.9	3.0

図表 2-5-52 精神科の訪問看護の死亡者数等（実人数）

		回答 件数 (件)	合計値 (人)	平均値 (人)	標準 偏差	中央値 (人)
病院	亡くなった利用者数	28	2	0.1	0.3	0.0
	うち、訪問看護ターミナルケア療養費算定者数	28	0	0.0	-	-
	うち、利用開始から1か月以内の利用者数	28	0	0.0	-	-
ステーション	亡くなった利用者数	129	1	0.0	0.1	0.0
	うち、訪問看護ターミナルケア療養費算定者数	129	0	0.0	-	-
	うち、利用開始から1か月以内の利用者数	129	0	0.0	-	-

図表 2-5-53 【病院】精神科の訪問看護の入院経験のある利用者数（実人数）

回答件数 (件)	合計値 (人)	平均値 (人)	標準偏差	中央値 (人)
30	760	25.3	48.2	4

図表 2-5-54 精神科の訪問看護の10月の利用開始者数等（実人数）

		回答 件数 (件)	合計値 (人)	平均 値 (人)	標準 偏差	中央値 (人)
病院	10月の利用開始者数	29	37	1.3	2.0	1.0
	うち、退院直後の利用開始者数	29	18	0.6	1.4	0.0
ステーション	10月の利用開始者数	125	65	0.5	1.7	0.0
	うち、退院直後の利用開始者数	125	29	0.2	1.1	0.0

図表 2-5-55 訪問看護ステーションの併設医療機関別 精神科の訪問看護の10月の利用開始者数等（実人数）

		回答 件数 (件)	合計値 (人)	平均 値 (人)	標準偏 差	中央値 (人)
同一の開設者・ 系列法人の病 院併設	10月の利用開始者数	27	25	0.9	2.8	0.0
	うち、退院直後の 利用開始者数	27	15	0.6	2.1	0.0
同一の開設者・ 系列法人の診 療所併設	10月の利用開始者数	11	0	0.0	-	-
	うち、退院直後の 利用開始者数	11	0	0.0	-	-
併設の病院・診 療所はない	10月の利用開始者数	89	40	0.4	1.4	0.0
	うち、退院直後の 利用開始者数	89	14	0.2	0.6	0.0

② 要介護度別人数

病院が行う訪問看護における要介護度別人数について、「要支援1・2」は平均3.2人、「要介護1」は平均4.2人、「要介護2」は平均4.5人、「要介護3」は平均3.8人、「要介護4」は平均3.5人、「要介護5」は平均3.6人、「申請中」は平均0.2人、「合計」は22.9人であった。

診療所が行う訪問看護における要介護度別人数について、「要支援1・2」は平均0.6人、「要介護1」は平均1.1人、「要介護2」は平均1.0人、「要介護3」は平均1.0人、「要介護4」は平均1.0人、「要介護5」は平均0.8人、「申請中」は平均0.1人、「合計」は5.5人であった。

訪問看護ステーションにおける要介護度別人数について、「要支援1・2」は平均7.1人、「要介護1」は平均9.8人、「要介護2」は平均12.2人、「要介護3」は平均8.4人、「要介護4」は平均8.2人、「要介護5」は平均8.7人で、「申請中」は平均0.9人、「合計」は55.3人であった。

図表 2-5-56 【病院】介護保険の利用者数の要介護度別人数

	回答 件数 (件)	合計値 (人)	平均値 (人)	標準 偏差	中央値 (人)
要支援1・2	120	378	3.2	5.3	1.0
要介護1	120	505	4.2	4.7	2.0
要介護2	120	538	4.5	5.0	3.0
要介護3	120	450	3.8	5.5	2.0
要介護4	120	419	3.5	4.7	2.0
要介護5	120	429	3.6	4.8	2.0
申請中	120	26	0.2	0.6	0.0
合計	120	2,745	22.9	24.4	14.5

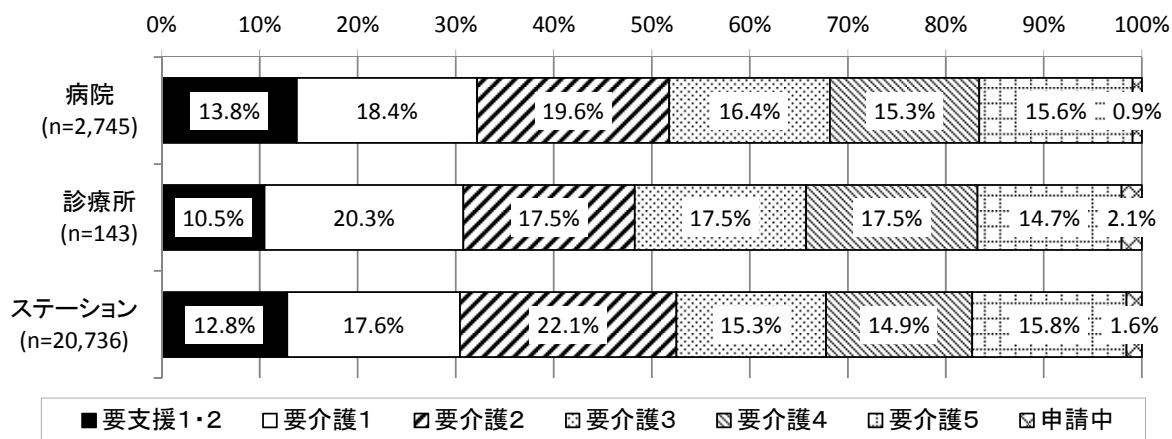
図表 2-5-57 【診療所】介護保険の利用者数の要介護度別人数

	回答 件数 (件)	合計値 (人)	平均値 (人)	標準 偏差	中央値 (人)
要支援1・2	26	15	0.6	1.1	0.0
要介護1	26	29	1.1	1.9	0.0
要介護2	26	25	1.0	1.6	0.0
要介護3	26	25	1.0	1.7	0.0
要介護4	26	25	1.0	1.0	1.0
要介護5	26	21	0.8	1.1	0.5
申請中	26	3	0.1	0.3	0.0
合計	26	143	5.5	6.5	2.5

図表 2-5-58 【訪問看護ステーション】介護保険の利用者数の要介護度別人数

	回答 件数 (件)	合計値 (人)	平均値 (人)	標準 偏差	中央値 (人)
要支援1・2	375	2,652	7.1	11.6	4.0
要介護1	375	3,657	9.8	10.1	7.0
要介護2	375	4,576	12.2	16.1	9.0
要介護3	375	3,168	8.4	10.1	6.0
要介護4	375	3,088	8.2	9.3	6.0
要介護5	375	3,273	8.7	8.9	7.0
申請中	375	322	0.9	5.0	0.0
合計	375	20736	55.3	60.7	44.0

図表 2-5-59 病院・診療所・ステーション別 介護保険の利用者数の要介護度別人数割合



③ 訪問回数（平成 28 年 10 月分）

1) 介護保険の訪問看護

介護保険の訪問看護の訪問回数（1 か月間の合計回数）について、病院は平均 100.9 回、診療所では平均 32.4 回、訪問看護ステーションでは平均 350.2 回であった。

訪問回数のうち、緊急に訪問した回数（加算算定数ではなく実数）は、病院は平均 3.0 回、診療所では平均 0.2 回、訪問看護ステーションでは平均 4.4 回であった。

訪問回数のうち、入院中の外泊日に行った訪問の回数は、病院は回答病院の合計で 2 回、診療所ではなし、訪問看護ステーションでは合計で 1 回とほとんど実施されていなかった。

図表 2 - 5 - 60 介護保険の訪問看護の訪問回数

		回答 件数 (件)	合計値 (回)	平均値 (回)	標準 偏差	中央値 (回)
病院	訪問回数 (1 か月間の合計回数)	117	11,801	100.9	139.3	46.0
	緊急に訪問した回数※	117	348	3.0	6.3	0.0
	入院中の利用者の外泊日 に行った訪問の回数	117	2	0.0	0.2	0.0
診療所	訪問回数 (1 か月間の合計回数)	22	713	32.4	41.7	13.0
	緊急に訪問した回数※	22	4	0.2	0.6	0.0
	入院中の利用者の外泊日 に行った訪問の回数	22	0	0.0	-	-
ステー ション	訪問回数 (1 か月間の合計回数)	377	132,042	350.2	602.2	237.0
	緊急に訪問した回数※	377	1,653	4.4	5.8	2.0
	入院中の利用者の外泊日 に行った訪問の回数	377	1	0.0	0.1	0.0

※加算算定数ではなく実数

図表 2-5-61 訪問看護ステーションの併設医療機関別 介護保険の訪問看護の訪問回数

		回答 件数 (件)	合計値 (回)	平均値 (回)	標準 偏差	中央値 (回)
同一の開設 者・系列法 人の病院併 設	訪問回数 (1か月間の合計回数)	82	26,427	322.3	244.9	262.0
	緊急に訪問した回数※	82	415	5.1	5.6	3.5
	入院中の利用者の外泊日 に行った訪問の回数	82	1	0.0	0.1	0.0
同一の開設 者・系列法 人の診療所 併設	訪問回数 (1か月間の合計回数)	43	14,104	328.0	224.6	301.0
	緊急に訪問した回数※	43	256	6.0	6.8	3.0
	入院中の利用者の外泊日 に行った訪問の回数	43	0	0.0	-	-
併設の病 院・診療所 はない	訪問回数 (1か月間の合計回数)	256	93,102	363.7	712.2	220.0
	緊急に訪問した回数※	256	1,024	4.0	5.7	2.0
	入院中の利用者の外泊日 に行った訪問の回数	256	0	0.0	-	-

※加算算定数ではなく実数

2) 医療保険の訪問看護

医療保険の訪問看護の訪問回数（1か月間の合計回数）について、病院は平均 40.1 回、診療所では平均 23.0 回、訪問看護ステーションでは平均 142.6 回であった。

訪問回数のうち、緊急に訪問した回数（加算算定数ではなく実数）は、病院は平均 1.8 回、診療所では平均 0.1 回、訪問看護ステーションでは平均 3.0 回であった。

訪問回数のうち、入院中の外泊日に行った訪問の回数は、回答病院の合計で 3 回、診療所ではなし、訪問看護ステーションでは合計 4 回とほとんど実施されていなかった。

図表 2-5-62 病院における医療保険（精神科以外）の訪問看護の訪問回数

		回答 件数 (件)	合計値 (回)	平均値 (回)	標準 偏差	中央値 (回)
病院	訪問回数 (1か月間の合計回数)	99	3,965	40.1	53.7	14.0
	緊急に訪問した回数※	99	181	1.8	5.8	0.0
	入院中の利用者の外泊 日に行った訪問の回数	99	3	0.0	0.2	0.0
診療所	訪問回数 (1か月間の合計回数)	30	691	23.0	30.0	8.0
	緊急に訪問した回数※	30	4	0.1	0.3	0.0
	入院中の利用者の外泊 日に行った訪問の回数	30	0	0.0	-	-
ステーション	訪問回数 (1か月間の合計回数)	365	51,922	142.6	147.6	105.0
	緊急に訪問した回数※	365	1,110	3.0	4.6	1.0
	入院中の利用者の外泊 日に行った訪問の回数	365	4	0.0	0.1	0.0

※加算算定数ではなく実数

図表 2-5-63 訪問看護ステーションの併設医療機関別 医療保険の訪問看護の訪問回数

		回答 件数 (件)	合計値 (回)	平均値 (回)	標準 偏差	中央値 (回)
同一の開設 者・系列法 人の病院併 設	訪問回数 (1か月間の合計回数)	77	9,764	126.8	87.3	114.0
	緊急に訪問した回数※	77	223	2.9	3.6	2.0
	入院中の利用者の外泊日 に行った訪問の回数	77	0	0.0	-	-
同一の開設 者・系列法 人の診療所 併設	訪問回数 (1か月間の合計回数)	41	5,436	132.6	108.5	106.0
	緊急に訪問した回数※	41	151	3.7	4.6	2.0
	入院中の利用者の外泊日 に行った訪問の回数	41	0	0.0	-	-
併設の病 院・診療所 はない	訪問回数 (1か月間の合計回数)	248	37,132	149.7	166.2	104.0
	緊急に訪問した回数※	248	749	3.0	4.8	1.0
	入院中の利用者の外泊日 に行った訪問の回数	248	4	0.0	0.2	0.0

※加算算定数ではなく実数

3) 精神科の訪問看護

精神科の訪問看護の訪問回数（1か月間の合計回数）について、病院は平均 82.8 回、訪問看護ステーションでは平均 85.5 回であった。

訪問回数のうち、緊急に訪問した回数（加算算定数ではなく実数）は、病院は平均 0.1 回、訪問看護ステーションでは平均 0.3 回であった。

訪問回数のうち、入院中の外泊日に行った訪問の回数は、訪問看護ステーションでは入院中の外泊日の訪問はなかった。

（※精神科の訪問看護については、診療所で実施しているところはなかった。）

図表 2-5-64 精神科の訪問看護の訪問回数

		回答 件数 (件)	合計値 (回)	平均値 (回)	標準 偏差	中央値 (回)
病院	訪問回数 (1か月間の合計回数)	31	2,567	82.8	134.2	22.0
	緊急に訪問した回数※	31	3	0.1	0.4	0.0
ステーション	訪問回数 (1か月間の合計回数)	151	12,912	85.5	194.6	17.0
	緊急に訪問した回数※	151	48	0.3	0.9	0.0
	入院中の利用者の外泊 日に行った訪問の回数	151	0.0	0.0	-	-

※加算算定数ではなく実数

図表 2-5-65 訪問看護ステーションの併設医療機関別 精神科の訪問看護の訪問回数

		回答 件数 (件)	合計値 (回)	平均値 (回)	標準 偏差	中央値 (回)
同一の開設 者・系列法 人の病院併 設	訪問回数 (1か月間の合計回数)	35	4,006	114.5	241.0	26.0
	緊急に訪問した回数※	35	21	0.6	1.4	0.0
	入院中の利用者の外泊日 に行った訪問の回数	35	0	0.0	-	-
同一の開設 者・系列法 人の診療所 併設	訪問回数 (1か月間の合計回数)	14	492	35.1	58.7	16.0
	緊急に訪問した回数※	14	4	0.3	0.8	0.0
	入院中の利用者の外泊日 に行った訪問の回数	14	0	0.0	-	-
併設の病 院・診療所 はない	訪問回数 (1か月間の合計回数)	104	27	0.3	0.7	0.0
	緊急に訪問した回数※	104	27	0.3	0.7	0.0
	入院中の利用者の外泊日 に行った訪問の回数	104	0	0.0	-	-

※加算算定数ではなく実数

④ 加算

1) 介護保険

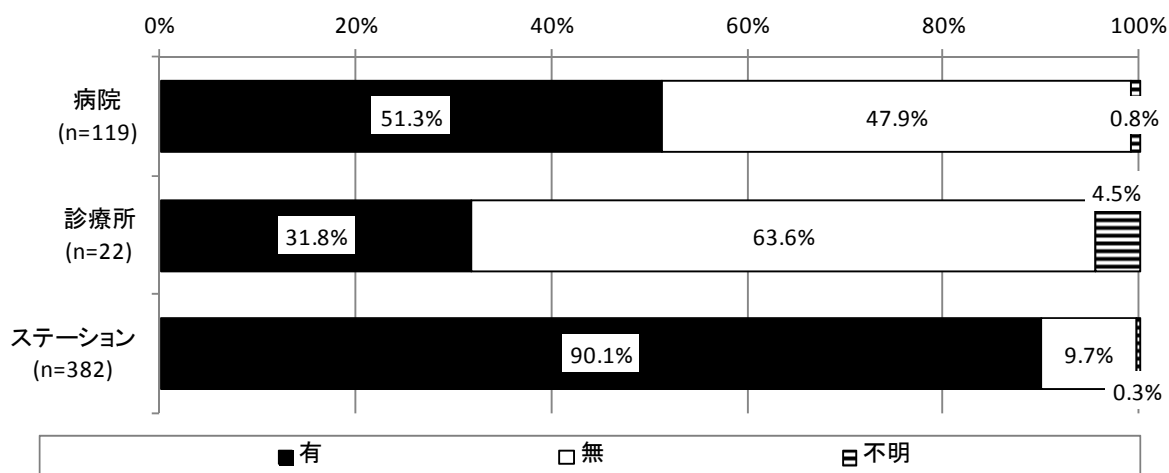
i) 緊急時訪問看護加算の届出

病院は、緊急時訪問看護加算の届出の有無について、「有」が51.3%、「無」が47.9%であった。「有」のうち、「緊急時訪問看護加算の算定件数」の平均は24.3件であった。

診療所は、緊急時訪問看護加算の届出の有無について、「有」が31.8%、「無」が63.6%であった。「有」のうち、「緊急時訪問看護加算の算定件数」の平均は3.6件であった。

訪問看護ステーションは、緊急時訪問看護加算の届出の有無について、「有」が90.1%、「無」が9.7%であった。

図表 2 - 5 - 66 緊急時訪問看護加算の届出の有無



図表 2 - 5 - 67 【病院・診療所】病院・診療所別 緊急時訪問看護加算の算定件数

	回答件数 (件)	合計値 (件)	平均値 (件)	標準偏差	中央値 (件)
病院	56	1,362	24.3	22.5	17.5
診療所	5	18	3.6	4.2	2.0

図表 2-5-68 訪問看護ステーションの併設医療機関別 緊急時訪問看護加算の届出の有無

	合計	有	無	不明
全体	382 100.0%	344 90.1%	37 9.7%	1 0.3%
同一の開設者・系列法人の病院併設	83 100.0%	77 92.8%	5 6.0%	1 1.2%
同一の開設者・系列法人の診療所併設	43 100.0%	41 95.3%	2 4.7%	0 0.0%
併設の病院・診療所はない	260 100.0%	231 88.8%	29 11.2%	0 0.0%

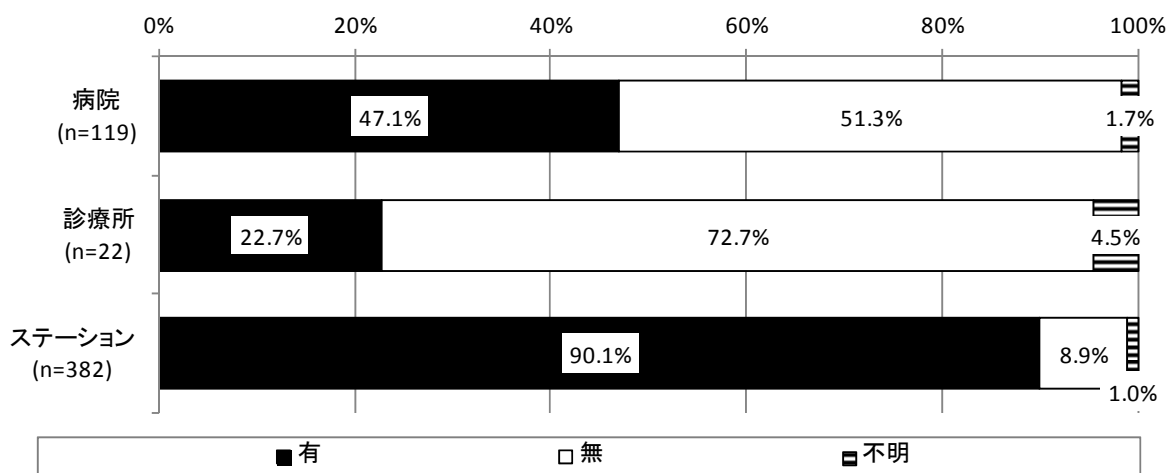
ii) 特別管理体制の届出

病院は、特別管理体制の届出の有無について、「有」が47.1%、「無」が51.3%であった。「有」のうち、「特別管理体制の算定件数」の平均は9.0件であった。

診療所は、特別管理体制の届出の有無について、「有」が22.7%、「無」が72.7%であった。「有」のうち、「特別管理体制の算定件数」の平均は1.5件であった。

訪問看護ステーションは特別管理体制の届出の有無について、「有」が90.1%、「無」が8.9%であった。

図表 2 - 5 - 69 特別管理体制の届出の有無



図表 2 - 5 - 70 【病院・診療所】病院・診療所別 特別管理体制の算定件数

	回答件数 (件)	合計値 (件)	平均値 (件)	標準偏差	中央値 (件)
病院	51	458	9.0	8.8	6.0
診療所	4	6	1.5	0.6	1.5

図表 2 - 5 - 71 訪問看護ステーションの併設医療機関別 特別管理体制の届出の有無

	合計	有	無	不明
全体	382 100.0%	344 90.1%	34 8.9%	4 1.0%
同一の開設者・系列 法人の病院併設	83 100.0%	76 91.6%	6 7.2%	1 1.2%
同一の開設者・系列 法人の診療所併設	43 100.0%	41 95.3%	2 4.7%	0 0.0%
併設の病院・診療所 はない	260 100.0%	230 88.5%	27 10.4%	3 1.2%

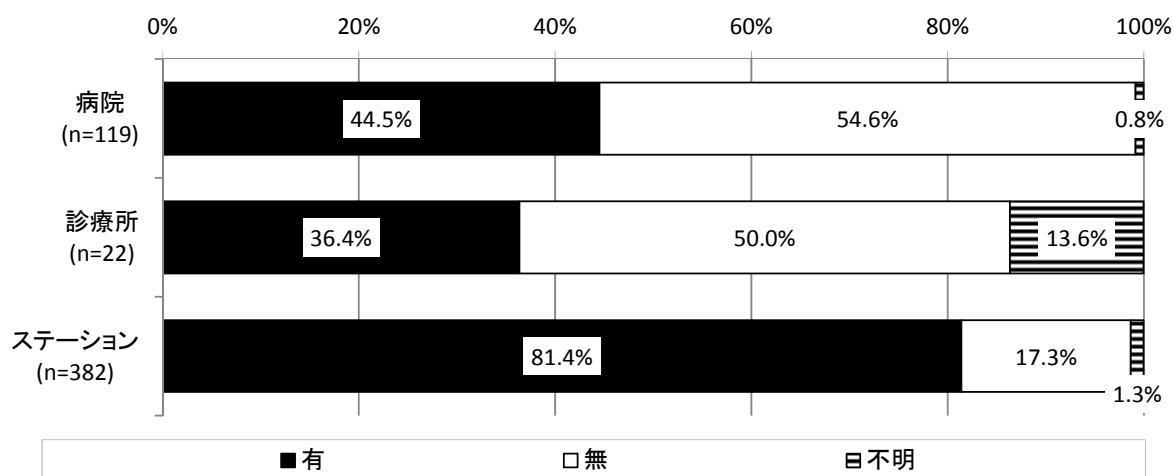
iii) ターミナルケア体制の届出

病院はターミナルケア体制の届出の有無について、「有」が44.5%、「無」が54.6%であった。

診療所はターミナルケア体制の届出の有無について、「有」が36.4%、「無」が50.0%であった。

訪問看護ステーションはターミナルケア体制の届出の有無について、「有」が81.4%、「無」が17.3%であった。

図表 2-5-72 ターミナルケア体制の届出の有無



図表 2-5-73 訪問看護ステーションの併設医療機関別 ターミナルケア体制の届出の有無

	合計	有	無	不明
全体	382 100.0%	311 81.4%	66 17.3%	5 1.3%
同一の開設者・系列 法人の病院併設	83 100.0%	68 81.9%	14 16.9%	1 1.2%
同一の開設者・系列 法人の診療所併設	43 100.0%	40 93.0%	3 7.0%	0 0.0%
併設の病院・診療所 はない	260 100.0%	208 80.0%	49 18.8%	3 1.2%

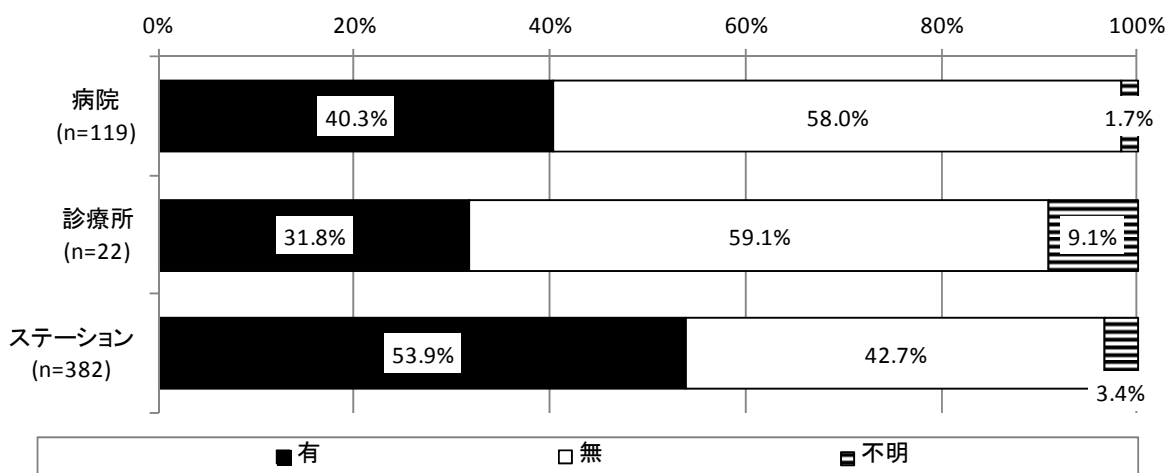
iv) サービス提供体制強化加算の届出

病院はサービス提供体制強化加算の届出の有無について、「有」が40.3%、「無」が58.0%であった。

診療所はサービス提供体制強化加算の届出の有無について、「有」が31.8%、「無」が59.1%であった。

訪問看護ステーションはサービス提供体制強化加算の届出の有無について、「有」が53.9%、「無」が42.7%であった。

図表 2-5-74 サービス提供体制強化加算の届出の有無



図表 2-5-75 訪問看護ステーションの併設医療機関別 サービス提供体制強化加算の届出の有無

	合計	有	無	不明
全体	382 100.0%	206 53.9%	163 42.7%	13 3.4%
同一の開設者・系列法人の病院併設	83 100.0%	67 80.7%	15 18.1%	1 1.2%
同一の開設者・系列法人の診療所併設	43 100.0%	34 79.1%	9 20.9%	0 0.0%
併設の病院・診療所はない	260 100.0%	110 42.3%	138 53.1%	12 4.6%

※参考 サービス提供体制強化加算の算定要件

(厚生労働省告示第 19 号 告示) (厚生労働省告示第 25 号 告示)

(厚生労働省老人保健福祉局企画課長通知第 36 号)

要件	内容	
研修の実施	訪問看護ステーションのすべての看護師等（保健師、助産師、准看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）に対し、看護師等ごとに研修計画を作成し、計画に従い、研修（外部における研修を含む）を実施していること、または実施を予定していること。	
会議の開催	<p>(1)利用者に関する情報の伝達、(2)サービス提供に当たっての留意事項の伝達、(3)看護師等の技術指導を目的とした会議を定期的開催していること</p> <p>・(1)(2)は、少なくとも次の事項について、その変化の動向も含め記載</p> <p>①利用者の ADL や意欲</p> <p>②利用者の主な訴えやサービス提供時の特段の要望</p> <p>③家族を含む環境</p> <p>④前回のサービス提供時の状況</p> <p>⑤その他サービス提供に必要な事項</p>	
健康診断等の定期的な実施	<p>すべての看護師等に対し、健康診断等を定期的実施していること</p> <p>・少なくとも 1 年以内ごとに 1 回、事業主の費用負担により実施</p> <p>※新たに加算を算定しようとする場合は、1 年以内の実施が計画されていることで足りる（年度途中の新規に事業を開始する場合も同様）</p>	
勤続 3 年以上の職員が 30% 以上	看護師等の総数のうち、勤続年数 3 年以上の者の占める割合が 30% 以上であること	
	職員の割合の算出	<p>①常勤換算方法により算出した前年度（3 月を除く）の平均を用いる</p> <p>②前年度の実績が 6 月に満たない事業所（新規開設の事業所や再開した事業所を含む）については、届出日の属する月の前 3 月について、常勤換算数方法により算出した平均を用いる。したがって、新規や再開の事業所については、4 月目以降に加算の届出が可能となる</p> <p>③上記②の場合は、届出月以降においても、直近 3 月間の職員の割合について、毎月継続的に 30% 以上を維持しなければならない。割合は毎月記録し、30% を下回った場合、ただちに都道府県知事等に提出</p>
	勤続年数	<p>①勤続年数とは、各月の前月の末日時点における勤続年数をいう。平成 21 年 4 月における勤続年数 3 年以上の者とは、平成 21 年 3 月 31 日時点で勤続年数が 3 年以上である者をいう</p> <p>②勤続年数の算定に当たっては、当該訪問看護ステーションにおける勤続年数に加え、同一法人の経営する他の介護サービス事業所、病院、社会福祉施設等においてサービスを利用者に直接提供する職員として勤務した年数を含めることができる。</p>

同一事業所で指定訪問看護と指定介護予防訪問看護とを一体的に行っている場合は、本加算の計算も一体的に行う。

2) 医療保険等

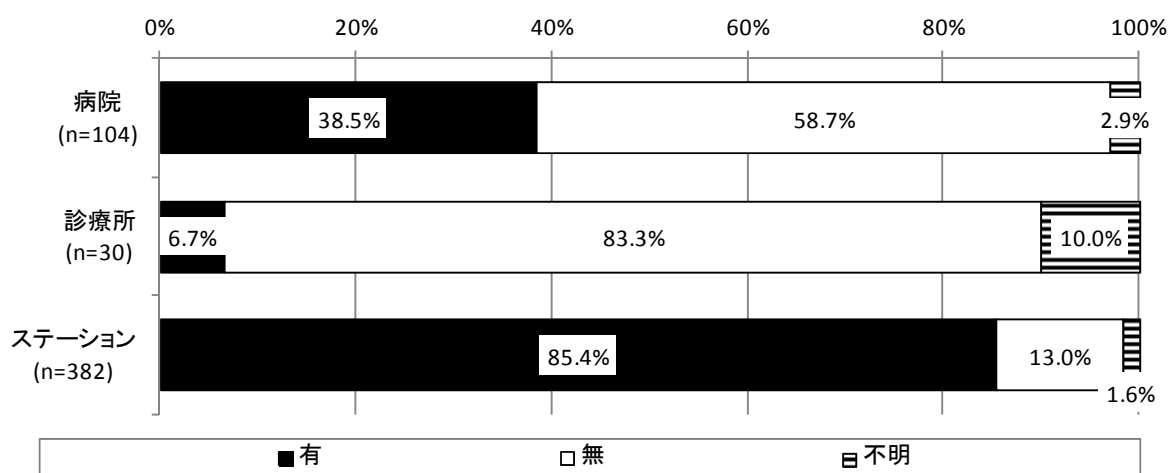
i) 特別管理加算の届出

病院は特別管理加算の届出の有無について、「有」が38.5%、「無」が58.7%であった。「有」のうち、特別管理加算の算定件数は平均5.5件であった。

診療所は特別管理加算の届出の有無について、「有」が6.7%、「無」が83.3%であった。「有」のうち、特別管理加算の算定件数は平均5.0件であった。

訪問看護ステーションは特別管理加算の届出の有無について、「有」が85.4%、「無」が13.0%であった。「有」のうち、特別管理加算の算定件数は平均8.2件であった。

図表 2-5-76 特別管理加算の届出の有無



図表 2-5-77 特別管理加算の算定件数

	回答件数 (件)	合計値 (件)	平均値 (件)	標準偏差	中央値 (件)
病院	34	187	5.5	4.5	4.0
診療所	1	5	5.0	-	-
ステーション	264	2,168	8.2	7.1	6.0

図表 2-5-78 訪問看護ステーションの併設医療機関別 特別管理加算の届出の有無

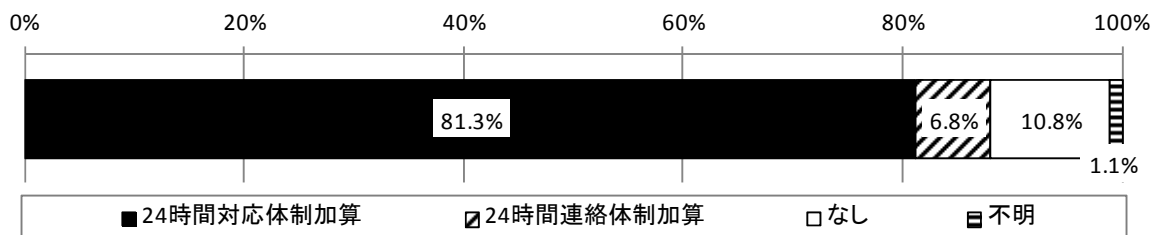
	合計	有	無	不明
全体	369 100.0%	315 85.4%	48 13.0%	6 1.6%
同一の開設者・系列 法人の病院併設	78 100.0%	71 91.0%	7 9.0%	0 0.0%
同一の開設者・系列 法人の診療所併設	41 100.0%	36 87.8%	4 9.8%	1 2.4%
併設の病院・診療所 はない	252 100.0%	211 83.7%	36 14.3%	5 2.0%

ii) 【訪問看護ステーション】24時間対応体制加算・24時間連絡体制加算の届出

24時間対応体制加算・24時間連絡体制加算の届出について、「24時間対応体制加算」が81.3%、「24時間連絡体制加算」は6.8%であった。

24時間対応体制加算の算定件数は平均15.7件、24時間連絡体制加算の算定件数は平均12.2件であった。

図表 2-5-79 24時間対応体制加算・24時間連絡体制加算の届出の状況(n=369)



図表 2-5-80 24時間対応体制加算・24時間連絡体制加算の算定件数

	回答件数 (件)	合計値 (件)	平均値 (件)	標準偏差	中央値 (件)
24時間対応体制加算	245	3,845	15.7	15.0	12.0
24時間連絡体制加算	24	292	12.2	17.5	5.5

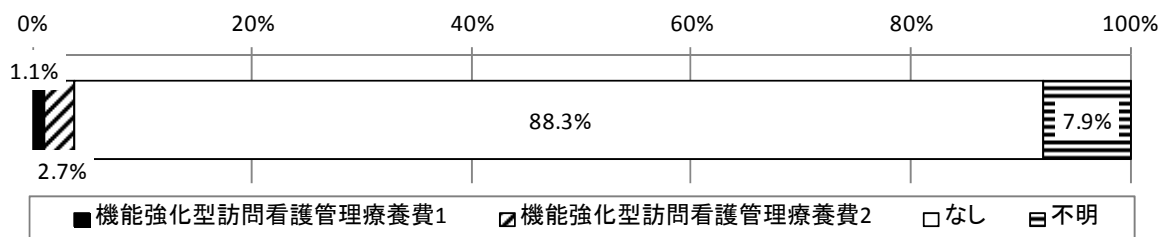
図表 2-5-81 訪問看護ステーションの併設医療機関別 24時間対応体制加算・24時間連絡体制加算の届出の有無

	合計	24時間 対応体 制加算	24時間 連絡体 制加算	なし	不明
全体	369 100.0%	300 81.3%	25 6.8%	40 10.8%	4 1.1%
同一の開設者・系列 法人の病院併設	78 100.0%	68 87.2%	4 5.1%	4 5.1%	2 2.6%
同一の開設者・系列 法人の診療所併設	41 100.0%	37 90.2%	2 4.9%	2 4.9%	0 0.0%
併設の病院・診療所 はない	252 100.0%	198 78.6%	19 7.5%	33 13.1%	2 0.8%

iii) 【訪問看護ステーション】機能強化型訪問看護管理療養費の届出

機能強化型訪問看護療養費の届出について、「機能強化型訪問看護管理療養費 1」は 1.1%、「機能強化型訪問看護管理療養費 2」は 2.7%であった。

図表 2-5-82 機能強化型訪問看護管理療養費の届出状況(n=369)



※参考 機能強化型訪問看護療養費の算定要件

(厚生労働省告示第 64 号、通知保医発 0305 第 15 号) (厚生労働省告示第 57 号 告示)

区分	機能強化型 1	機能強化型 2
1. 常勤の保健師、助産師、看護師又は准看護師の数（サテライトに配置している看護職員を含む）。当該職員数については、常勤職員のみ数とすること。	7人以上	5人以上
2. ターミナルケア並びに重症児の利用者に対する訪問看護について、十分な実績を有すること。次の①～③のいずれかを満たすこと。		
①ターミナルケア件数 ^{※1} の年間合計数	20件以上	15件以上
②ターミナルケア件数の年間合計数、かつ、15歳未満の超重症児・準超重症児の利用者の数	15件以上かつ常時4人以上	10件以上かつ常時3人以上
③15歳未満の超重症児・準超重症児 ^{※2} の利用者の数	常時6人以上	常時5人以上
3. 特掲診療科の施設基準等の別表第七に該当する利用者の数	10人以上/月	7人以上/月
(機能強化型 1・2 に共通の要件)		
4. 24時間対応体制加算を届け出ていること。		
5. 指定訪問看護事業所と居宅介護支援事業所が同一敷地内に設置され、かつ、当該訪問看護事業所の介護サービス計画又は介護予防サービス計画の作成が必要な利用者のうち、例えば、特に医療的な管理が必要な利用者 1割程度について、当該居宅介護支援事業所により介護サービス計画又は介護予防サービス計画を作成していること。なお、2.において②または③に該当する場合は、障害者総合支援法に基づく指定特定相談支援事業者又は児童福祉法に基づく指定障害児相談支援事業者と連携するのが望ましい。		
6. 休日、祝日等も含め計画的な指定訪問看護を行うこと。また、営業日以外であっても、24時間365日訪問看護を必要とする利用者に対して、訪問看護を提供できる体制を確保し、対応すること。		
7. 地域住民等に対する情報提供や相談、人材育成のための研修を実施していることが望ましい。特に、人材育成のための研修については、看護学生の在宅看護実習、病院及び地域において在宅療養を支援する医療従事者の知識及び技術の習得等、在宅医療の推進に資する研修であること。		

※1 ターミナルケア件数とは、次の合計数

- a. 訪問看護ターミナルケア療養費の算定件数
- b. 介護保険のターミナルケア加算の算定件数
- c. 在宅で死亡した利用者のうち当該訪問看護ステーションと共同で訪問看護を行った保険医療機関において在宅がん医療総合診療料を算定していた利用者数

※2 超重症児・準超重症児とは、「超重症児（者）判定基準」による判定スコアが 10 以上の利用者をいう

4. 土日や夜間等の対応体制

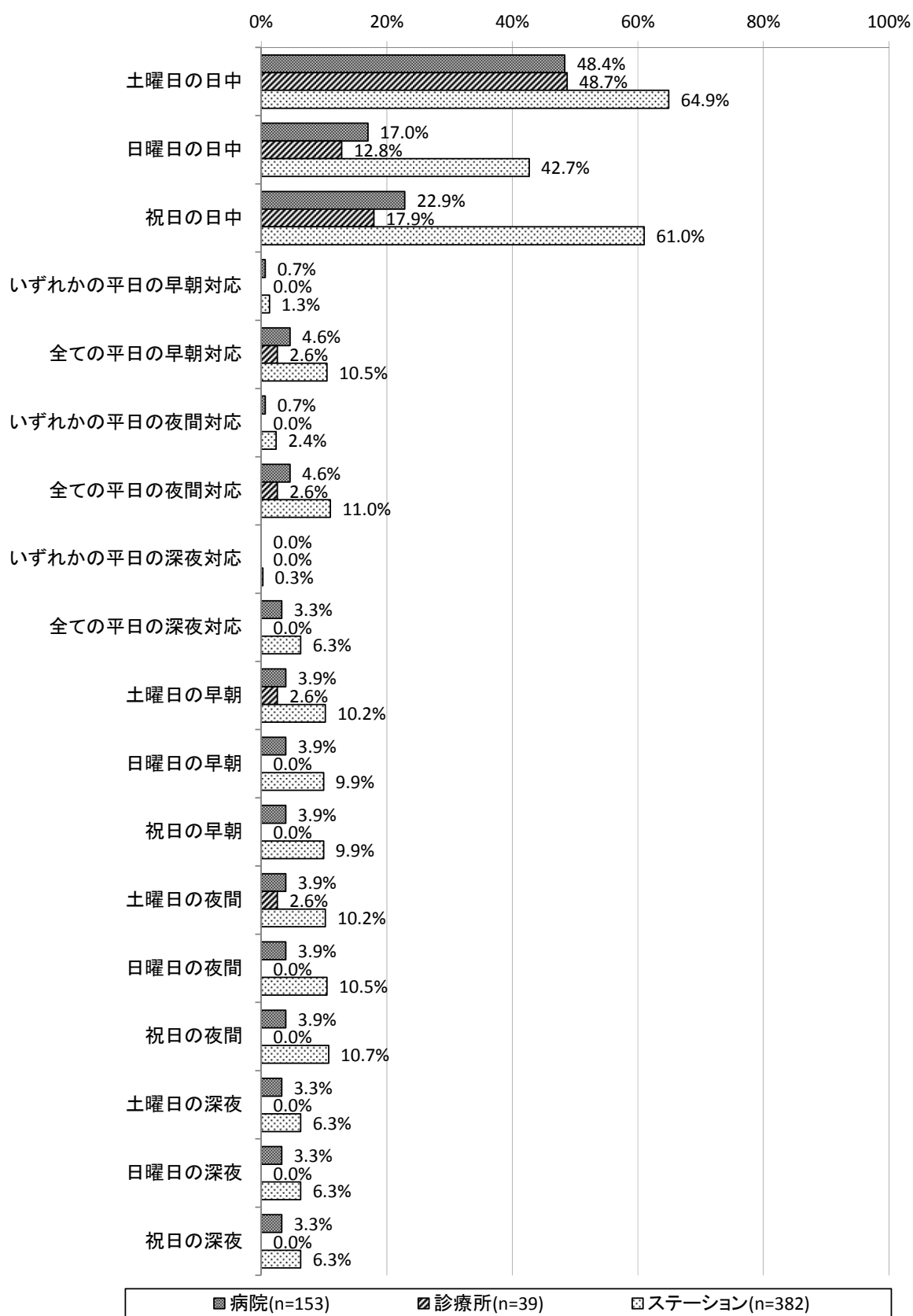
① 土日祝日・早朝夜間深夜の計画的な訪問

1) 土日祝日・早朝夜間深夜の計画的な訪問の対応状況

土日祝日・早朝夜間深夜の計画的な訪問について、「土曜日の日中」に対応する病院は48.4%、診療所は48.7%、訪問看護ステーションは64.9%であった。「日曜日の日中」に対応する病院は17.0%、診療所は12.8%、訪問看護ステーションは42.7%であった。「祝日の日中」に対応する病院は22.9%、診療所は17.9%、訪問看護ステーションは61.0%であった。

「全ての平日の早朝」に対応する病院は4.6%、診療所は2.6%、訪問看護ステーションは10.5%であった。「全ての平日の夜間」に対応する病院は4.6%、診療所は2.6%、訪問看護ステーションは11.0%であった。

図表 2-5-83 土日祝日・早朝夜間深夜の計画的な訪問（複数回答）



図表 2-5-84 緊急時訪問看護加算の届出の有無別 土日祝日・早朝夜間深夜の計画的な訪問
（複数回答）

	合計	土曜日 の日中	日曜日 の日中	祝日の 日中	いずれ かの平 日の早 朝対応	全ての 平日の 早朝対 応	いずれ かの平 日の夜 間対応	全ての 平日の 夜間対 応	いずれ かの平 日の深 夜対応
全体	382 100.0%	248 64.9%	163 42.7%	233 61.0%	5 1.3%	40 10.5%	9 2.4%	42 11.0%	1 0.3%
有	344 100.0%	229 66.6%	151 43.9%	216 62.8%	4 1.2%	38 11.0%	6 1.7%	38 11.0%	0 0.0%
無	37 100.0%	19 51.4%	12 32.4%	17 45.9%	1 2.7%	2 5.4%	3 8.1%	4 10.8%	1 2.7%

	合計	全ての 平日の 深夜対 応	土曜日 の早朝	日曜日 の早朝	祝日の 早朝	土曜日 の夜間	日曜日 の夜間	祝日の 夜間	土曜日 の深夜
全体	382 100.0%	24 6.3%	39 10.2%	38 9.9%	38 9.9%	39 10.2%	40 10.5%	41 10.7%	24 6.3%
有	344 100.0%	24 7.0%	36 10.5%	35 10.2%	35 10.2%	34 9.9%	35 10.2%	36 10.5%	23 6.7%
無	37 100.0%	0 0.0%	3 8.1%	3 8.1%	3 8.1%	5 13.5%	5 13.5%	5 13.5%	1 2.7%

	合計	日曜日 の深夜	祝日の 深夜
全体	382 100.0%	24 6.3%	24 6.3%
有	344 100.0%	23 6.7%	23 6.7%
無	37 100.0%	1 2.7%	1 2.7%

4 土日や夜間等の対応体制

図表 2-5-85 24 時間対応体制加算・24 時間連絡体制加算の届出別 土日祝日・早朝夜間深夜の計画的な訪問（複数回答）

	合計	土曜日の日中	日曜日の日中	祝日の日中	いずれかの平日の早朝対応	全ての平日の早朝対応	いずれかの平日の夜間対応	全ての平日の夜間対応	いずれかの平日の深夜対応
全体	382 100.0%	248 64.9%	163 42.7%	233 61.0%	5 1.3%	40 10.5%	9 2.4%	42 11.0%	1 0.3%
24 時間対応体制加算	300 100.0%	204 68.0%	141 47.0%	190 63.3%	3 1.0%	35 11.7%	7 2.3%	36 12.0%	0 0.0%
24 時間連絡体制加算	25 100.0%	10 40.0%	6 24.0%	15 60.0%	0 0.0%	2 8.0%	0 0.0%	1 4.0%	0 0.0%
なし	40 100.0%	23 57.5%	12 30.0%	22 55.0%	1 2.5%	3 7.5%	2 5.0%	4 10.0%	1 2.5%

	合計	全ての平日の深夜対応	土曜日の早朝	日曜日の早朝	祝日の早朝	土曜日の夜間	日曜日の夜間	祝日の夜間	土曜日の深夜
全体	382 100.0%	24 6.3%	39 10.2%	38 9.9%	38 9.9%	39 10.2%	40 10.5%	41 10.7%	24 6.3%
24 時間対応体制加算	300 100.0%	22 7.3%	34 11.3%	33 11.0%	33 11.0%	33 11.0%	34 11.3%	35 11.7%	22 7.3%
24 時間連絡体制加算	25 100.0%	1 4.0%	1 4.0%	1 4.0%	1 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
なし	40 100.0%	1 2.5%	4 10.0%	4 10.0%	4 10.0%	5 12.5%	5 12.5%	5 12.5%	2 5.0%

	合計	日曜日の深夜	祝日の深夜
全体	382 100.0%	24 6.3%	24 6.3%
24 時間対応体制加算	300 100.0%	22 7.3%	22 7.3%
24 時間連絡体制加算	25 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
なし	40 100.0%	2 5.0%	2 5.0%

図表 2-5-86 機能強化型訪問看護管理療養費の届出別 土日祝日・早朝夜間深夜の計画的な訪問（複数回答）

	合計	土曜日 の日中	日曜日 の日中	祝日の 日中	いずれ かの平 日の早 朝対応	全ての 平日の 早朝対 応	いずれ かの平 日の夜 間対応	全ての 平日の 夜間対 応	いずれ かの平 日の深 夜対応
全体	382 100.0%	248 64.9%	163 42.7%	233 61.0%	5 1.3%	40 10.5%	9 2.4%	42 11.0%	1 0.3%
機能強化型 1	4 100.0%	2 50.0%	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
機能強化型 2	10 100.0%	7 70.0%	3 30.0%	6 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
なし	326 100.0%	210 64.4%	144 44.2%	202 62.0%	4 1.2%	36 11.0%	8 2.5%	38 11.7%	1 0.3%

	合計	全ての 平日の 深夜対 応	土曜日 の早朝	日曜日 の早朝	祝日の 早朝	土曜日 の夜間	日曜日 の夜間	祝日の 夜間	土曜日 の深夜
全体	382 100.0%	24 6.3%	39 10.2%	38 9.9%	38 9.9%	39 10.2%	40 10.5%	41 10.7%	24 6.3%
機能強化型 1	382 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
機能強化型 2	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
なし	10 100.0%	35 10.7%	34 10.4%	34 10.4%	35 10.7%	36 11.0%	37 11.3%	22 6.7%	22 6.7%

	合計	日曜日 の深夜	祝日の 深夜
全体	382 100.0%	24 6.3%	24 6.3%
機能強化型 1	382 100.0%	24 6.3%	24 6.3%
機能強化型 2	382 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
なし	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

※機能強化型 1：機能強化型訪問看護管理療養費 1
※機能強化型 2：機能強化型訪問看護管理療養費 2

4 土日や夜間等の対応体制

図表 2-5-87 訪問看護ステーションの併設医療機関別 土日祝日・早朝夜間深夜の計画的な
訪問（複数回答）

	合計	土曜日 の日中	日曜日 の日中	祝日の 日中	いずれ かの平 日の早 朝対応	全ての 平日の 早朝対 応	いずれ かの平 日の夜 間対応
全体	382 100.0%	248 64.9%	163 42.7%	233 61.0%	5 1.3%	40 10.5%	9 2.4%
同一の開設者・系列 法人の病院併設	83 100.0%	55 66.3%	24 28.9%	40 48.2%	1 1.2%	6 7.2%	0 0.0%
同一の開設者・系列 法人の診療所併設	43 100.0%	30 69.8%	14 32.6%	21 48.8%	1 2.3%	2 4.7%	1 2.3%
併設の病院・診療所 はない	260 100.0%	166 63.8%	125 48.1%	172 66.2%	4 1.5%	32 12.3%	8 3.1%

	合計	全ての 平日の 夜間対 応	いずれ かの平 日の深 夜対応	全ての 平日の 深夜対 応	土曜日 の早朝	日曜日 の早朝	祝日の 早朝
全体	382 100.0%	42 11.0%	1 0.3%	24 6.3%	39 10.2%	38 9.9%	38 9.9%
同一の開設者・系列 法人の病院併設	83 100.0%	5 6.0%	0 0.0%	3 3.6%	6 7.2%	5 6.0%	5 6.0%
同一の開設者・系列 法人の診療所併設	43 100.0%	2 4.7%	0 0.0%	2 4.7%	2 4.7%	2 4.7%	2 4.7%
併設の病院・診療所 はない	260 100.0%	35 13.5%	1 0.4%	19 7.3%	31 11.9%	31 11.9%	31 11.9%

	合計	土曜日 の夜間	日曜日 の夜間	祝日の 夜間	土曜日 の深夜	日曜日 の深夜	祝日の 深夜
全体	382 100.0%	39 10.2%	40 10.5%	41 10.7%	24 6.3%	24 6.3%	24 6.3%
同一の開設者・系列 法人の病院併設	83 100.0%	4 4.8%	4 4.8%	4 4.8%	3 3.6%	3 3.6%	3 3.6%
同一の開設者・系列 法人の診療所併設	43 100.0%	2 4.7%	2 4.7%	2 4.7%	2 4.7%	2 4.7%	2 4.7%
併設の病院・診療所 はない	260 100.0%	33 12.7%	34 13.1%	35 13.5%	19 7.3%	19 7.3%	19 7.3%

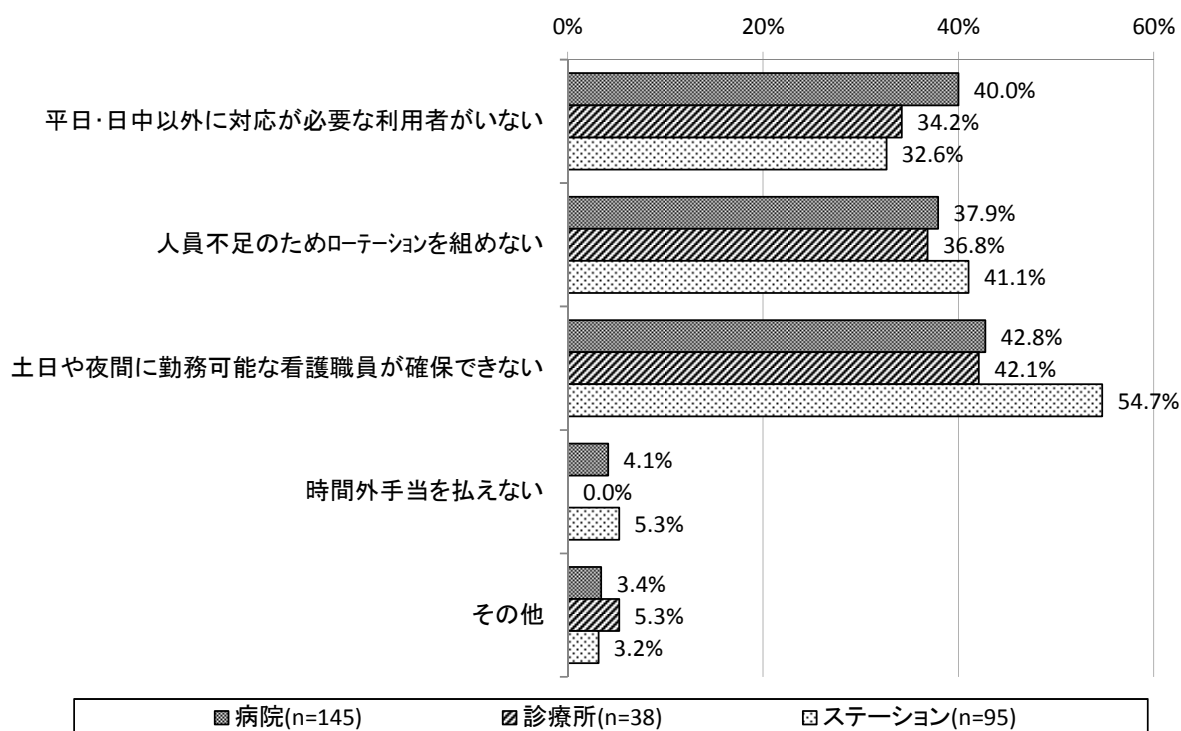
2)（平日・日中以外の場合）他の曜日や時間帯に対応できない理由

病院が平日・日中のみの対応で、他の曜日や時間帯に計画的な訪問に対応できない理由は、「土日や夜間に勤務可能な看護職員が確保できない」が42.8%、「平日・日中以外に対応する必要がある利用者がいない」は40.0%であった。その他の内容は、「近隣に24時間体制の訪問看護ステーションがある」「法人の方針」「病院の休日・時間外にあたるため」「利用者数が少ないため、経営的に難しい」であった。

診療所が平日・日中のみの対応で、他の曜日や時間帯に計画的な訪問に対応できない理由は、「土日や夜間に勤務可能な看護職員が確保できない」が42.1%、「人員不足のためローテーションを組めない」は36.8%であった。

訪問看護ステーションが平日・日中のみの対応で、他の曜日や時間帯に計画的な訪問に対応できない理由は、「土日や夜間に勤務可能な看護職員が確保できない」が54.7%、「人員不足のためローテーションを組めない」は41.1%であった。その他の具体的な内容は、「必要な場合は対応」「一時的、緊急的な場合は対応」「訪問エリアが広いため」であった。

図表 2-5-88 （平日・日中以外の場合）他の曜日や時間帯に対応できない理由（複数回答）



② 早朝・夜間・深夜の緊急訪問

1) 早朝・夜間・深夜の緊急訪問の実施状況

病院の特別管理加算算定者への早朝・夜間・深夜別の緊急訪問の実施回数について、「早朝」は平均 0.2 回、「夜間」は平均 0.3 回、「深夜」は平均 0.1 回であった。特別管理加算算定者以外への早朝・夜間・深夜別の緊急訪問について、「早朝」は平均 0.1 回、「夜間」は平均 0.3 回、「深夜」は平均 0.1 回であった。

診療所の特別管理加算算定者への早朝・夜間・深夜別の緊急訪問の実施回数について、「深夜」は平均 0.0 回、「早朝」、「夜間」の緊急訪問は行っていなかった。特別管理加算算定者以外への早朝・夜間・深夜別の緊急訪問について、「早朝」は平均 0.0 回、「夜間」は平均 0.0 回、「深夜」の緊急訪問は行っていなかった。

訪問看護ステーションの特別管理加算算定者への緊急訪問について、「早朝」は平均 0.5 回、「夜間」は平均 1.2 回、「深夜」は平均 0.6 回であった。特別管理加算算定者以外への緊急訪問については、「早朝」は平均 0.2 回、「夜間」は平均 0.7 回、「深夜」は平均 0.2 回であった。

図表 2-5-89 特別管理加算算定者別 早朝・夜間・深夜の緊急訪問の実施状況

			回答 件数 (件)	合計値 (回)	平均値 (回)	標準 偏差	中央値 (回)
病院	特別管理加算 算定者	早朝	104	16	0.2	0.5	0.0
		夜間	104	29	0.3	0.7	0.0
		深夜	104	14	0.1	0.5	0.0
	特別管理加算 算定者以外	早朝	109	15	0.1	0.4	0.0
		夜間	109	32	0.3	0.8	0.0
		深夜	109	12	0.1	0.5	0.0
診療所	特別管理加算 算定者	早朝	24	0	0.0	-	-
		夜間	24	0	0.0	-	-
		深夜	24	1	0.0	0.2	0.0
	特別管理加算 算定者以外	早朝	26	1	0.0	0.2	0.0
		夜間	26	1	0.0	0.2	0.0
		深夜	26	0	0.0	-	-
ステー ション	特別管理加算 算定者	早朝	340	155	0.5	1.2	0.0
		夜間	340	417	1.2	2.5	0.0
		深夜	340	203	0.6	1.8	0.0
	特別管理加算 算定者以外	早朝	324	72	0.2	0.6	0.0
		夜間	324	215	0.7	1.2	0.0
		深夜	324	73	0.2	0.6	0.0

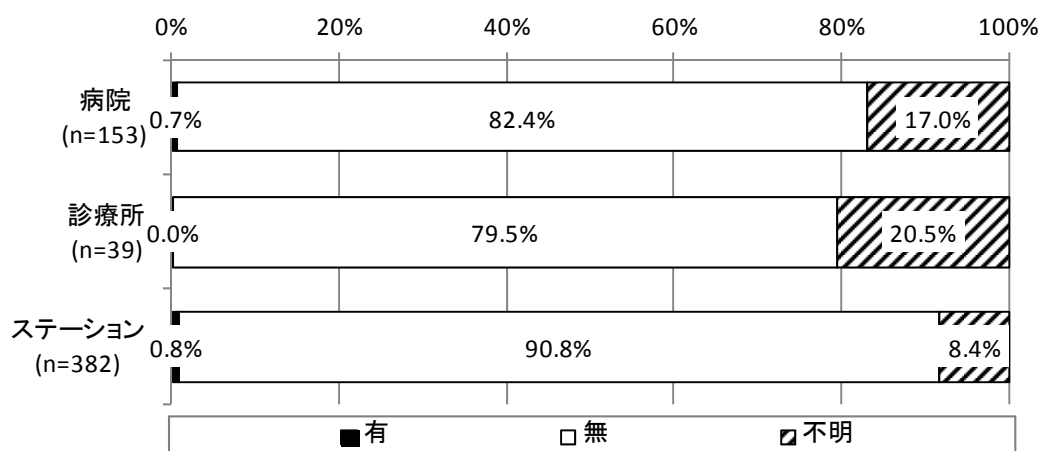
2) やむを得ず、緊急時に対応ができなかったことの有無

病院が実施している訪問看護において、やむを得ず、緊急時に対応ができなかったことは、「有」が0.7%、「無」が82.4%であった。

診療所が実施している訪問看護において、やむを得ず、緊急時に対応ができなかったことは、「有」が0.0%、「無」が79.5%であった。

訪問看護ステーションが実施している訪問看護において、やむを得ず、緊急時に対応ができなかったことは、「有」が0.8%、「無」が90.8%であった。

図表 2-5-90 やむを得ず、緊急時に対応ができなかったことの有無



5. 連携の状況等

① 【病院・診療所】他院から訪問看護の依頼（他院から診療情報提供書を受けて自院の訪問看護指示書を作成）をされた利用者の有無

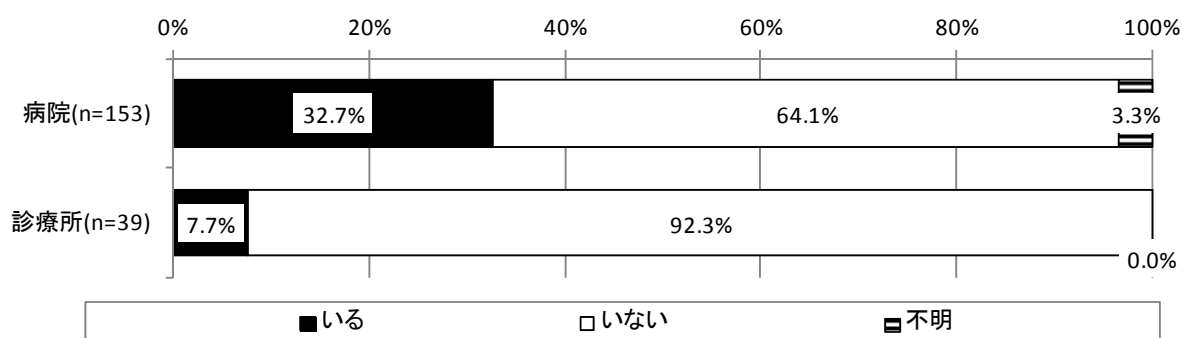
病院が実施している訪問看護の場合、他院から訪問看護の依頼（他院から診療情報提供書を受けて自院の訪問看護指示書を作成）をされた利用者について、「いる」が32.7%、「いない」が64.1%であった。

「いる」の場合、依頼されている利用者は平均10.4人、依頼元となる病院・診療所はそれぞれ平均3.4か所、平均5.7か所であった。

診療所が実施している訪問看護の場合、他院から訪問看護の依頼（他院から診療情報提供書を受けて自院の訪問看護指示書を作成）をされた利用者について、「いる」が7.7%、「いない」が92.3%であった。

「いる」の場合、依頼されている利用者は平均8.0人、依頼元となる病院は平均8.0か所であり、診療所からは依頼はなかった。

図表 2-5-91 他院から訪問看護の依頼をされた利用者の有無



図表 2-5-92 該当利用者数、病院・診療所数

		回答件数 (件)	平均値	標準偏差	中央値
利用者数 単位：人	病院	44	10.4	12.6	4.0
	診療所	3	8.0	6.0	8.0
病院 単位：か所	病院	37	3.4	3.0	2.0
	診療所	3	8.0	6.0	8.0
診療所 単位：か所	病院	30	5.7	5.4	3.0
	診療所	0	-	-	-

② 【病院・診療所（介護保険の訪問看護の利用者）】 自院と同一の開設者・系列法人の事業所以外の居宅介護支援事業所からの依頼の有無

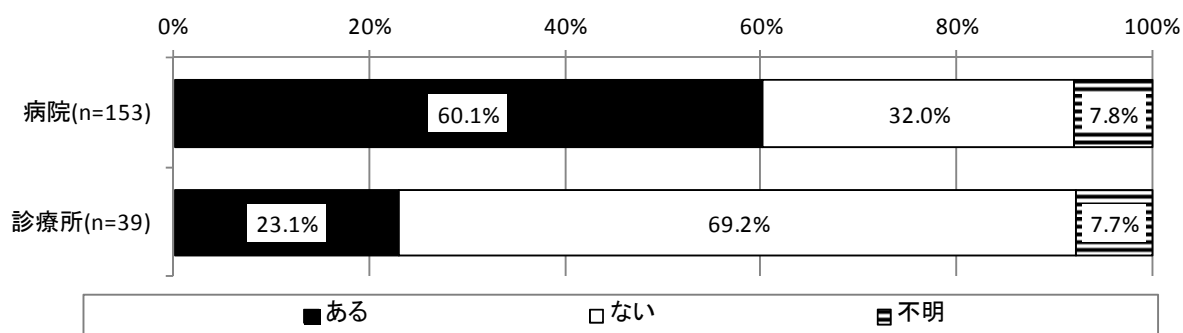
介護保険の訪問看護の利用者について、病院が実施している訪問看護の場合、自院と同一の開設者・系列法人の事業所以外の居宅介護支援事業所からの依頼の有無について、「ある」が60.1%、「ない」が32.0%であった。

「ある」の場合、依頼を受けている居宅介護支援事業所数は平均6.5か所であった。

診療所が実施している訪問看護の場合、自院と同一の開設者・系列法人の事業所以外の居宅介護支援事業所からの依頼の有無について、「ある」が23.1%、「ない」が69.2%であった。

「ある」の場合、依頼を受けている居宅介護支援事業所数は平均2.8か所であった。

図表 2-5-93 自院と同一の開設者・系列法人の事業所以外の居宅介護支援事業所からの依頼の有無



図表 2-5-94 病院・診療所別（ある場合）依頼を受けている居宅介護支援事業所数

	回答件数 (件)	平均値 (か所)	標準偏差	中央値 (か所)
病院	86	6.5	6.2	5.0
診療所	9	2.8	3.3	1.0

③ 【訪問看護ステーション】訪問看護指示書の交付を受けている病院・診療所

訪問看護指示書の交付を受けている病院は、「同一法人（同系列を含む）の医療機関」は平均 0.5 か所、「同一法人以外の併設の医療機関」は平均 0.0 か所で、「その他の医療機関」は平均 9.9 か所であった。

訪問看護指示書の交付を受けている診療所は、「同一法人（同系列を含む）の医療機関」は平均 0.3 か所、「同一法人以外の併設の医療機関」は平均 0.0 か所で、「その他の医療機関」は平均 14.2 か所であった。

図表 2-5-95 訪問看護指示書の交付を受けている病院・診療所数

		回答件数 (件)	平均値 (か所)	標準偏差	中央値 (か所)
病院	同一法人 (同系列を含む)の 医療機関	319	0.5	0.8	0.0
	上記以外の併設の 医療機関	319	0.0	0.2	0.0
	その他の医療機関	319	9.9	12.6	7.0
診療所	同一法人 (同系列を含む)の 医療機関	319	0.3	0.8	0.0
	上記以外の併設の 医療機関	319	0.0	0.3	0.0
	その他の医療機関	319	14.2	20.6	9.0

図表 2-5-96 (同一の開設者・系列法人の病院併設ステーション) 訪問看護指示書の交付を受けている病院・診療所数

		回答件数 (件)	平均値 (か所)	標準偏差	中央値 (か所)
病院	同一法人 (同系列を含む)の 医療機関	82	1.1	0.7	1.0
	上記以外の併設の 医療機関	82	0.1	0.3	0.0
	その他の医療機関	82	7.2	6.2	6.0
診療所	同一法人 (同系列を含む)の 医療機関	82	0.3	0.8	0.0
	上記以外の併設の 医療機関	82	0.0	0.2	0.0
	その他の医療機関	82	11.5	11.7	9.0

図表 2-5-97 （同一の開設者・系列法人の診療所併設ステーション）訪問看護指示書の交付を受けている病院・診療所数

		回答件数 (件)	平均値 (か所)	標準偏差	中央値 (か所)
病院	同一法人 (同系列を含む)の 医療機関	42	0.6	1.2	0.0
	上記以外の併設の 医療機関	42	0.0	-	0.0
	その他の医療機関	42	8.9	9.7	6.5
診療所	同一法人 (同系列を含む)の 医療機関	42	1.1	1.1	1.0
	上記以外の併設の 医療機関	42	0.1	0.4	0.0
	その他の医療機関	42	8.7	8.5	7.0

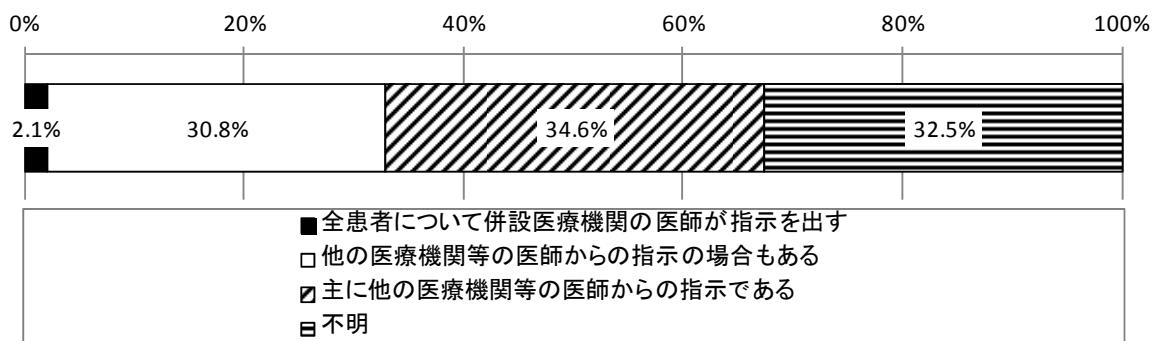
図表 2-5-98 （併設の病院・診療所はないステーション）訪問看護指示書の交付を受けている病院・診療所数

		回答件数 (件)	平均値 (か所)	標準偏差	中央値 (か所)
病院	同一法人 (同系列を含む)の 医療機関	199	0.3	0.7	0.0
	上記以外の併設の 医療機関	199	0.0	0.2	0.0
	その他の医療機関	199	11.2	14.7	8.0
診療所	同一法人 (同系列を含む)の 医療機関	199	0.2	0.7	0.0
	上記以外の併設の 医療機関	199	0.0	0.3	0.0
	その他の医療機関	199	16.4	24.4	10.0

④ 【訪問看護ステーション】訪問看護の指示を出す医師の所属

医療機関併設の場合において、訪問看護の指示を出す医師の所属は、「主に他の医療機関等の医師からの指示である」が 34.6%、「主に併設医療機関の医師であるが、他の医療機関等の医師からの指示の場合もある」は 30.8%、「全患者について、併設医療機関の医師が指示を出す」は 2.1%であった。

図表 2 - 5 -99 訪問看護の指示を出す医師の所属(n=240)



図表 2 - 5 -100 訪問看護ステーションの併設医療機関別 訪問看護の指示を出す医師の所属

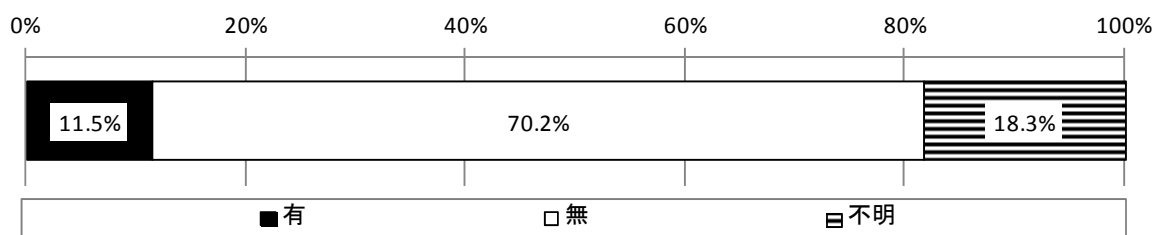
	合計	全患者について併設医療機関の医師が指示を出す	他の医療機関等の医師からの指示の場合もある	主に他の医療機関等の医師からの指示である	不明
全体	240 100.0%	5 2.1%	74 30.8%	83 34.6%	78 32.5%
同一の開設者・系列 法人の病院併設	83 100.0%	1 1.2%	48 57.8%	27 32.5%	7 8.4%
同一の開設者・系列 法人の診療所併設	43 100.0%	3 7.0%	27 62.8%	10 23.3%	3 7.0%
併設の病院・診療所 はない	118 100.0%	1 0.8%	4 3.4%	47 39.8%	66 55.9%

⑤ 【訪問看護ステーション】主治医が招集する利用者宅における緊急時カンファレンスへの参加

主治医が招集する利用者宅における緊急時カンファレンスへの参加の有無について、「有」が11.5%、「無」が70.2%であった。

カンファレンスへの参加有の場合、参加回数の平均値は2.1回であった。

図表 2-5-101 主治医が招集する利用者宅における緊急時カンファレンスへの参加(n=382)



図表 2-5-102 訪問看護ステーションの併設医療機関別 主治医が招集する利用者宅における緊急時カンファレンスへの参加

	合計	有	無	不明
全体	382 100.0%	44 11.5%	268 70.2%	382 100.0%
同一の開設者・系列 法人の病院併設	83 100.0%	8 9.6%	69 83.1%	83 100.0%
同一の開設者・系列 法人の診療所併設	43 100.0%	3 7.0%	36 83.7%	43 100.0%
併設の病院・診療所 はない	260 100.0%	33 12.7%	167 64.2%	260 100.0%

図表 2-5-103 （カンファレンスへの参加有の場合）参加回数

回答件数 (件)	平均値 (回)	標準偏差	中央値 (回)
43	2.1	2.0	1.0

図表 2-5-104 訪問看護ステーションの併設医療機関別 (カンファレンスへの参加有の場合) 参加回数

	回答件数 (件)	平均値 (回)	標準偏差	中央値 (回)
全体	43	2.1	2.0	1.0
同一の開設者・系列 法人の病院併設	7	2.4	2.6	1.0
同一の開設者・系列 法人の診療所併設	3	3.0	1.7	4.0
併設の病院・診療所 はない	33	1.9	1.9	1.0

⑥ 【訪問看護ステーション】利用者に関する情報を提供または共有している医療機関・介護事業所数および連携した利用者数

利用者に関する情報を提供または共有している医療機関・介護事業所数について、病院は平均 9.5 か所、うち同一の開設者（同系列を含む）の病院は 1.5 か所、診療所で平均 11.9 か所、うち同一の開設者（同系列を含む）の診療所は 1.4 か所、居宅介護支援事業所は平均 16.4 か所、うち同一の開設者（同系列を含む）の居宅介護支援事業所は 2.4 か所、地域包括支援センターは平均 1.9 か所、うち同一の開設者（同系列を含む）の地域包括支援センターは 0.4 か所、介護サービス事業所は平均 9.8 か所、うち同一の開設者（同系列を含む）の介護サービス事業所は 2.0 か所、薬局は平均 5.9 か所、うち同一の開設者（同系列を含む）の薬局は 1.7 か所であった。

連携した利用者数について、病院は平均 28.4 人、うち同一の開設者（同系列を含む）の病院は 12.0 人、診療所で平均 29.0 人、うち同一の開設者（同系列を含む）の診療所は 8.8 人、居宅介護支援事業所は平均 39.6 人、うち同一の開設者（同系列を含む）の居宅介護支援事業所は 15.6 人、地域包括支援センターは平均 3.9 人、うち同一の開設者（同系列を含む）の地域包括支援センターは 1.2 人、介護サービス事業所は平均 16.8 人、うち同一の開設者（同系列を含む）の介護サービス事業所は 7.3 人、薬局は平均 5.9 人、うち同一の開設者（同系列を含む）の薬局は 1.7 人であった。

図表 2-5-105 利用者に関する情報を提供または共有している医療機関・介護事業所数

	回答件数 (件)	平均値 (か所)	標準偏差	中央値 (か所)
病院	278	9.5	11.8	7.0
うち、同一の開設者 (同系列を含む)	278	1.5	5.5	0.0
診療所	274	11.9	12.1	8.0
うち、同一の開設者 (同系列を含む)	274	1.4	6.4	0.0
居宅介護支援事業所	281	16.4	17.2	13.0
うち、同一の開設者 (同系列を含む)	281	2.4	6.6	1.0
地域包括支援センター	249	1.9	2.0	2.0
うち、同一の開設者 (同系列を含む)	249	0.4	0.9	0.0
介護サービス事業所	232	9.8	21.9	2.0
うち、同一の開設者 (同系列を含む)	232	2.0	7.9	0.0
薬局	227	5.9	15.9	1.0
うち、同一の開設者 (同系列を含む)	227	1.7	7.3	0.0

図表 2-5-106 連携した利用者数

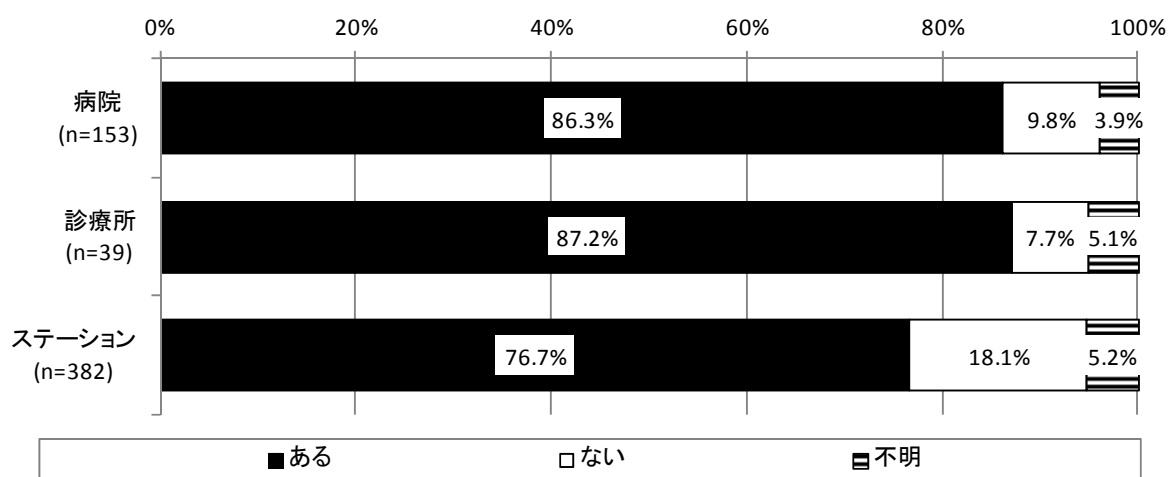
	回答件数 (件)	平均値 (人)	標準偏差	中央値 (人)
病院	278	28.4	36.1	18.0
うち、同一の開設者 (同系列を含む)	278	12.0	28.4	0.0
診療所	274	29.0	31.4	22.0
うち、同一の開設者 (同系列を含む)	274	8.8	23.6	0.0
居宅介護支援事業所	281	39.6	39.2	30.0
うち、同一の開設者 (同系列を含む)	281	15.6	25.4	7.0
地域包括支援センター	249	3.9	7.0	2.0
うち、同一の開設者 (同系列を含む)	249	1.2	6.0	0.0
介護サービス事業所	232	16.8	31.2	4.0
うち、同一の開設者 (同系列を含む)	232	7.3	19.4	0.0
薬局	227	5.9	15.9	1.0
うち、同一の開設者 (同系列を含む)	227	1.7	7.3	0.0

⑦ 院内・事業所内の訪問看護で対応できない場合・ケース

1) 院内・事業所内の訪問看護で対応できない場合の有無

院内・事業所内の訪問看護で対応できない場合について、病院は「ある」が86.3%、「ない」が9.8%、診療所は「ある」が87.2%、「ない」が7.7%、訪問看護ステーションは「ある」が76.7%、「ない」が18.1%であった。

図表 2-5-107 院内・事業所内の訪問看護で対応できない場合の有無



図表 2-5-108 訪問看護ステーションの併設医療機関別 事業所内の訪問看護で対応できない場合の有無

	合計	ある	ない	不明
全体	382	293	69	20
	100.0%	76.7%	18.1%	5.2%
同一の開設者・系列 法人の病院併設	83	70	10	3
	100.0%	84.3%	12.0%	3.6%
同一の開設者・系列 法人の診療所併設	43	33	9	1
	100.0%	76.7%	20.9%	2.3%
併設の病院・診療所 はない	260	193	50	17
	100.0%	74.2%	19.2%	6.5%

2) 院内・事業所内の訪問看護で対応できないケース

院内・事業所内の訪問看護で対応できないケースについて、病院では、「早朝や夜間、深夜等、当院の対応できない時間帯の訪問が必要な場合」が 67.4%、「土日や休日等、当院の対応できない曜日、日にちの訪問が必要な場合」は 64.4%、「ステーションの専門性から、適当であると考えられる場合」は 58.3%であった。

その他の内容は、「提供地域外遠方の場合」であった。「1人の利用者に対して、複数の訪問看護事業所から提供体制があったほうがよい場合」についての具体的な内容は、「がんターミナルなど頻回訪問が必要な利用者」「毎日点滴等が必要な遠方の利用者」であった。

診療所では、「土日や休日等、当院の対応できない曜日、日にちの訪問が必要な場合」が 58.8%、「早朝や夜間、深夜等、当院の対応できない時間帯の訪問が必要な場合」は 50.0%、「ステーションの専門性から、適当であると考えられる場合」は 47.1%であった。

訪問看護ステーションでは、「ステーションの専門性から、適当であると考えられる場合」が 59.4%、「当事業所の訪問看護の提供可能量を超えている場合」は 53.6%、「早朝や夜間、深夜等、当事業所の対応できない時間帯の訪問が必要な場合」は 42.3%であった。

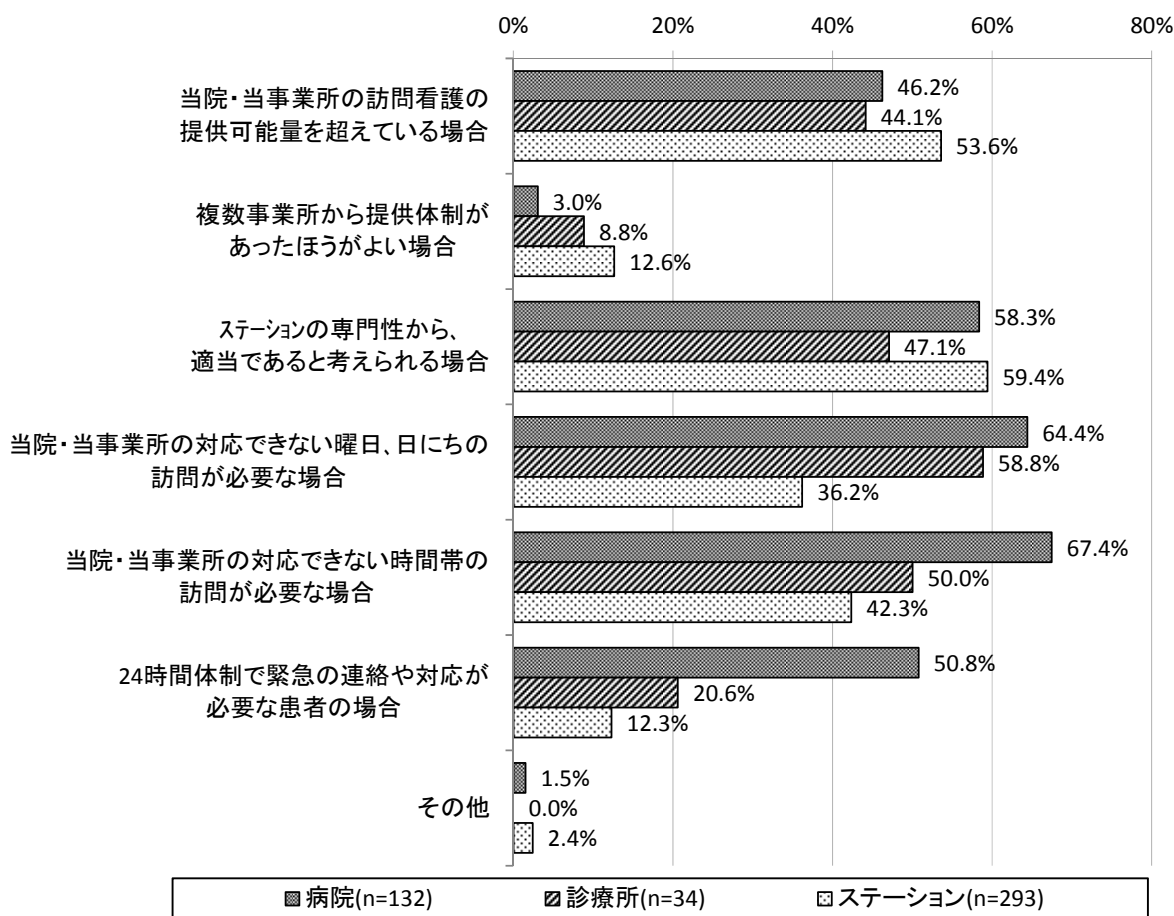
その他の内容は、「オンコールのみの訪問を希望する患者の場合」「訪問エリア外で交通費がかかる場合」「同時期にターミナルの依頼が重なった時」「遠方（10km以上）の利用者」「保険外サービスでの旅行や結婚式の同行」であった。「1人の利用者に対して、複数の訪問看護事業所から提供体制があったほうがよい場合」についての具体的な内容は、「小児への訪問看護で頻回のニーズがある場合」「ALSなどの難病」「ターミナル」「精神」「リハビリ」「胃ろうの管理」「毎日訪問で複数回訪問で入る場合」「夜間、回数に対応できないとき」「認知症の利用者へのインスリン使用」「二人体制での訪問が必要なケース」「当ステーションのみでの訪問ではスタッフに負担がかかると判断した場合」であった。

（ステーションの専門性から、適当であると考えられる場合）

病院における具体的なケースとしては、「小児」が 80.5%、「精神」は 70.1%で、「リハビリ」は 24.7%であった。その他の具体的な内容は、「呼吸器」「難病」であった。

診療所においては、「小児」、「精神」が 87.5%であった。その他の具体的な内容は、「難病」であった。訪問看護ステーションにおいては、「小児」が 62.6%、「精神」は 55.7%で、「リハビリ」は 13.8%であった。その他の具体的な内容は、「CAPD（腹膜透析）」「呼吸器」「神経難病」であった。

図表 2-5-109 院内・事業所内の訪問看護で対応できないケース（複数回答）



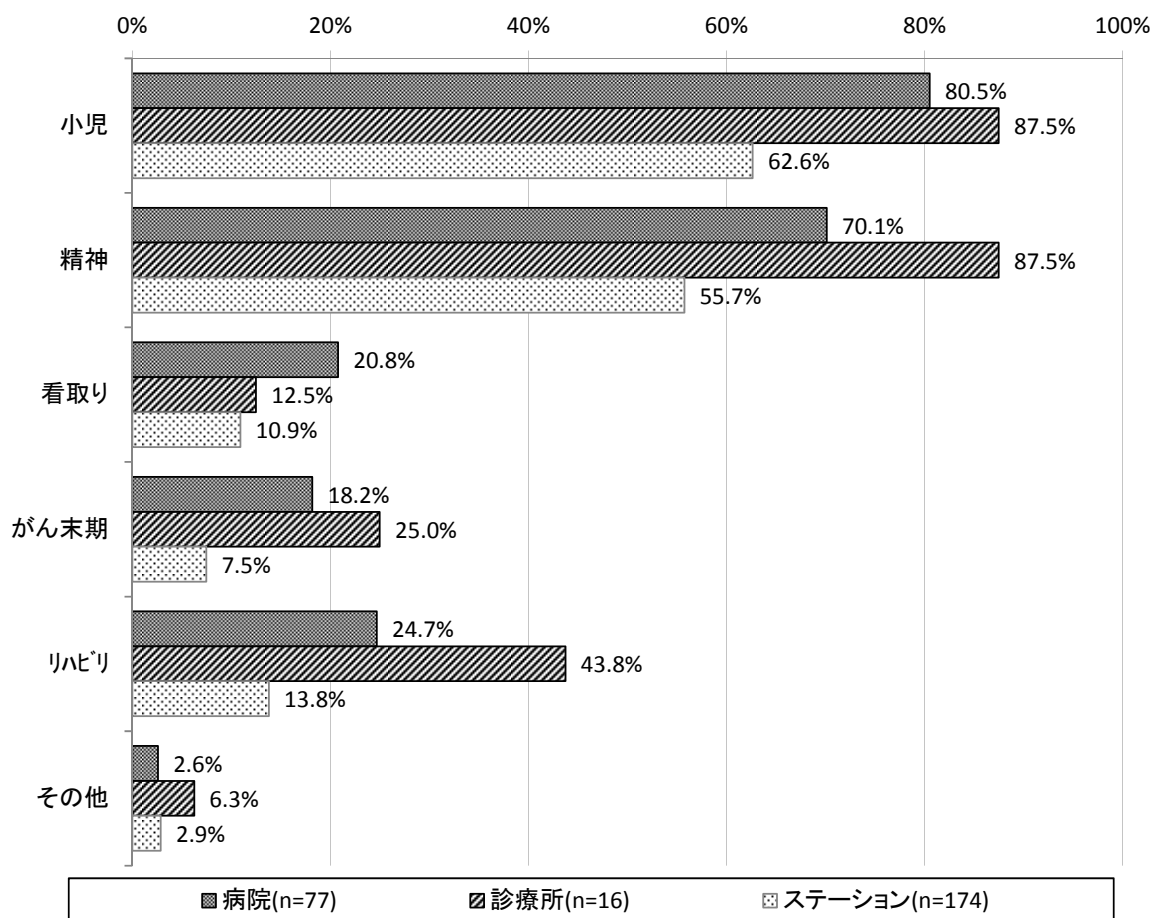
図表 2-5-110 訪問看護ステーションの併設医療機関別 事業所内の訪問看護で対応できないケース（複数回答）

	合計	当事業所の訪問看護の提供可能量を超えている場合	複数事業所から提供体制があったほうがよい場合	ステーションの専門性から、適当であると考えられる場合	当事業所の対応できない曜日、日にちの訪問が必要な場合
全体	293 100.0%	157 53.6%	37 12.6%	174 59.4%	106 36.2%
同一の開設者・系列法人の病院併設	70 100.0%	35 50.0%	13 18.6%	46 65.7%	30 42.9%
同一の開設者・系列法人の診療所併設	33 100.0%	15 45.5%	4 12.1%	21 63.6%	12 36.4%
併設の病院・診療所はない	193 100.0%	106 54.9%	21 10.9%	111 57.5%	66 34.2%

(続き)

	合計	当事業所の対応できない時間帯の訪問が必要な場合	24時間体制で緊急の連絡や対応が必要な患者の場合	その他
全体	293 100.0%	124 42.3%	36 12.3%	7 2.4%
同一の開設者・系列法人の病院併設	70 100.0%	31 44.3%	8 11.4%	4 5.7%
同一の開設者・系列法人の診療所併設	33 100.0%	17 51.5%	3 9.1%	1 3.0%
併設の病院・診療所はない	193 100.0%	78 40.4%	24 12.4%	2 1.0%

図表 2-5-111 (ステーションの専門性から、適当であると考えられる場合) 具体的なケース (複数回答)



図表 2-5-112 （ステーションの専門性から、適当であると考えられる場合）訪問看護ステーションの併設医療機関別 具体的なケース（複数回答）

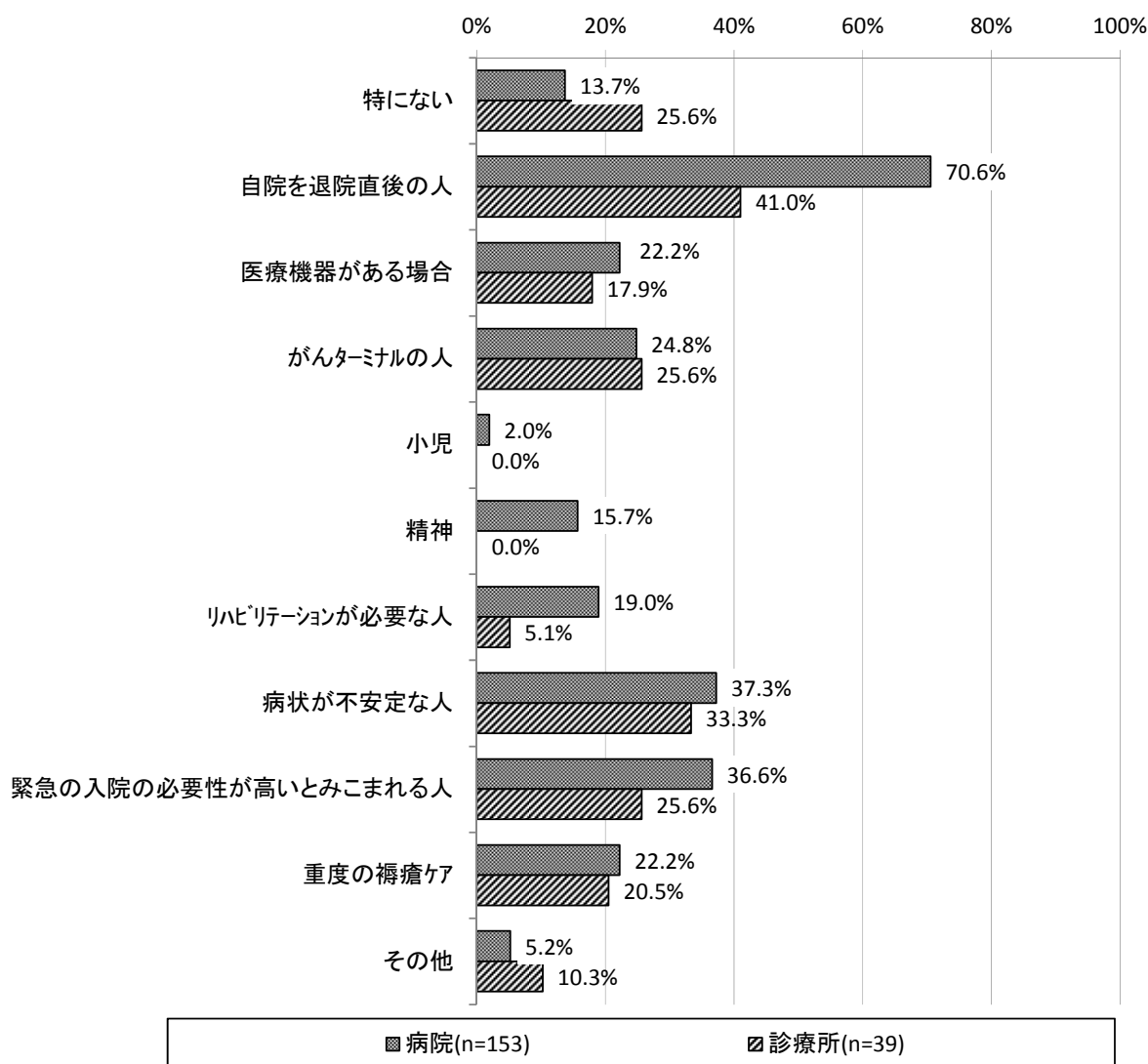
	合計	小児	精神	看取り	がん末期	リハビリ	その他	不明
全体	174 100.0%	109 62.6%	97 55.7%	19 10.9%	13 7.5%	24 13.8%	5 2.9%	1 0.6%
同一の開設者・系列 法人の病院併設	46 100.0%	33 71.7%	28 60.9%	4 8.7%	5 10.9%	3 6.5%	2 4.3%	0 0.0%
同一の開設者・系列 法人の診療所併設	21 100.0%	11 52.4%	15 71.4%	3 14.3%	2 9.5%	3 14.3%	1 4.8%	1 4.8%
併設の病院・診療所 はない	111 100.0%	67 60.4%	57 51.4%	13 11.7%	7 6.3%	19 17.1%	3 2.7%	0 0.0%

⑧ 【病院・診療所】地域のステーションではなく、自院で訪問看護を実施したほうがよりよいと考えられる利用者の状態・状況

地域のステーションではなく、自院で訪問看護を実施したほうがよりよいと考えられる利用者の状態・状況について、病院においては「自院を退院直後の人」が70.6%、「病状が不安定な人」は37.3%で、「緊急の入院の必要性が高いとみこまれる人」は36.6%であった。その他の内容は、「自院の医師が主治医・かかりつけ医の利用者」「自院の医師が訪問診療を行っている利用者」「認知症」「呼吸器疾患」であった。

診療所においては「自院を退院直後の人」が41.0%、「病状が不安定な人」は33.3%で、「緊急の入院の必要性が高いとみこまれる人」、「がんターミナルの人」はそれぞれ25.6%であった。その他の内容は、「自院の医師が主治医で、常時主治医との連携が必要な人」「認知症」「がん以外のターミナルの利用者」であった。

図表 2-5-113 地域のステーションではなく、自院で訪問看護を実施したほうがよりよいと考えられる利用者の状態・状況（複数回答）

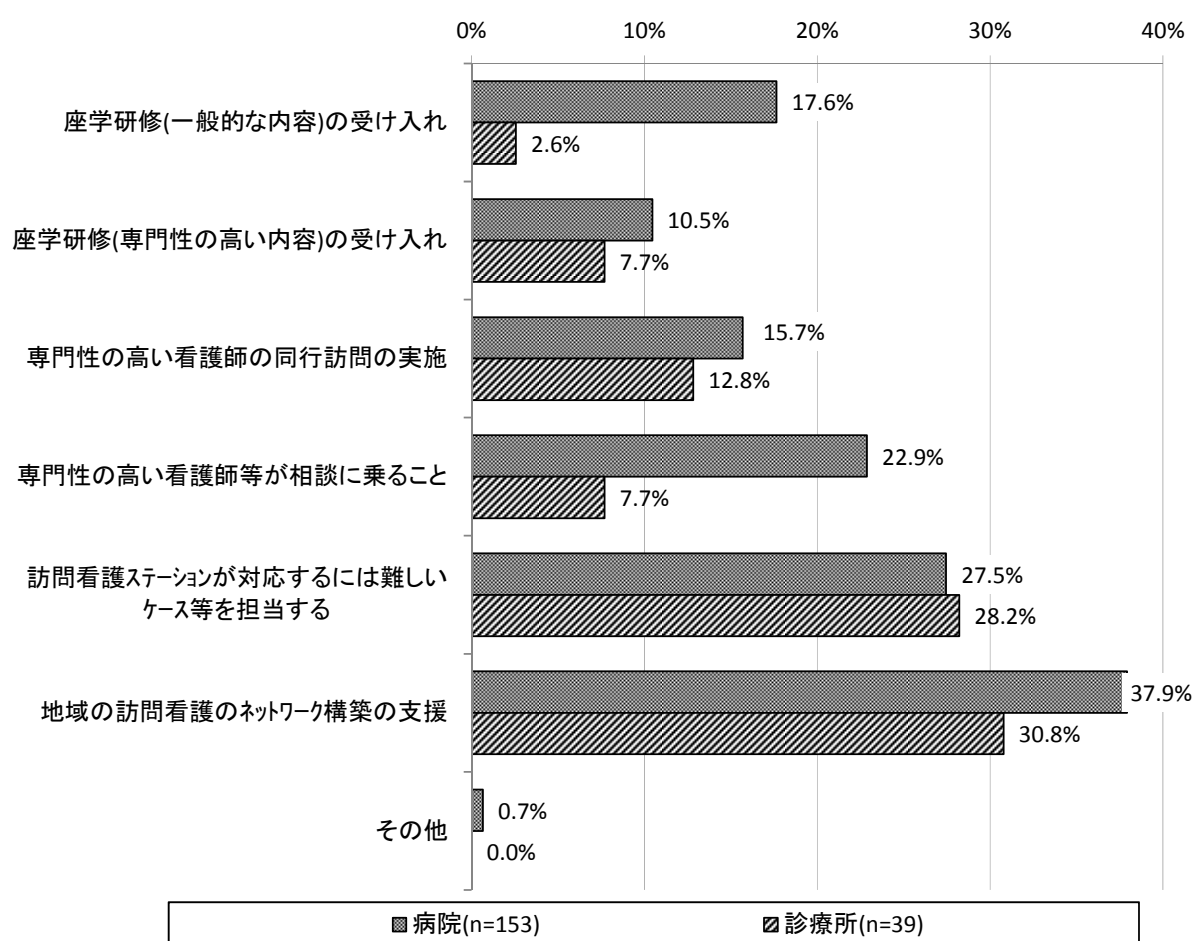


⑨ 【病院・診療所】地域の訪問看護ステーションの支援のためにできること

地域の訪問看護ステーションの支援のために訪問看護を実施している病院ができることは、「地域の訪問看護のネットワーク構築の支援」が 37.9%、「訪問看護ステーションが対応するには難しいケース、入院の頻度が高いケース等を担当すること」は 27.5%で、「専門性の高い看護師等が相談に乗ること」は 22.9%であった。

訪問看護を実施している診療所ができることは、「地域の訪問看護のネットワーク構築の支援」が 30.8%、「訪問看護ステーションが対応するには難しいケース、入院の頻度が高いケース等を担当すること」は 28.2%で、「専門性の高い看護師の同行訪問（褥瘡、緩和ケア）」は 12.8%であった。

図表 2-5-114 地域の訪問看護ステーションの支援のためにできること（複数回答）



⑩ 【病院・診療所】地域の訪問看護ステーションに担ってほしい役割

地域の訪問看護ステーションに担ってほしい役割は下記の通りである。

○24時間対応

- ・電話対応だけでなく、訪問を行ってほしい

○情報交換の場の設定

- ・様々なケアの基準、手順についての情報交換。
- ・事例の検討
- ・ケースカンファレンスを主催してほしい。

○連携強化

- ・(医療・介護施設) 医療、介護施設との連携の強化、問題の共有化を行ってほしい。
- ・(介護職員・介護者) 介護職員や介護者への指導等を行ってほしい。
- ・(訪問看護ステーション・病院・診療所) 連携して複数の訪問看護を行ってほしい。
- ・(介護支援専門員) ケアマネジャーとの密な連携をとってほしい。
- ・(医療機関) 必要時の支援連携、情報の共有。
- ・(利用者と医療機関) 利用者様と地域病院との連携を担う役割。

○小児の受け入れ

- ・地域によっては小児の受け入れが難しいところがあるため、専門の訪問看護ステーションがあったら良い。
- ・小児の受け入れが出来るステーションが増えると、在宅療養できる小児が増える。

○訪問地域

- ・他の町村の場合、遠距離の場合、緊急対応時に時間がかかるため、同じ地域のステーションが受け入れをしてくれるとよい。

○訪問看護の啓発活動

- ・訪問看護の1日利用を希望する利用者があるが、必要性について地域の介護支援専門員や医師、利用者の理解が得られない事で困っているため、地域への啓発活動を是非お願いしたい。

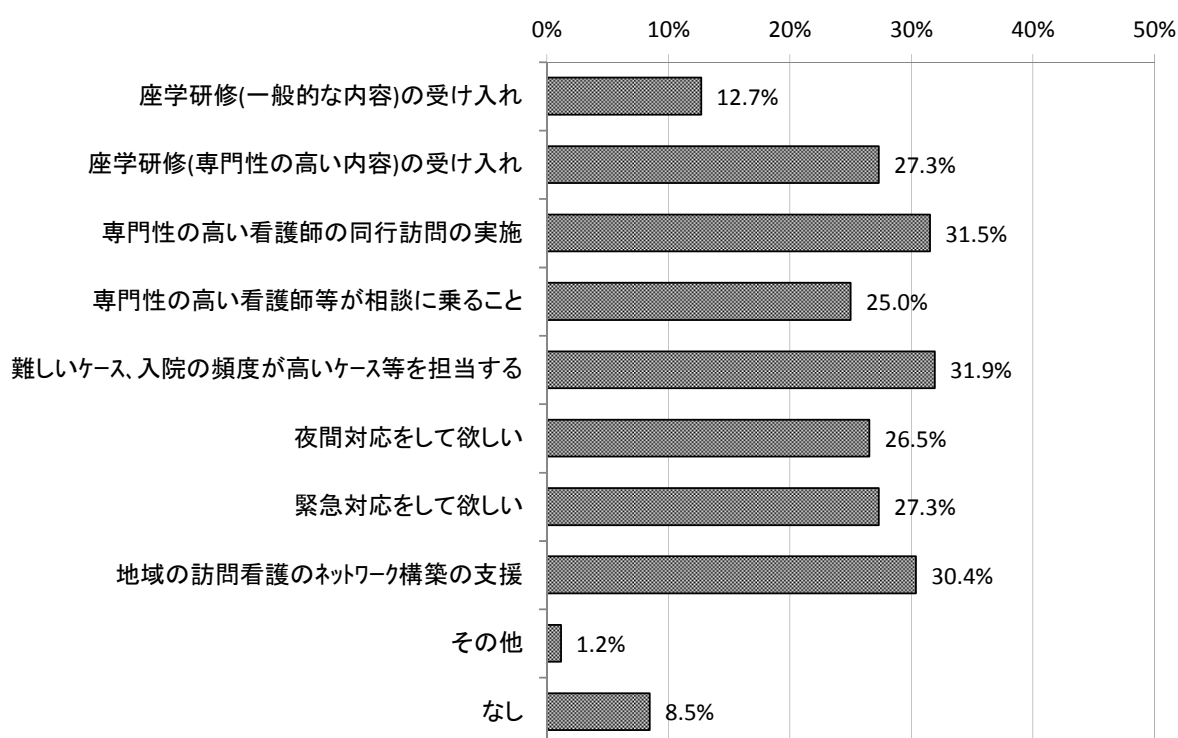
○技術の向上

- ・介護、看護技術の向上をしていき、在宅でのサービスにつなげてほしい。

⑪ 【訪問看護ステーション】病院・診療所からの訪問看護や医療機関併設型の訪問看護ステーションに期待すること

医療機関併設のステーション以外の場合、病院・診療所からの訪問看護や医療機関併設型の訪問看護ステーションに期待することは、「難しいケース、入院の頻度が高いケース等を担当すること」が31.9%、「専門性の高い看護師の同行訪問（褥瘡、緩和ケア）の実施」は31.5%、「地域の訪問看護のネットワーク構築の支援」は30.4%であった。その他の内容は、「地域連携のイニシアチブ、多職種との接点」「質の高い訪問看護サービスの提供」「病院・担当医師との連携」であった。

図表 2-5-115 （医療機関併設のステーション以外の場合）病院・診療所からの訪問看護や医療機関併設型の訪問看護ステーションに期待すること（複数回答）（n=260）



6. 課題等

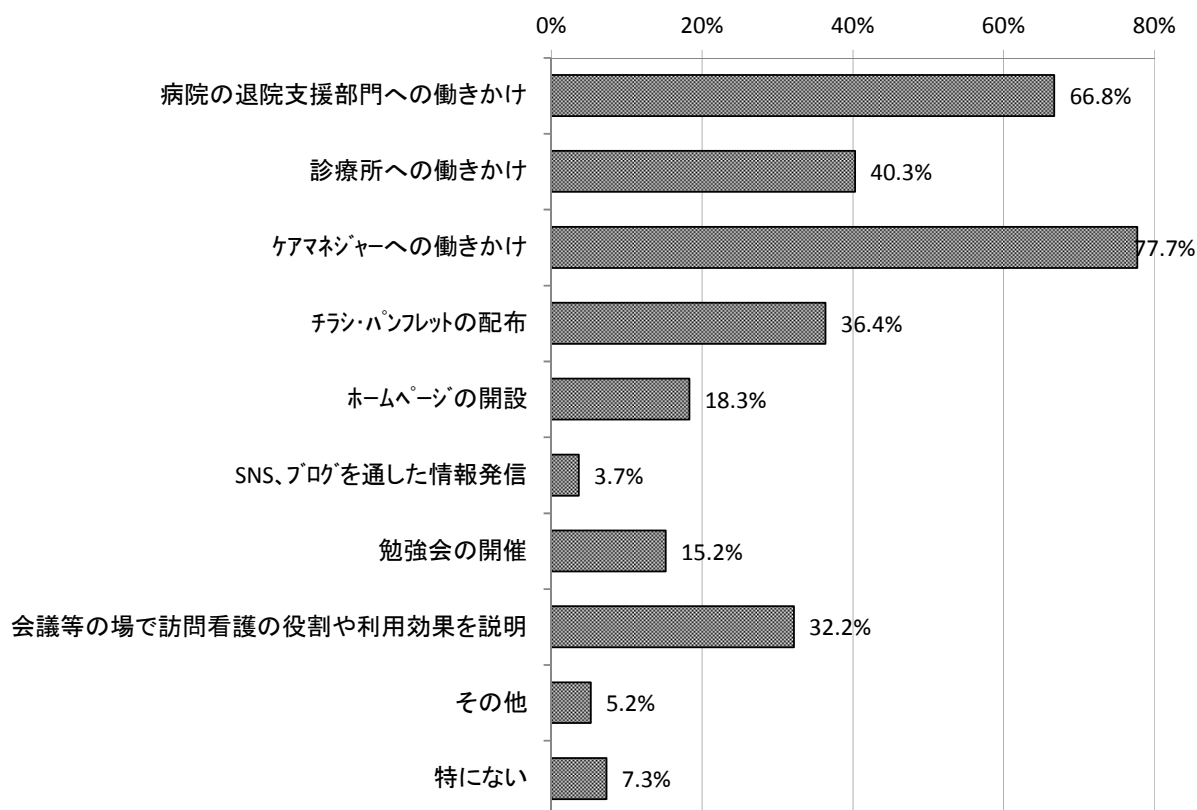
① 【訪問看護ステーション】利用者の新規獲得のために、ここ1年で実施していること

利用者の新規獲得のために、ここ1年で実施していることは、「ケアマネジャーへの働きかけ」が77.7%、「病院の退院支援部門への働きかけ」は66.8%、「診療所への働きかけ」は40.3%であった。また、「会議等の場で訪問看護の役割や利用効果を説明」は32.2%であった。

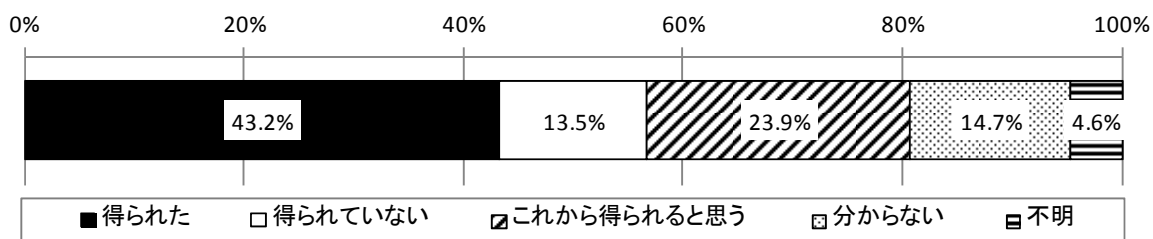
その他の内容は、「地域ケア会議への参加」「24時間訪問体制の開始」「勉強会やケア・カフェ、認知症カフェ（ボランティア血圧測定）などに出席」「地域包括ケア病棟開設における訪問看護の研修者の受け入れ」「地域の福祉まつりに市内ステーション合同で参加」「文書を直接届け、医師や介護支援専門員との顔つなぎ」「新規を断わらない。普段の看護を丁寧に行なうことで口コミで増えている」「訪問看護支援事業での空き状況の掲示」であった。

利用者の新規獲得のために実施したことの成果は、「得られた」が43.2%、「これから得られると思う」が23.9%で、「分からない」が14.7%であった。

図表 2-5-116 利用者の新規獲得のために、ここ1年で実施していること（複数回答）(n=382)



図表 2-5-117 利用者の新規獲得のために実施したことの成果(n=347)



② 【訪問看護ステーション】訪問看護を導入するときの課題

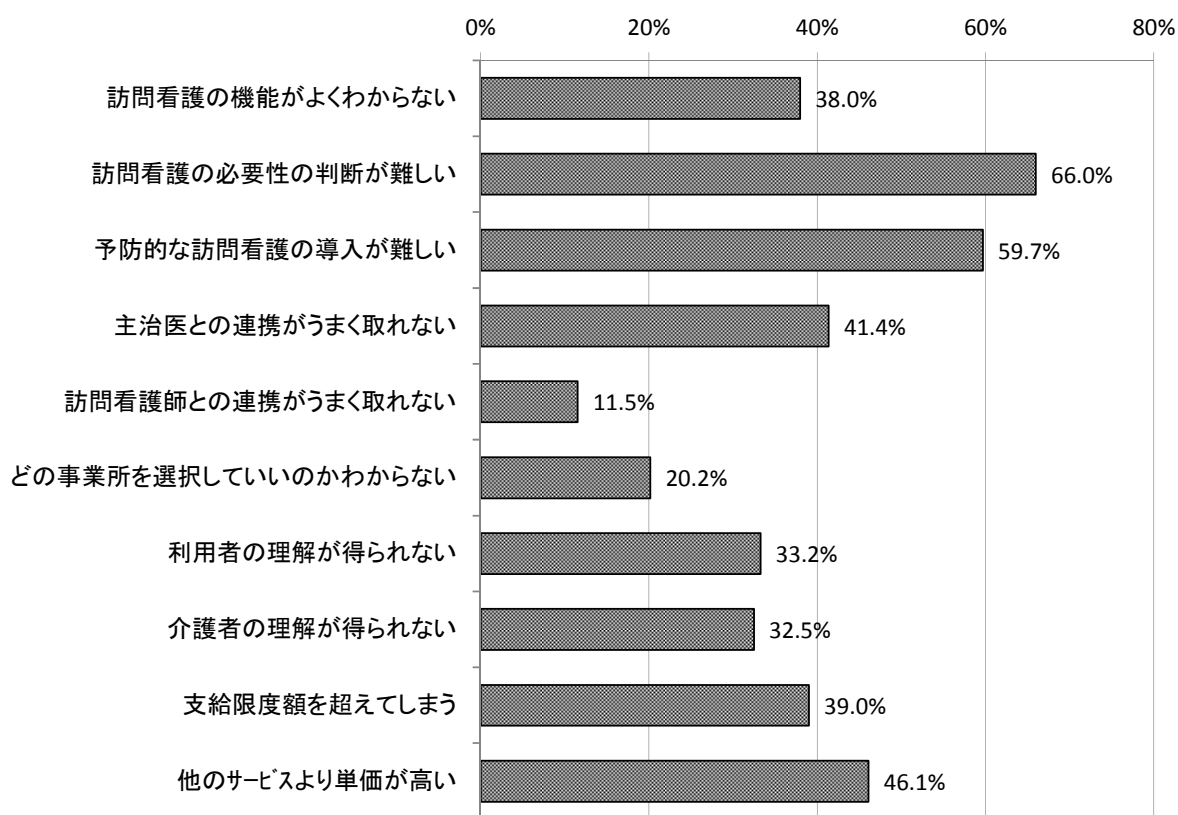
訪問看護ステーションからみて、訪問看護を導入するにあたり、「訪問看護の機能がよくわからない」ことが介護支援専門員、退院元の医療従事者、利用者にとっての課題だととらえていると回答したステーションは、それぞれ 38.0%、44.8%、68.8%であった。

訪問看護ステーションからみて、介護支援専門員が訪問看護を導入するにあたり課題だととらえていると思うことをたずねたところ、「訪問看護の必要性の判断が難しい」が 66.0%、「予防的な訪問看護の導入が難しい」は 59.7%、「他のサービスより単価が高い」は 46.1%であった。

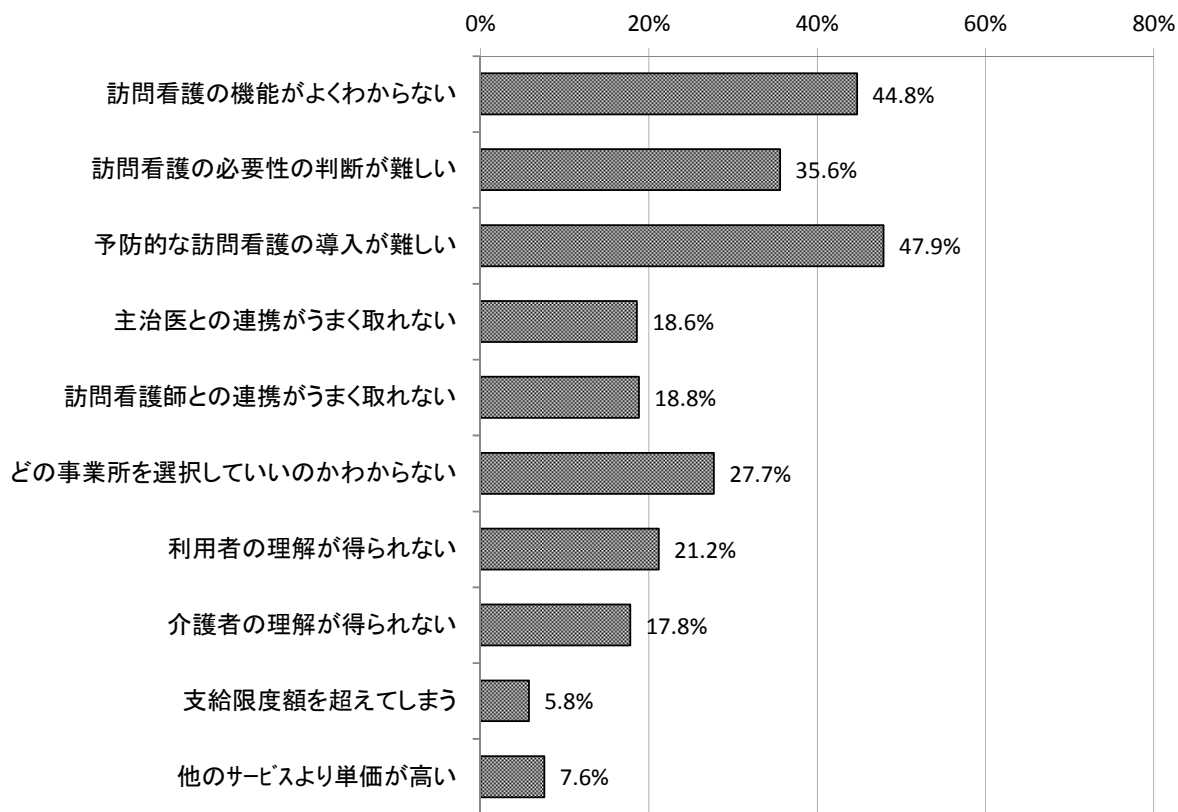
訪問看護ステーションからみて、退院元の医療従事者が訪問看護を導入するにあたり課題だととらえていると思うことをたずねたところ、「予防的な訪問看護の導入が難しい」が 47.9%、「訪問看護の必要性の判断が難しい」は 35.6%であった。

訪問看護ステーションからみて、利用者訪問看護を導入するにあたり課題だと捉えていると思うことをたずねたところ、「どの事業所を選択していいのかわからない」は 37.7%で、「他のサービスより単価が高い」は 36.6%であった。

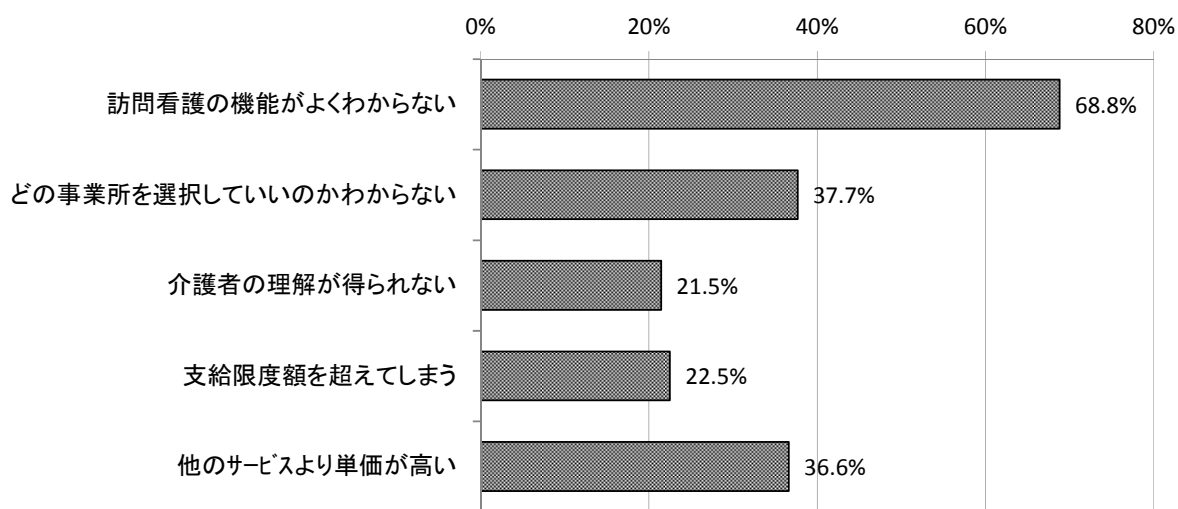
図表 2-5-118 ステーションからみて、介護支援専門員にとって訪問看護を導入するにあたっての課題（複数回答）(n=382)



図表 2-5-119 ステーションからみて、退院元の医療従事者にとって訪問看護を導入するにあたっての課題(n=382)



図表 2-5-120 ステーションからみて、利用者にとって、訪問看護を導入するにあたっての課題(n=382)



③ 【病院・診療所】病院・診療所が行う訪問看護の課題

ここでは、病院・診療所が行う訪問看護の課題についての自由回答のうち、主なものを抽出して、掲載した。

○人材不足

- ・病院の訪問看護であるため、人員が常に不足した中で事業を行っている。要望はあっても、マンパワー不足で限界があるため、地域の病院としての役割を果たすことがむずかしい
- ・24時間体制で実施できる体制づくり。当院の場合は外来業務を兼ねているため、スタッフ人数や時間帯に制限が出てくる
- ・地域住民のニーズに対応し、質の高い訪問看護をと考えますが、人材不足が大きな要因です
- ・訪問看護だけに看護師を配置できないため、訪問の日数・人数・時間に制約があり、希望者の要望を十分にきけない。地理的にも遠い地区には行けない
- ・以前（平成12年4月～平成24年3月）は訪問看護ステーションを法人で運営していたが、看護師の確保が難しく、また患者が地方のため分散し、移動時間が非常に長く廃業した

○訪問看護の難しさ

- ・利用者のニーズに的確に対応できているのか判断に困る
- ・利用者様家族とのコミュニケーションが十分にとれないケースが多い。独居利用者の現状(全体像)の把握が難しい
- ・医療依存度が高い（人工呼吸器等がある）利用者の家族の精神的・身体的・技術的サポート不足

○看護師の技術向上

- ・キャリアのある看護師や、認定専門看護師が必要と考えている
- ・利用者の年齢やケアの専門性に対応できない事がある
- ・医療機器は進化するため、それに対応する力を身につけなくてはならない（例）人工呼吸器、腹膜透析

○職員の研修・フォロー体制

- ・看とりに関する研修
- ・研修等への参加も難しい
- ・訪問看護師としての教育・研修・対応に悩む時、相談できる看護師が少ない

○他医療機関や他事業所との連携不足

- ・幅の広い情報交換の場がない
- ・他医療機関との連携を深める時間が不足（面談や会議出席の時間を捻出できない）
- ・病院に合わせた稼働となるので、地域での他の事業所と時間が合わない事が多い
- ・主治医との密な連携方法・医療状況の把握方法
- ・夜間、深夜対応できるDrがいない
- ・近くにターミナル医療に対応できる医療機関がなく、在宅の看取りの連携が難しい

○訪問看護への意識・理解不足

（院内）

- ・在宅とつながっている訪問看護に対する意識の改善、院内での理解が低い

（続き）

（地域）

- ・地域の方々の訪問看護の必要性や実際にどういったことを訪問看護で行うことができるということの認知度が低い。また、職員に関しても、地域の方々がどういったサービスを望んでいるかというニーズの把握が不十分である為、今後どのようにニーズを探っていくかという所が課題であると考ええる。
- ・訪問看護を増やしていきたいが、在宅での介護に前向きな家族が少なく、施設入所を望まれるケースが多い。
- 報酬／診療報酬・介護報酬の制度に対するご意見
 - ・単価が安い。
 - ・介護保険・医療保険は制度が違い、ややこしい。ケアマネジャーの理解が乏しく、面倒な事が多い。わかりやすく動きやすい制度設計を望む。
 - ・同日のN s（訪問看護）とD r（往診）の算定ができない場合がある。
- 在宅医療の推進
 - ・在宅医療を推進する一つの方法として、在宅療養を行っている難病患者・重度障害者・末期がん患者等のQOLを確保し、患者の病状に応じた適切な看護を提供し、家庭において、より安定した療養生活が送れるように支援すること。
- その他
 - ・精神患者のみを対象としており、今後はステーションを立ち上げ、精神以外や介護保険も対象としたい。

④ 【訪問看護ステーション】介護報酬改定についての意見

ここでは、介護報酬改定についての意見の自由回答のうち、主なものを抽出して、掲載した。

○基本報酬

- ・20分訪問のあり方について、20分で終われる事は少ない。介護支援専門員によっては、20分設定のプランを計画するが実際には利用時間としては短く、20分訪問を設定する必要性が理解できずにいます。地域性的問題もあり、ほとんど利用はない現状です。
- ・予防的な利用を考えた場合30分以上60分未満の単価を上げてほしい。実際30分以上かかるのは常だが、60分請求するのは気がひける（処置などが無いので）現状がある。
- ・「他のサービスより単価が高い」と解釈している介護支援専門員や利用者が多いが、サービスの内容や役割を“費用対効果”で考えると決して高くなく、妥当あるいは安価であるとする。これ以上、看護の介護報酬を下げないでいただきたい。
- ・看護師スタッフがなかなか確保できない。ニーズはあると思うが、スタッフを思い切った増員するほど利用者も増えてこない。経営は厳しく、報酬をあげてほしいと思う。

○加算

【特定事業所集中減算】

- ・居宅介護支援事業所を併設しています。利用者は訪問看護をここで受けたいので居宅介護支援（ケアプラン）もお願いしたいとの依頼多数あり、他の訪問看護ステーションも紹介できず80%以上は減算はきびしいです。
- ・主治医と連携のとれている事業所がよいため、特定事業所集中減算に訪問看護を入れてもらいたくない。

【緊急時訪問看護加算】

- ・特別管理加算を算定する利用者の場合、緊急時訪問看護加算は月2回以上加算できます。それ以外の利用者の場合はできません。皆さん、「緊急」がある事で安心をしてくれていますので、特別管理加算を算定する利用者以外の方の場合も加算できると良いと思います。
- ・夜間深夜の訪問（緊急）で対応訪問あるのに、介護保険の特別管理加算を算定する利用者以外は、緊急時訪問看護加算が2回目からしかとれない。夜間の緊急対応している訪問看護にとりあえ電話がかかり、見に行くことが多いので、条件なしに夜間の加算はつけてほしい。
- ・特別管理加算対象外の緊急時訪問看護加算が算定できるようにしてほしい。メンタル面等夜間に不安定になることが多かったり、転倒等も夜間等に多く、緊急訪問がある。
- ・1回目が昼間であろうが深夜であろうが点数が変わらないというのは理解に苦しみます。
- ・緊急時（プラン外の訪問）は枠外にしてほしい。（特別管理加算の利用者）

【看護体制強化加算】

- ・がん末期の利用者を、大病院が1日でも2日でもと退院支援している中で、断らずにターミナルケアをしていますが、こういう方々は病院にもどられますから、看取り件数にはならず、加算につながりません。がん末期診断であれば、ターミナルケアとしての件数にしてほしい。
- ・看護体制強化加算について、終末期では特別訪問看護指示書や、状態により医療保険に切り替わる事が多いため、介護保険でのターミナルケア加算の算定は難しいと思う。
- ・看護体制強化加算の算定要件がきびしい。特に、特別管理加算算定利用者の割合が基準までいかない。
- ・看護体制強化加算は緊急時訪問看護加算等の算定要件については、「前3か月」ではなく1年間（前年）での算定としてほしい。
- ・収入増になりありがたい加算だが、要件の見直しが必要。特別管理加算を算定したいがためにカテーテル抜去や褥瘡改善のためのケアに消極的になってしまいそう。

【特別管理加算】

- ・痰吸引が必要な利用者について特別管理加算を認めてほしい。退院してすぐ吸引が必要な場合に算定できなかった。

【退院時共同指導加算】

- ・系列法人でも退院時連携したら当日訪問できるようにしてほしい。

【長時間訪問看護加算】

- ・特別管理加算がなくても長時間加算をつけられるようにしてほしい。

○評価の見直し

- ・経管栄養や喀痰吸引の訪問に対しての加算の算定。
 - ・出勤者が少ないため、日曜日の加算を付けてほしい。
 - ・日、祝日（営業日外）の加算もしくは、オプションつけられるようにしてほしい。
 - ・勤務者には休日手当を出しているため、営業日以外の休日は休日加算を取れるようにしてほしい。
 - ・夜間や休日など、時間外に緊急訪問をしても、加算が医療保険のようにつきません。当直体制で緊急コールを受けられる体制も取れずにいる所が多数と思います。もっと、労働に見合ったコストが取れるようになることを希望します。
 - ・ターミナルで特別訪問看護指示書発行が月2回できるような、がん以外のターミナルについて対応してほしい。
 - ・単価が下がることで訪問に回ることになり、質の確保が難しくなっている。加算で収益が上がるようになっているが、重度の人は医療保険の対象になっていることが多く介護保険の加算がとれない。もう少し頑張っている事業所への評価を収益で確保してほしい。
 - ・ヘルパーさんへの入浴介助法指導等に、指導加算をつけて欲しい。
 - ・サービス担当者会議に対する報酬が欲しい。
 - ・事務職員はどうしても採用が後回しになってしまう。事務職員配置に一定の加算、報酬がつかないか。
 - ・家族への指導（栄養、介護方法）についての加算をつけてほしい。
 - ・訪問看護サービスは、看取りの場合も、リハビリの場合も、サービスが短期間で終わってしまう（1～2回のサービスで終了してしまうことが多い）。導入時の手続き等が非常に大変にもかかわらず、報酬にならない内にサービスが終わってしまう。初回加算の増額か、短期間の加算などがあると、割に合う様に思います。
 - ・精神科の24時間電話連絡対応に対する加算があると、良いと思います。30分も60分も話される方がいます。翌日の勤務に影響があります。
 - ・現在認知症、独居の利用者が増え、特別管理加算の算定ができない人が多くなってきている。困難事例で大変で労力はかかるのに、看護体制強化加算は利用者の割合が算定条件であるため、見合った報酬がいただけない現象がおこってきてしまう。実労に応じた報酬がいただける改正にしていきたい。
 - ・ショートステイ・入院・その他等で訪問がキャンセルされる事が多々あり、その分は収入減となってしまいますが、職員には同じ給料払っている。この差が段々と大きくなっている。包括報酬など固定された収入がある事が望ましい。
- 同一建物内の減算
- ・同一建物内の訪問看護の減算をもっと厳しくすべき。同業者として納得できないケアを提供しながら訪問看護と称しているステーションがある。
- 区分支給限度基準額
- ・限度額オーバーになり、必要な訪問回数が受けられない時がある。
- 他事業所・施設との連携

【定期巡回・随時対応型訪問介護看護】

- ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護で連携する場合の訪問看護の単価が低すぎる。緊急訪問が頻繁だったり、週に何回か訪問しなければならない場合、今の単価のままでは利用者を受け入れたくなくなってしまう。単価を上げて欲しい。

【施設との連携】

- ・グループホームでの訪問看護の場合、特別訪問看護指示書で訪問に入り、「看取り」を支援することもあります。病名によっては14日のみのかかわりになるため、必要な時に訪問できない現状があります。

○在宅における他の看護サービス

【看護小規模多機能型居宅介護の開設】

- ・2017年に看護小規模多機能型居宅介護を併設するつもりですが、介護支援専門員の限定は、利用するに際して大きな壁になっています。早めにケアマネフリーでお願いします。

【居宅療養管理指導】

- ・訪問看護の居宅療養管理指導は、全然利用の機会がない算定要件に問題があると思います。

○労働環境の改善

【准看護師の評価】

- ・訪問看護の世界での准看護師への制限があまりに大きい気がします（他の世界、たとえば、病院や通所などでは、給与に差があっても、仕事の内容にはあまり制約がなく働いていると思います）。電話当番が出来ない、計画書を作成できないなど、訪問時の減算も含め、人材確保の視点からもぜひ検討頂きたい。

【人材確保】

- ・人員基準の2.5の確保が大変です。

【働き続ける環境づくり】

- ・訪問看護は、訪問に行くだけでなく、書類整備、医師、関係職種、介護支援専門員等への連絡業務など、他にも多くの仕事があります。それは、訪問が終了してからの仕事になるので、定時には帰れない状況があります。ぜひ働き続けられる環境をつくってほしいと思います。

○経営の困難さ

- ・機能強化型訪問看護管理療養費でのターミナル算定数や看護体制強化加算の特別管理加算の算定などそれだけで煩雑で、本来の訪問看護業務に当たれないのはどうかと思う。現場と法制度は解離している。近い将来、ステーションの経営を困難となり閉鎖する所も増加すると思う。
- ・医療依存度の高い人や在宅看取りを進めていますが、介護報酬が引き下げられ、加算をとるには、規定が高く算定しにくい。小さなステーションでは運営がきびしい。24時間対応をしていかないと、経営難しいが、人員不足で管理者のみが oncall を持つ体制になる。

○介護支援専門員の役割

- ・看護師からの視点では訪問看護が必要と考えますが、介護支援専門員は必要性を理解してくれない方が多いように感じます。医療保険で入る時に報告すると「どうぞご自由に」といった感じです。
- ・退院時のカンファレンス、介護保険更新時など病状から見て訪問看護の必要な利用者と思うが、介護支援専門員がコーディネイトしてもらえず利用につながらず病状悪化するケースがある。

○利用者の特性

- ・高齢者住宅入所者、依頼を受けても限度額一杯で介護保険での介入が難しいケースが多い。

- ・ 2割負担の患者が増え、サービスの利用を控える人が出てきています。
 - ・ 65歳未満のがん末期の利用者が増加している。利用料金が3割と高額なため利用を控える傾向にあり、看取りまで至らないケースが多い。今後在宅での見取りを実施するにあたり、若年者の利用料の負担の軽減となる改定をお願いします。
 - ・ 安い年金暮らしの方が多く、サービスが計画できない方、保険料支払い未納で2割～3割負担など、本当に必要な方がサービスを制限せざるをえない方が増えている。訪問看護や介護の必要性が理解されていないこともサービス利用につながらないと思われる。
 - ・ 地域特化のものではありますが訪問看護で慣れ親んだ地域外の利用者、また障害の方を受け入れたいです。
 - ・ 医療保険について、若い人のターミナル訪問が金銭面で十分行けない。高齢者の優遇措置に比べ、補助が少なく世帯主(働き手)が疾患となり、望む生活が難しいことが多々ある。
 - ・ 指定難病の上限額管理に在宅が含まれてしまうのはいかがなものかと思う。現場スタッフがそこまで管理するのは手間がかかる上、サービス介入の妨げになっている。
- 地域格差の考慮
- ・ 地域によりサービス利用が偏っている。特に本県は人口減少、高令化、働く世代の減少などで、施設依存が増々ふえていく。自分の親を施設に預け、他人の親を介護している笑い話の様な状況で、国が在宅を強くすすめても紙に書いた餅で、現実性は全く感じられないため、最近特に多い在宅へ向けての講演も聞き流してしまう状況です。訪問看護に至っては収入を多くするため利用料を高くすると限度額内におさまらず訪問が減る事にもつながる。私たちの利用者も高額所得者か、低所得者、生活保護にかたよっている。親が、本県にいて本県の介護保険サービス（市町村）を利用、（一部は国からも支払われるが）本県在住の人が保険料を、負担している状況を変えてほしい。又は負担率を変更してほしい。
 - ・ 報酬が下がり事業運営がきびしいものになっている。地方のステーションは看護体制強化加算や機能強化型訪問看護管理療養費が取れるものではない。地域医療を支えるステーションにも、何らかの加算をつけてほしい。
 - ・ 地域での当事業所は高齢者のサービスが殆んどである。訪問看護の指定を受けている看護師基準は2.5人で、へき地の人材確保は給料基準を高く提示することになっています。しかし報酬となれば、同一建物10%減算、さらに准看護師の訪問は10%であり、実際375円で実施しています。厚生労働省は高齢者は在宅で言われる中で、ターミナル加算も基準が高いため、加算はとれません。民間（営利法人）での運営は難しいものです。地域・医療連携は地域で活動している看護師の役割は重要であると考えます。どうぞ改正していただきたいとお願いします。
- 介護保険と医療保険の一本化／整合性
- ・ 訪問看護はどうしても高いというイメージがあり限度額にかかるとはずされがちになります。介護保険ではなく医療保険のサービスにしてもらいたいです。
 - ・ 訪問看護は、医療保険でのサービス提供にしてほしい。
 - ・ 医療保険との整合性を高めてほしい
- 予防的な介入
- ・ 訪問看護を受けることで、事前に病気悪化を防ぐことが出来ると日々感じています。報酬見直しも良いが、もっと違った視点で、病院への入院にならない為の制度なので、国はよく考えてほしい。一般の人々は病気をしているも本当に悪くなるまでほっておいたり、どうしてよいかもわからず、相談してくれることで、解決すること、入院をまぬがれるケースは、たくさんいると思います。結果国の負担も減ると考えます。
 - ・ 予防的なケアに積極的に取り組める体制があるとよい。

○介護報酬のマイナス改定

- ・介護報酬のマイナス改定は、介護職員のモチベーション低下につながっている。よって、介護報酬を引き上げてほしいが、それによって、住民・利用者の負担増につながるような制度を検討してほしい。

○介護保険制度への不安

- ・報道等による介護報酬改定に伴う減額や財源などの問題が多く聞かれる中、どのように介護保険制度が変化して行くのか不安を感じます。

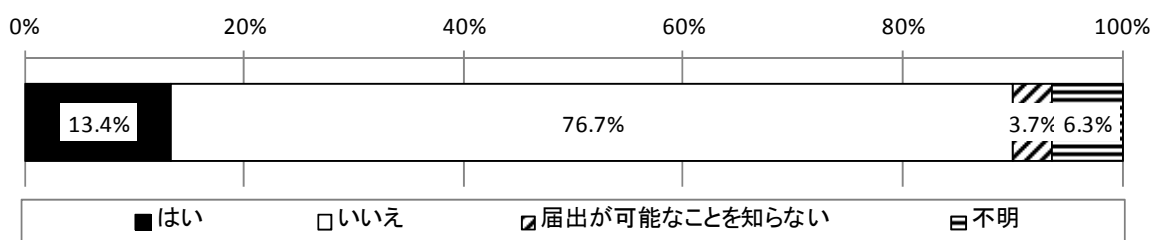
7. 居宅療養管理指導について

訪問看護ステーションのみ、居宅療養管理指導についてたずねた。

① 居宅療養管理指導の届出の状況

居宅療養管理指導の届出の有無について、「有」が13.4%、「無」が76.7%、「届出が可能なことを知らない」3.7%であった。

図表 2-5-121 居宅療養管理指導の届出の状況(n=382)



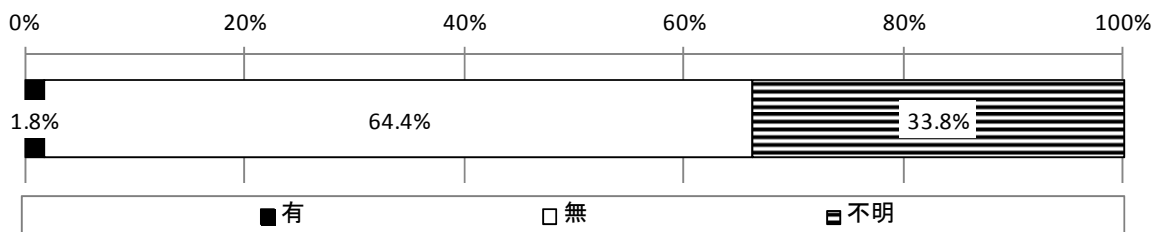
図表 2-5-122 居宅療養管理指導の届出の状況

	合計	はい	いいえ	届出が可能なことを知らない	不明
全体	382 100.0%	51 13.4%	293 76.7%	14 3.7%	24 6.3%
同一の開設者・系列 法人の病院併設	83 100.0%	12 14.5%	67 80.7%	1 1.2%	3 3.6%
同一の開設者・系列 法人の診療所併設	43 100.0%	10 23.3%	27 62.8%	1 2.3%	5 11.6%
併設の病院・診療所 はない	260 100.0%	30 11.5%	202 77.7%	11 4.2%	17 6.5%

② 居宅療養管理指導の算定状況

居宅療養管理指導の算定の有無について、「有」が1.8%、「無」が64.4%であった。「有」の場合、算定件数は平均5.5回であった。

図表 2-5-123 居宅療養管理指導の算定の有無(n=382)



図表 2-5-124 算定件数

回答件数 (件)	合計値 (回)	平均値 (回)	標準偏差	中央値 (回)
4	22	5.5	8.3	1.5

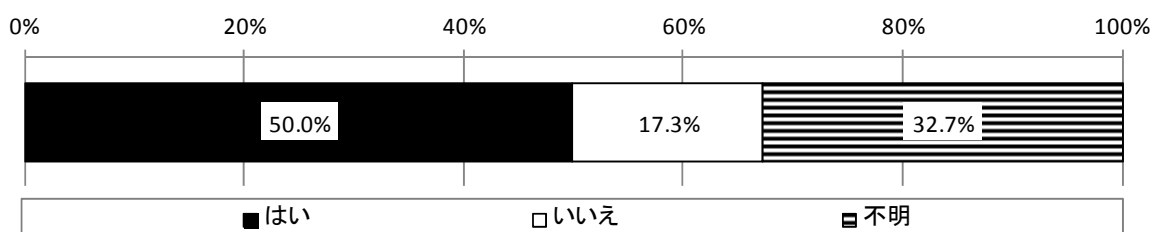
③ 居宅療養管理指導の算定しにくさ

居宅療養管理指導を算定しにくいかについて、「はい」が50.0%、「いいえ」が17.3%であった。

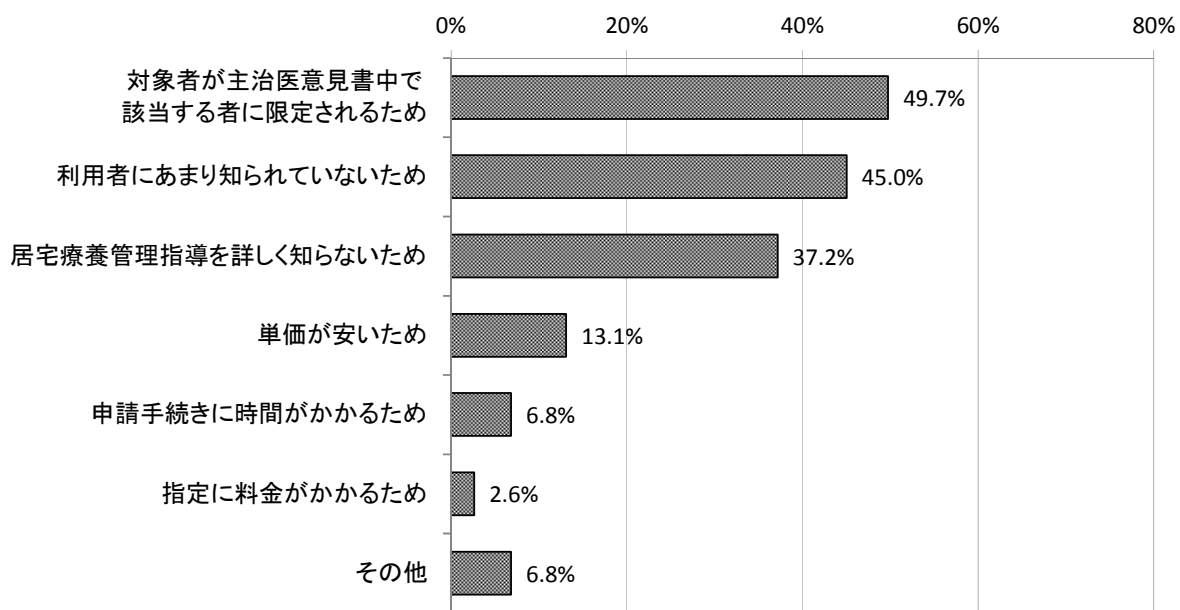
「はい」の場合、居宅療養管理指導を算定しにくい理由は、「対象者が主治医意見書中で該当する者に限定されるため」が49.7%、「利用者にあまり知られていないため」は45.0%、「居宅療養管理指導を詳しく知らないため」は37.2%であった。

その他の内容は、「居宅療養管理の必要性を感じないため（始めから訪問看護導入で動いた方がよい）」「訪問看護の導入の理解をすすめた方がスムーズ。主治医の指示なしでの利用にすればもっとうまくいくと思う」「介護サービス提供開始から2か月のしほりがあるため、時期を過ぎている場合も多くあります。お試しで活用するよりも、必要性を感じられる方々は、訪問看護として開始して下さることが多いと考えます」「余裕がない」「介護支援専門員に知られていない」「自地域では、使う場面があまりない」「利用者にも負担になる」であった。

図表 2-5-125 居宅療養管理指導を算定しにくいか(n=382)



図表 2-5-126 居宅療養管理指導を算定しにくい理由(n=191)



調査票

平成28年度 介護報酬改定検証・研究調査(厚生労働省委託調査)
病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する調査研究事業
介護療養型医療施設票

※本調査票は、貴施設の管理者の方がご記入下さい。
※回答の際は、あてはまる番号や数字等を○で囲んで下さい。○を付ける数は原則1つです。○を複数に付けていただく場合は、質問文に「複数回答可」と記載しています。
※具体的な数値等をご記入いただく部分もあります。該当がない場合には必ず「0」とご記入下さい。
分からない場合は「-」と記入して下さい。
※調査時点は、平成28年10月5日または、質問に記載している期間とします。

1. 貴施設の基本情報についてお伺いします。

1) 所在地	() 都・道・府・県				
2) 開設主体	1 公立	2 医療法人	3 社団・財団法人	4 個人	5 その他 ()
3) 開設年	西暦 () 年				
4) 貴院の形態	1 病院	2 診療所			
5) 病床数	一般病床	() 床			
	療養病床	() 床			
	介護保険適用病床数	() 床			
	医療保険適用病床数	() 床			
	精神病床(老人性認知症疾患療養病棟を除く)	() 床			
	老人性認知症疾患療養病棟	() 床			
	上記以外の病床	() 床			
【一般病床が有る場合】					
6) 一般病棟の看護職員配置	1 7対1	2 10対1	3 13対1	4 15対1	5 なし
7) 一般病棟の平均在院日数	(.) 日				
【医療保険適用の療養病床が有る場合】					
8) 診療報酬の届出区分 (複数回答可)	0 該当なし	1 療養病棟入院基本料1	2 療養病棟入院基本料2		
9) 医療療養病床を有する場合: 平均在院日数	①療養病棟入院基本料1	(.) 日			
	②療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上かつ医療区分2・3の患者割合が5割以上)	(.) 日			
	③療養病棟入院基本料2(その他)	(.) 日			
【介護保険適用の病床が有る場合】					
10) 介護療養病床の平均在院日数	(.) 日				
11) 老人性認知症疾患療養病棟の平均在院日数	(.) 日				
12) 療養機能強化型の届出の状況	1 無	2 療養機能強化型A	3 療養機能強化型B		
13) 療養型経過型ですか	1 はい	2 いいえ			
14) 介護職員の配置	①病院の場合	1 4対1	2 5対1	3 6対1	
	②診療所の場合	1 介護6:1	2 看護・介護で3:1		
15) 介護保険適用の病室数と床面積					
【①療養病床(病院・診療所)の場合】					
	4人室	3人室	2人室	個室	ユニット型個室
室数	室	室	室	室	室
延べ床面積	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²

【②老人性認知症疾患療養病棟の場合】					
	4人室	3人室	2人室	個室	ユニット型個室
室数	室	室	室	室	室
延べ床面積	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²
16) 貴院全体の看護職員数(実人数)	常勤 () 人、非常勤 () 人				
17) 貴施設で実施しているサービス(複数回答可)	1 短期入所療養介護	2 通所リハビリテーション			
	3 訪問リハビリテーション	4 訪問看護(ステーション以外)			
18) その他、併設している施設・事業所(複数回答可)	5 居宅療養管理指導				
	1 老人保健施設	2 特別養護老人ホーム			
	3 訪問介護事業所	4 訪問看護ステーション			
	5 通所介護事業所	6 短期入所生活介護事業所			
	7 認知症対応型共同生活介護事業所	8 小規模多機能型居宅介護事業所			
	9 看護小規模多機能型居宅介護事業所	10 居宅介護支援事業所			
	11 有料老人ホーム	12 サービス付高齢者向け住宅			
	13 地域包括支援センター	14 在宅介護支援センター			
	15 その他				

2. 貴施設の職員体制についてお伺いします。

(1) 介護療養型医療施設の病棟(または病室)の業務に携わる従事者について職種別に記入して下さい。

平成28年10月5日時点の職員数について、常勤換算数で記入して下さい。					
※常勤換算数は「従事者の1週間の勤務延時間÷貴施設において常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数」で計算し、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで計上して下さい。常勤と非常勤の合計人数で記入して下さい。職種を兼務している場合は、勤務実態に応じて、按分して下さい。得られた結果が0.1に満たない場合は、「0.1」と計上して下さい。					
	①介護療養病床	②認知症疾患療養病棟		①介護療養病床	②認知症疾患療養病棟
医師	.	.	理学療法士	.	.
歯科医師	.	.	作業療法士	.	.
薬剤師	.	.	言語聴覚士	.	.
看護師	.	.	栄養士	.	.
准看護師	.	.	うち、管理栄養士	.	.
介護職員	.	.	精神保健福祉士	.	.
	うち、介護福祉士	.	放射線技師	.	.
歯科衛生士	.	.	介護病床専従の事務職	.	.

(2) 介護療養型医療施設の病棟(または病室)において、平成28年10月5日24時時点に実際に配置されていた職員数(実人数)をご記入下さい。

		①介護療養病床	②認知症疾患療養病棟
夜勤	看護師	人	人
	准看護師	人	人
	介護職員	人	人
	うち、認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けた者	人	人
宿直	看護職員(看護師または准看護師)	人	人
オンコール対応	看護職員(看護師または准看護師)	人	人

3. 貴施設の介護療養病床の入院患者数等についてお伺いします。

(※短期入所療養介護の利用者は含みません。) 介護療養病床を有しない場合は4. に進んでください。

(1) 入院患者数をご記入下さい。

平成 28 年 10 月 5 日 24 時時点の入院患者数(実人数)	人
------------------------------------	---

(2) 入院患者数(実人数)について、内訳をご記入下さい。

1) 要介護度別実人数	2) 年齢階級別実人数と入院患者の平均年齢	3) 障害高齢者の日常生活自立度別実人数	4) 認知症高齢者の日常生活自立度別実人数
要介護1	人 40～64 歳	人 自立	人 自立
要介護2	人 65～74 歳	人 J	人 I
要介護3	人 75～84 歳	人 A	人 II
要介護4	人 85～94 歳	人 B	人 III
要介護5	人 95 歳以上	人 C	人 IV
申請中	人 平均年齢 歳		人 M

※内訳の合計はそれぞれ(1)と一致するように、ご記入下さい。

(3) 入院患者数について、医療区分・ADL区分別の人数をご記入下さい。

	ADL区分1	ADL区分2	ADL区分3	小計
医療区分1	人	人	人	人
医療区分2	人	人	人	人
医療区分3	人	人	人	人
小計	人	人	人	人

(4) 療養機能強化型の算定要件に係る状況をお伺いします。平成 28 年 7 月～9 月の3か月間の入院患者(実人数)についてご記入下さい。

	実人数
前3か月(平成 28 年 7 月～9 月)の入院患者数の総数	人
以下の①～⑩の項目に1つ以上あてはまった人数(実人数)	人
(重篤な身体疾患を有する者)	
①N Y H A 分類Ⅲ以上の慢性心不全の状態	人
②Hugh-Jones 分類Ⅳ以上の呼吸困難の状態又は連続する1週間以上人工呼吸器を必要としている状態	人
③各週2日以上的人工腎臓の実施が必要である者で	
常時低血圧(収縮時血圧が90mmHg以下)	人
透析アミロイド症で手根管症候群や運動機能障害を呈するもの	人
出血性消化器病変を有するもの	人
骨折を伴う二次性副甲状腺機能亢進症のもの	人
④Child-Pugh 分類C以上の肝機能障害の状態	人
⑤連続する3日以上、JCS100以上の意識障害が継続している状態	人
⑥単一の凝固因子活性が40%未満の凝固異常の状態	人
⑦現に経口により食事を摂取している者であって、著しい摂食機能障害を有し、造影撮影又は内視鏡検査により誤嚥が認められる状態	人
(身体合併症を有する認知症高齢者)	
⑧認知症であって、悪性腫瘍等と診断された者	人
⑨認知症であって、別に掲げるいずれかの疾病(注1)と診断された者	人
⑩認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、ⅣまたはMに該当する者	人
喀痰吸引、経管栄養、インスリン注射が実施された者	人
喀痰吸引が実施された者、または相当する者(注2)	人
経管栄養が実施された者、または相当する者(注3)	人
インスリン注射が実施された者(自ら実施する者は除く)	人

(前頁注)

注1) 別に掲げる疾病: パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、パーキンソン病)、多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症、シャイ・ドレーガー症候群)、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、広範脊柱管狭窄症、後縦靭帯骨化症、悪性関節リウマチ

注2) 喀痰吸引の実施に相当する者: 過去1年間に喀痰吸引が実施されていた者であって、口腔衛生管理加算又は口腔衛生管理体制加算を算定されている者

注3) 経管栄養の実施に相当する者: 過去1年間に経管栄養が実施されていた者であって、経口維持加算又は栄養マネジメント加算を算定されている者

(5) 平成 28 年 10 月 5 日 24 時時点の入院患者の延べ入院日数、以下の①～③の条件全てに適合する入院患者の人数と延べ入院日数をご記入下さい。

全ての入院患者の延べ入院日数	日
①～③の条件全てに適合する入院患者数(実人数)	人
①～③の条件全てに適合する入院患者の延べ入院日数	日

【条件】

① 医師が一般に認められている医学的知見に基づき回復の見込みがないと診断した者である。

② 入院患者等又はその家族等の同意を得て、入院患者等のターミナルケアに係る計画が作成されている。

③ 医師、看護師、介護職員等が共同して、入院患者等の状態又は家族の求め等に応じ随時、本人又はその家族への説明を行い、同意を得てターミナルケアが行われている。

(6) 平成 28 年 4～9 月の「入棟前の居場所別 新規入棟者数」と「退院先別人数」をご回答下さい。

	新規入棟者数	退院者数
本人の家	人	人
貴院の他の病棟	人	人
他の病院	人	人
他の診療所	人	人
老人保健施設	人	人
特別養護老人ホーム	人	人
有料老人ホーム	人	人
サービス付き高齢者向け住宅	人	人
養護老人ホーム	人	人
軽費老人ホーム・ケアハウス	人	人
認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	人	人
死亡		人
その他	人	人

(7) 口腔衛生管理体制

貴施設の口腔衛生管理体制として、有する項目、実施されている項目(複数回答可)	<ol style="list-style-type: none"> 協力歯科医療機関の届出 協力歯科医療機関による訪問歯科診療 歯科医師による定期的な歯科健康診査 歯科衛生士による定期的な歯科衛生に関するアセスメント 歯科衛生士による口腔衛生管理(いわゆる専門的口腔ケア)の実施 介護職員に対する口腔ケアに関する研修の機会 カンファレンス(経口維持加算Ⅱによるもの等)への歯科医師、歯科衛生士の参加 歯科医師又は歯科衛生士の介護職員に対する口腔ケアに係る助言や指導 その他()
--	---

(8) 加算等の算定人数(平成28年10月分)についてお伺いします。

	算定人数	
	(※算定した人がいない場合は、必ず「2 無」に○を付けて下さい)	
1) 栄養マネジメント加算	1 有	2 無
2) 経口移行加算	1 有⇒算定人数()人	2 無
3) 経口維持加算(I)	1 有⇒算定人数()人	2 無
4) 経口維持加算(II)	1 有⇒算定人数()人	2 無
5) 口腔衛生管理体制加算	1 有	2 無
6) 口腔衛生管理加算	1 有⇒算定人数()人	2 無
7) 療養食加算	1 有⇒算定人数()人	2 無
8) 認知症専門ケア加算	1 有⇒算定人数()人	2 無
9) 認知症行動・心理症状緊急対応加算	1 有⇒算定人数()人	2 無
10) 退院前訪問指導加算	1 有⇒算定人数()人	2 無
11) 退院後訪問指導加算	1 有⇒算定人数()人	2 無
12) 退院時指導加算	1 有⇒算定人数()人	2 無
13) 退院時情報提供加算	1 有⇒算定人数()人	2 無
14) 退院前連携加算	1 有⇒算定人数()人	2 無
15) 老人訪問看護指示加算	1 有⇒算定人数()人	2 無
16) 在宅復帰支援機能加算	1 有	2 無
以下からは、特定診療費についてお聞きします。		
17) 感染対策指導管理	1 有	2 無
18) 褥瘡対策指導管理	1 有	2 無
19) 初期入院診療管理	1 有⇒算定人数()人	2 無
20) 特定施設管理	1 有⇒算定人数()人	2 無
21) 重症皮膚潰瘍管理指導	1 有⇒算定人数()人	2 無
22) 薬剤管理指導	1 有⇒算定人数()人	2 無
23) 特別薬剤管理指導加算	1 有⇒算定人数()人	2 無
24) 医学情報提供	1 有⇒算定人数()人	2 無
25) 理学療法(I)	1 有⇒算定人数()人	2 無
26) 理学療法(II)	1 有⇒算定人数()人	2 無
27) 理学療法リハビリ計画加算	1 有⇒算定人数()人	2 無
28) 理学療法日常動作訓練指導加算	1 有⇒算定人数()人	2 無
29) 理学療法リハビリ体制強化加算	1 有⇒算定人数()人	2 無
30) 作業療法	1 有⇒算定人数()人	2 無
31) 作業療法リハビリ計画加算	1 有⇒算定人数()人	2 無
32) 作業療法日常動作訓練指導加算	1 有⇒算定人数()人	2 無
33) 作業療法リハビリ体制強化加算	1 有⇒算定人数()人	2 無
34) 言語聴覚療法	1 有⇒算定人数()人	2 無
35) 言語聴覚療法リハビリ体制強化加算	1 有⇒算定人数()人	2 無
36) 集団コミュニケーション療法	1 有⇒算定人数()人	2 無

(続き)

	算定人数	
	(※算定した人がいない場合は、必ず「2 無」に○を付けて下さい)	
37) 摂食機能療法	1 有⇒算定人数()人	2 無
38) 短期集中リハビリテーション	1 有⇒算定人数()人	2 無
39) 認知症短期集中リハビリテーション	1 有⇒算定人数()人	2 無
40) 精神科作業療法	1 有⇒算定人数()人	2 無
41) 認知症老人入院精神療法	1 有⇒算定人数()人	2 無

4. 貴施設の老人性認知症疾患療養病棟の入院者数等についてお伺いします。

(※短期入所療養介護の利用者は含みません。)老人性認知症疾患療養病棟を有しない場合は5. に進んでください。

(1) 入院者数をご記入下さい。

平成28年10月5日24時時点の入院者数(実人数)	人
---------------------------	---

(2) 入院者数(実人数)について、内訳をご記入下さい。

1) 要介護度別実人数	2) 年齢階級別実人数と入院患者の平均年齢	3) 障害高齢者の日常生活自立度別実人数	4) 認知症高齢者の日常生活自立度別実人数
要介護1	人 40~64歳	人 自立	人 自立
要介護2	人 65~74歳	人 J	人 I
要介護3	人 75~84歳	人 A	人 II
要介護4	人 85~94歳	人 B	人 III
要介護5	人 95歳以上	人 C	人 IV
申請中	人 平均年齢 歳		人 M

※内訳の合計はそれぞれ(1)と一致するように、ご記入下さい。

(3) 平成28年4~9月の「入棟前の居場所別 新規入棟者数」と「退院先別人数」をご回答下さい。

	新規入棟者数	退院者数
本人の家	人	人
貴院の他の病棟	人	人
他の病院	人	人
他の診療所	人	人
老人保健施設	人	人
特別養護老人ホーム	人	人
有料老人ホーム	人	人
サービス付き高齢者向け住宅	人	人
養護老人ホーム	人	人
軽費老人ホーム・ケアハウス	人	人
認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	人	人
死亡		人
その他	人	人

(4) 口腔衛生管理体制

貴施設の口腔衛生管理体制として、有する項目、実施されている項目(複数回答可)	1 協力歯科医療機関の届出
	2 協力歯科医療機関による訪問歯科診療
	3 歯科医師による定期的な歯科健康診査
	4 歯科衛生士による定期的な歯科衛生に関するアセスメント
	5 歯科衛生士による口腔衛生管理(いわゆる専門的口腔ケア)の実施
	6 介護職員に対する口腔ケアに関する研修の機会
	7 カンファレンス(経口維持加算Ⅱによるもの等)への歯科医師、歯科衛生士の参加
	8 歯科医師又は歯科衛生士の介護職員に対する口腔ケアに係る助言や指導
	9 その他()

(5) 加算等の算定人数(平成28年10月分)についてお伺いします。

	算定人数	
	(※算定した人がいない場合は、必ず「2 無」に○を付けて下さい)	
1) 栄養マネジメント加算	1 有	2 無
2) 経口移行加算	1 有⇒算定人数()人	2 無
3) 経口維持加算(Ⅰ)	1 有⇒算定人数()人	2 無
4) 経口維持加算(Ⅱ)	1 有⇒算定人数()人	2 無
5) 口腔衛生管理体制加算	1 有	2 無
6) 口腔衛生管理加算	1 有⇒算定人数()人	2 無
7) 療養食加算	1 有⇒算定人数()人	2 無
8) 在宅復帰支援機能加算	1 有	2 無
9) 退院前訪問指導加算	1 有⇒算定人数()人	2 無
10) 退院後訪問指導加算	1 有⇒算定人数()人	2 無
11) 退院時指導加算	1 有⇒算定人数()人	2 無
12) 退院時情報提供加算	1 有⇒算定人数()人	2 無
13) 退院前連携加算	1 有⇒算定人数()人	2 無
14) 老人訪問看護指示加算	1 有⇒算定人数()人	2 無
以下からは、特定診療費についてお聞きします。		
15) 感染対策指導管理	1 有	2 無
16) 褥瘡対策指導管理	1 有	2 無
17) 初期入院診療管理	1 有⇒算定人数()人	2 無
18) 認知症短期集中リハビリテーション	1 有⇒算定人数()人	2 無
19) 精神科作業療法	1 有⇒算定人数()人	2 無
20) 認知症老人入院精神療法	1 有⇒算定人数()人	2 無

5. 退院支援および指定訪問看護の実施状況についてお伺いします。

1) 退院支援部門の有無	1 有	2 無
2) 退院後訪問指導料の算定有無・件数(平成28年10月分)	1 有⇒()件	2 無
3) 指定訪問看護の実施の有無	1 有	2 無
①(3)で「2無」の場合 貴院で訪問看護が必要な利用者がいる場合は、主に、どのように対応していますか	1 主に併設の指定訪問看護ステーションで対応 2 主に、同一法人(同系列を含む)が開設している指定訪問看護ステーション(併設以外)で対応しているため 3 主に、地域の訪問看護ステーションに依頼 4 当院の患者には訪問看護の必要な患者はいない 5 その他()	
②(3)で「2無」の場合 今後、実施する意向はありますか	1 実施したい 2 実施したいが難しい 3 意向はない	
②で「1実施したい」を選んだ場合:理由(複数回答可)	1 訪問看護を必要とする患者が増えてきているから 2 今後、訪問看護を必要とする患者が増えることが予想されるから 3 退院支援を促進するためには、必要なサービスであるから 4 当院の看護職員の活躍の場として、望ましいと考えるから 5 病院の機能を拡充するために必要と考えるから 6 訪問看護部門の実施は、病院の経営への貢献が期待されるから 7 その他()	
②で「2実施したいが難しい」・「3意向はない」を選んだ場合:理由(複数回答可)	1 指定訪問看護ステーションを併設しているため 2 同一法人(同系列を含む)が指定訪問看護ステーションを開設しているため(併設以外) 3 地域の訪問看護ステーションと連携することで対応可能であるため 4 地域に訪問看護ステーションが多くあるため 5 当院の患者には訪問看護を必要とする患者がいらないため 6 地域には訪問看護のニーズがないため 7 看護職員が不足しているから 8 看護職員に在宅での看護の提供のスキル・経験がないから 9 訪問看護は採算がとれないから 10 その他()	

(貴施設の全体の状況についてお伺いします。)

6. 平成28年度の地域に貢献する活動の実施状況についてお伺いします。

1) 地域住民への健康教室	1 実施している	2 計画中である	3 実施予定はない
2) ボランティアの受け入れ	1 実施している	2 計画中である	3 実施予定はない
3) 認知症カフェ	1 実施している	2 計画中である	3 実施予定はない
4) 住民も含めた祭り等の開催	1 実施している	2 計画中である	3 実施予定はない
5) 住民と患者の交流会の開催	1 実施している	2 計画中である	3 実施予定はない
6) その他実施している活動(自由回答)			

記入内容についてお伺いする場合があります。施設名と連絡先をご記入下さい。

施設名		電話番号	
-----	--	------	--

以上で質問は終わりです。記入済みの調査票は、調査ご担当者から、他の調査票とあわせて、ご返送下さい。ご協力ありがとうございました。

平成28年度 介護報酬改定検証・研究調査(厚生労働省委託調査)
病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する調査研究事業
医療療養病床票

※本調査票は、貴施設の管理者の方がご記入下さい。
※回答の際は、あてはまる番号や数字等を○で囲んで下さい。○を付ける数は原則1つです。○を複数に付けていただく場合は、質問文に「複数回答可」と記載しています。
※具体的な数値等をご記入いただく部分もあります。該当がない場合には必ず「0」とご記入下さい。
分からない場合は「-」と記入して下さい。
※調査時点は、平成28年10月5日または、質問に記載している期間とします。

1. 貴施設の基本情報についてお伺いします。

1) 所在地	() 都・道・府・県				
2) 開設主体	1 公立	2 医療法人	3 社団・財団法人	4 個人	5 その他()
3) 開設年	西暦()年				
4) 貴院の形態	1 病院	2 診療所			
5) 病床数	一般病床	() 床			
	療養病床	() 床			
	介護保険適用病床数	() 床			
	医療保険適用病床数	() 床			
	精神病床(老人性認知症疾患療養病棟を除く)	() 床			
	老人性認知症疾患療養病棟	() 床			
	上記以外の病床	() 床			
6) 一般病棟の看護職員配置	1 7対1	2 10対1	3 13対1	4 15対1	5 なし
7) 一般病棟の平均在院日数	(.) 日				
8) 医療保険適用の療養病床の診療報酬の届出区分(複数回答可)	1 療養病棟入院基本料1	2 療養病棟入院基本料2			
	3 有床診療所療養病床入院基本料				
9) 平均在院日数	①療養病棟入院基本料1	(.) 日			
	②療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上かつ医療区分2・3の患者割合が5割以上)	(.) 日			
	③療養病棟入院基本料2(その他)	(.) 日			
10) 貴院全体の看護職員数(実人数)	常勤()人、非常勤()人				
11) 貴施設で実施しているサービス(複数回答可)	1 短期入所療養介護	2 通所リハビリテーション			
	3 訪問リハビリテーション	4 訪問看護(ステーション以外)			
	5 居宅療養管理指導				
12) その他、併設している施設・事業所(複数回答可)	1 老人保健施設	2 特別養護老人ホーム			
	3 訪問介護事業所	4 訪問看護ステーション			
	5 通所介護事業所	6 短期入所生活介護事業所			
	7 認知症対応型共同生活介護事業所	8 小規模多機能型居宅介護事業所			
	9 看護小規模多機能型居宅介護事業所	10 居宅介護支援事業所			
	11 有料老人ホーム	12 サービス付高齢者向け住宅			
	13 地域包括支援センター	14 在宅介護支援センター	15 その他		
13) 看護補助加算の有無(複数回答可)	1 看護補助加算1	2 看護補助加算2			
	3 看護補助加算3	4 夜勤75対1看護補助加算			
	5 夜間看護体制加算				

2. 貴施設の職員体制についてお伺いします。

(1) 医療保険適用の療養病床の業務に携わる従事者について職種別に記入して下さい。

平成28年10月5日時点の職員数について、常勤換算数で記入して下さい。					
※常勤換算数は「従事者の1週間の勤務延時間÷貴施設において常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数」で計算し、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで計上して下さい。常勤と非常勤の合計人数で記入して下さい。職種を兼務している場合は、勤務実態に応じて、按分して下さい。得られた結果が0.1に満たない場合は、「0.1」と計上して下さい。					
	①療養病棟入院基本料1または有床診療所の療養病床	②療養病棟入院基本料2		①療養病棟入院基本料1または有床診療所の療養病床	②療養病棟入院基本料2
医師	.	.	理学療法士	.	.
歯科医師	.	.	作業療法士	.	.
薬剤師	.	.	言語聴覚士	.	.
看護師	.	.	栄養士	.	.
准看護師	.	.	うち、管理栄養士	.	.
看護補助者	.	.	精神保健福祉士	.	.
歯科衛生士	.	.	放射線技師	.	.
			療養病床専従の事務職	.	.

(2) 医療保険適用の療養病床において、平成28年10月5日24時時点で、実際に配置されていた職員数(実人数)をご記入下さい。

		①療養病棟入院基本料1または有床診療所の療養病床	②療養病棟入院基本料2
夜勤	看護師	人	人
	准看護師	人	人
	看護補助者	人	人
宿直	看護職員(看護師または准看護師)	人	人
オンコール対応	看護職員(看護師または准看護師)	人	人

3. 貴施設の医療療養病床の入院患者数についてお伺いします。

診療報酬の届出区分ごとにご記入下さい。2種類の届出をしている場合は、4.にもご記入下さい。

(1) ここで回答する診療報酬の届出区分

診療報酬の届出区分	1 療養病棟入院基本料1
	2 療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上かつ医療区分2・3の患者割合が5割以上)
	3 療養病棟入院基本料2(その他)
	4 有床診療所療養病床入院基本料

(2) 入院患者数をご記入下さい。

平成28年10月5日24時時点の入院患者数(実人数)	人
----------------------------	---

(3) 入院患者数(実人数)について、内訳をご記入下さい。

1) 要介護度別実人数		2) 年齢階級別実人数と入院患者の平均年齢		3) 障害高齢者の日常生活自立度別人数 ※1記入要領参照		4) 認知症高齢者の日常生活自立度別人数 ※1記入要領参照	
要支援1・2	人	40～64歳	人	自立	人	自立	人
要介護1	人	65～74歳	人	J	人	I	人
要介護2	人	75～84歳	人	A	人	II	人
要介護3	人	85～94歳	人	B	人	III	人
要介護4	人	95歳以上	人	C	人	IV	人
要介護5	人	平均年齢	歳	不明	人	M	人
申請中	人					不明	人
非該当	人						
未申請	人						

※内訳の合計はそれぞれ(2)と一致するように、ご記入下さい。

(4) 入院患者数について、医療区分・ADL区分別の人数をご記入下さい。

	ADL区分1	ADL区分2	ADL区分3	小計
医療区分1	人	人	人	人
医療区分2	人	人	人	人
医療区分3	人	人	人	人
小計	人	人	人	人

(5) 平成28年7月～9月の3か月間の入院患者(実人数)についてご記入下さい。(参考として、介護療養型医療施設における療養機能強化型の算定要件に関する項目をお伺いしております。)

	実人数
前3か月(平成28年7月～9月)の入院患者数の総数	人
以下の①～⑩の項目に1つ以上あてはまった人数(実人数)	人
(重篤な身体疾患を有する者)	
①NYHA分類Ⅲ以上の慢性心不全の状態	人
②Hugh-Jones分類Ⅳ以上の呼吸困難の状態又は連続する1週間以上人工呼吸器を必要としている状態	人
③各週2日以上的人工腎臓の実施が必要である者で	
常時低血圧(収縮時血圧が90mmHg以下)	人
透析アミロイド症で手根管症候群や運動機能障害を呈するもの	人
出血性消化器病変を有するもの	人
骨折を伴う二次性副甲状腺機能亢進症のもの	人
④Child-Pugh分類C以上の肝機能障害の状態	人
⑤連続する3日以上、JCS100以上の意識障害が継続している状態	人
⑥単一の凝固因子活性が40%未満の凝固異常の状態	人
⑦現に経口により食事を摂取している者であって、著しい摂食機能障害を有し、造影撮影又は内視鏡検査により誤嚥が認められる状態	人
(身体合併症を有する認知症高齢者)	
⑧認知症であって、悪性腫瘍等と診断された者	人
⑨認知症であって、別に掲げるいずれかの疾病(注1)と診断された者	人
⑩認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、ⅣまたはMに該当する者	人

(続き)

	実人数
喀痰吸引、経管栄養、インスリン注射が実施された者	人
喀痰吸引が実施された者、または相当する者(注2)	人
経管栄養が実施された者、または相当する者(注3)	人
インスリン注射が実施された者(自ら実施する者は除く)	人

注1) 別に掲げる疾病: パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、パーキンソン病)、多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症、シャイ・ドレーガー症候群)、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、広範脊髄管狭窄症、後縦韌帯骨化症、悪性関節リウマチ

注2) 喀痰吸引の実施に相当する者: 過去1年間に喀痰吸引が実施されていた者であって、過去1年間に喀痰吸引が実施されていた者であって、i) 歯科医師又は歯科医師の指示を受けた歯科衛生士が、入院患者に対し口腔ケアを月4回以上行っている場合、又はii) 歯科医師又は歯科医師の指示を受けた歯科衛生士が、介護職員に対し口腔ケアに係る技術的助言及び指導を月1回以上行っている場合

注3) 経管栄養の実施に相当する者: 過去1年間に経管栄養が実施されていた者であって、i) 摂食機能障害を有し、誤嚥が認められる入院患者に対して、多職種で入院患者の栄養管理をするための食事の観察及び会議等を行い、経口による継続的な食事の摂取を進めるための計画を作成し栄養管理を行っている場合、又はii) 管理栄養士が継続的に入院患者ごとの栄養管理を行っている場合

(6) 平成28年10月5日24時時点の入院患者の延べ入院日数、以下の①～③の条件全てに適合する入院患者(ターミナル期のケアを提供している入院患者)の人数と延べ入院日数をご記入下さい。

全ての入院患者の延べ入院日数	日
①～③の条件全てに適合する入院患者数(実人数)	人
①～③の条件全てに適合する入院患者の延べ入院日数	日

【条件】

- 医師が一般に認められている医学的知見に基づき回復の見込みがないと診断した者である。
- 入院患者等又はその家族等の同意を得て、入院患者等のターミナルケアに係る計画が作成されている。
- 医師、看護師、介護職員等が共同して、入院患者等の状態又は家族の求め等に応じ随時、本人又はその家族への説明を行い、同意を得てターミナルケアが行われている。

(7) 平成28年4～9月の「入棟前の居場所別 新規入棟者数」と「退院先別人数」をご回答下さい。

	新規入棟者数	退院者数
本人の家	人	人
貴院の他の病棟	人	人
他の病院	人	人
他の診療所	人	人
老人保健施設	人	人
特別養護老人ホーム	人	人
有料老人ホーム	人	人
サービス付き高齢者向け住宅	人	人
養護老人ホーム	人	人
軽費老人ホーム・ケアハウス	人	人
認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	人	人
死亡		人
その他	人	人

4. 貴施設の医療療養病床の診療報酬の届出区分が複数ある場合、設問3. でご回答されていない届出区分の入院患者についてお伺いします。(届出区分が1つの場合は、5.へ進んで下さい。)

(1) ここで回答する診療報酬の届出区分

診療報酬の届出区分	1 療養病棟入院基本料1
	2 療養病棟入院基本料2 (看護配置25:1以上かつ医療区分2・3の患者割合が5割以上)
	3 療養病棟入院基本料2 (その他)
	4 有床診療所療養病床入院基本料

(2) 入院患者数をご記入下さい。

平成28年10月5日24時時点の入院患者数(実人数)	人
----------------------------	---

(3) 入院患者数(実人数)について、内訳をご記入下さい。

1) 要介護度別実人数	2) 年齢階級別実人数と入院患者の平均年齢	3) 障害高齢者の日常生活自立度別人数※1記入要領参照	4) 認知症高齢者の日常生活自立度別人数※1記入要領参照
要支援1・2	人 40～64歳	人 自立	人 自立
要介護1	人 65～74歳	人 J	人 I
要介護2	人 75～84歳	人 A	人 II
要介護3	人 85～94歳	人 B	人 III
要介護4	人 95歳以上	人 C	人 IV
要介護5	人 平均年齢 歳	人 不明	人 M
申請中	人		人 不明
未申請	人		
非該当	人		

※内訳の合計はそれぞれ(2)と一致するように、ご記入下さい。

(4) 入院患者数について、医療区分・ADL区分別の人数をご記入下さい。

	ADL区分1	ADL区分2	ADL区分3	小計
医療区分1	人	人	人	人
医療区分2	人	人	人	人
医療区分3	人	人	人	人
小計	人	人	人	人

(5) 平成28年10月5日24時時点の入院患者の延べ入院日数、以下の①～③の条件全てに適合する入院患者(ターミナル期のケアを提供している入院患者)の人数と延べ入院日数をご記入下さい。

全ての入院患者の延べ入院日数	日
①～③の条件全てに適合する入院患者数(実人数)	人
①～③の条件全てに適合する入院患者の延べ入院日数	日

【条件】

- ① 医師が一般に認められている医学的知見に基づき回復の見込みがないと診断した者である。
- ② 入院患者等又はその家族等の同意を得て、入院患者等のターミナルケアに係る計画が作成されている。
- ③ 医師、看護師、介護職員等が共同して、入院患者等の状態又は家族の求め等に応じ随時、本人又はその家族への説明を行い、同意を得てターミナルケアが行われている。

(6) 平成28年7月～9月の3か月間の入院患者(実人数)についてご記入下さい。(参考として、介護療養機能強化型の算定要件に関連する項目をお伺いしております。)

	実人数
前3か月(平成28年7月～9月)の入院患者数の総数	人
以下の①～⑩の項目に1つ以上あてはまった人数(実人数)	人
(重篤な身体疾患を有する者)	
①NYHA分類Ⅲ以上の慢性心不全の状態	人
②Hugh-Jones 分類Ⅳ以上の呼吸困難の状態又は連続する1週間以上人工呼吸器を必要としている状態	人
③各週2日以上的人工腎臓の実施が必要である者で	
常時低血圧(収縮時血圧が90mmHg以下)	人
透析アミロイド症で手根管症候群や運動機能障害を呈するもの	人
出血性消化器病変を有するもの	人
骨折を伴う二次性副甲状腺機能亢進症のもの	人
④Child-Pugh分類C以上の肝機能障害の状態	人
⑤連続する3日以上、JCS100以上の意識障害が継続している状態	人
⑥単一の凝固因子活性が40%未満の凝固異常の状態	人
⑦現に経口により食事を摂取している者であって、著しい摂食機能障害を有し、造影撮影又は内視鏡検査により誤嚥が認められる状態	人
(身体合併症を有する認知症高齢者)	
⑧認知症であって、悪性腫瘍等と診断された者	人
⑨認知症であって、別に掲げるいずれかの疾病(注1)と診断された者	人
⑩認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、ⅣまたはMに該当する者	人
喀痰吸引、経管栄養、インスリン注射が実施された者	
喀痰吸引が実施された者、または相当する者(注2)	人
経管栄養が実施された者、または相当する者(注3)	人
インスリン注射が実施された者(自ら実施する者は除く)	人

注1) 別に掲げる疾病: パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、パーキンソン病)、多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症、シャイ・ドレーガー症候群)、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、広範脊柱管狭窄症、後縦靭帯骨化症、悪性関節リウマチ

注2) 喀痰吸引の実施に相当する者: 過去1年間に喀痰吸引が実施されていた者であって、過去1年間に喀痰吸引が実施されていた者であって、i) 歯科医師又は歯科医師の指示を受けた歯科衛生士が、入院患者に対し口腔ケアを月4回以上行っている場合、又はii) 歯科医師又は歯科医師の指示を受けた歯科衛生士が、介護職員に対し口腔ケアに係る技術的助言及び指導を月1回以上行っている場合

注3) 経管栄養の実施に相当する者: 過去1年間に経管栄養が実施されていた者であって、i) 摂食機能障害を有し、誤嚥が認められる入院患者に対して、多職種で入院患者の栄養管理をするための食事の観察及び会議等を行い、経口による継続的な食事の摂取を進めるための計画を作成し栄養管理を行っている場合、又はii) 管理栄養士が継続的に入院患者ごとの栄養管理を行っている場合

(7) 平成28年4～9月の「入棟前の居場所別 新規入棟者数」と「退院先別人数」をご回答下さい。

	新規入棟者数	退院者数
本人の家	人	人
貴院の他の病棟	人	人
他の病院	人	人
他の診療所	人	人
老人保健施設	人	人
特別養護老人ホーム	人	人
有料老人ホーム	人	人
サービス付き高齢者向け住宅	人	人
養護老人ホーム	人	人
軽費老人ホーム・ケアハウス	人	人
認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	人	人
死亡		人
その他	人	人

5. 退院支援および指定訪問看護の実施状況についてお伺いします。

1) 退院支援部門の有無	1 有	2 無
2) 退院後訪問指導料の算定有無・件数(平成 28 年 10 月分)	1 有 ➡ () 件	2 無
3) 指定訪問看護の実施の有無	1 有	2 無
①(3)で「2 無」の場合 貴院で訪問看護が必要な利用者 がいる場合は、主に、どのように対 応していますか	1 主に併設の指定訪問看護ステーションで対応 2 主に、同一法人（同系列を含む）が開設している指定訪問看 護ステーション（併設以外）で対応しているため 3 主に、地域の訪問看護ステーションに依頼 4 当院の患者には訪問看護の必要な患者はいない 5 その他（ ）	
②(3)で「2 無」の場合 今後、実施する意向はありますか	1 実施したい 2 実施したいが難しい 3 意向はない	
②で 「1 実施したい」 を選んだ場合： 理由 (複数回答可)	1 訪問看護を必要とする患者が増えてきているから 2 今後、訪問看護を必要とする患者が増えることが予想されるから 3 退院支援を促進するためには、必要なサービスであるから 4 当院の看護職員の活躍の場として、望ましいと考えるから 5 病院の機能を拡充するために必要と考えるから 6 訪問看護部門の実施は、病院の経営への貢献が期待されるから 7 その他（ ）	
②で 「2 実施したいが 難しい」・ 「3 意向はない」 を選んだ場合： 理由(複数回答 可)	1 指定訪問看護ステーションを併設しているため 2 同一法人（同系列を含む）が指定訪問看護ステーションを開設しているため（併 設以外） 3 地域の訪問看護ステーションと連携することで対応可能であるため 4 地域に訪問看護ステーションが多くあるため 5 当院の患者には訪問看護を必要とする患者がいらないため 6 地域には訪問看護のニーズがないため 7 看護職員が不足しているから 8 看護職員に在宅での看護の提供のスキル・経験がないから 9 訪問看護は採算がとれないから 10 その他（ ）	

(貴施設の全体の状況についてお伺いします。)

6. 平成 28 年度の地域に貢献する活動の実施状況についてお伺いします。

1) 地域住民への健康教室	1 実施している	2 計画中である	3 実施予定はない
2) ボランティアの受け入れ	1 実施している	2 計画中である	3 実施予定はない
3) 認知症カフェ	1 実施している	2 計画中である	3 実施予定はない
4) 住民も含めた祭り等の開催	1 実施している	2 計画中である	3 実施予定はない
5) 住民と患者の交流会の開催	1 実施している	2 計画中である	3 実施予定はない
6) その他実施している活動 (自由回答)			

記入内容についてお伺いする場合があります。施設名と連絡先をご記入下さい。

施設名		電話番号	
-----	--	------	--

以上で質問は終わりです。記入済みの調査票は、調査ご担当者から、他の調査票とあわせて、ご返送下
さい。ご協力ありがとうございました。

平成28年度 介護報酬改定検証・研究調査(厚生労働省委託調査)
 病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する調査研究事業
入院患者票

※本調査票は、当該患者の状況について詳しい職員の方がご記入下さい。ご本人・家族にご確認いただく必要はありません。分かる範囲でご記入下さい。
 ※回答の際は、あてはまる番号を○で囲んで下さい。○を付ける数は原則1つです。○を複数に付けていただく場合は、質問文に記載しています。
 ※調査時点は、平成28年10月5日、もしくは質問に記載している期間とします。

1. 患者の基本情報についてお伺いします。

1) 入院している病棟	1 介護療養病床	2 老人性認知症疾患療養病棟	3 療養病棟入院基本料1
	4 療養病棟入院基本料2(看護配置25:1以上かつ医療区分2・3の患者割合が5割以上)		
	5 療養病棟入院基本料2(その他)		
2) 年齢(平成28年10月5日)	()歳	3) 性別	1 男 2 女
4) 入院(棟)日	平成()年()月()日		
5) 世帯構成	1 独居	2 夫婦のみ世帯	3 2以外で高齢者のみの世帯 4 その他
6) 家族介護者の有無(入院前)	1 有 2 無		
「1有」の場合	1 配偶者	2 子ども・子どもの配偶者	3 孫・孫の配偶者
①主な介護者の続柄	4 兄弟姉妹	5 その他	
②主な介護者の状況のうち、介護が難しくなる要因があればご回答下さい(複数回答可)	1 高齢	2 病気	3 育児中
	4 仕事	5 その他()	
③副介護者の有無	1 有 2 無		
7) 要介護度(直近)	1 要支援1・2	2 要介護1	3 要介護2
	5 要介護4	6 要介護5	7 申請中
			8 未申請 9 非該当
8) 医療区分	1 医療区分1	2 医療区分2	3 医療区分3
9) 認知症高齢者の日常生活自立度	1 自立	2 I	3 II a
	5 III a	6 III b	7 IV
			8 M 9 不明
10) ベッド上の可動性	0 自立	1 準備のみ	2 観察
	4 広範な援助	5 最大の援助	6 全面依存
			3 部分的な援助
11) 移乗	0 自立	1 準備のみ	2 観察
	4 広範な援助	5 最大の援助	6 全面依存
			3 部分的な援助
12) 食事	0 自立	1 準備のみ	2 観察
	4 広範な援助	5 最大の援助	6 全面依存
			3 部分的な援助
13) トイレの使用	0 自立	1 準備のみ	2 観察
	4 広範な援助	5 最大の援助	6 全面依存
			3 部分的な援助
14) 傷病(複数回答可)	1 高血圧	2 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	3 心臓病
	5 高脂血症(脂質異常症)	6 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	4 糖尿病
	7 胃腸・肝臓・胆のうの病気	8 腎臓・前立腺の病気	
	9 筋骨格系の病気(骨粗しょう症、関節症等)	10 外傷(転倒・骨折等)	
	11 がん(新生物)	12 血液・免疫の病気	13 うつ病・精神疾患
	14 認知症(アルツハイマー病等)	15 パーキンソン病	16 目の病気
	17 耳の病気	18 歯科疾患	19 その他の難病
	20 その他()	21 ない	
15) 検査・処置の実施状況(複数回答可)(平成28年10月分)	1 尿検査	2 糞便検査	3 血液・生化学検査
	5 呼吸機能検査	6 心電図検査	7 超音波検査
	9 上部・下部消化管内視鏡検査	10 気管支鏡検査	8 脳波検査
	12 単純エックス線撮影	13 透視	14 CT
	16 ドレナージ	17 脳室穿刺	18 胸腔・腹腔穿刺
	20 骨髄穿刺	21 透析(腹膜灌流を含む)	19 腰椎穿刺
16) その他の処置等の実施状況(複数回答可)(平成28年10月分)	1 胃ろう・腸ろうによる栄養管理	2 経鼻経管栄養	3 中心静脈栄養
	4 カテーテル(尿道留置カテーテル・コンドームカテーテル)の管理	5 ストマ(人工肛門・人工膀胱)の管理	
	6 喀痰吸引	7 ねらいザー	8 酸素療法(酸素吸入)
	10 人工呼吸器の管理	11 静脈内注射(点滴含む)	9 気管切開のケア
	12 皮内、皮下及び筋肉内注射(インスリン注射を除く)	13 簡易血糖測定	
	14 インスリン注射	15 疼痛管理(麻薬なし)	16 疼痛管理(麻薬使用)
	17 創傷処置	18 褥瘡処置	19 浣腸
	21 導尿	22 膀胱洗浄	20 摘便
		23 持続モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等)	

17) 参考として介護療養型医療施設における療養機能強化型の算定要件に関する項目をお伺いします。(平成28年10月分)(複数回答可)

0 いずれにも該当しない
 1 NYHA分類Ⅲ以上の慢性心不全の状態
 2 Hugh-Jones 分類Ⅳ以上の呼吸困難の状態又は連続する1週間以上人工呼吸器を必要としている状態
 3 各週2日以上的人工腎臓の実施が必要である者で常時低血圧(収縮時血圧が90mmHg以下)
 4 各週2日以上的人工腎臓の実施が必要である者で透析アミロイド症で尿管管症候群や運動機能障害を呈するもの
 5 各週2日以上的人工腎臓の実施が必要である者で出血性消化器病変を有するもの
 6 各週2日以上的人工腎臓の実施が必要である者で骨折を伴う二次性副甲状腺機能亢進症のもの
 7 Child-Pugh 分類C以上の肝機能障害の状態
 8 連続する3日以上、JCS100以上の意識障害が継続している状態
 9 単一の凝固因子活性が40%未満の凝固異常の状態
 10 現に経口により食事を摂取している者であって、著しい摂食機能障害を有し、造影撮影又は内視鏡検査により誤嚥が認められる状態
 11 認知症であって、悪性腫瘍等と診断された者
 12 認知症であって、以下のいずれかの疾病と診断された者
 【疾病】パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、パーキンソン病)、多系統萎縮症(線条体黒質変性症、クワドリプル橋小脳萎縮症、シャイ-ドレーガー症候群)、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、広範脊柱管狭窄症、後縦靭帯骨化症、悪性関節リウマチ

13 認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、ⅣまたはMに該当する者

18) ターミナルケアの実施の有無※医学的に回復の見込みがないと診断された者に対し、本人・家族の同意を得て、計画的にケアを行うこと

1 はい 2 いいえ

19) (介護保険適用の病床の場合のみご記入下さい)算定した加算(平成28年10月分)(複数回答可)

1 経口移行加算 2 口腔衛生管理加算 3 認知症専門ケア加算 4 認知症行動・心理症状緊急対応加算

20) (介護保険のみご記入下さい)「経口維持加算」の算定経験(算定月はいつでも可)

1 有 2 無

(1算定有の場合)算定期間 平成()年()月~()年()月

(算定期間が7か月以上の場合)7か月以降に、水飲みテスト、頸部聴診法、造影検査、内視鏡検査等による摂食機能障害及び誤嚥の確認を、医師又は歯科医師が行ったことがありますか

1 有 2 無

21) (介護保険適用の病床の場合のみご記入下さい)算定した特定診療費(平成28年10月分)(複数回答可)

1 重症皮膚潰瘍管理指導 2 薬剤管理指導 3 理学療法(I・II) 4 作業療法

5 言語聴覚療法 6 集団コミュニケーション療法 7 摂食機能療法 8 短期集中リハビリテーション

9 認知症短期集中リハビリテーション実施加算 10 精神科作業療法 11 認知症老人入院精神療法

2. 貴施設への入院・入棟前の状況等をおうかがいします。

22) 入院(棟)前の状況

1 本人の家
 2 他の病院 ➡ (a 同一法人(同系列を含む) b 他法人)
 3 貴院の他の病棟 ➡ (a 一般 b 回復期リハ c 医療療養 d 介護療養 e その他)
 4 他の診療所 ➡ (a 同一法人(同系列を含む) b 他法人)
 5 老人保健施設 6 特別養護老人ホーム 7 有料老人ホーム
 8 サービス付き高齢者向け住宅 9 養護老人ホーム 10 軽費老人ホーム・ケアハウス
 11 認知症対応型共同生活介護(グループホーム) 12 その他()

23) 入院(棟)理由(あてはまるもの全てに○、最もあてはまるもの1つに◎)

1 疾病の急性期状態が安定したため
 2 リハビリテーションが必要なため
 3 近く看取りが予想され、病院内での看取りを本人または家族が希望しているため
 4 他の医療機関への入院が適切と考えられるが、適切な施設に空きがなかったため
 5 他の介護施設への入所が適切と考えられるが、適切な施設に空きがなかったため
 6 在宅療養が可能と考えるが、必要な在宅医療を確保できないため
 7 在宅療養が可能と考えるが、必要な介護を確保できないため
 8 上位以外の理由で、本人または家族が強く希望するため

3. 退院(退棟)の見直し

24) 退院時期の目標(現在からの時期)

1 1か月以内 2 3か月以内 3 6か月以内 4 1年以内 5 退院は困難

① 24)で1~4の場合、退院先等の見直し

1 本人の家
 2 他の病院・病棟 ➡ (a 一般病床 b 医療療養病床 c 介護療養病床 d その他)
 3 他の診療所 4 老人保健施設 5 特別養護老人ホーム 6 有料老人ホーム
 7 サービス付き高齢者向け住宅 8 養護老人ホーム 9 軽費老人ホーム・ケアハウス
 10 認知症対応型共同生活介護(グループホーム) 11 その他()

② 24)で5の場合、その理由

1 治療のため 2 在宅支援体制が整っていないため
 3 施設の入所待ちのため 4 ターミナルのため 5 その他()

質問は以上で終わりです。ご協力いただきまして、まことにありがとうございました。

平成28年度 介護報酬改定検証・研究調査(厚生労働省委託調査)
 病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する調査研究事業
 退院患者票

※本調査票は、当該患者の状況について詳しい職員の方がご記入下さい。ご本人・家族にご確認いただく必要はありません。分かる範囲でご記入下さい。
 ※回答の際は、あてはまる番号を○で囲んで下さい。○を付ける数は原則1つです。○を複数に付けていただく場合は、質問文に記載しています。
 ※調査時点は、退院時、もしくは質問に記載している期間とします。

1. 患者の基本情報についてお伺いします。

1) 入院している病棟	1 介護療養病棟 4 療養病棟入院基本料2 (看護配置25:1以上かつ医療区分2・3の患者割合が5割以上) 5 療養病棟入院基本料2 (その他)	2 老人性認知症疾患療養病棟	3 療養病棟入院基本料1
2) 年齢 (退院時点)	() 歳	3) 性別	1 男 2 女
4) 入院 (棟) 日	平成()年()月()日		
5) 世帯構成	1 独居	2 夫婦のみ世帯	3 2以外で高齢者のみの世帯 4 その他
6) 家族介護者の有無 (入所前)	1 有	2 無	
「1有」の場合	1 配偶者 2 子ども・子どもの配偶者 3 孫・孫の配偶者		
①主な介護者の続柄	4 兄弟姉妹	5 その他	
②主な介護者の状況のうち、介護が難しくなる要因があればご回答下さい (複数回答可)	1 高齢	2 病氣	3 育児中 4 仕事 5 その他 ()
③副介護者の有無	1 有	2 無	
7) 要介護度 (直近)	1 要支援1・2 5 要介護4	2 要介護1 6 要介護5	3 要介護2 7 申請中 8 未申請 9 非該当
8) 医療区分	1 医療区分1	2 医療区分2	3 医療区分3
9) 認知症高齢者の日常生活自立度	1 自立 5 III a	2 I 6 III b	3 II a 7 IV 8 M 9 不明
10) ベッド上の可動性	0 自立 4 広範な援助	1 準備のみ 5 最大の援助	2 観察 6 全面依存 3 部分的な援助
11) 移乗	0 自立 4 広範な援助	1 準備のみ 5 最大の援助	2 観察 6 全面依存 3 部分的な援助
12) 食事	0 自立 4 広範な援助	1 準備のみ 5 最大の援助	2 観察 6 全面依存 3 部分的な援助
13) トイレの使用	0 自立 4 広範な援助	1 準備のみ 5 最大の援助	2 観察 6 全面依存 3 部分的な援助
14) 傷病 (複数回答可)	1 高血圧 2 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) 3 心臓病 4 糖尿病 5 高脂血症 (脂質異常症) 6 呼吸器の病氣 (肺炎や気管支炎等) 7 胃腸・肝臓・胆のうの病氣 8 腎臓・前立腺の病氣 9 筋骨格系の病氣 (骨粗しょう症、関節症等) 10 外傷 (転倒・骨折等) 11 がん (新生物) 12 血液・免疫の病氣 13 うつ病・精神疾患 14 認知症 (アルツハイマー病等) 15 パーキンソン病 16 目の病氣 17 耳の病氣 18 歯科疾患 19 その他の難病 20 その他 () 21 ない		
15) 検査・処置の実施状況 (複数回答可) (平成28年10月分)	1 尿検査 2 糞便検査 3 血液・生化学検査 4 培養検査 5 呼吸機能検査 6 心電図検査 7 超音波検査 8 脳波検査 9 上部・下部消化管内視鏡検査 10 気管支鏡検査 11 喉頭鏡検査 12 単純エックス線撮影 13 透視 14 CT 15 MRI 16 ドレナージ 17 脳室穿刺 18 胸腔・腹腔穿刺 19 腰椎穿刺 20 骨髄穿刺 21 透析 (腹膜灌流を含む)		
16) その他の処置等の実施状況 (複数回答可) (平成28年10月分)	1 胃ろう・腸ろうによる栄養管理 2 経鼻経管栄養 3 中心静脈栄養 4 カテーテル (尿道留置カテーテル・コンドームカテーテル) の管理 5 ストマ (人工肛門・人工膀胱) の管理 6 喀痰吸引 7 ネブライザー 8 酸素療法 (酸素吸入) 9 気管切開のケア 10 人工呼吸器の管理 11 静脈内注射 (点滴含む) 12 皮内、皮下及び筋肉内注射 (インスリン注射を除く) 13 簡易血糖測定 14 インスリン注射 15 疼痛管理 (麻薬なし) 16 疼痛管理 (麻薬使用) 17 創傷処置 18 褥瘡処置 19 浣腸 20 摘便 21 導尿 22 膀胱洗浄 23 持続モニター測定 (血圧、心拍、酸素飽和度等)		

17) 参考として介護療養型医療施設における療養機能強化型の算定要件に関する項目をお伺いします。(退院月) (複数回答可)	0 いずれにも該当しない 1 NYHA分類III以上の慢性心不全の状態 2 Hugh-Jones 分類IV以上の呼吸困難の状態又は連続する1週間以上人工呼吸器を必要としている状態 3 各週2日以上の人工腎臓の実施が必要である者で常時低血圧 (収縮時血圧が90mmHg以下) 4 各週2日以上の人工腎臓の実施が必要である者で透析アミロイド症で手根管症候群や運動機能障害を呈するもの 5 各週2日以上の人工腎臓の実施が必要である者で出血性消化器病変を有するもの 6 各週2日以上の人工腎臓の実施が必要である者で骨折を伴う二次性副甲状腺機能亢進症のもの 7 Child-Pugh 分類C以上の肝機能障害の状態 8 連続する3日以上、JCS100以上の意識障害が継続している状態 9 単一の凝固因子活性が40%未満の凝固異常の状態 10 現に経口により食事を摂取している者であって、著しい摂食機能障害を有し、造影撮影又は内視鏡検査により誤嚥が認められる状態 11 認知症であって、悪性腫瘍等と診断された者 12 認知症であって、以下のいずれかの疾病と診断された者 【疾病】パーキンソン病関連疾患 (進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、パーキンソン病)、多系統萎縮症 (線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症、シャイ・ドレーガー症候群)、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、広範脊髄管狭窄症、後縦靭帯骨化症、悪性関節リウマチ 13 認知症高齢者の日常生活自立度のランクIII b、IVまたはMに該当する者
18) ターミナルケアの実施の有無※医学的に回復の見込みがないと診断された者に対し、本人・家族の同意を得て、計画的にケアを行うこと	1 はい 2 いいえ
19) (介護保険適用の病床の場合のみご記入下さい) 算定した加算 (退院月) (複数回答可)	1 経口移行加算 2 口腔衛生管理加算 3 認知症専門ケア加算 4 認知症行動・心理症状緊急対応加算
20) (介護保険のみご記入下さい) 「経口維持加算」の算定経験 (算定月はいつでも可)	1 有 2 無
(1算定有の場合) 算定期間	平成()年()月~()年()月
(算定期間が7か月以上の場合) 7か月以降に、水飲みテスト、頸部聴診法、造影検査、内視鏡検査等による摂食機能障害及び誤嚥の確認を、医師又は歯科医師が行ったことがありますか	1 有 2 無
21) (介護保険適用の病床の場合のみご記入下さい) 算定した特定診療費 (退院月) (複数回答可)	1 重症皮膚潰瘍管理指導 2 薬剤管理指導 3 理学療法 (I・II) 4 作業療法 5 言語聴覚療法 6 集団コミュニケーション療法 7 摂食機能療法 8 短期集中リハビリテーション 9 認知症短期集中リハビリテーション実施加算 10 精神科作業療法 11 認知症老人入院精神療法

2. 貴施設の入院・入棟前の状況等をおうかがいします。

22) 入院 (棟) 前の状況	1 本人の家 2 他の病院 → (a 同一法人 (同系列を含む) b 他法人) 3 貴院の他の病棟 → (a 一般 b 回復期リハ c 医療療養 d 介護療養 e その他) 4 他の診療所 → (a 同一法人 (同系列を含む) b 他法人) 5 老人保健施設 6 特別養護老人ホーム 7 有料老人ホーム 8 サビズ付き高齢者向け住宅 9 養護老人ホーム 10 軽費老人ホーム・ケアハウス 11 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム) 12 その他 ()
23) 入院 (棟) 理由 (あてはまるもの全てに○、最もあてはまるもの1つに◎)	1 疾病の急性期状態が安定したため 2 リハビリテーションが必要なため 3 近く看取りが予想され、病院内での看取りを本人または家族が希望しているため 4 他の医療機関への入院が適切と考えられるが、適切な施設に空きがなかったため 5 他の介護施設への入所が適切と考えられるが、適切な施設に空きがなかったため 6 在宅療養が可能と考えるが、必要な在宅医療を確保できないため 7 在宅療養が可能と考えるが、必要な介護を確保できないため 8 上位以外の理由で、本人または家族が強く希望するため

3. 退院の状況

24) 退院時期	平成28年()月()日
25) 退院先	1 死亡による退院 2 本人の家 3 他の病院・病棟 → (a 一般病棟 b 医療療養病棟 c 介護療養病棟 d その他) 4 他の診療所 5 老人保健施設 6 特別養護老人ホーム 7 有料老人ホーム 8 サビズ付き高齢者向け住宅 9 養護老人ホーム 10 軽費老人ホーム・ケアハウス 11 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム) 12 その他 ()
26) 退院時点で予定されていたケア (複数回答可)	1 住宅改修 2 福祉用具貸与 3 訪問介護 4 訪問看護 5 訪問リハ 6 通所介護 7 通所リハ 8 短期入所生活介護 9 短期入所療養介護 10 小規模多機能型居宅介護 11 看護小規模多機能型居宅介護 12 その他 () 13 なし 14 把握していない

質問は以上で終わります。ご協力いただきまして、まことにありがとうございました。

平成28年度 介護報酬改定検証・研究調査(厚生労働省委託調査)
 病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する調査研究事業
自治体調査票

※本調査票は、介護保険施設の担当部局の方がご記入下さい。
 ※回答の際は、あてはまる番号を○で囲んで下さい。○を付ける数は原則1つです。○を複数に付けていただく場合は、質問文に記載しています。
 ※具体的な数値等をご記入いただく部分もあります。該当がない場合には必ず「0」とご記入下さい。分からない場合は「-」と記入して下さい。
 ※調査時点は、平成28年10月5日(水)現在、または、質問に記載している期間とします。

1) 貴自治体の、自治体名をご記入下さい。								
都道府県		都・道・府・県			市(政令市・中核市の場合)			市
2) 貴自治体内における、(地域密着型)介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設の平成28年10月5日(水)現在の施設数、定員数、および「第6期介護保険事業(支援)計画」における平成29年度末時点の施設数、定員数をご記入下さい。なお、介護老人保健施設のうち認知症専門棟を持つもの、および介護療養型医療施設のうち老人性認知症疾患療養病棟を持つものの定員数については、各々の棟の定員数をご記入下さい。(※都道府県の場合は、政令市・中核市のデータを含めてご記入下さい)								
		介護老人福祉施設	地域密着型介護老人福祉施設	介護老人保健施設		介護療養型医療施設		
				うち、認知症専門棟を持つ老健	介護療養病床	老人性認知症疾患療養病棟		
H28.10.5	施設数	施設	施設	施設	施設	施設	施設	
現在	定員数	人	人	人	人	人	人	
H29年度末	施設数	施設	施設	施設				
時点	定員数	人	人	人				
3) 貴自治体内の「介護療養型医療施設」もしくは「医療保険適用の療養病床を持つ病院・診療所」について、平成27年10月～平成28年9月の1年間に、各施設から貴自治体に対して、「①転換に係る情報収集」や「②転換に係る相談」があった施設は、どの程度ございましたか。それぞれ、「施設数」と「その具体的な内容」についてご記入下さい。								
①転換に係る情報収集								
施設の種類の		施設数	(情報収集の)具体的な内容(自由回答)					
介護療養型医療施設		施設						
医療保険適用の療養病床を持つ病院・診療所		施設						
②転換に係る具体的な相談								
施設の種類の		施設数	(相談の)具体的な内容(自由回答)					
介護療養型医療施設		施設						
医療保険適用の療養病床を持つ病院・診療所		施設						

4) 3)の「②転換に係る具体的な相談」のあった施設について、結果として転換に至らなかった理由は何ですか。(複数回答可)					
1 転換に至らなかった施設はない	2 転換後の施設の経営の目処がたたない	3 転換後の法人全体の資金繰りの目処がたたない	4 転換すると利用者に十分なケアが提供できない	5 患者の転院先・受け入れ先を見つけないのが困難	6 周辺に競合する施設があり、経営が不安
7 転換すると職員の確保や配置が困難なため	8 地域で療養病床が必要とされていたため	9 病院をやめることへの抵抗感(法人の理念、従業員の意識等)	10 建物改修の必要があるため	11 その他〔	〕
5) 貴自治体内の「介護療養型医療施設」もしくは「医療保険適用の療養病床を持つ病院・診療所」について、平成27年10月～平成28年9月の1年間に「転換した施設」は、どの程度ございますか。それぞれ、施設数をご記入下さい。(※都道府県の場合は、政令市・中核市のデータを除いて、ご記入下さい)					
		介護療養型医療施設		医療保険適用の療養病床	
転換した施設の数		施設		施設	
転換後の施設	①一般病床	施設		施設	
	②医療保険適用の療養病床	施設		施設	
	③介護老人保健施設	施設		施設	
	④介護老人福祉施設	施設		施設	
	⑤有料老人ホーム	施設		施設	
	⑥その他の介護施設・事業所	施設		施設	
6) 介護療養型医療施設について、お伺いします。貴自治体内の「介護療養型医療施設」は、貴自治体からみて「特に、どのような方、どのような事情を抱えた方」がご利用されているイメージがございますか。(複数選択可)					
1 継続的な医療管理等が必要で、他の介護施設・在宅等では対応できない方					
2 他の介護施設等でも対応できるが、適切な施設に空きがない方					
3 在宅療養が可能と考えるが、必要な在宅医療を確保できない方					
4 在宅療養が可能と考えるが、必要な介護を確保できない方					
5 本人・家族等が入院を強く希望されている方					
6 その他〔					
7) 平成29年度末の介護療養病床の廃止等を背景としながら、今後は在宅等において療養生活を送る「医療ニーズの高い中重度の要介護高齢者」の増加が見込まれています。このようなニーズに対して、貴自治体では、どのようなサービス・体制の充実に向けて、取組を進めていますか(進めていきますか)。「貴自治体の取組」としてご回答下さい。					
	既に、積極的に取り組んでいる	既に、取り組んでいる	今後、取り組む予定である	現時点で、取り組む予定はない	
①円滑な退院調整の仕組みづくり	1	2	3	4	
②在宅療養者患者の緊急時入院の受入体制の整備	1	2	3	4	
③在宅医療に対応する診療所の充実	1	2	3	4	
④病院・診療所による訪問看護の充実	1	2	3	4	
⑤訪問看護ステーションによる訪問看護の充実	1	2	3	4	
⑥看護小規模多機能型居宅介護の充実	1	2	3	4	
⑦医療ニーズに対応できる短期入所療養介護の充実	1	2	3	4	
⑧医療ニーズに対応できる介護老人保健施設の充実	1	2	3	4	
⑨看取りに対応できる介護老人福祉施設の充実	1	2	3	4	

質問は以上で終わりです。記入済みの調査票と「介護療養型医療施設のリスト」を、返送用封筒(切手は不要です)に入れ、ポストに投函して下さい。ご協力いただきまして、まことにありがとうございます。

平成28年度 介護報酬改定検証・研究調査（厚生労働省委託調査）
 病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する調査研究事業
 病院・診療所が行う訪問看護に関する調査票

※本調査票は、指定訪問看護を実施している（「訪問看護費・介護予防訪問看護費（介護保険）」「在宅患者訪問看護・指導料／同一建物居住者訪問看護・指導料（医療保険）」「精神科訪問看護・指導料（医療保険）」のいずれか一項目でも算定している）場合にご回答下さい。
 ※本調査は、貴施設の訪問看護業務の管理者の方がご記入ください。
 ※回答の際は、あてはまる番号や記号を○で囲んで下さい。○を付ける数は原則1つです。○を複数に付けていただく場合は、質問文に「複数回答可」と記載しています。
 ※具体的な数値等をご記入いただく部分もあります。該当がない場合には必ず「0」とご記入下さい。
 ※分からない場合は「-」と記入して下さい。
 ※調査時点は、平成28年10月5日または、質問に記載している期間とします。

1 訪問看護の実施状況・実施体制等

1) 貴院で訪問看護を開始したのはいつからですか。
西暦（ ）年
2) 貴院ではどのような訪問看護を実施していますか。算定している介護報酬、診療報酬について該当する番号全てを選んで下さい(複数回答可)。
1 訪問看護費・介護予防訪問看護費 (①介護保険による訪問看護)
2 在宅患者訪問看護・指導料、同一建物居住者訪問看護・指導料 (②医療保険・公費による訪問看護)
3 精神科訪問看護・指導料 (医療保険・公費による③精神科の訪問看護)
4 その他 ()

ここから先は、上記の設問2)の選択肢1～3のそれぞれの訪問看護についてお伺いします。以下の①～③については、実施している訪問看護についてのみご回答下さい。

3) 貴院内では、訪問看護をどのような部署で実施していますか。訪問看護の種類別にあてはまる選択肢の番号に○を付けて下さい。(複数回答可)	1 訪問看護を専門に担当する部門で実施	2 外来の看護職員が訪問	3 病棟配置の看護職員が訪問	4 その他
①介護保険の訪問看護	1	2	3	4
②医療保険の訪問看護(精神科以外)	1	2	3	4
③精神科の訪問看護	1	2	3	4

3) で「1 訪問看護を専門に担当する部門で実施」を選択した場合のみご記入下さい。

4) 訪問看護を専門に担当する部門がある場合、配置職員数を、実人数でご記入下さい。	保健師・助産師・看護師	准看護師	看護補助者(介護職員)	作業療法士	精神保健福祉士
常勤専従者	人	人	人	人	人
常勤兼務者	人	人	人	人	人
非常勤	人	人	人	人	人
5) 訪問看護を専門に担当する部門の看護職員の人事について(主なもの1つ)					
1 病院・診療所の中でのローテーションの一環として、人事部門から指名する形で異動する					
2 外来・病棟の看護職員のうち、希望すれば異動することができる					
3 訪問看護を主に担当する職員として、外来・病棟の看護職員とは別に採用する					

6) 訪問看護を担当する職員の訪問看護に特化した研修について(複数回答可)
1 病院・診療所全体の研修で実施している
2 訪問看護部門で独自の研修を実施している
3 外部の研修に参加させている
4 研修はない

2 訪問看護の提供実績等

7) 貴院の訪問看護の利用者数等をご記入下さい。							
	平成28年10月の利用者数(実人数)	うち、亡くなった利用者数	うち、ターミナルケア加算・訪問看護ターミナルケア療養費算定数	うち、利用開始から1か月以内の利用者数	貴院に入院経験のある利用者数	10月の利用開始者数	うち、退院直後の利用開始者数
①介護保険の訪問看護	人	人	人	人	人	人	人
②医療保険の訪問看護(精神科以外)	人	人	人	人	人	人	人
③精神科の訪問看護	人	人	人	人	人	人	人
8) 介護保険の利用者について、要介護度別人数をご記入下さい。							
要支援1・2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	
人	人	人	人	人	人	人	
9) 訪問回数(平成28年10月分)							
	訪問回数(1か月間の合計回数)		緊急に訪問した回数 ※加算算定数ではなく実数		入院中の利用者の外泊日に行った訪問の回数		
①介護保険の訪問看護	回		回		回		
②医療保険の訪問看護(精神科以外)	回		回		回		
③精神科の訪問看護	回		回		回		
10) 加算についてお伺いします(平成28年10月)							
介護保険	1) 緊急時訪問看護加算の届出		1 有 ➡ 算定件数 () 件/月 2 無				
	2) 特別管理体制の届出		1 有 ➡ 算定件数 () 件/月 2 無				
	3) ターミナルケア体制の届出		1 有 2 無				
	4) サービス提供体制強化加算の届出		1 有 2 無				
医療保険等	5) 特別管理加算の届出		1 有 ➡ 算定件数 () 件/月 2 無				

3 土日や夜間等の対応体制

11) 計画的な訪問についてお尋ねします。貴院では土日や祝日、早朝や夜間、深夜の計画的な訪問に対応していますか。実績にかかわらず、貴院で一般的に対応している曜日及び時間帯に○をつけて下さい。(複数回答可)(平成 28 年 10 月分)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	祝日
早朝								
日中								
夜間								
深夜								

11)-1 11) で平日・日中のみ対応している場合、他の曜日や時間帯に対応できないのはなぜですか(複数回答可)

1 時間外に対応する必要がある利用者がいない
 2 人員不足のためローテーションを組めない
 3 土日や夜間に勤務可能な看護職員が確保できない
 4 時間外手当を払えない
 5 その他 ()

12) 緊急訪問についてお尋ねします。早朝・夜間・深夜の緊急訪問の回数をご記入下さい(平成 28 年 10 月分) ※加算算定数ではなく実数

	早朝	夜間	深夜
特別管理加算算定者	回	回	回
特別管理加算算定者以外	回	回	回

12)-1 やむを得ず、緊急時に対応ができなかったことはありますか(10月中) 1 有 2 無

4 連携の状況等

13) 他院から訪問看護の依頼(他院から診療情報提供書を受けて自院の訪問看護指示書を作成)をされている利用者がいますか。

1 いる 2 いない

13)-1 13)で「1 いる」を選択した場合、依頼されている利用者数及び病院・診療所数

利用者数：() 人
 依頼元：病 院 () 所、診療所 () 所

14) 介護保険の訪問看護の利用者について、自院と同一の開設者・系列法人の事業所以外の居宅介護支援事業所からの依頼がありますか。

1 ある 2 ない

14)-1 14)で「1 ある」を選択した場合、依頼を受けている居宅介護支援事業所数

() 所

15) 地域のステーションではなく貴院で訪問看護を実施したほうがよりよいと考えられる利用者の状態・状況はどれですか。(複数回答可)

1 特にない
 2 自院を退院直後の人 3 医療機器がある場合 4 がんターミナルの人
 5 小児 6 精神 7 リハビリテーションが必要な人
 8 病状が不安定な人 9 緊急の入院の必要性が高いとみこまれる人
 10 重度の褥瘡ケア 11 その他 ()

16) 貴院の訪問看護で対応できない場合がありますか。ある場合はどのような場合ですか。(複数回答可)

1 ない
 2 ある ⇒a 自院の訪問看護の提供可能性を超えている場合
 b 1人の利用者に対して、複数の訪問看護事業所から提供体制があったほうがよい場合(具体的に：)
 c ステーションの専門性から、自院より適当であると考えられる場合
 ⇒具体的に：1 小児 2 精神 3 看取り 4 がん末期 5 リハビリ 6 その他 ()
 d 土日や休日等、当院の対応できない曜日、日にちの訪問が必要な場合
 e 早朝や夜間、深夜等、自院の対応できない時間帯の訪問が必要な場合
 f 24時間体制で緊急の連絡や対応が必要な患者の場合
 g その他 ()

17) 地域の訪問看護ステーションの支援のためにできることはどれですか。(複数回答可)

1 訪問看護に特化した座学研修(一般的な内容)の受け入れ
 2 訪問看護に特化した座学研修(専門性の高い内容)の受け入れ
 3 専門性の高い看護師の同行訪問(褥瘡、緩和ケア)の実施
 4 専門性の高い看護師等が相談に乗ること
 5 訪問看護ステーションが対応するには難しいケース、入院の頻度が高いケース等を担当すること
 6 地域の訪問看護のネットワーク構築の支援
 7 その他 ()

18) 地域の訪問看護ステーションに担って欲しい役割がありましたら、ご自由にご記入下さい。

5 課題等

19) 病院・診療所が行う訪問看護の課題を自由に記載して下さい。

以上で質問は終わりです。記入済みの調査票は、調査ご担当者から、施設票等とあわせて、ご返送下さい。ご協力ありがとうございました。

平成28年度 介護報酬改定検証・研究調査(厚生労働省委託調査)
 病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する調査研究事業
訪問看護ステーション票

※本調査票は、訪問看護ステーションの管理者の方がご記入下さい。
 ※回答の際は、あてはまる番号や記号を○で囲んで下さい。○を付ける数は原則1つです。○を複数に付けていただく場合は、質問文に「複数回答可」と記載しています。
 ※具体的な数値等をご記入いただく部分もあります。該当がない場合には必ず「0」とご記入下さい。
 ※分からない場合は「-」と記入して下さい。
 ※調査時点は、平成28年10月5日または、質問に記載している期間とします。

1. 貴事業所の基本情報についてお伺いします。

1) 所在地	() 都・道・府・県			
2) 事業開始年	西暦()年			
3) 開設主体	1 医療法人 5 看護協会 9 その他()	2 営利法人(会社) 6 その他の社団・財団法人	3 社会福祉法人 7 協同組合	4 医師会 8 地方公共団体
4) 貴事業所と同一法人(同系列を含む)が有する医療・介護施設・事業所(複数回答可)	1 病院 3 老人保健施設 5 訪問リハビリテーション 8 通所リハビリテーション 10 看護小規模多機能型居宅介護事業所 12 地域包括支援センター	2 診療所 4 特別養護老人ホーム 6 訪問介護事業所 9 小規模多機能型居宅介護事業所 11 居宅介護支援事業所 13 在宅介護支援センター 15 特になし		
4)で「1 病院」または「2 診療所」に○を付けた場合、回答してください。	4)-1 訪問看護ステーションに従事する看護職員の人事について(主なもの1つ)			
	1 病院・診療所の中でのローテーションの一環として、人事部門から指名する形で異動する 2 外来・病棟の看護職員のうち、希望すれば訪問看護ステーションに異動することができる 3 訪問看護ステーションに勤務する職員として、外来・病棟の看護職員とは別に採用する			
	4)-2 訪問看護ステーションに従事する職員の訪問看護に特化した研修について(複数回答可)			
	1 病院・診療所全体の研修に参加する 2 訪問看護ステーションで独自の研修を実施している 3 外部の研修に参加する 4 研修はない			

2. 併設の病院・診療所の基礎情報

5) 併設医療機関の種類	1 同一の開設者・系列法人の病院併設 2 同一の開設者・系列法人の診療所併設 3 別の開設者の病院併設 4 別の開設者の診療所併設 5 併設の病院・診療所はない⇒設問8)に進んで下さい		
6) 病床数	一般病床	() 床 ⇒看護職員配置(7・10・13・15)対	1
	医療保険適用の療養病床	() 床	
	介護保険適用の療養病床	() 床	
	精神病床	() 床	
	結核病床・感染症病床	() 床	
	合計(全病床)	() 床	
7) 併設医療機関の看護職員数(実人数)	常勤()人、非常勤()人		

※併設：同一敷地内にある又は道路を隔てて隣接する場合

3. 貴事業所の職員体制についてお伺いします

8) 平成28年10月5日時点の職員数について、実人数および常勤換算数を記入して下さい。
※常勤換算数は「従事者の1週間の勤務延時間÷当事業所において常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数」で計算し、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで計上して下さい。常勤専従・常勤兼務・非常勤を合算して下さい。得られた結果が0.1に満たない場合は「0.1」と計上して下さい。

実人数	常勤専従	保健師・助産師・看護師	准看護師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	その他の職員
	常勤兼務						
	非常勤						
常勤換算数(常勤専従+常勤兼務+非常勤合計)							

4. 実施している訪問看護についてお伺いします(平成28年10月)

9) 訪問看護ステーションではどのような訪問看護を実施していますか。算定している介護報酬、診療報酬について該当する番号全てを選んで下さい(複数回答可)。

1 訪問看護費・介護予防訪問看護費(①介護保険による訪問看護)
 2 訪問看護基本療養費(②医療保険・公費による訪問看護)
 3 精神科訪問看護基本療養費(医療保険・公費による③精神科の訪問看護)
 4 その他(具体的に:)

10) 加算についてお伺いします(平成28年10月分)

介護保険	1) 緊急時訪問看護加算の届出	1 有	2 無
	2) 特別管理体制の届出	1 有	2 無
	3) ターミナルケア体制の届出	1 有	2 無
	4) サービス提供体制強化加算の届出	1 有	2 無
医療保険等	5) 24時間対応体制加算・24時間連絡体制加算の届出	1 24時間対応体制加算⇒算定件数()件/月 2 24時間連絡体制加算⇒算定件数()件/月 3 なし	
	6) 特別管理加算の届出	1 有⇒算定件数()件/月	2 無
	7) 機能強化型訪問看護療養費の届出	1 機能強化型訪問看護管理療養費1 2 機能強化型訪問看護管理療養費2	3 なし

5. 訪問看護の提供実績等(平成28年10月)

11) 貴事業所の訪問看護の利用者数等をご記入下さい

	平成28年10月の利用者数(実人数)	うち、亡くなった利用者数	うち、ターミナルケア加算・訪問看護ターミナルケア療養費算定数	うち、利用開始から1か月以内の利用者数	特別管理加算の算定者数	10月の利用開始者数	うち、退院直後の利用開始者数
	人	人	人	人	人	人	人
	人	人	人	人	人	人	人
	人	人	人	人	人	人	人
	人	人	人	人	人	人	人

12) 介護保険の利用者について、要介護度別人数をご記入下さい。

要支援1・2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中
人	人	人	人	人	人	人

13) 訪問回数(平成 28 年 10 月分)								
	訪問回数 (1カ月間の合計回数)			緊急に訪問した回数 ※加算算定数ではなく実数		入院中の利用者の 外泊日に行った訪問の回数		
①介護保険の訪問看護	回	回	回	回	回	回	回	回
②医療保険の訪問看護 (精神科以外)	回	回	回	回	回	回	回	回
③精神科の訪問看護	回	回	回	回	回	回	回	回
14) 計画的な訪問についてお尋ねします。貴事業所では土日や祝日、早朝や夜間、深夜の計画的な訪問に対応していますか。実績にかかわらず、貴事業所で一般的に対応している曜日及び時間帯に○をつけて下さい(複数回答可)。(平成 28 年 10 月分)								
	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	祝日
早朝								
日中								
夜間								
深夜								
14)-1 14) で平日・日中のみの場合、他の曜日や時間帯に対応できないのはなぜですか(複数回答可)								
1 平日・日中以外に対応する必要がある利用者がいない 2 人員不足のためローテーションを組めない 3 土日や夜間に勤務可能な看護職員が確保できない 4 時間外手当を払えない 5 その他 ()								
15) 緊急訪問についてお尋ねします。早朝・夜間・深夜の緊急訪問の回数をご記入下さい(平成 28 年 10 月分) ※加算算定数ではなく実数								
	早朝	夜間	深夜					
特別管理加算算定者	回	回	回					
特別管理加算算定者以外	回	回	回					
15)-1 やむを得ず、緊急時に対応できなかったことはありますか (10 月中) 1 有 2 無								

6. 連携の状況等

16) (医療機関併設の場合のみ回答)訪問看護の指示を出す医師の所属は主にどこですか。								
1 全患者について、併設医療機関の医師が指示を出す 2 主に併設医療機関の医師であるが、他の医療機関等の医師からの指示の場合もある 3 主に他の医療機関等の医師からの指示である								
17) 訪問看護指示書の交付を受けている病院・診療所数								
	同一法人(同系列を含む)の 医療機関		左記以外の併設の医療機関		その他の医療機関			
病院	か所	か所	か所	か所	か所	か所	か所	か所
診療所	か所	か所	か所	か所	か所	か所	か所	か所
18) 介護保険の利用者について、主治医が招集する利用者宅における緊急時カンファレンスに参加したことはありますか。有る場合その回数をご記入して下さい。(平成 28 年 7 月～9 月)								
1 有⇒回数 () 回 2 無								
19) 利用者に関する情報を提供または共有している医療機関・介護事業所数および連携した利用者数 ※の欄には貴事業所と同一の開設者(同系列を含む)の事業所分をご記入下さい。								
	病院	診療所	居宅介護支 援事業所	地域包括支 援センター	介護サービス 事業所	薬局		
	※	※	※	※	※	※		
施設・介護事業所数								
利用者数								

20) 貴事業所の訪問看護で対応できない場合がありますか。ある場合はどのような場合ですか。(複数回答可)	
1 ない	
2 ある ⇒a 当事業所の訪問看護の提供可能量を超過している場合 b 1人の利用者に対して、複数の訪問看護事業所から提供体制があったほうがよい場合 (具体的に: c ステーションの専門性から、適当であると考えられる場合 ⇒具体的に: 1 小児 2 精神 3 看取り 4 がん末期 5 リハビリ 6 その他 () d 土日や休日等、当事業所の対応できない曜日、日にちの訪問が必要な場合 e 早朝や夜間、深夜等、当事業所の対応できない時間帯の訪問が必要な場合 f 24時間体制で緊急の連絡や対応が必要な患者の場合 g その他 ()	
21) 病院・診療所からの訪問看護や医療機関併設型の訪問看護ステーションに期待することはどれですか。 (複数回答可)(医療機関併設のステーションは回答不要です。)	
1 訪問看護に特化した座学研修(一般的な内容)の受け入れ 2 訪問看護に特化した座学研修(専門性の高い内容)の受け入れ 3 専門性の高い看護師の同行訪問(褥瘡、緩和ケア)の実施 4 専門性の高い看護師等が相談に乗ること 5 難しいケース、入院の頻度が高いケース等を担当すること 6 夜間対応をして欲しい 7 緊急対応をして欲しい 8 地域の訪問看護のネットワーク構築の支援 9 その他 () 10 なし	

7. 訪問看護導入の課題等

22) 利用者の新規獲得のために、ここ1年で実施されていることは何ですか(複数回答可)	1 病院の退院支援部門への働きかけ	2 診療所への働きかけ	
	3 ケアマネジャーへの働きかけ	4 チラシ・パンフレットの配布	
22)-1 「1～9」を選んだ場合:十分な成果を得られましたか	5 ホームページの開設	6 SNS、ブログを通じた情報発信	
	7 勉強会の開催	8 会議等の場で訪問看護の役割や利用効果を説明	
23) 訪問看護ステーションからみて、介護支援専門員、退院した医療機関の医療従事者、利用者が訪問看護の導入するにあたり、課題だととらえているのはどのようなことだと思いますか。(複数回答可)	9 その他 ()	10 特になし	
	1 得られた	2 得られていない	3 これから得られると思う
	介護支援専門員	退院元の医療従事者	利用者
1 訪問看護の機能がよくわからない	1	1	1
2 訪問看護の必要性の判断が難しい	2	2	
3 予防的な訪問看護の導入が難しい	3	3	
4 主治医との連携がうまく取れない	4	4	
5 訪問看護師との連携がうまく取れない	5	5	
6 どの事業所を選択していいのかわからない	6	6	6
7 利用者の理解が得られない	7	7	
8 介護者の理解が得られない	8	8	8
9 支給限度額を超過してしまう	9	9	9
10 他のサービスより単価が高い	10	10	10

8. 居宅療養管理指導について

24) 居宅療養管理指導を届け出ていますか	1 はい 2 いいえ 3 届出が可能なことを知らない
25) 居宅療養管理指導の算定の有無・回数(平成28年10月分)	1 有⇒()回 2 無
26) 居宅療養管理指導は算定しにくいとお考えですか	1 はい 2 いいえ
26)-1 「1 はい」の場合:その理由をご回答下さい。	
1 対象者が主治医意見書中で該当する者に限定されるため	
2 利用者により知られていないため	
3 居宅療養管理指導を詳しく知らないため	4 単価が安い
5 申請手続きに時間がかかるため	6 指定に料金がかかるため
7 その他 ()	

9. 介護報酬改定についてのご意見があればご自由にご記入下さい。

記入内容についてお伺いする場合があります。事業所名と連絡先をご記入下さい。

事業所名		電話番号	
------	--	------	--

以上で質問は終わりです。記入済みの調査票は返送用封筒(切手は不要です)に入れ、投函して下さい。ご協力ありがとうございました。

結果概要

(2) 病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する調査研究事業 (結果概要)

(2) 病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する調査研究事業

1. 調査の目的

今後、慢性疾患や認知症を有する医療ニーズの高い中重度の要介護高齢者の増加が見込まれる中で、病院・診療所に入院する患者について、在宅医療等を活用し地域でどのように受け止めていくかが課題となっている。

本調査事業においては、慢性期医療を担う病院・診療所で行われる医療や、経管栄養・喀痰吸引を必要とする患者に対しての看護・介護など、病院・診療所における医療提供の状況を把握する。

併せて訪問看護ステーション等の提供する中重度者向けのサービスの状況等について調査を行い、これらの患者が住み慣れた地域で生活していくために必要な機能を明確化し、平成30年度に予定されている介護報酬と診療報酬との同時改定に向けた議論に資するデータの収集を行う。

2. 調査方法

	調査方法・調査対象・回収状況
①病院・診療所における医療提供の状況	調査票を用いた郵送調査。調査対象は厚生労働省より提供を受けた全国の施設・事業所名簿をもとに抽出した。
1) 介護療養型医療施設(施設票)	【母集団】1,292施設 【発出数】悉皆(被災地域を除く、以下事業所調査は同様)、1,211施設 【回収数】548施設 【回収率】45.3% 【有効回収数】543施設 【有効回収率】44.8%
2) 医療療養病床を有する医療施設(施設票)	【母集団】4,018施設 【発出数】無作為抽出、2,000施設 【回収数】653施設 【回収率】32.7% 【有効回収数】639施設 【有効回収率】32.0%
3) 入院患者票	【対象】1)のうち、病院は半数を対象に調査日の入院患者のうち10分1、診療所は全数を対象に調査日の入院患者のうち2分の1を調査対象とした。2)のうち、病院は3分の1を対象に調査日の入院患者のうち10分1、診療所は全数を対象に調査日の入院患者全数を調査対象とした。【有効回収数(合計)】3,213人
4) 退院患者票	【対象】1)のうち、病院(全数)は3週間の調査期間、2)のうち病院(全数)は1週間の調査期間、1)と2)の診療所(全数)は3か月の調査期間で、退院患者全数を調査対象とした。【有効回収数(合計)】2,293人
5) 自治体調査票	【母集団】都道府県、政令市、中核市 計114団体 【発出数】悉皆、114団体 【回収数】114団体 【回収率】100.0% 【有効回収数】114団体 【有効回収率】100.0%
②訪問看護調査	調査票を用いた郵送調査。特に、病院・診療所が実施する訪問看護の実態を把握するため、①の医療施設を対象として調査を行うとともに、訪問看護ステーションを対象に調査を実施し、病院・診療所併設の訪問看護ステーションおよび併設以外の訪問看護ステーションと比較することを目的とした。
病院・診療所	【対象】①の1)と2)の全施設 【発出数】3,211施設【有効回収数】227施設 ※1)と2)が重複する場合は1部のみ有効
訪問看護ステーション票	【母集団】8,632事業所(名簿は厚生労働省より提供) 【発出数】無作為抽出、600事業所 【回収数】394事業所 【回収率】65.7% 【有効回収数】382施設 【有効回収率】63.7%

(2) 病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する調査研究事業

3. 調査結果概要

1) 回答施設の基本情報

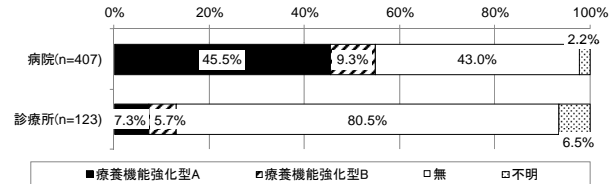
○介護療養型医療施設調査の回答病院(以下、介護療養・病院)の全病床数は平均166.8床、介護保険適用の療養病床数は平均56.2床であった。
 介護療養型医療施設の診療所(以下、介護療養・診療所)の介護保険適用の療養病床数は平均8.8床であった。
 医療療養病床を有する医療施設調査の回答病院(以下、医療療養・病院)の全病床数は平均161.4床、医療保険適用の療養病床数は平均71.5床であった。
 医療療養病床を有する医療施設の回答診療所(以下、医療療養・診療所)の医療保険適用の療養病床数は平均8.2床であった。

図表2-2-6 病床数(単位:床)

	件数	平均	標準偏差	中央値
【介護療養調査】				
病院の全病床数	407	166.8	125.8	130.0
うち、介護保険適用の療養病床数	407	56.2	48.5	43.0
診療所の全病床数	123	17.9	2.6	19.0
うち、介護保険適用の療養病床数	123	8.8	4.2	8.0
【医療療養調査】				
病院の全病床数	481	161.4	120.2	129.0
うち、医療保険適用病床数	481	71.5	61.9	53.0
診療所の全病床数	96	17.9	3.1	19.0
うち、医療保険適用病床数	96	8.2	5.6	6.0

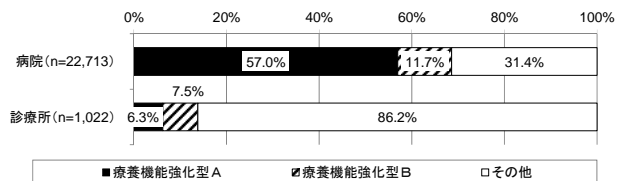
○介護療養・病院の施設数について、「療養機能強化型A」は45.5%、「療養機能強化型B」は9.3%であった。

図表2-2-29 【介護療養】療養機能強化型の届出の状況(施設数ベース)



○介護療養・病院の病床数について、「療養機能強化型A」は57.0%、「療養機能強化型B」は11.7%であった。

図表2-2-30 【介護療養】介護療養病床数の療養機能強化型の届出状況別の割合(病床数ベース)



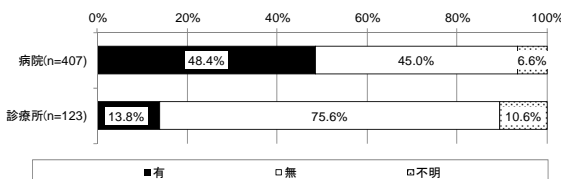
2

(2) 病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する調査研究事業

2) 退院支援部門や訪問看護の実施の有無

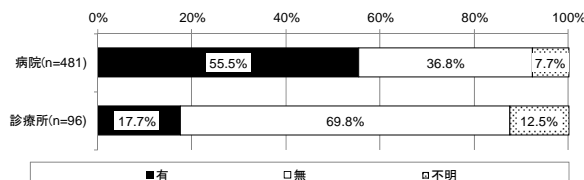
○「退院支援部門」が有る介護療養・病院は48.4%、介護療養・診療所は13.8%であった。

図表2-2-152 【介護療養】退院支援部門の有無



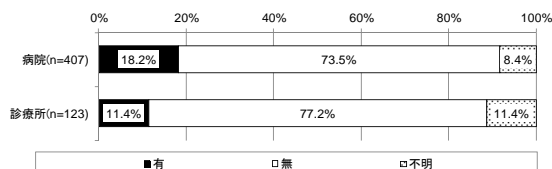
○「退院支援部門」が有る医療療養・病院は55.5%、医療療養・診療所は17.7%であった。

図表2-2-153 【医療療養】退院支援部門の有無

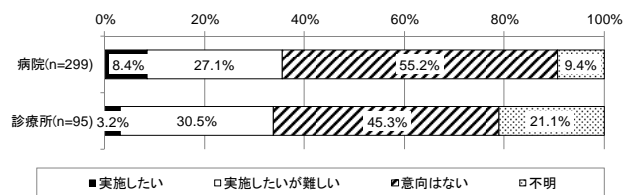


○介護療養・病院で、指定訪問看護を実施している施設は18.2%であった。実施していない場合、今後の実施意向は、介護療養・病院では、「実施したい」が8.4%、「意向はない」が55.2%であった。

図表2-2-154 【介護療養】指定訪問看護の実施の有無

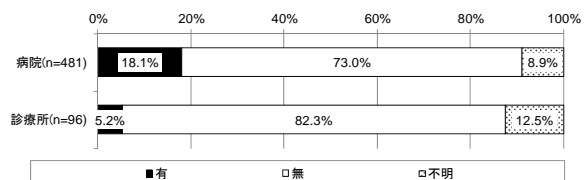


図表2-2-164 【介護療養】今後の訪問看護の実施意向

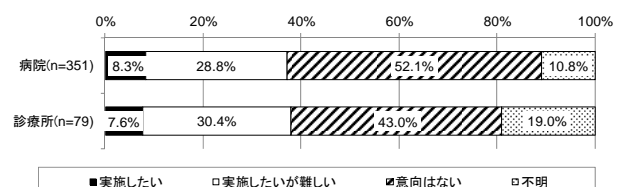


○医療療養・病院で、指定訪問看護を実施している施設は18.1%であった。実施していない場合、今後の実施意向は、医療療養・病院では、「実施したい」が8.3%、「意向はない」が52.1%であった。

図表2-2-157 【医療療養】指定訪問看護の実施の有無



図表2-2-165 【医療療養】今後の訪問看護の実施意向



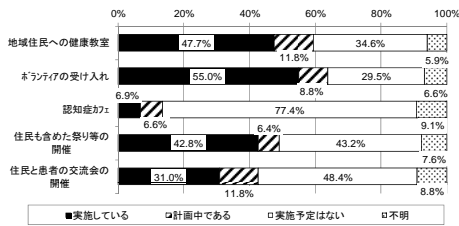
3

(2) 病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する調査研究事業

3) 地域に貢献する活動

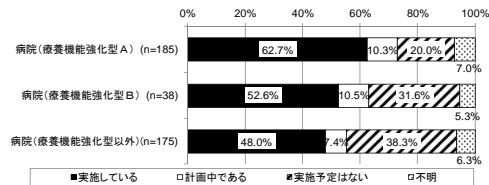
○介護療養・病院において、ボランティアの受け入れを実施している施設が55.0%、地域住民への健康教室を実施している施設が47.7%であった。

図表2-2-170 【介護療養(病院)】地域貢献活動の実施状況(n=407)

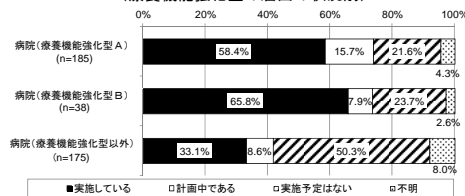


○ボランティアの受け入れや地域住民への健康教室の実施等の地域活動について、療養機能強化型のほうが療養機能強化型以外と比べて実施率が高かった。

図表2-2-173 【介護療養・病院】ボランティアの受け入れの実施状況(療養機能強化型の届出の状況別)



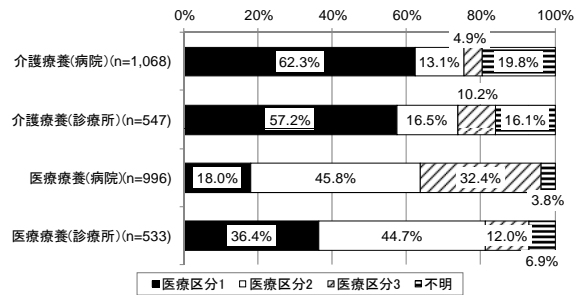
図表2-2-172 【介護療養・病院】地域住民への健康教室の実施状況(療養機能強化型の届出の状況別)



4) 入院患者の状況

○入院患者の医療区分は、介護療養・病院では「医療区分1」が62.3%、医療療養・病院では18.0%であった。

図表2-3-50 【入院患者】医療区分



○入院患者への処置の実施状況について、介護療養・病院では、「排便」「洗腸」「経鼻経管栄養」「胃ろう・腸ろうによる栄養管理」で医療療養・病院より実施率が高かった。

図表2-3-104より抜粋(上位8位まで) 【入院患者】その他の処置等の実施状況(複数回答)

	合計	喀痰吸引	排便	経鼻経管栄養	胃ろう・腸ろうによる栄養管理	洗腸	カテーテルの管理	静脈内注射	酸素療法
介護療養(病院)	1,068	322	261	260	229	218	127	94	39
介護療養(診療所)	547	110	157	73	101	51	97	59	25
医療療養(病院)	996	412	198	191	190	165	189	137	240
医療療養(診療所)	533	114	92	75	57	75	83	100	61

(2) 病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する調査研究事業

○入院患者の退院時期の目標をたずねたところ、介護療養・病院の入院患者では、「退院が困難」という回答が85.5%であった。退院が困難な理由は、介護療養・病院では、「在宅支援体制が整っていないため」が38.3%、「治療中のため」が22.3%であった。医療療養・病院では、「治療中のため」が40.2%、「在宅支援体制が整っていないため」が25.6%であった。

図表2-3-156 【入院患者】退院時期の目標

	合計	1か月以内	3か月以内	6か月以内	1年以内	退院は困難	不明
介護療養(病院)	1,068	16	16	33	61	913	29
介護療養(診療所)	547	17	6	9	27	468	20
医療療養(病院)	996	59	55	40	49	753	40
医療療養(診療所)	533	54	30	10	18	407	14

*網掛けは、選択が多い上位2項目(不明を除く)

図表2-3-201 【入院患者】「退院は困難」である理由

	合計	治療のため	在宅支援体制が整っていないため	施設の入所待ちのため	ケアのための	その他	不明
介護療養(病院)	913	204	350	49	170	86	54
介護療養(診療所)	468	64	217	22	90	64	51
医療療養(病院)	753	303	193	33	81	62	81
医療療養(診療所)	407	169	129	8	39	24	38

*網掛けは、選択が多い上位2項目(不明を除く)

5) 退院患者の入退院の状況

○退院患者の入院(棟)前の状況は、介護療養・病院では「他の病棟」が39.4%、介護療養・診療所では「本人の家」が30.6%、医療療養・病院では「他の病院」が35.2%、医療療養・診療所では「本人の家」が57.2%であった。

図表2-3-141 【退院患者】入院(棟)前の状況

	合計	本人の家	他の病院	他の病棟	他の診療所	老人保健施設	特別養護老人ホーム	有料老人ホーム
介護療養(病院)	903	118	339	356	2	41	10	5
介護療養(診療所)	134	41	40	34	0	2	1	2
医療療養(病院)	891	205	314	224	8	37	26	15
医療療養(診療所)	311	178	72	18	1	3	10	6

	サービス付き高齢者向け住宅	養護老人ホーム	軽費老人ホーム・ケアハウス	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	その他	不明
介護療養(病院)	6	0	1	10	2	13
介護療養(診療所)	1	0	2	2	2	7
医療療養(病院)	5	5	1	13	5	33
医療療養(診療所)	5	2	1	2	1	12

*網掛けは、選択が多い上位2項目(不明を除く)

(2) 病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する調査研究事業

○退院先は、介護療養・病院では「死亡による退院」が46.8%、医療療養・病院では44.0%であった。
また、介護療養・病院では「他の病院・病棟」が26.0%、介護療養・診療所では「他の病院・病棟」が27.6%であった。本人の家はそれぞれ8.0%、14.2%であった。
医療療養・病院では、「本人の家」が22.4%、医療療養・診療所では「本人の家」が47.3%であった。

図表2-3-162 【退院患者】退院先

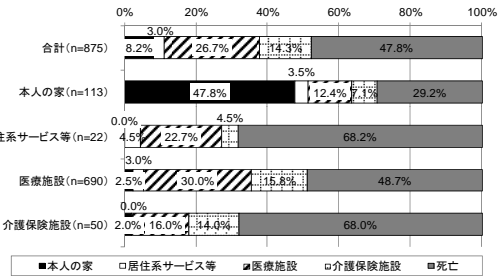
	合計	本人の家	他の病院・病棟	他の診療所	老人保健施設	特別養護老人ホーム	有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅
介護療養(病院)	903	72	235	1	63	64	15	4
	100.0%	8.0%	26.0%	0.1%	7.0%	7.1%	1.7%	0.4%
介護療養(診療所)	134	19	37	0	4	10	1	0
	100.0%	14.2%	27.6%	0.0%	3.0%	7.5%	0.7%	0.0%
医療療養(病院)	891	200	123	1	52	39	20	9
	100.0%	22.4%	13.8%	0.1%	5.8%	4.4%	2.2%	1.0%
医療療養(診療所)	311	147	41	0	8	13	10	7
	100.0%	47.3%	13.2%	0.0%	2.6%	4.2%	3.2%	2.3%

養護老人ホーム	軽費老人ホーム・ケアハウス	認知症対応型共同生活介護	死亡による退院	その他	不明
2	1	4	423	6	13
0.2%	0.1%	0.4%	46.8%	0.7%	1.4%
0	1	2	51	2	7
0.0%	0.7%	1.5%	38.1%	1.5%	5.2%
7	3	8	392	5	32
0.8%	0.3%	0.9%	44.0%	0.6%	3.6%
2	1	0	74	3	5
0.6%	0.3%	0.0%	23.8%	1.0%	1.6%

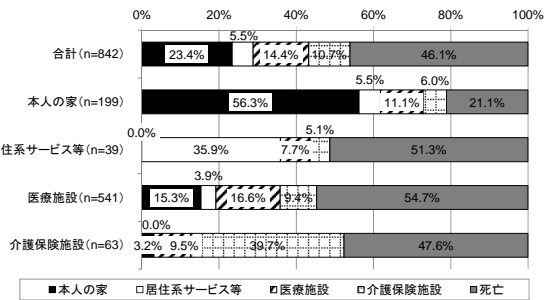
※網掛けは、選択が多い上位2項目(不明を除く)

○介護療養・病院では、入院(棟)前が本人の家の場合、本人の家へ退院が47.8%であった。医療療養・病院でも、入院(棟)前が本人の家の場合、本人の家への退院が56.3%であった。
医療療養・病院では、入院(棟)前が医療施設からの転院の場合、「本人の家」への退院が15.3%、「医療施設」が16.6%、「死亡」による退院が54.7%であった。

図表2-3-166 【退院患者(介護療養・病院)】入院(棟)前の状況別の退院先



図表2-3-170 【退院患者(医療療養・病院)】入院前(棟)の状況別の退院先



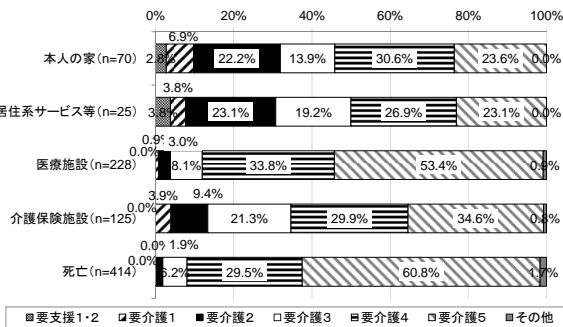
注) 図表2-3-166,170は、図表2-3-162からその他、不明を除いて比率を集計した。

居住系サービス等	有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、養護老人ホーム、軽費老人ホーム・ケアハウス、認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
医療施設	他の病院、自施設他の病棟、他の診療所
介護保険施設	老人保健施設、特別養護老人ホーム

(2) 病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する調査研究事業

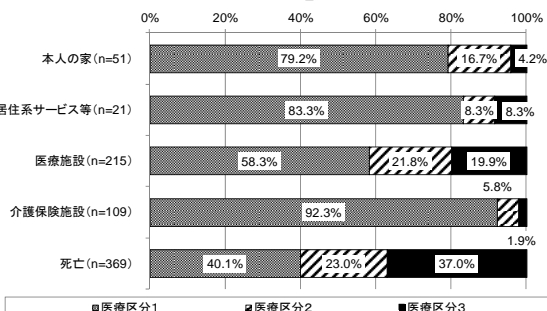
○介護療養・病院の退院患者の退院先別の要介護度は、本人の家への退院の場合「要介護5」は23.6%、医療施設への転院の場合は53.4%であった。「死亡」退院の場合、「要介護5」が60.8%であった。

図表2-3-173 【退院患者(介護療養・病院)】退院先別の要介護度



○介護療養・病院の退院患者の退院先別の医療区分は、本人の家への退院の場合「医療区分1」が79.2%であった。医療施設への転院の場合は「医療区分1」が58.3%と比較的低く、「医療区分3」が19.9%であった。

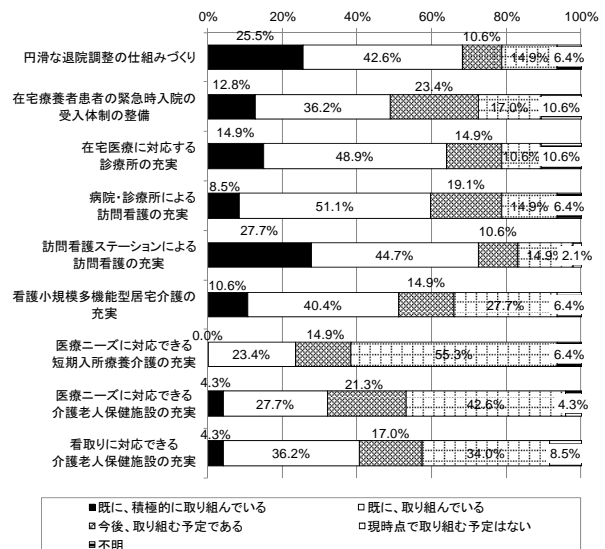
図表2-3-177 【退院患者(介護療養・病院)】退院先別の医療区分



6) 医療ニーズの高い中重度の要介護高齢者の在宅療養生活のサービス・体制の充実に向けた自治体の取り組み

○自治体の取り組みについて、「既に積極的に取り組んでいる」と回答しているものは、「訪問看護ステーションによる訪問看護の充実」が27.7%、「円滑な退院調整の仕組みづくり」が25.5%であった。
一方、「現時点で取り組む予定はない」と回答しているものは、「医療ニーズに対応出来る短期入所療養介護の充実」が5.3%であった。

図表2-4-9 サービス・体制の充実に向けた取組の状況(都道府県)(n=47)

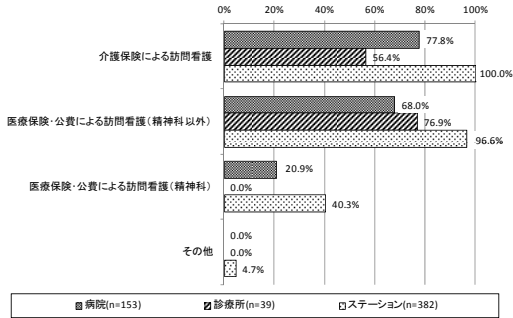


(2) 病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する調査研究事業

7) 訪問看護事業所の基本情報

○回答病院において「介護保険による訪問看護」を実施している病院は77.8%、「医療保険・公費による訪問看護」は68.0%、「精神科の訪問看護」は20.9%であった。

図表2-5-18 算定保険種別(複数回答)



○介護保険による訪問看護の1事業所あたりの利用者数(平成28年10月分)は、病院では、平均21.9人(中央値で14.0人)、診療所は平均5.9人(同3.0人)、訪問看護ステーションは平均57.5人(同44.5人)であった。利用者のうち、当該病院への入院経験のある利用者は平均11.1人、診療所では2.7人であった

図表2-5-32、36、41、45、50、53より抜粋 平成28年10月の利用者数等

<利用者数>

【介護保険】	回答件数(件)	平均値(人)	標準偏差	中央値(人)
病院	119	21.9	24.4	14.0
診療所	22	5.9	7.0	3.0
ステーション	324	57.5	63.7	44.5

【医療保険】	回答件数(件)	平均値(人)	標準偏差	中央値(人)
病院	103	7.5	9.7	3.0
診療所	30	6.5	10.1	2.0
ステーション	360	16.0	17.5	11.0

【精神科】	回答件数(件)	平均値(人)	標準偏差	中央値(人)
病院	31	37.1	65.0	12.0
ステーション	151	17.1	42.1	3.0

<回答病院・診療所への入院経験がある利用者>

	回答件数(件)	平均値(人)	標準偏差	中央値(人)
病院	106	11.1	14.3	5.0
診療所	18	2.7	3.7	1.0

	回答件数(件)	平均値(人)	標準偏差	中央値(人)
病院	91	3.0	4.5	1.0
診療所	24	1.9	3.1	1.0

	回答件数(件)	平均値(人)	標準偏差	中央値(人)
病院	30	25.3	48.2	4.0

○介護保険による訪問看護の利用者のうち、死亡者数は、病院で平均0.3人、ステーションで平均0.6人であった。

図表2-5-34、43、52より抜粋 死亡者数(平成28年10月)

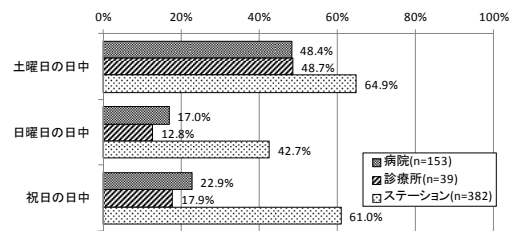
【介護保険】	回答件数(件)	平均値(人)	標準偏差	中央値(人)
病院	100	0.3	0.6	0.0
診療所	15	0.0	-	-
ステーション	290	0.6	0.9	0.0

【医療保険】	回答件数(件)	平均値(人)	標準偏差	中央値(人)
病院	86	0.5	0.7	0.0
診療所	21	0.2	0.4	0.0
ステーション	319	0.7	1.1	0.0

【精神科】	回答件数(件)	平均値(人)	標準偏差	中央値(人)
病院	28	0.1	0.3	0.0
ステーション	129	0.0	0.1	0.0

○日曜日の日中の計画的な訪問について、病院は17.0%が実施しており、診療所は12.8%、ステーションは42.7%であった。

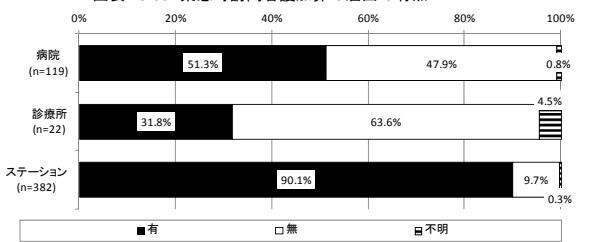
図表2-5-83より抜粋 土日祝日の計画的な訪問(複数回答)



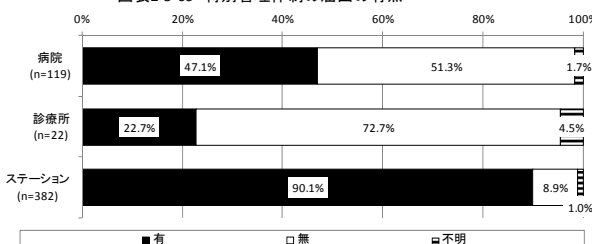
(2) 病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する調査研究事業

○緊急時訪問看護加算、特別管理体制、ターミナルケア体制等、各種加算の届出について、ステーションで「有」の割合が高かった。

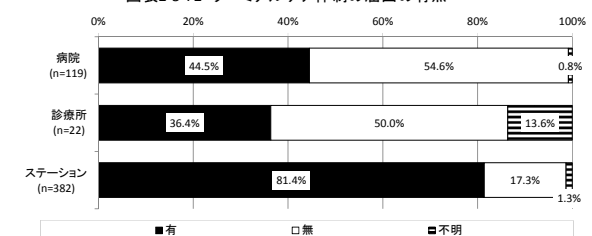
図表2-5-66 緊急時訪問看護加算の届出の有無



図表2-5-69 特別管理体制の届出の有無



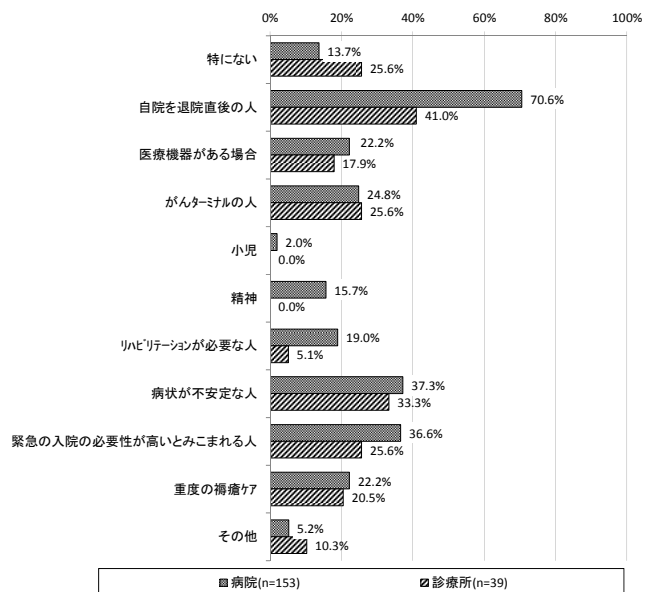
図表2-5-72 ターミナルケア体制の届出の有無



8) 訪問看護における病院等とステーションの役割分担

○病院が自院で訪問看護を実施したほうがよいと考える利用者の状態・状況は、「自院を退院直後の人」が70.6%、「病状が不安定な人」が37.3%であった。

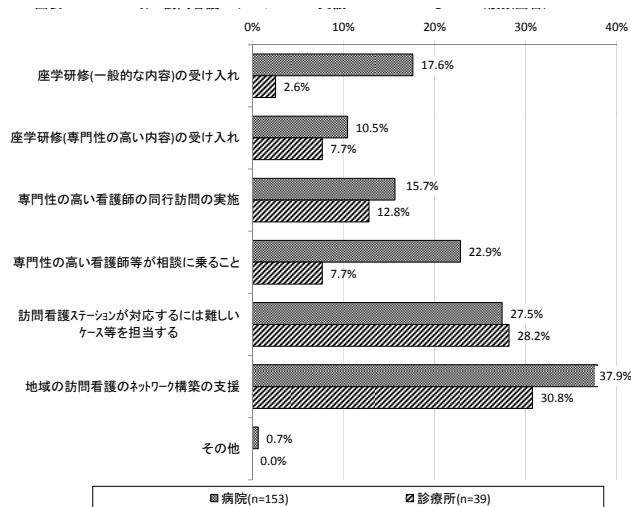
図表2-5-113 地域のステーションではなく、自院で訪問看護を実施したほうがよいと考えられる利用者の状態・状況(複数回答)



(2) 病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する調査研究事業

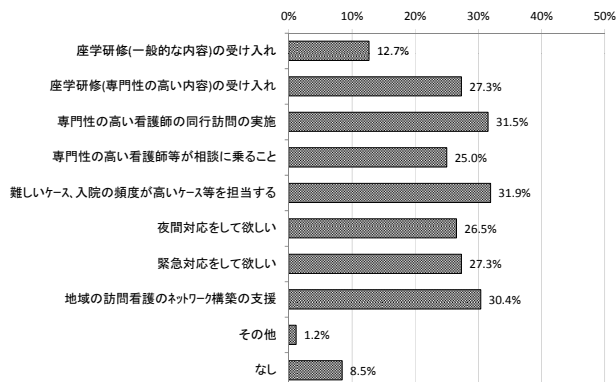
○地域の訪問看護ステーションのためにできることとして「地域の訪問看護のネットワーク構築の支援」が37.9%、「専門性の高い看護師の同行訪問の実施」は15.7%であった。

図表2-5-114 地域の訪問看護ステーションの支援のためにできること（複数回答）



○一方、訪問看護ステーションが病院・診療所からの訪問看護や医療機関併設型の訪問看護ステーションに期待することは「難しいケース・入院頻度が高いケース等を担当する」が31.9%、「専門性の高い看護師の同行訪問の実施」が31.5%、「地域の訪問看護のネットワーク構築の支援」が30.4%であった。

図表2-5-115 (医療機関併設のステーション以外の場合) 病院・診療所からの訪問看護や医療機関併設型の訪問看護ステーションに期待すること（複数回答）(n=260)

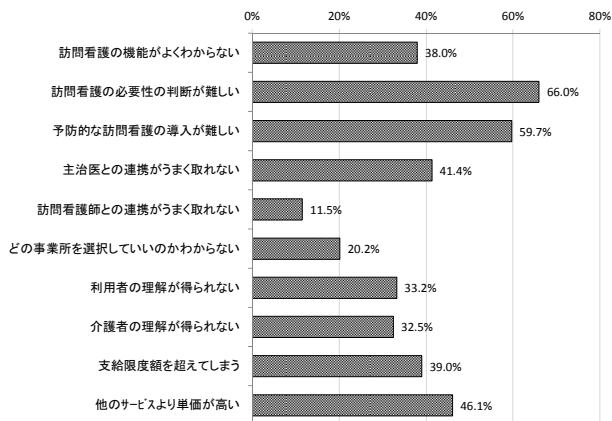


(2) 病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する調査研究事業

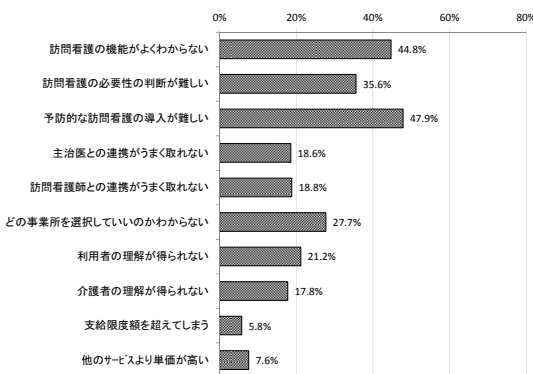
9) 訪問看護の課題

○ステーションからみて、訪問看護を導入するにあたっての介護支援専門員にとっての課題は、「訪問看護の必要性の判断が難しい」が66.0%、「訪問看護の機能がよくわからない」が38.0%、退院元の医療従事者にとっては、「予防的な訪問看護の導入が難しい」が47.9%、「訪問看護の機能がよくわからない」が44.8%、利用者にとっては「訪問看護の機能がよくわからない」が68.8%であった。

図表2-5-118 ステーションからみて、介護支援専門員にとって訪問看護を導入するにあたっての課題（複数回答）(n=382)



図表2-5-119 ステーションからみて、退院元の医療従事者にとって訪問看護を導入するにあたっての課題(n=382)



図表2-5-120 ステーションからみて、利用者にとって、訪問看護を導入するにあたっての課題(n=382)

